静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告　第64集

下原遺跡 I

平成５・６年度東駿河湾環状道路工事に伴う
埋蔵文化財調査報告書

1995

財団法人 静岡県埋蔵文化財調査研究所

静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告　第64集

下原遺跡Ⅰ

正誤表

本文中Ｏｉｌ．で示した石材は、油質頁岩ではなく、頁岩の誤りです。
略号Ｓｈ．と訂正して下さい。

誤	正
Ｏｉｌ．	Ｓｈ．

静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告　第64集

下原遺跡 I

平成５・６年度東駿河湾環状道路工事に伴う
埋蔵文化財調査報告書

1995

財団法人 静岡県埋蔵文化財調査研究所

遺 跡 全 景

休場層出土石器

序

静岡県の東部、沼津・三島地区は古くからの東西交通の要所として栄えると同時に、富士・箱根・伊豆といった観光地への入り口として賑わってきた。しかし本地域における道路の渋滞は慢性的であり、これを緩和するために計画されたのが東駿河湾環状道路である。本遺跡は、この東駿河湾環状道路工事に伴う一連の埋蔵文化財調査のなかの一つである。

遺跡は、箱根西麓のなかでも比較的幅広の尾根の頂上部に位置する。ここは畑地として利用されていたために、縄文時代の遺物包含層までは耕作によって撹乱をうけていたが、休場層上部において、縄文時代草創期の逆茂木の施設を有する土坑が5基検出された。これは東日本においては最古の例であり、旧石器時代から縄文時代への移り変わりのなかでの狩猟技術と動物相を考えるうえでの重要な資料となる。また旧石器時代の遺物は数の上で本遺跡の主体をなすものであるが、なかでも休場層中部からは大きく分けて4箇所の石器集中地点が確認された。分析の結果、出土した黒耀石の原産地は、霧ヶ峯・和田峠・伊豆・箱根など6箇所が明らかになり、これらの「石器」含有率の高さや、個体別資料の分布からは、遺跡周辺で採取できる石材である頁岩の石器出土状況とあわせて、石材の消費地遺跡としての良好な資料が提示できるものと思う。また約27000年前のものと考えられる土坑が、尾根を横断するように7基検出された。この土坑は同一尾根上の初音ヶ原遺跡、同じく東駿河湾環状道路関係の焼場遺跡・加茂ノ洞B遺跡からも次々と検出されており、用途とともに、これだけの遺構を残した集団に関しても興味がそそられるところである。

最後になったが、調査ならびに本書の作成にあたっては建設省をはじめとした関係機関各位に多大なる援助・協力を受けた。厚くお礼を申し上げる。またこの場をお借りして、現地調査・資料整理に参加した調査員・作業員の労をねぎらいたい。

平成7年3月

財団法人　静岡県埋蔵文化財調査研究所

所長　斎藤　忠

例　　言

1　本書は三島市下原に所在する下原遺跡の発掘調査報告書の第１分冊である。

2　調査は、平成３年度におこなった試掘調査（第１次調査）の結果を受け、平成５年度東駿河湾環状道路建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査業務として建設省中部建設局沼津工事事務所の委託を受け、静岡県教育委員会文化課の指導のもとに、財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所が平成５年８月から平成６年10月まで現地調査を実施した。

3　下原遺跡の資料整理は平成６年度から実施し、平成８年３月まで続く予定である。

4　調査体制は以下のとおりである。

平成３年度（試掘調査）

所長　斎藤　忠、常務理事　鈴木　勲、調査研究部長　山下　晃、調査研究三課長　佐藤達雄、調査研究員　笹原芳郎

平成５年度

所長　斎藤　忠、常務理事　鈴木　勲、調査研究部長　植松章八、調査研究三課長　佐野五十三、調査研究員　伊林修一・横山秀昭・小野千賀子

平成６年度

所長　斎藤　忠、常務理事　鈴木　勲、調査研究部長　小崎章男、調査研究四課長　橋本敬之、主任調査研究員　杉浦幸男（至10月）、調査研究員　伊林修一・小川正夫・小野千賀子

5　本書の執筆は静岡県埋蔵文化財調査研究所の職員が分担しておこなった。執筆分担は以下のとおり。

第Ⅰ章　第１節…伊林修一

第Ⅱ章　第１節…杉浦幸男

第Ⅰ章　第２節、第Ⅱ章　第２節、第３節、第４節、第５節、第Ⅲ章、第Ⅳ章、第Ⅴ章…小野千賀子

6　石器の実測・トレースは、小野千賀子、鈴木里江、高橋裕子、水上綾子がおこなった。

7　本書の遺物写真は楠華堂（楠本真紀子）・湊嘉秀が、石器石材・石器の個体別分類は森嶋富士夫がおこなった。

8　黒耀石の原産地分析は沼津工業専門学校　望月明彦による。

9　調査では次の方々、団体に御指導、御助言を賜った。厚くお礼申し上げる（敬称略）。

池畑耕一　池谷信之　角張淳一　鈴木忠司　瀬川裕市郎　高尾好之　舘野　孝　辻本崇夫
望月明彦　橋口尚武　山下秀樹　三島市教育委員会

10　発掘調査資料は、すべて静岡県埋蔵文化財調査研究所が保管している。

11　本書の編集は静岡県埋蔵文化財調査研究所が当たった。

凡　　例

本書の記載については、以下の基準に従い統一をはかった。

1　グリットは建設予定道路のセンターラインを中心軸として、任意に設定した。

2　出土遺物は、10m方眼のグリット毎に通し番号を付して取り上げた。

3　石器の実測は原則として第三角投影図法に拠った。

4　出土遺物実測図の縮尺は、基本的には石器4／5、土器1／2としたが、礫石器は1／3で掲載した。

5　遺物の出土位置については、一覧表内に座標で明記した。座標はＡ０グリットを（Ｘ．Ｙ）＝（０．０）とし、南北方向をＸ軸に、東西方向をＹ軸にとった。

6　土層の色調は、新版『標準土色帖』（農林水産技術会議事務局監修1992）を使用した。

7　本文中・挿図中の表記は次のとおりである。

層名				石材名		黒耀石原産地	
ＹＬＵ	休場層上層	ＢＢⅡ	第Ⅱ黒色帯	Ｏｂ．	黒耀石	ＨＳＴ	星ヶ塔
ＹＬＭ	休場層中層	ＳＣⅡ	第Ⅱスコリア層	Ｃｈ．	チャート	ＭＵＧ	麦草峠
ＹＬＬ	休場層下層	ＢＢⅢ	第Ⅲ黒色帯	Ａｎｄ．	安山岩	ＷＡＤ	和田峠
ＢＢ０	休場層直下黒色帯	ＳＣⅢｓ１	第Ⅲスコリア層スコリア１	Ｂ．Ａｎ．	黒色緻密安山岩	ＨＡＴ	畑宿
ＳＣＩ	第Ⅰスコリア層	ＳＣⅢｂ１	第Ⅲスコリア層黒色帯１	Ｇｒ．	凝灰岩	ＫＡＳ	柏峠
ＢＢＩ	第Ⅰ黒色帯	ＳＣⅢｓ４	第Ⅲスコリア層スコリア４	Ｏｉｌ．	頁岩	ＯＮＢ	神津島
ＮＬ	ニセローム			Ｓａｄ．	砂岩		

目　　次

巻頭写真
序
例言
凡例

第Ⅰ章　調査の概要
第１節　調査に至る経緯 …… 1
第２節　調査の経過 …… 2
1　現地調査の方法 …… 2
2　資料整理の方法 …… 2
3　現地調査の経過 …… 3

第Ⅱ章　遺跡の概要
第１節　遺跡の位置と歴史的環境 …… 6
第２節　基本土層 …… 10
第３節　遺跡の土層堆積状況 …… 14
第４節　遺構の概要 …… 14

第Ⅲ章　縄文時代の遺構と遺物
第１節　富士黒色土層の遺構と遺物 …… 17
第２節　休場層上層の遺構と遺物 …… 28

第Ⅳ章　旧石器時代の遺構と遺物
第１節　休場層中層内の遺構と遺物 …… 36
第２節　休場層直下黒色帯の遺構と遺物 …… 152
第３節　第Ⅰ黒色帯の遺構と遺物 …… 154
第４節　ニセローム層の遺構と遺物 …… 158
第５節　第Ⅱ黒色帯の遺構と遺物 …… 160
第６節　第Ⅲ黒色帯の遺構と遺物 …… 163
第７節　第Ⅲスコリア層の遺構と遺物 …… 177

第Ⅴ章　調査の成果と課題 …… 180

出土石器一覧表

挿図目次

第１図　調査区とグリット配置図 …… 5
第２図　下原遺跡と周辺の遺跡 …… 9
第３図　基本土層柱状図 …… 11
第４図　下原遺跡と周辺の地形 …… 13
第５図　土層堆積図 …… 15
第６図　FB層遺構全体図 …… 18
第７図　第１号住居跡掘り方面 …… 19
第８図　第１号住居跡遺物出土状況図 …… 19
第９図　第１号住居跡出土石器 …… 20
第10図　FB層土坑図１ …… 21
第11図　FB層土坑図２ …… 22
第12図　FB層土坑図３ …… 23
第13図　縄文土器拓影図 …… 24
第14図　遺構外出土の石器１ …… 26
第15図　遺構外出土の石器２ …… 27
第16図　YLU層土坑配置図 …… 29
第17図　YLU層土坑図１ …… 30
第18図　YLU層土坑図２ …… 31
第19図　YLU層土坑図３ …… 32
第20図　YLU層土坑図４ …… 33
第21図　YLU層土坑図５ …… 34
第22図　YLU層有舌尖頭器・石槍 …… 35
第23図　YL層尖頭器 …… 39
第24図　YL層ナイフ形石器１ …… 40
第25図　YL層ナイフ形石器２ …… 41
第26図　YL層ナイフ形石器３ …… 42
第27図　YL層ナイフ形石器４ …… 43
第28図　YL層ナイフ形石器５ …… 44
第29図　YL層台形様石器 …… 45
第30図　YL層掻器 …… 47
第31図　YL層掻器・削器 …… 49
第32図　YL層削器・抉入削器 …… 50
第33図　YL層抉入削器・彫器 …… 51
第34図　YL層楔形石器 …… 52
第35図　YL層石刃状剥片１ …… 54
第36図　YL層石刃状剥片２ …… 55
第37図　YL層石刃状剥片３ …… 56
第38図　YL層石刃状剥片４ …… 57
第39図　YL層小型石刃状剥片 …… 58
第40図　YL層石核調整剥片１ …… 62
第41図　YL層石核調整剥片２ …… 63
第42図　YL層石核１ …… 64
第43図　YL層石核２ …… 65
第44図　YL層石核３ …… 66
第45図　YL層石核４ …… 67
第46図　YL層石核５ …… 68
第47図　YL層石核６ …… 69
第48図　YL層石核７ …… 70
第49図　YL層石核８ …… 71
第50図　YL層石核９ …… 72
第51図　YL層石核・原石 …… 73
第52図　YL層敲石・磨石他１ …… 75
第53図　YL層敲石・磨石他２ …… 76
第54図　YL層石材別遺物出土状況図 …… 82
第55図　YL層礫出土状況図 …… 84
第56図　個体別資料分布図１、畑宿 …… 86
第57図　個体別資料分布図２、柏峠・恩駆（神津島）…… 88
第58図　個体別資料分布図３、麦草峠 …… 90
第59図　個体別資料分布図４、星ヶ塔 …… 92
第60図　個体別資料分布図５、和田峠 …… 94
第61図　個体別資料分布図６、チャート … 96
第62図　Aブロック個体別資料分布図 …… 99
第63図　Aブロック石器器種別分布図 …… 99
第64図　Bブロック個体別資料分布図 …… 100
第65図　Bブロック石器器種別分布図 …… 101
第66図　Cブロック個体別資料分布図 …… 103
第67図　Cブロック石器器種別分布図１ … 103
第68図　Cブロック石器器種別分布図２ … 105
第69図　Cブロック礫群平面・垂直分布図… 106
第70図　Dブロック個体別資料分布図 …… 107
第71図　Dブロック石器器種別分布図１ … 108
第72図　Dブロック石器器種別分布図２ … 109
第73図　Dブロック礫群平面・垂直分布図… 110
第74図　Eブロック個体別資料分布図 …… 112
第75図　Eブロック石器器種別分布図 …… 112
第76図　Eブロック礫群平面・垂直分布図… 113
第77図　Fブロック個体別資料・石器器種別分布図 …… 113
第78図　Gブロック個体別資料分布図 …… 114

第79図　Gブロック石器器種別分布図 …… 115
第80図　Hブロック個体別資料分布図 …… 117
第81図　Hブロック石器器種別分布図 …… 118
第82図　Hブロック礫群平面・垂直分布図… 119
第83図　Iブロック個体別資料分布図 …… 120
第84図　Iブロック石器器種別分布図1 … 120
第85図　Iブロック石器器種別分布図2 … 121
第86図　Iブロック礫群平面・垂直分布図 … 122
第87図　Iブロック石器接合資料 …… 123
第88図　Jブロック個体別資料・石器器種別分布図 …… 125
第89図　Kブロック礫群平面・垂直分布図… 126
第90図　Kブロック個体別資料分布図 …… 127
第91図　Kブロック石器器種別分布図 …… 129
第92図　Lブロック石器器種別分布図 …… 132
第93図　Lブロック個体別資料分布図 …… 133
第94図　Mブロック個体別資料分布図 …… 135
第95図　Mブロック石器器種別分布図 …… 135
第96図　Mブロック礫群平面・垂直分布図… 136
第97図　Mブロック石器接合資料 …… 137
第98図　Nブロック個体別資料分布図 …… 139
第99図　Nブロック石器器種別分布図1 … 140
第100図　Nブロック石器器種別分布図2 … 141
第101図　Nブロック礫群平面・垂直分布図… 142
第102図　Oブロック個体別資料分布図 …… 144
第103図　Oブロック石器器種別分布図 …… 145
第104図　Oブロック石器接合資料1 …… 146
第105図　Oブロック石器接合資料2 …… 147
第106図　Pブロック個体別資料分布図 …… 148
第107図　Pブロック石器器種別分布図1 … 148
第108図　Pブロック石器器種別分布図2 … 149
第109図　ブロック別石材組成図 …… 149
第110図　BB0層全体図 …… 152
第111図　BB0層石器ブロック平面・垂直分布図 …… 153
第112図　BB0層石器実測図1 …… 153
第113図　BB0層石器実測図2 …… 154
第114図　BBⅠ層全体図 …… 155
第115図　BBⅠ層Aブロック平面・垂直分布図 …… 156
第116図　BBⅠ層Bブロック平面・垂直分布図 …… 156
第117図　BBⅠ層Cブロック平面・垂直分布図 …… 157
第118図　BBⅠ層石器実測図 …… 157
第119図　NL層全体図 …… 158
第120図　NL層石器実測図 …… 159
第121図　BBⅡ層全体図 …… 160
第122図　BBⅡ層石器実測図 …… 161
第123図　BBⅢ層石器実測図 …… 163
第124図　BBⅢ層全体図 …… 164
第125図　BBⅢ層石器ブロック平面・垂直分布図 …… 165
第126図　BBⅢ層石器接合資料 …… 166
第127図　BBⅢ層1号土坑図 …… 167
第128図　BBⅢ層2号土坑図 …… 169
第129図　BBⅢ層3号土坑図 …… 171
第130図　BBⅢ層4号土坑図 …… 171
第131図　BBⅢ層5号土坑図 …… 175
第132図　BBⅢ層6号土坑図 …… 175
第133図　BBⅢ層7号土坑図 …… 176
第134図　SCⅢ層石器ブロック平面・垂直分布図 …… 177
第135図　SCⅢ層全体図 …… 178
第136図　SCⅢ層石器実測図 …… 179

挿表目次

表1　作業工程表 …… 4
表2　遺構・遺物一覧表 …… 4
表3　周辺の遺跡 …… 8
表4　土器観察表 …… 25
表5　縄文時代石器計測表 …… 27
表6　YLU層有舌尖頭器・石槍計測表 … 35
表7　YL層石材別器種組成表 …… 36
表8　YL層尖頭器計測表 …… 37
表9　YL層ナイフ形石器計測表 …… 45
表10　YL層掻器・削器他計測表 …… 53
表11　YL層石刃状剥片計測表 …… 59
表12　YL層小型石刃状剥片計測表 …… 59

表13　YL層石核調整剝片計測表 …… 74
表14　YL層石核計測表 …… 74
表15　YL層敲石・他計測表 …… 76
表16　個体別資料分類表 …… 77
表17　個体別資料別石器器種組成表 …… 80
表18　Aブロック石器組成表 …… 98
表19　Bブロック石器組成表 …… 100
表20　Cブロック石器組成表 …… 102
表21　Dブロック石器組成表 …… 110
表22　Eブロック石器組成表 …… 111
表23　Fブロック石器組成表 …… 111
表24　Gブロック石器組成表 …… 111
表25　Hブロック石器組成表 …… 116
表26　Iブロック石器組成表 …… 116
表27　Jブロック石器組成表 …… 124
表28　Kブロック石器組成表 …… 124
表29　Lブロック石器組成表 …… 131
表30　Mブロック石器組成表 …… 131
表31　Nブロック石器組成表 …… 138
表32　Oブロック石器組成表 …… 143
表33　Pブロック石器組成表 …… 143
表34　ブロック別個体別資料一覧表 …… 150
表35　BB０層石器計測表 …… 162
表36　BBⅠ層石器計測表 …… 162
表37　NL層石器計測表 …… 162
表38　BBⅡ層石器計測表 …… 162
表39　BBⅢ層石器計測表 …… 165
表40　BBⅢ層土坑計測表 …… 176
表41　SCⅢ層石器計測表 …… 179

図版目次

図版１　⑴基本土層
⑵１区東側完掘状況
図版２　⑴１号住居跡
⑵１号住居跡セクション
図版３　⑴YL層Pブロック
⑵YL層Eブロック
図版４　⑴YL層Dブロック
⑵BBⅠ層Bブロック
図版５　⑴BBⅢ層石器ブロック
⑵YL層１号土坑土層断面
図版６　⑴YL層２号土坑
⑵YL層４号土坑
図版７　⑴BBⅢ層２号土坑検出状況
⑵BBⅢ層２号土坑土層断面
⑶BBⅢ層４号土坑完掘状況
図版８　⑴BBⅢ層１号土坑土層断面
⑵BBⅢ層土坑遠景
図版９　⑴縄文式土器
図版10　⑴敲石・磨石・凹石
⑵石皿
図版11　⑴縄文時代の石器
⑵槍・有舌尖頭器
図版12　⑴YL層石槍
図版13　⑴YL層小型石刃状剝片
⑵YL層ナイフ形石器１
図版14　⑴YL層ナイフ形石器２
図版15　⑴YL層ナイフ形石器３
図版16　⑴YL層掻器・彫器
図版17　⑴YL層削器
図版18　⑴YL層抉入削器・楔形石器
図版19　⑴YL層石核１
図版20　⑴YL層石核２
図版21　⑴YL層石核３
図版22　⑴YL層石刃状剝片（オモテ）
図版23　⑴YL層石刃状剝片（ウラ）
図版24　⑴BB０・BBⅠ・NL・BBⅡの石器（オモテ）
図版25　⑴BB０・BBⅠ・NL・BBⅡの石器（ウラ）
図版26　⑴YL層接合資料
⑵BBⅢ層接合資料
⑶SCⅢ層の石器
図版27　⑴BBⅠ・NL・BBⅡ敲石・磨石
図版28　⑴作業風景

第Ⅰ章　調査の概要

第１節　調査に至る経緯

静岡県東部は愛鷹・箱根山の裾野に広がる中核都市として愛鷹山南麓に沼津市、箱根山西麓に三島市を抱える。沼津は駿河湾を南にひかえ、漁業・工業を中心とする。一方、三島市は伊豆地方への観光の窓口として、新幹線駅を持つ。人口もそれぞれ20万人、10万人を超えている。

近代になり、東海道本線の開通は物流の流れを大きく変え、丹那トンネルの開通は伊豆観光の隆盛に契機となった。現代、モータリゼーションの発達は地域を大きく変えた。東名高速道路の開通は古代より流刑の地であった伊豆地方を関東の奥座敷として文人や観光客の流入に一層の拍車をかけた。三島・沼津を通過する車両は年々増加していく。

当地域には１号・136号・414号・246号の各国道、東名高速道路沼津インターチェンジに直結する県道と関東・中部高地（長野・山梨）・伊豆を結ぶ幹線道路が集結している。国道が狭い地域に集結している結果、慢性的な渋滞を引き起こし、交通情報の渋滞地域の定番となっている。こうした物流、人の流れを滞らせる状態を解消する方策は数々とられてきた。国道１号線の拡幅、136号線のバイパス開通など観光、物流両面で一定の効果をあげているといえよう。

静岡県東部の交通施策の一貫として、当地域を環状的に迂回し、通過交通の排除、地域内外交通の整理、環状道路周辺地域の開発を図ると同時に、地震発生時等非常時における緊急輸送路等の役割も期待する東駿河湾環状道路は昭和62年に企画化された。路線としては沼津市岡宮から愛鷹山麓、長泉町から沼津市へ南流する黄瀬川を越え、箱根西麓の三島市に入り、函南町平井の熱函道路に到達し、国道136号線バイパスの伊豆中央道に合流する総延長15.0㎞の片側２車線の広規格道路である。用地買収は平成元年度から開始された。

一方、予定されている路線は前述のとおり、愛鷹山、箱根山山麓を通過する。戦後の考古学的発掘調査の成果からこの一帯には旧石器・縄文時代の遺跡が数多く存在することがわかっている。当然の如く多くの埋蔵文化財調査が必要になり、具体的に用地買収が完了した地点より、各市町村の教育委員会に照会し、遺跡の有無を把握した。三島市教育委員会には平成２年８月に埋蔵文化財包蔵地の路線内の調査依頼が行われ、30数ヶ所の周知の遺跡および遺跡の可能性がある地点がリストアップされた。このうち長泉町と三島市の境から国道１号線までの計17地点の現地踏査を静岡県教育委員会文化課・三島市教育委員会・当研究所の３者で行ったのは、平成３年の夏であった。その後３者による協議の上、発掘調査実施機関に当研究所、指導機関に静岡県教育委員会、三島市教育委員会社会教育課にも協力を仰いだ。

下原遺跡に最初に調査が入ったのは、平成３年12月である。調査員１名、発掘補助員10名による３ヶ月の試掘調査（第一次調査）の結果、旧石器時代の遺物の検出をみたため、本調査の必要を委託者である建設省中部建設局沼津工事事務所、指導機関である静岡県教育委員会に回答し、１年を経過した平成５年春に本調査の準備に入った。

第２節　調査の経過

１　現地調査の方法

当遺跡は、東駿河湾環状道路建設に伴う発掘調査であるため、調査範囲は北西－南東方向に約180m、南西－北東方向に約100mと建設予定道路の道路幅に沿った細長いものとなった。

調査は、調査区内に残る３本の道路を境にして、便宜的に全体を３区に分割して行い、調査区内に残る未買収地を除くかたちで実施した。平成４年度には試掘調査を行い、その結果をうけて１区と２区の一部を平成５年度に、残る２区と３区を平成６年度に本調査を行った。また建設予定道路のセンターラインを中心軸（Fライン）として調査区全体に10×10mのグリットを設定し、各グリットは南西優位で南→北へ１２３……、西→東へABC……とし、組み合わせて呼称した。

先行して行なわれた試掘調査によって、富士黒色土層までが畑作によって撹乱を受けていることが確認されていたため、調査は表土を重機によって除去したのち、一部に残された富士黒色土層と休場層の精査から開始した。調査方法は、地形確認のために、調査区を東西・南北に横切る20mごとの土層帯を設けた後、遺物の集中が予想される休場層については、調査区の全面を手掘による精査をおこなった。調査区全域において、標準堆積が確認されていた休場層直下黒色帯（以下BB０）は、上面において１m方眼で標高を記録し、地形測量を行った。BB０以下においては、１グリットに３×３mのテストピットを４箇所設定し、第Ⅲスコリア帯（以下SCⅢ）までを掘削し、遺物が出土した場合はテストピットを拡張する方法をとった。

当初、これで調査は終了する予定だったが、BB０以下で遺物の出土が少なかったことと、テストピット内において、同一尾根上に立地する初音ヶ原遺跡と同じものと考えられる土坑が検出されたことから、調査区全域において土坑検出を目的とした調査を行う必要が生じてきた。そこで、この土坑は掘り込み面がニセローム以下にあることが確認されていたため、尾根の縁辺部に関しては土坑に伴う石器群の出土を期待して、ニセロームまでを重機によって掘削し、以下を手掘によって精査した。また尾根の中央部に関しては期間の制約もあるため、第Ⅲスコリア帯内黒色帯１までを重機によって掘削し、土坑の検出作業を目的とした調査をおこなった。

遺構の写真撮影は中型カメラ（６×７判、白黒）、小型カメラ（35ミリ白黒、カラーネガ、カラースライド）を使用した。また遺物の取り上げにはトータルステーションを使用し、遺構・遺物の出土状況、セクションは基本的には1／20の図面で記録し、必要に応じて1／10の図面を作成した。

２　資料整理の方法

遺物の整理作業については、平成６年度に１区・２区の調査成果をまとめた「下原遺跡Ⅰ」を刊行し、平成７年度に３区の調査結果と自然科学分析結果を盛り込んだ「下原遺跡Ⅱ」を刊行する予定である。

本書については、平成６年４月～平成７年３月まで整理作業をおこなった成果をまとめたものである。調査継続中の整理作業ということもあって、出土した石器の一部（約25点）の実測を(有)アルカに委託して作業の迅速化を図った。また、出土した遺物全てを図化し、掲載することが理想的ではあるが、時間その他の制約もあるので、担当調査員によって器種による選択作業がおこなわれている。本書に掲載された石器は、礫器以外は全て、大きさを比較する意味を含めて実寸の4／5の大きさで掲載している。

また出土層・位置が確定している黒耀石の遺物約700点の産地同定分析を国立沼津工業専門学校、望月明彦先生に依頼した。本書では、この分析結果をもとにして、肉眼による個体別資料分類をおこなっており、各個体の分布については本文中に挿図として掲載している。また旧石器時代の遺物については巻末の石器一覧表のなかに、出土位置の座標とレベルを明記した。

実測・計測が終了した遺物についてはＢ４判の遺物カードを作成する。この遺物カードは１遺物１枚を原則としており、実測図・写真を貼付し、出土位置・図面番号・写真番号・登録番号・収納番号等を記入して保管する予定である。将来的には、研究所内のコンピュータにそのデータを入力し、遺物の検索システムを確立していく予定である。

３　現地調査の経過

下原遺跡は平成３年度に試掘調査を実施し、旧石器時代の遺跡が存在することが明らかになったため、平成５年７月16日より平成６年11月20日にかけて本格的発掘調査を実施した。調査区は現存の道路を境として便宜的に１～３区に分け、１区を平成５年に、２・３区を平成６年に調査した。

また、工事予定地内の未調査区域については、用地買収の手続きが完了し次第、引き続きおこなう予定でいる。

（１）　試掘調査　平成３年12月９日～平成４年３月31日

工事予定地内に国家座標にそって、グリット設定をおこなったのち、２×２ｍの試掘坑を30箇所設定した。このうち13箇所、層にしてFB層～SCⅢ層までの６層で、遺物・遺構の検出をみた。また遺跡の範囲は、台地上の道路建設予定地全域にわたるという結果を得、その旨を静岡県教育委員会に報告した。

（２）　本格的調査

１区　平成５年７月16日～平成６年３月31日　6400㎡

７月16日より表土除去を開始した。調査中の排土を場外処理する都合上、調査区東側に搬出路を設け北側には排土置場を設定した。また調査区の中央（Ｋライン）には配水管が付設されているため、土層帯として約２ｍを残し、８月５日調査を開始した。

休場層は約20ｍごとに設定した土層帯を残して、全面を休場層下層黒色帯まで精査した。その過程で、休場層直下黒色帯に休場層上層が落ち込む土坑を検出した。この土坑は、底部に逆茂木の痕跡が観察され、陥し穴ではないかと考えられている。この後、休場層直下黒色帯の上面において地形測量をおこなった。休場層以下では、試掘調査によって遺物の出土数が少なかったため、10月よりピット調査に切り替え、１グリットに対して３×３ｍのテストピットを４箇所設定し、調査を継続した。このテストピット掘削によって遺物の出土はほとんどなかったが、第Ⅲスコリア帯において土坑が検出された。このため、平成６年１月より土坑検出を目的として、重機による第Ⅲスコリア帯までの掘削を開始した。この結果、４基の土坑を検出している。また、土坑の覆土の土壌分析の対比資料とするために、１区内の中央土層帯よりＹL層～ペアスコリアまでの土壌のサンプリングをおこなっている。

２月に入って、調査区西半の調査が完了したため、排土の仮置場と搬出路・２区の表土除去を開始し、３月末日に１区の全調査を終了した。

２区　平成６年４月１日～７月20日　2200㎡

１区において、休場層で石器のブロックを検出していたため、４月より６月中旬まで休場層の精査をおこなった。この結果、頁岩を中心とした石器ブロックが６基検出されている。

地形測終了後、６月中旬よりBB０層以下のテストピット調査を開始した。BBⅠ層において２基の石器ブロックが検出されたほか、SCⅢ層においてもBBⅢ層に掘り込み面があると考えられる土坑が検出された。このため、７月上旬より重機によってSCⅢ層までを土坑検出のために掘削する作業に入った。検出された土坑は３基で、１区のものと合計すると７基となり、ほぼ尾根を横断するように配置してい

ることが確認された。

3区　平成6年7月20日～11月20日　3100㎡

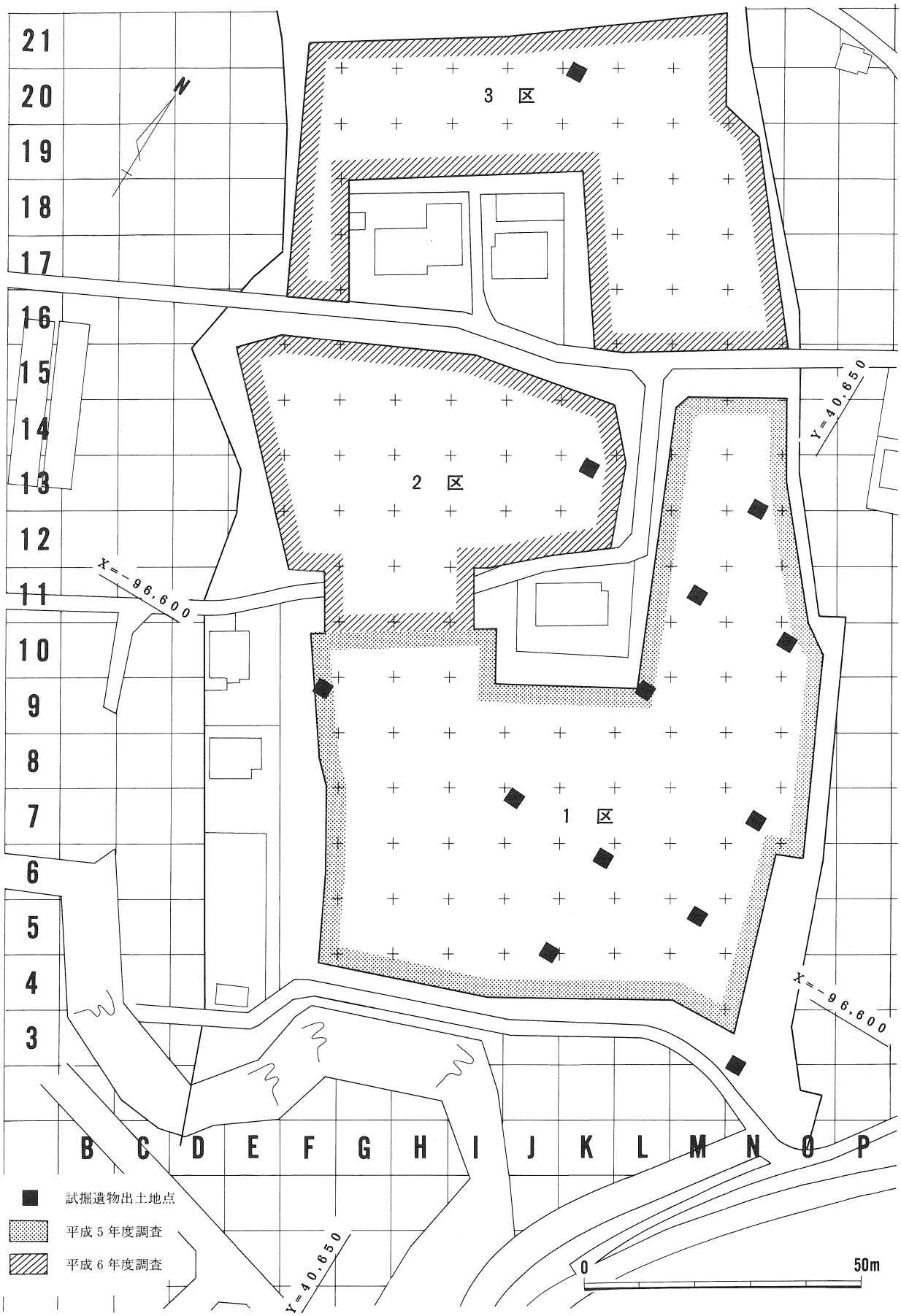
3区は表土除去をおこなったところ、休場層が尾根の縁辺部において崩落していることが確認されたため、休場層の残る尾根の中央部において精査をおこなった。各グリットに4箇所設定したテストピット調査のあと、重機によってSCⅢ層まで掘削したが、土坑の検出はなかった。このあと、航空写真を撮影し、11月20日に調査の全工程を終了した。

表1　作業工程表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成3年度										試掘調査		
平成4年度												
平成5年度									1区現地調査			
平成6年度	2区現地調査				3区現地調査							
	資料整理											

表2　遺構・遺物一覧表

時代	遺構		遺物		
縄文	住居跡	1	石匙・・・1	石皿・・・2	石鏃・・・11
	土坑	14	打製石斧・・・1	局部磨製石器・・・1	土器
縄文（草創期）	土坑	4	有舌尖頭器・・・6	石槍・・・1	
旧石器	石器ブロック	16	尖頭器・・・8	石槍・・・1	ナイフ形石器・・・80
	礫群		掻器・・・8	削器・抉入削器・・・15	
			楔形石器・・・11	石刃・・・25	石核・・・34
	土坑	7			



第1図　調査区とグリット配置図（1：1000）

第Ⅱ章　遺跡の概要

第１節　遺跡の位置と歴史的環境

三島市の地勢は、地形や地質的な特質から３つの地域に大きく分けることができる。一つは、三島市の東半分にあたる箱根山西麓地域で、天下の険とうたわれた箱根山は、今から約400,000年前に誕生した古い火山である。二つ目は、三島市街地及びその北側の裾合谷の部分であり、富士山を起源とし今から14,000年ほど前に流下した三島溶岩流による溶岩台地にあたる。そして、三つ目は市街地の南域から田方平野にかけて広がる広大な沖積平野である。

さて、今回調査を行った本遺跡は、箱根山西麓地域に位置している。この西麓地域は、先土器時代から縄文時代の遺跡が数多く確認されており、磐田原台地、愛鷹山東南麓と共に県内における該期遺跡の代表的なものである。近年、山麓地域における大規模なゴルフ場や宅地造成などの開発によって、発掘調査も多くなり、調査の進展が期待される。

箱根山西麓地域の様子を縄文時代にさかのぼって概観すると、まだ狩猟や漁撈をする自然採集経済の段階であった。今から50,000年前頃、箱根山西麓地域は火砕流の流下や火山灰の堆積によって、東麓や他の山麓と比べて緩やかな斜面が形成されており、この為、この地域は縄文時代の人々の日常の生活にとって極めて好適な場所であったにちがいない。これらの遺跡は概ね渓谷に向かって突き出た小舌状台地の突端に見出されている。それは彼等の住居が水と日当りと見晴らしとを立地条件としたからで、そのような場所に竪穴住居や敷石住居からなる集落を形成していた。壱町田の千枚原遺跡や錦田の北山（奥山）遺跡は、その当時の最も代表的な遺跡である。やがて、縄文時代も終り頃になると、人々の生活様式は小集落から大集落へ、集落位置も標高が下降し平野部及び丘陵縁辺部に移行していった。これは、大陸から水稲栽培の文化が伝わり、狩猟採集生活経済活動から水稲農耕経済活動への変遷という生活基盤にあることは言うまでもない。次に本遺跡周辺に位置する先土器時代の遺跡の調査例について概述する。

焼場遺跡Ａ地点（47）

本遺跡と同様東駿河湾環状道路建設に伴う調査で、当研究所が平成３年～４年にかけて試掘、本調査を行った。下原遺跡とは谷を挟んで北側の尾根上にあり、先土器時代から縄文時代の遺跡である。先土器時代の遺構としては、２基の土抗のほか、BBⅡ層とYL層中よりブロックを、遺物としては、ナイフ形石器、槍先形尖頭器等を検出した。縄文時代の遺構としては、竪穴状遺構２基、土坑29基、集礫遺構２基を検出した。また、「平安、鎌倉古道」と考えられる道路状遺構も検出した。

十石洞遺跡（20）

焼場遺跡の西側に隣接し、平成４年度に開校した山田中学校建設に伴い平成元年から平成２年度にかけて発掘調査が行われた。その結果、市内では、最も古い時期の敷石住居跡が検出した。この第１号住居跡は、縄文時代中期末曾利EⅣ式期に比定され、炉を中心に10枚の敷石が配されていた。炉は中央東寄りに位置し、溶岩を利用した非常に堅固な方形の石囲炉である。

初音ケ原遺跡群（36・37・38）

本遺跡は三島市川原ケ谷に位置する先土器時代を中心とした遺跡で、下原遺跡の西側に隣接している。便宜上、国道１号線の北側を初音ケ原A遺跡、南側を初音ケ原B遺跡と呼称して区別している。箱根山西麓の末端丘陵上にあり、その面積は30,000㎡を上回る広範な範囲に及んでいる。同丘陵は箱根山西麓で最も幅の広い緩傾斜な丘陵で、そこには複数の時期にまたがる多くの遺跡が確認されており、これら

丘陵上の遺跡全体を包括して初音ケ原遺跡跡群と呼称している。三恵台の宅地造成、創価学会三島礼拝所等の建設工事に伴うこれまでの一連の発掘調査によって、休場層を初めとし第Ⅳ～Ⅶ黒色帯にかけて８枚の文化層が検出した。A遺跡第１地点最下層の文化層は、これまでのところ箱根山西麓最古の段階に位置づけられている。また、同第２地点では、第Ⅲ黒色帯より、約27,000年前と考えられる土坑９基と、３点の石器を検出し注目された。

北山遺跡（49）

本遺跡は、標高約220mの谷田字台崎に位置し、千枚原遺跡と並んで古くから知られ県東部における縄文時代の代表的な遺跡である。昭和62年の４回目の調査は、農地改良工事に伴う記録保存調査として広範囲に行われ、敷石住居跡を含む住居跡、土坑、配石等を検出した。

加茂・向山遺跡（19）

市が計画する葬祭会館建設事業に伴う記録保存調査として、平成３年に実施した。調査の結果、遺構としては、先土器時代（2.1～1.8万年前）の遺物集中地域（ブロック、礫群）が各１ケ所と縄文時代早期（６千年前）の炉穴や縄文時代中期の住居跡が確認された。

千枚原Ａ遺跡（50）

本遺跡は、三島市壱町田字千枚原にあり、県東部を代表する縄文時代の遺跡として、早くから注目されていた遺跡である。４度目の調査では、敷石住居跡６軒、炉跡多数を発見し、特にＢ１・２号敷石住居跡は保存することが決まり、設計を変更して敷石住居跡の緑地公園として永久に保存されている。また、Ｂ５号住居跡の敷石の間から、土偶の顔面が出土した。

小平Ｃ遺跡（34）

本遺跡は、平成３年、「（仮）県民総合健康センター」建設土地造成工事に伴う記録保存調査として実施された。箱根山西麓地域でも市街地に近く、標高120mの尾根上に位置している。調査の結果、先土器時代については、ＹＬＵ層～ＢＢ０層中に５ケ所のブロック（遺物集中域）を検出した。また、縄文時代については、多量の押型文土器が検出された。

中村分遺跡（31）

本遺跡は、箱根山西麓の笹原地区で計画された畑地帯総合整備事業に伴う記録保存調査として、平成３年～４年にかけて発掘調査が行われた。標高340mに位置し、今から約21,000年前の先土器時代～約5,000年前の縄文時代前期末にかけての複合遺跡である。先土器時代についてはBBⅡ・BBⅢ層まで調査を行った結果、ＹＬＵ層～ＢＢⅠ層中に10ケ所のブロック（遺物集中域）を検出した。縄文時代については、早期前半～前期末の土器、石槍、石鏃、土坑16基を検出した。尚、同予定地内には天台B遺跡があり平成４年～５年にかけて発掘調査が行われ、有舌尖頭器等多数の石器類が検出した。

片平山遺跡群（15・16・17・18）

本遺跡は、箱根山西麓の中腹部（標高210～310m）に位置し、９遺跡（徳倉片平山L（16）・徳倉片平山K（15）・ソノエンサレB（14）・片平山（13）・徳倉片平山H（51）・徳倉片平山Ⅰ（11）・中村C（12）・徳倉片平山B（10）・徳倉片平山J（52））の総称である。ゴルフ場造成に伴う発掘調査で、昭和60年～61年にかけて実施された。

大部分が、先土器時代～縄文時代の遺跡で主に休場層より、ナイフ形石器・細石刃石核・細石刃等が検出した。縄文時代の住居跡も、６軒検出された。

観音洞遺跡群（22～30・54）

ゴルフ場造成に伴う発掘調査で、発掘作業員120名を投入した市、始まって以来の大規模なものであった。本遺跡は、10遺跡（五輪（53）、観音洞G第1（22）・２（23）地点、元山中C（24）、陰洞A（27）、陰洞B（25）、陰洞C（26）、陰洞E（29）、観音洞B（28）、観音洞H（30））の総称で、元山中集落北東

に位置し、昭和62年～平成元年にかけて実施した。10遺跡は、先土器時代～縄文時代の遺跡であるが、一部、弥生時代（観音洞G）、弥生～平安時代（陰洞E）も含む複合遺跡である。

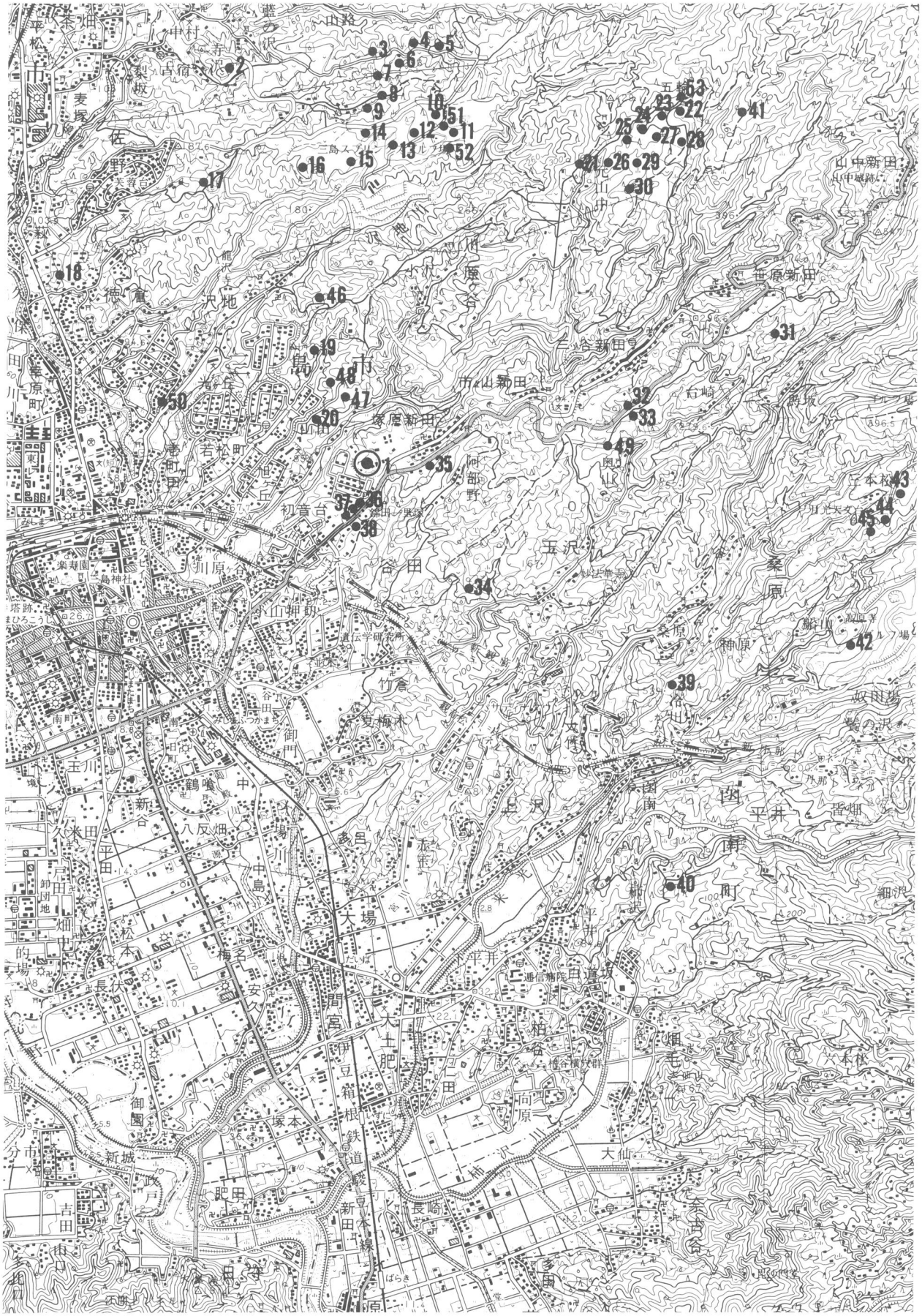
観音洞B遺跡からは吊手土器とデポ（埋納遺構）が検出された。5軒からなる環状集落の第2号住居跡から出土した吊手土器は、縄文時代の精神活動を示す特徴的な土器であり、県内出土は3例と極めて少ない。完全な形で出土し、平成3年に市の指定文化財に指定された。また、休場層から検出されたデポ（埋納遺構）は掘り込みの中に拳大の黒耀石原石と石核が合計10個埋納されており、黒耀石の消費地での発見はこれが初めてである。

北原菅遺跡（41）

本遺跡は、三島市立箱根の里建設工事に伴う記録保存調査として昭和59年～60年にわたって実施し、先土器時代～縄文時代の遺跡であることが判明した。旧石器時代のナイフ形石器・槍先形尖頭器、縄文時代の土器片が集石・陥穴状土坑と共に検出された。

表3　周辺の遺跡

番号	遺跡名	番号	遺跡名	番号	遺跡名
1	下原	19	加茂・向山	37	初音ケ原A　第2地点
2	乾草峠	20	十石洞	38	初音ケ原B　第1地点
3	陣笠山A	21	元山中	39	中原
4	佐野片平山G	22	観音洞G　第1地点	40	根場
5	佐野片平山F	23	観音洞G　第2地点	41	北原菅　A地点
6	佐野片平山H	24	元山中C	42	上黒岩
7	陣笠山H	25	陰洞B	43	柳沢B
8	佐野片平山S	26	陰洞C	44	柳沢C
9	佐野片平山T	27	陰洞A	45	柳沢D
10	徳倉片平山B	28	観音洞B	46	加茂ノ洞B
11	徳倉片平山I	29	陰洞E	47	焼場A
12	中村C	30	観音洞H	48	焼場B
13	片平山	31	中村分	49	北山
14	ソノエンサレB	32	奥山	50	千枚原A
15	徳倉片平山K	33	笹原F	51	徳倉片平山H
16	徳倉片平山L	34	小平C	52	徳倉片平山J
17	徳倉片平山E.	35	塚原南原	53	五輪
18	徳倉片平山D	36	初音ケ原A　第1地点		



第２図　下原遺跡と周辺の遺跡（1：25000）

第２節　基本土層

箱根山西麓に堆積するローム層は、「箱根西麓ローム層」と呼称され、上から順に上位・中位・下位ローム層に分けられている。そして上位ローム層をさらに２分して、それぞれ上からＵ１・Ｕ２・Ｍ・Ｌロームと略称している。現在遺物・遺構が検出されているのはＵ１ローム層からであり、この層は愛鷹ローム層の上部ローム、関東ローム層の立川ロームに対比されている。

このＵ１ローム層は古期富士火山が主たる供給源と考えられており、黒色帯とスコリア層の互層となっている。愛鷹山麓とほぼ同様の堆積状況が確認できるが、黒色帯の確認枚数が異なり、黒色の発色が弱いのも特徴である。

本遺跡は畑作による耕作のために、休場層上層まで撹乱がおよんでおり、富士黒土層は部分的に残るのみであり、安定した堆積をみせるのは休場層下層からとなる。以下に各層ごと解説を加えるが、層名は愛鷹山南麓に準じた。また第３図に遺跡の土層柱状図と土壌の鉱物分析の結果を並載した。

第１層　表土　耕作土

第２層　富士黒土層a（FBa）　やや褐色をおびる黒色土で、カワゴ平パミスと考えられるφ0.1～0.2㎝の白色パミスを少量含んでいるが、これは上部の層からの混入と考えられる。

第３層　富士黒土層b（FBb）　暗褐色土でφ0.1～0.2㎝の橙色スコリアを少量含む。漸移的に休場層に変化し、不安定な堆積状況を示す。

第４層　休場層上層（YLU）　明黄褐色ローム層で、粘性がありパウダー状を呈する。スコリアの含有量は少ない。また黄色の発色は３層に分層したなかで最も鮮やかで、斑紋状に明暗色が混ざりあっているように見えるのが特徴である。また下部からは立川ローム層最上部ガラス質火山灰（UG）に対比される可能性のあるテフラの降灰層準が推定されることから、堆積年代は約1.2万年前頃と考えられる。

第５層　休場層中層（YLM）　黄褐色ローム層でφ0.1～0.3㎝の橙色スコリア、茶褐色スコリアを少量含む。全体的に上層に比べ硬くなる。また重鉱物分析より、カンラン石の極小とその他の最大が対比指標となって愛鷹山南麓のＹＬＭの中位とほぼ確実に対比できるという結果が報告されている。

第６層　休場層下層（YLL）　暗黄褐色ローム層でφ0.2～1.0㎝の橙色スコリア、黒色スコリアを多量に含む。

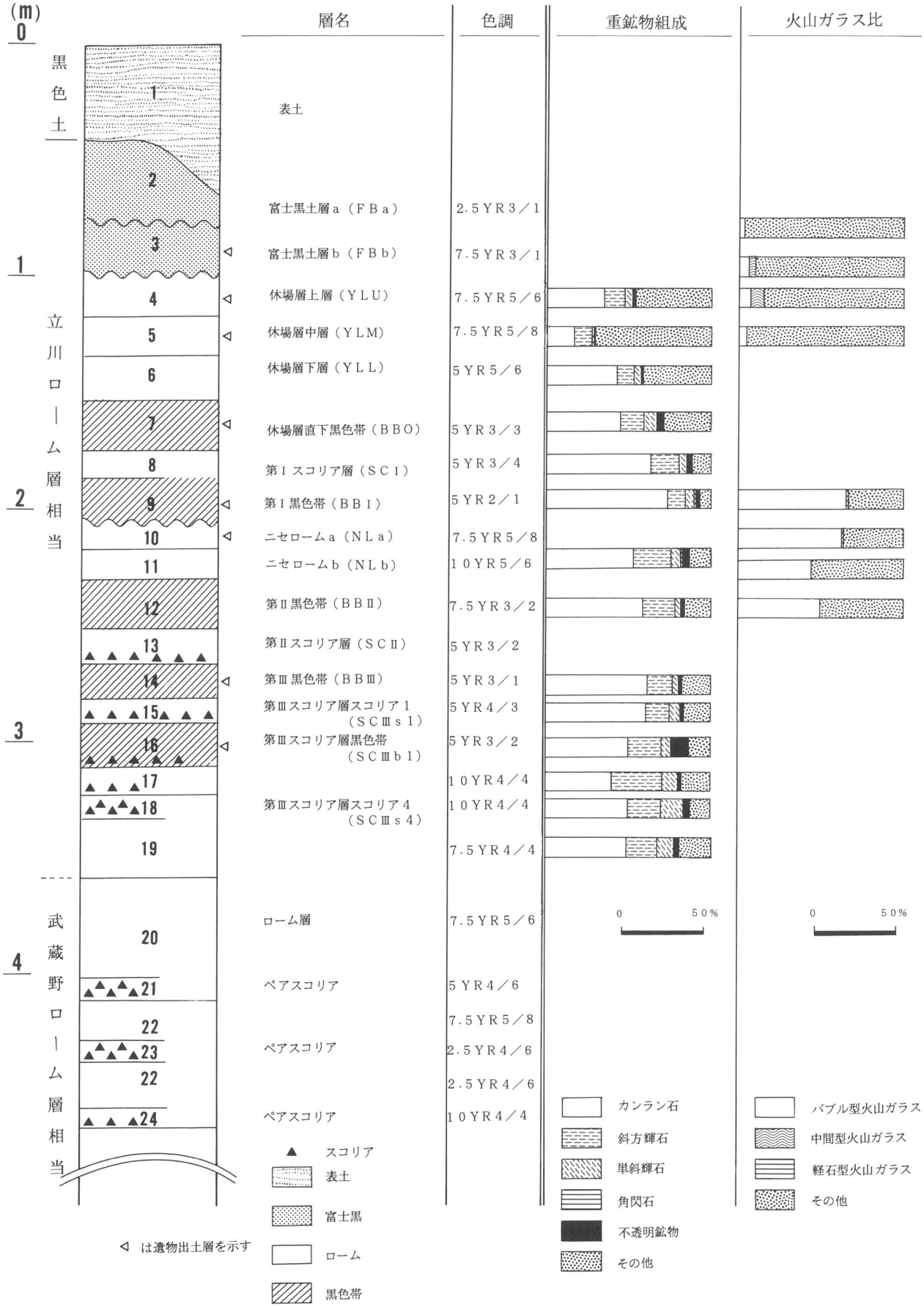
第７層　休場層直下黒色帯（BB０）　暗赤褐色硬質ローム層で、φ0.2～1.0㎝の黒色、黄色、赤色のスコリアを多量に含む。乾燥するとクラックを生じ、しまりは弱い。部分的に第Ｉスコリア層のスコリアが混入する。草創期の土坑の検出面である。

第８層　第Ｉスコリア層（SCＩ）　赤褐色スコリア層で、本遺跡では層状に確認することはなく、ブロック状に認められる。

第９層　第Ｉ黒色帯（BBＩ）　黒褐色硬質スコリア質層で、φ0.2～0.5㎝の橙色スコリア、黄色スコリア、黒色スコリアを多量に含む。乾燥するとブロック状に崩壊する性質がある。放射性炭素年代測定により18,030±450年BPの年代が与えられており、重鉱物分析によると、カンラン石の極大が対比指標となり、愛鷹山南麓のBBＩと対比できる。

第10層　ニセロームa（NLa）　明黄褐色スコリア層で、φ0.2～0.5㎝の橙、黒、赤色スコリアから成る。

第11層　ニセロームb（NLb）　黄褐色スコリア質層で、NLaと同様にφ0.2～0.5㎝の橙、黒、赤色ス


(m)
0
1
2
3
4
黒色土
立川ローム層相当
武蔵野ローム層相当
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
22
24
層名
色調
重鉱物組成
火山ガラス比
表土
富士黒土層a（FBa）
2.5YR3／1
富士黒土層b（FBb）
7.5YR3／1
休場層上層（YLU）
7.5YR5／6
休場層中層（YLM）
7.5YR5／8
休場層下層（YLL）
5YR5／6
休場層直下黒色帯（BBO）
5YR3／3
第Ⅰスコリア層（SCⅠ）
5YR3／4
第Ⅰ黒色帯（BBⅠ）
5YR2／1
ニセロームa（NLa）
7.5YR5／8
ニセロームb（NLb）
10YR5／6
第Ⅱ黒色帯（BBⅡ）
7.5YR3／2
第Ⅱスコリア層（SCⅡ）
5YR3／2
第Ⅲ黒色帯（BBⅢ）
5YR3／1
第Ⅲスコリア層スコリア1（SCⅢs1）
5YR4／3
第Ⅲスコリア層黒色帯（SCⅢb1）
5YR3／2
10YR4／4
第Ⅲスコリア層スコリア4（SCⅢs4）
10YR4／4
7.5YR4／4
ローム層
7.5YR5／6
ペアスコリア
5YR4／6
7.5YR5／8
ペアスコリア
2.5YR4／6
2.5YR4／6
ペアスコリア
10YR4／4
0
50%
0
50%
カンラン石
斜方輝石
単斜輝石
角閃石
不透明鉱物
その他
バブル型火山ガラス
中間型火山ガラス
軽石型火山ガラス
その他
スコリア
表土
富士黒
ローム
黒色帯
◁ は遺物出土層を示す

第3図　基本土層柱状図

コリアから成るが、スコリアの粒径が小さくなり、密度が薄くなる。a層とb層の層境下部に姶良・丹沢広域火山灰（AT）のブロック（φ1～4㎝）が視認できる。

第12層　第Ⅱ黒色帯（BBⅡ）　黒褐色スコリア質層で、φ0.1～0.5㎝の橙色スコリアを含み、φ0.1～0.2㎝の黒色・黄色スコリアも少量認められる。

第13層　第Ⅱスコリア層(SCⅡ)　暗赤褐色スコリア層φ0.2～0.8㎝の橙色スコリアからなる。BBⅡ、BBⅢとの層界は不明瞭でブロック状に現われる地点もある。

第14層　第Ⅲ黒色帯（BBⅢ）　黒褐色スコリア質層で、SCⅡと類似するφ0.2～0.8㎝の橙・黄色スコリアを含む。SCⅡとの層界はスコリアの頻度をもって分層する。土坑の掘り込み面と考えている層であり、石器ブロックが1基検出されている。

第15層　第Ⅲスコリア帯スコリア1（SCⅢs1）　にぶい赤褐色スコリア層で、φ0.2～0.3㎝の橙色スコリアを多く含む。部分的にブロック状に出現することもある。また重鉱物分析の結果より、カンラン石の量比の変化が対比指標となって、愛鷹山南麓のSCⅢs1とほぼ対比できるようである。

第16層　第Ⅲスコリア帯黒色帯1（SCⅢb1）　暗黒褐色スコリア質層で、φ0.2～0.3㎝の橙色スコリアを含み、SCⅢ層に特徴的なφ0.5～0.8㎝の黒色スコリアが観察できる。

以上第16層までは、ほぼ愛鷹山南麓の土層と対比できるが、愛鷹山南麓のSCⅢの下半部において発達する黒色帯は、下原遺跡では観察できない。また同一尾根上に立地する初音ヶ原遺跡とも若干の異なった堆積状況を示す。以下に現地での所見を記す。

第17層　暗黄褐色スコリア質層　φ0.2～1.3㎝の黒色スコリアを主体として、φ0.1～0.2㎝の橙・赤色スコリアを含む。

第18層　暗黄褐色スコリア層　17層に含まれるスコリアの純層である。ロームをほとんど含まず、非常に硬質である。ブロック状に確認され、層厚は一定しない。愛鷹山南麓においてもSCⅢs4と呼ばれる第Ⅲスコリア帯中でもっとも硬質な層があり、本層に対応すると考えているが、重鉱物分析においてはむしろ第17層に対応するという報告結果を得ている。今後この対比については検討の余地がある。

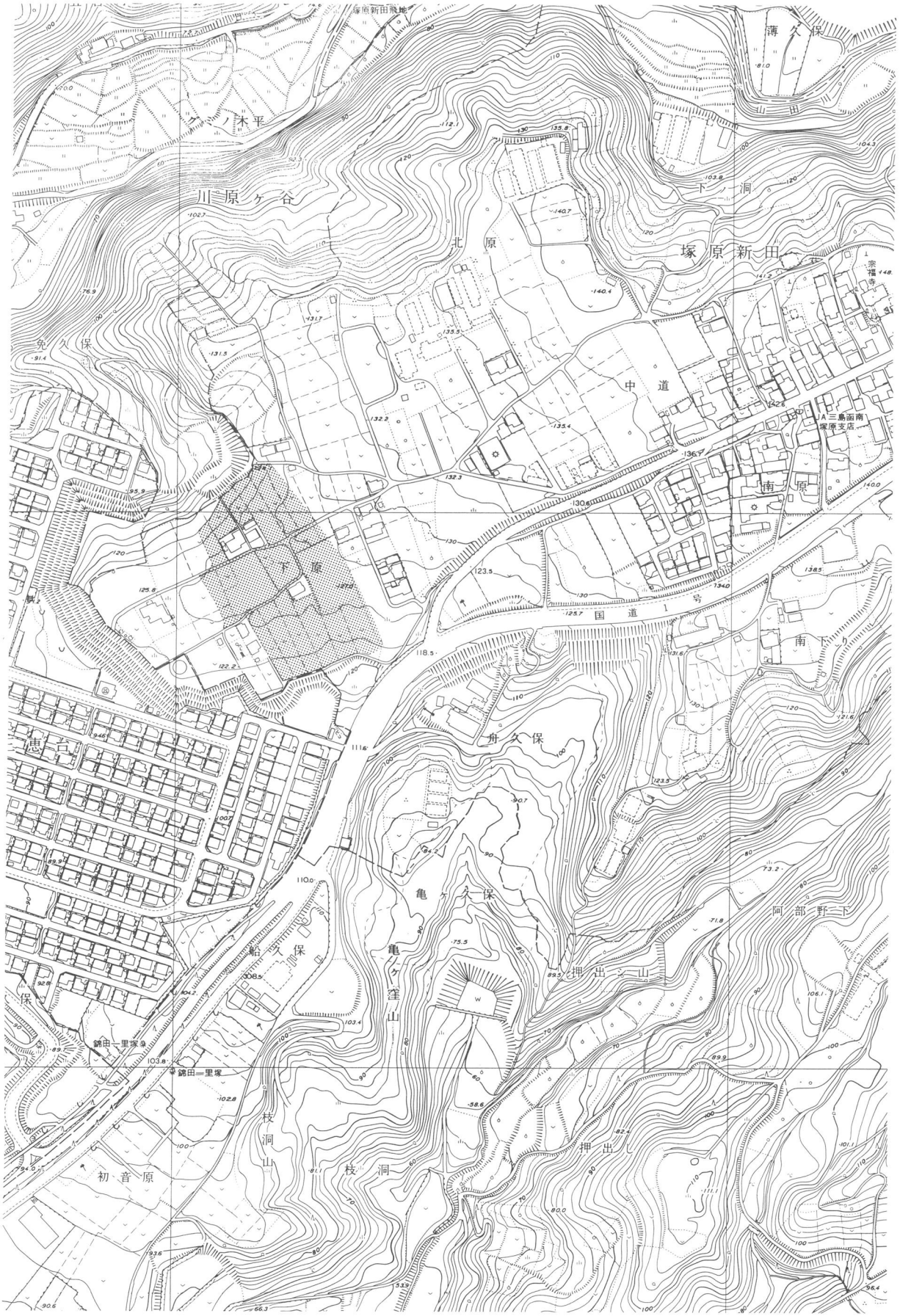
第19層　褐色スコリア質層　φ0.1～0.5㎝の赤色スコリア、φ0.2～0.7㎝の黒色スコリアを含み、スコリアの含有量は漸移的に下層に向かって少なくなる。カンラン石の量比変化と両輝石の少なさおよび単斜輝石の斜方輝石に対する量比の多さなどの傾向は愛鷹山南麓のBBⅦと中部ロームの層界付近に認められるという報告結果を受けている。よって第19層は、U1ローム層の最下部に対比される可能性が高い。

第20層　明褐色ローム質層　φ0.1～0.2㎝の発泡した赤色スコリアを含み、第21層の赤色スコリアブロックが部分的に含まれる。第19層との層界は不明瞭で、SCⅢ層に特徴的な黒色スコリアの有無で分層した。

第21層　ペアスコリア　赤褐色スコリア層で、ブロック状に検出される。

第22層　明褐色ローム質土　φ0.1～0.3㎝の赤色スコリアを含むローム層。

第23層　第24層　ペアスコリア　赤褐色スコリア層で、ブロック状に検出される。ペアスコリアは本遺跡ではブロック状に3層が確認されているが、遺跡の立地によっては純層に近いかたちや、2～4層に分かれて確認されている。また最下部では含雲母グリース状火山灰（Gr）に由来するものと考えられる褐色黒雲母が検出されており、以下が武蔵野ローム層と対比されるという報告も受けている（『下原遺跡Ⅱ』に掲載予定）。



第4図　下原遺跡と周辺の地形（1：5000）

第３節　遺跡の土層堆積状況

箱根山は約40万年前に誕生した火山で、箱根山第３期の火山活動（約５万年前）の箱根新期軽石流によって現在の西麓の比較的緩やかな傾斜の地形が形成された。その上には古富士火山起源のローム層が厚く堆積している。またこの地域は狩野川の支流になる河川によって開析され、箱根山から樹根状に延びる尾根地形を作り出している。

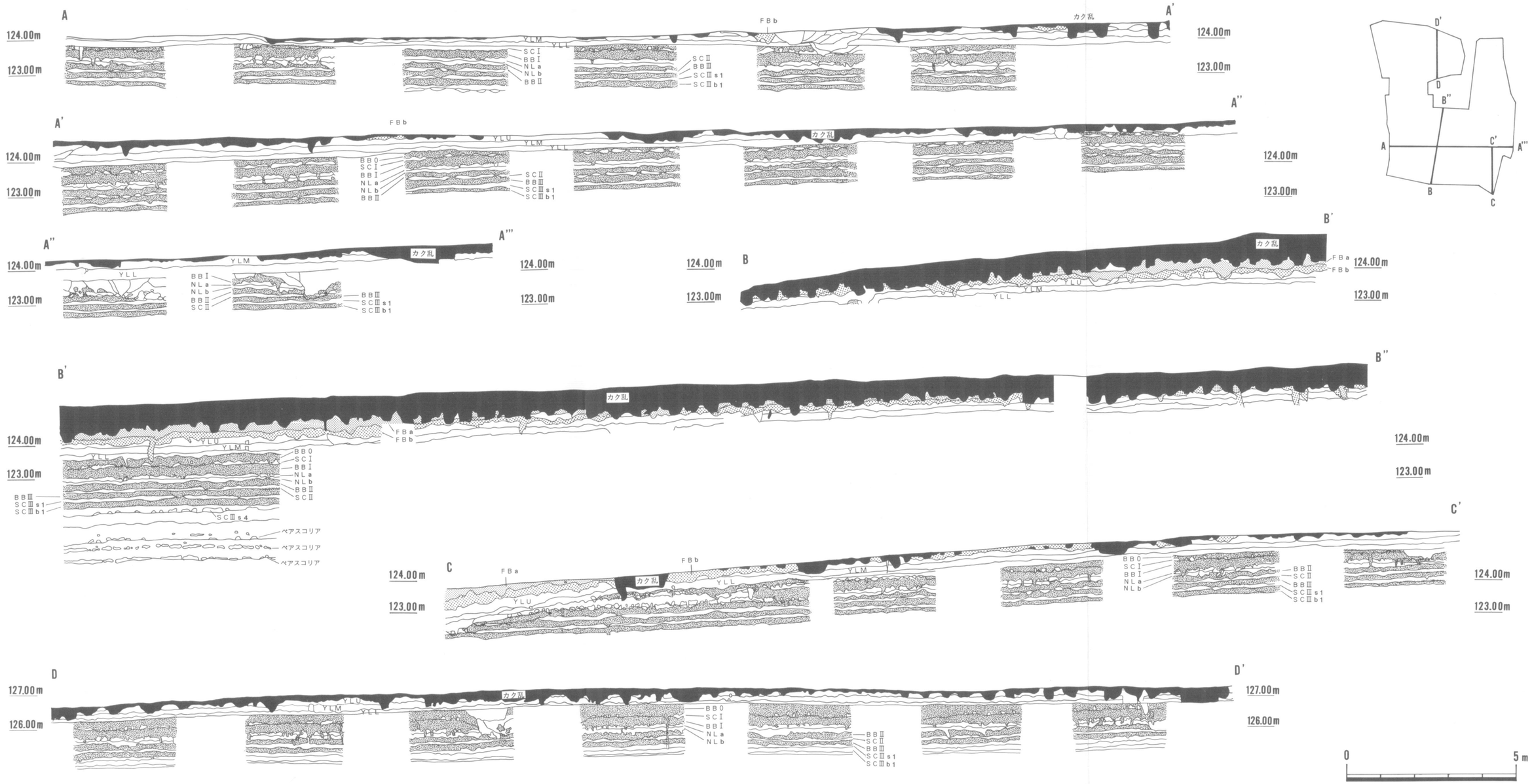
下原遺跡はこれらの尾根の中でも比較的広い尾根の中腹、標高約122～127mの平坦地に位置する。発掘の結果FB層までは耕作によって撹乱を受けていたが、休場層以降からは良好な堆積状況を示すことが明らかになった。また１区・Ｍ４グリット付近と、３区の21ライン上において斜交地形が観察された。これらは休場層直下黒色帯から浸食が始まっているもので、休場層は通常の堆積状況が確認された。このことから、現在の地形は休場層堆積以前に形成されたものと考えることができる。平坦地の土層堆積状況は第１節の基本土層に準じており、休場層堆積以前、以降とも北から南方向へ約２度36分緩やかに傾斜して堆積する。

第４節　遺構の概要

縄文・旧石器時代の遺構・遺物が検出されている。縄文時代の包含層である富士黒土層が、耕作等の撹乱のためそのほとんどが失われていたために、遺物の原位置は保存されていなかったが、尾根の縁辺部に住居跡を１基確認した。また休場層直下黒色帯において休場層の落ち込みとして、逆茂木の施設を持つ土坑を４基検出した。この土坑と共に有舌尖頭器が出土したために、草創期の陥穴であると考えている。

旧石器時代の遺物は、休場層から第Ⅲスコリア層まで各層で出土している。特に休場層から出土した遺物は数において本遺跡の主体をなすものである。遺物は、ＹＬＭ中位からＹＬＭ上位にかけて、遺跡の休場層が残る部分のほぼ全域において出土した。石器の出土は全体的に散漫であるが、大きく４箇所の遺物集中地点からなり、さらに細分すると16箇所のブロックに分割できる。石材については全体の55％を黒耀石、30％を頁岩が占め、黒色緻密安山岩、チャートがつづく。黒耀石の原産地分析を測定可能な資料約700点においておこなったところ、伊豆・箱根・長野など６箇所の原産地が判明した。この原産地分析の結果をもとに個体別分類をおこなったところ、黒耀石だけでも29種類、この他に分類可能なチャートを入れると実に45の個体別資料に分類することができた。これらは、遺跡周辺で採取できる頁岩製の石器とは対照的に、黒耀石については遺跡内において石器製作の痕跡をほとんど残さない消費地遺跡の特徴を示した。また、礫群は散漫であり、石器ブロックの分布と重なる。

第Ⅲ黒色帯においては土坑が７基検出されている。これらは、同一尾根上に立地する初音ヶ原遺跡で検出された列状に弧を描いて並ぶ土坑群と、同様の性格を持つと考えられている。当遺跡においても、個々の間隔はまちまちだが尾根を横断するように配列して検出された。これらの土坑は、平成４年度に調査された焼場遺跡、現在調査中の加茂ノ洞B遺跡においても確認されており、後期旧石器時代初めの箱根西麓の文化様相を知る上でも注目される遺構である。



第５図　土層堆積図（1／100）

第Ⅲ章　縄文時代の遺構と遺物

第１節　富士黒色土層の遺構と遺物

縄文時代の遺構は住居跡１軒、土坑14基が確認され、住居跡周辺からは土器が出土した。しかし、これらは弥生時代以降現代までの撹乱を受けており、遺存状態は良好ではない。以下に遺構別に概要を述べる。

１号住居跡（第７図）

尾根の縁辺部、Ｍ４グリットに位置している。休場層に富士黒土層が落ち込むかたちで検出されたが、谷への傾斜部のために南東部の壁、壁溝は確認されなかった。

〈規模・形状〉　南北2.9m、東西3.1m　隅丸方形を呈する。

〈床〉　貼床。床面レベル約123.4m。面的には確認できなかったので土層断面によって確認した。壁溝は床面より約20㎝の深さに掘りこまれており、底部には小ピットも観察できる。

〈柱穴・炉〉　柱穴は、主柱穴４基の他に壁溝にともなって小ピットが検出された。炉は住居跡のほぼ中央にあり、床面より約15㎝掘り込まれている。焼土が堆積しており、底面は受熱によって褐色に変色している。

〈遺　物〉　石器としては縦型の石ヒ１点、黒耀石の残核１点、石皿１点、敲石２点、磨石１点、凹石１点（第８・９図）の他に黒耀石のチップが多数出土した。３の敲石は折損しており、円礫の縁辺部を敲石に利用し、平坦部を磨石として使用している。４も凹石と敲石の複合石器である。７の石皿は、折損しているが炉付近において出土した。土器は破片が９点出土した（第13図12・13）。内８点は接合し、同一個体であると考えられる。いずれも諸磯b式である。

土　坑（第10～12図）

14基が検出された。いずれも休場層に富士黒土層が落ち込むかたちで検出された。逆茂木等の下部施設の痕跡は観察されない。

遺構外出土の遺物

〈土　器〉　破片が12点出土している（第13図）。

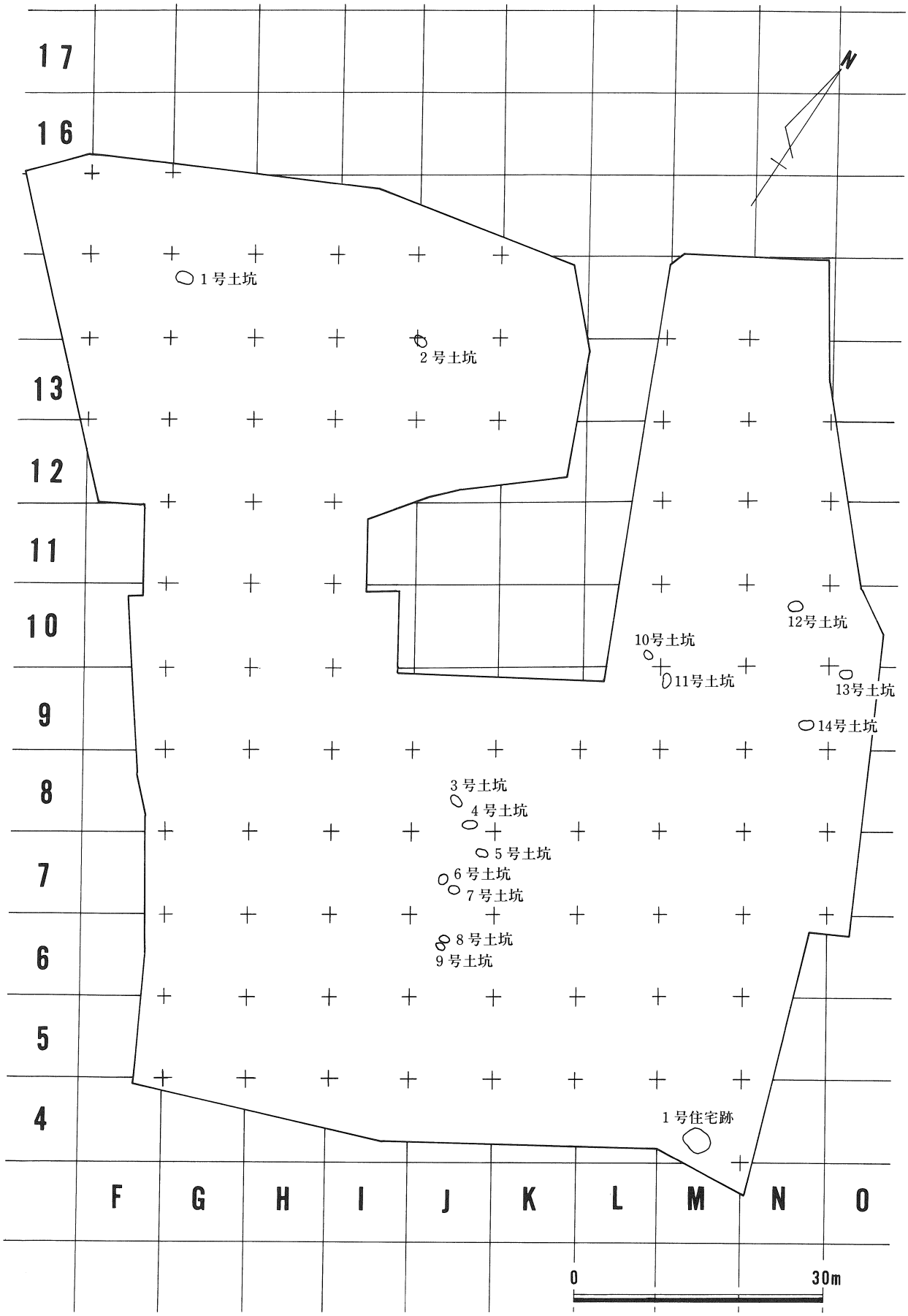
１～12は諸磯ｂ式と考えられる。いずれも１号住居跡周辺から出土している。14は表採資料である。五領ヶ台式と考えられる。

〈石　器〉　石鏃11点、打製石斧１点、局部磨製石器１点が出土している（第14図）。

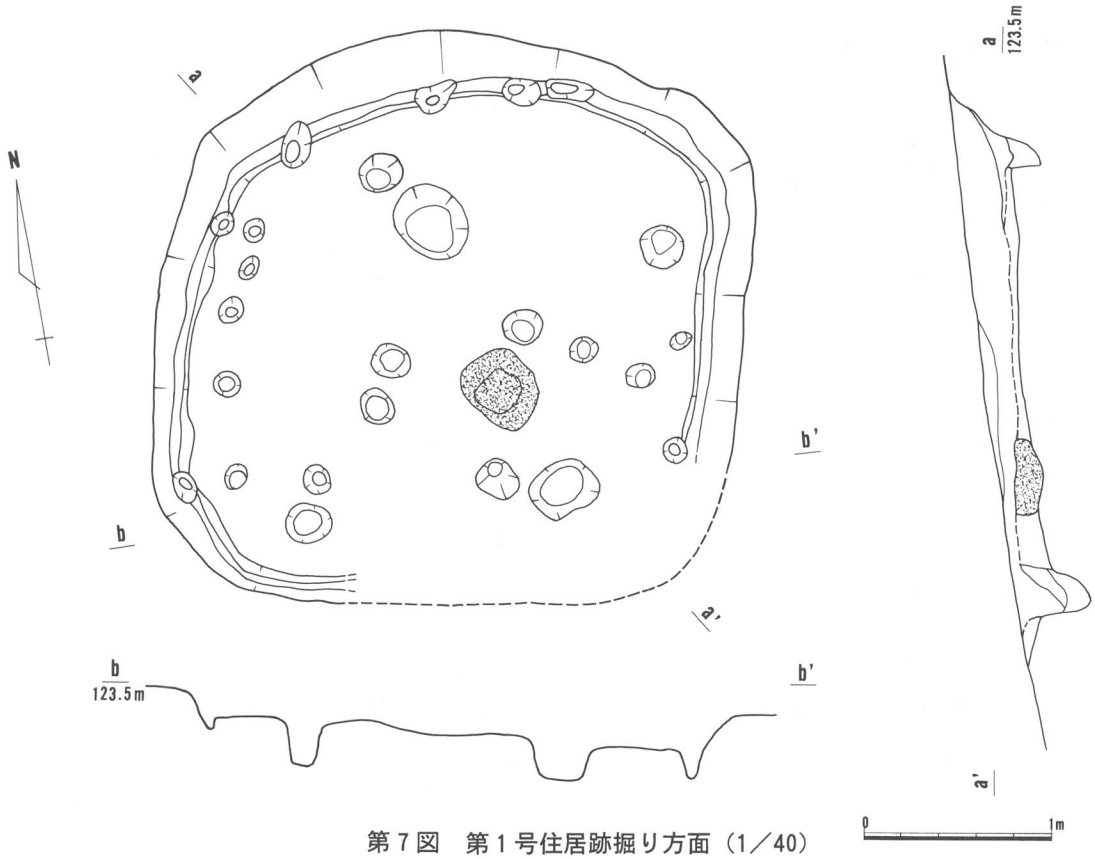
石鏃は１が基部が丸みをおびる（円基鏃）の他は、全て基部に抉入のある凹基無茎石鏃である。

13の石斧は安山岩製の打製石斧で、側縁部には着柄痕と考えられる潰れが観察できる。刃部が欠損している。

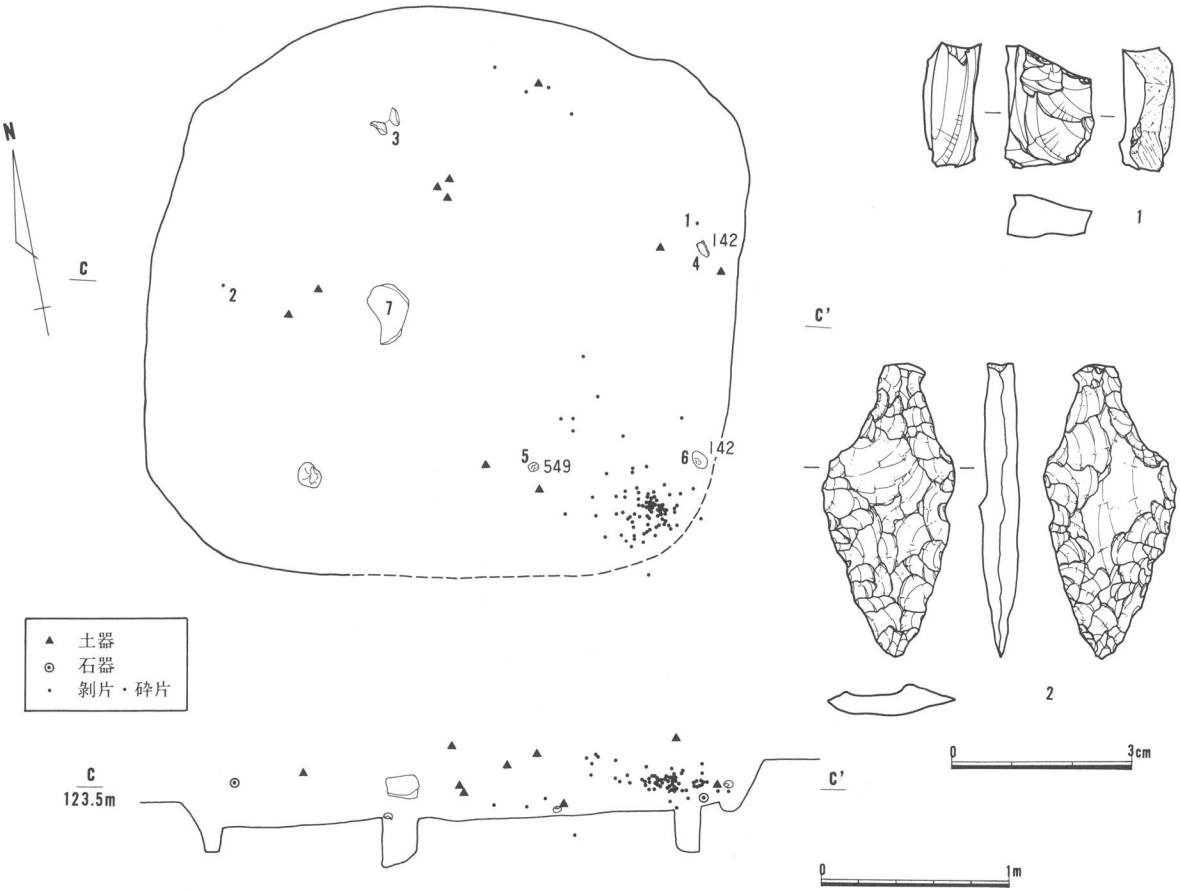
12は局部磨製石器、即ちトロトロ石器である。チャート製で、両面を石器縁辺部から丁寧な調整を施す。左脚部が欠損する。体部中央と側縁部には器種名の由来でもある磨き（あるいは使用痕か）が観察され（図中網かけ部）、特に体部は、剥離面の稜線が見えにくくなっている部分もある。従来より注意されてきた、押型文土器との共伴は本遺跡では見られない。



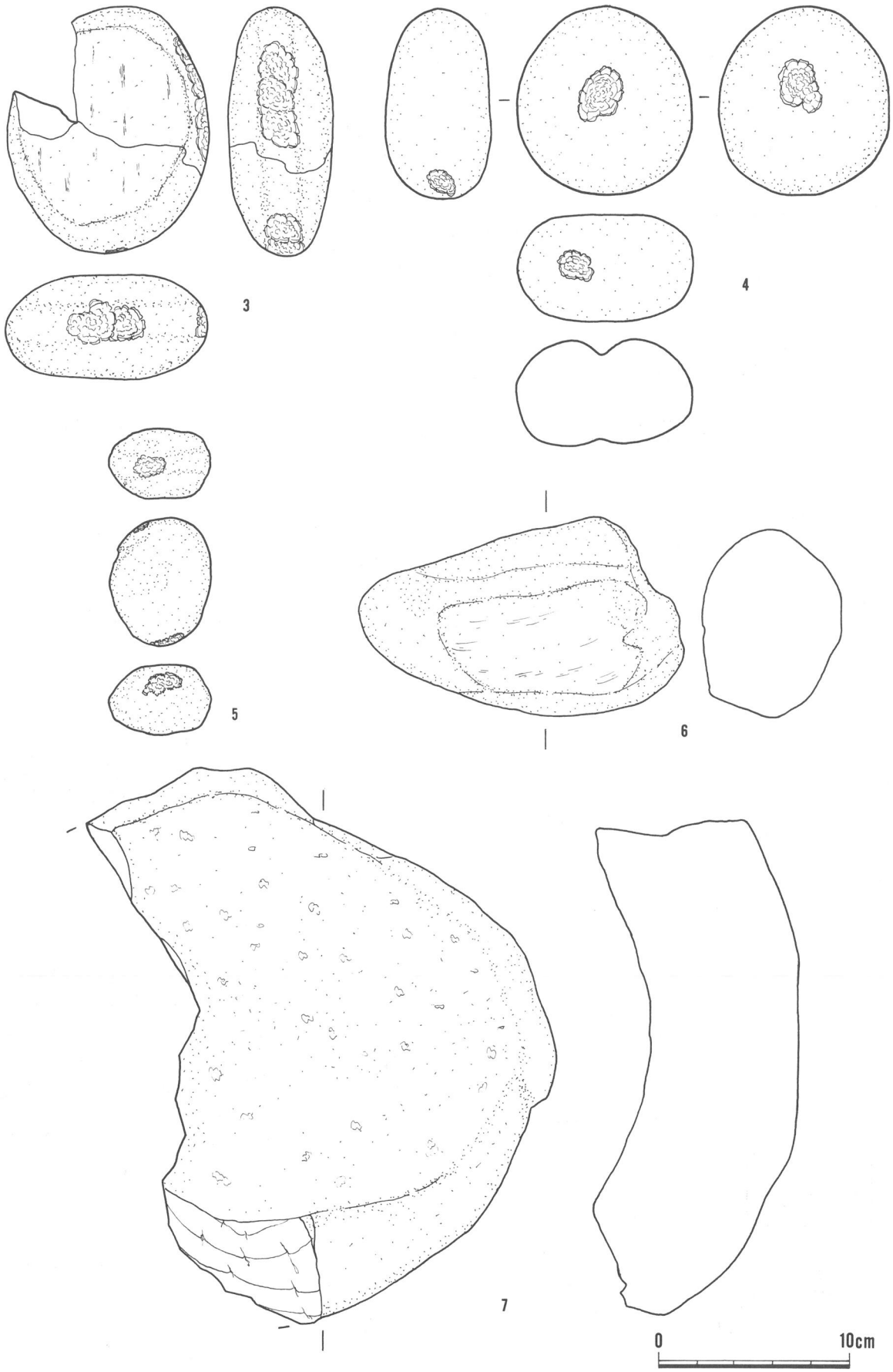
第6図　ＦＢ層遺構全体図



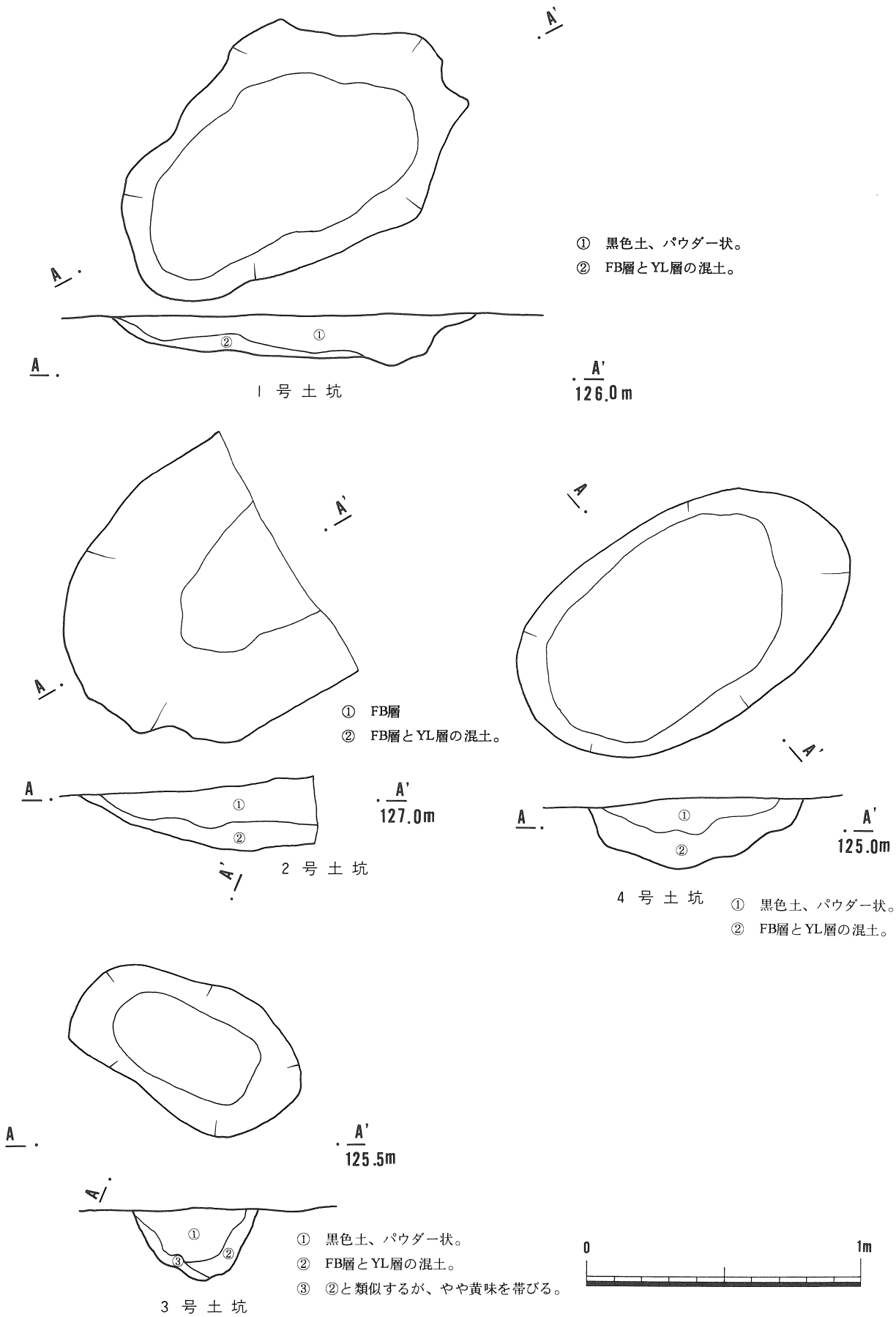
第７図　第１号住居跡掘り方面（1／40）



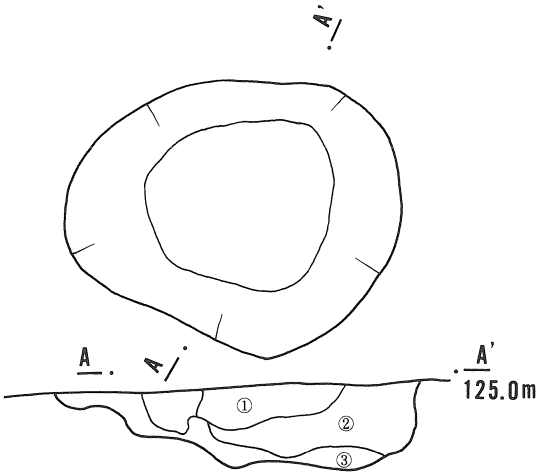
第８図　第１号住居跡遺物出土状況図（1／40）



第９図　第１号住居跡出土石器（1／3）

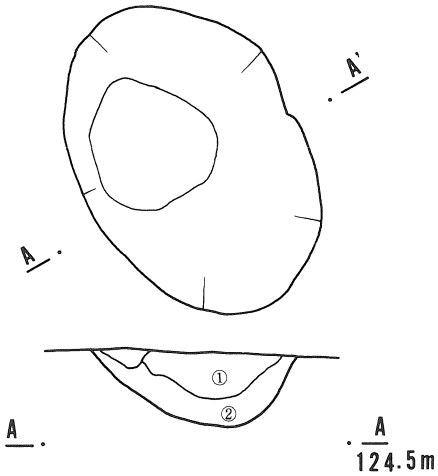


第10図　ＦＢ層土坑図１（1／20）



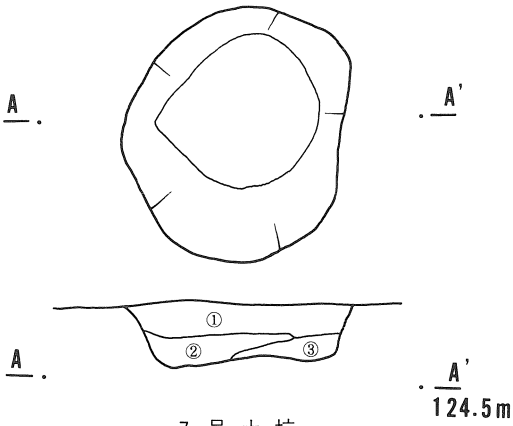
5 号 土 坑

① 黒色土、パウダー状。
② 暗茶色土、パウダー状。
③ FB層とYL層の混土。



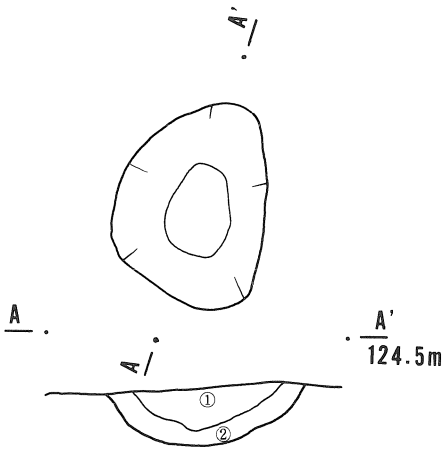
6 号 土 坑

① FB層
② FB層とYL層の混土。



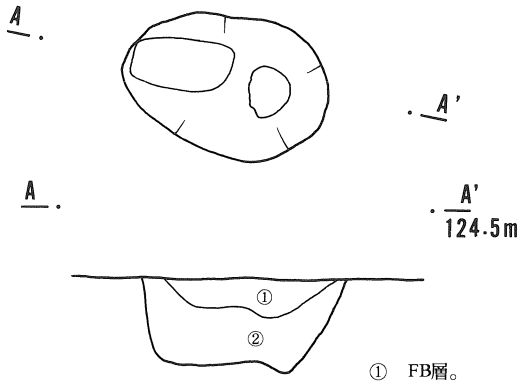
7 号 土 坑

① FB層
② FB層とYL層の混土。



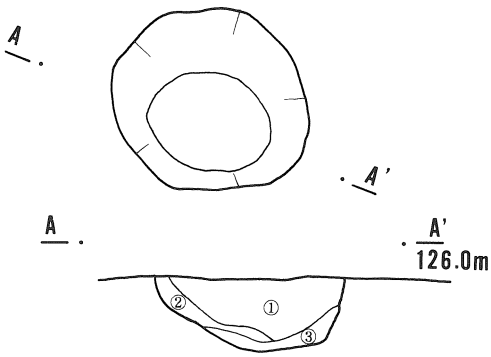
8 号 土 坑

① 黒色土（FB層）
② FB層とYL層の混土。



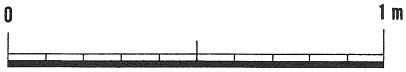
9 号 土 坑

① FB層。
② FB層とYL層の混土。

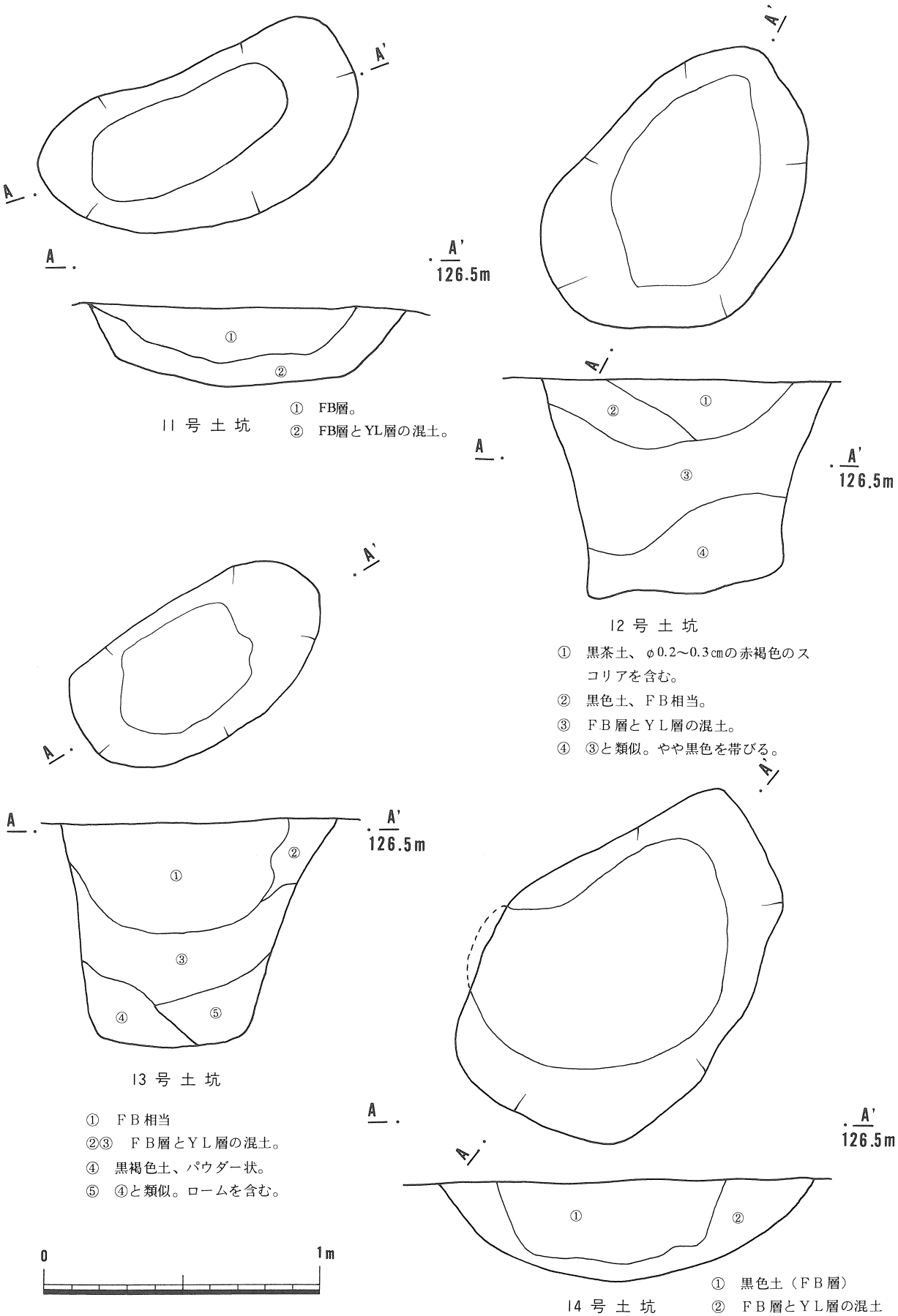


10 号 土 坑

① ローム質土
② FB層とYL層の混土。φ 2～3 ㎜のスコリアを含む。
③ FB層とYL層の混土。



第11図　ＦＢ層土坑図２（1／20）



11 号 土 坑

① FB層。
② FB層とYL層の混土。

12 号 土 坑

① 黒茶土、φ0.2～0.3㎝の赤褐色のスコリアを含む。
② 黒色土、ＦＢ相当。
③ ＦＢ層とＹＬ層の混土。
④ ③と類似。やや黒色を帯びる。

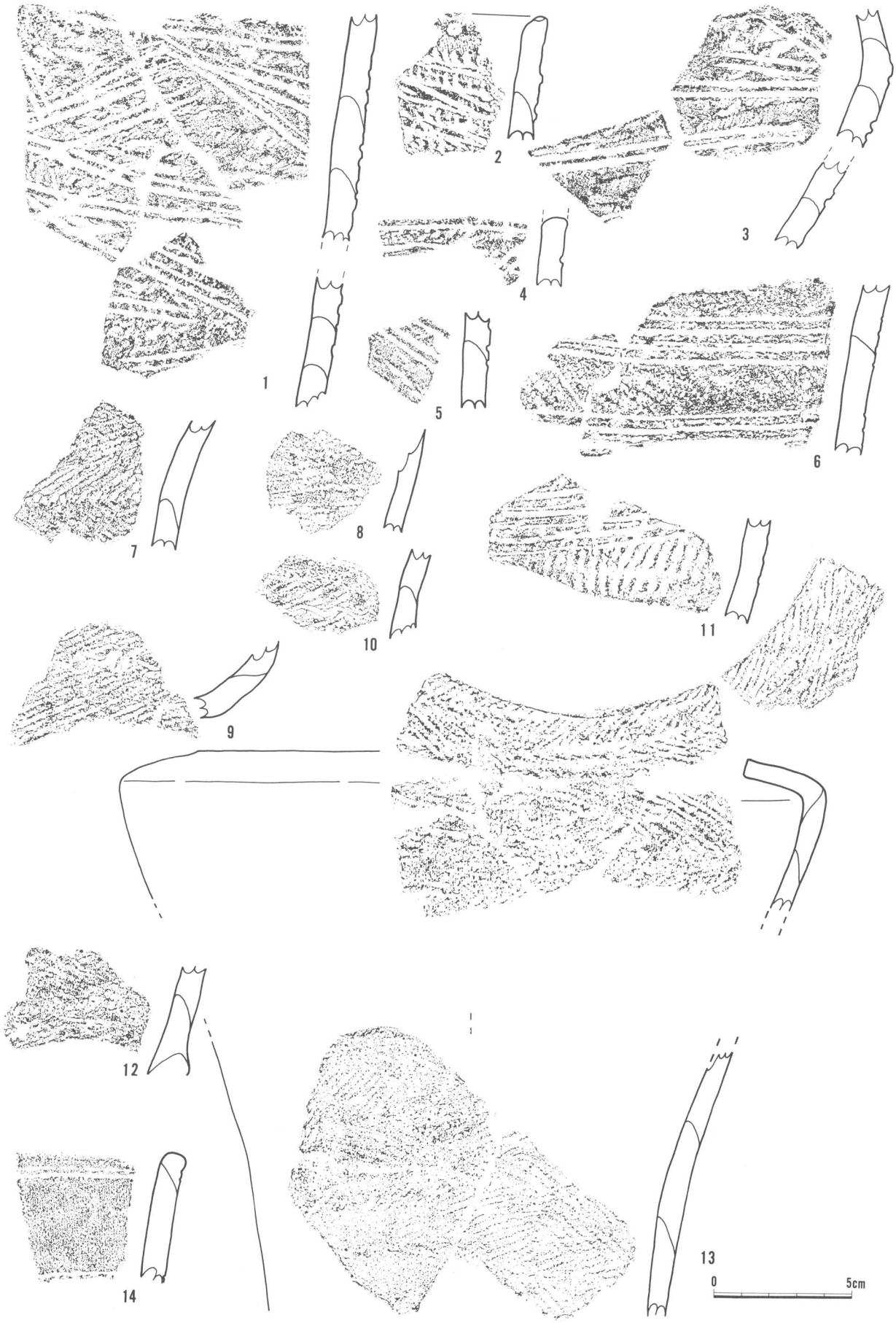
13 号 土 坑

① ＦＢ相当
②③ ＦＢ層とＹＬ層の混土。
④ 黒褐色土、パウダー状。
⑤ ④と類似。ロームを含む。

14 号 土 坑

① 黒色土（ＦＢ層）
② ＦＢ層とＹＬ層の混土

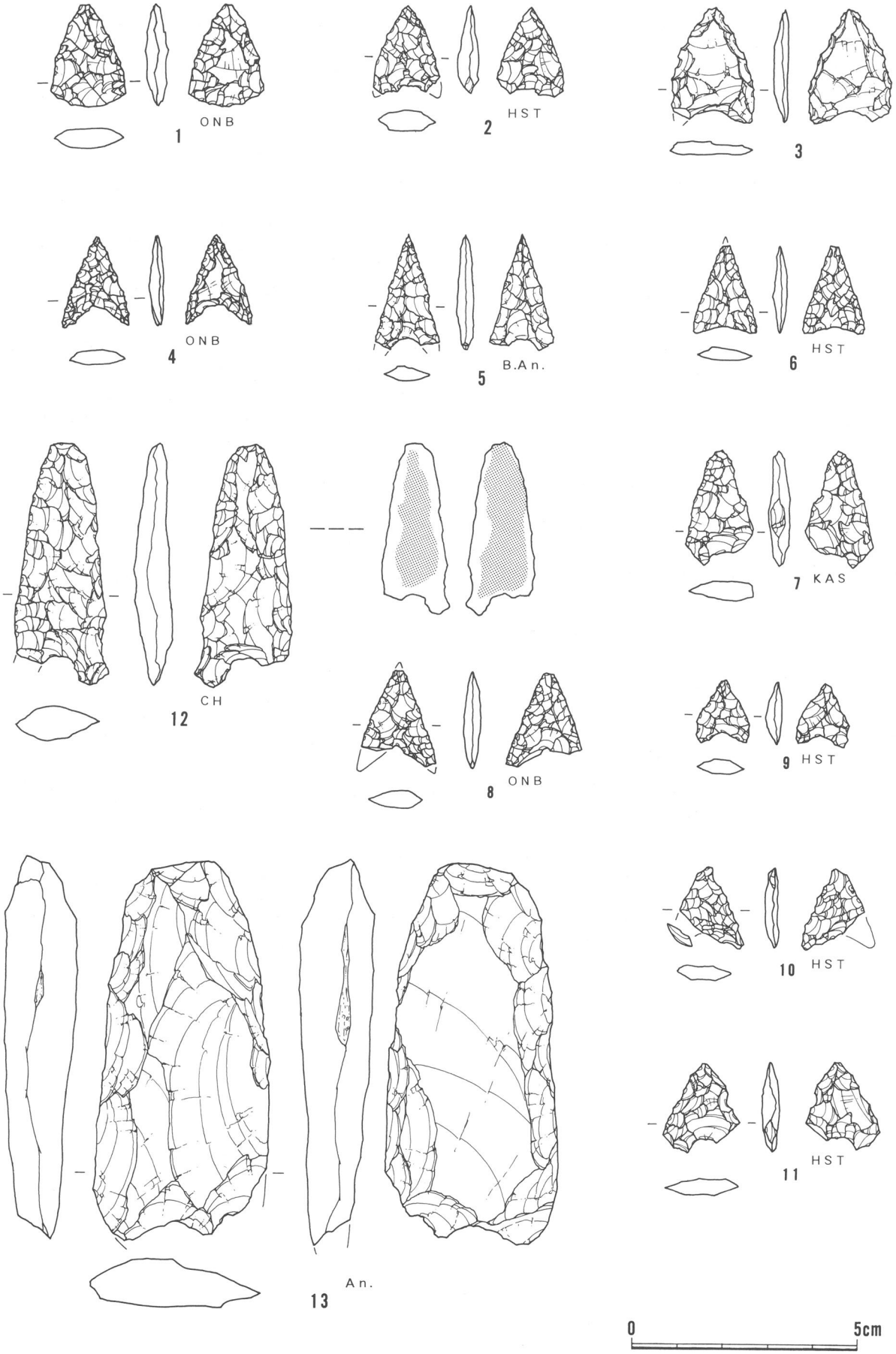
第12図 ＦＢ層土坑図３（1／20）



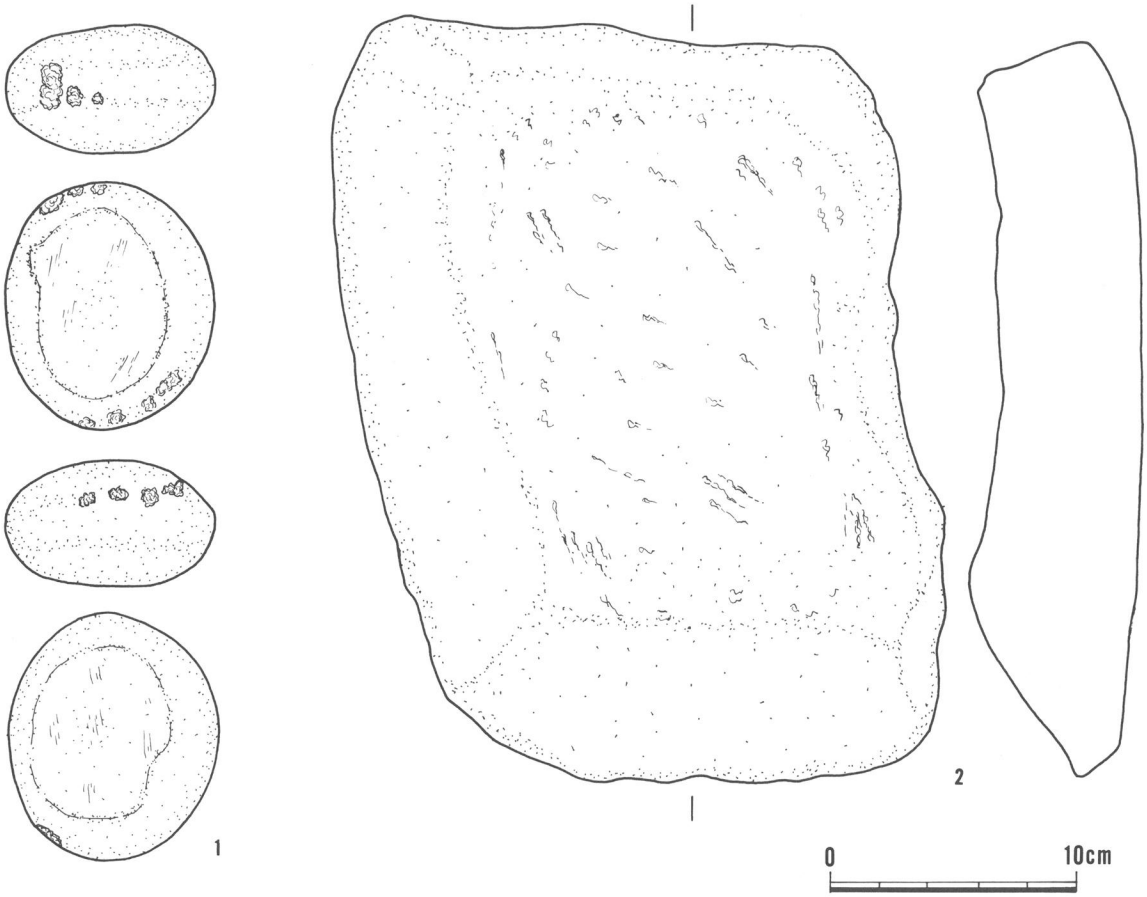
第13図　縄文土器拓影図（1／2）

表４　土器観察表

ＰＬ－ＮＯ.	部位	胎土	色調	焼成	模様などの特徴
13-1	体部	砂粒・黒雲母・金雲母・石英	明赤褐色	良好	Ｌの縄文地に２本単位の半裁竹管による沈線で菱形や三角形を直線的に描く。
13-2	口縁部	金雲母・長石・砂粒	赤褐色	良好	半裁竹管による押引文を２段施し、間に１条の沈線を施す。下には粘土帯をはり、同じく押引文と沈線を施す。口縁部に刻目。
13-3	体部	金雲母・黒雲母・長石・石英・（パミス）	淡赤褐色	良好	Ｌの縄文地に２本単位の半裁竹管による沈線。
13-4	体部	金雲母・石英・砂粒	明褐色	良好	縄文地に半裁竹管による沈線。部分的に磨滅あり。
13-5	体部	金雲母・黒雲母・長石・石英・（パミス）	赤褐色	良好	縄文地に半裁竹管による沈線。部分的に磨滅あり。
13-6	体部	金雲母・石英・砂粒	明褐色	良好	ＲＬの縄文を施し、その上から半裁竹管による２本単位の沈線を施す。内面ヨコナデ。
13-7	体部	金雲母・石英・長石・砂粒	黒茶褐色	良好	ＲＬ・ＬＲの羽状縄文。内面ヨコナデ。
13-8	底部	金雲母・黒雲母・石英・長石・砂粒	茶褐色	良好	ＬＲの縄文。
13-9	体部	金雲母・石英・長石・砂粒	黒茶褐色	やや脆い	ＲＬ・ＬＲの羽状縄文。
13-10	体部	金雲母・石英・長石・砂粒	茶褐色	良好	ＲＬ・ＬＲの羽状縄文。内面ヨコナデ。
13-11	体部	金雲母・黒雲母・長石・石英・（パミス）	赤褐色	良好	ＬＲの縄文地に半裁竹管による沈線。
13-12	底部付近	金雲母・黒雲母・石英・長石・砂粒	赤茶褐色	良好	ＲＬの縄文、内面はヨコナデ。
13-13	口縁部～体部	金雲母・黒雲母・石英・長石・砂粒	茶褐色	良好	口縁部は上ＬＲ・下ＲＬの羽状縄文、体部は上ＲＬ・下ＬＲの羽状縄文。
13-14	口縁部	石英・金雲母・砂粒・黒色スコリア	黒褐色	良好	内外面とも丁寧なナデ調整。口縁端部は丸みを帯びる。外面は半裁竹管による押引文。



第14図　遺構外出土の石器１（4／5）



第15図　遺構外出土の石器２（1／3）

表５　縄文時代石器計測表

（単位㎜．g）

器種	PL	No.	ｸﾞﾘｯﾄ	遺物番号	石材	黒耀石原産地	最大縦長	最大横長	最大厚	重量
石核	8	1	M4	542	黒耀石	HST	25	18	10	4.7
石匙	8	2	M4	550	石英輝石安山岩		58	26.5	8	10.8
磨石・敲石	9	3	M4	535	玄武岩質溶岩		65.5	104	52.5	391.6
磨石・敲石	9	3	M4	536	玄武岩質溶岩		100.2	70.5	54	381
凹石・敲石	9	4	M4	142	輝石安山岩		97	90.5	55.5	575
敲石	9	5	M4	549	角閃石安山岩		76	53	36	160
磨石	9	6	M4	553	玄武岩質溶岩		168	103	72	1440
石皿	9	7	M4	547	玄武岩質溶岩		244	288	89	5700
石鏃	14	1	N5	1	黒耀石	ONB	23	16.5	5	1.5
石鏃	14	2	N10	23	黒耀石	HST	(29.5)	(15.5)	(4.5)	(0.9)
石鏃	14	3	表採		粘板岩		25	18.5	3	1.5
石鏃	14	4	M5	1	黒耀石	ONB	20	15	3	0.5
石鏃	14	5	表採		黒色緻密安山岩		(25)	(14)	(4)	(0.7)
石鏃	14	6	M5	2	黒耀石	HST	19	14	3.5	0.5
石鏃	14	7	N5	3	黒耀石	KAS	(25.5)	(15)	(5)	(1.1)
石鏃	14	8	K5	65	黒耀石	ONB	(22)	(16.5)	(5)	(0.9)
石鏃	14	9	表採		黒耀石	HST	14	12	3.5	0.4
石鏃	14	10	L5	6	黒耀石	HST	18	19	4	0.5
石鏃	14	11	表採		黒耀石	HST	(19.5)	(17)	(4)	(0.9)
異形局部磨製石器	14	12	F13	1	チャート		(53)	(21.5)	(9)	(7.7)
打製石斧	14	13	表採		安山岩		(110)	(47)	(20)	(110)
磨石	15	1	H6	5	輝石安山岩		98.5	84	51	598.3
石皿	15	2	表採		輝石安山岩		245	307.5	69	7500

第２節　休場層上層の遺構と遺物

１　概　要

休場層上層からは、縄文時代草創期と考えられる逆茂木痕を持つ土坑が４基、有舌尖頭器５点、石槍１点が出土している。

２　遺　構（第17～21図）

ＹＬＵ層を覆土に持つものが11基検出されている。これらはＢＢ０層の精査中にＹＬ層の落ち込みとして確認した。中でも１号土坑～４号土坑は、土坑底部に深さ20㎝前後の小穴を有するため、陥し穴と考えられる。また２号土坑の覆土から有舌尖頭器が出土したことから、形態が類似するこの４基を縄文時代草創期の遺構としてとらえた。

１号土坑（第17図）

Ｍ５グリットに位置する。土坑の長軸は東西にあり、底部には深さ15～20㎝の５個の小穴が確認された。土坑を半裁したところ、土坑壁はＢＢ０・ＢＢⅠにおいて‘荒れ’がひどく、ロームの侵入が確認された。これは、この土坑が一定期間、開口状態で放置されていたことを示す。長径109㎝、短径84㎝、深さ57㎝。検出面がＢＢ０層であるため、構築時の深さは100㎝ほどになると考えられる。

２号土坑（第17図）

Ｌ５グリットに位置する。土坑の長軸は東西にあり、底部には深さ15～20㎝の４個の小穴が確認された。完掘後、底部をスライスして小穴の断面を確認したが、４個とも先端が尖る逆三角形を呈していた。また覆土③からは頁岩製の有舌尖頭器（第22図２）が出土した。長径90㎝、短径56㎝、深さ77㎝。検出面はＢＢ０層。

３号土坑（第18図）

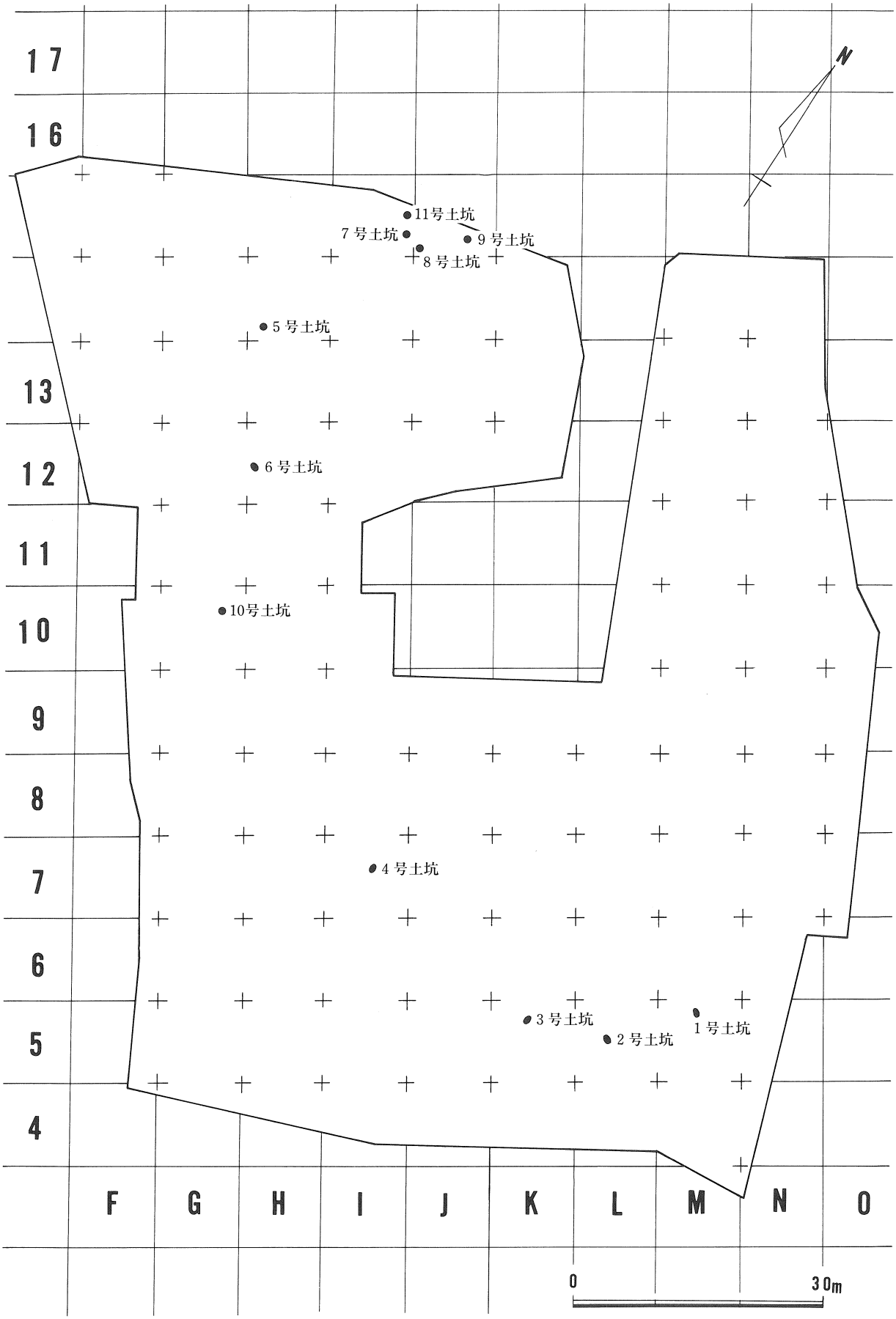
Ｋ５グリットに位置する。土坑の長軸は南北にあり、底部には深さ11～24㎝の９個の小穴が確認された。土坑を半裁したところ壁の崩落が著しく、北壁はロームの侵入によってフラスコ状に変形する。長径100㎝、短径78㎝、深さ75㎝。検出面はＢＢ０層。

４号土坑（第19図）

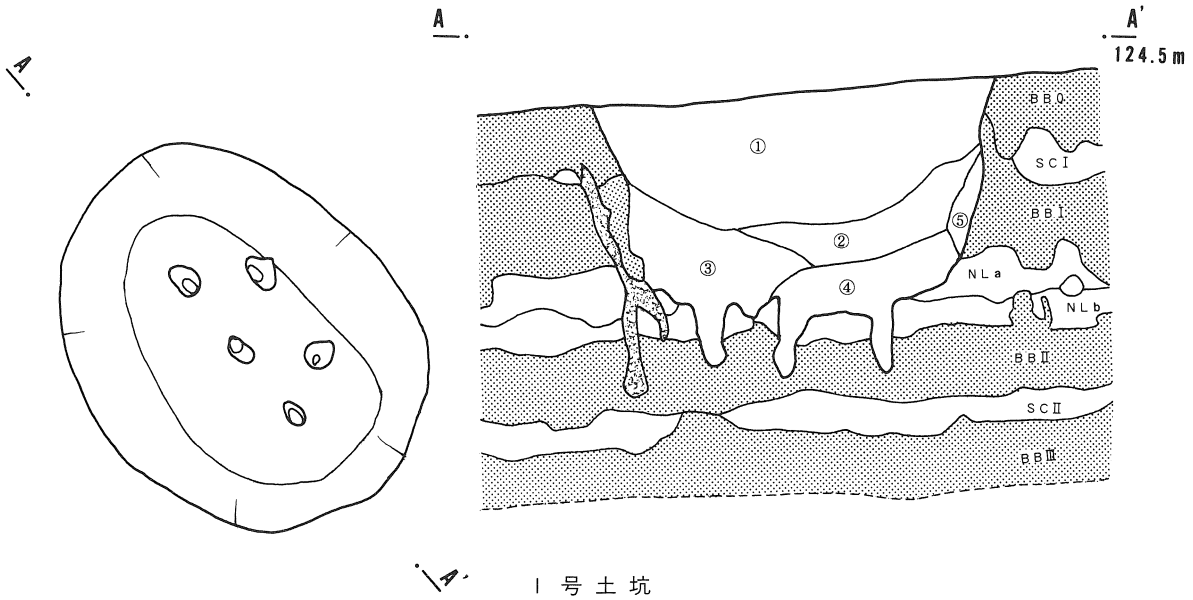
Ⅰ７グリットに位置する。土坑の長軸は南北にあり、底部には深さ８～15㎝の７個の小穴が確認された。長径113㎝、短径68㎝、深さ70㎝。検出面はＢＢ０層。

５号～11号土坑（第19～21図）

底部に逆茂木痕が観察されない土坑が７基検出されている。いずれも覆土にＹＬＵ層を持つが、遺物は出土していないため、後期旧石器時代後半～縄文時代草創期の遺構と考えられる。また検出面は全てＢＢ０層である。

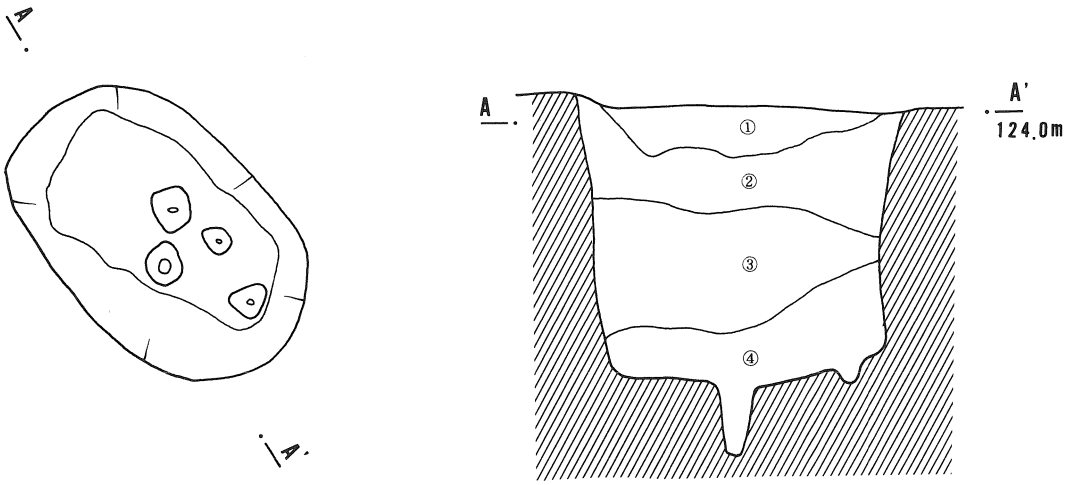


第16図　ＹＬＵ層土坑配置図



1 号 土 坑

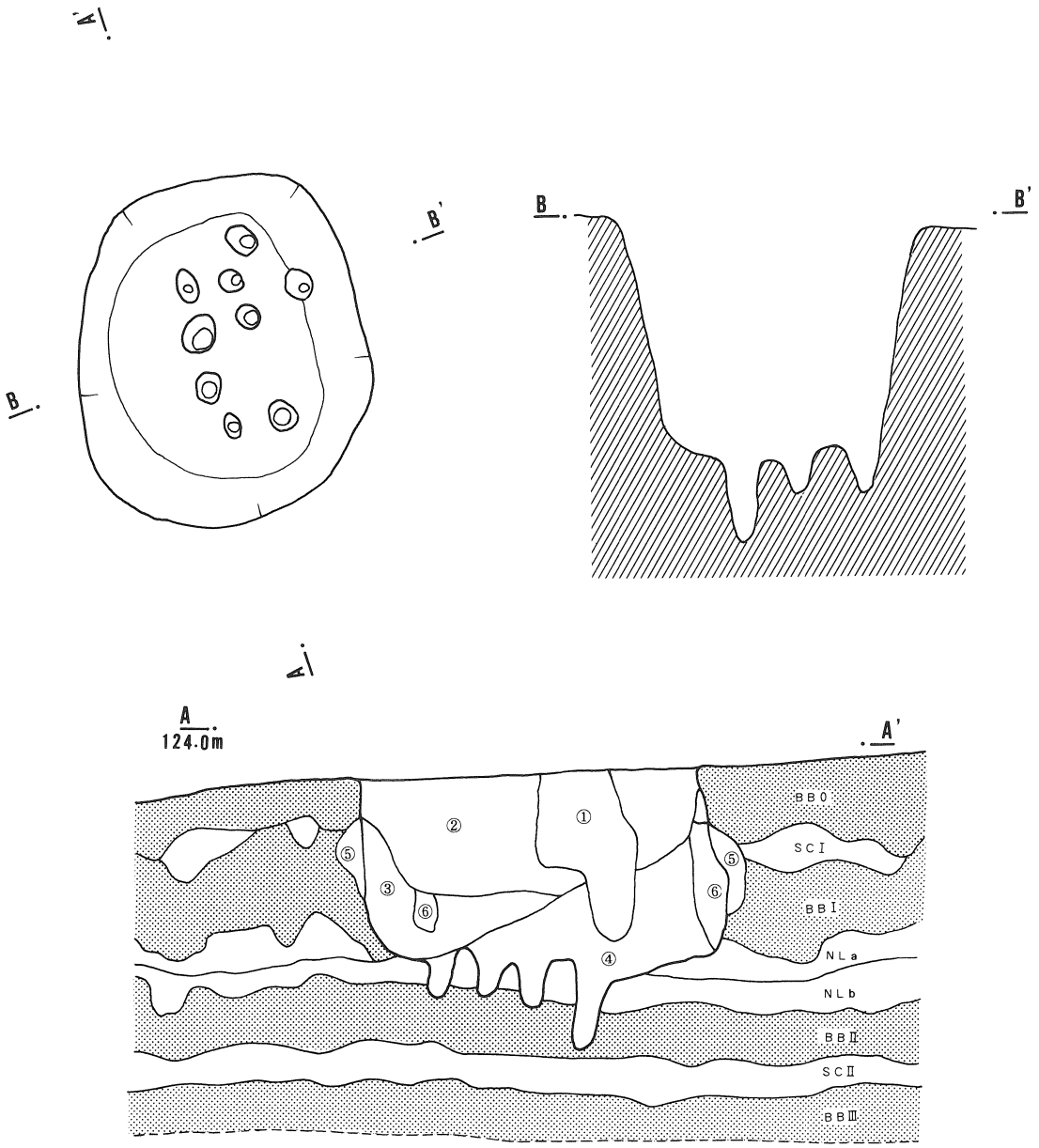
① ＹＬＵ相当。パウダー状を呈する。
② ＢＢ０相当の黒色のブロックをローム中に少量含む。
③ ②と類似するがＢＢ０の含有量が増える。ＮＬと考えられる黄色のスコリア塊を少量含む。
④ ＢＢＩの崩落土。
⑤ ＢＢ０相当の崩落土。



2 号 土 坑

① ＹＬＵ相当。パウダー状を呈する。
② 茶褐色土、赤色スコリアを少量含む
③ ローム層にＢＢ０相当の土がブロック状に混入する。
④ ③とほぼ同質だが、ＢＢ０の混入割合が高くなる。

第17図　ＹＬＵ層土坑図１（1／20）

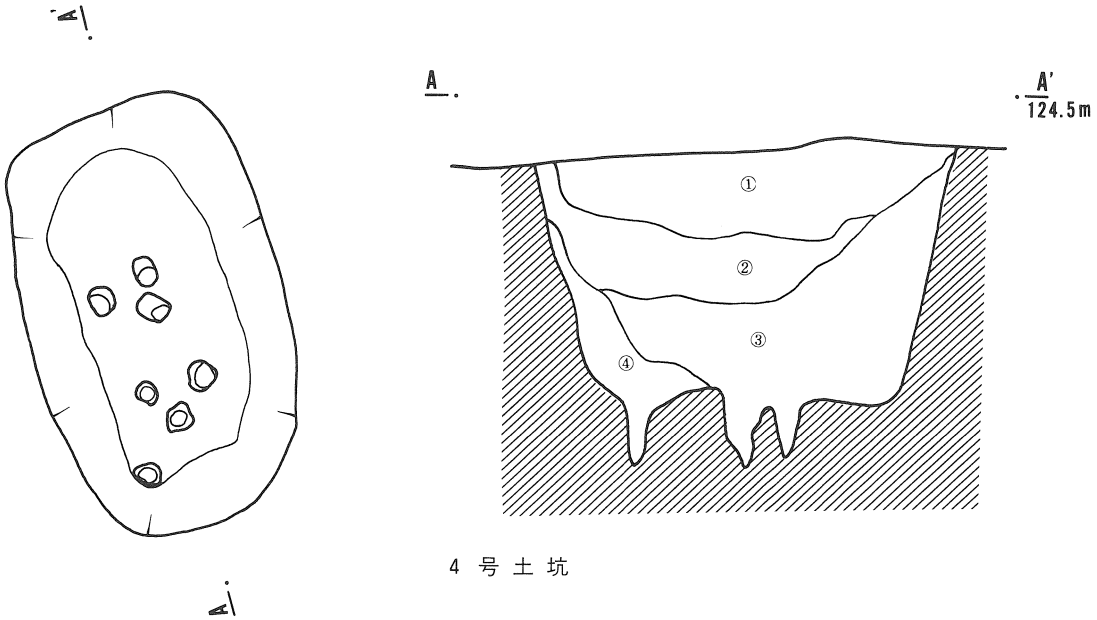


3 号 土 坑

① 撹乱土
② ＹＬＵ相当。パウダー状を呈し、ＹＬＵに特徴的な乳白色の斑紋を有す。
③ ②にＢＢ０相当のブロックが混入したもの。
④ ＢＢＩ、ＢＢ０相当の崩落土とロームの混土。部分的にＳＣＩ起源と考えられるスコリアが混入する。
⑤ ②に類似する。ＢＢＩが崩落した後のロームの侵入と考えられる。
⑥ ＢＢＩのブロック。

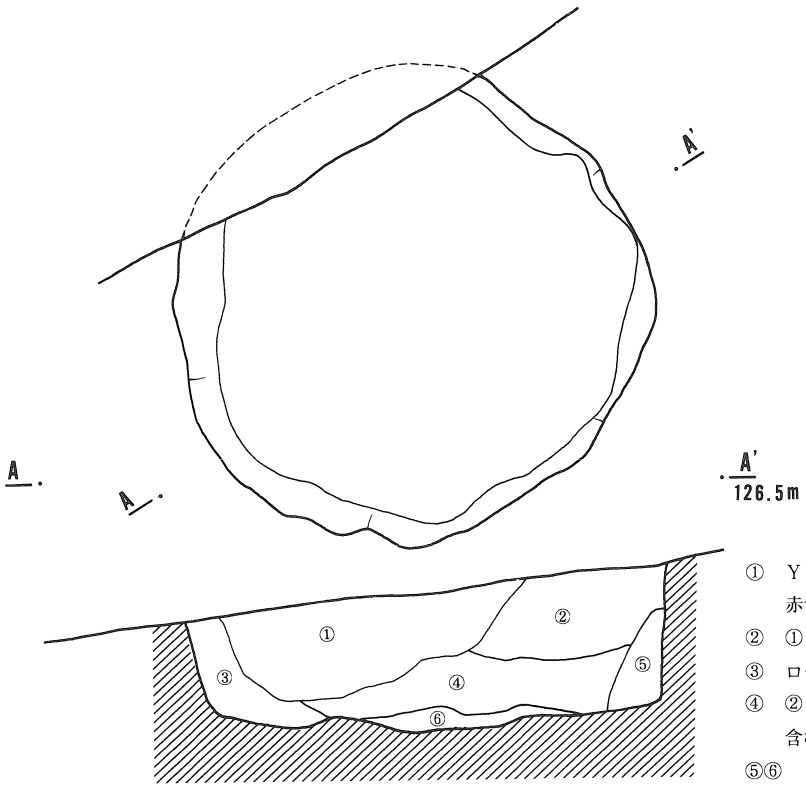
0 1m

第18図　ＹＬＵ層土坑図２（1／20）



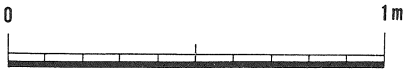
4 号 土 坑

① ＹＬＵ相当。パウダー状を呈する。
② ローム層にＢＢ０相当の土がブロック状に混入する。
③ ＢＢ０、ＢＢＩ相当の土とローム層の混土。
④ ＢＢＩの崩落土と考えられる黒色野スコリア質土。

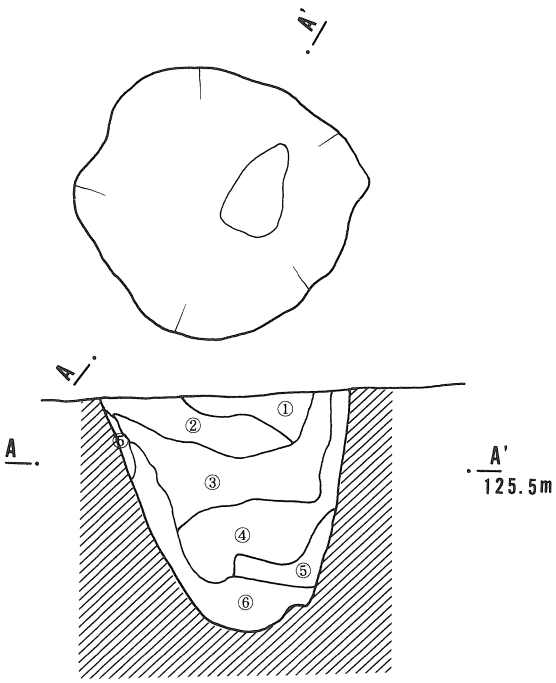


① ＹＬＵ相当。パウダー状を呈し、φ0.1㎝以下の赤色スコリアを含む。
② ①と類似するが、やや黒色を呈する。
③ ロームとＢＢ０相当の黒色土との混土。
④ ②と類似するが、φ0.1～0.5㎝の赤色スコリアを含む。
⑤⑥ ＢＢ０相当の崩落土。

5 号 土 坑

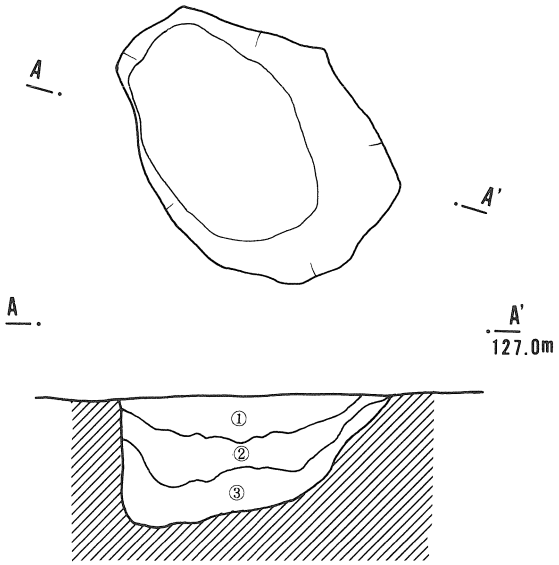


第19図　ＹＬＵ層土坑図３（1／20）



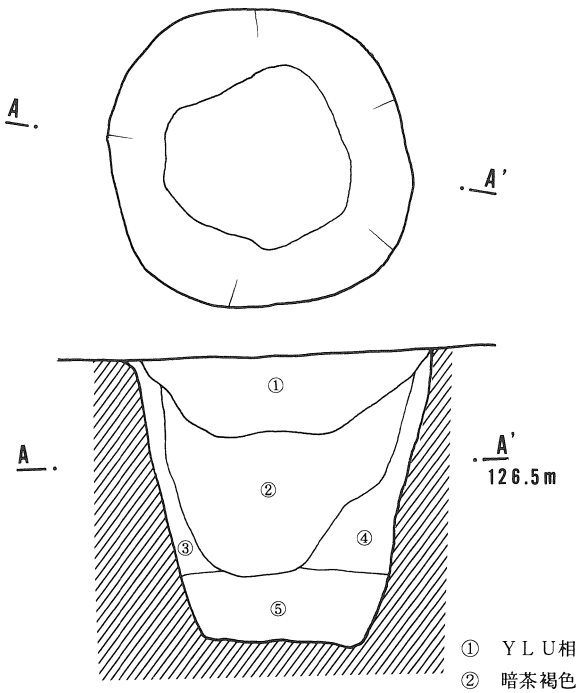
6 号 土 坑

① ＹＬＵ相当。パウダー状を呈する。
② ①とほぼ同質であるが、ＹＬＵ独特の斑紋を持たない。
③ ①よりφ0.3～0.5㎜の赤色スコリアを多く含む。
④ 黒色土とロームの混土。
⑤ ＢＢ０、ＢＢＩ相当の崩落土とロームの混土。
⑥ ＢＢ０、ＢＢＩ相当の崩落土。



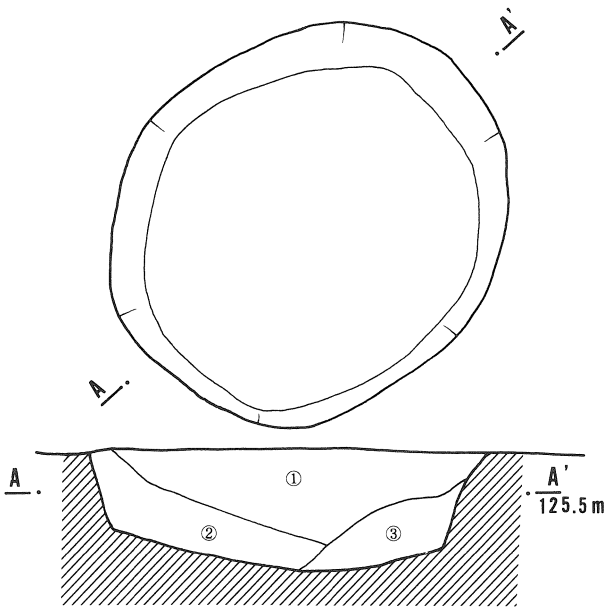
7 号 土 坑

① ＹＬＵ相当。パウダー状を呈する。
② φ0.1㎝の黒色スコリアを少量含むローム層。
③ ＢＢ０相当の崩落土とロームの混土。



8 号 土 坑

① ＹＬＵ相当。パウダー状を呈する。
② 暗茶褐色ローム層。下部にいくに従って黒色が増す。
③④ ＢＢＩと考えられる黒色土をブロック状に含むローム層。
⑤ 暗黒褐色土。壁の崩落土か。

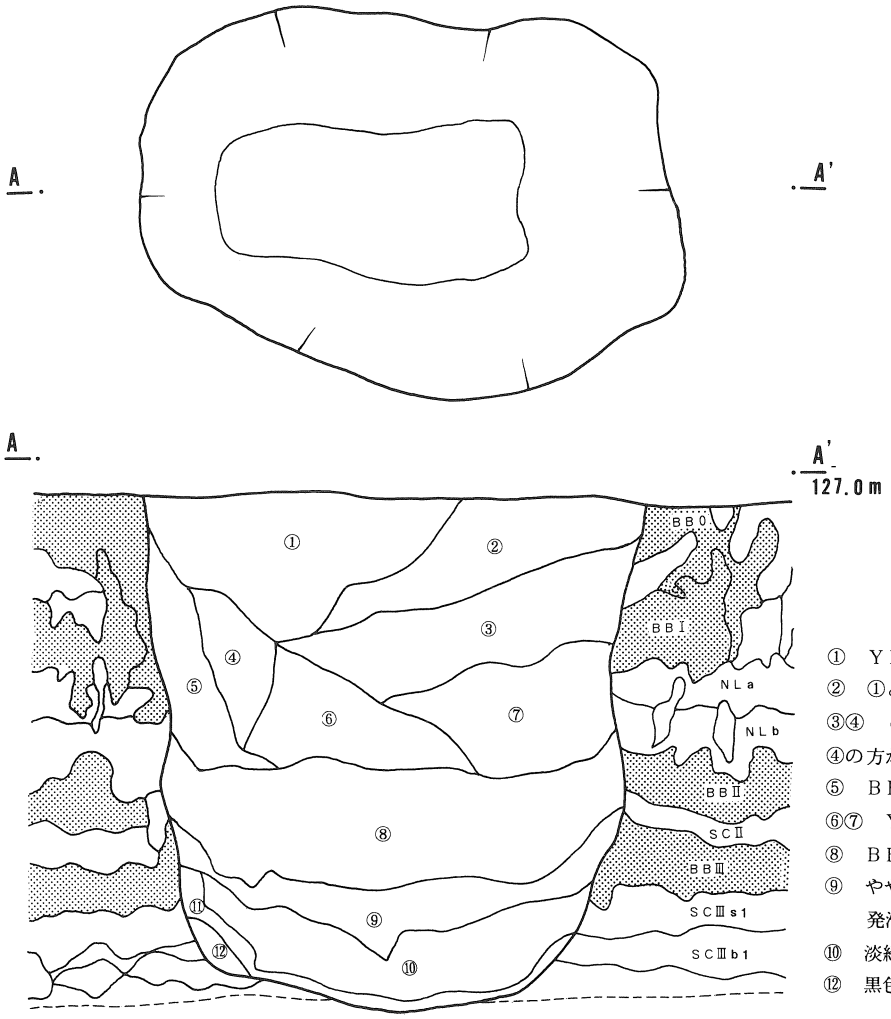


9 号 土 坑

① ＹＬＵ相当
② 茶褐色土、赤色スコリアを少量含む
③ ②と類似するが、やや暗い

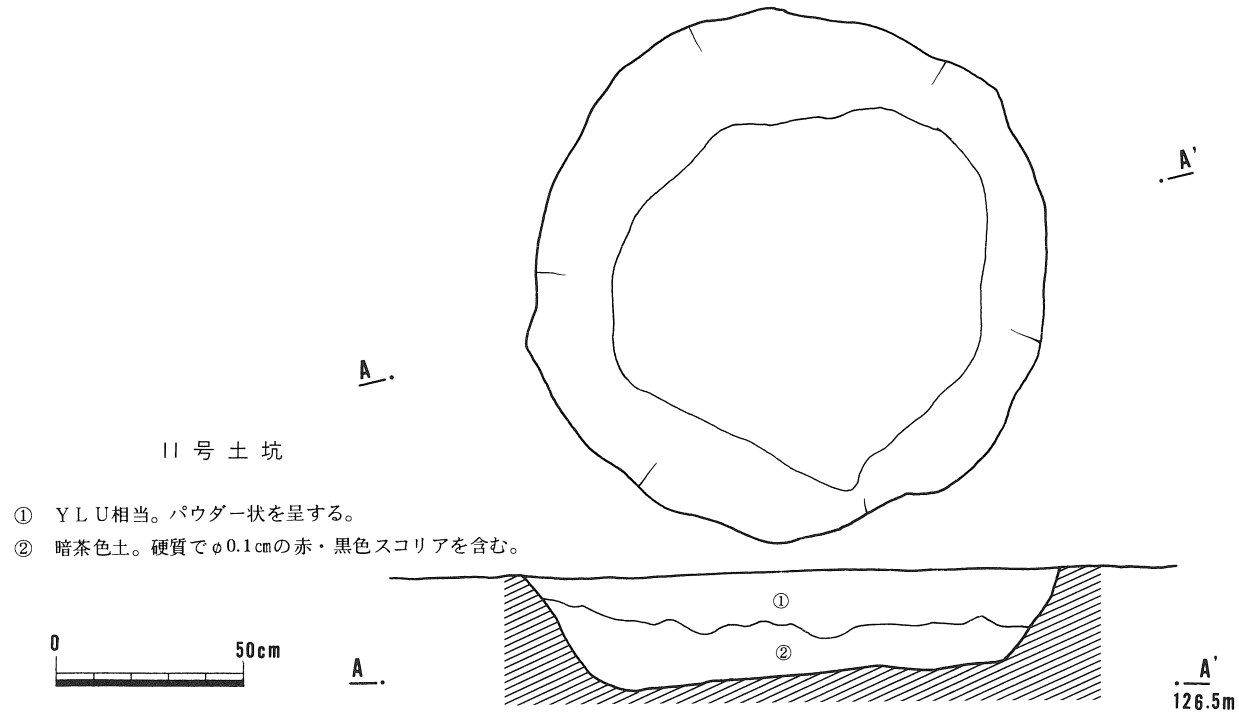
0 1m

第20図 ＹＬＵ層土坑図４（1／20）



10 号 土 坑

① ＹＬＵ相当。パウダー状を呈する。
② ①と類似するがやや黒色をていする。
③④ φ0.1㎝の赤褐色スコリアを含む。
④の方がスコリア含有量が多い。
⑤ ＢＢ０とロームの混土。
⑥⑦ ＹＬＵ相当。パウダー状を呈する。
⑧ ＢＢ０、ＢＢＩの崩落土。
⑨ やや黄色を呈し、ローム質である。
発泡の悪い赤色スコリアを含む。
⑩ 淡緑茶色土 ⑪ 黄赤色硬質土
⑫ 黒色土



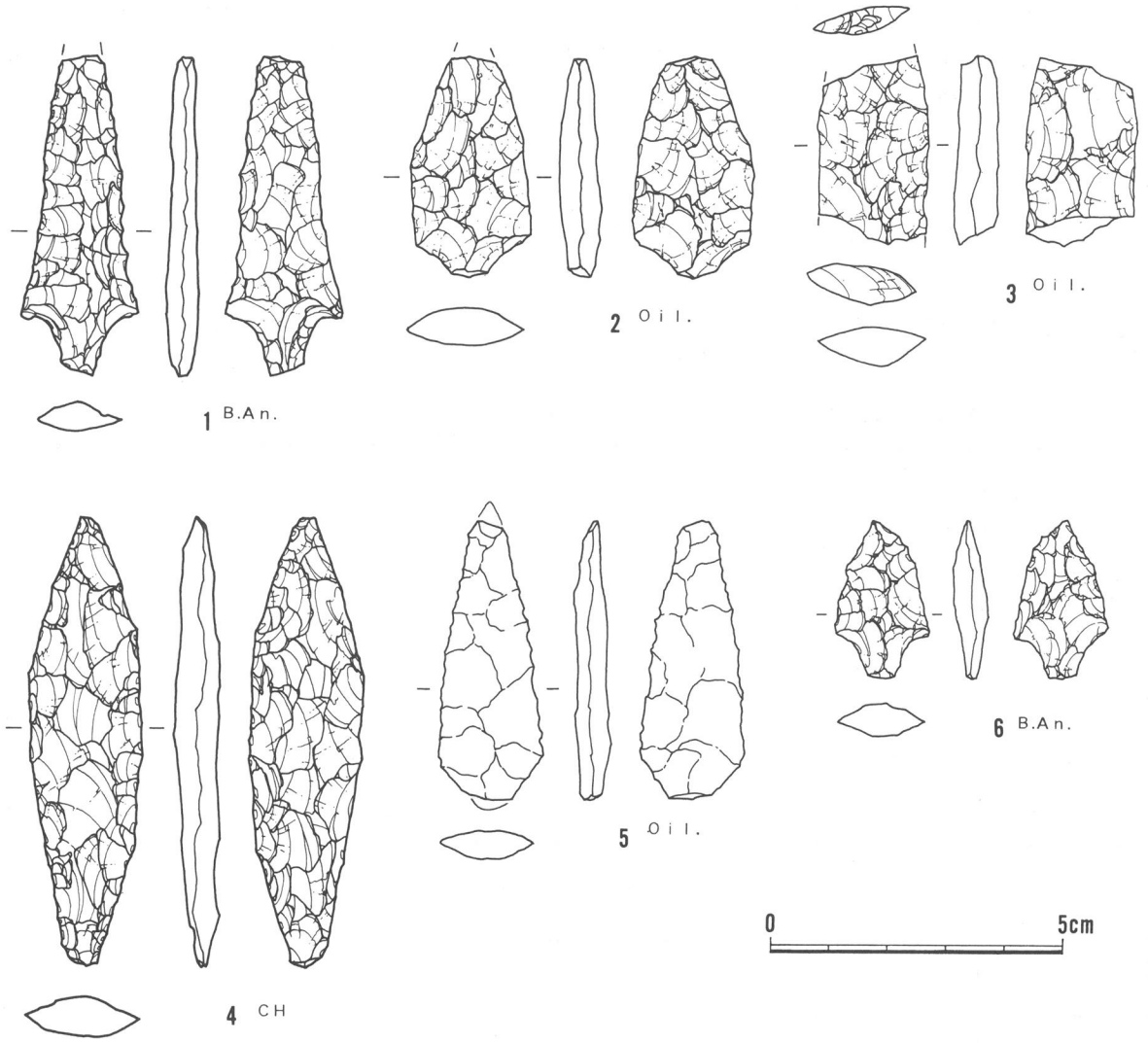
11 号 土 坑

① ＹＬＵ相当。パウダー状を呈する。
② 暗茶色土。硬質でφ0.1㎝の赤・黒色スコリアを含む。

第21図 ＹＬＵ層土坑図５（1／20）

3　石　器（第22図）

1は黒色緻密安山岩製の有舌尖頭器である。舌部と先端部を欠損する。2は頁岩製の有舌尖頭器で、舌部は欠損しているが短く、緩やかに内湾する。風化が著しい。3は有舌尖頭器の胴部と考えられる。4はチャート製の石槍である。



第22図　ＹＬＵ層有舌尖頭器・石槍（4／5）

表６　ＹＬＵ層有舌尖頭器・石槍計測表　（単位mm.g）

器種	ＰＬ	No.	ｸﾞﾘｯﾄ	遺物番号	石材	母岩別	ブロック	最大縦	最大横	最大厚	重量
有舌尖頭器	22	1	N5	5	黒色緻密安山岩			(54)	(20)	(6)	(6)
有舌尖頭器	22	2	L5	50	頁岩			(37.5)	(20.5)	(7.5)	(6.1)
有舌尖頭器	22	3	F12	4	頁岩			(37)	(22)	(9)	(8.5)
石槍	22	4	N10	28	チャート			76	19	7.5	11.7
有舌尖頭器	22	5	N4	4	凝灰岩質頁岩			(47.5)	(18)	(6.5)	(4.1)
有舌尖頭器	22	6	M11	5	黒色緻密安山岩			27	16	6	1.7

第Ⅳ章　旧石器時代の遺構と遺物

第１節　休場層中層内の遺構と遺物

１　概　要

休場層中層中位から休場層上層下位にかけて遺物の出土が認められた文化層で、調査区内に一見環状を呈するように、16箇所の石器ブロックと礫群が検出された。遺物の出土は約50㎝ほどの垂直幅をもって認められるが、礫群の底面レベルが休場層中層中位から上位に安定していることから生活面は、休場層中層中位から上位と考えている。

２　石　器

出土した石器の総点数は913点である。内訳は以下の通り。

表７　ＹＬ層石材別器種組成表

	黒耀石							頁岩	チャート	黒緻安山岩	安山岩	その他	合計
	WAD	HST	MUG	HAT	KAS	ONB	測定不可能品						
石槍	2	1		2				1		2			8
ナイフ形石器	12	35	12	7	1			10		3			80
台形様石器		2							1				3
掻器	1	1		2		1		2	1				8
削器		5	2	2				1	1				11
抉入削器		3							1				4
彫器		2											2
楔形石器		6	1		1			1	1	1			11
石刃状剥片		2						21	2				25
小型石刃状剥片		16				1							17
石核				3	1			20	2	8			34
敲石.磨石								1			19	2	22
剥片.砕片	9	229	35	61	8	1	43	226	28	37	6	5	688
合計	24	302	50	77	11	3	43	283	37	51	25	7	913

（1） **尖頭器**（第23図）

幅広の木葉形の尖頭器３点と、片面あるいは縁辺調整の小型尖頭器が５点出土している。

１は畑宿の黒耀石製で、未製品と考えられる。裏面に素材の剥離面を残し、断面形は菱形を呈する。

３は頁岩製の木葉形の尖頭器で、裏面に素材の剥離面を残す。

４は和田峠産の黒耀石製で、縦長の分厚い剥片の背面に急角度の調整を施した、片面加工の尖頭器である。背面には素材の剥離面を残し、断面形は台形を呈す。

５は和田峠産の黒耀石製の石槍である。縦長の剥片を素材として、縁辺部より平坦な調整を施す。背面、腹面ともに素材の剥離面を残す。

８は未製品と考える。畑宿産の黒耀石製。

表８　ＹＬ層尖頭器計測表　（単位mm.ｇ）

器種	ＰＬ	No.	ｸﾞﾘｯﾄ	遺物番号	石材	母岩別	ブロック	最大縦	最大横	最大厚	重量
尖頭器	23	1	O6	5	黒耀石	HAT-1		50.5	38	13	19.7
尖頭器	23	2	E14	1	黒色緻密安山岩			(52)	(40)	(11)	(18.1)
尖頭器	23	3	J14	3	頁岩			66	44	11	32.4
尖頭器	23	4	H5	2	黒耀石	WAD-3	P	51	17	8.5	5.2
尖頭器	23	5	J14	1	黒耀石	WAD-5		36	14	510	2.4
尖頭器	23	6	F9	5	黒耀石	HST-2		(21)	(14)	(4.5)	(0.9)
尖頭器	23	7	N3	3	黒色緻密安山岩			(34)	(19)	(4)	(1.4)
尖頭器	23	8	I5	2	黒耀石	HAT-1		36	20.5	8	4.7

（2） **ナイフ形石器**（第24～28図）

80点が出土している。石材の内訳は、黒耀石製67点、頁岩製10点、黒色緻密安山岩製３点で、なかでも星ヶ塔産の黒耀石は全体の48％を占める。また、ナイフ形石器の分布は調査区の南側、Ｍ・Ｎ・Ｏブロックに集中する傾向があり、各ブロックが保有する石材の影響が考えられる。なお、欠損率は45％である。

これらはブランティングの施された部位によって大きく５種類に分類される。

１類　二側縁に調整を施し、刃部が全長の1／2以上のもの。

２類　二側縁に調整を施し、刃部が全長の1／2に達していないもの。

３類　基部と先端部に調整を施すもの。

４類　一側縁に調整を施すもの。

５類　先端部に調整を施すもの。

１類（第24図１～15）二側縁に調整を施し、刃部が全長の1／2以上のもの。

15点が該当する。基本的には縦長剥片を素材として用い、剥片の長軸を石器の縦軸にとる。よって、１～３、６～９、11～15は打面や打溜を取り去っているが、５、10のように打溜が発達していないものについては残すものもある。

２は平面的な二側縁のブランティングに加え、基部に平坦な剥離を加えたものである。３は素材となる剥片の形状を大きく変えるように、背面と覆面両方から急斜なブランティングを施すもので、基部を平坦に整える。９は刃部をスクレイパーに転用したものである。

２類（第25図、第26図１～４）二側縁に調整を施し、刃部が全長の1／2に達していないもの。

17点が該当する。いわゆる切（折）断技法を用い、素材の形状を大きく変えるものが多い。

25－１は縦長の剥片を素材として、急斜なブランティングを背面と覆面の両方から施し、打溜を取り去っている。刃部は使用痕が顕著である。25－２・３・４は素材の剥片を横方向に置き、打面と打溜を取り去っている。25－６は剥片に急角度の調整を背面と覆面の両方から施す。打面と打溜は残す。26－１は剥片の先端部と縁辺部に背面と覆面の両方からブランティングを施したもので､打面と打溜は残す。

３類（第26図５～14）基部と先端部に調整を施すもの。

10点が該当する。素材の形状をあまり変えることなく用いるもので、縦長剥片を使用する。基部の調整には、腹面に平坦剥離を加えるもの（26－１・２）と、縁辺部にのみブランティングを施すものがある。

４類（第27図、第28図１～４）一側縁に調整を施すもの。

18点が該当する。素材の形状をあまり変えることなく、剥片の一側縁に調整を施す。素材には、縦長剥片を用いたもの（27－１・２・４・５・６・７・８・９・10・11・12・13、28－１・４）と、貝殻状の剥片を用いたもの（27－３、28－２・３）がある。

５類（第28図５・６）先端部に調整を施すもの。

２点が該当する。

28－５は縦長の剥片を素材として、剥片の先端部に斜めにブランティングを施すものである。28－６は縦長の剥片を素材として、剥片の打面側に斜めにブランティングを施すものであり、剥片の末端はヒンジフラクチャーにより、厚くなっている。

その他（第28図７～23）

分類が不可能な欠損品をまとめた。

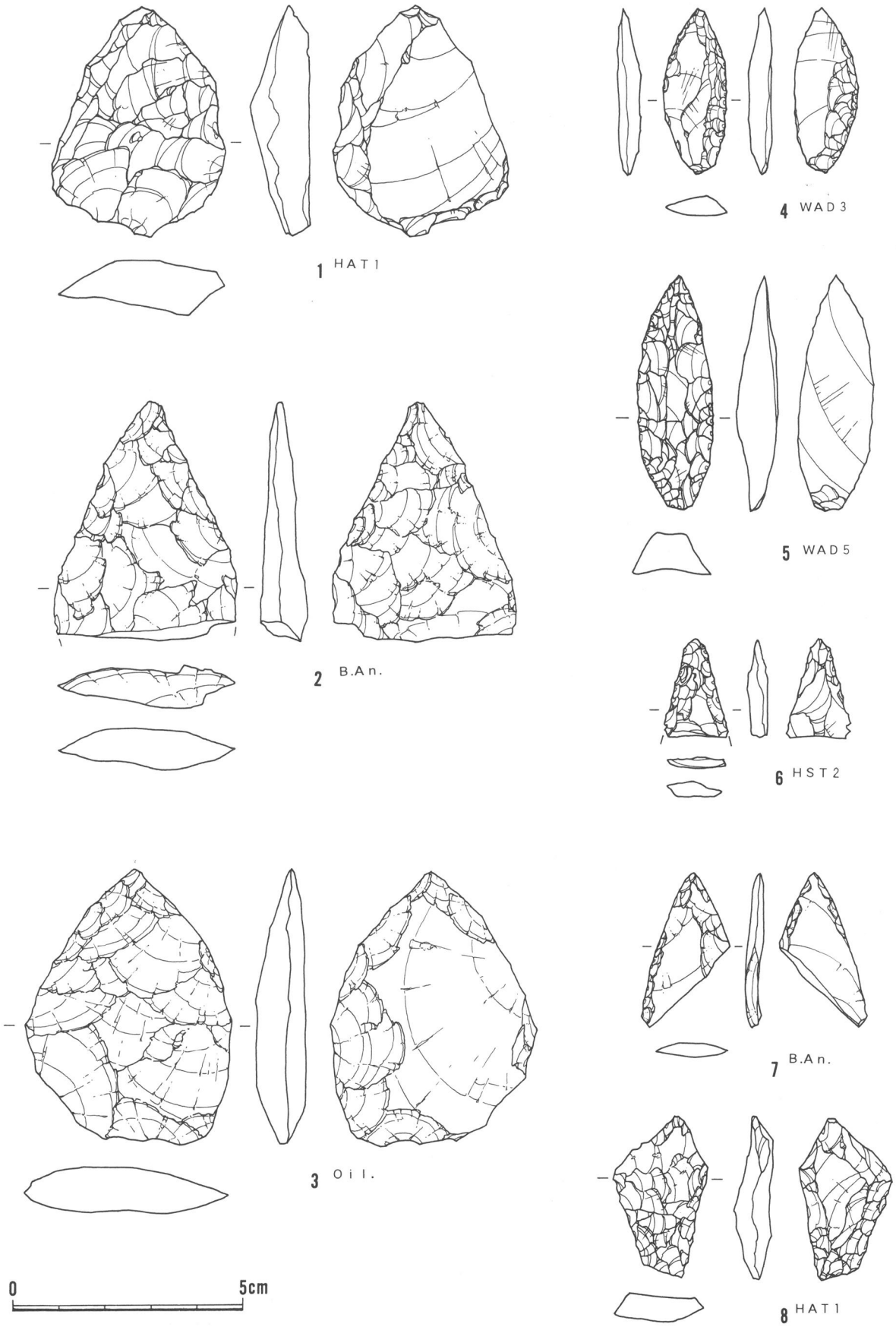
（３） **台形様石器**（第29図）

３点が出土している。いずれも調査区の南側、Ｎブロックで出土している。

１は星ヶ塔産の黒耀石製で、剥片の末端部を折り取り、打面部には調整を加えている。また、基部背面には、稜を取り去るための調整が観察できる。

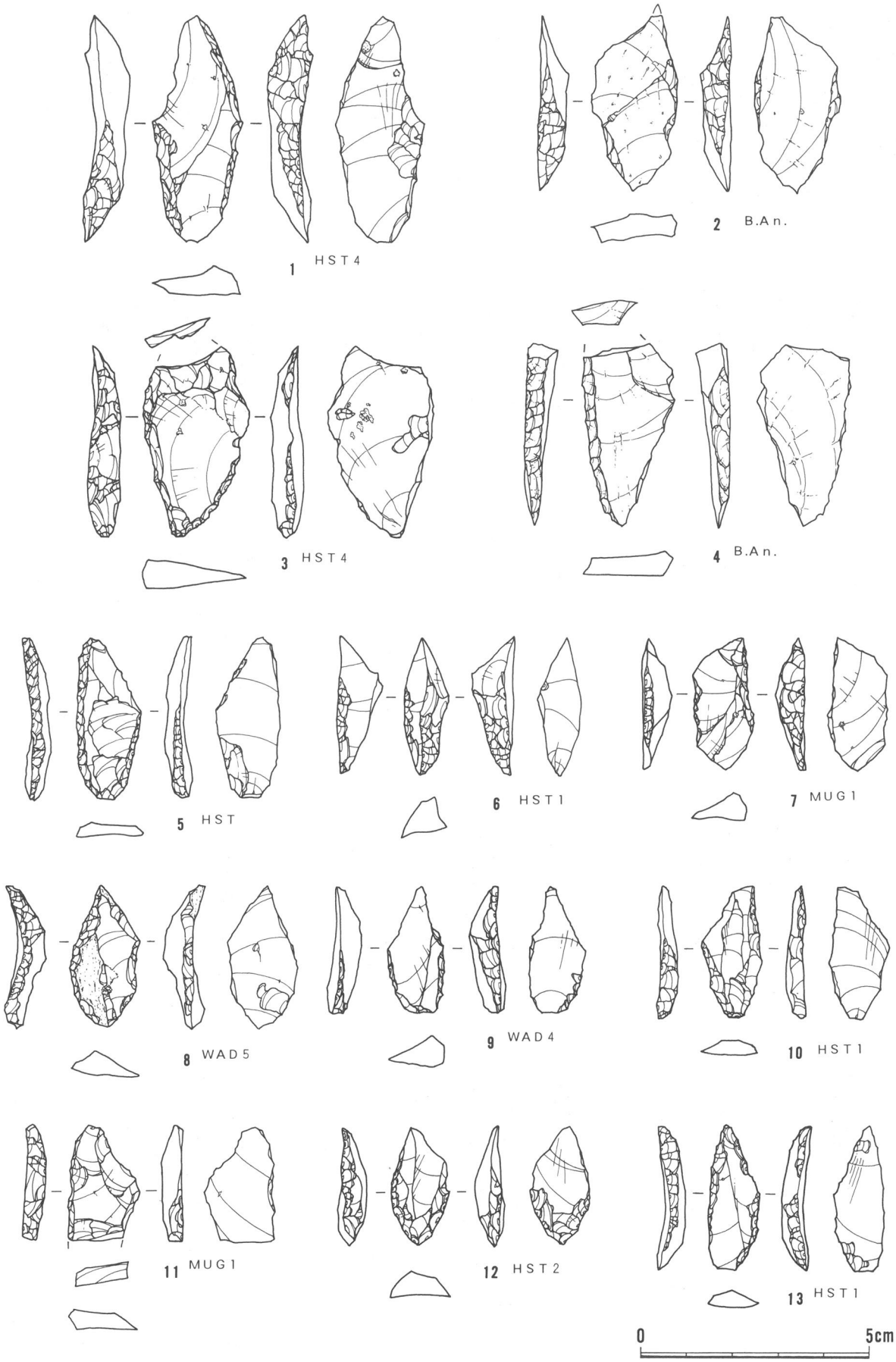
２は星ヶ塔産の黒耀石製で、剥片の末端部と打面側を折り取ったものである。上・下端には使用痕が観察される。

３はチャート製で、剥片の側縁部一端にブランティングを施し、同時に打面と打溜を取り去り、末端を刃部としたものである。一辺には、節理面が残る。

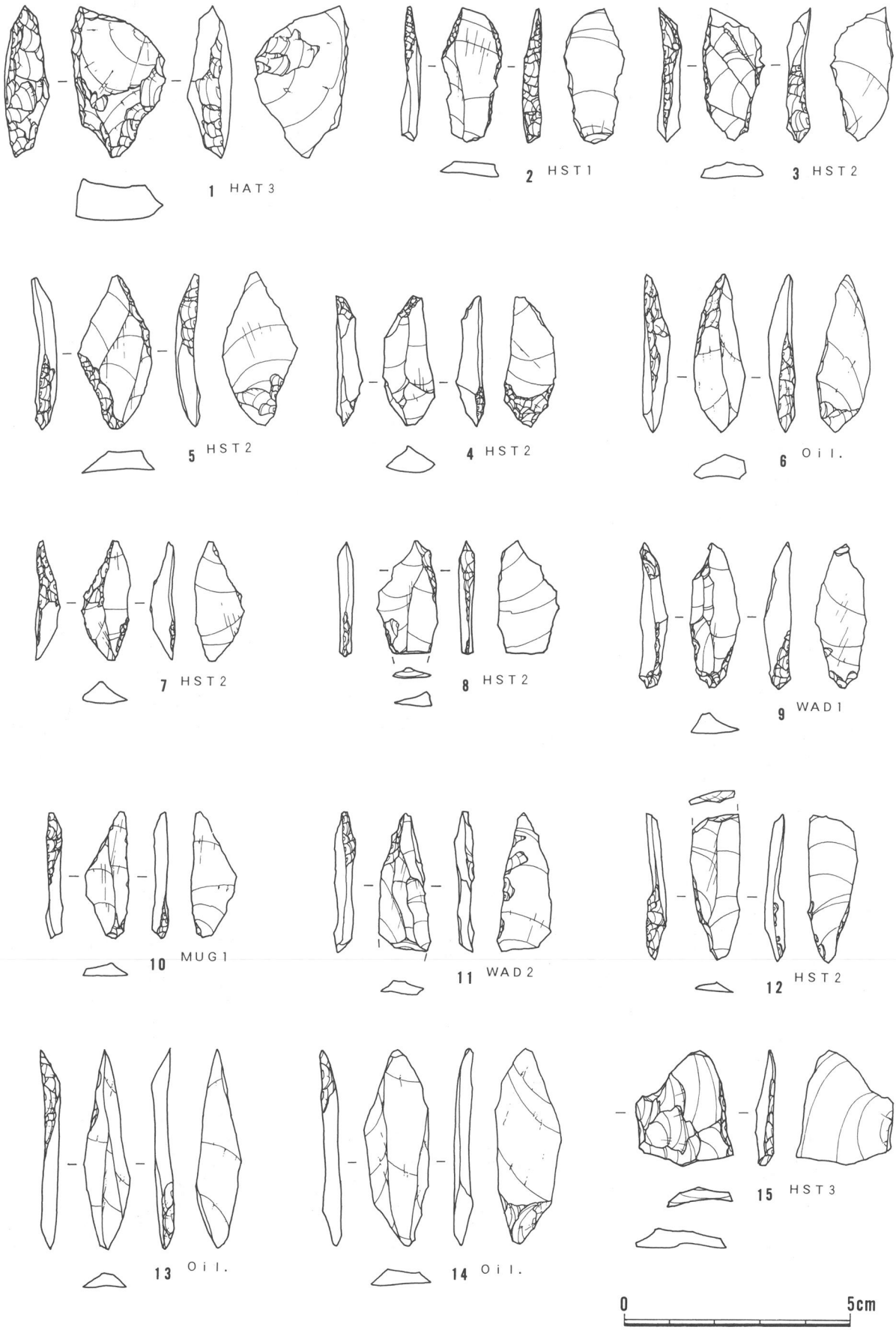


第23図　ＹＬ層尖頭器（4／5）

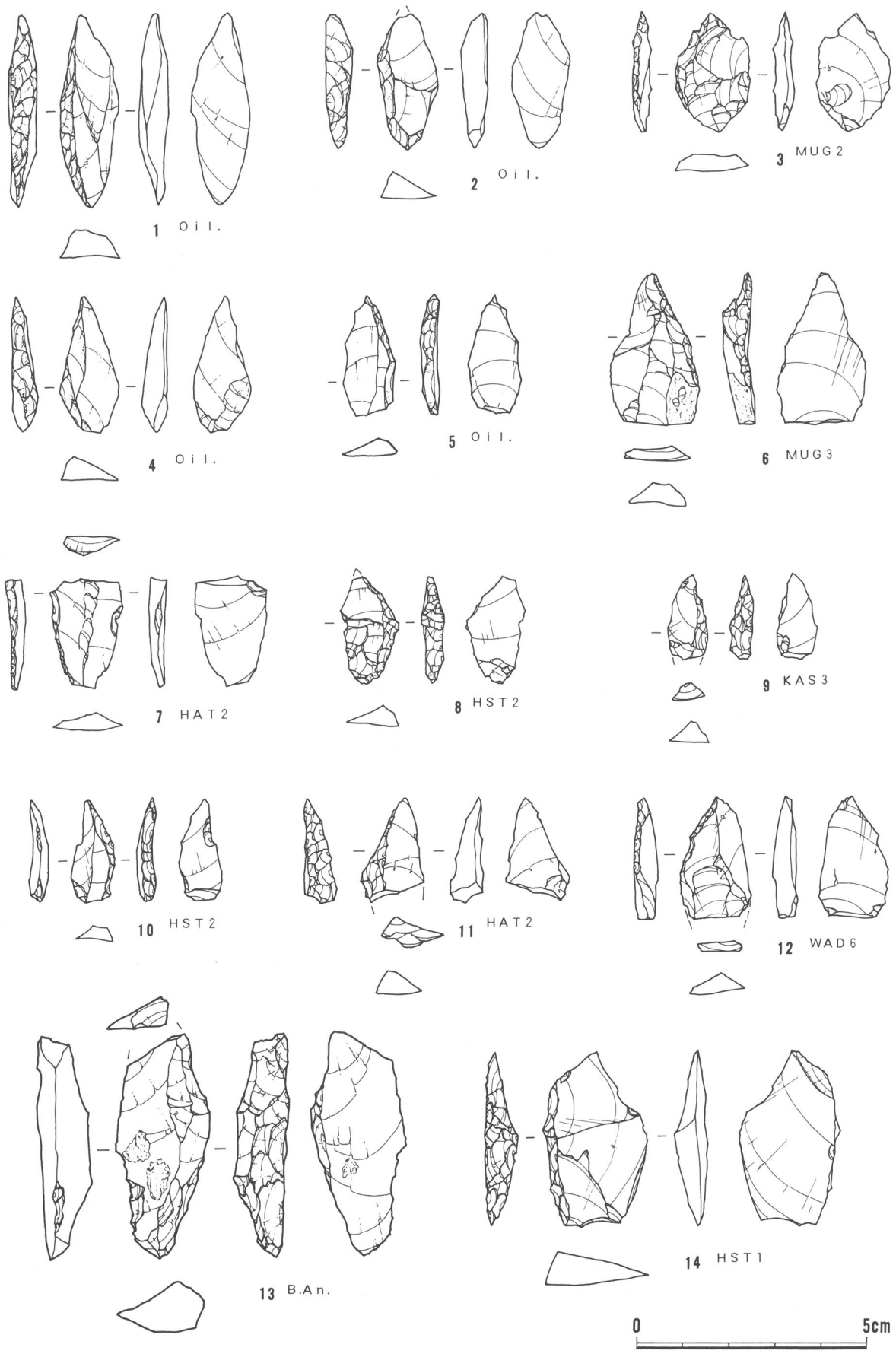
第24図　ＹＬ層ナイフ形石器１（4／5）



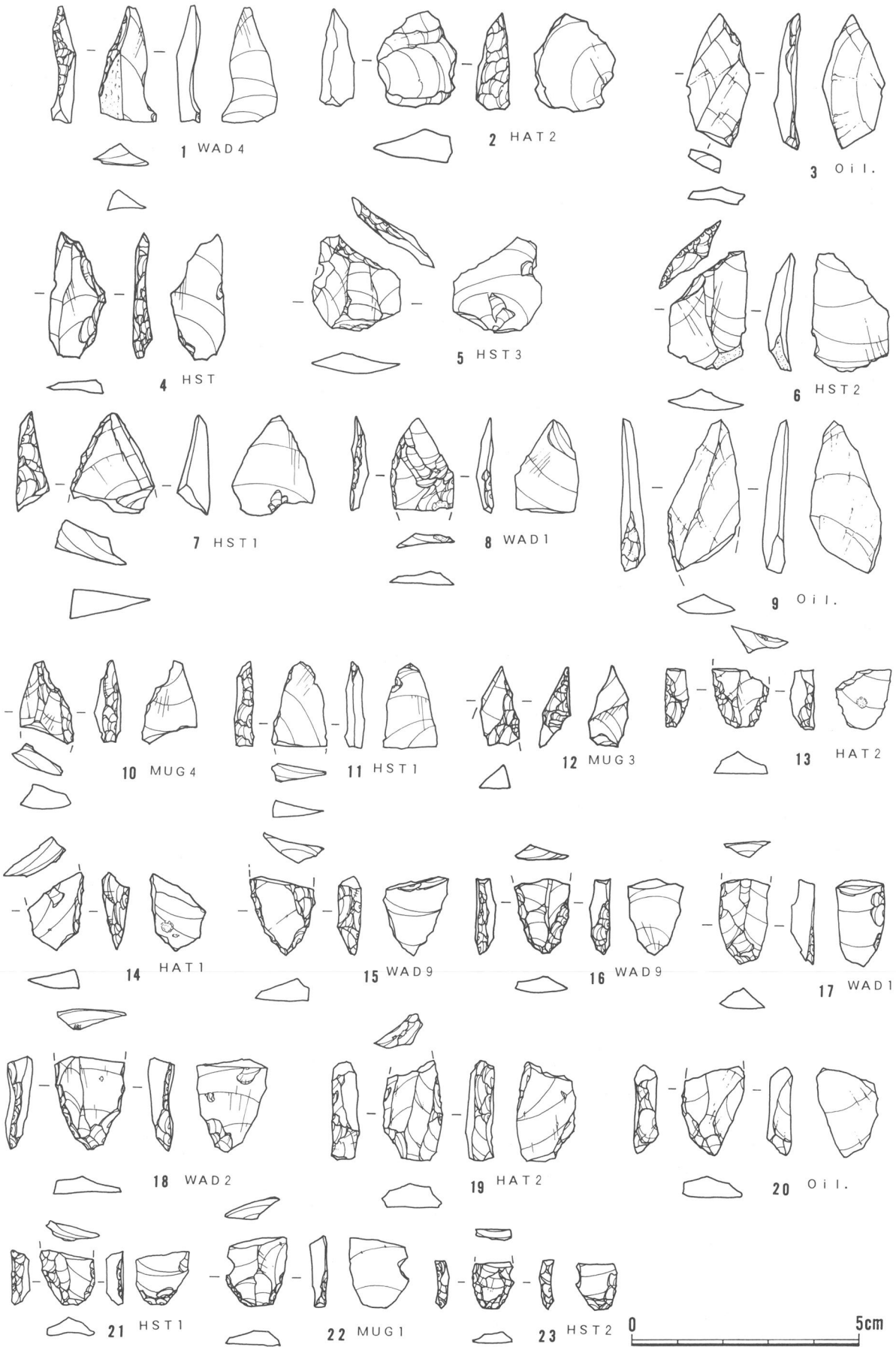
第25図　ＹＬ層ナイフ形石器２（4／5）



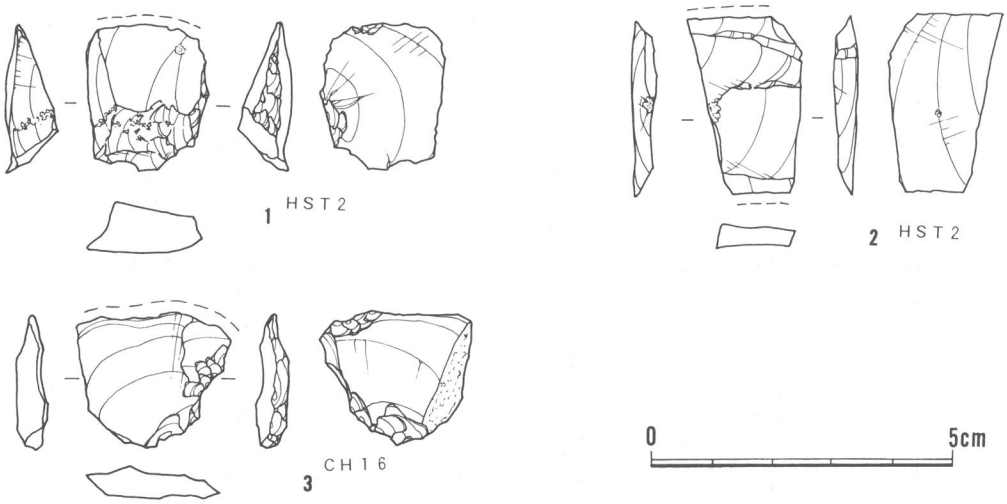
第26図　ＹＬ層ナイフ形石器３（4／5）



第27図　ＹＬ層ナイフ形石器４（4／5）



第28図　ＹＬ層ナイフ形石器５（4／5）

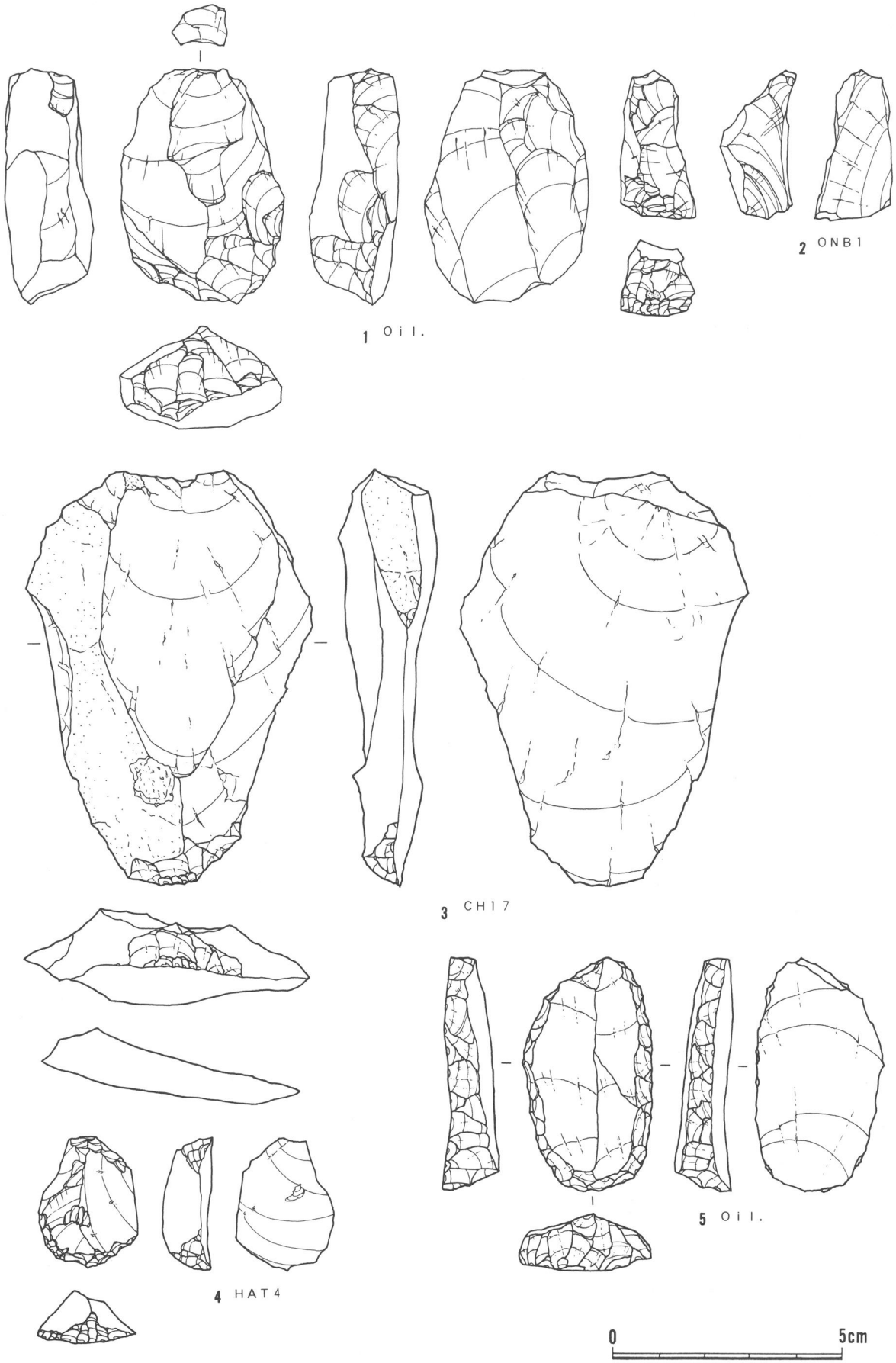


第29図　ＹＬ層台形様石器（4／5）

表９　ＹＬ層ナイフ形石器計測表　（単位㎜.ｇ）

器種	ＰＬ	No.	ｸﾞﾘｯﾄ	遺物番号	石材	母岩別	ブロック	最大縦	最大横	最大厚	重量
ナイフ	24	2	F9	1	黒耀石	HST-2		(30)	(12.5)	(6)	(2.1)
ナイフ	24	3	G5	8	黒耀石	MUG-2	P	31	12	5	1.7
ナイフ	24	4	E13	1	黒耀石	HST-1		33	12.5	5	1.2
ナイフ	24	5	O10	8	黒耀石	HST-3	K	26.5	13	3	0.9
ナイフ	24	6	J12	18	黒耀石	MUG-7	D	(28)	(11)	(3.5)	1.4
ナイフ	24	7	O10	1	黒耀石	HST-2	K	28.5	12.5	5	1.3
ナイフ	24	8	L6	6	黒耀石	HST-2	M	32	14.5	7	1.9
ナイフ	24	9	M5	6	黒耀石	WAD-6	L	40	18	5	2.7
ナイフ	24	10	表採		黒耀石	(MUG)		25	18.5	7	2.2
ナイフ	24	11	F13	4	黒耀石	MUG-2	B	23.5	11	5.5	0.9
ナイフ	24	12	L11	6	黒耀石	HST-3	G	22	11	4	0.6
ナイフ	24	13	F9	2	黒耀石	HST-3		(32)	(15)	(4)	(1.1)
ナイフ	24	14	K5	48	黒耀石	HST-2		(27)	(14.5)	(4.5)	(1.4)
ナイフ	24	15	L6	8	黒耀石	HST-2	M	26.5	12	4.5	0.9
ナイフ	24	1	K5	97	黒耀石	HST-2	N	(35)	(10)	(8)	(0.8)
ナイフ	25	1	I6	1	黒耀石	HST-4		49	19	10	5.8
ナイフ	25	2	J6	2	黒色緻密安山岩		O	38.5	19	7	4.5
ナイフ	25	3	H6	2	黒耀石	HST-4		(41.5)	(23)	(7)	(6.1)
ナイフ	25	4	J6	3	黒色緻密安山岩			(40)	(21)	(6)	(4.6)
ナイフ	25	5	表採		黒耀石	(HST)		35	14.5	5	2.3
ナイフ	25	6	J5	34	黒耀石	HST-1	O	30	10	9	1.5
ナイフ	25	7	G5	3	黒耀石	MUG-1	P	28.5	13.5	6.5	1.7
ナイフ	25	8	L5	28	黒耀石	WAD-5		39	14	6	2.2
ナイフ	25	9	N3	2	黒耀石	WAD-4		28	13	6	1.4
ナイフ	25	10	J12	17	黒耀石	HST-1	D	28.5	13.5	4.5	1.1
ナイフ	25	11	H5	5	黒耀石	MUG-1	P	(25.5)	(15.5)	(5)	(2)
ナイフ	25	12	L6	13	黒耀石	HST-2	M	26	13	7	1.7
ナイフ	25	13	J13	1	黒耀石	HST-1	D	31.5	11	6	1.1
ナイフ	26	1	K5	95	黒耀石	HAT-3		33.5	20	9	5.7
ナイフ	26	2	K5	23	黒耀石	HST-1	N	29.5	13	5	1.3
ナイフ	26	3	L4	2	黒耀石	HST-2	N	29.5	8.5	5	1.6
ナイフ	26	4	N10	8	黒耀石	HST-2	I	34	16.5	5.5	2.1
ナイフ	26	5	J5	11	黒耀石	HST-2	O	29	11.5	6.5	1.2
ナイフ	26	6	L8	1	頁岩			35	11.5	6	2.2

ナイフ	26	7	K5	54	黒耀石	HST-2	N	26	10.5	5	1
ナイフ	26	8	L6	10	黒耀石	HST-2	M	(25)	(13)	(2.6)	(0.7)
ナイフ	26	9	I7	1	黒耀石	WAD-1		32	11	6	1.2
ナイフ	26	10	G5	18	黒耀石	MUG-1	P	28	9.5	3.5	0.7
ナイフ	26	11	J5	20	黒耀石	WAD-2	O	(30.5)	(12)	(4)	(1.1)
ナイフ	26	12	K5	102	黒耀石	HST-2		32	12	4	1.1
ナイフ	26	13	M9	8	頁岩			44	10.5	4	1.7
ナイフ	26	14	G10	2	頁岩		E	43.5	15	45	3
ナイフ	26	15	L11	8	黒耀石	HST-3		(25.5)	(21.5)	(4)	(1.5)
ナイフ	27	1	L10	40	頁岩		H	42	13	6	3.5
ナイフ	27	2	J8	2	頁岩			29	13	6	2.1
ナイフ	27	3	K7	9	黒耀石	MUG-2		26	16	4.5	1.3
ナイフ	27	4	L10	31	頁岩		H	29	13	6	1.7
ナイフ	27	5	表採		頁岩			26	12	3.5	1
ナイフ	27	6	F12	2	黒耀石	MUG-3	B	33	20	7	2.7
ナイフ	27	7	L5	8	黒耀石	HAT-2	N	(24)	(16)	(4)	1
ナイフ	27	8	L6	11	黒耀石	HST-2	N	23	13	5	1
ナイフ	27	9	O8	1	黒耀石	KAS-3		(18)	(18.5)	(5)	(0.5)
ナイフ	27	10	L6	34	黒耀石	HST-2	M	22	9	4	0.6
ナイフ	27	11	K6	2	黒耀石	HAT-2	M	22.5	14	7	1.1
ナイフ	27	12	H6	4	黒曜石	WAD-6		(17)	(15.5)	(5)	(1.3)
ナイフ	27	13	J6	7	黒色緻密安山岩		O	(49)	(20.5)	(12)	(10)
ナイフ	27	14	J5	56	黒耀石	HST-1	O	37	23	7	2.9
ナイフ	28	1	N3	5	黒耀石	WAD-4		25	13	5	0.9
ナイフ	28	2	F13	6	黒耀石	HAT-2	A	18	21	6.7	2.3
ナイフ	28	3	H11	3	頁岩		C	29	14	5.5	1.8
ナイフ	28	4	K5	11	黒耀石	(HST)	N	28	13	4	0.9
ナイフ	28	5	L10	10	黒耀石	HST-3	H	(21)	(20)	(4.5)	(1.3)
ナイフ	28	6	N3	6	黒耀石	HST-2		27	18	5	1.6
ナイフ	28	7	L6	17	黒耀石	HST-1	N	(22)	(18)	(7)	(1.6)
ナイフ	28	8	I5	7	黒耀石	WAD-1		(20.5)	(19)	(3.5)	(0.6)
ナイフ	28	9	F9	3	頁岩			(35)	(15)	(5)	(2.1)
ナイフ	28	10	J13	4	黒耀石	MUG-4	D	(18)	(12)	(6)	(0.8)
ナイフ	28	11	J5	54	黒耀石	HST-1	O	(19)	(13)	(3.5)	(0.7)
ナイフ	28	12	F12	9	黒耀石	MUG-3	B	19	8	7.2	0.7
ナイフ	28	13	N4	3	黒曜石	HAT-2		(13)	(12.5)	(5)	(0.7)
ナイフ	28	14	N10	22	黒耀石	HAT-1	K	(17.5)	(12)	(6)	(0.8)
ナイフ	28	15	J5	29	黒耀石	WAD-9	O	(17.5)	(9.5)	(5)	(0.9)
ナイフ	28	16	G13	2	黒耀石	WAD-9	C	(17)	(12)	(5)	(0)
ナイフ	28	17	M6	2	黒耀石	WAD-1	M	(18.5)	(11)	(5)	(0.8)
ナイフ	28	18	J5	37	黒耀石	WAD-2	O	(20.9)	(16.5)	(6)	(1.5)
ナイフ	28	19	N10	4	黒耀石	HAT-2	I	(22)	(18.5)	(6)	(2.1)
ナイフ	28	20	N9	11	頁岩		K	(20)	(19)	(5.5)	(1.6)
ナイフ	28	21	L11	9	黒耀石	HST-1		(12)	(12)	(4)	(0.4)
ナイフ	28	22	F6	1	黒耀石	MUG-1		(15.5)	(13)	(14)	(0.6)
ナイフ	28	23	L10	11	黒耀石	HST-2	H	(10.5)	(9)	(3)	(0.3)
台形様石器	29	1	K5	56	黒耀石	HST-2	N	24.5	20	8.5	3
台形様石器	29	2	K6	7	黒耀石	HST-2	N	29.5	19	4.5	2.8
台形様石器	29	3	L5	26	チャート	CH-16	N	22	26	5	2.6



第30図　ＹＬ層掻器（4／5）

（4） **掻器**（第30図、第31図１～３・５）

８点が出土している。石材の内訳は黒耀石５点、チャート１点、頁岩２点である。

30－１は頁岩製の石核を素材としたものである。平坦な面を打面としてスクレイパーエッジを削出する。30－２は神津島産の黒耀石の分厚い剥片を素材としている。30－４は畑宿産の黒耀石の分厚い剥片を素材としたもので、剥片の末端に調整を加える。母指状を呈する小型の掻器である。30－５は頁岩製の剥片を素材としたもので、剥片のほぼ全周に刃部を削出したものである。31－１は星ヶ塔産の黒耀石の剥片を素材としたもので、欠損後、削器あるいは刃器に再加工したものである。31－３は先端部が欠損しているが、ほぼ全周に加工を施したものである。

（5） **削器・抉入削器**（第31図４・６、第32図１・２・４～７、第33図２）

15点が出土している。石材の内訳は黒耀石12点、チャート２点、頁岩１点である。削器と抉入削器は、それぞれの機能を併せ持った石器が多く、分離も困難な状況なので、本遺跡では併せて扱う。

32－１は先端部を欠損するため、掻器の欠損品とも考えられる。31－６は黒耀石製の縦長剥片の側縁部に刃部を削出したものであるが、対面する縁辺部には、使用痕が観察される。33－５は頁岩製の縦長の剥片を素材としたもので、縁辺部に抉入部を設けたものである。31－４は星ヶ塔産の黒耀石の剥片を素材とし、縁辺部に刃部を削出したものである。刃部の角度より掻器とも考えられる。33－３は稜付きの縦長剥片の縁辺部に抉入部を３箇所設けたものである。

（6） **彫器**（第33図７・８）

２点が出土している。

33－７は星ヶ塔産の黒耀石製で、縦長の剥片の縁辺部に調整を施し、ここを打面として側縁に２条の彫刻刀面を削出する。33－８は星ヶ塔産の黒耀石製で、縦長の剥片の縁辺部に平坦な調整を施し、ここを打面として腹面側に２条の彫刻刀面を削出する。

（7） **楔形石器**（第34図）

上下に打撃痕を残すものを分類した。11点が出土している。石材の内訳は黒耀石８点、チャート１点、頁岩１点、黒色緻密安山岩１点である。

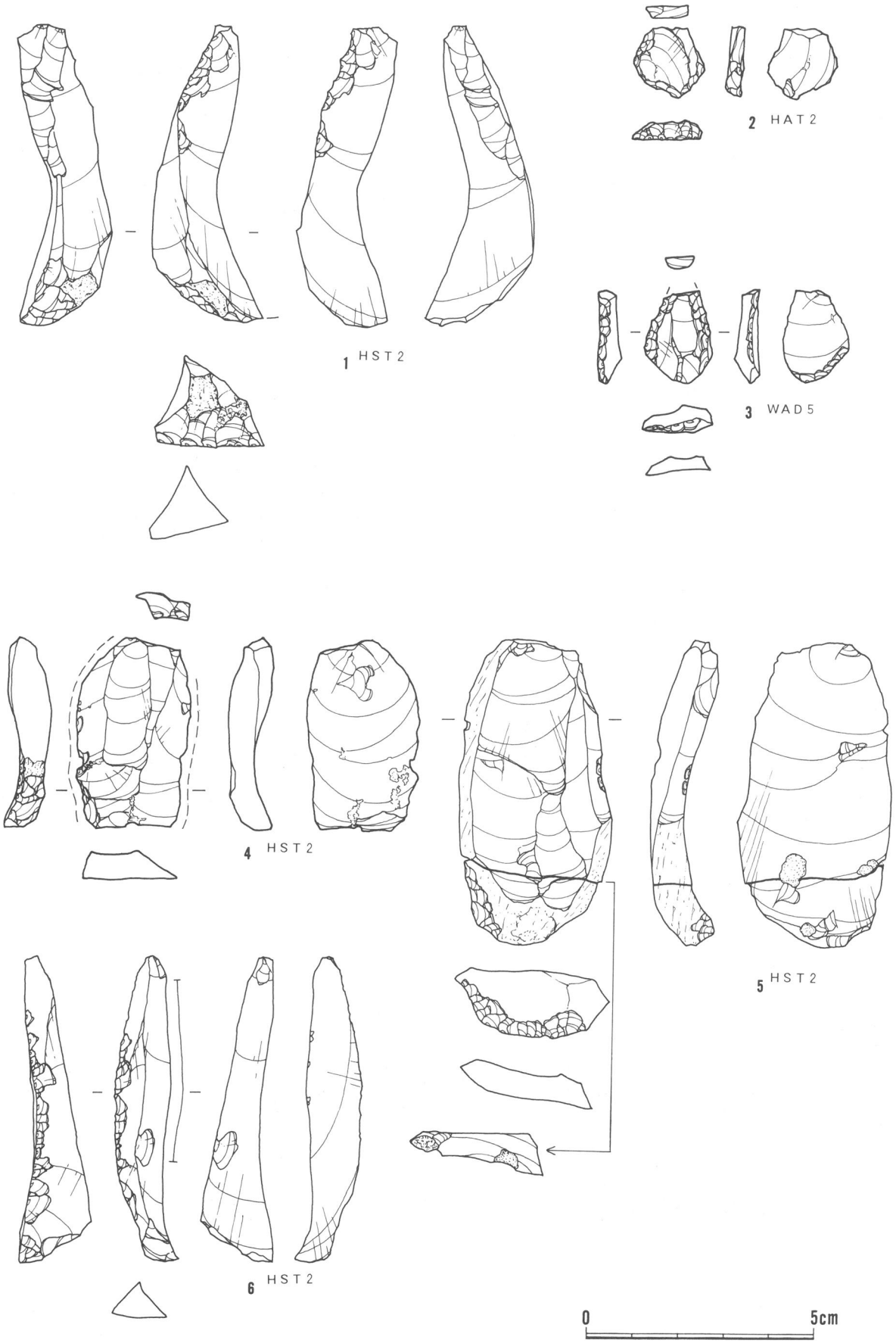
（8） **石刃状剥片**（第35・36・37・38図）

全長が5.0㎝以上で、横幅が1.5㎝以上、縦長が横幅の２倍以上のもの25点を分類した。石材の内訳は黒耀石２点、頁岩21点、チャート２点で、頁岩が全体の84％を占める。これらはナイフ形石器やその他の石器の素材とは、形状や石材の選択に隔たりがあり、むしろ刃器として単独で用いられていたと考えられる。また頁岩製の石器は風化が激しく、使用痕の観察は不可能であった。分布は調査区の東側、Ｈブロック付近に若干集中する他は、調査区全体で検出された。

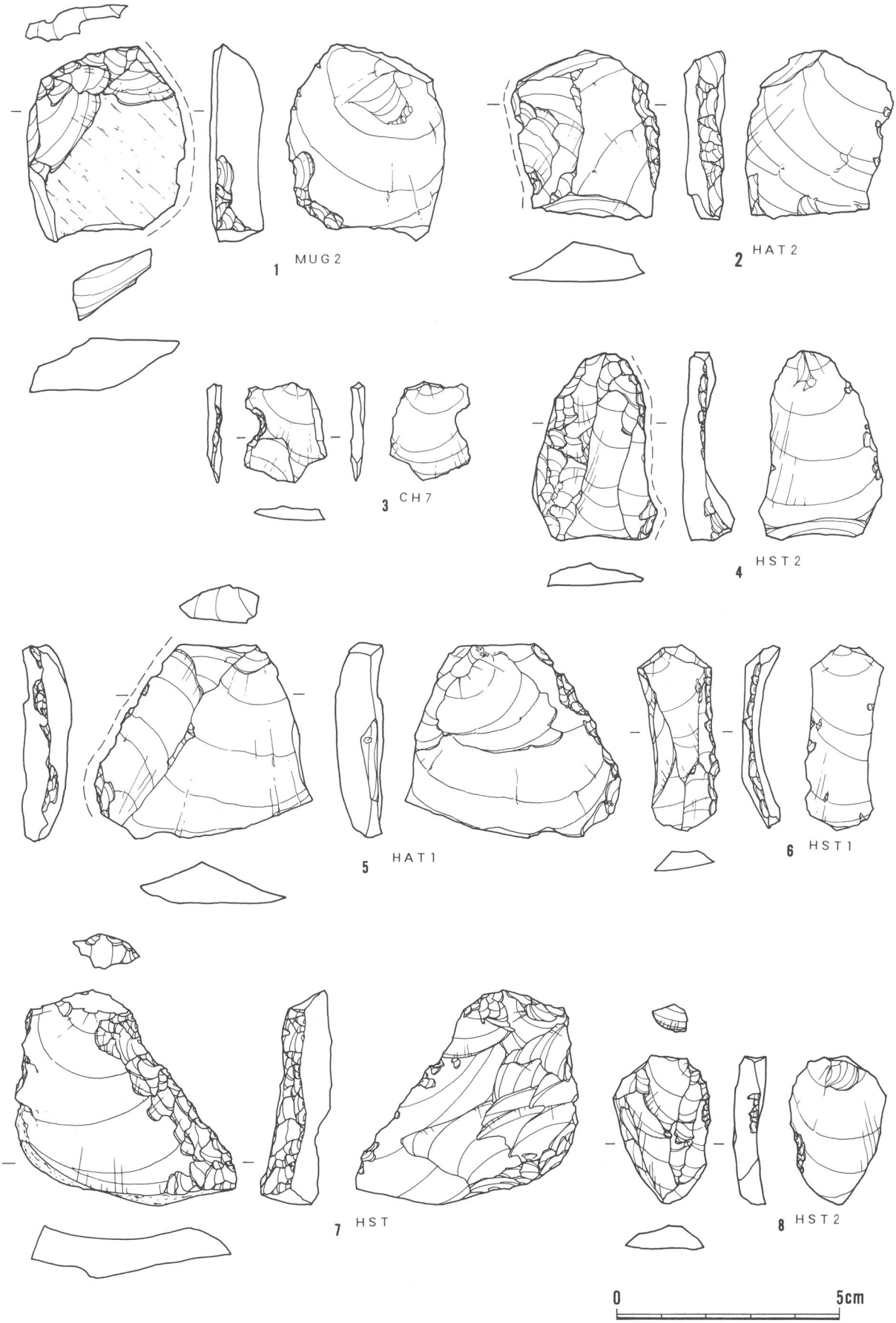
（9） **小型石刃状剥片**（第39図）

全長が5.0㎝以下で、縦長が横幅の２倍以上あり、両縁辺が平行で、背面にこれに平行な稜があるものを分類した。17点が出土している。

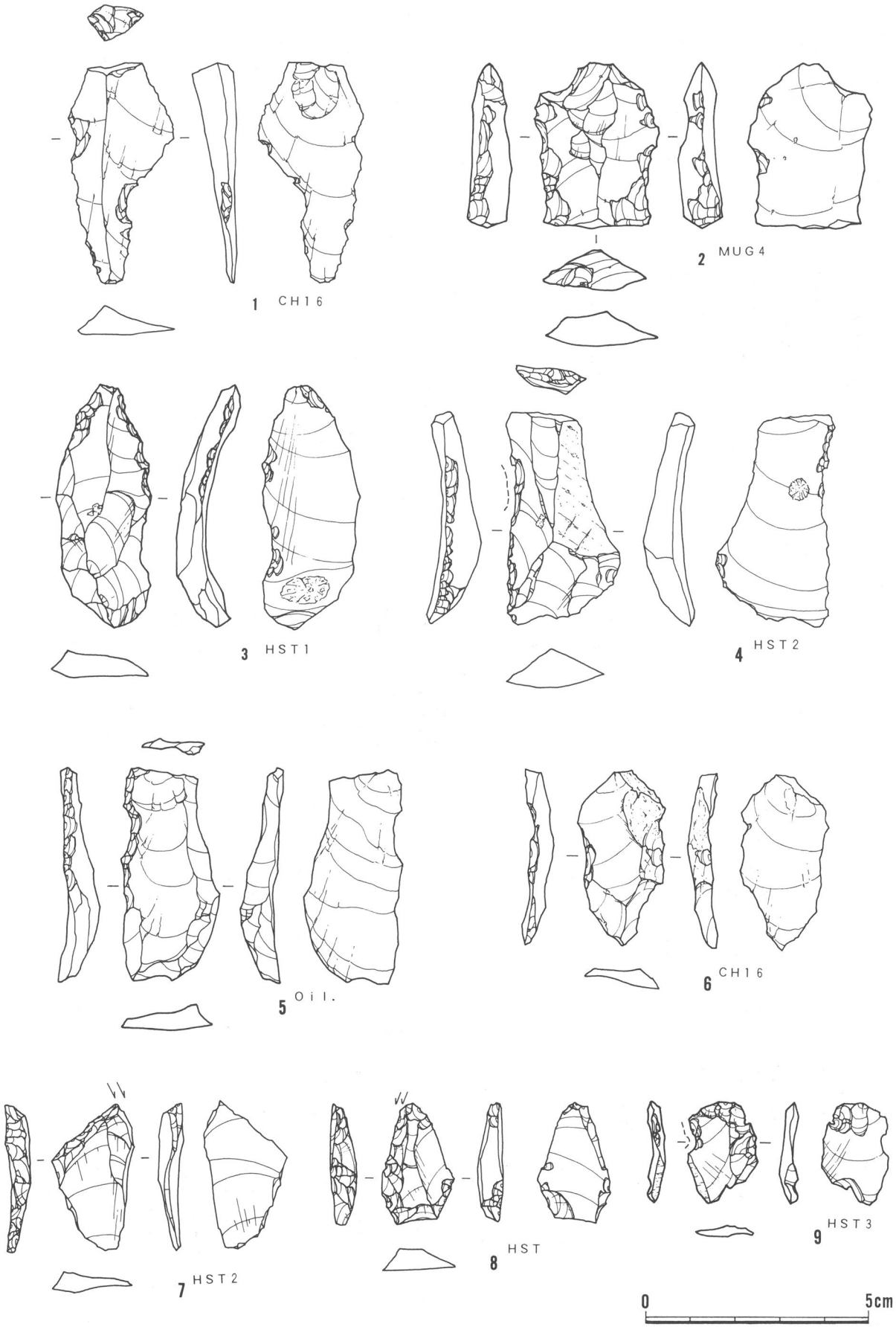
これらは細石刃と類似するが、やや大きめであることと、細石刃核が出土していないこと、そして他の石器と母岩を共有することから区別した。石材は全て黒耀石で、産地は神津島産が１点ある他は全て星ヶ塔産である。また全てに使用痕が観察され、分布も調査区の南側、Ｏ・Ｎブロックに集中する。



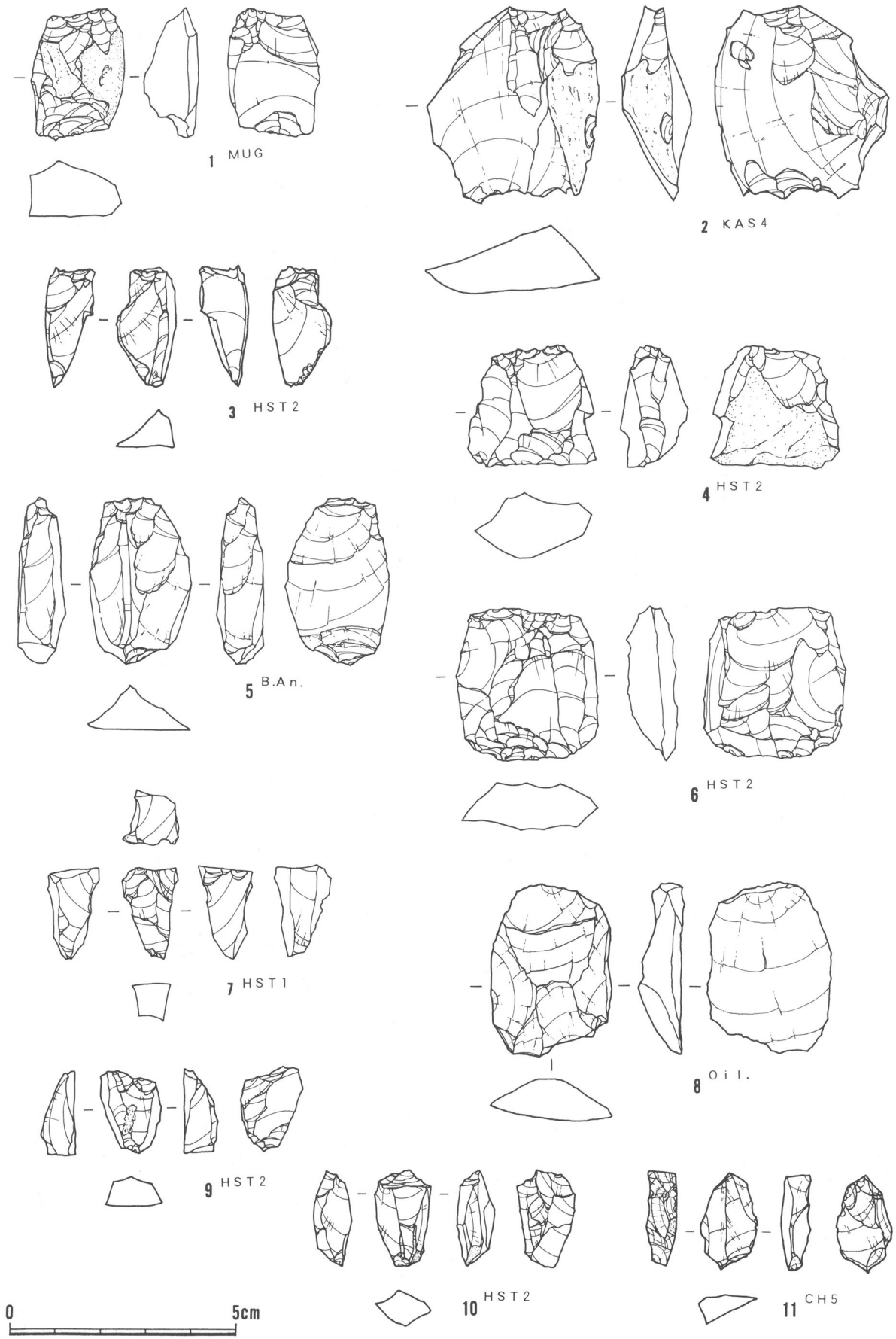
第31図　ＹＬ層掻器・削器（4／5）



第32図　ＹＬ層削器・抉入削器（4／5）



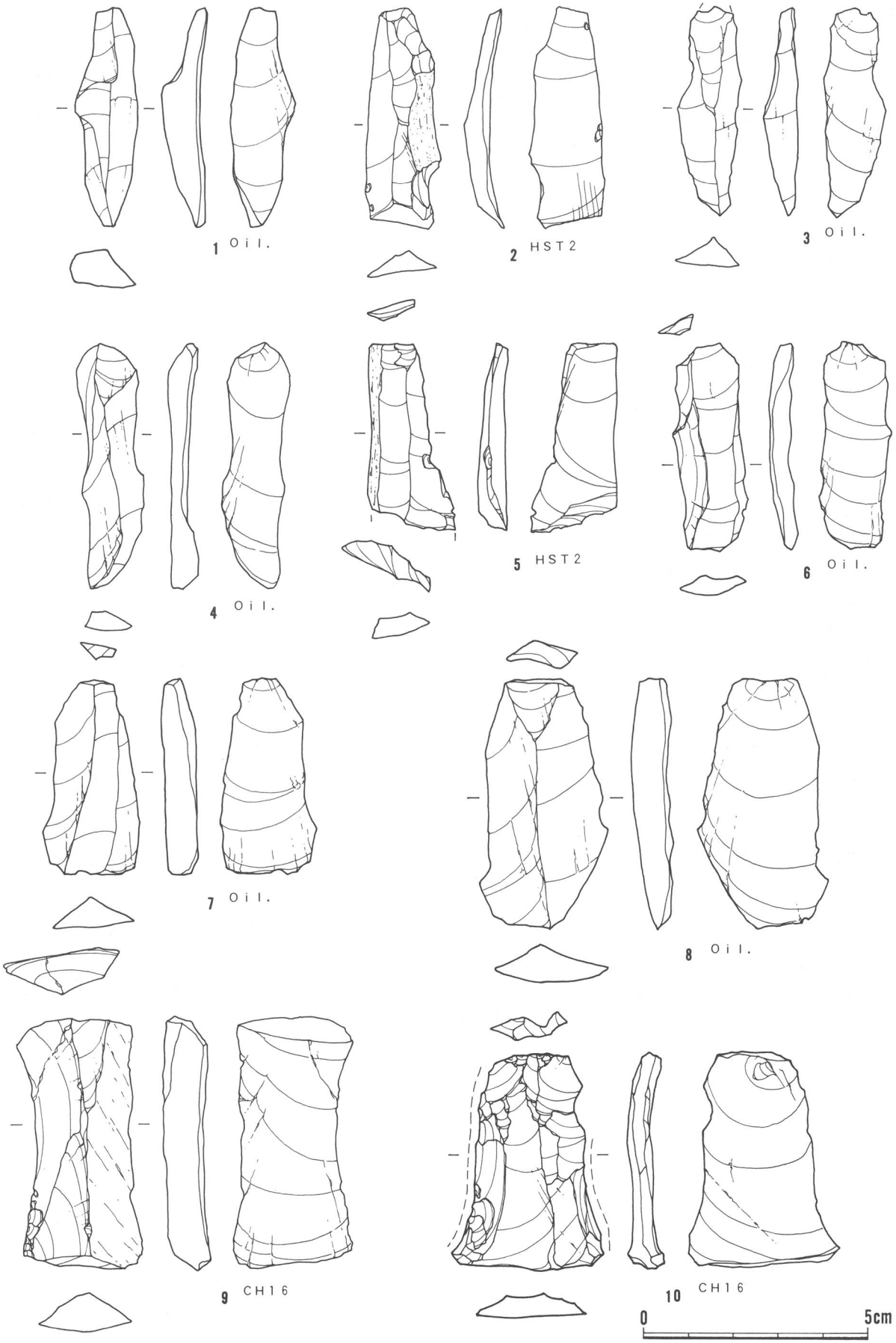
第33図　ＹＬ層抉入削器・彫器（4／5）



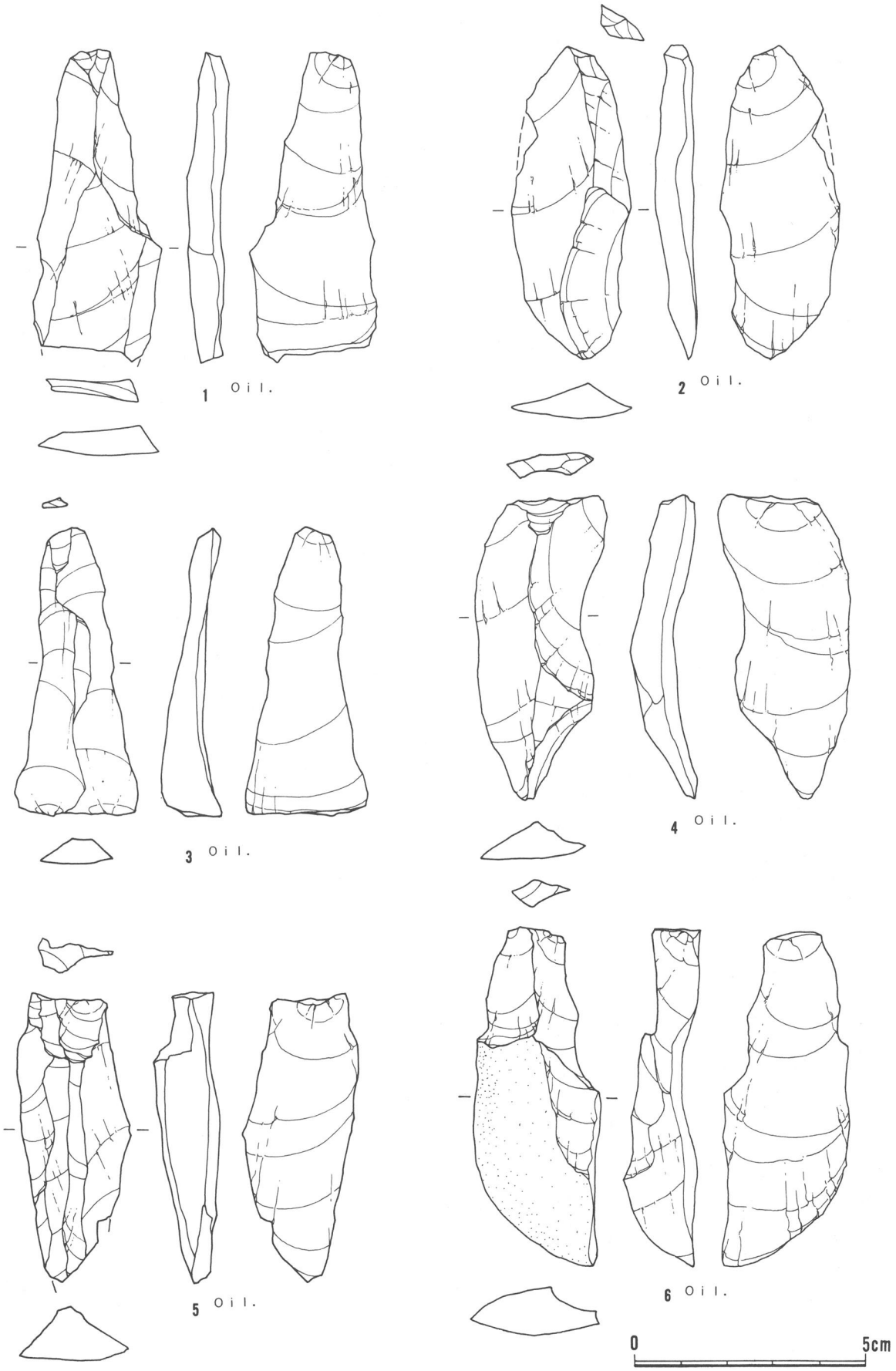
第34図　ＹＬ層楔形石器（4／5）

表10　ＹＬ層掻器・削器他計測表　（単位㎜.ｇ）

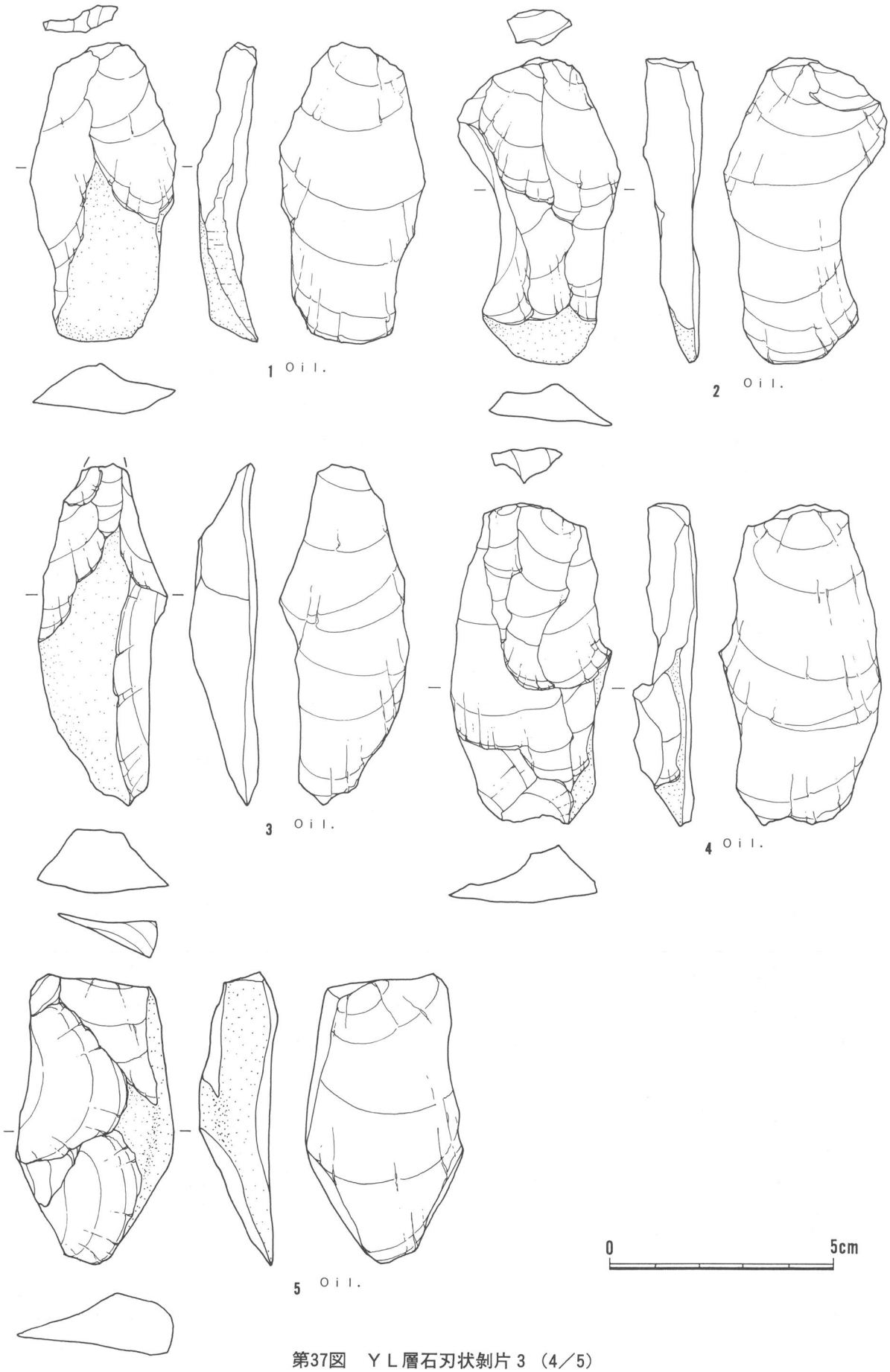
器種	ＰＬ	No.	ｸﾞﾘｯﾄ	遺物番号	石材	母岩別	ブロック	最大縦	最大横	最大厚	重量
掻器	30	1	L10	37	頁岩		H	51	35	20	39
掻器	30	2	K6	5	黒耀石	ONB-1	M	32	16.5	16	7.5
掻器	30	3	K6	1	チャート	CH-17	N	90	62	22	90
掻器	30	4	J6	13	黒耀石	HAT-4	O	29	21.5	11	5.2
掻器	30	5	O10	15	頁岩		K	51	27	12	18.8
掻器	31	1	N7	9	黒耀石	HST-2	L	66	21	15	13
掻器	31	2	J5	5	黒耀石	HAT-2	O	15	14.5	3.8	1
掻器	31	3	J8	1	黒耀石	WAD-5		20	15	5	1.2
削器	31	4	J14	2	黒耀石	HST-2		41	24	7.8	9.1
掻器	31	5	I12	5	黒耀石	HST-2	D	67	35	17	19
掻器	31	5	H12	13	黒耀石	HST-2	C	I12と接合			
削器	31	6	L6	5	黒耀石	HST-2		67.5	15	15.5	7.1
削器	32	1	K5	27	黒耀石	MUG-2		45	38	12.4	20.1
削器	32	2	G5	5	黒耀石	HAT-2	P	31	38.5	8.5	11.6
抉入削器	32	3	M4	551	チャート	CH-7		22	9	3	2.8
削器	32	4	N11	35	黒耀石	HST-2	J	40	28	11.8	8.9
削器	32	5	O6	7	黒耀石	HAT-1		46	42	11.3	19.4
削器	32	6	N12	2	黒耀石	HST-1		41.5	18.5	8	4.2
削器	32	7	表採		黒耀石	(HST)		48	46	14	28.1
抉入削器	32	8	K6	6	黒耀石	HST-2	N	32	20.5	7	5.4
抉入削器	33	1	K5	70	チャート	CH-16	N	49	23.5	10	5.7
削器	33	2	K13	2	黒耀石	MUG-4	D	37	27.5	10	10.7
抉入削器	33	3	M12	2	黒耀石	HST-1	G	54	2.2	8	7.4
抉入削器	33	4	F14	3	黒耀石	HST-2		47.5	26.5	11.5	7.5
削器・抉入削器	33	5	O6	4	頁岩			47	21.5	6.6	5.8
抉入削器	33	6	L5	31	チャート	CH-16	N	39	20	6.5	3.2
彫器	33	7	M10	2	黒耀石	HST-2	I	32.5	18.5	6	2
彫器	33	8	表採		黒耀石	(HST)		27	16	5	1.7
抉入削器	33	9	L11	13	黒耀石	HST-3	G	23	15	2.9	0.9
楔形石器	34	1	表採		黒耀石	(MUG)		28.5	20.5	12	6.6
楔形石器	34	2	G5	6	黒耀石	KAS-4	P	43	38	15	21.7
楔形石器	34	3	K5	34	黒耀石	HST-2	N	26.5	12.5	11	2.6
楔形石器	34	4	G5	11	黒耀石	HST-2	P	27	28.5	15	8.8
楔形石器	34	5	J13	11	黒色緻密安山岩		D	36.5	23	10	7.8
楔形石器	34	6	M11	7	黒耀石	HST-2	G	34	31	0.9	12
楔形石器	34	7	M10	10	黒耀石	HST-1	I	20	13	11.5	2
楔形石器	34	8	O10	21	頁岩		K	38	27	9	9.2
楔形石器	34	9	M9	10	黒耀石	HST-2	H	18.5	9	7.5	1.6
楔形石器	34	10	K5	21	黒耀石	HST-2		21	12.5	8	1.8
楔形石器	34	11	K5	86	チャート	CH-5	N	21	13	7	1.5



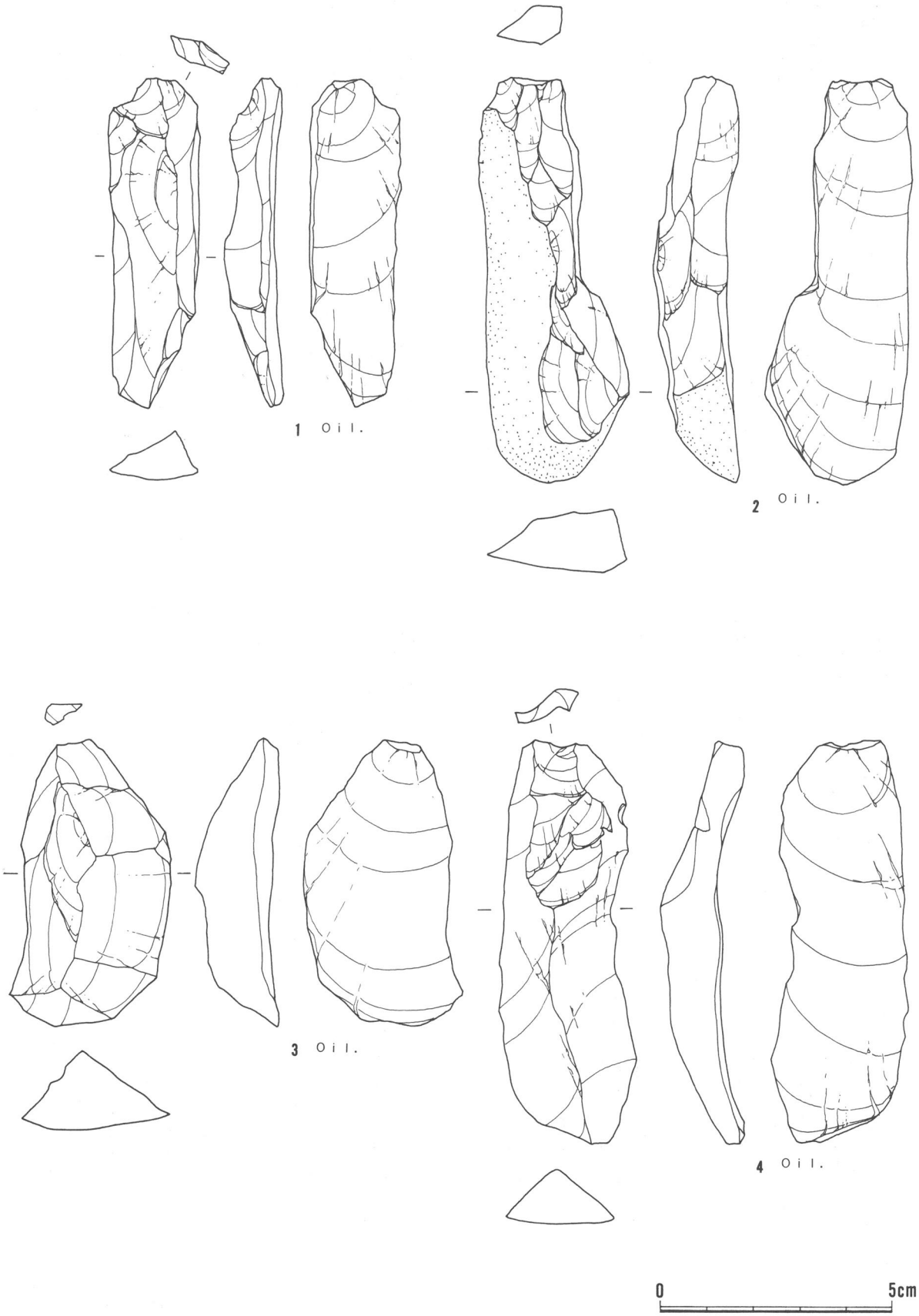
第35図　ＹＬ層石刃状剝片１（4／5）



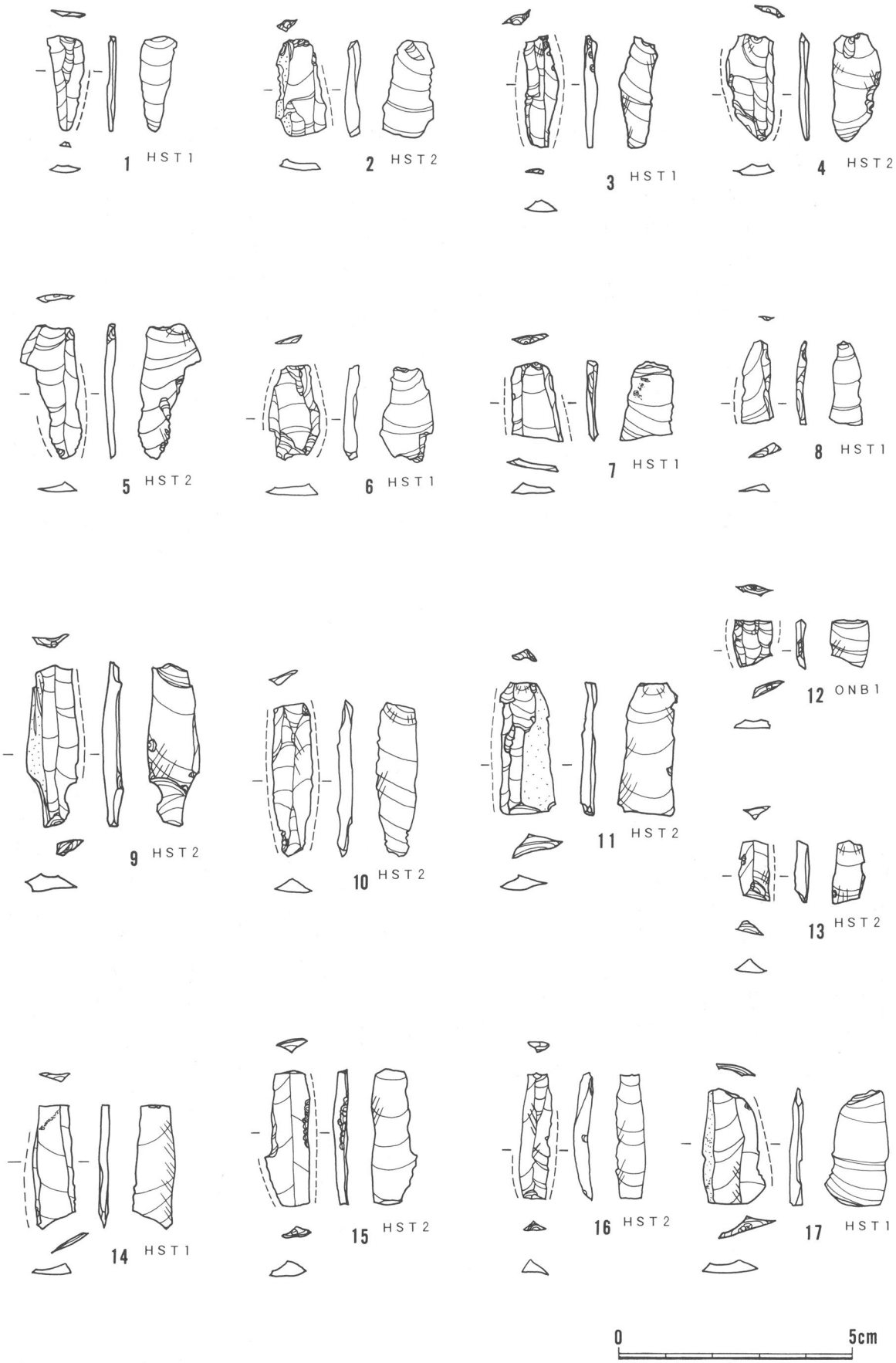
第36図　ＹＬ層石刃状剝片２（4／5）



第37図　ＹＬ層石刃状剝片３（4／5）



第38図　ＹＬ層石刃状剝片４（4／5）



第39図　ＹＬ層小型石刃状剝片（4／5）

表11　ＹＬ層石刃状剝片計測表

（単位mm.g）

器種	ＰＬ	No.	ｸﾞﾘｯﾄ	遺物番号	石材	母岩別	ブロック	最大縦	最大横	最大厚	重量
石刃状剝片	35	1	O9	4	頁岩			49	14.5	10	4.5
石刃状剝片	35	2	K5	63	黒耀石	HST-2	N	48.5	17	8.5	5
石刃状剝片	35	3	M10	16	頁岩			45	14	8	4.2
石刃状剝片	35	4	L9	8	頁岩		H	53.5	14	6.3	4.5
石刃状剝片	35	5	H4	1	黒耀石	HST-2	P	41	19.5	7	3.6
石刃状剝片	35	6	I12	18	頁岩		C	45	17	4.5	3.2
石刃状剝片	35	7	M10	30	頁岩		H	42.5	21	8.2	8.1
石刃状剝片	35	8	F9	6	頁岩			53.5	27	1.3	11.3
石刃状剝片	35	9	N6	3	チャート	CH-16	L	60	27.5	10	15
石刃状剝片	35	10	M4	554	チャート	CH-16		48	34	8	9.8
石刃状剝片	36	1	I13	1	頁岩			67	27.5	17	12.5
石刃状剝片	36	2	F12	14	頁岩		B	66	25	8	12.9
石刃状剝片	36	3	L10	14	頁岩		H	60.5	26	12	11.2
石刃状剝片	36	4	H12	26	頁岩		C	66	27	12.8	16.3
石刃状剝片	36	5	G11	1	頁岩		E	61	24	13	15.7
石刃状剝片	36	6	J12	11	頁岩		D	75	27	12.8	25.3
石刃状剝片	37	1	H15	1	頁岩			66	31	14.5	24.5
石刃状剝片	37	2	O10	3	頁岩		K	67	36	11.5	21.7
石刃状剝片	37	3	M12	3	頁岩		G	74	28	11.2	24
石刃状剝片	37	4	G10	3	頁岩			70	35	8.8	27.2
石刃状剝片	37	5	F12	5	頁岩		B	65	35	15	36.8
石刃状剝片	38	1	F12	18	頁岩		B	70.5	19.8	10.8	16.1
石刃状剝片	38	2	F12	20	頁岩			87.5	32	15	41.1
石刃状剝片	38	3	M11	29	頁岩		I	61.5	31	16.5	31.5
石刃状剝片	38	4	L10	19	頁岩		H	86	40	18	33.4

表12　ＹＬ層小型石刃状剝片計測表

（単位mm.g）

器種	ＰＬ	No.	ｸﾞﾘｯﾄ	遺物番号	石材	母岩別	ブロック	最大縦	最大横	最大厚	重量
小型石刃状剝片	39	1	J5	63	黒耀石	HST-1	O	19	8	1.2	0.2
小型石刃状剝片	39	2	N3	4	黒耀石	HST-2		20.5	10	2.4	0.6
小型石刃状剝片	39	3	J5	28	黒耀石	HST-1	O	24	7	2.2	0.3
小型石刃状剝片	39	4	L5	1	黒耀石	HST-2	N	23	10	1.5	0.4
小型石刃状剝片	39	5	L5	16	黒耀石	HST-2	N	28	13.5	2	0.5
小型石刃状剝片	39	6	J5	10	黒耀石	HST-1	O	19.5	10	2.1	0.5
小型石刃状剝片	39	7	J5	36	黒耀石	HST-1	O	17.5	10	1.8	0.3
小型石刃状剝片	39	8	J5	60	黒耀石	HST-1	O	17	6	1.6	2
小型石刃状剝片	39	9	J4	1	黒耀石	HST-2		34.5	12	3.3	1.1
小型石刃状剝片	39	10	L6	12	黒耀石	HST-2	N	31	21	7.6	2.8
小型石刃状剝片	39	11	K4	8	黒耀石	HST-2	N	28	11	3.5	0.9
小型石刃状剝片	39	12	M5	4	黒耀石	ONB-1		10	8.5	1.2	0.1
小型石刃状剝片	39	13	L5	13	黒耀石	HST-2	N	12	6	2.7	0.1
小型石刃状剝片	39	14	N11	39	黒耀石	HST-1	J	26	9	1.6	0.4
小型石刃状剝片	39	15	L6	18	黒耀石	HST-2	N	28	10	2.5	0.6
小型石刃状剝片	39	16	L5	27	黒耀石	HST-2	N	27	6	3.6	0.4
小型石刃状剝片	39	17	J5	70	黒耀石	HST-1	O	25	14	2.1	0.7

(10)　**石核調整剥片**（第40・41図）

剥片の中で、特に石核の調整剥片と判るもの15点を分類した。石材の内訳は黒耀石13点、黒色緻密安山岩２点である。中でも、打面の調整剥片と考えられるものは40－５、41－１・２・３・４・５・６・７・９・10である。また、剥片の鋭利な縁辺部については使用痕が観察されるものが多い。なお石材について、頁岩が含まれていない理由として、風化が著しいために、観察が不可能であったことを特記しておきたい。特に薄手の剥片は風化作用のため、ほとんど稜線を判別することも不可能な状態となることがある。

(11)　**石核**（第42～51図）

33点が出土している。石材の内訳は、黒耀石３点、頁岩20点、チャート２点、黒色緻密安山岩８点である。黒耀石の原産地は、畑宿２点、柏峠１点であり、石核の全てが遺跡周辺で採取できる石材である。

これらは打面の位置によって４種類に分類することができる。

１類　打面を固定し、一方向から剥片剥離作業をおこなうもの。

２類　上下に打面を設定し、両方向から剥片剥離をおこなうもの。

３類　打面を約90度転移しながら、剥片剥離をおこなうもの。

４類　礫の縁辺部より求心的に剥片剥離をおこなうもの。

１類（第42～44図・50図１）打面を固定し、一方向から剥片剥離作業をおこなうもの。

10点が該当する。

42－１は頁岩製の円礫を素材とし、単剥離の打面を有するものである。礫面を残す。

42－２は頁岩製の円礫を素材とし、複剥離の打面を有する。頭部調整の痕跡も観察され、礫面を残す。

42－３は拳大の頁岩製の円礫を素材とし、複剥離打面を有する。

43－２は頁岩製の円礫を素材とし、単剥離打面を有する。縦長剥片を連続的に剥離したと考えられる。作業面の裏側には礫面を残す。

43－３は柏峠産の黒耀石の角礫を素材とし、平坦な原礫面に打面調整を施したのち、剥片剥離をおこなったものであり、最終の剥離はヒンジフラクチャーをおこしている。側面部に頭部調整と考えられる剥離が観察されるが、剥片剥離作業は継続されていない。

44－２は黒色緻密安山岩製の礫を素材としたもので、打面調整が顕著な複剥離面を打面として、不定形な寸詰まりの剥片を剥離したものである。石核が分割したために作業を中止したものと考えられる。

50－１は畑宿の黒耀石を素材としたもので、上設の単剥離打面より寸詰まりの縦長剥片を剥離したものである。残核は角錐形を呈する。

２類（第45図、第46図１・２）上下に打面を設定し、両方向から剥片剥離をおこなうもの。

６点が該当する。

45－２は頁岩製で、両設の単剥離面を打面として、縦長の剥片を剥離したものである。残核は柱状を呈し、目的的剥片が縦長であったことを示す。

45－４は上面が単剥離面、下面が礫面を打面とした両設打面石核で、主に上面から連続的に縦長剥片、あるいは石刃状剥片を剥離する。一部に礫面を残す。

46－２は節理が発達した黒色緻密安山岩製で、主に下面からの剥離により、やや幅広の縦長剥片を剥離したと考えられる。

3類（第46図3・4～第49図2・第50図2）打面を90度転移しながら、剥片剥離をおこなうもの。

10点が該当する。

46－4は黒色緻密安山岩製で、打面を転移しながら小型の剥片を剥離したもので、残核はサイコロ状を呈する。

47－1は黒色緻密安山岩製で、頻繁に打面転移を繰り返しながら、不定形の剥片を剥離する。

47－2は頁岩の円礫を素材として、打面転移しているものの、概して上設の単剥離打面より、縦長剥片を剥離しているものである。一部に原礫面を残す。

48－1は畑宿産の黒耀石を素材としたもので、頻繁に打面を転移しながら不定形な寸詰まりの剥片を剥離する。一部に礫面を残し、残核はサイコロ状を呈する。

50－2は拳大の頁岩の円礫を素材としたもので、打面の転移を繰り返しながら縦長の剥片を剥離する。礫面を縁周に残し、端部に敲打痕が観察されることから、敲石として用いられたと考えられる。

4類（第51図1）礫の縁辺部より求心的に剥片剥離をおこなうもの。

該当するものは1点である。51－1は頁岩の円礫を素材として、原礫面を打面として貝殻状の剥片を剥離したもので、剥片2点と接合する。あるいは礫器とも考えられる。

以上出土した石核は33点である。石核の約60％を占める頁岩は、いずれも廃棄された残核の最大長が5㎝前後であり、その作業面からは縦長剥片、あるいは石刃状剥片を剥離した痕跡が観察される。これらは、原礫面の状態からみても、それほど大きな礫として遺跡に搬入されたものとは考えられず、剥離された目的的剥片の数も、1つの石核について、5点を大きく超えることはなかったと考えられる。よって、大量に持ち込まれ、大量に消費されたことが予想され、サイコロ状になるまで小型の剥片を剥ぎ続けている黒耀石製の石核とは好対称をなす。この、石材消費の在り方は、ナイフ形石器や石刃状剥片の石材選択の偏りとあわせて、黒耀石→小型剥片→ナイフ形石器、頁岩→石刃状剥片（刃器）という、剥片剥離技術と石材、器種の結びつきを示す。

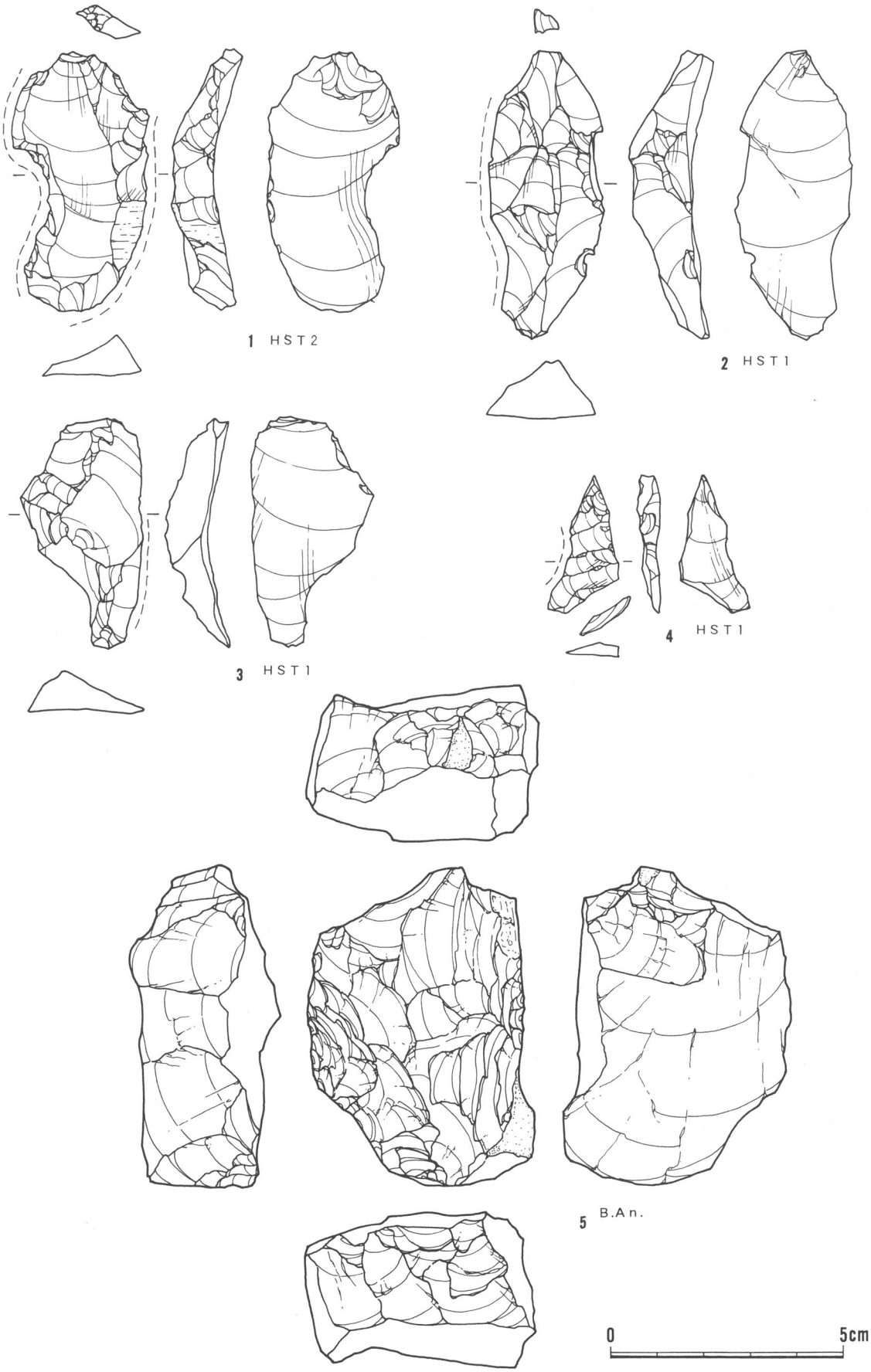
(12) 原石（第51図2）

黒色緻密安山岩製の礫が1点出土している。石器の素材として、遺跡に持ち込まれたものと考えられる。剥片剥離した痕跡はない。

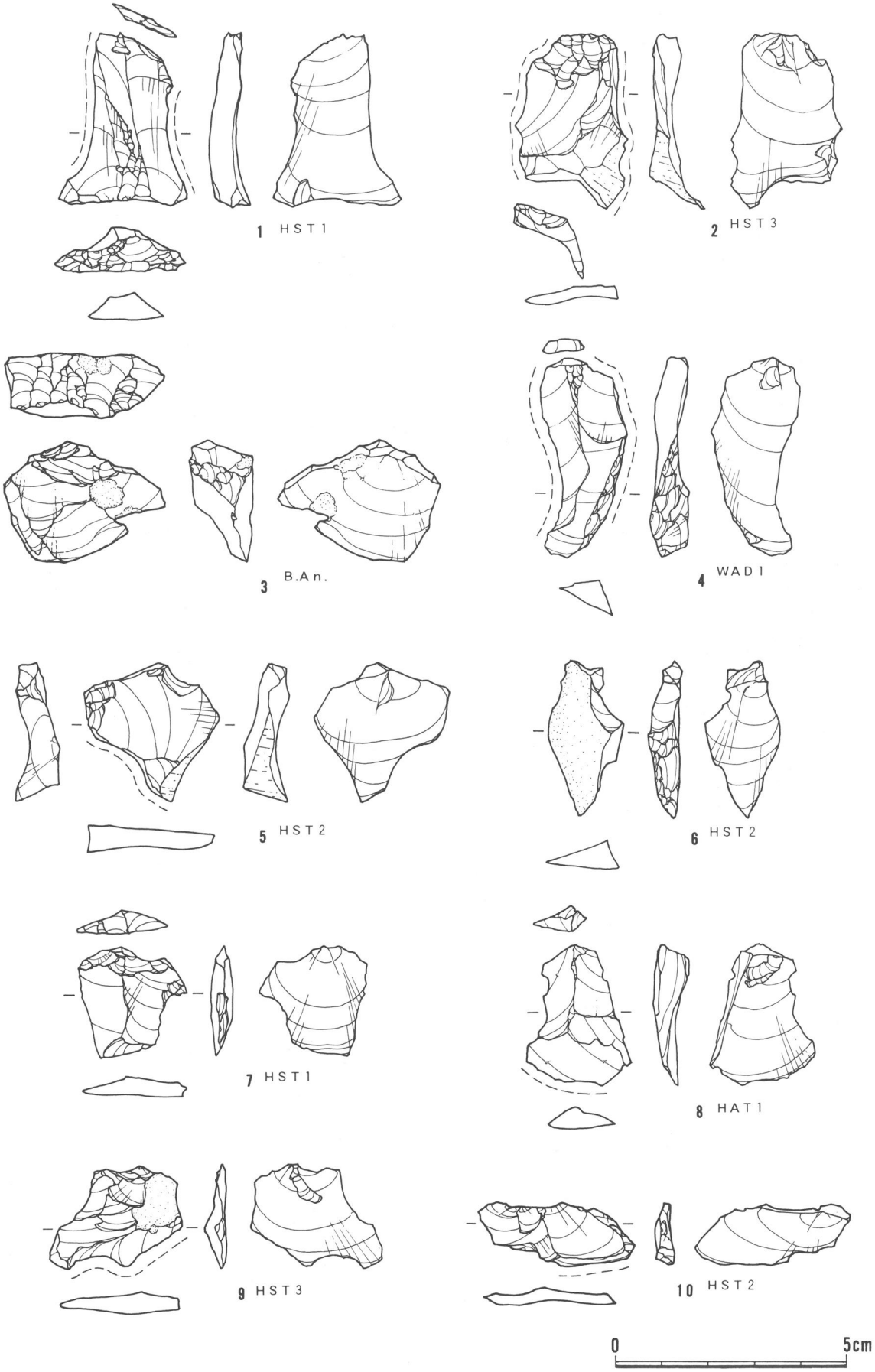
(13) 敲石・磨石・凹石（第52・53図）

礫石器をあげた。敲石・磨石・凹石の3種類に分類できるが、実際は磨石と敲石は複合石器であることが多い。磨石1点、磨石・敲石の複合石器が7点、敲石が8点、凹石が1点である。

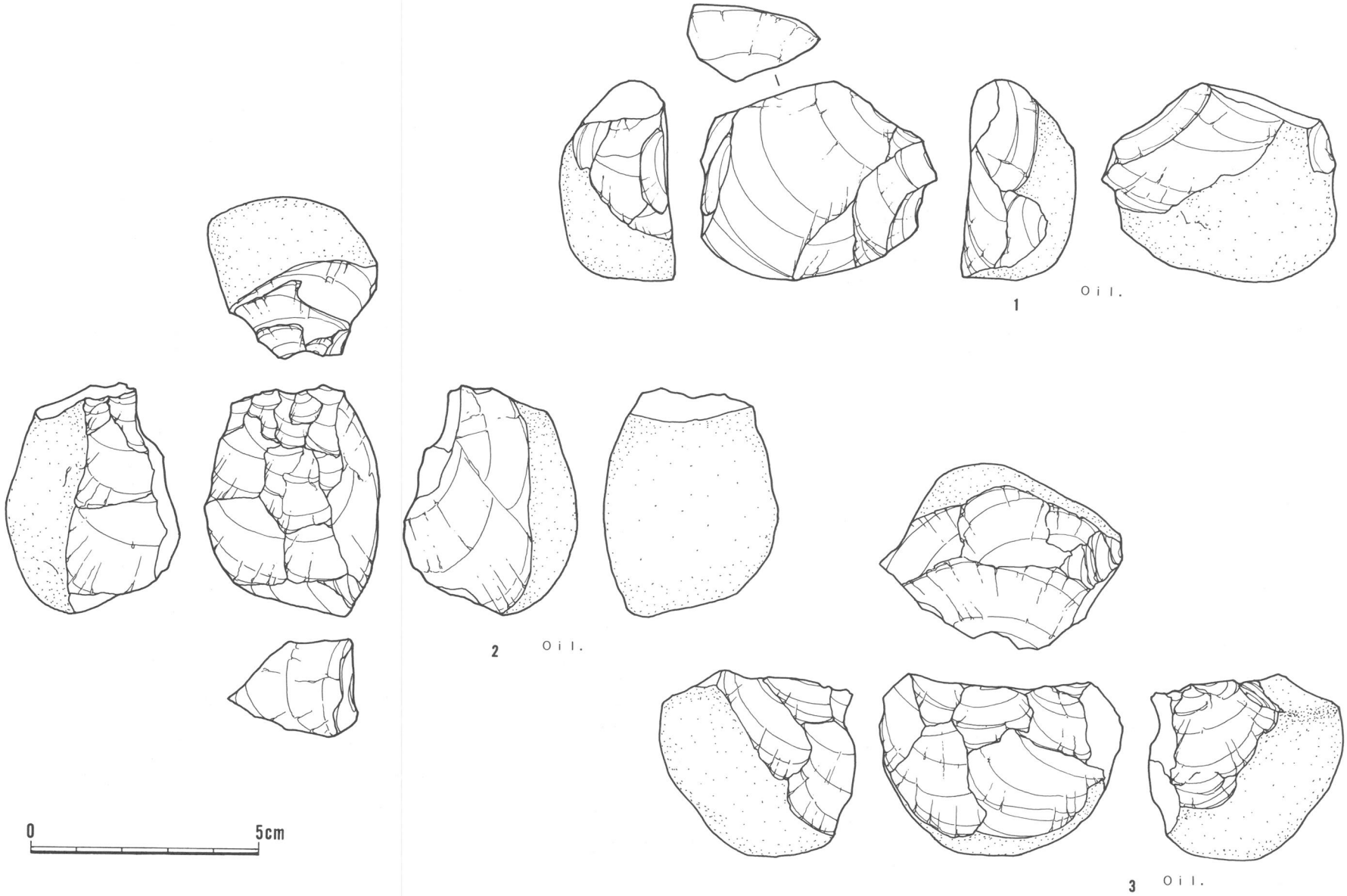
分布は調査区の北側に多い。



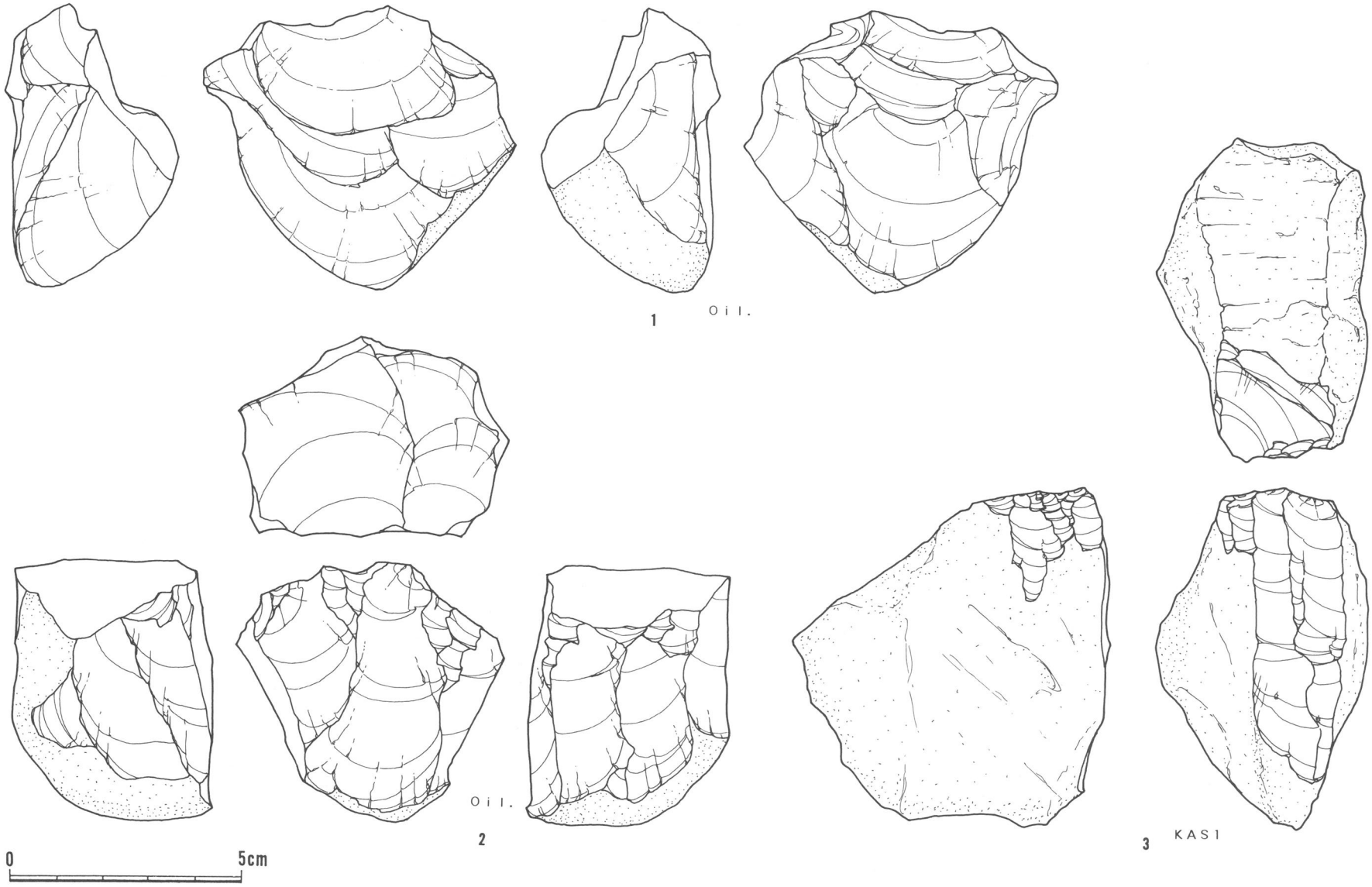
第40図　ＹＬ層石核調整剥片１（4／5）



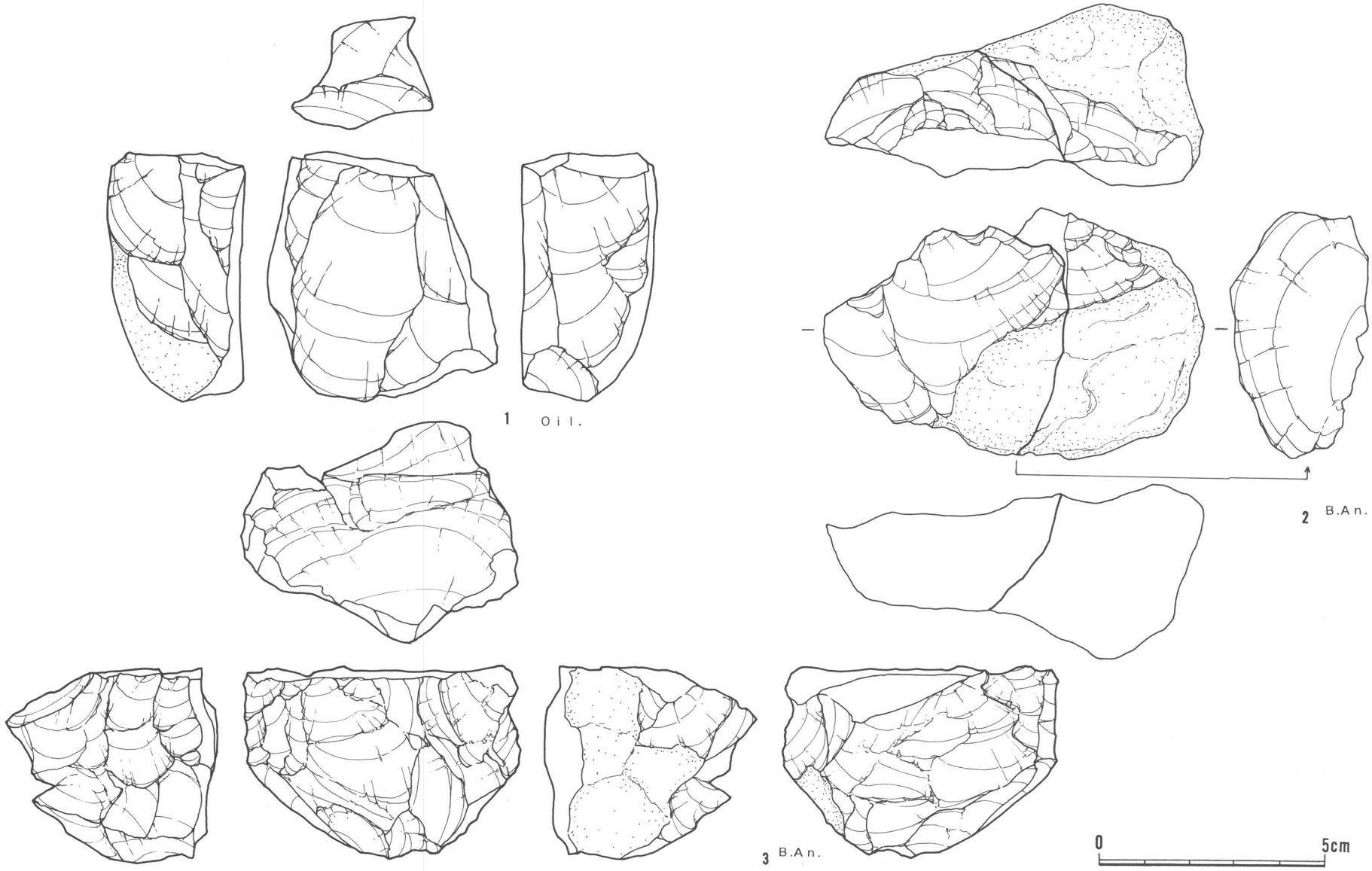
第41図　ＹＬ層石核調整剝片２（4／5）



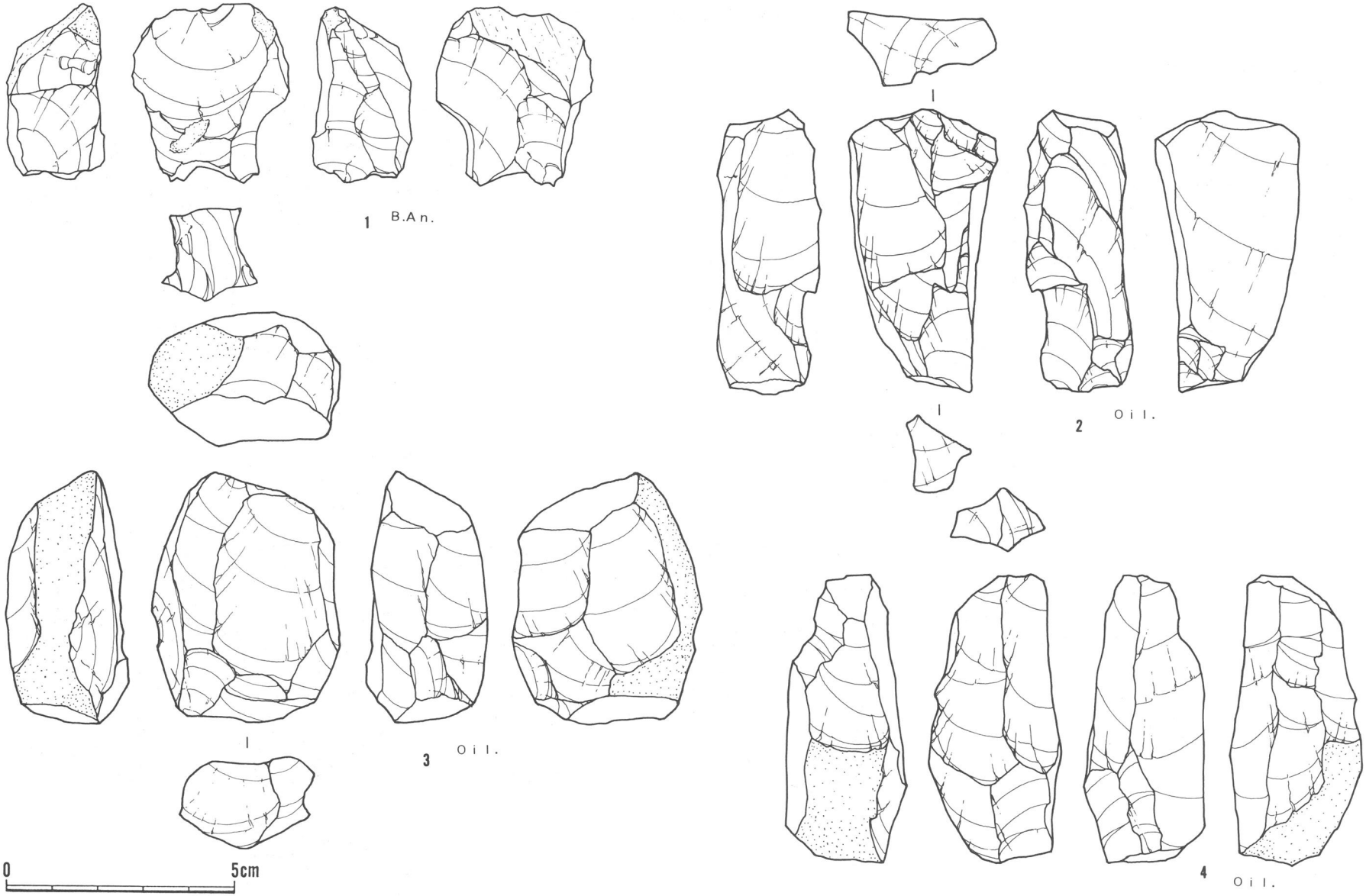
第42図　ＹＬ層石核１（4／5）



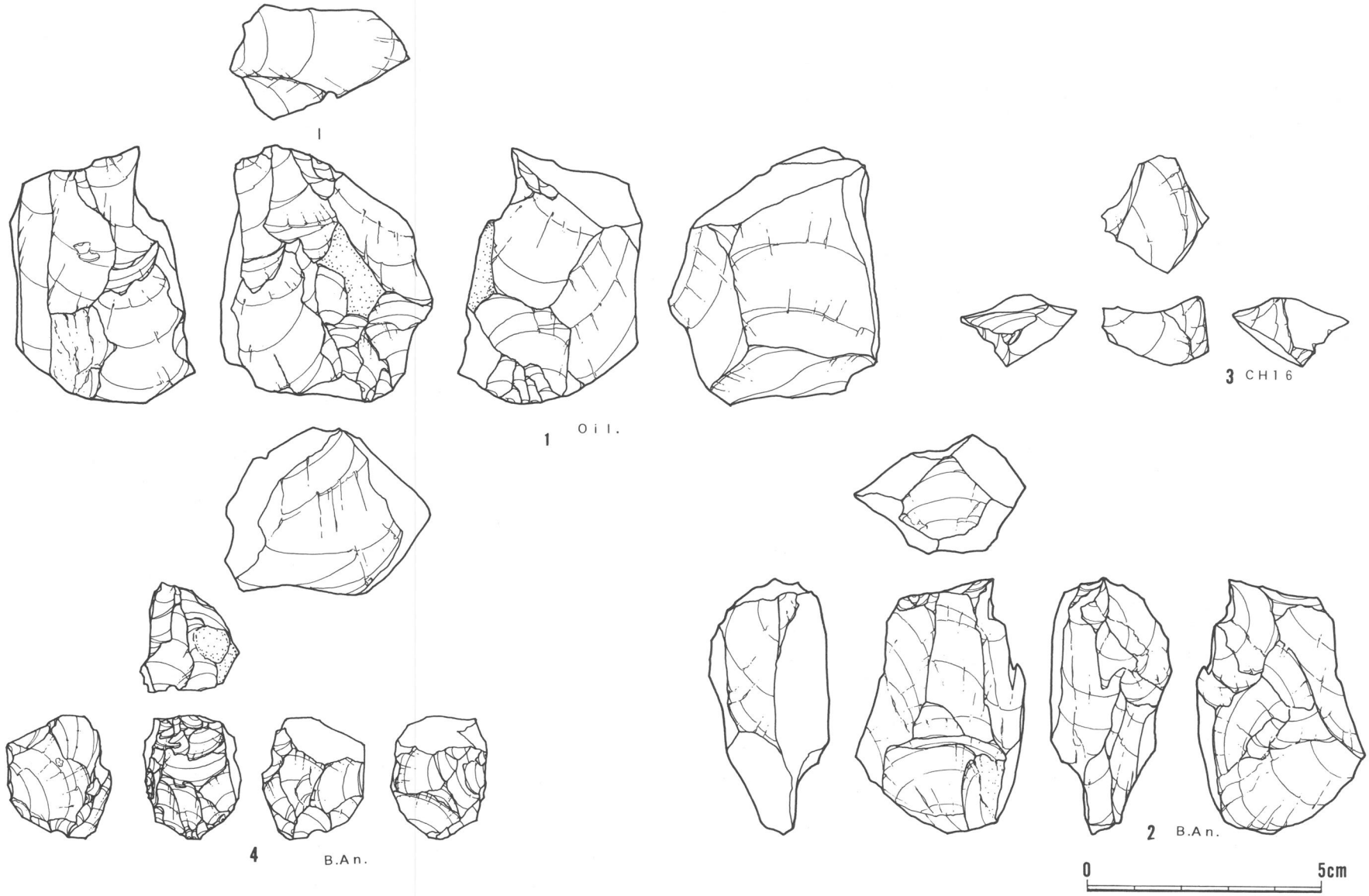
第43図　ＹＬ層石核２（4／5）



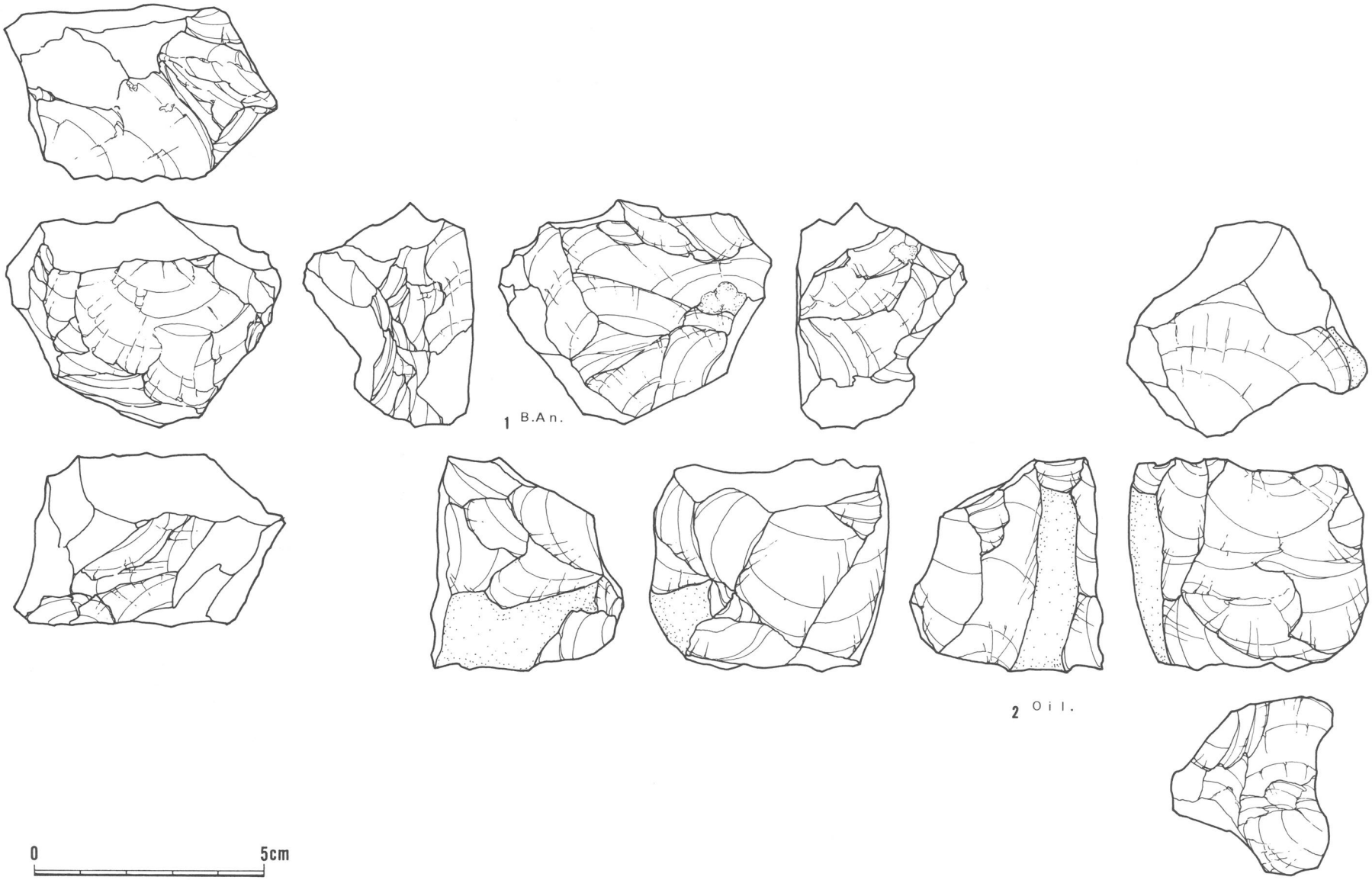
第44図　ＹＬ層石核３（4／5）



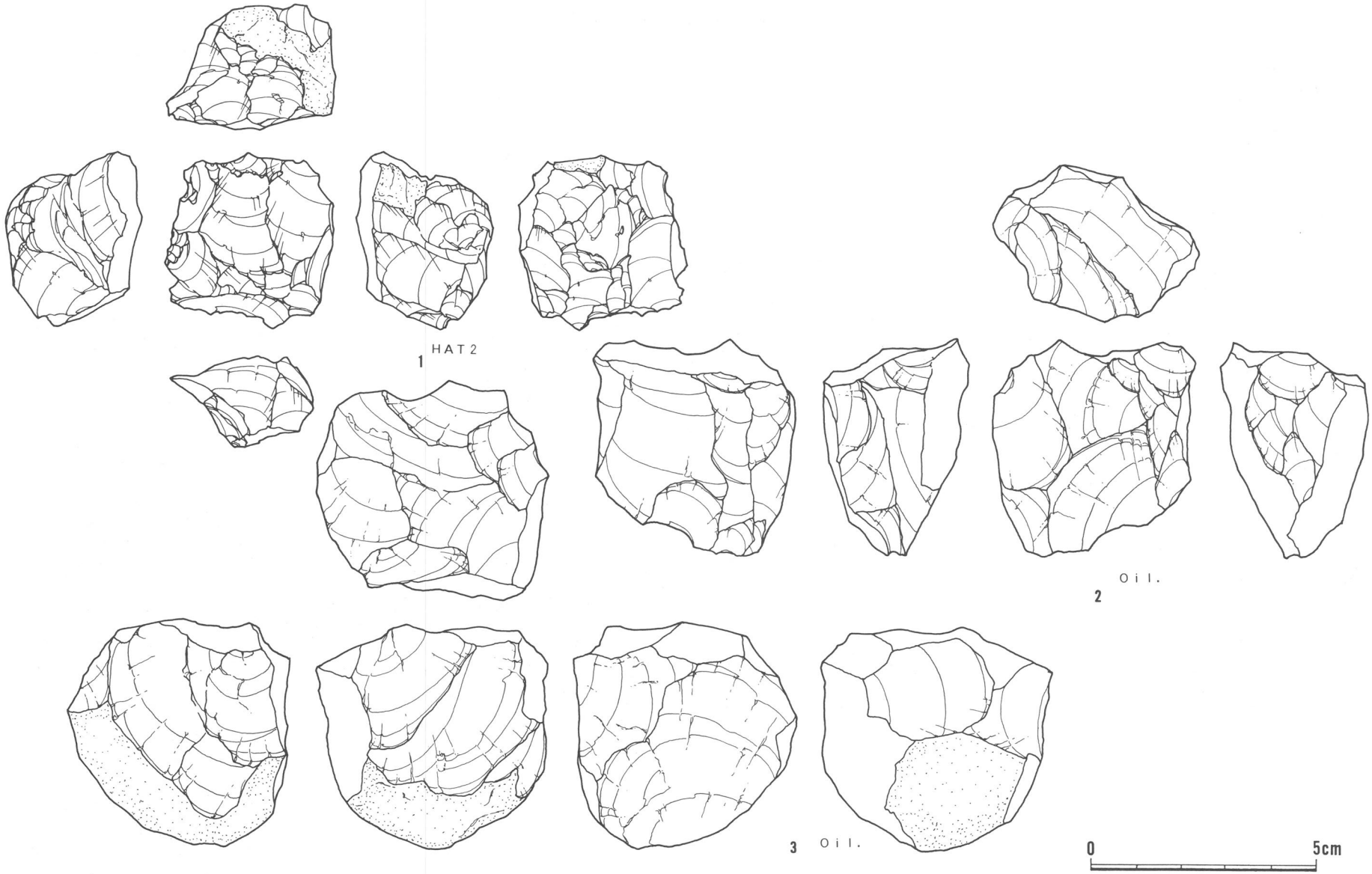
第45図　ＹＬ層石核４（4／5）



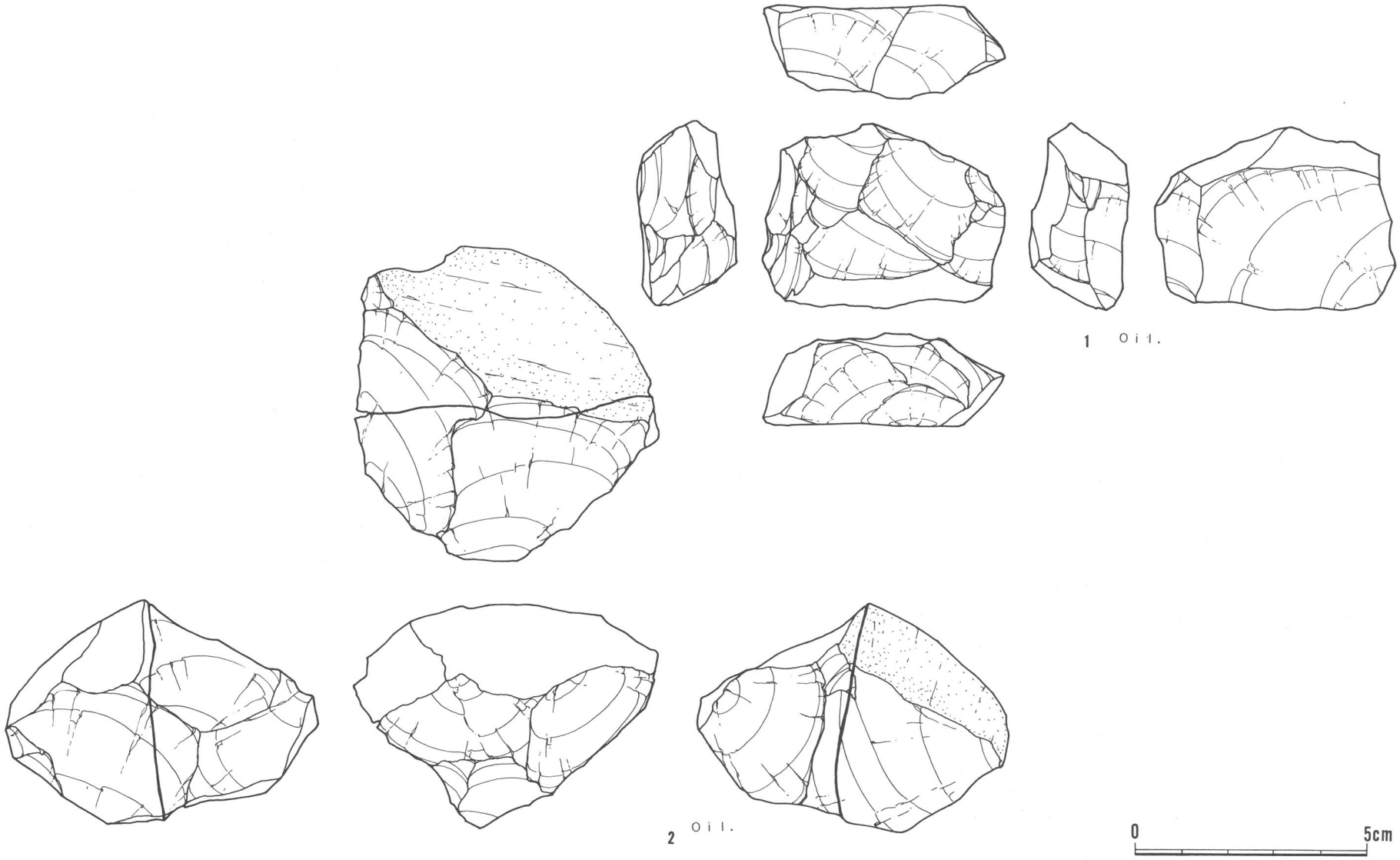
第46図　ＹＬ層石核５（4／5）



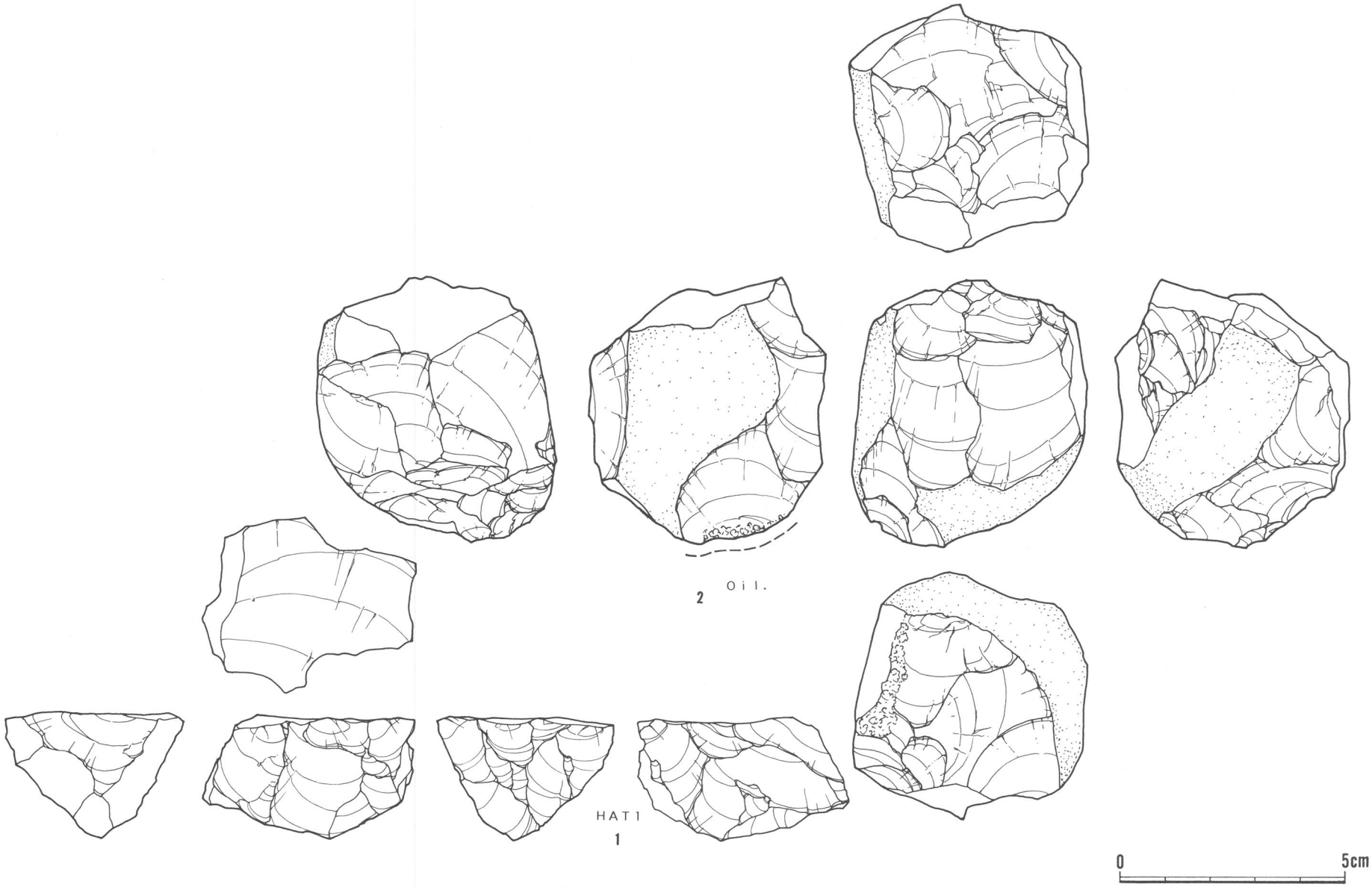
第47図　ＹＬ層石核６（4／5）



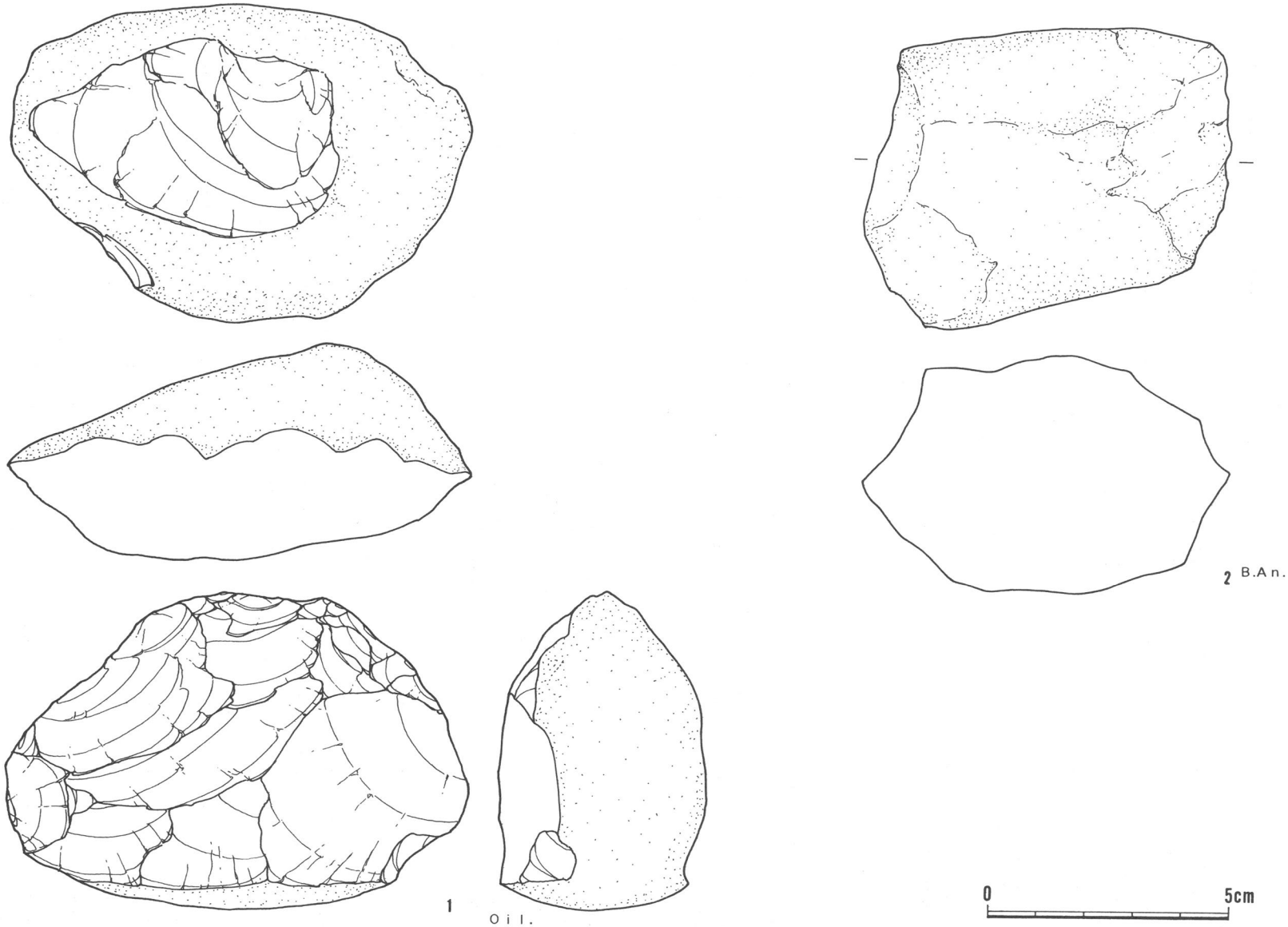
第48図　ＹＬ層石核７（4／5）



第49図　ＹＬ層石核８（4／5）



第50図　ＹＬ層石核９（4／5）



第51図　ＹＬ層石核・原石（4／5）

表13　ＹＬ層石核調整剝片計測表

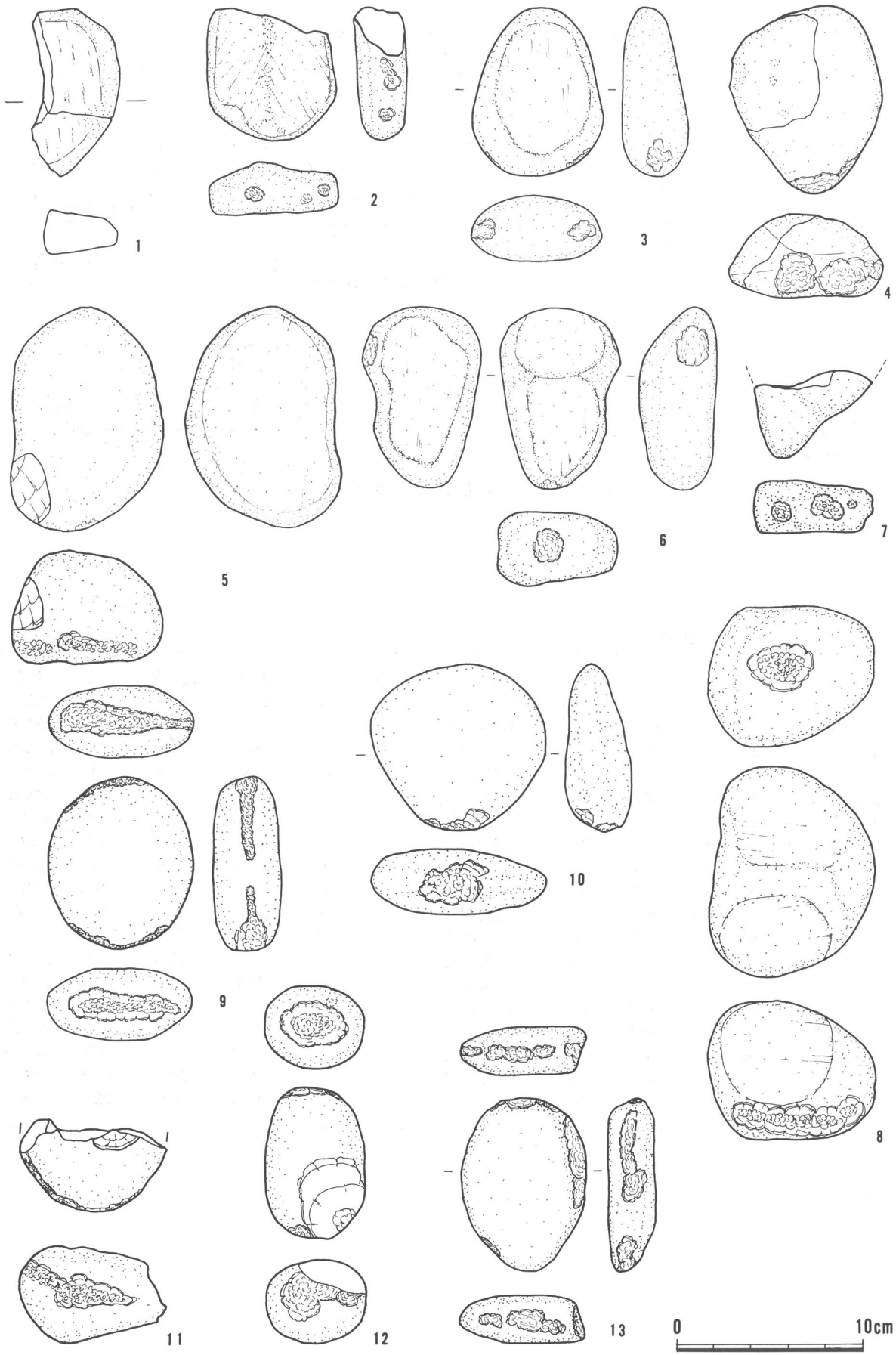
（単位mm.g）

器種	ＰＬ	No.	グリット	遺物番号	石材	母岩別	ブロック	最大縦長	最大横長	最大厚	重量
石核調整剥片	40	1	K5	60	黒耀石	HST-2	N	55	30	10	13.1
石核調整剥片	40	2	J5	9	黒耀石	HST-1	O	38.5	19	6.5	3.2
石核調整剥片	40	3	J5	7	黒耀石	HST-1	O	48	24.5	7.6	7
石核調整剥片	40	4	J5	66	黒耀石	HST-1	O	30	13	4.9	1.1
石核調整剥片	40	5	N12	3	黒色緻密安山岩		J	46	69	33.5	135.6
石核調整剥片	41	1	J5	57	黒耀石	HST-1	O	40	27	7.7	4.3
石核調整剥片	41	2	N7	4	黒耀石	HST-3	L	38	23	9.2	4.4
石核調整剥片	41	3	J13	9	黒色緻密安山岩		D	35	25	11.5	6.9
石核調整剥片	41	4	I5	3	黒耀石	WAD-1		43	19	8	3.3
石核調整剥片	41	5	L5	43	黒耀石	HST-2	N	31	22	12.7	4.9
石核調整剥片	41	6	K5	93	黒耀石	HST-2	N	35	15	6.1	2.2
石核調整剥片	41	7	J6	12	黒耀石	HST-1	O	23	22	6.2	2.5
石核調整剥片	41	8	M12	4	黒耀石	HAT-1	G	23	29	6.6	3
石核調整剥片	41	9	L5	38	黒耀石	HST-3		32	20	4.3	2
石核調整剥片	41	10	M6	5	黒耀石	HST-2	L	34	11	4.2	1.3

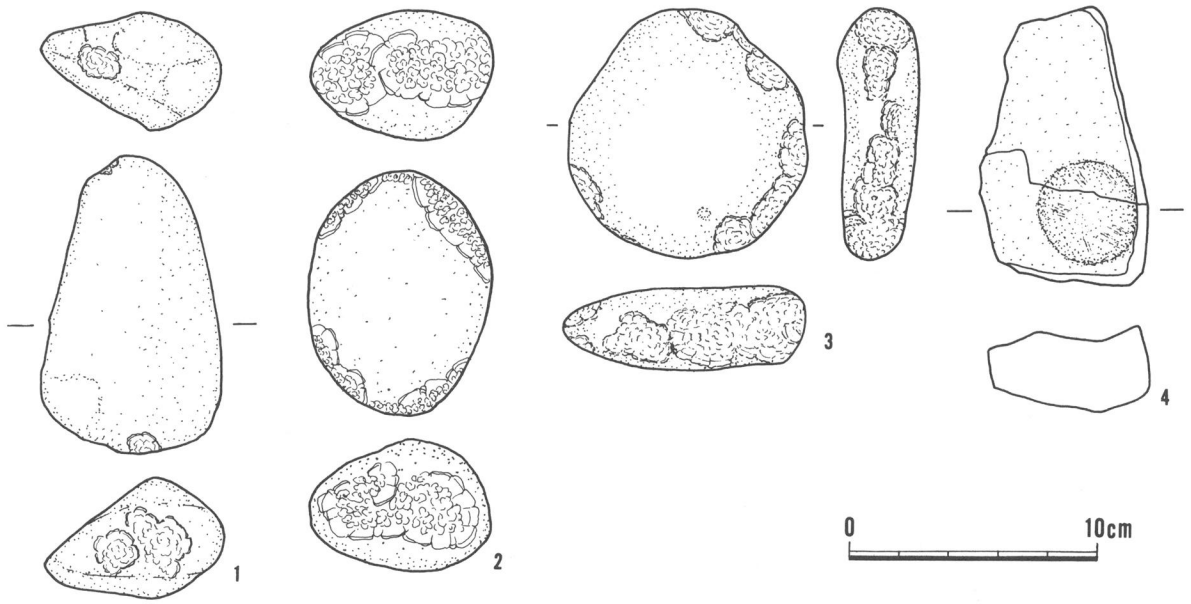
表14　ＹＬ層石核計測表

（単位mm.g）

器種	ＰＬ	No.	ｸﾞﾘｯﾄ	遺物番号	石材	母岩別	ブロック	最大縦	最大横	最大厚	重量
石核	42	2	J13	13	頁岩		D	50	38.5	37	73.2
石核	42	1	M11	42	頁岩		I	44	52	25	69.7
石核	42	3	H12	29	頁岩		C	40	54	43	107.5
石核	43	1	M11	36	頁岩		I	60	68.5	39.5	125.8
石核	43	2	G11	11	頁岩		E	55	58	45	166.8
石核	43	3	N6	6	黒耀石	KAS-1	L	73	46	71	206.4
石核	44	1	H12	24	頁岩		C	54.5	51	30	104.4
石核	44	3	H12	31	黒色緻密安山岩		C	42	62	47	119.8
石核	44	2	G5	7	黒色緻密安山岩		P	51	55.5	23	60.3
石核	44	2	G5	17	黒色緻密安山岩		P	52.1	49.9	38.7	101.9
石核	45	1	L10	25	黒色緻密安山岩		H	38.5	35	22	30.7
石核	45	3	H12	25	頁岩		C	54.5	42	27	79.4
石核	45	2	L11	14	頁岩		G	38	25	13.5	18.5
石核	45	4	K13	1	頁岩		D	63	29.5	26	55.5
石核	46	1	G14	1	頁岩		A	55	46	40	96.7
石核	46	4	K6	10	黒色緻密安山岩		N	26	21	22	15.6
石核	46	3	K4	1	チャート	CH-16	N	15	23	25	5.7
石核	46	2	G5	15	黒色緻密安山岩		P	54	36	26	46.5
石核	47	1	N5	7	黒色緻密安山岩		L	48.5	60	37.5	89.3
石核	47	2	I12	10	頁岩		C	46	52.5	42.5	113.3
石核	48	1	K5	42	黒耀石	HAT-2	N	36	37	31	44.9
石核	48	3	N10	35	頁岩		K	50	53.5	51	146.7
石核	48	2	N10	19	頁岩			47.5	46	34	75.5
石核	49	2	G5	1	頁岩		P	55	45	36.7	105.1
石核	49	2	G5	16	頁岩		P	64	47	31	74.4
石核	49	1	M10	12	頁岩		I	39	52.5	22	53.5
石核	50	1	K14	1	黒耀石	HAT-1	F	47	39	24.1	37.1
石核	50	2	O10	12	頁岩		K	60	52.5	52	193.1
石核	51	1	L6	42	頁岩		M	95.2	68.2	40.1	329.2
原石	51	2	G5	13	黒色緻密安山岩		P	90.5	88.3	59.3	476.4



第52図　ＹＬ層敲石・磨石他１（1／3）



第53図　ＹＬ層敲石・磨石他２（1／3）

表15　ＹＬ層敲石・他計測表　（単位mm.g）

器種	ＰＬ	No.	ｸﾞﾘｯﾄ	遺物番号	石材	母岩別	ブロック	最大縦	最大横	最大厚	重量
磨石	52	1	M12	6	輝石安山岩		G	59.6	44.3	28.5	102.3
磨石・敲石	52	2	K14	10	角閃石安山岩			71.5	6.9	28.5	180.8
磨石・敲石	52	3	N14	1	輝石安山岩			89	70	36	293.8
磨石・敲石	52	4	K5	105	角閃石安山岩		N	99	75.2	41	336.9
磨石・敲石	52	5	J12	21	輝石安山岩		D	68.5	77.5	53.5	419.3
磨石・敲石	52	6	N5	8	輝石安山岩		L	95.5	63.5	40	347.5
磨石・敲石	52	7	J13	28	角閃石安山岩		D	46	64.5	28	82
磨石・敲石	52	8	F13	5	角閃石安山岩		A	112.5	90.5	75	1004
敲石	52	9	J13	5	玄武岩質溶岩		D	90.5	76.5	38.5	326.4
敲石	52	10	M11	44	砂岩		I	88	93	35	370
敲石	52	11	J13	10	輝石安山岩		D	51	79	52.5	192.6
敲石	52	12	J12	10	輝石安山岩			80	52.5	44	221.4
敲石	52	13	L9	10	輝石安山岩		H	91.5	66.5	25.5	218.1
敲石	53	1	M11	52	輝石安山岩			118	73	48	421.6
敲石	53	2	I12	16	輝石安山岩		C	98	74	54	443.3
敲石	53	3	N10	44	輝石安山岩			100	96.5	33	403.8
凹石	53	4	M11	45	輝石安山岩		I	75.1	58.7	42.5	250.1
凹石	53	4	M11	53	輝石安山岩		I	44.8	68	32.5	124.9

3　個体別資料の分類（表16）

個体別資料の分類は、石器群の理解を助ける重要な作業である。本遺跡では、個体差が比較的分別容易な、黒耀石とチャートについて色調・含有物・光沢・自然面の各項目について観察し、個体別資料の分類作業を実施した。特に黒耀石については、原産地分析の結果をもとに産地別に個体別資料番号を付している。また各個体ごとに、平面分布を示すドットマップを作成した（第56～61図）。なお、本遺跡から多量に出土している頁岩と黒色緻密安山岩については、個体別の識別が困難なため、分類作業はおこなっていない。

表16　個体別資料分類表

	個体別番号	色調	含有物・その他	光沢	自然面	石器数
1	Ｏｂ－ＨＡＴ１	黒～灰色で不透明あるいは半透明	灰黒色の縞、全体的に微細な気泡、白斑あり	鈍い	なめらか	５９
2	Ｏｂ－ＨＡＴ２	漆黒色不透明	灰黒色の縞、白点少々	ガラス光沢に富む	なめらか	１３
3	Ｏｂ－ＨＡＴ３	灰黒～黒色不透明	灰色の縞がめだち流理に沿って小さい割れ目が多く細かな気泡や白斑が少々ある	ガラス光沢に富む	不明	3
4	Ｏｂ－ＨＡＴ４	灰色・黒色	灰色部と黒色部がマーブル状に混じり、球顆を僅かに含む	ガラス光沢に富む	不明	1
5	Ｏｂ－ＭＵＧ１	薄灰黒色半透明 灰黒色不透明	灰～灰褐色の縞。縞に沿って微細な気泡や0.5㎜～1㎜程度の球顆が全体にある	ガラス光沢に富む	不明	9
6	Ｏｂ－ＭＵＧ２	薄煙色透明～半透明	灰～灰黒色の縞。縞に沿って微細な気泡や0.5㎜～1㎜程度の球顆が多い	ガラス光沢に富む	なめらかだが、微細な発泡が多い	１８
7	Ｏｂ－ＭＵＧ３	薄灰黒色半透明	全体に微細な気泡や0.5㎜程度の球顆が多く散在	ガラス光沢に富む	なめらか	2
8	Ｏｂ－ＭＵＧ４	薄煙色透明	白灰～灰色の縞。全体に黒色微粒子や1㎜程度の球顆が散在	ガラス光沢に富む	不明	１７
9	Ｏｂ－ＭＵＧ５	灰～灰黒色半透明	全体に微細な気泡状の縞	ガラス光沢は鈍い	不明	1
１０	Ｏｂ－ＭＵＧ６	薄煙色透明	灰黒～黒色の縞	ガラス光沢は鈍い	不明	1
１１	Ｏｂ－ＭＵＧ７	赤褐色半透明	茶色の縞。縞に沿って淡褐色の微粒子や0.5㎜程度の球顆が散在	ガラス光沢に富む	不明	1
１２	Ｏｂ－ＯＮＢ１	黒色半透明	全体に黒灰色微粒子が散在	ガラス光沢に富む	不明	2
１３	Ｏｂ－ＫＡＳ１	灰～灰黒色不透明	微粒子が散在する。全体に灰～灰黒色の微細な縞が無数。一部レンズ状の縞	ガラス光沢は鈍い	発泡し、アバタ状	1
１４	Ｏｂ－ＫＡＳ２	黒灰色不透明	一部に灰色の縞、2～3㎜程度の球顆を含む	ガラス光沢に富む	不明	5
１５	Ｏｂ－ＫＡＳ３	黒色半透明～透明	全体に灰黒色の微細な縞や灰色のレンズ状の縞。白斑点在	ガラス光沢に富む	アバタ状	2
１６	Ｏｂ－ＫＡＳ４	黒色不透明	灰黒色の縞が多少あり	風化によりガラス光沢は失われている	不明	2

	個体別番号	色調	含有物・その他	光沢	自然面	石器数
１７	Ｏｂ－ＨＳＴ１	漆黒色不透明～透明	黒色羽毛状の縞。縞に沿って、黒色微粒子が散在	ガラス光沢に富む	なめらか	９４
１８	Ｏｂ－ＨＳＴ２	煙色透明で透明度が高い	1～5㎜の球顆を少し含み、灰白色、コゲ茶色の縞が見られる	ガラス光沢に富む	スリガラス状で、一部発泡	１５９
１９	Ｏｂ－ＨＳＴ３	煙色透明	灰白色の微細な縞模様が見られ、全体的に灰白色の微細な気泡が目立ち、3～5㎜の球顆を含む	ガラス光沢は鈍い	スリガラス状で、一部発泡している	２５
２０	Ｏｂ－ＨＳＴ４	薄黒色半透明	灰色～褐色の縞模様が見られ、全体的に灰褐色の微粒子が散在し、2㎜程度の球顆を少々含む	ガラス光沢は鈍い	不明	4
２１	Ｏｂ－ＷＡＤ１	薄煙色透明	白灰～灰色の微細な縞や黒色の縞模様が一部見られる	ガラス光沢は鋭い	不明	6
２２	Ｏｂ－ＷＡＤ２	漆黒色半透明～不透明	黒褐色の縞が全体的に見られ暗赤～コゲ茶色の微粒子が網目状に散在する	ガラス光沢に富む	スリガラス状	3
２３	Ｏｂ－ＷＡＤ３	白灰～暗灰色の半透明	全体的に白灰色の気泡の縞があり、1.5㎜程度の球顆を僅かに含む	ガラス光沢に富む	不明	1
２４	Ｏｂ－ＷＡＤ４	漆黒色半透明	黒色微粒子が全体的に散在し細やかな縞を作っている。0.5㎜程度の白斑が見られる	ガラス光沢に富む	スリガラス状	2
２５	Ｏｂ－ＷＡＤ５	薄黒色透明	黒色微粒子や0.5㎜程度の球顆を僅かに含む	ガラス光沢に富む	不明	4
２６	Ｏｂ－ＷＡＤ６	薄黒色透明	黒～コゲ茶色の縞模様が見られ縞に沿って、黒色微粒子が散在。0.5㎜程度の球顆を少々含む	ガラス光沢に富む	不明	2
２７	Ｏｂ－ＷＡＤ７	黒色不透明～半透明	全体に黒色微粒子が散在し、0.5～1㎜程度の球顆を含む	ガラス光沢に富む	不明	1
２８	Ｏｂ－ＷＡＤ８	漆黒色不透明		ガラス光沢に富む	スリガラス状	1
２９	Ｏｂ－ＷＡＤ９	黒灰色透明～半透明	灰～灰黒色の微粒子が全体に散在し、細やかな縞を作っている。1㎜程度の球顆を僅かに含む	ガラス光沢に富む	スリガラス状	2
３０	Ｃｈ１	暗灰緑色不透明	石質は緻密で暗褐色の細い脈と網目状の細やかな脈が少し見られる	脂肪光沢は鈍い	黄褐色に変色したなめらかな平面	1
３１	Ｃｈ２	暗灰色半透明	灰色微粒子が散在し、灰色の緻密な脈が数条見られる。石質は緻密	ガラス光沢に近い脂肪光沢に富む	不明	1
３２	Ｃｈ３	暗灰色半透明～不透明	石質は緻密な玉髄質。灰色微粒子が散在。暗褐色の細かい脈が見られる。断口は鈍い	脂肪光沢に富む	不明	1

	個体別番号	色調	含有物・その他	光沢	自然面	石器数
３３	Ｃｈ－４	灰黒色不透明	石質は緻密。白色の石英の微細な脈が発達して網目状に通り、節理が発達して断口は鈍い	脂肪光沢は鈍い	スリガラス状	1
３４	Ｃｈ－５	暗緑色不透明	石質は緻密な碧玉質	脂肪光沢に富む	不明	1
３５	Ｃｈ－６	灰緑色不透明	石質は緻密だが不純物を多く含み、暗褐色の脈が僅かに見られる	脂肪光沢はほとんどない	不明	2
３６	Ｃｈ－７	暗灰緑色不透明	石質は緻密。細い半透明な脈が数条見られ、一部に黄褐色の微細な脈が見られる	脂肪光沢に富む	スリガラス状	7
３７	Ｃｈ－８	灰色半透明	石質は緻密な玉髄質。暗灰色の微細な脈が平行状・網目状にのびている。灰色微粒子が全体に散在し一部黒色微粒子が見られる	脂肪光沢に富む	不明	1
３８	Ｃｈ－９	灰黒色半透明～不透明一部赤褐色の部分あり	石質は緻密。黄褐色～赤褐色の細やかな脈が見られ、細かい剥離が見られる	脂肪光沢に富む	なめらか	1
３９	Ｃｈ－１０	灰黒色不透明	石質は緻密で、剥離が少し発達している。黒色の細い脈が平行に数条見られる	脂肪光沢に富む	なめらか。一部黄褐色の変色が見られる	1
４０	Ｃｈ－１１	灰～灰黒色不透明	石質は緻密な玉髄質。暗褐色の緻密な脈が全体に網目状に通っている	脂肪光沢に富む	不明	1
４１	Ｃｈ－１２	暗灰色半透明	石質は緻密な玉髄質。黒色の脈が数条見られ、灰色の微粒子が全体に散在する	脂肪光沢に富む	不明	1
４２	Ｃｈ－１３	灰黒色不透明	石質は緻密で剥離が少し発達している。暗灰色の微細な脈が数条見られる	脂肪光沢に富む	不明	1
４３	Ｃｈ－１４	灰黒色半透明	石質は緻密	脂肪光沢に富む	不明	1
４４	Ｃｈ－１５	暗赤褐色	石質は緻密で細かな剥離が発達している。微細な半透明の石英脈が僅かに見られる	脂肪光沢は鈍い	スリガラス状	1
４５	Ｃｈ－１６	暗赤褐色	石質は緻密。微細な半透明の石英脈が僅かに見られる	脂肪光沢に富む	スリガラス状	１７

Ｏｂ－黒耀石、Ｃｈ－チャ-ト、ＨＡＴ－畑宿、ＭＵＧ－麦草峠、ＯＮＢ－恩駆（神津島）、ＫＡＳ－柏峠、ＨＳＴ－星ヶ塔、ＷＡＤ－和田峠

4　個体別資料の器種組成と分布（第56～61図）

前述の方法で、個体別分類をおこなった結果、それぞれの資料に、分布や石器組成の面で、特徴があることがわかった。以下に各産地ごとに記す。

畑宿産黒耀石（第56図）

４つの個体に分類できるが、HAT１、HAT２以外は資料数が１～２と少ない。HAT１は59点が出土している。M10・11、N10・11に分布の中心があり、石核・砕片も出土していることから剥片剥離がおこなわれていたと考えられる。石槍２点はO５、I６グリットで単独出土している。HAT２は13点が出土しており、ナイフ形石器５点と、削器２点、石核１点が単独で出土している。剥片剥離作業がおこなわれた痕跡はない。

神津島・柏峠産黒耀石（第57図）

資料数１～５点の個体が主で、それぞれ単独で出土している。

麦草峠産黒耀石（第58図）

７つの個体に分類できるが、いずれも20点以下と点数は少ない。MUG１は資料数９点で、G５グリットに集中するが、50％がナイフ形石器である。MUG２は麦草峠産の黒耀石の中で最も資料数が多く18点で、調査区の北西に集中する。ナイフ形石器３点、掻器１点が含まれる。MUG４はMUG２とほぼ同じ分布を示し、ナイフ形石器は１点出土している。MUG５・６・７は各資料数１点である。このうちMUG７はナイフ形石器である。麦草峠産の黒耀石の特徴は、個体数は７個体と多いものの、分布に

表17　個体別資料別石器器種組成表

	HAT1	HAT2	HAT3	HAT4	HST1	HST2	HST3	HST4	KAS1	KAS2	KAS3	KAS4	MUG1	MUG2	MUG3	MUG4	MUG5	MUG6	MUG7	ONB1	WAD1
石槍	2					1															
ナイフ形石器	1	5	1		9	17	5	2			1		5	3	1	1			1		3
台形様石器						2															
掻器.削器.抉入削器	1	2		1	2	4	1							1		1				1	
彫器																					
楔形石器					1	5						1									
石刃状剥片						1															
小型石刃状剥片					7	9														1	
石核	1	1	1						1												
U剥片	12	1			28	55	9	2		3			2	5	1	7	1				2
剥片.砕片	42	4	1		47	64	10			2	1	1	2	9		8		1			1
合計	59	13	3	1	94	159	25	4	1	5	2	2	9	18	2	17	1	1	1	2	6

関してはその個体差がでないことである。同じ石器集中地点（後述１群）にMUG１以外の個体は保有される。

星ヶ塔産黒耀石（第59図）

４つの個体に分類できる。HST１はJ５グリットに分布の中心があり、各ブロックに剥片・石器が分布している。全資料に対する石器（tool）の割合は50％である。HST２はK５グリットに分布の中心があり、石器の割合は約60％である。HST３と分布域が重なる。HST４は資料数４点で、ナイフ形石器が２点、使用痕のある剥片が２点である。星ヶ塔の黒耀石を用いた石器として、小型石刃状剥片があげられる。これは出土17点中16点がHST１あるいはHST２の母岩に属するもので、分布も後述のM・N・Oブロックに集中する。

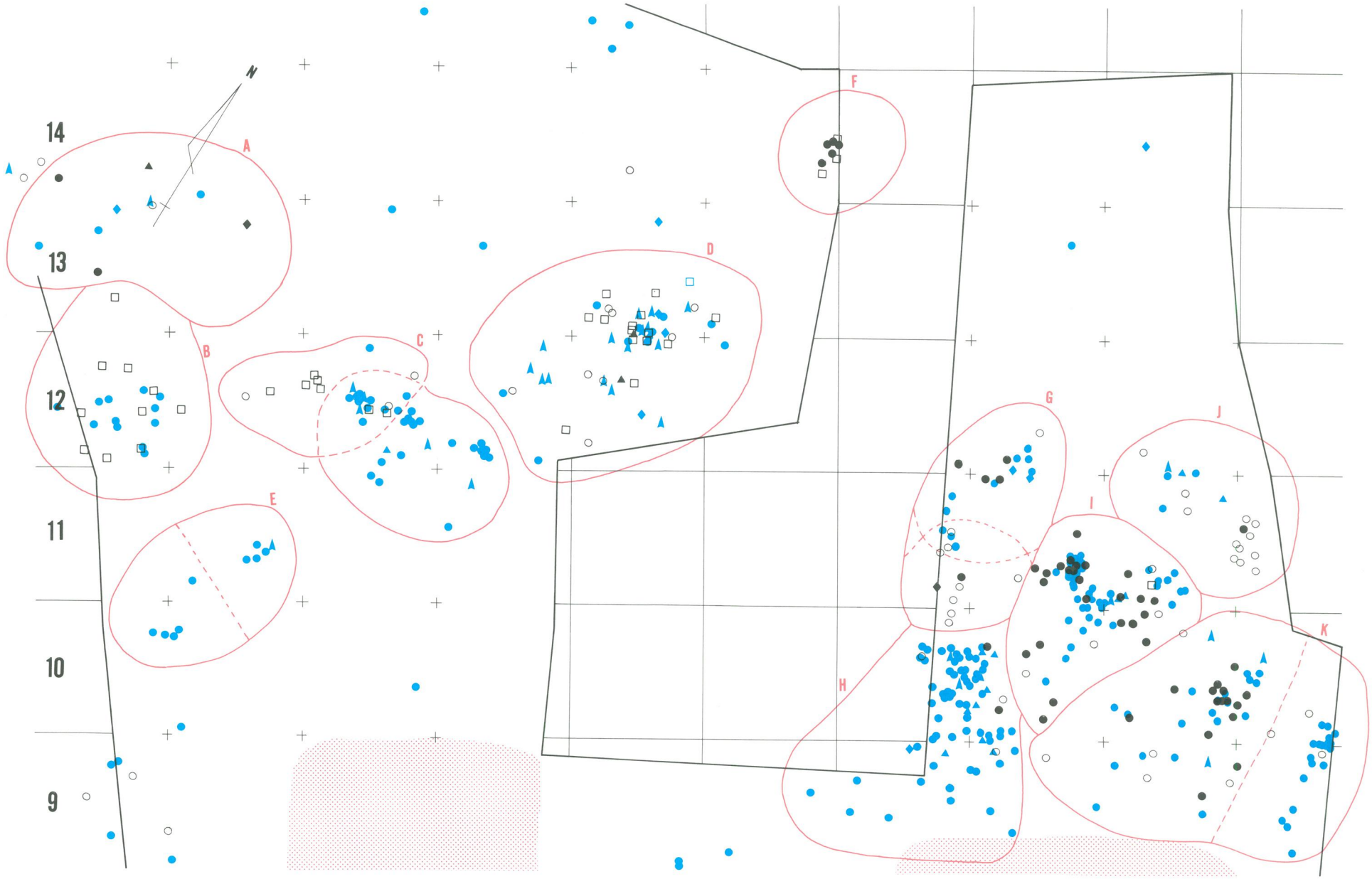
和田峠産黒耀石（第60図）

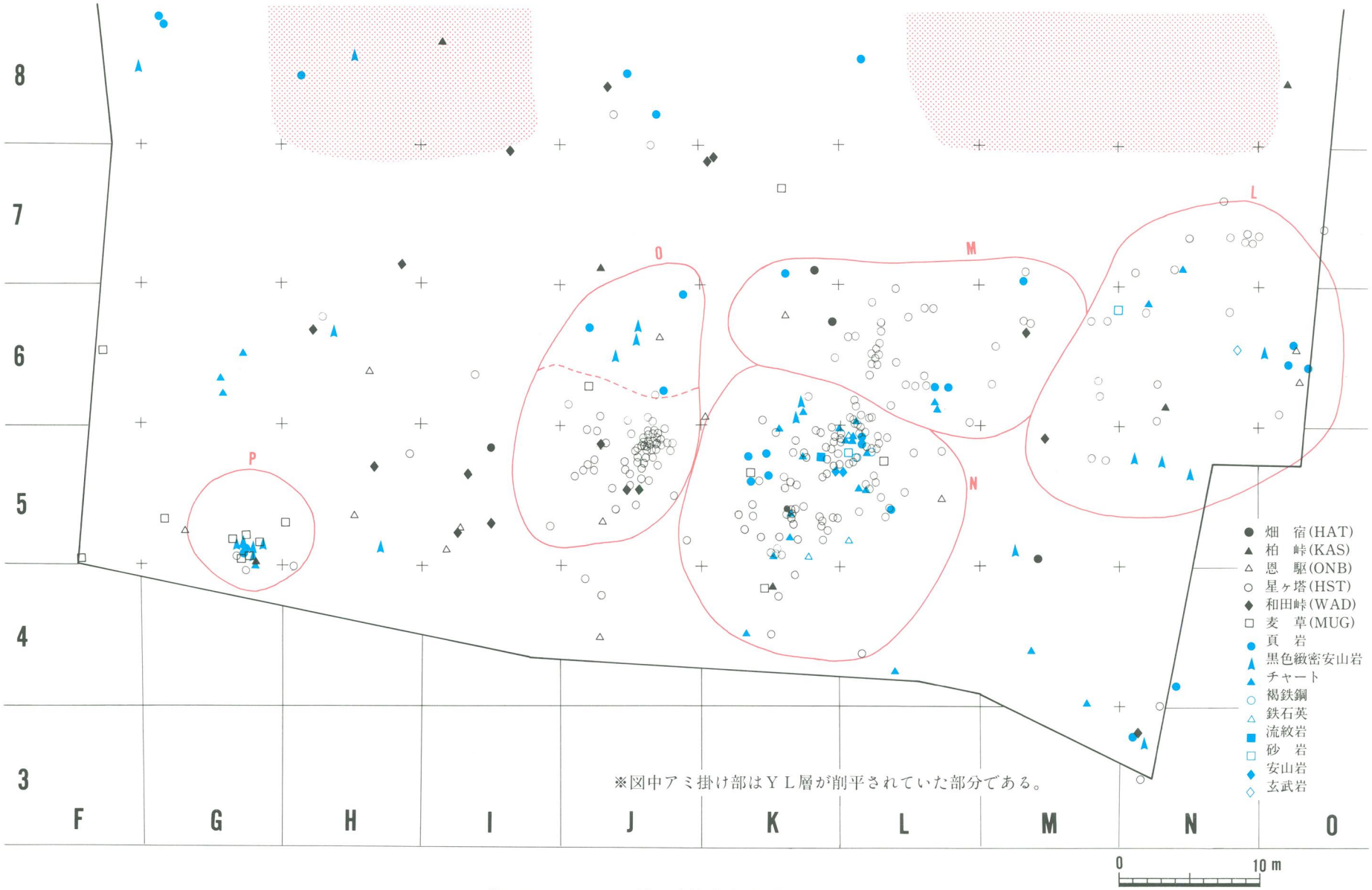
９の個体に分類できる。各個体とも資料数が１～６点と少なく、ナイフ形石器・石槍として用いられているのが特徴である。また分布も調査区の南側にやや偏るが、各ブロックに１、２点の割合で出土している。

チャート（第61図）

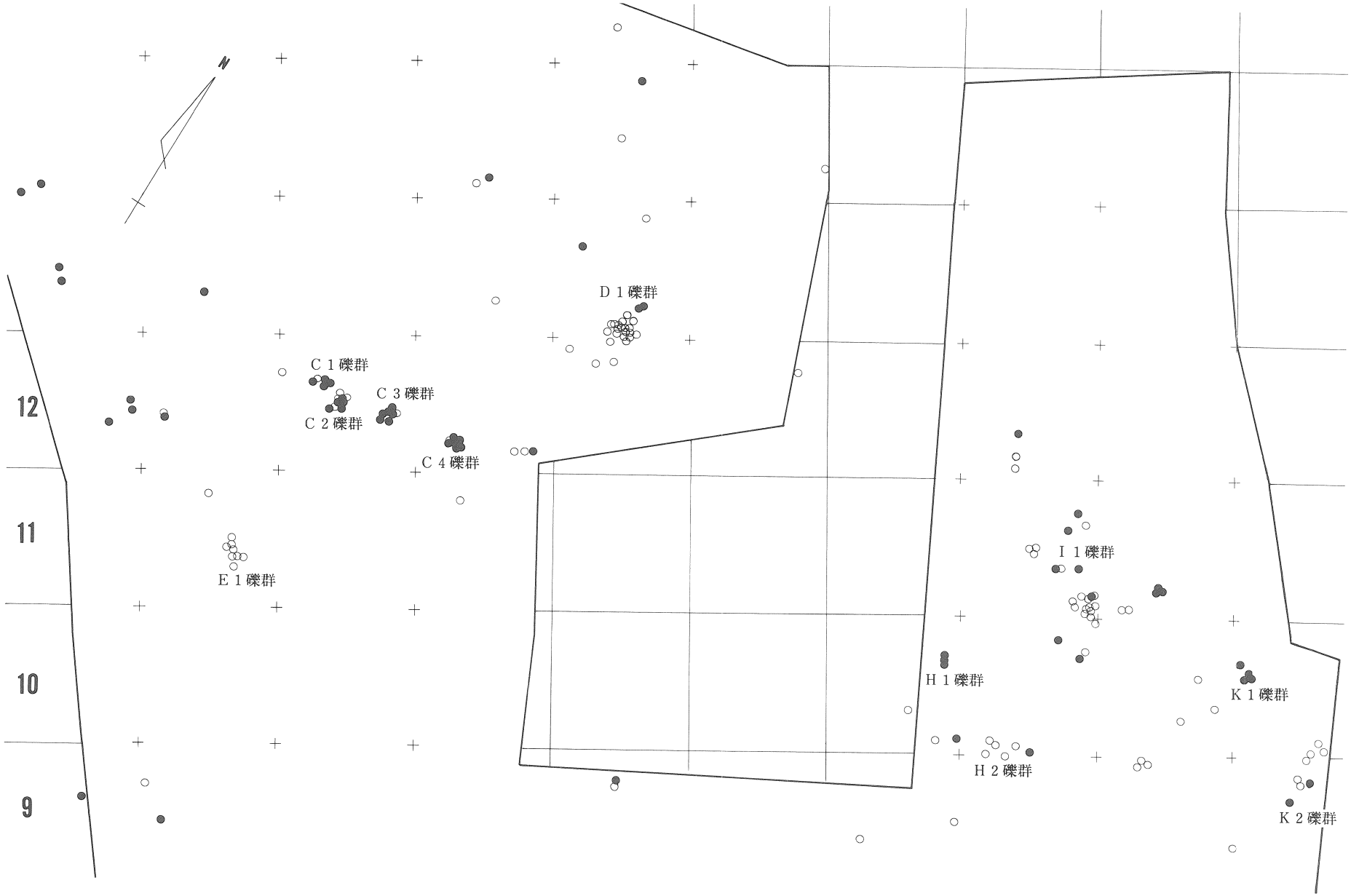
16の個体に分類できる。Ch16はNブロックに集中し資料数が12点で、台形様石器１点、削器３点、石刃状剥片１点が含まれる。その他は、各個体とも資料数が１～６点と少なく、器種は剥片が主体である。

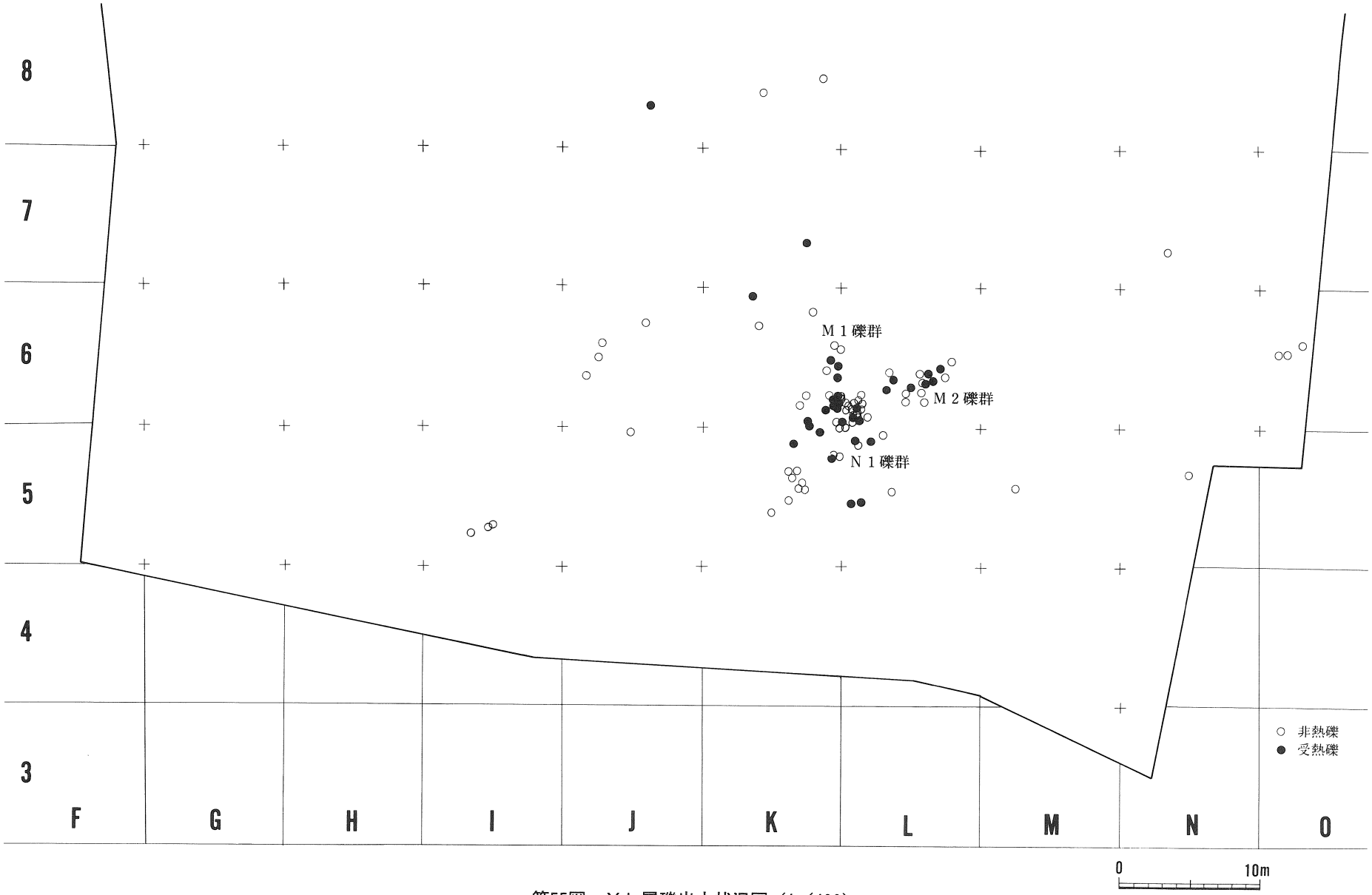
WAD2	WAD3	WAD4	WAD5	WAD6	WAD7	WAD8	WAD9	測定不可能品	チャート1	チャート2	チャート3	チャート6	チャート7	チャート8	チャート9	チャート10	チャート12	チャート13	チャート15	チャート16	頁岩	黒緻安山岩	その他
	1		1																		1	2	
2		2	1	2			2														10	3	
																				1			
			1																	3	3		
																			1		1	1	
																				2	21		
																				2	21	8	
1								2	1			1	1	1		1	1			5	1		2
			1		1	1		41		1	1	1	6		1			1	1	4	225	37	3
3	1	2	4	2	1	1	2	43	1	1	1	2	7	1	1	1	1	1	2	17	283	51	5


N
14
13
12
11
10
9
A
B
C
D
E
F
G
H
I
J
K



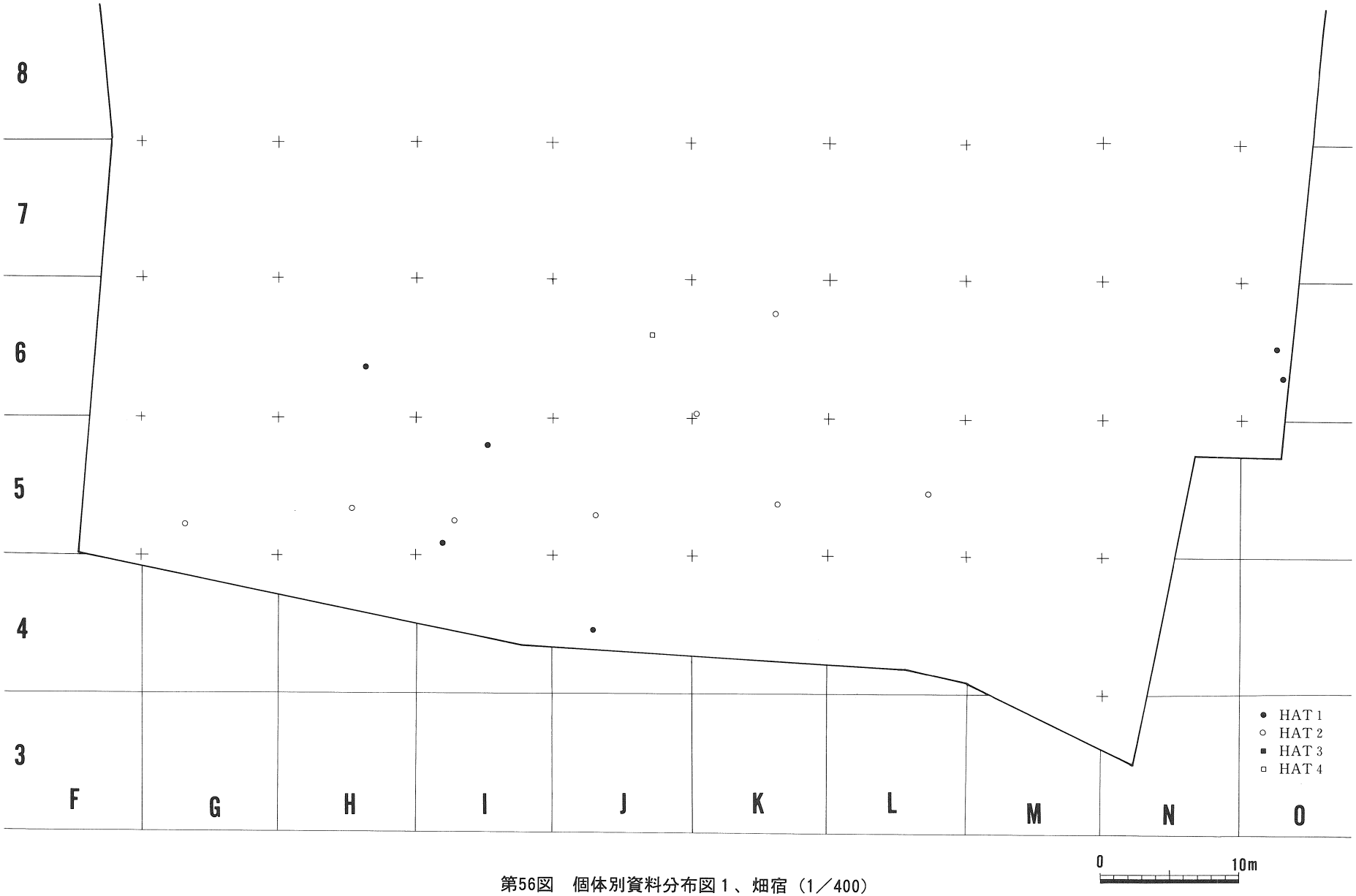
第54図　ＹＬ層石材別遺物出土状況図（1／400）


N
12
11
10
9
D１礫群
C１礫群
C３礫群
C２礫群
C４礫群
E１礫群
I１礫群
H１礫群
H２礫群
K１礫群
K２礫群



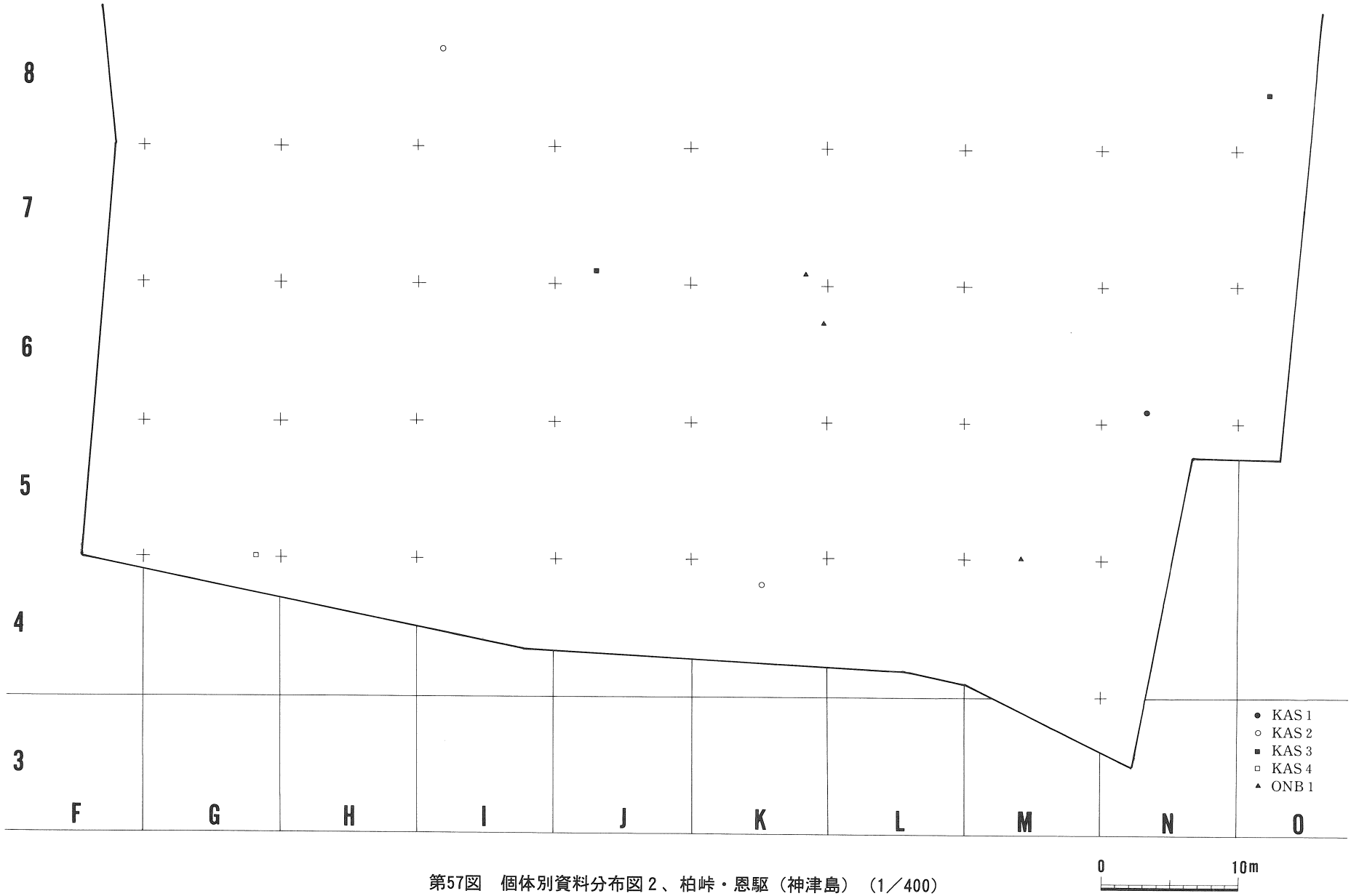
第55図　ＹＬ層礫出土状況図（1／400）

N
14
13
12
11
10
9



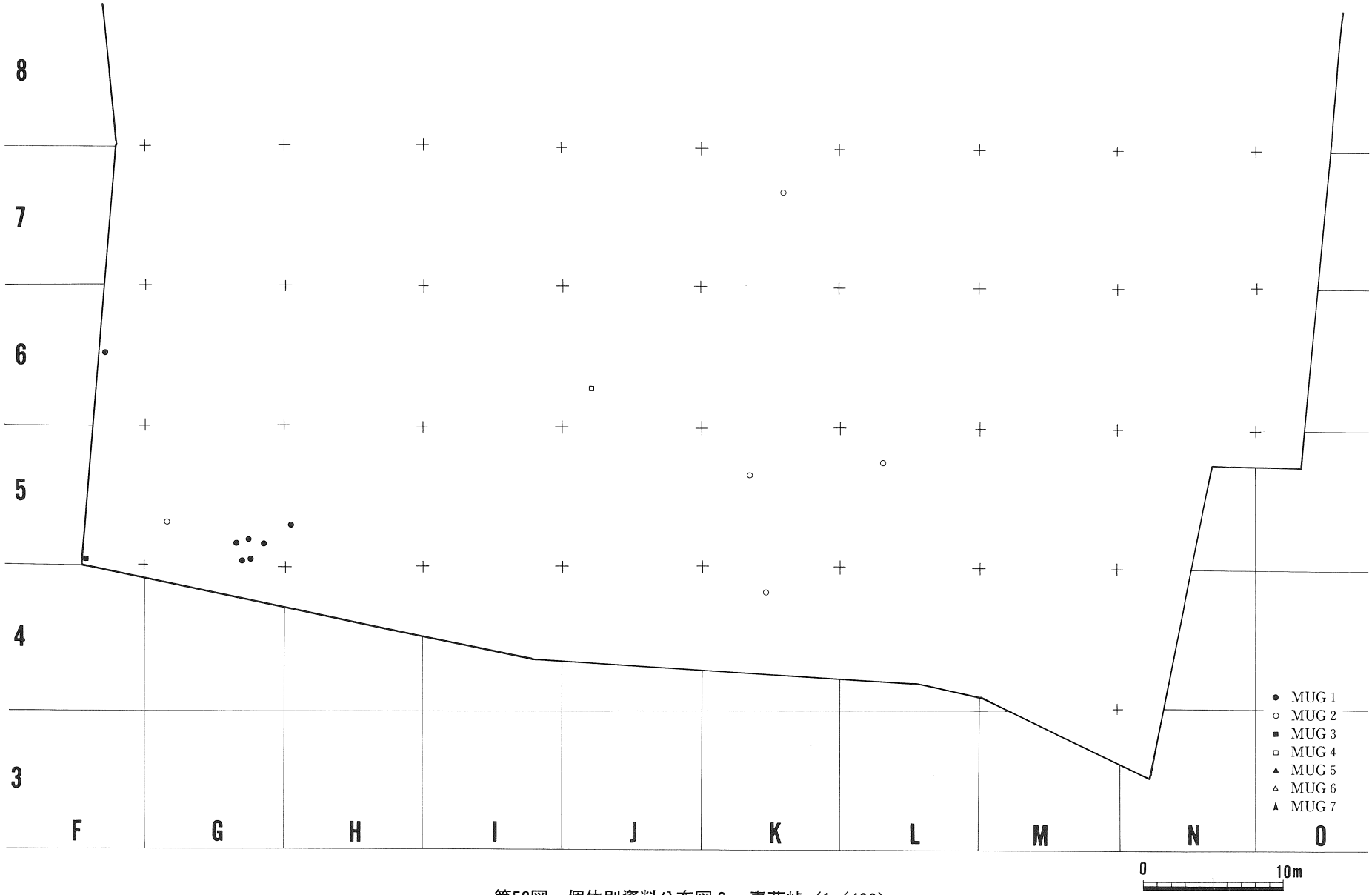
第56図　個体別資料分布図１、畑宿（1／400）

14
13
12
11
10
9



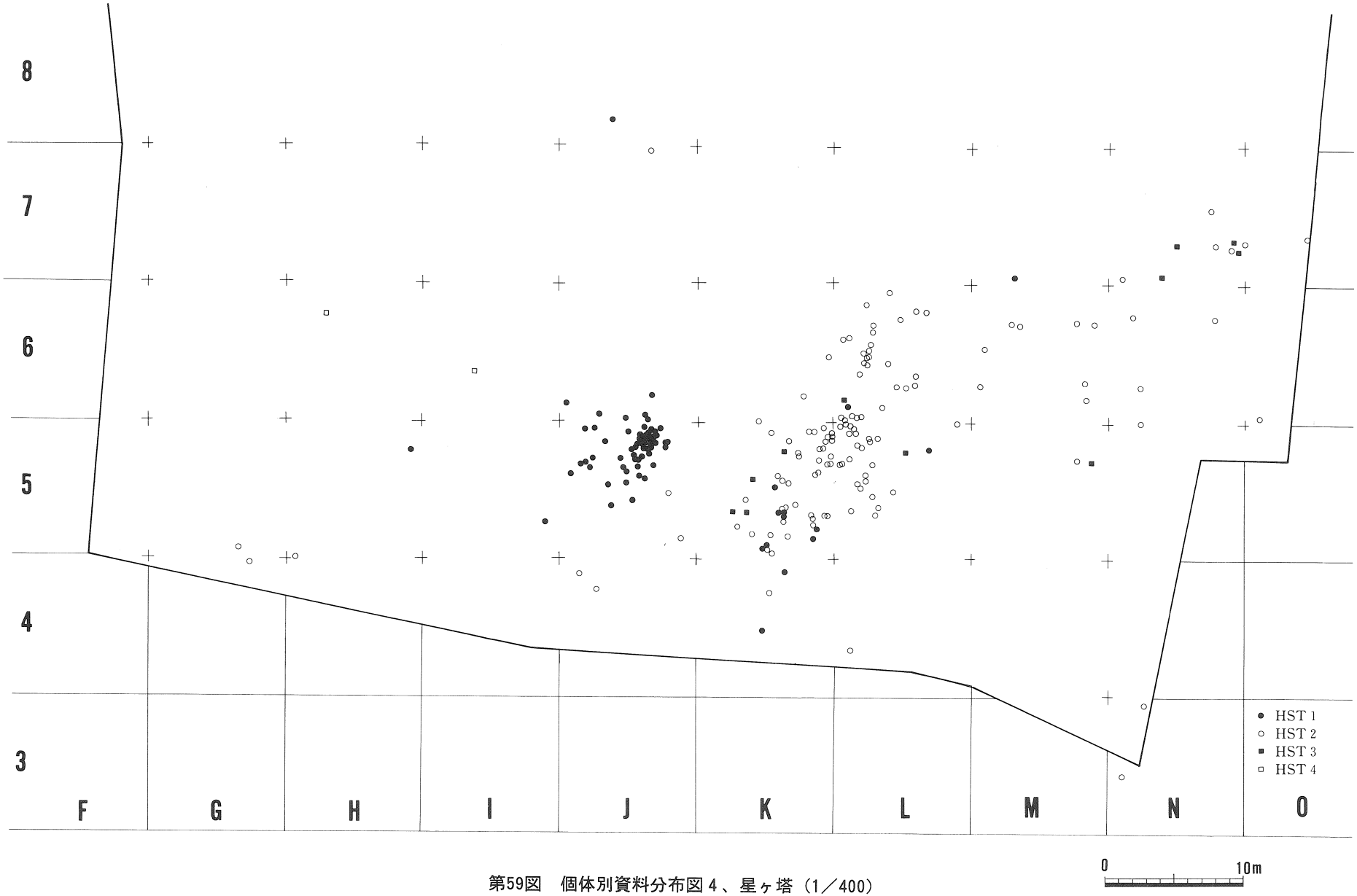
第57図　個体別資料分布図２、柏峠・恩駆（神津島）（1／400）

14
13
12
11
10
9
N



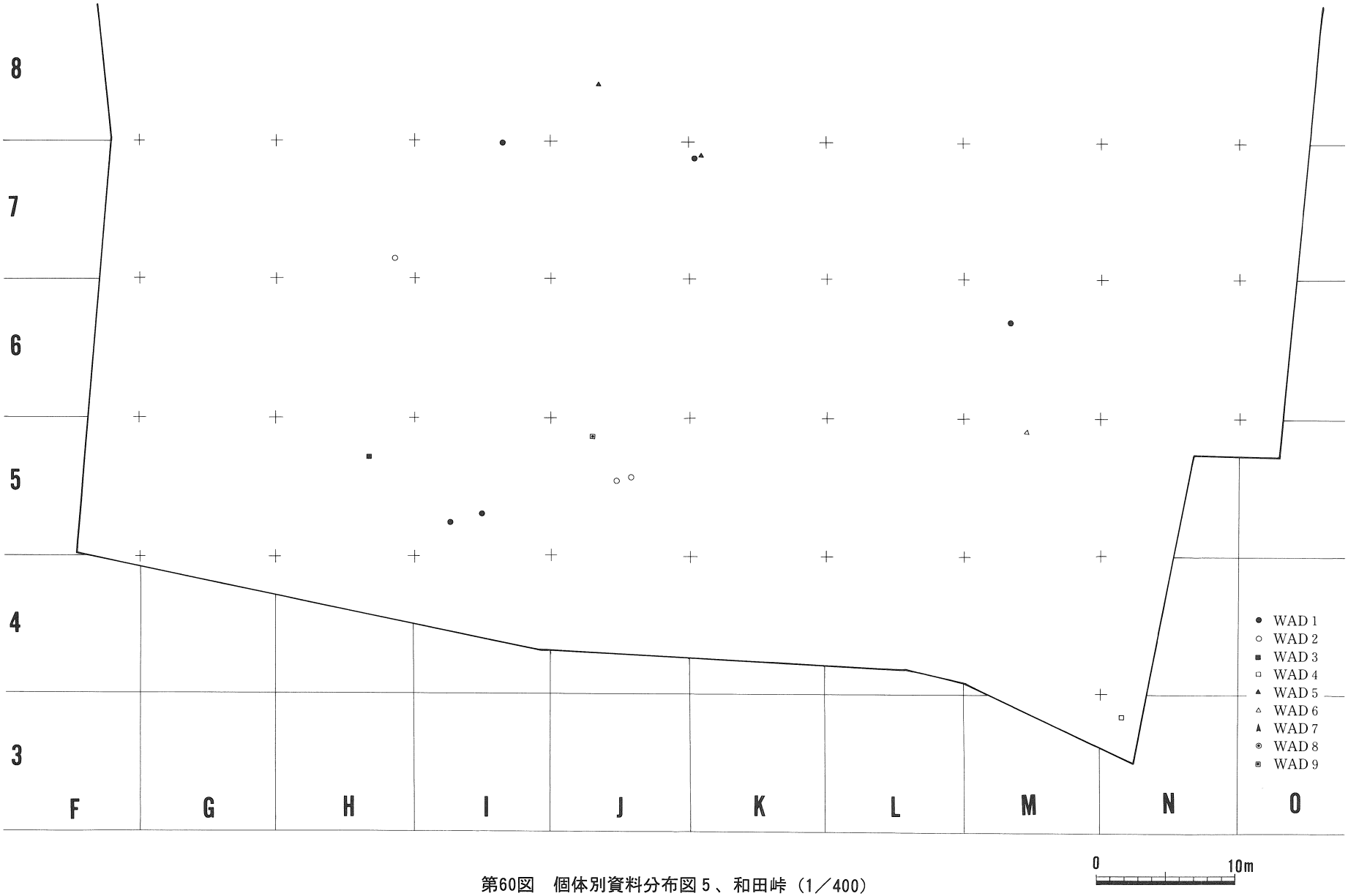
第58図　個体別資料分布図３、麦草峠（1／400）

14
13
12
11
10
9



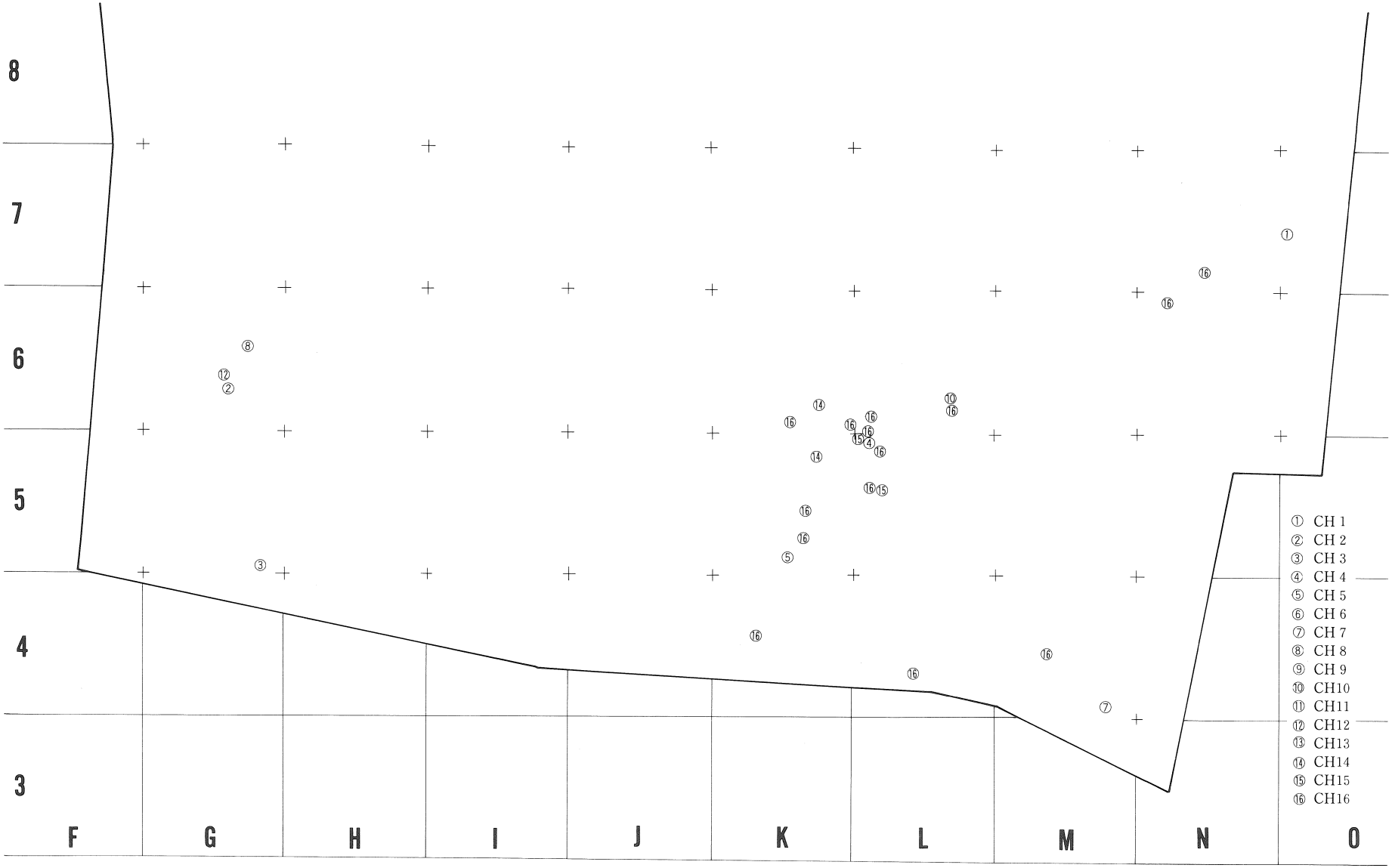
第59図　個体別資料分布図４、星ヶ塔（1／400）

N
14
13
12
11
10
9



第60図　個体別資料分布図５、和田峠（1／400）

14
13
12
11
10
9
N



第61図　個体別資料分布図６、チャート（1／400）

0　10m

5　遺物の分布（第54・55図）

遺物の分布は発掘区の北側と南側に集中する。しかし、遺跡中央部には、未発掘区域と休場層がすでに耕作によって削平されていた部分（第54図中網掛け部）があることから、遺物は調査区の全域に広がるものとも考えられる。

遺物の平面分布の疎密より、調査区全域は16箇所の遺物集中地点に分割することができる。しかし、その遺物集中地点も、全体的に散漫な分布を示すもの、疎の部分から密な部分へと求心的な分布を示すもの、礫群を内在するもの、さらに幾つかの小さな集中地点に分割できるもの、など内容は様々である。またこれらは、石材の面から大局的にとらえると、頁岩と黒色緻密安山岩・麦草峠産の黒耀石を主体とする調査区の北西部の一群、頁岩を主体とした調査区東側の一群、星ヶ塔産の黒耀石を主体とした調査区南側の一群、の３地点にわけることもできる。

ここでは、仮にこれらの16箇所の遺物集中地点をA～Pブロックと呼称し、前記の個体別資料や他の石材のありかたも含めて、以下に記載する。

（1）　Aブロック（第62・63図）

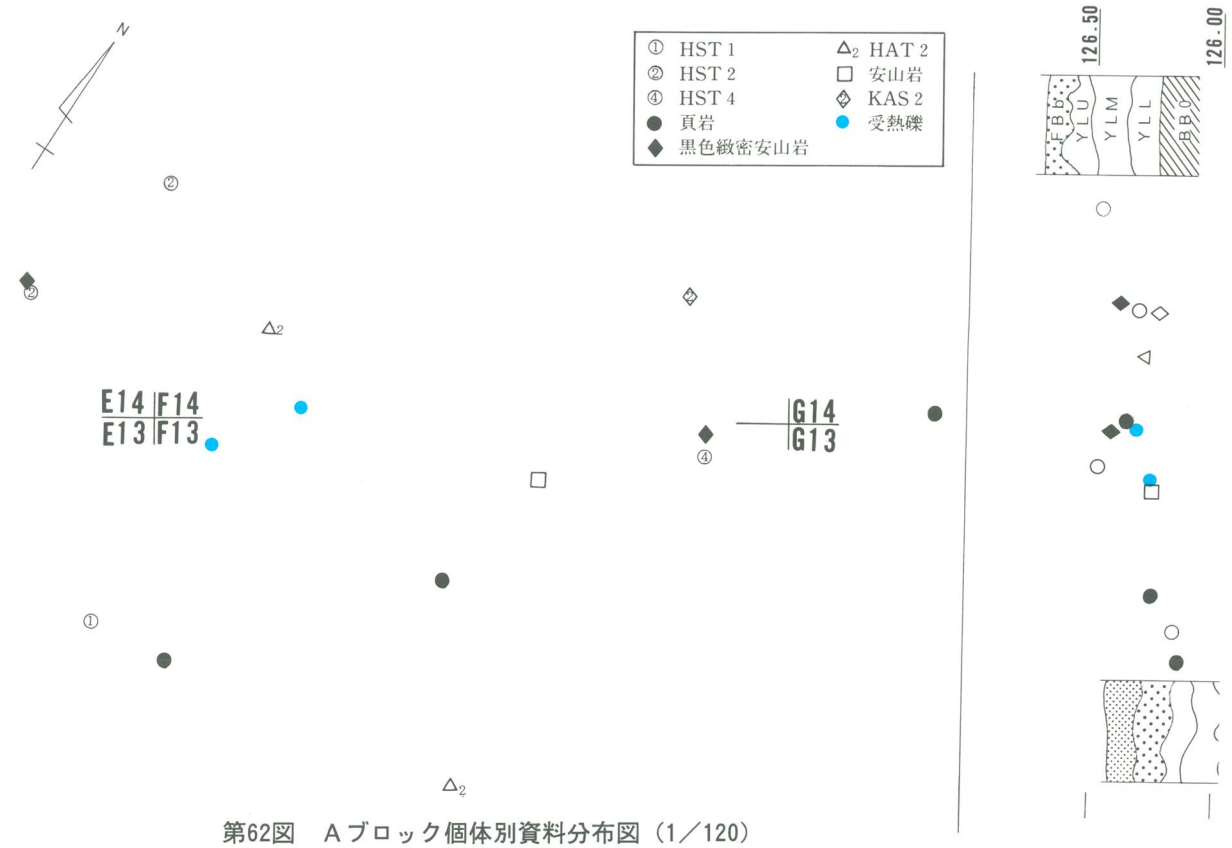
F13付近に散漫な分布を示し、Bブロックとの境は不明瞭である。分布は調査区の西側に広がる可能性がある。石器総数は11点で、小規模なブロックである。全体の約50％が石器（tool）である。

表18　Aブロック石器組成表

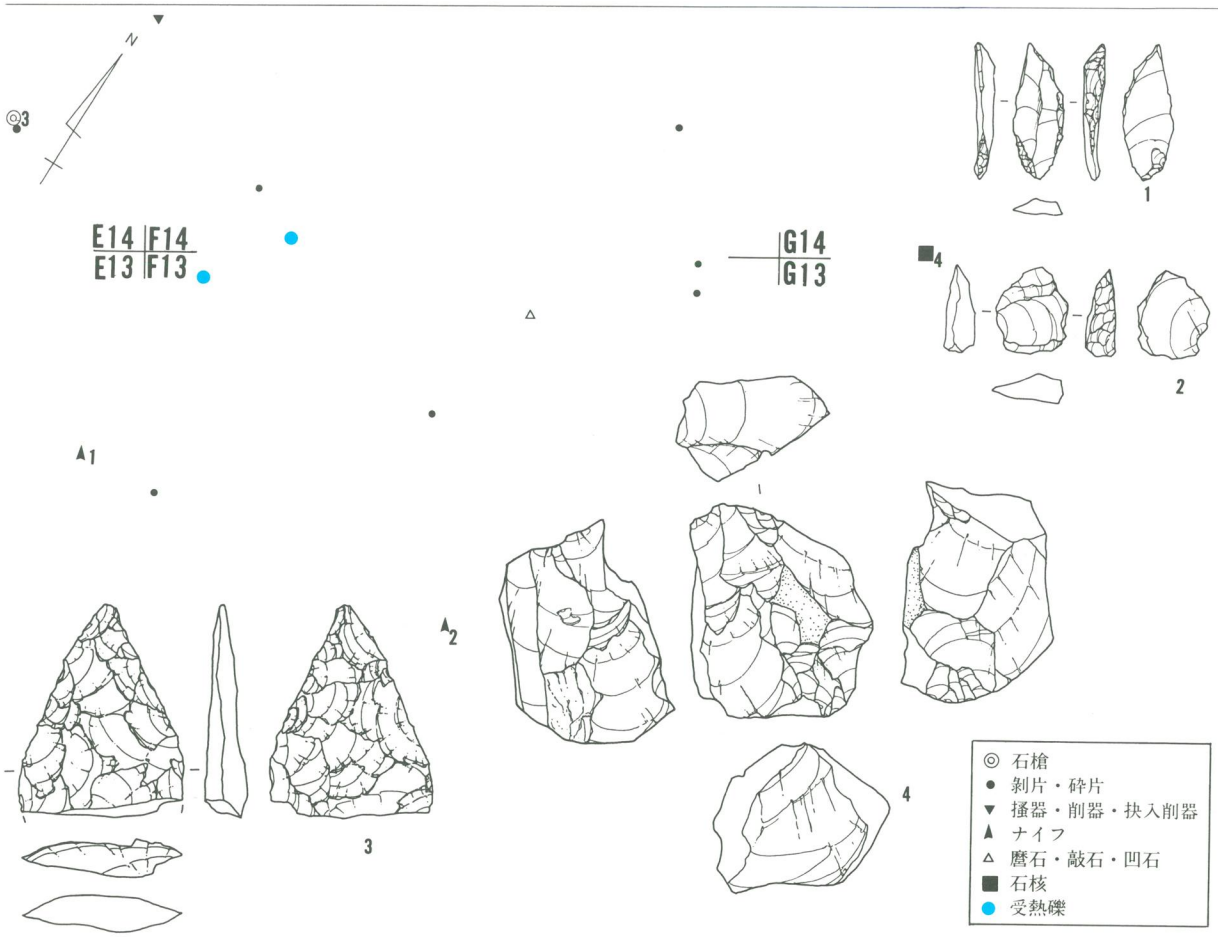
	黒耀石				頁岩	黒緻安山岩	安山岩	合計
	WAD9	KAS2	HAT2	HST4				
石槍						1		1
ナイフ	1		1					2
敲石.磨石							1	1
石核					1			1
U剥片		1		1				2
剥片			1		2	1		4
合計	1	1	2	1	3	2	1	11

（2）　Bブロック（第64・65図）

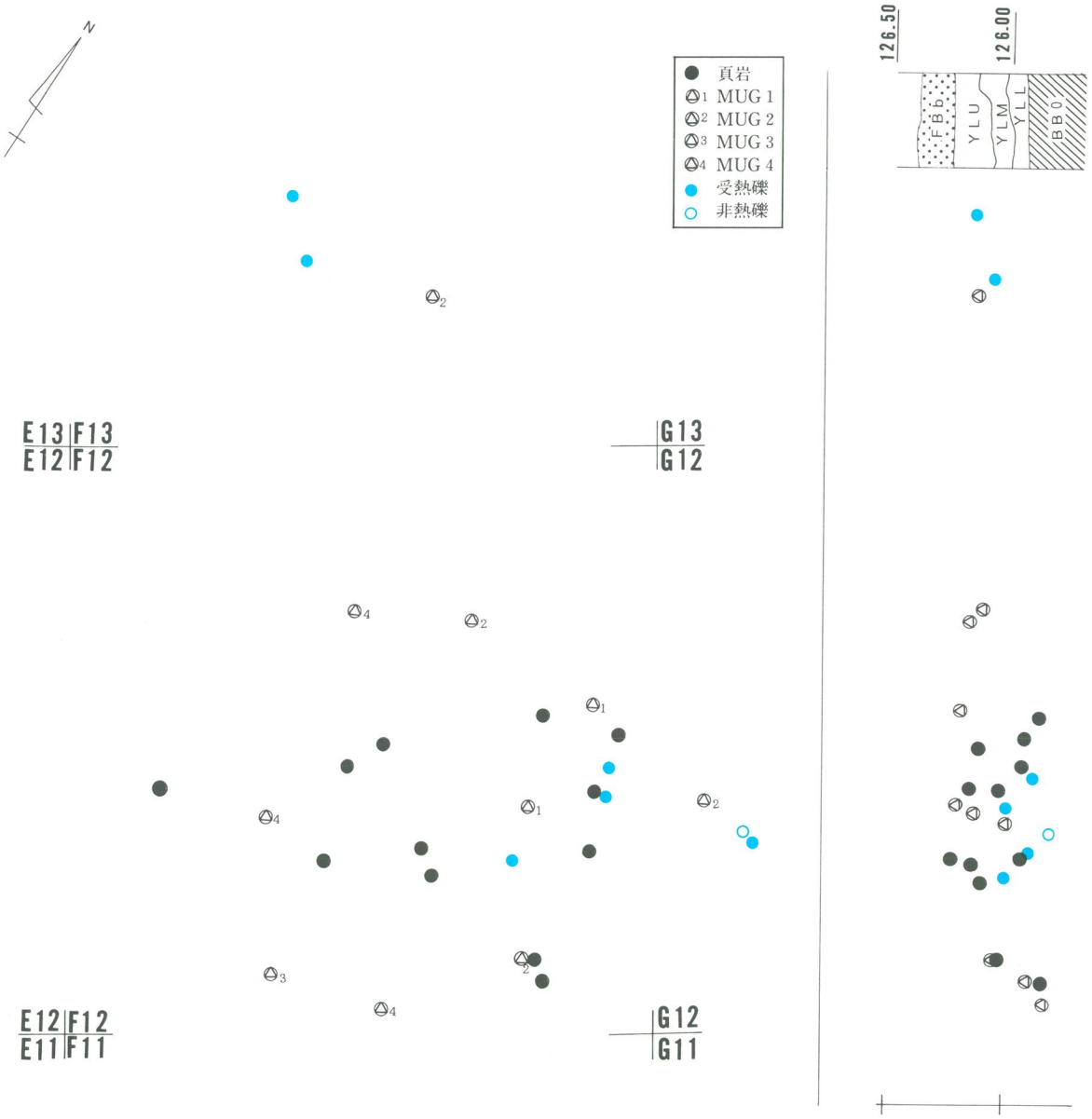
F12付近に散漫な分布を示す。全体は主に、頁岩製の石刃状剥片と黒耀石製（麦草峠産）のナイフ型石器からなる。石器総点数は21点で、約50％が石器（tool）である。



第62図　Aブロック個体別資料分布図（1／120）



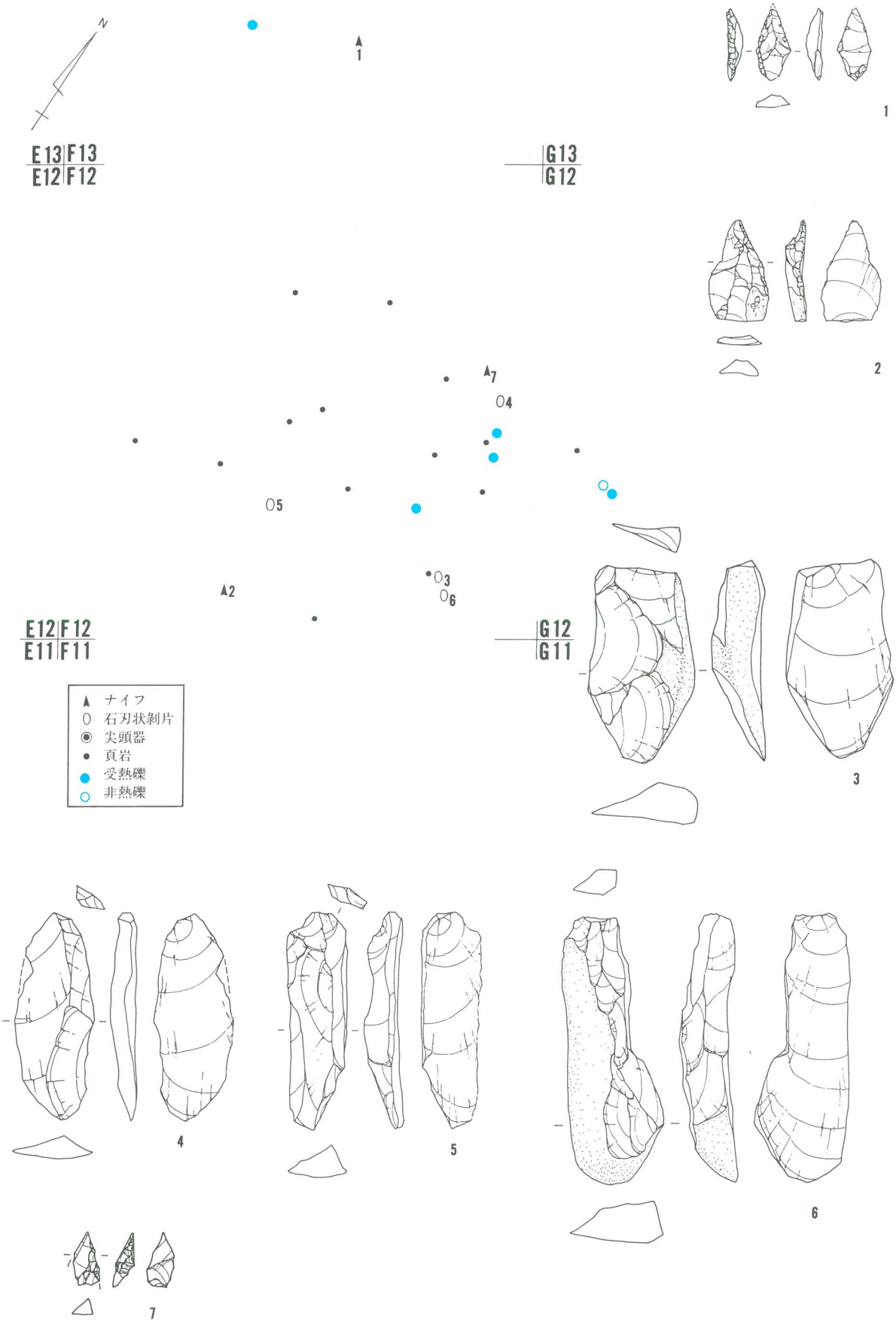
第63図　Aブロック石器器種別分布図（1／120）



第64図　Ｂブロック個体別資料分布図（1／120）

表19　Ｂブロック石器組成表

	頁岩	黒耀石				合計
		MUG1	MUG2	MUG3	MUG4	
ナイフ		1	1	1		3
石刃状剥片	4					4
U剥片			2		2	4
剥片	7	1	1		1	10
合計	11	2	4	1	3	21



第65図　Ｂブロック石器器種別分布図（1／120）

（3） **Cブロック**（第66・67・68・69図）

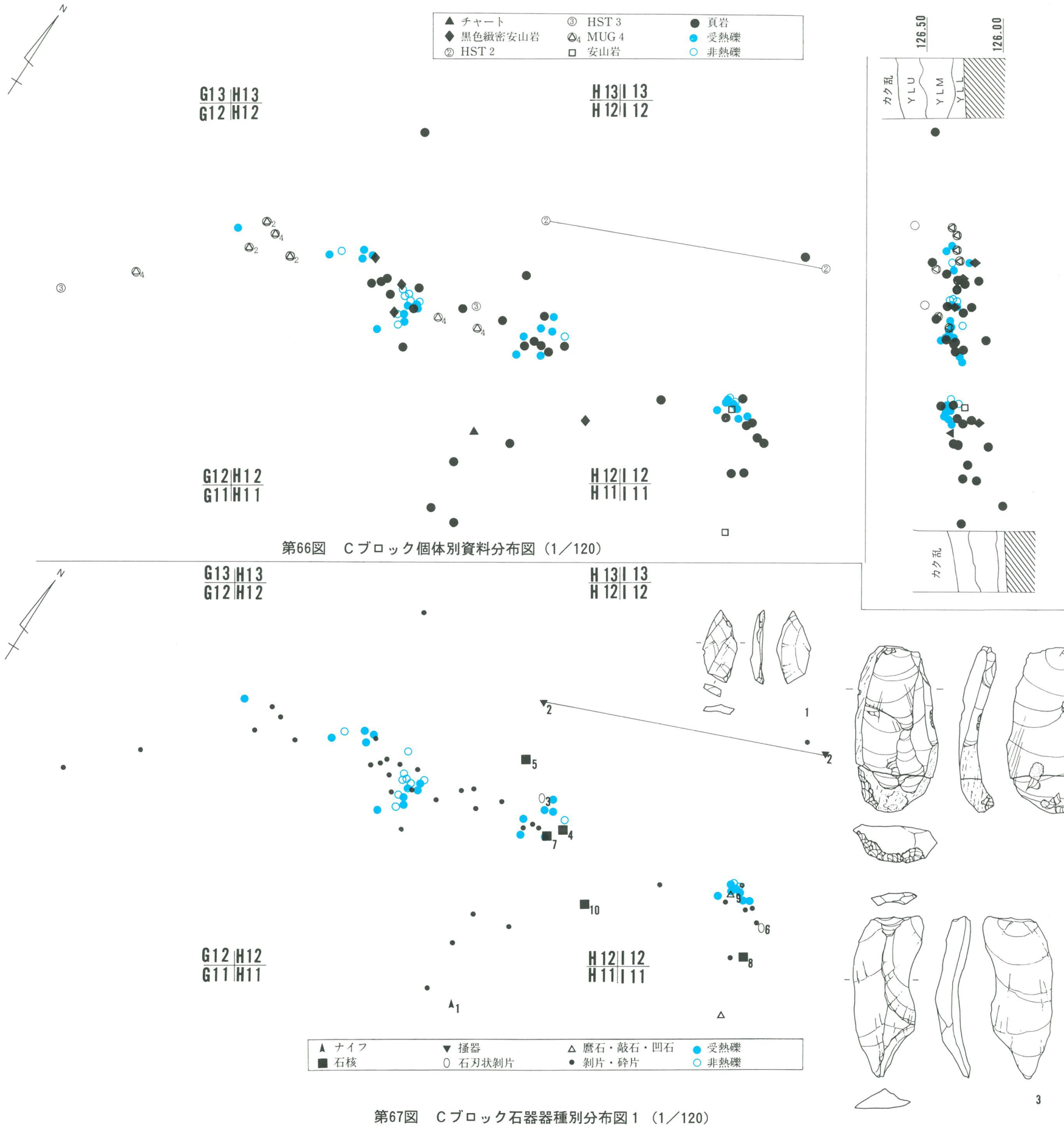
H12グリット付近に分布の中心がある。全体は麦草峠産の黒耀石を中心とした一群と、頁岩を中心とした一群に分けることができる。石器総点数は48点で、頁岩が全体の63％を占め、ナイフ形石器１点、石刃状剥片２点、石核４点を含む。ブロック内に安山岩製の敲石が出土しており、さらに76％が剥片・砕片であることから、石器製作跡の性格も持つと考えられる。一方黒耀石は全体の21％で、折損した掻器１点の他は剥片・砕片である。ブロック内には４基の礫群を内在し、特に頁岩の剥片が礫群周辺で出土している。全体の23％が利器である。

表20　Ｃブロック石器組成表

	頁岩	黒耀石				黒緻安山岩	珪質頁岩	安山岩	チャ-ト	合計
		ＨＳＴ2	ＨＳＴ3	ＭＵＧ2	ＭＵＧ4					
ナイフ	1									1
掻器		1								1
石刃状剥片	2									2
敲石								2		2
石核	4					1				5
Ｕ剥片.砕片			1	1	3					5
剥片.砕片	23		1	2	1	3	1		1	32
合計	30	1	2	3	4	4	1	2	1	48

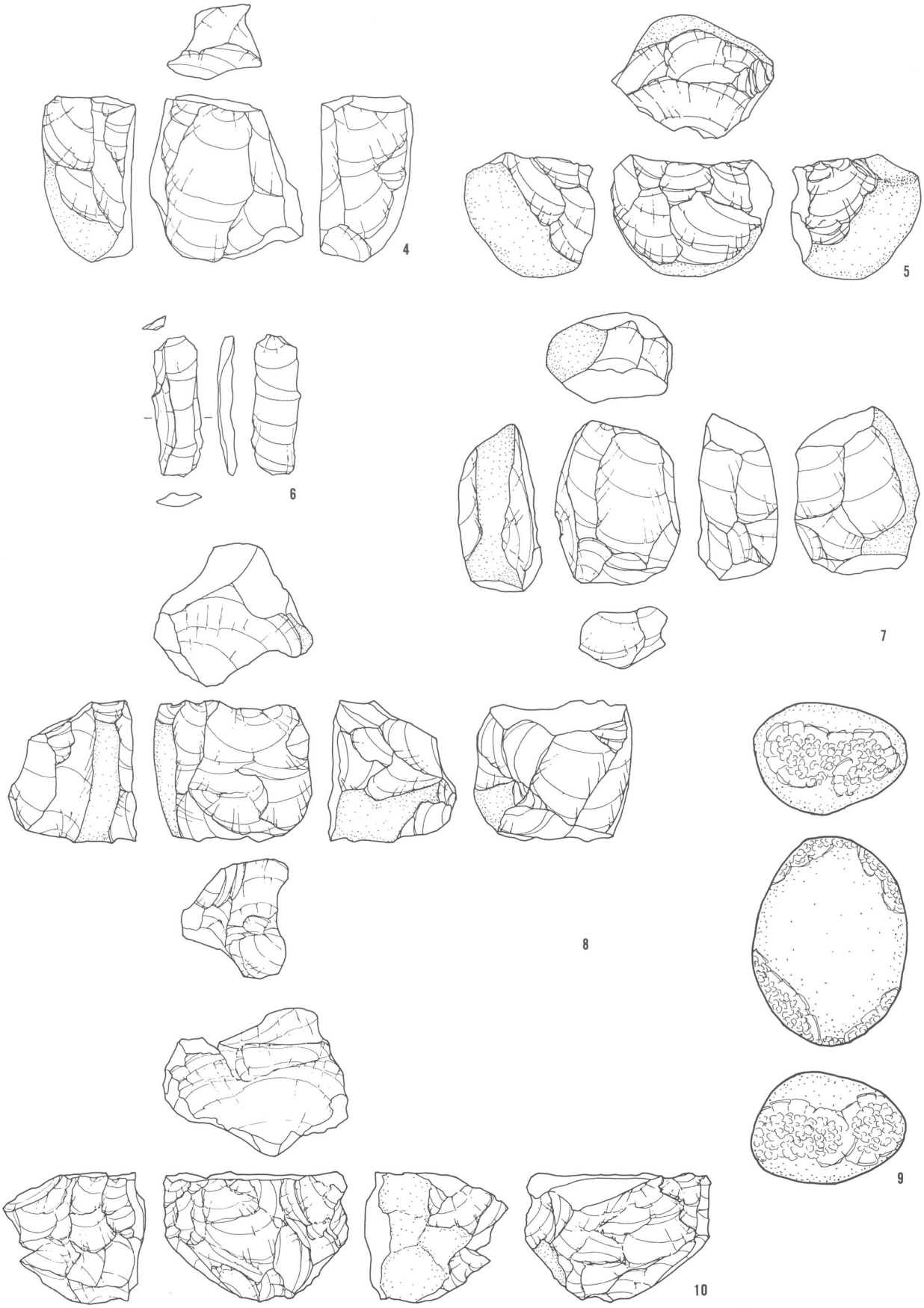
（4） **Dブロック**（第70・71・72・73図）

J13グリット付近に分布の中心がある。石器総点数は54点で、礫群を中心に円形の分布を示し、44％を黒耀石､26％を黒色緻密安山岩､18％を頁岩が占める。黒耀石の原産地は、星ヶ塔・麦草・柏峠と様々で、Cブロックと同様、麦草峠産のものが多い。また黒色緻密安山岩は、調査区全体で見ると分布の中心は本ブロックにある。黒耀石製のナイフ形石器４点、掻器１点、削器１点、頁岩製の石刃状剥片１点を含み、約30％が利器である。礫群１基が内在する。

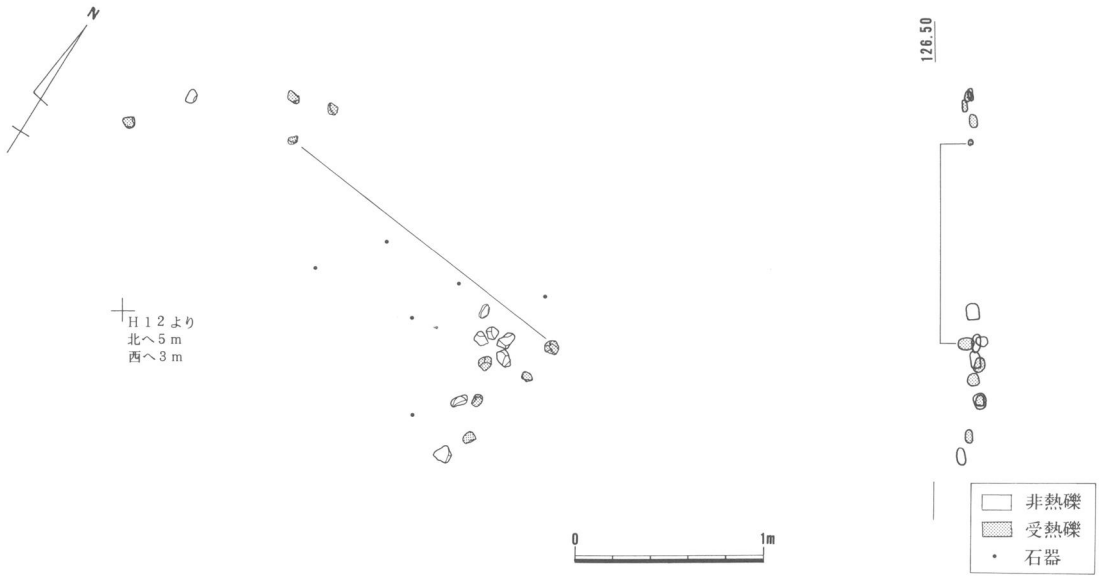


第66図　Cブロック個体別資料分布図（1／120）

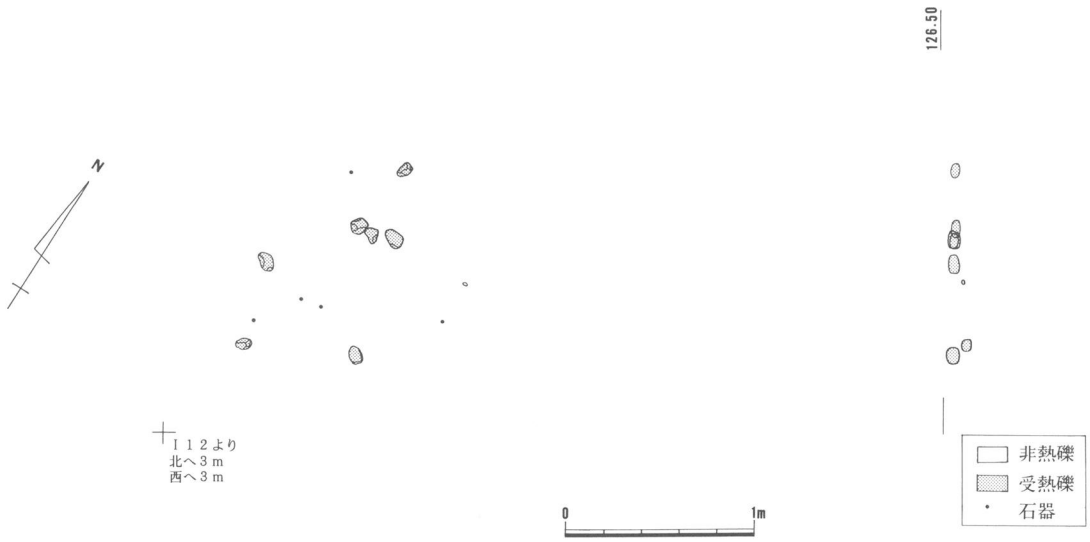
第67図　Cブロック石器器種別分布図1（1／120）



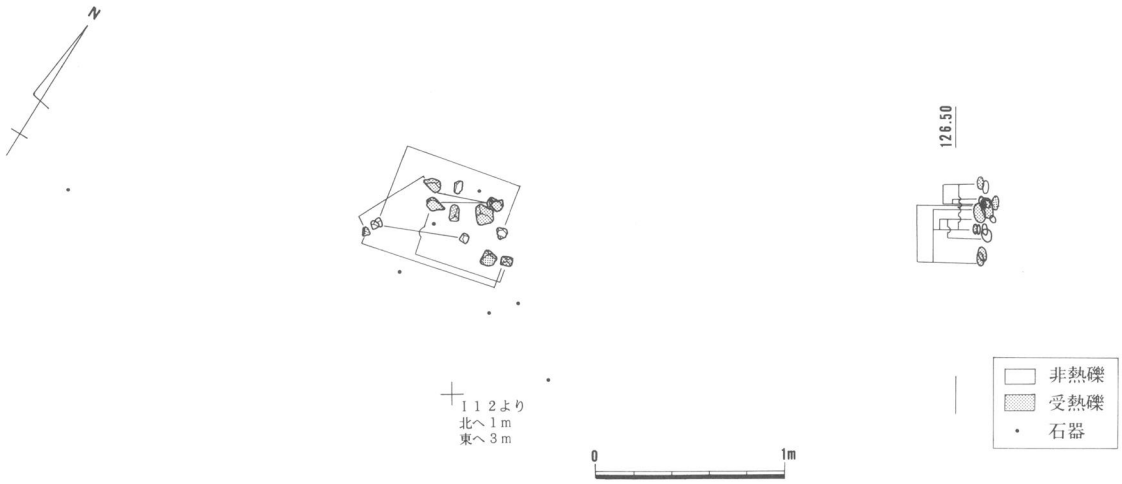
第68図　Cブロック石器器種別分布図2



(1) Ｃ１・Ｃ２号礫群

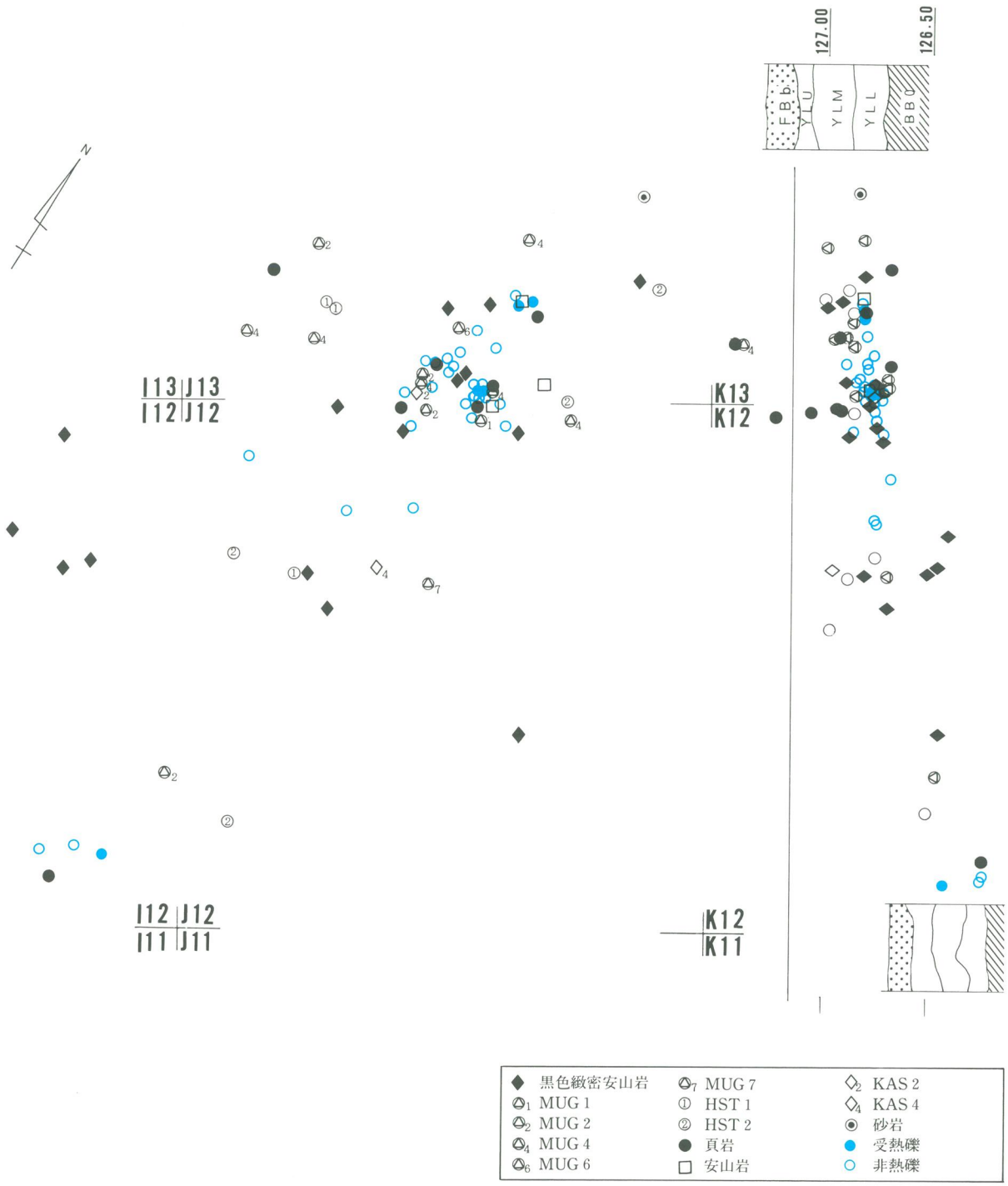


(2) Ｃ３号礫群

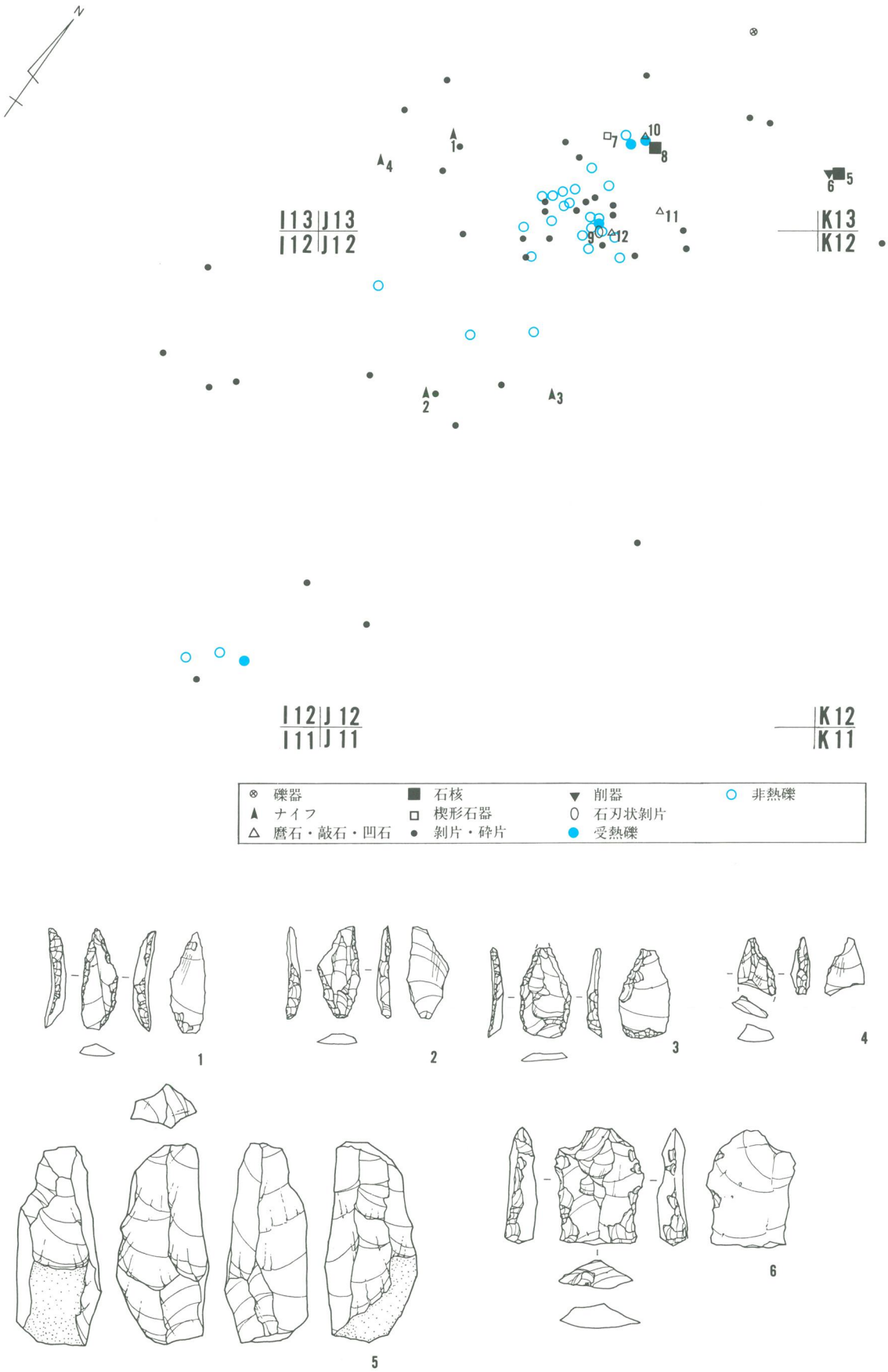


(3) Ｃ４礫群

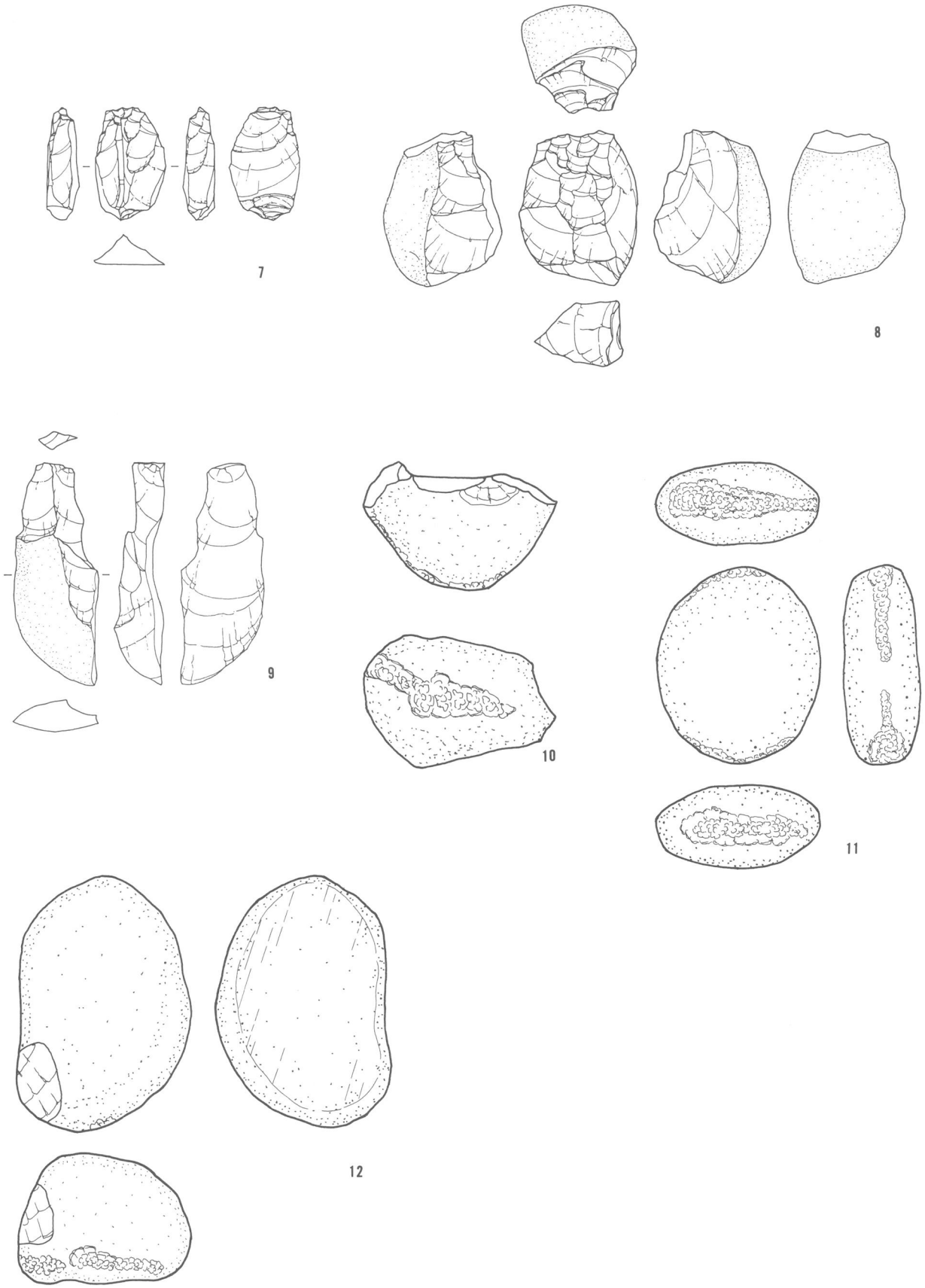
第69図　Ｃブロック礫群平面・垂直分布図（1／40）



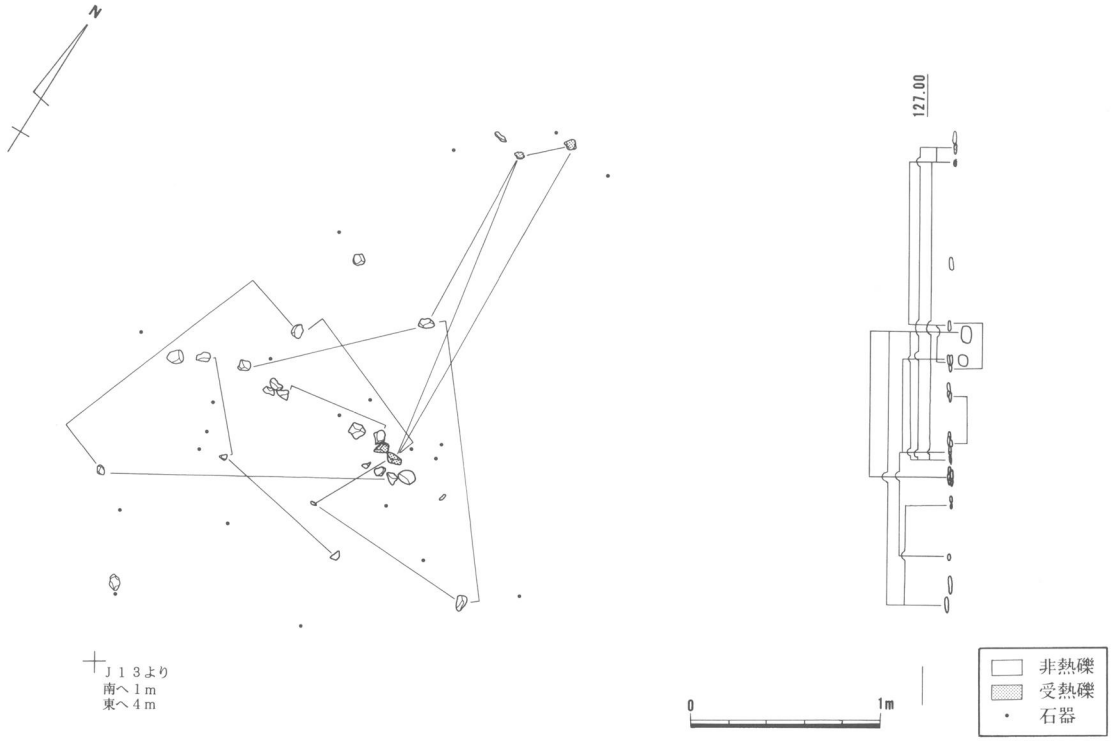
第70図　Dブロック個体別資料分布図（1／120）



第71図　Dブロック石器器種別分布図1（1／120）



第72図　Dブロック石器器種別分布図２



第73図　Dブロック礫群平面・垂直分布図（1／40）

表21　Dブロック石器組成表

	黒耀石										黒緻安山岩	頁岩	その他	合計
	HST 1	HST 2	MUG 1	MUG 2	MUG 4	MUG 6	MUG 7	KAS 2	KAS	HST				
ナイフ	2				1		1							4
掻器		1												1
削器					1									1
楔形石器											1			1
石刃状剥片												1		1
石核												2		2
敲石･磨石													4	2
U剥片		1		1	1					1				4
剥片	1	1	1	3	4	1		1	1	1	13	7	1	35
礫器													1	1
合計	3	3	1	4	7	1	1	1	1	2	14	10	6	54

（5） **Eブロック**（第74・75・76図）

E11グリット付近に分布の中心がある。石器総点数が11点の頁岩を中心としたブロックで、２地点に分けることができる。北側の一群をＥ１ブロック、南側の一群をＥ２ブロックとすると、Ｅ１ブロックには礫群１基と頁岩製の石核が含まれ、Ｅ２ブロックには頁岩製のナイフ形石器が含まれる。いずれも散漫な分布を示す。

（6） **Fブロック**（第77図）

K14グリット付近に分布する、黒耀石を中心としたブロックである。石器総点数は８点で、非常に小規模であるが、約２ｍの範囲に、畑宿産の黒耀石５点と麦草峠産の黒耀石３点が集中して分布する。なお、畑宿産の黒耀石の石核も出土している。剥片と石核は接合していないが、同一母岩と考えている。調査区の端に分布するため、ブロックは未調査区部分に拡大する可能性がある。

表22　Ｅブロック石器組成表

	黒耀石	頁岩	黒緻安山岩	合計
ナイフ		1		1
石刃状剥片		1		1
石核		1		1
剥片	1	6	1	8
合計	1	9	1	11

表23　Ｆブロック石器組成表

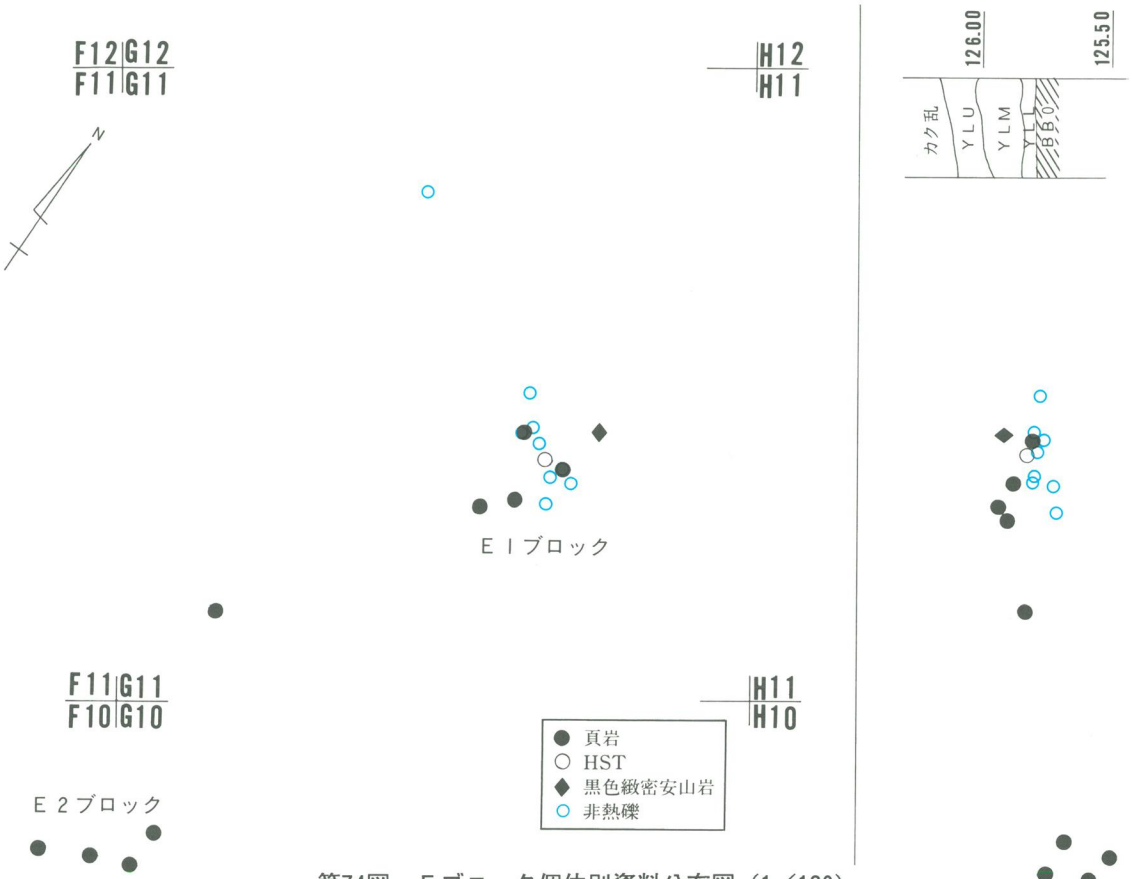
	黒耀石				合計
	ＨＡＴ１	ＭＵＧ２	ＭＵＧ４	ＭＵＧ５	
石核	1				1
Ｕ剥片	1			1	2
剥片.砕片	3	1	1		5
合計	5	1	1	1	8

（7） **Gブロック**（第78・79図）

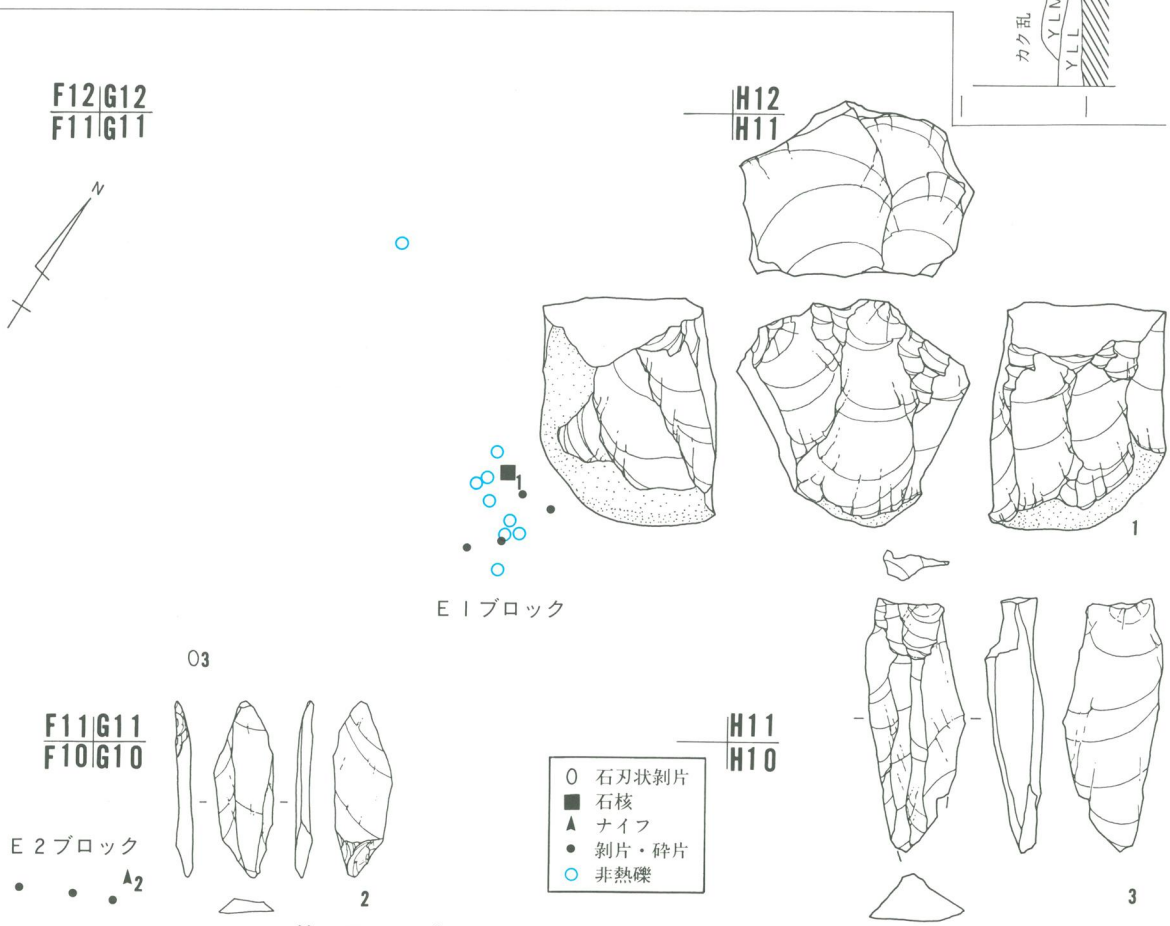
L11からM12ブロックにかけて帯状に分布するブロックで、石器総点数は25点で、北側の頁岩を主体とするＧ１ブロックと、南側の黒耀石を主体とするＧ２ブロックに分けることができる。Ｇ１ブロックでは敲石の他に、頁岩の剥片と星ヶ塔産の黒耀石の抉入削器が出土している。Ｇ２ブロックでは星ヶ塔産の黒耀石のナイフ形石器と抉入削器が出土している。これらのブロックは石材組成と器種組成の面に特徴があり、黒耀石すなわちＧ２ブロックは、利器の占める割合が57％であるのに対して、頁岩は７％以下である。

表24　Ｇブロック石器組成表

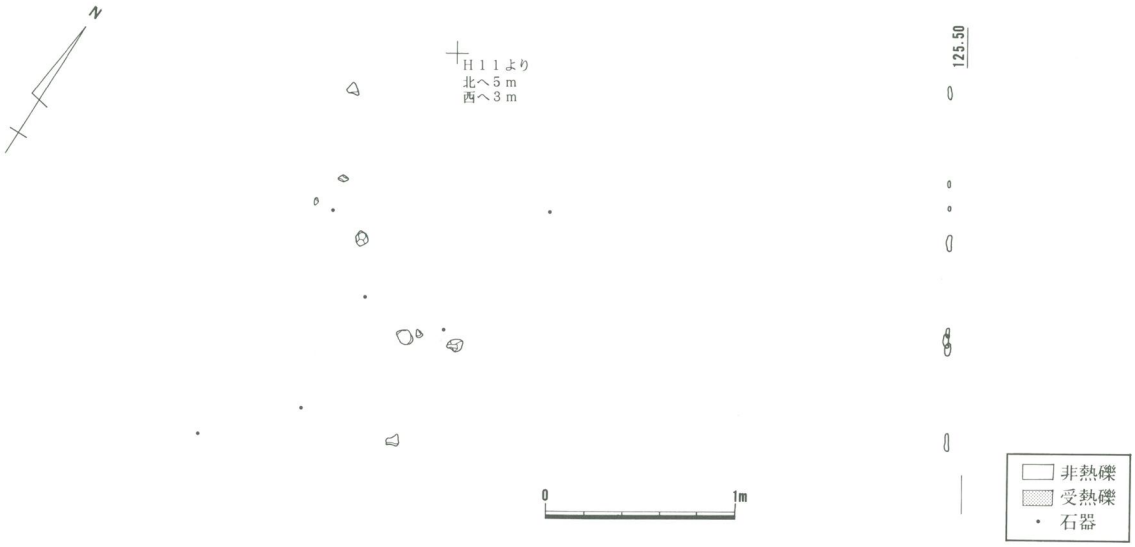
	黒耀石					頁岩	安山岩	合計
	ＨＳＴ１	ＨＳＴ２	ＨＳＴ３	ＨＡＴ１	ＷＡＤ８			
ナイフ		1	2					3
抉入削器	1		1					2
楔形石器		1						1
石刃状剥片						1		1
石核						1		1
磨石							2	2
Ｕ剥片				2				2
剥片	1	1	2	1	1	7		13
合計	2	3	5	3	1	9	2	25



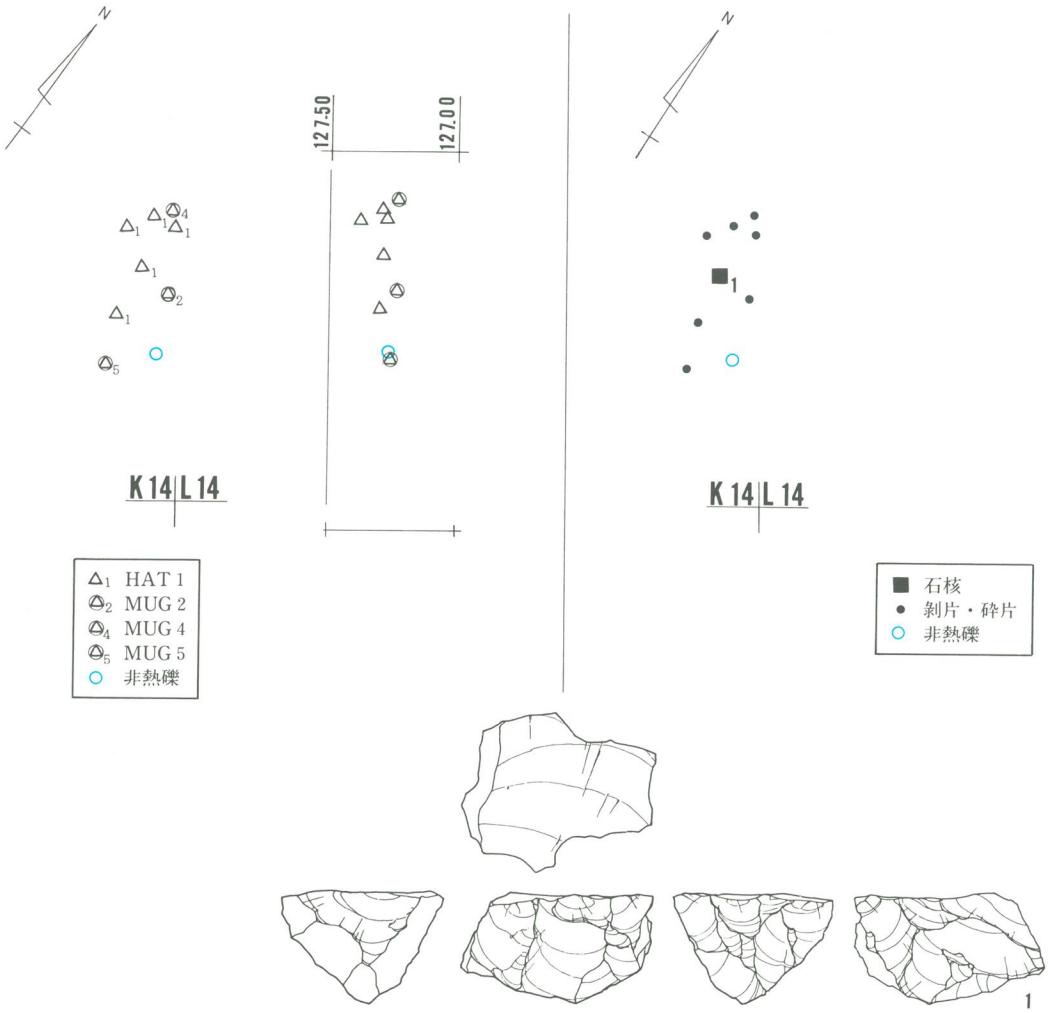
第74図　Eブロック個体別資料分布図（1／120）



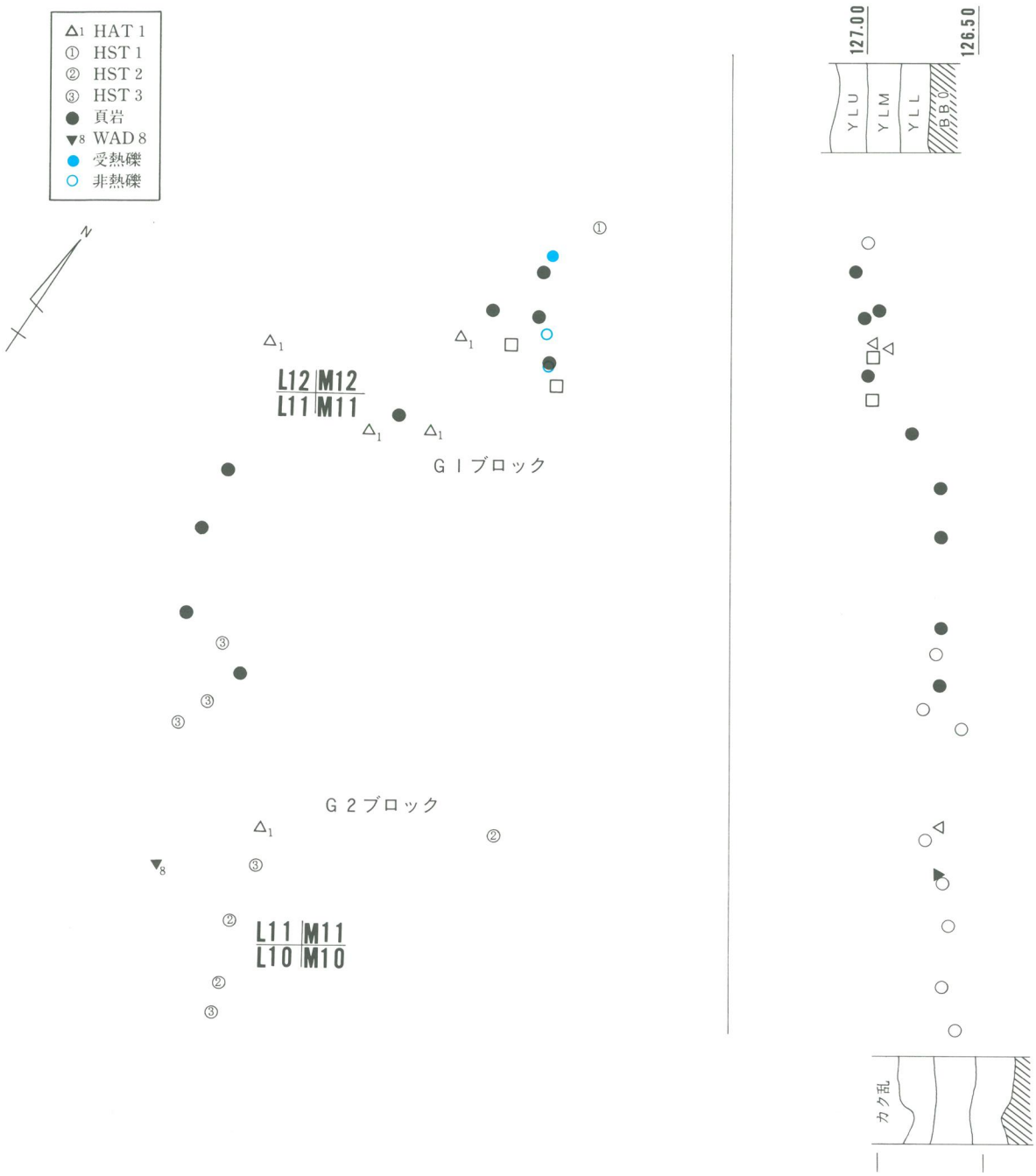
第75図　Eブロック石器器種別分布図（1／120）



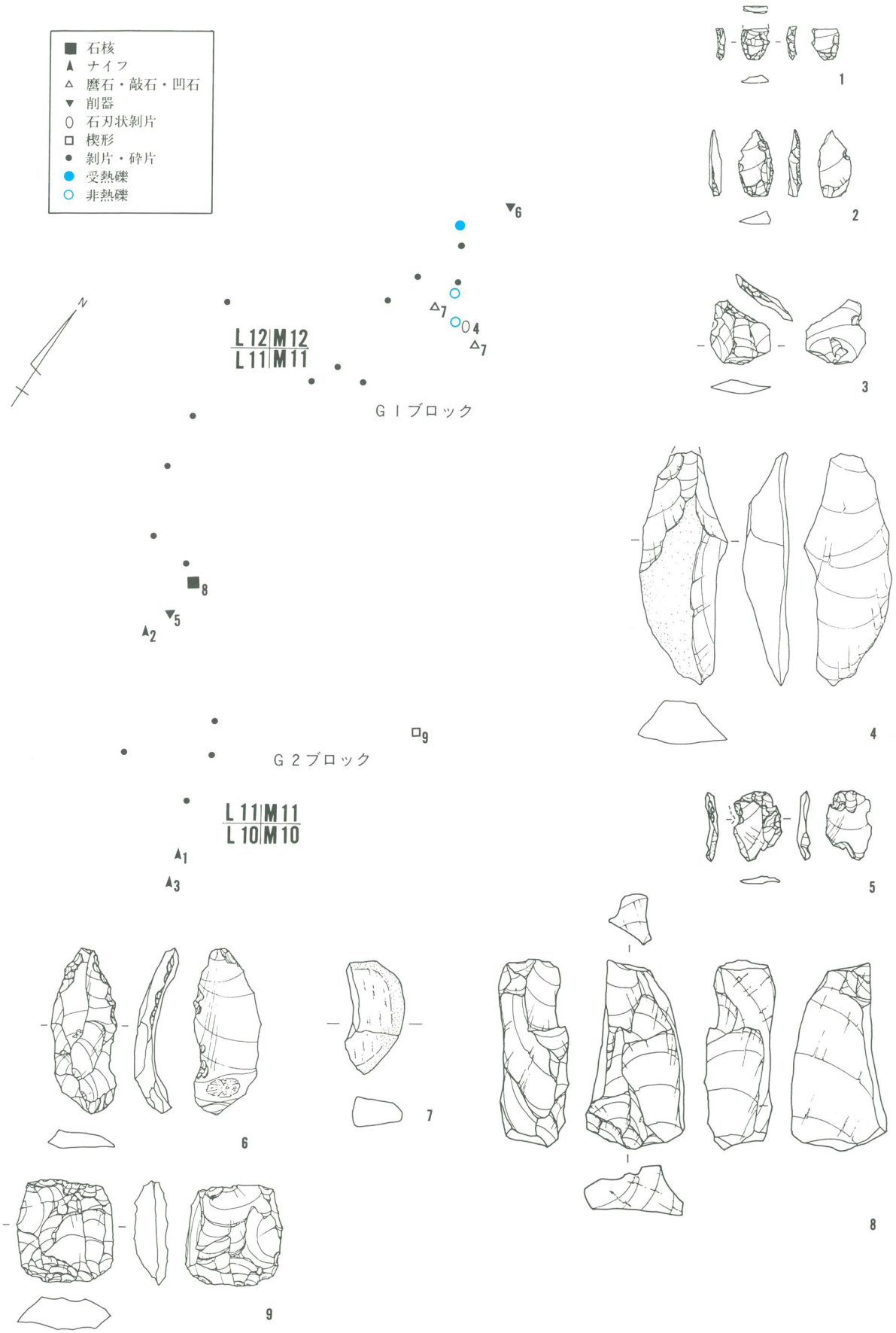
第76図　Eブロック礫群平面・垂直分布図（1／40）



第77図　Fブロック個体別資料・石器器種別分布図（1／120）



第78図　Gブロック個体別資料分布図（1／120）



第79図　Gブロック石器器種別分布図（1／120）

（8） **Hブロック**（第80・81・82図）

L11からM10ブロックを中心として分布する。石器総数78点で、全体の約80％を頁岩が占めるブロックで、散漫ではあるが礫群を含む。器種の内訳は、ナイフ形石器３点、掻器１点、石刃状剥片４点、石核１点が頁岩製であり、掻器については石核を素材とするものである。星ヶ塔の黒耀石では楔形石器が１点出土している。

表25　Hブロック石器組成表

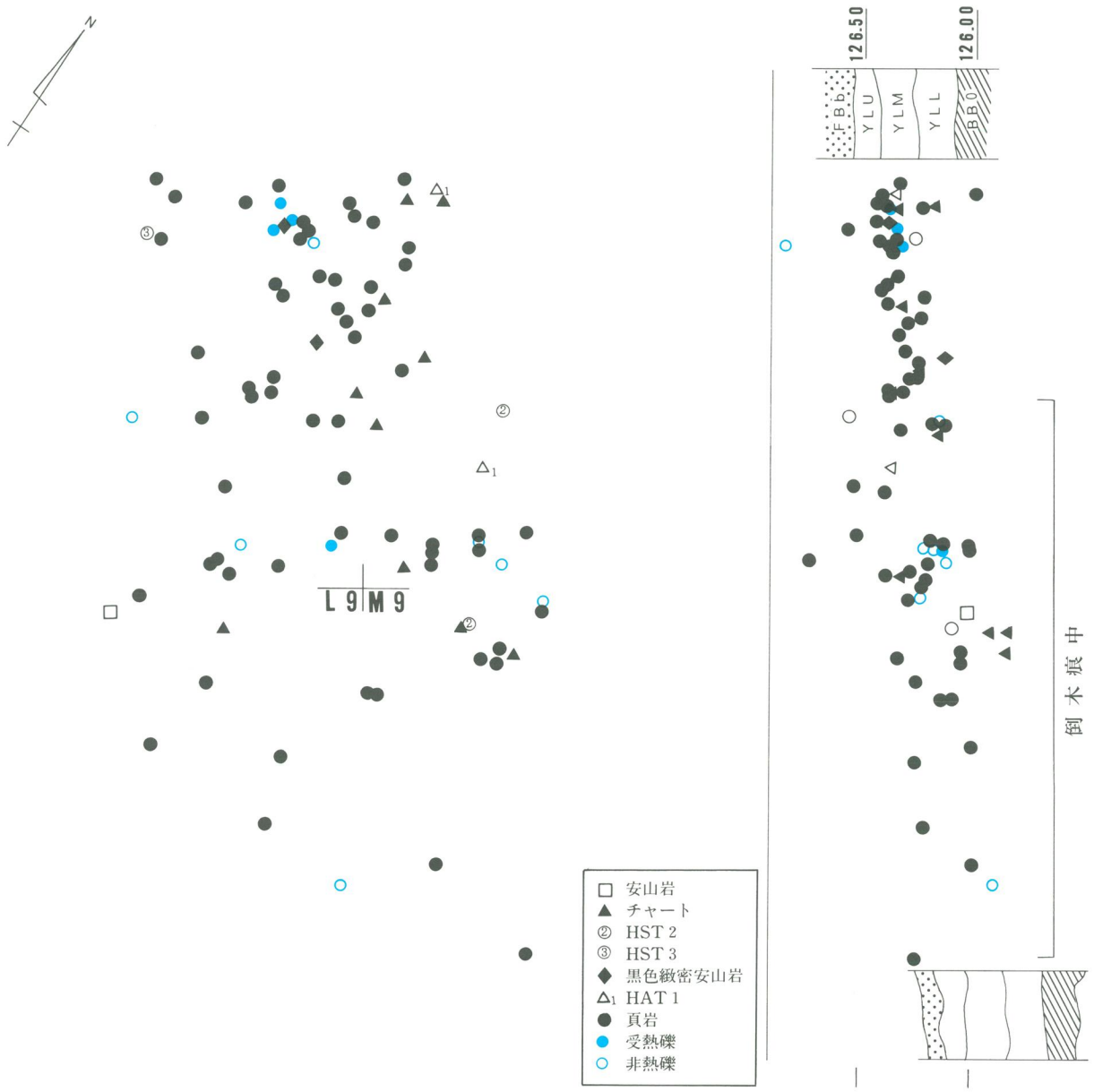
	頁岩	チャート	黒耀石			黒緻安山岩	安山岩	合計
			HST2	HST3	HAT1			
ナイフ	3							3
掻器	1							1
楔形石器			1					1
石刃状剥片	4							4
石核	1					1		2
敲石							1	1
U剥片				1				1
剥片.砕片	54	8	1		1	1		65
合計	63	8	2	1	1	2	1	78

（9） **Iブロック**（第83・84・85・86・87図）

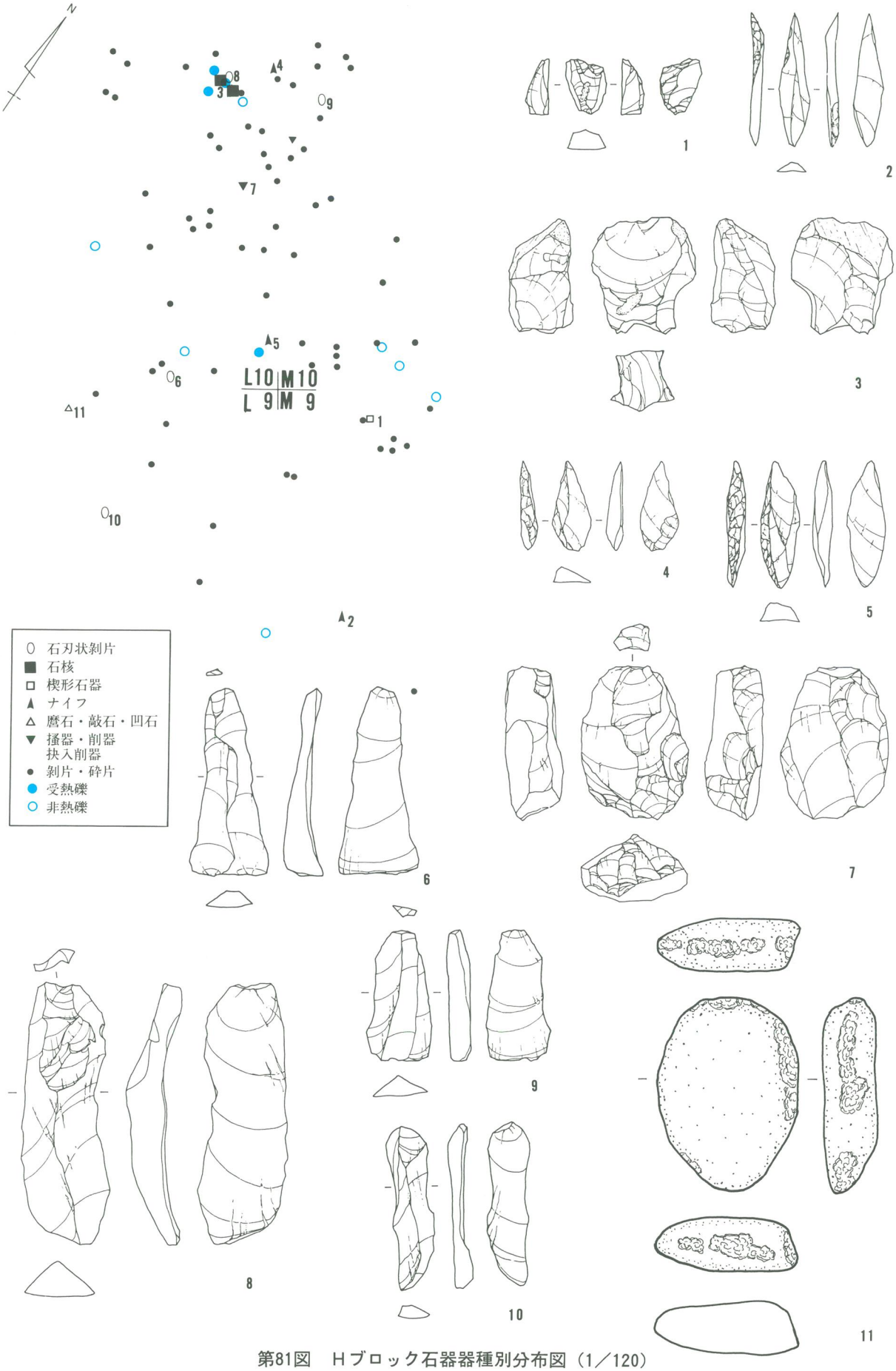
M11グリットを中心に、約10mの広範囲に分布するブロックである。石器総点数は80点で、約57％が頁岩、約30％が畑宿産の黒耀石であり、在地系の石材を持つブロックである。頁岩と黒耀石はほぼ同様の分布を示し、ブロックの外周に星ヶ塔産の黒耀石が分布する。この星ヶ塔産の黒耀石は全てが利器であり、ブロックに持ち込まれたものと考えることができる。また頁岩の石核は４点が出土しており、剥片剥離がおこなわれたものと考えられる。礫群はN11グリット杭付近に、非熱礫を中心としたものが１基検出されている。

表26　Iブロック石器組成表

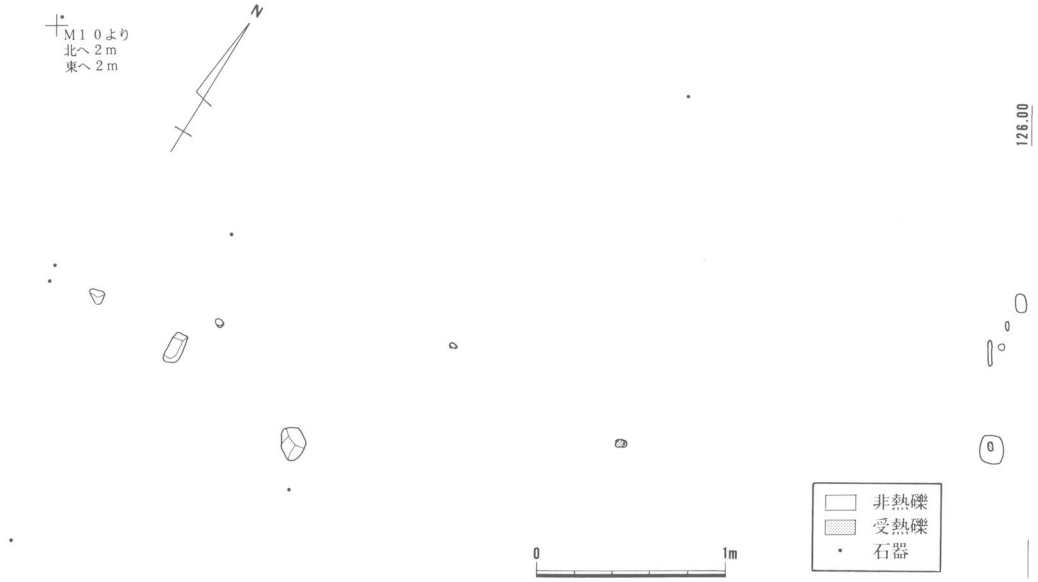
	頁岩	黒耀石						チャート	安山岩	砂岩	合計
		HAT1	HAT2	HAT3	HST1	HST2	MUG2				
ナイフ			1			1					2
彫器						1					1
楔形石器					1						1
石刃状剥片	1										1
石核	4			1							5
敲石.凹石	1								1	1	3
U剥片		5				1			1		7
剥片.砕片	40	16	1				1	2			60
合計	46	21	2	1	1	3	1	2	2	1	80



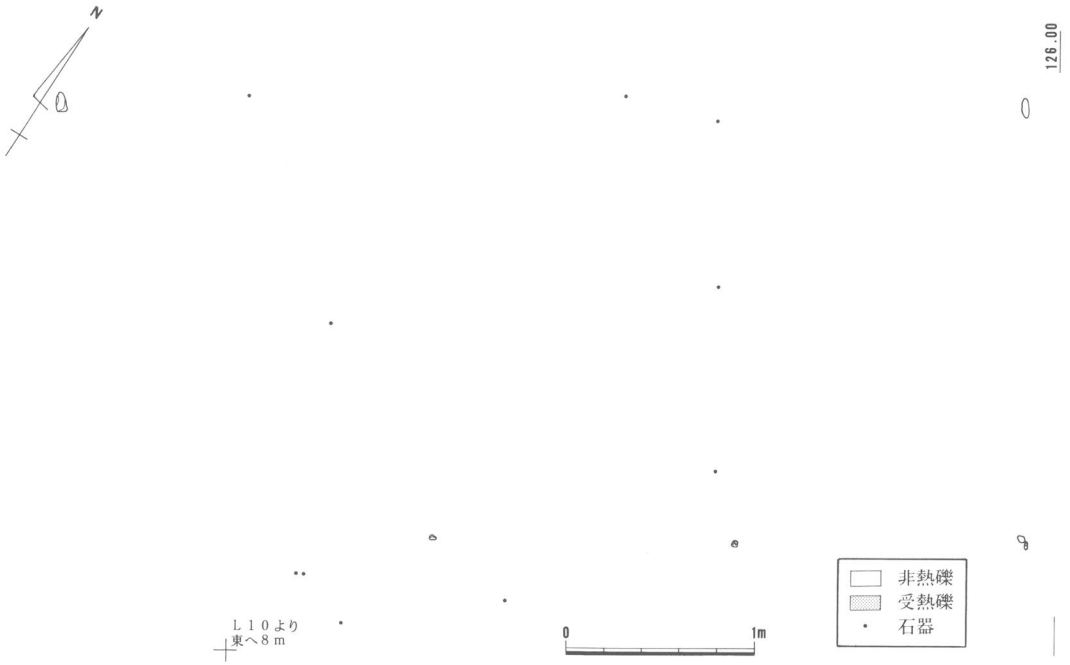
第80図　Hブロック個体別資料分布図（1／120）



第81図　Hブロック石器器種別分布図（1／120）

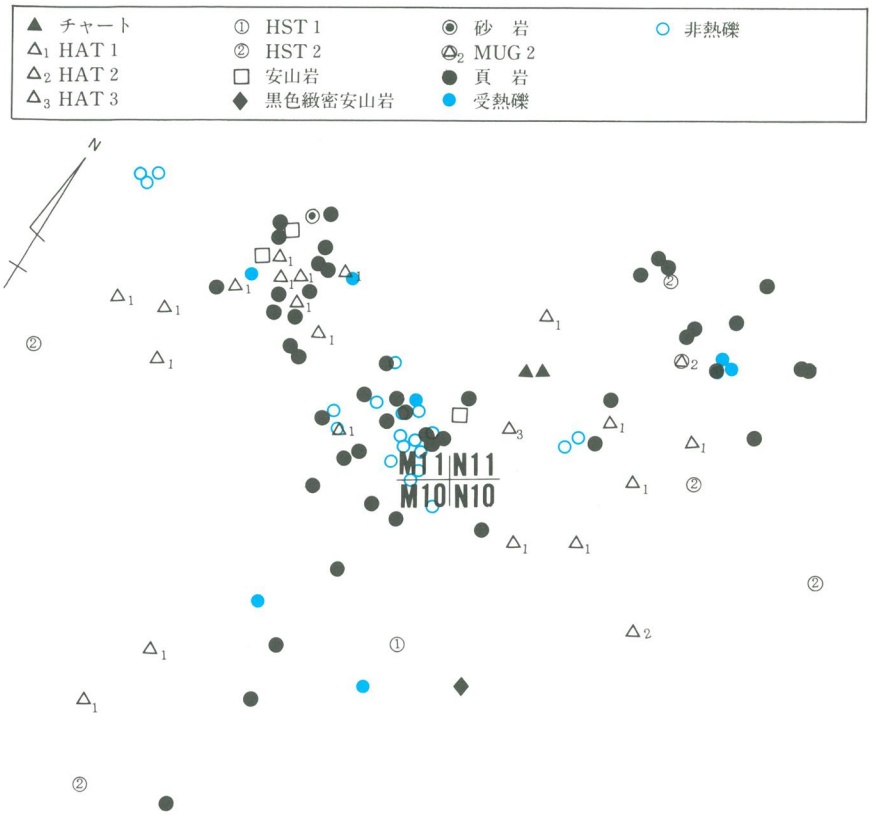


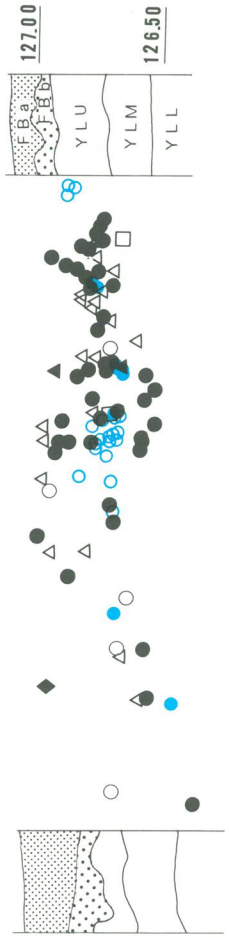
(1) Ｈ１号礫群



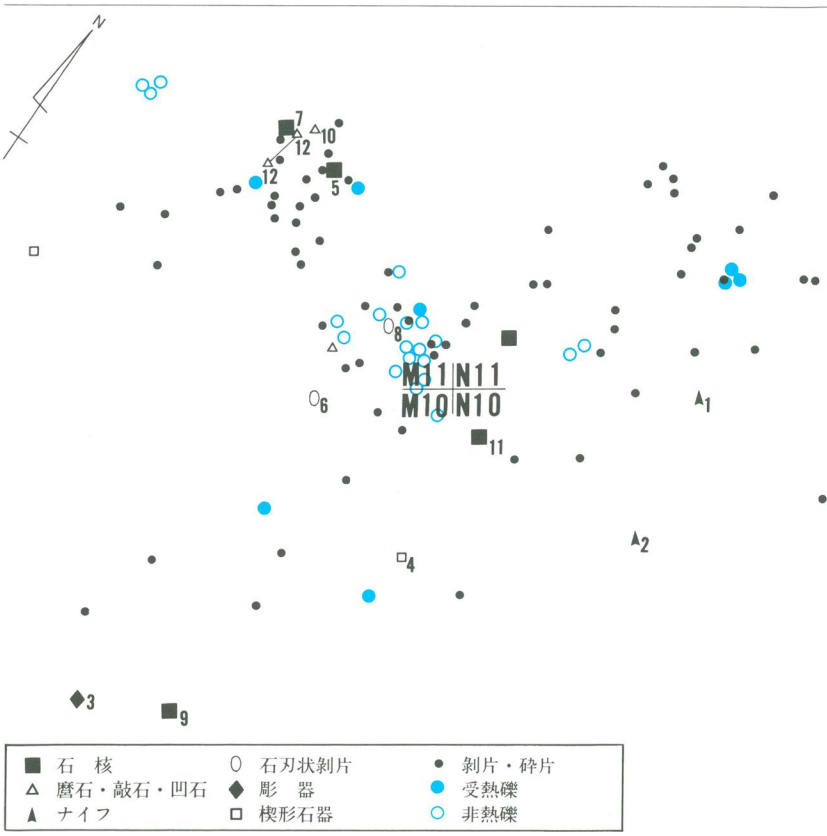
(2) Ｈ２号礫群

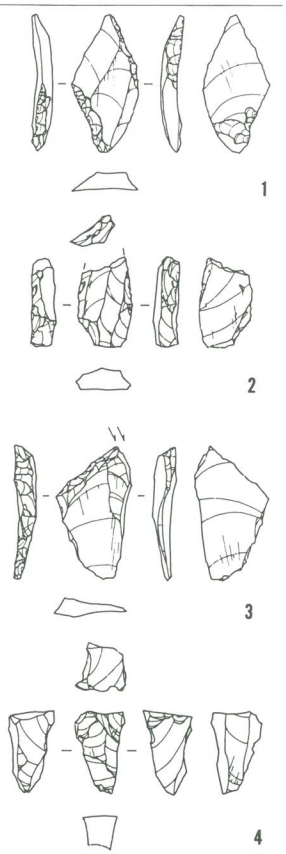
第82図　Ｈブロック礫群平面・垂直分布図（1／40）



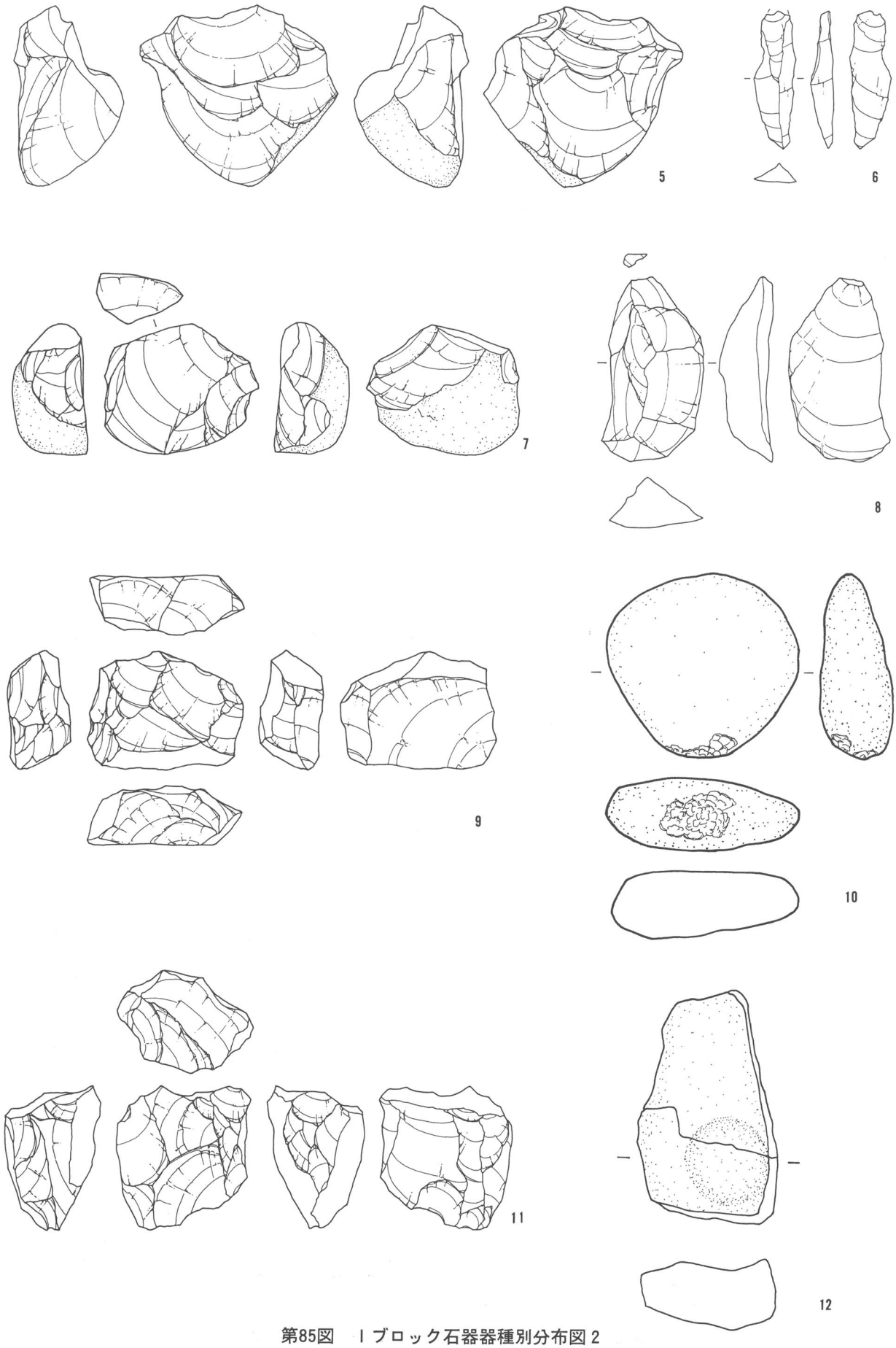


第83図　Ⅰブロック個体別資料分布図（1／120）



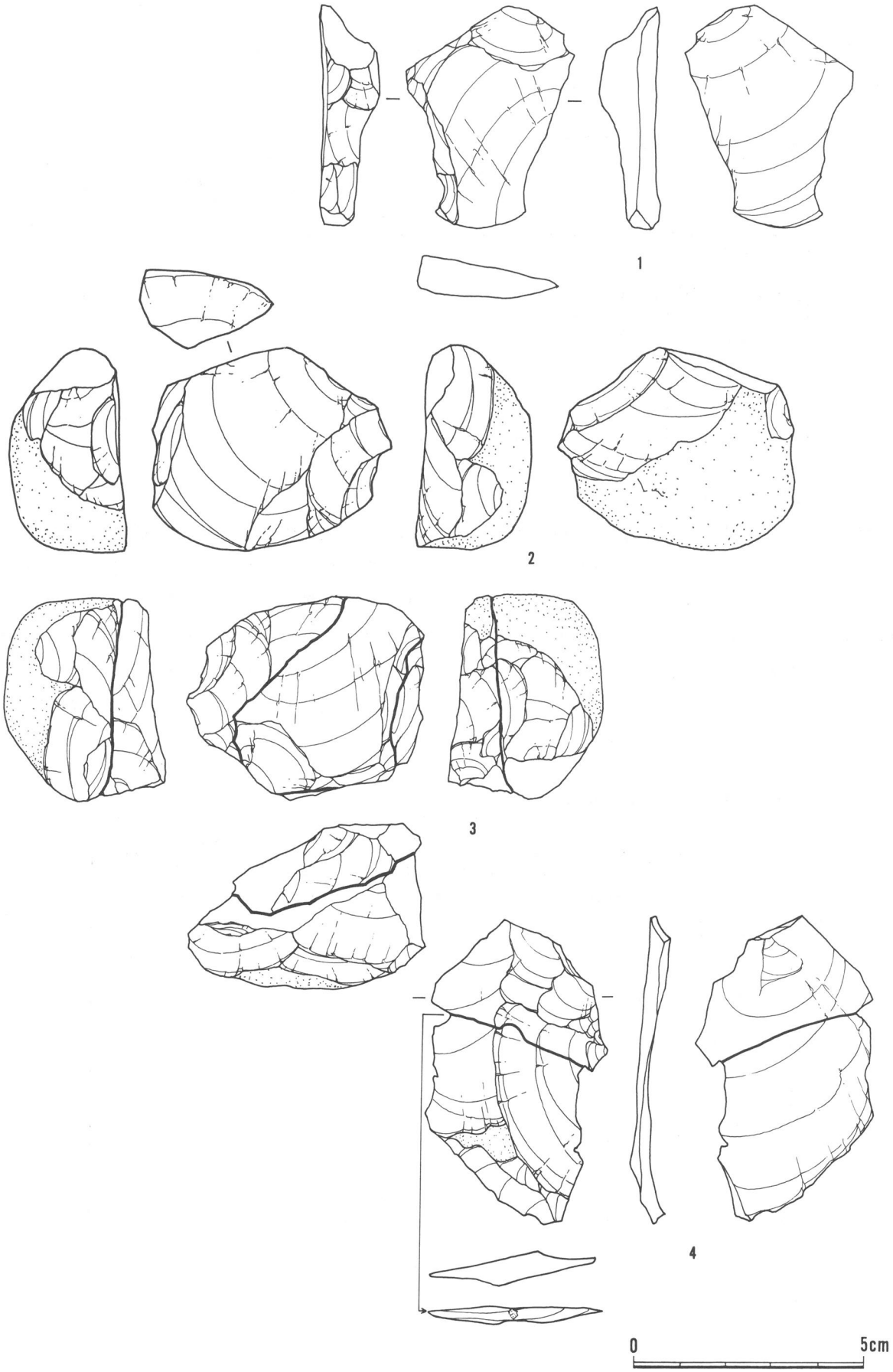


第84図　Ⅰブロック石器器種別分布図１（1／120）



第85図　Ⅰブロック石器器種別分布図２

第86図　Ⅰブロック礫群平面・垂直分布図（1／40）



第87図　Ⅰブロック石器接合資料（4／5）

(10)　Jブロック（第88図）

N11からO11にかけて散漫な分布を示す。石器総点数は６点で、星ヶ塔産の黒耀石を中心とし、削器１点の他に、使用痕のある剥片を７点含む。

表27　Ｊブロック石器組成表

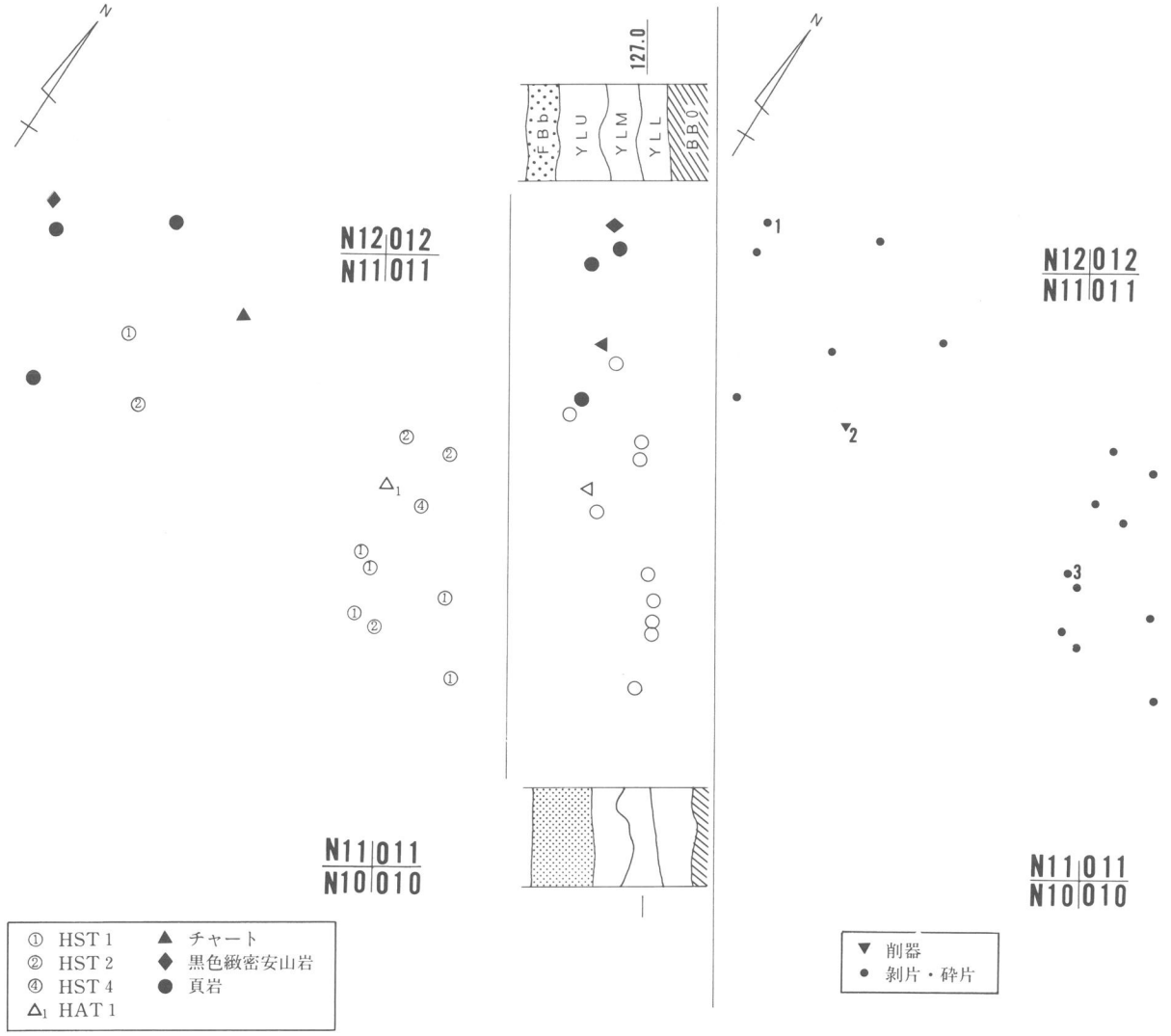
	黒耀石				頁岩	黒緻安山岩	合計
	ＨＳＴ１	ＨＳＴ２	ＨＳＴ４	ＨＡＴ１			
削器		1					1
小型石刃状剥片	1						1
Ｕ剥片	3	3	1				7
剥片	2			1	3	1	7
合計	6	4	1	1	3	1	16

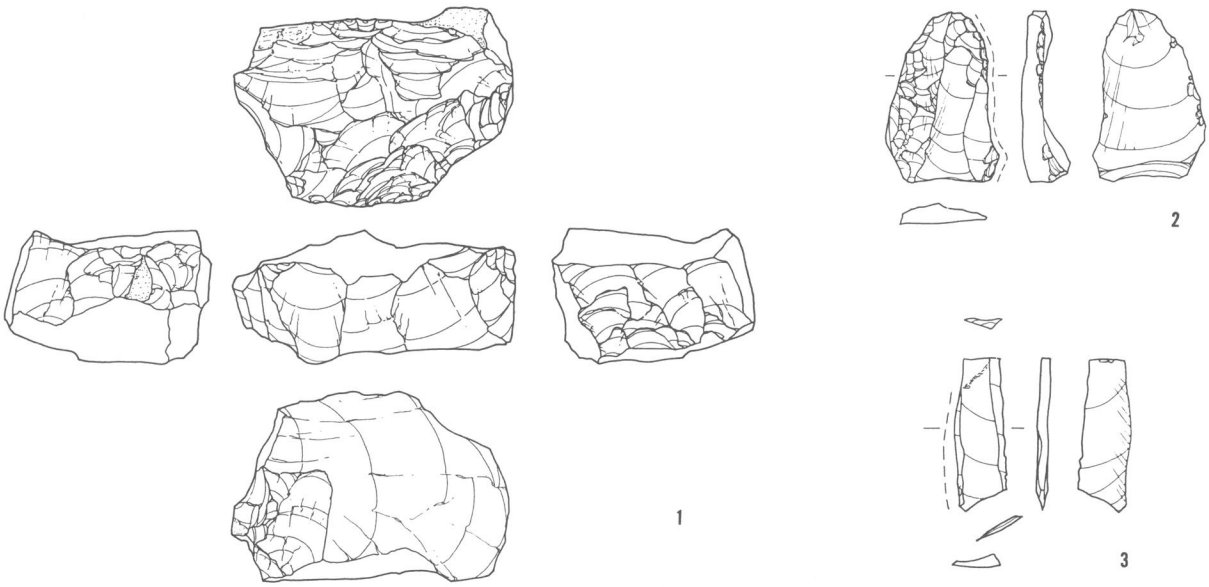
(11)　Kブロック（第89・90・91図）

N10とO10を中心として分布し、２基の散漫な分布の礫群を内包する。全体は、東側の帯状に広がる一群をＫ１ブロック、西側の広範囲に散漫な分布を示す一群をＫ２ブロックと、２つに分けることができる。Ｋ１ブロックの石材は頁岩を中心とし、剥片と掻器１点、楔形石器１点を含む。Ｋ２ブロックは畑宿産の黒耀石と頁岩から成り、頁岩の石核、畑宿産の黒耀石のナイフ形石器１点を含む。この２つのブロックの境界線付近には、星ヶ塔産の黒耀石のナイフ形石器が２点出土している。石器総点数は69点である。このブロックもまた、Iブロックと同様、在地系の石材の中に、星ヶ塔産の黒耀石が利器で搬入されていると考えることができる。

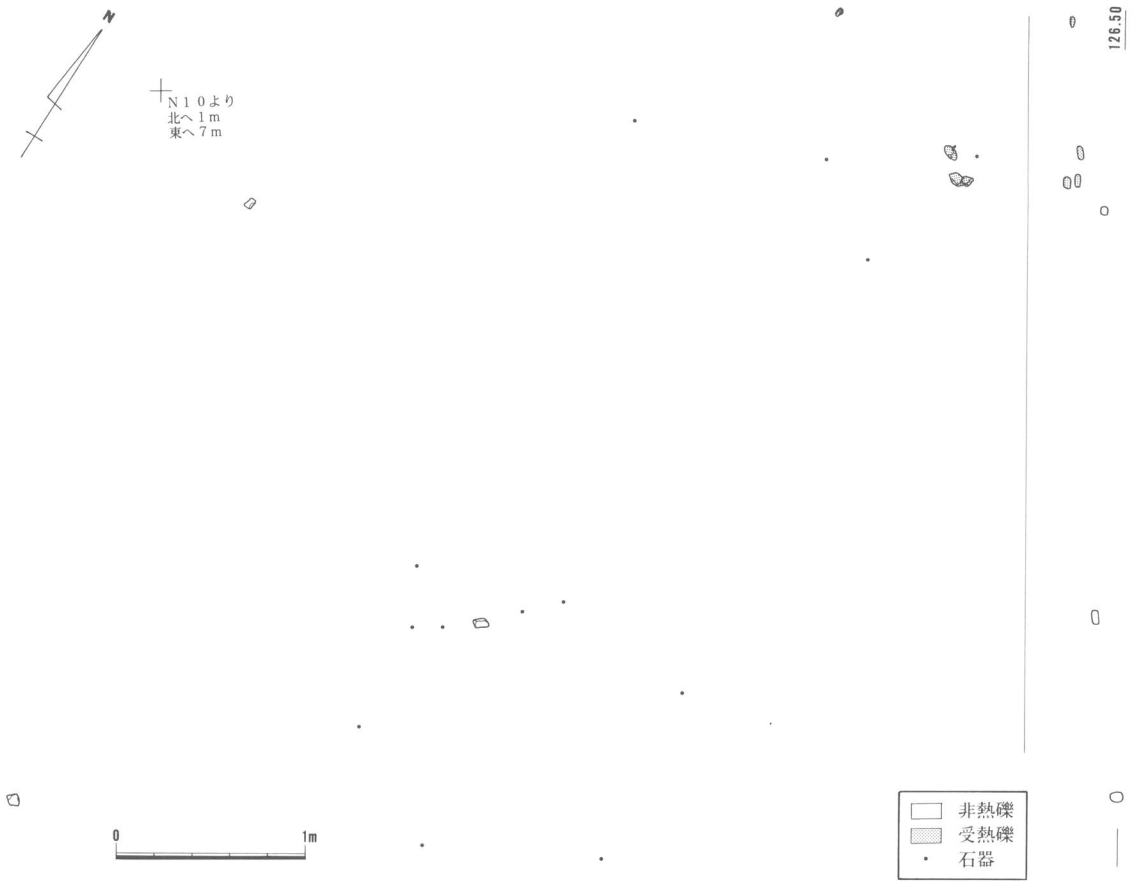
表28　Ｋブロック石器組成表

	頁岩	黒耀石				黒緻安山岩	合計
		ＨＳＴ１	ＨＳＴ２	ＨＳＴ３	ＨＡＴ１		
ナイフ	1		1	1	1		4
掻器	1						1
楔形石器	1						1
石刃状剥片	1						1
石核	2						2
Ｕ剥片		1	4		1		6
剥片	36		1		13	4	10
合計	42	1	6	1	15	4	69

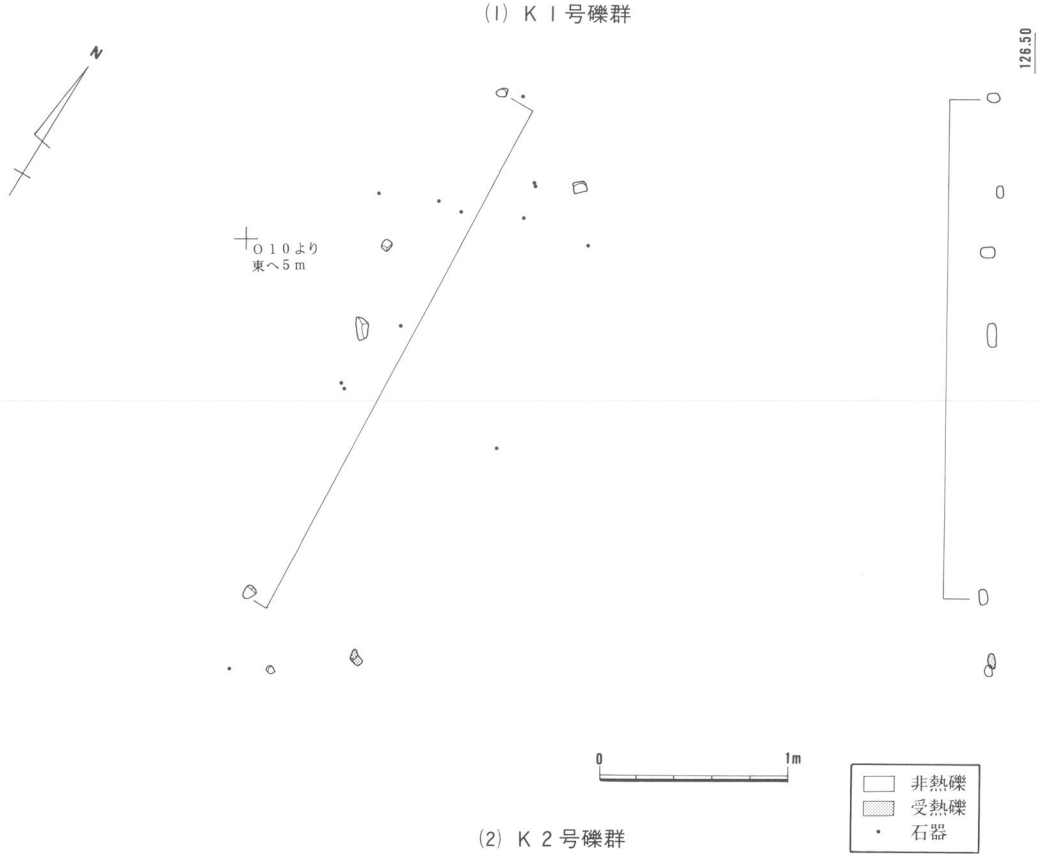




第88図　Ｊブロック個体別資料・石器器種別分布図（1／120）

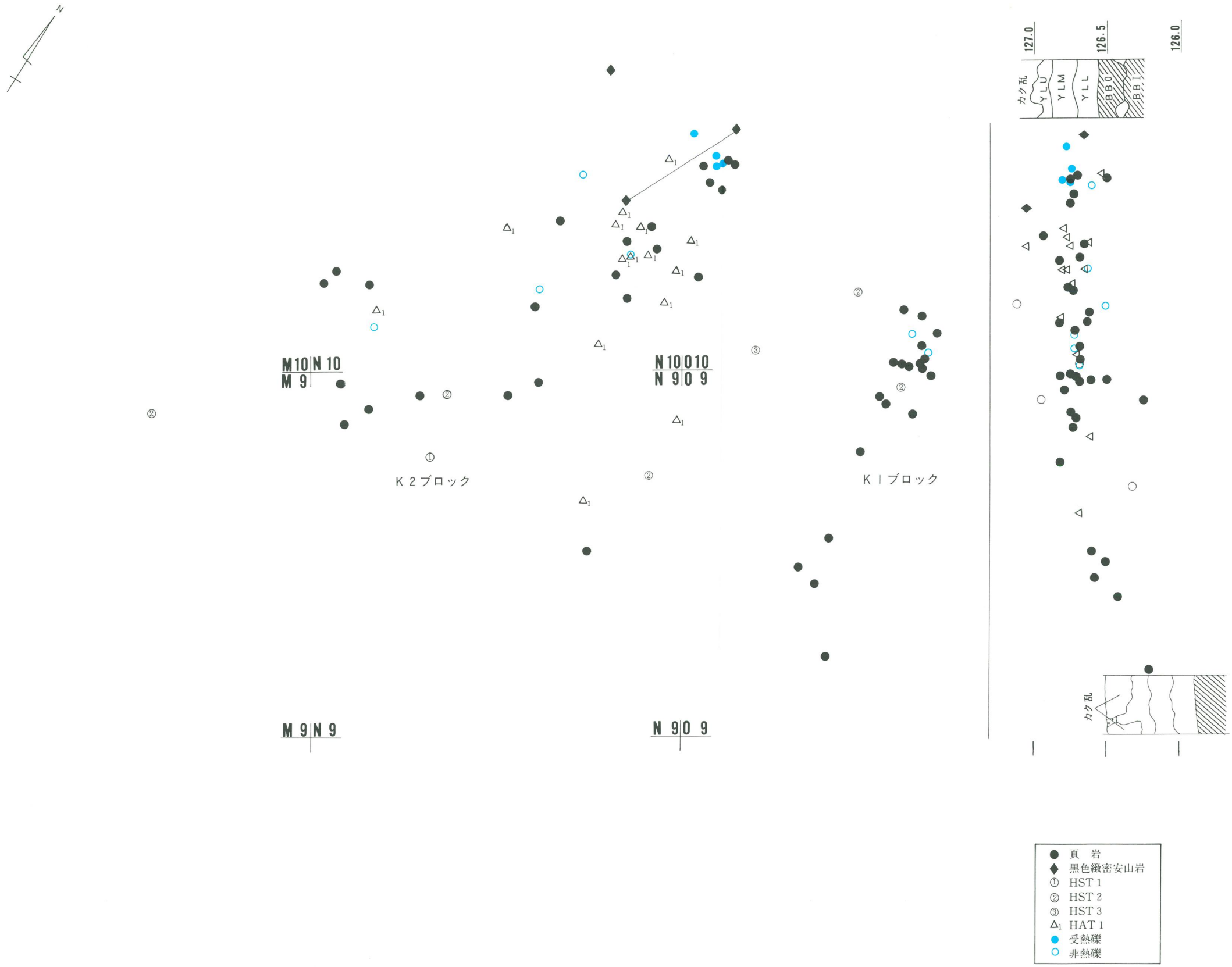


(1) K I 号礫群

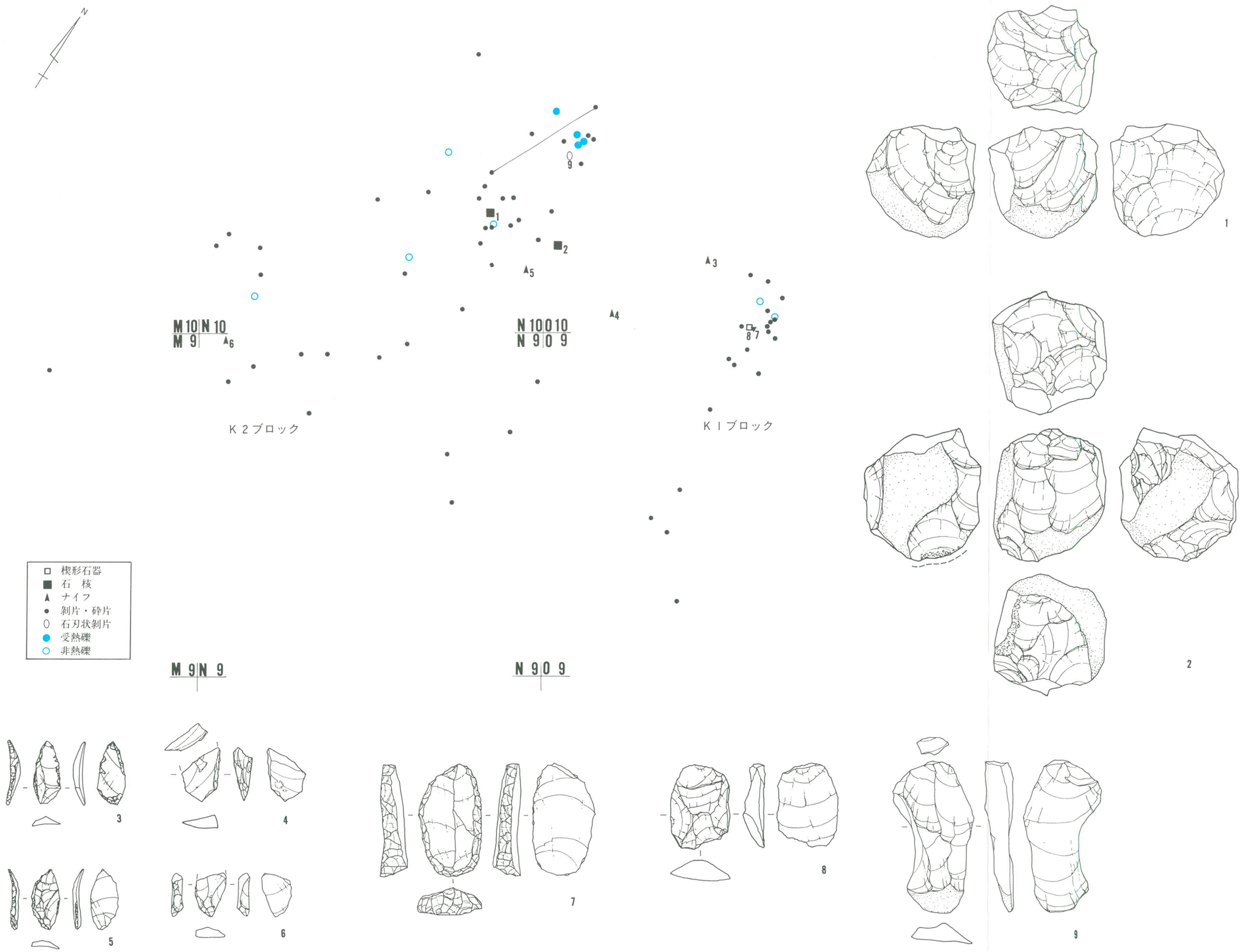


(2) K 2 号礫群

第89図　Kブロック礫群平面・垂直分布図（1／40）



第90図　Ｋブロック個体別資料分布図（1／120）



第91図　Kブロック石器器種別分布図（1／120）

(12)　Lブロック（第92図）

Ｎ６グリット周辺に散漫に分布する。ブロックと呼べるか疑問はあるが、石材は星ヶ塔産の黒耀石を中心とする。石器総点数は33点である。

表29　Ｌブロック石器組成表

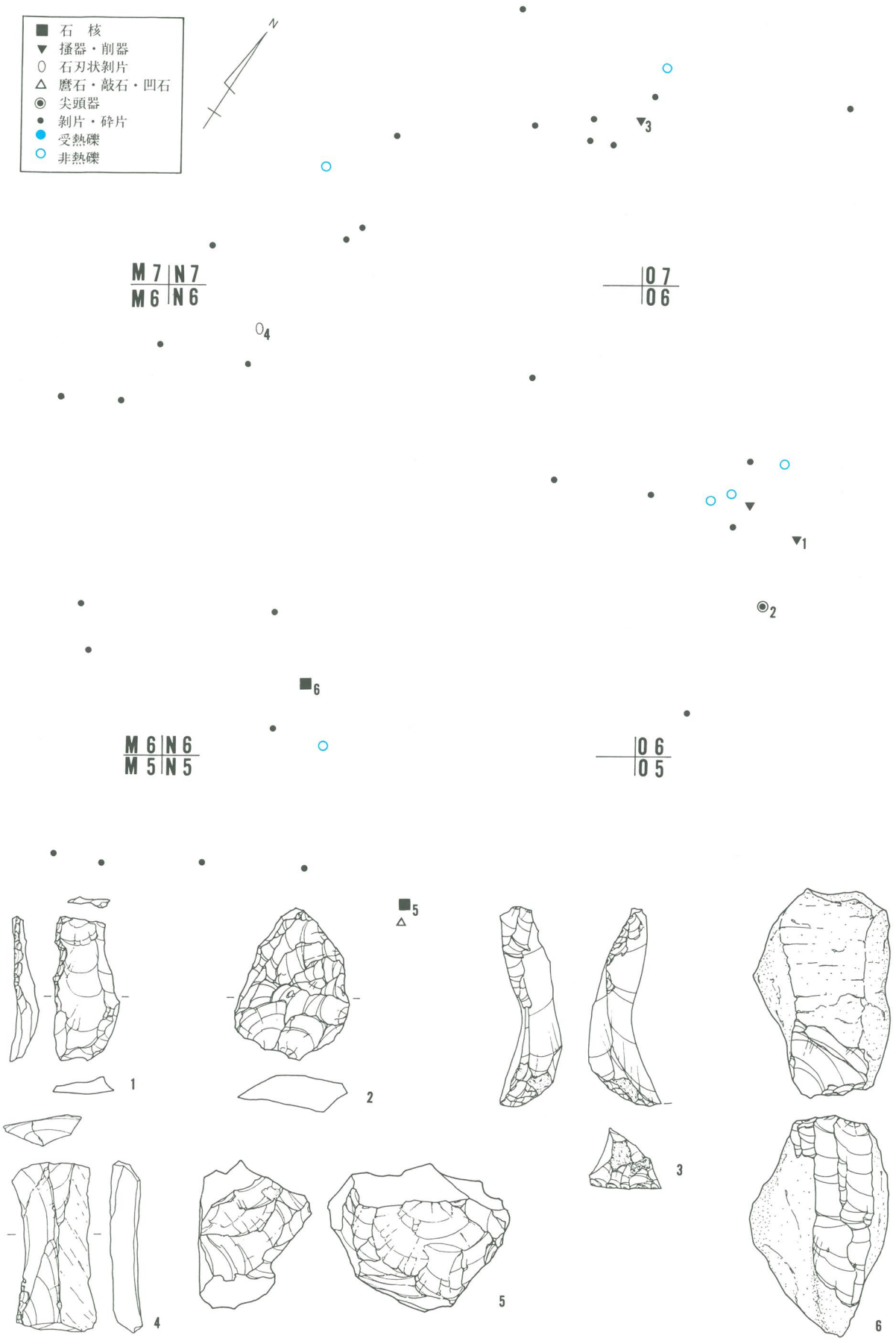
	黒耀石					黒緻安山岩	頁岩	安山岩	チャート	砂岩	合計
	ＨＳＴ２	ＨＳＴ３	ＫＡＳ１	ＫＡＳ２	ＷＡＤ６						
ナイフ					1						1
掻器	1										1
削器							1				1
石刃状剥片									1		1
石核			1			1					2
磨石								1			1
Ｕ剥片.砕片	5	2								1	8
剥片.砕片	5	6		1		4	2				18
合計	11	8	1	1	1	5	3	1	1	1	33

(13)　Mブロック（第93・94・95・96・97図）

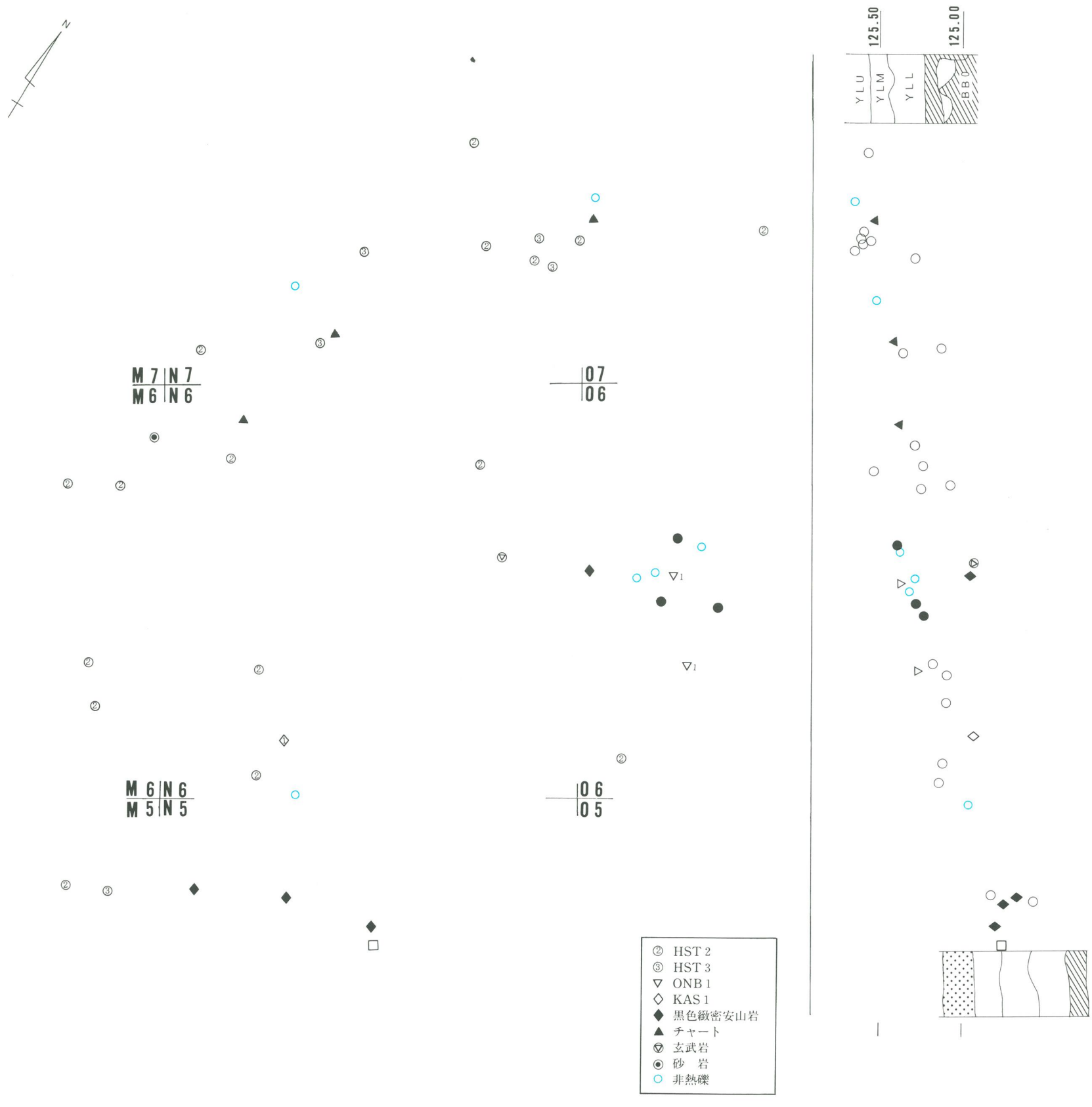
Ｌ６グリットに分布し、石材は星ヶ塔産の黒耀石が全体の約75％を占め、主体をなす。石器総点数は37点で、ナイフ形石器７点、掻器１点、削器１点を含み約50％が利器である。ブロック内には２基の礫群が含まれる。なお、ブロック中央にて倒木痕が観察された。このため、平面分布と垂直分布に、若干の影響がでたと考えられる。

表30　Mブロック石器組成表

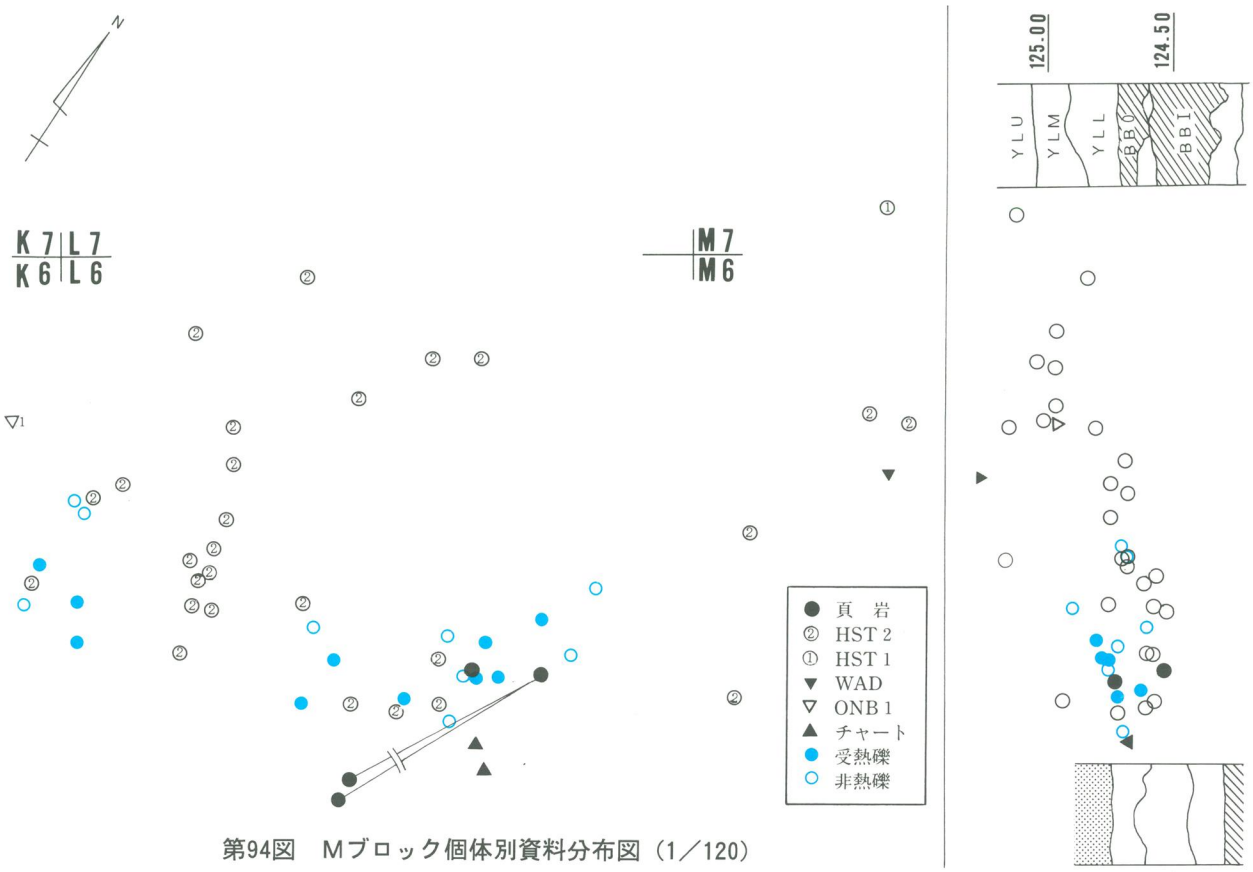
	黒耀石						頁岩	チャート	砂岩	合計
	ＨＳＴ１	ＨＳＴ２	ＨＡＴ２	ＷＡＤ１	ＯＮＢ１	ＯＮＢ				
ナイフ		5	1	1						7
掻器					1					1
削器		1								1
石核							1			1
Ｕ剥片	1	7					1			9
剥片.砕片		13				1	1	2	1	18
合計	1	26	1	1	1	1	3	2	1	37



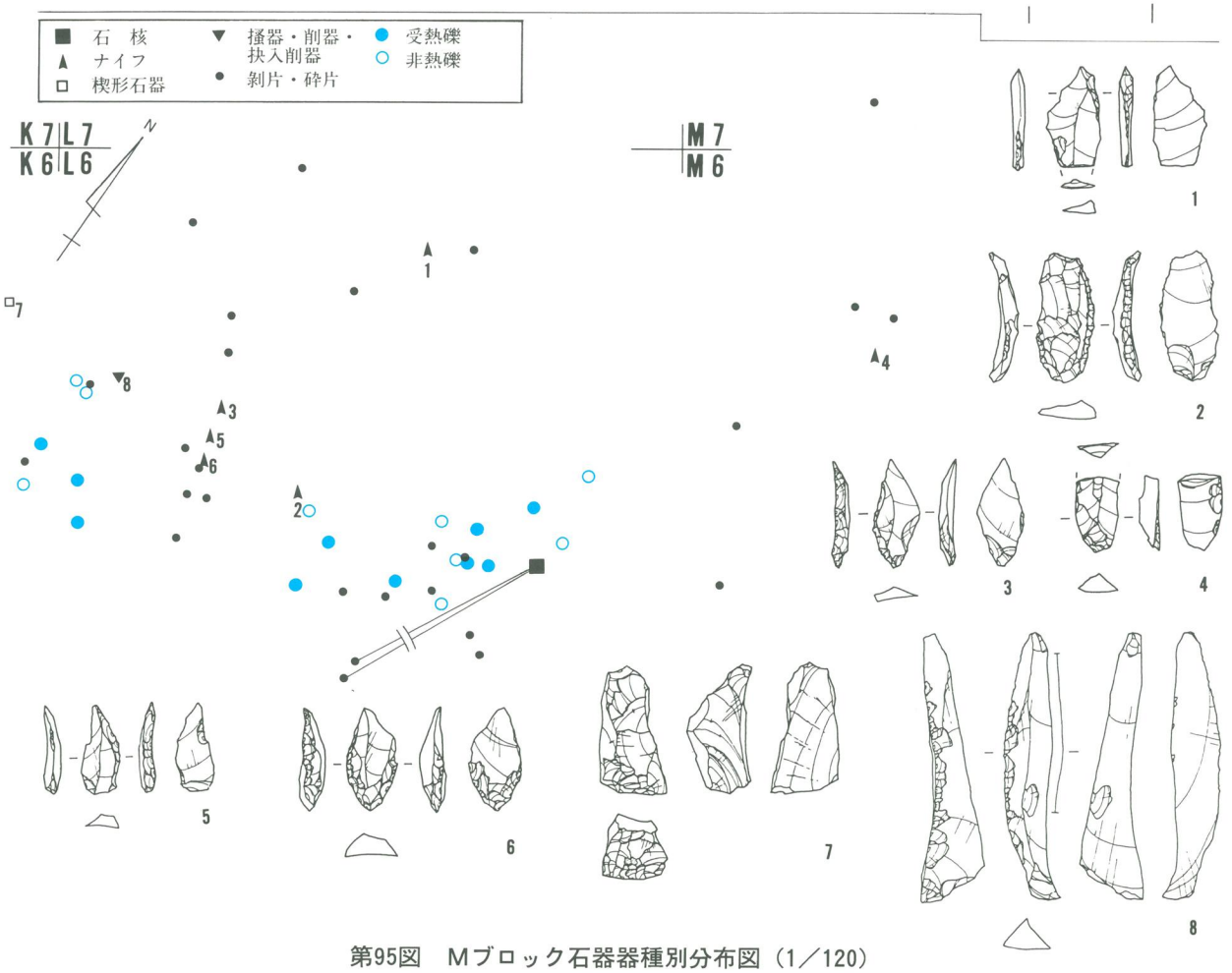
第92図　Ｌブロック石器器種別分布図（1／120）



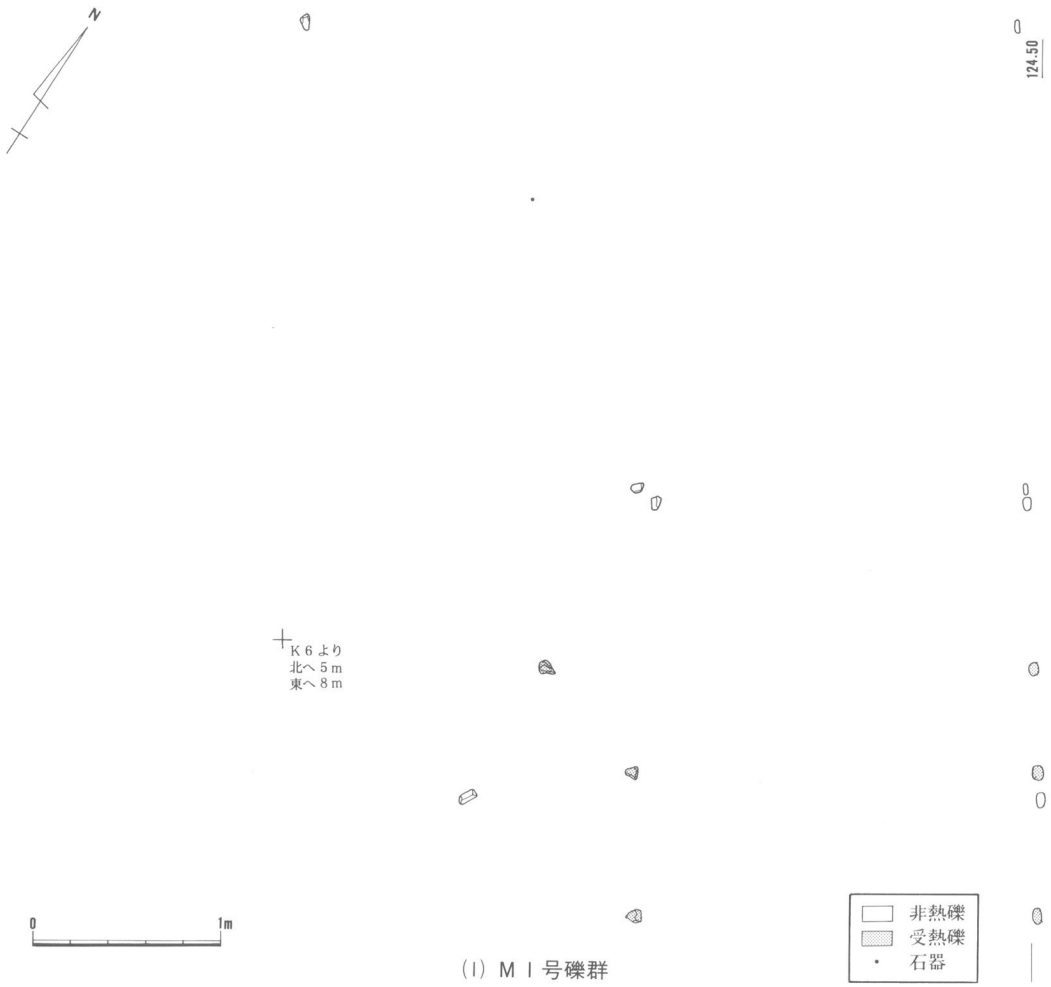
第93図　Ｌブロック個体別資料分布図（1／120）



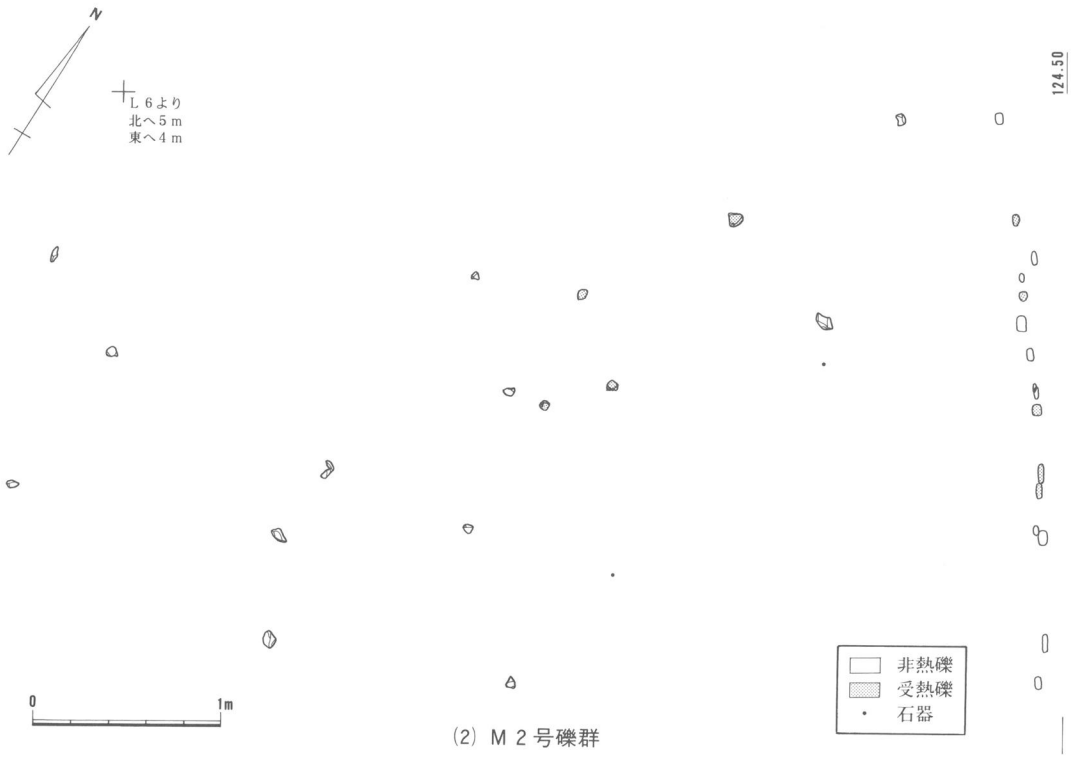
第94図　Mブロック個体別資料分布図（1／120）



第95図　Mブロック石器器種別分布図（1／120）

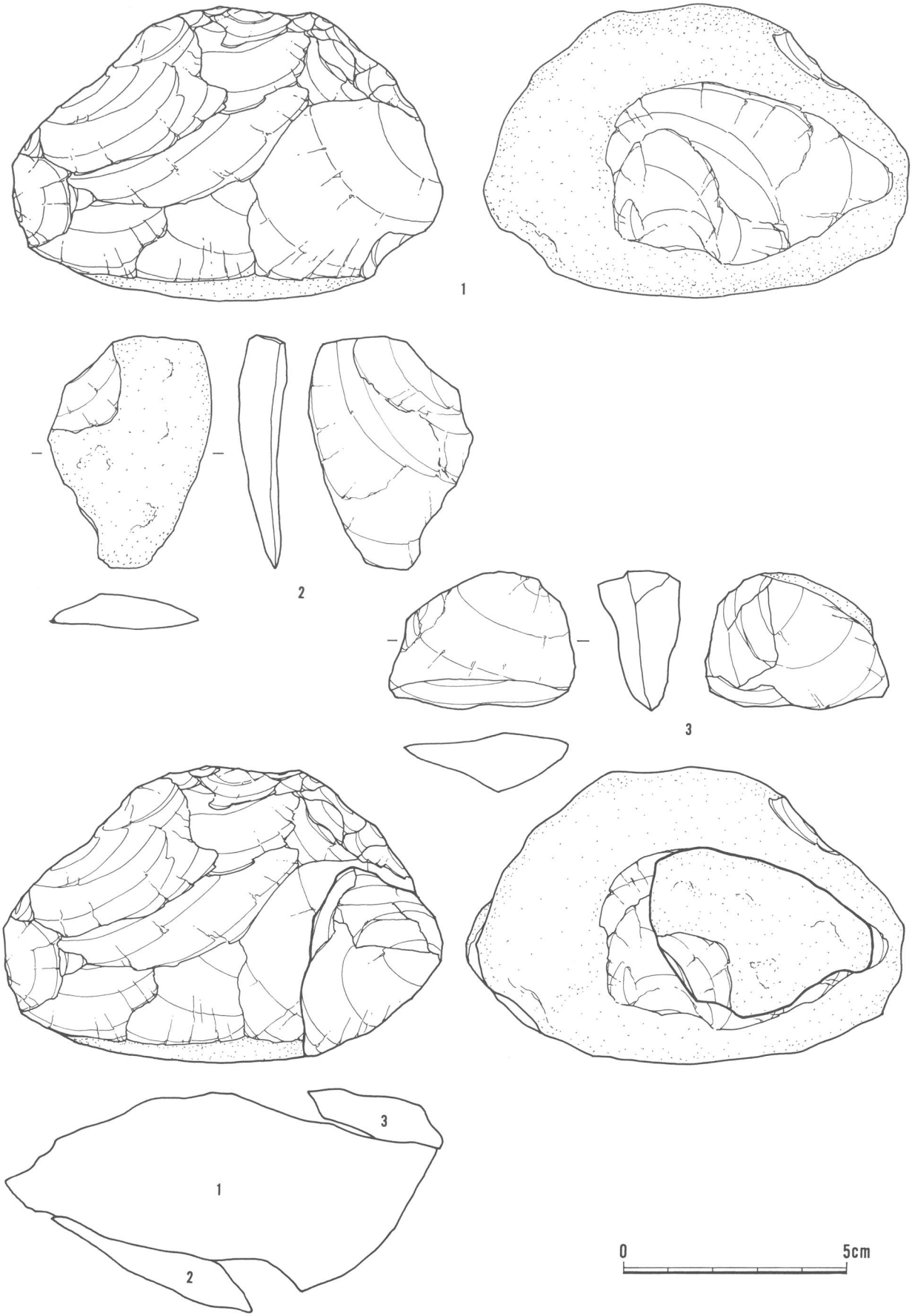


(1) M I 号礫群



(2) M 2 号礫群

第96図　Mブロック礫群平面・垂直分布図（1／40）



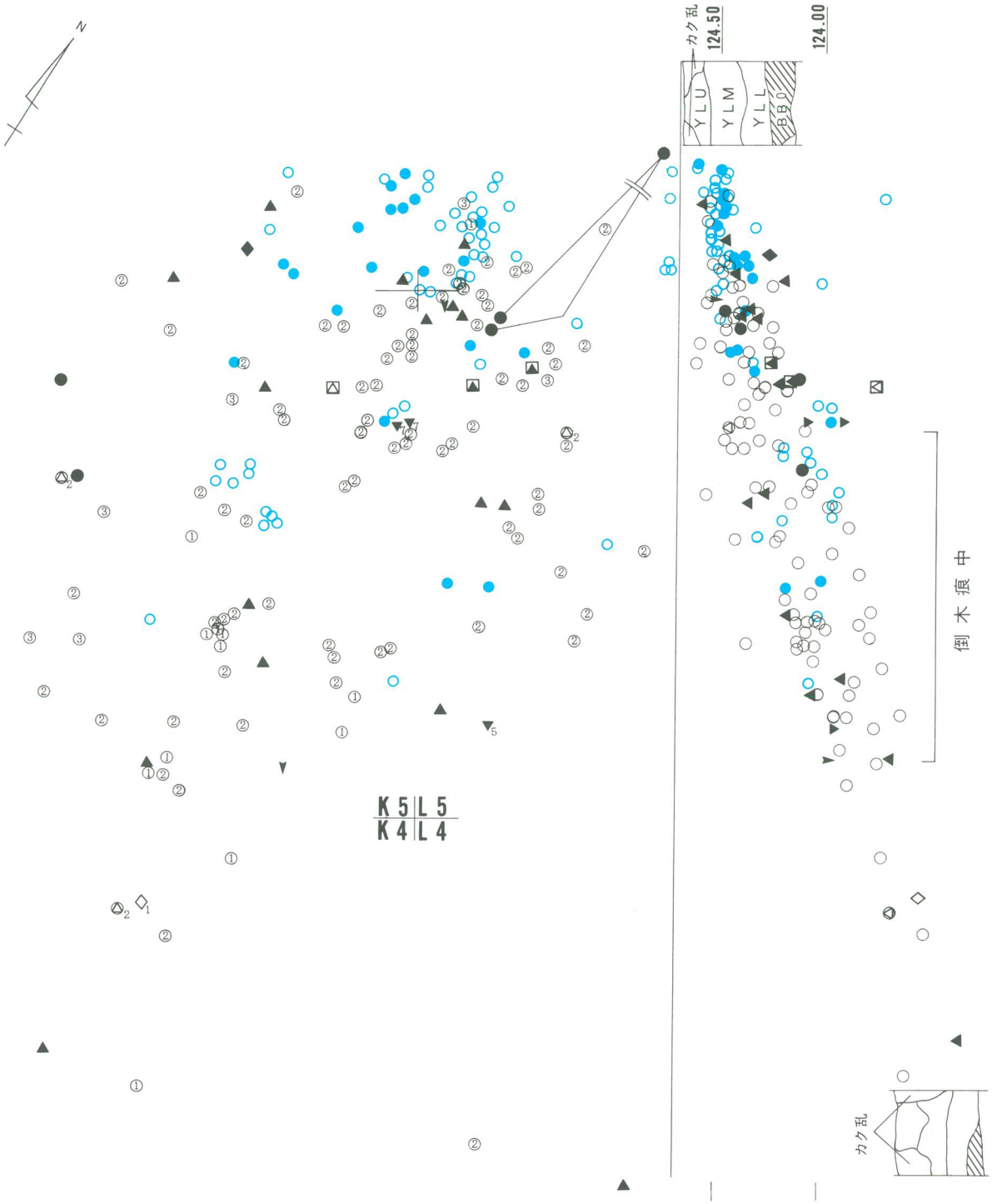
第97図　Mブロック石器接合資料（4／5）

(14)　**Nブロック**（第98・99・100・101図）

Ｋ５グリット付近に分布の中心がある。総石器数129点の最大のブロックで、石材は星ヶ塔産の黒耀石が全体の70％を占め、チャートも10％含まれる。ナイフ形石器９点は全て黒耀石製で、チャートは掻器等の加工具に６点が含まれる。頁岩は石核が１点あるのみである。また特徴的なのは、小型石刃状剥片の存在で、HST２の個体の７点が当ブロックで出土している。礫群は散漫な分布を示し、ブロック内に２基が含まれる。

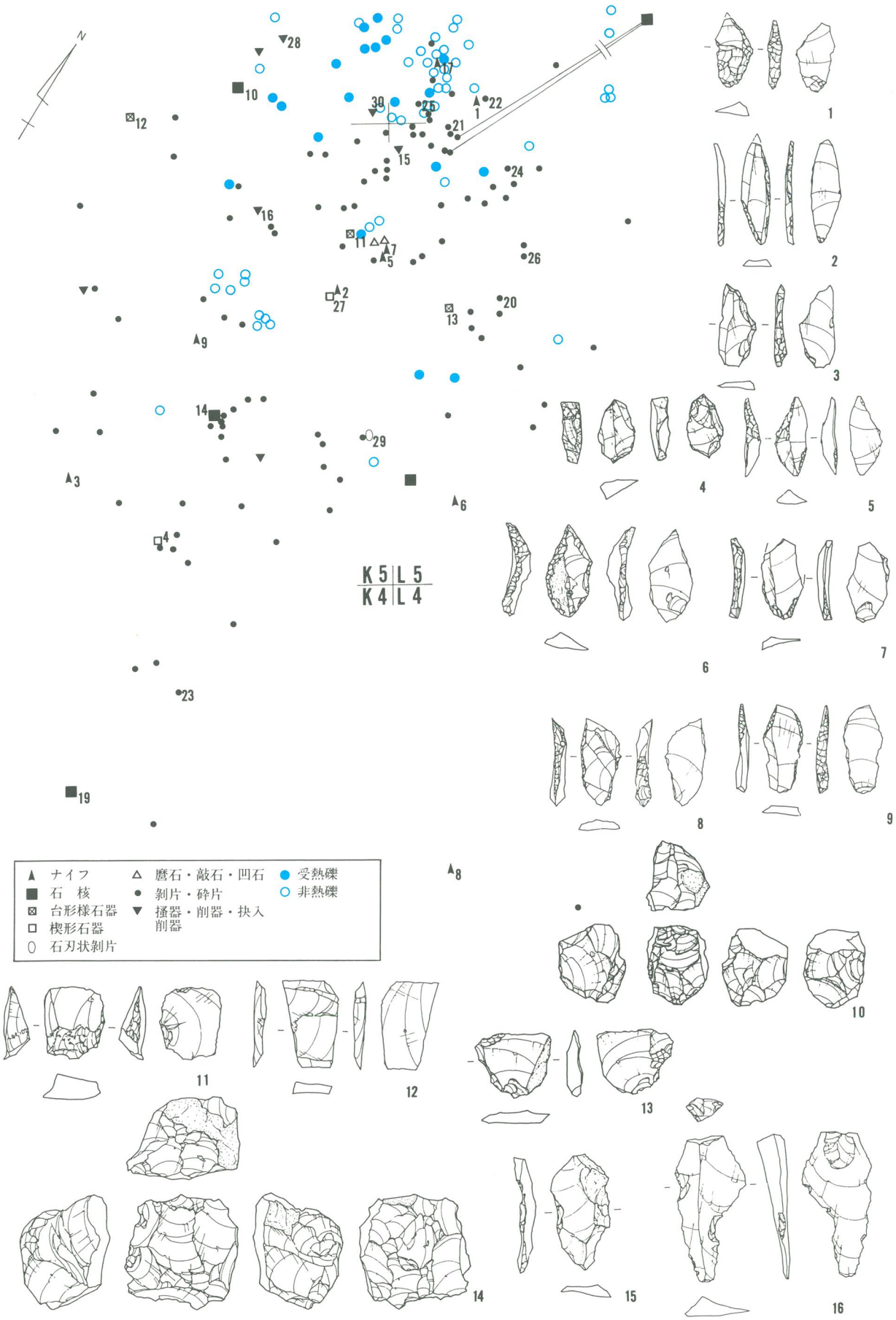
表31　Ｎブロック石器組成表

	黒耀石								チャート	頁岩	黒緻安山岩	安山岩	褐鉄鋼	鉄石英	合計
	ＨＳＴ1	ＨＳＴ2	ＨＳＴ3	ＨＳＴ	ＭＵＧ2	ＷＡＤ5	ＫＡＳ2	ＨＡＴ2							
ナイフ	2	6				1									9
台形様石器		2							1						3
掻器					1				1						2
抉入削器		1							3						4
楔形石器		1							1						2
石刃状剥片				1					1						2
石核								1	2	2	1				6
敲石.磨石												2			2
Ｕ剥片砕片	3	26	5		1		1								36
剥片.砕片	8	40	2		1			1	5	2	1		2	1	63
合計	13	76	1	1	3	1	1	2	14	4	2	2	2	1	129

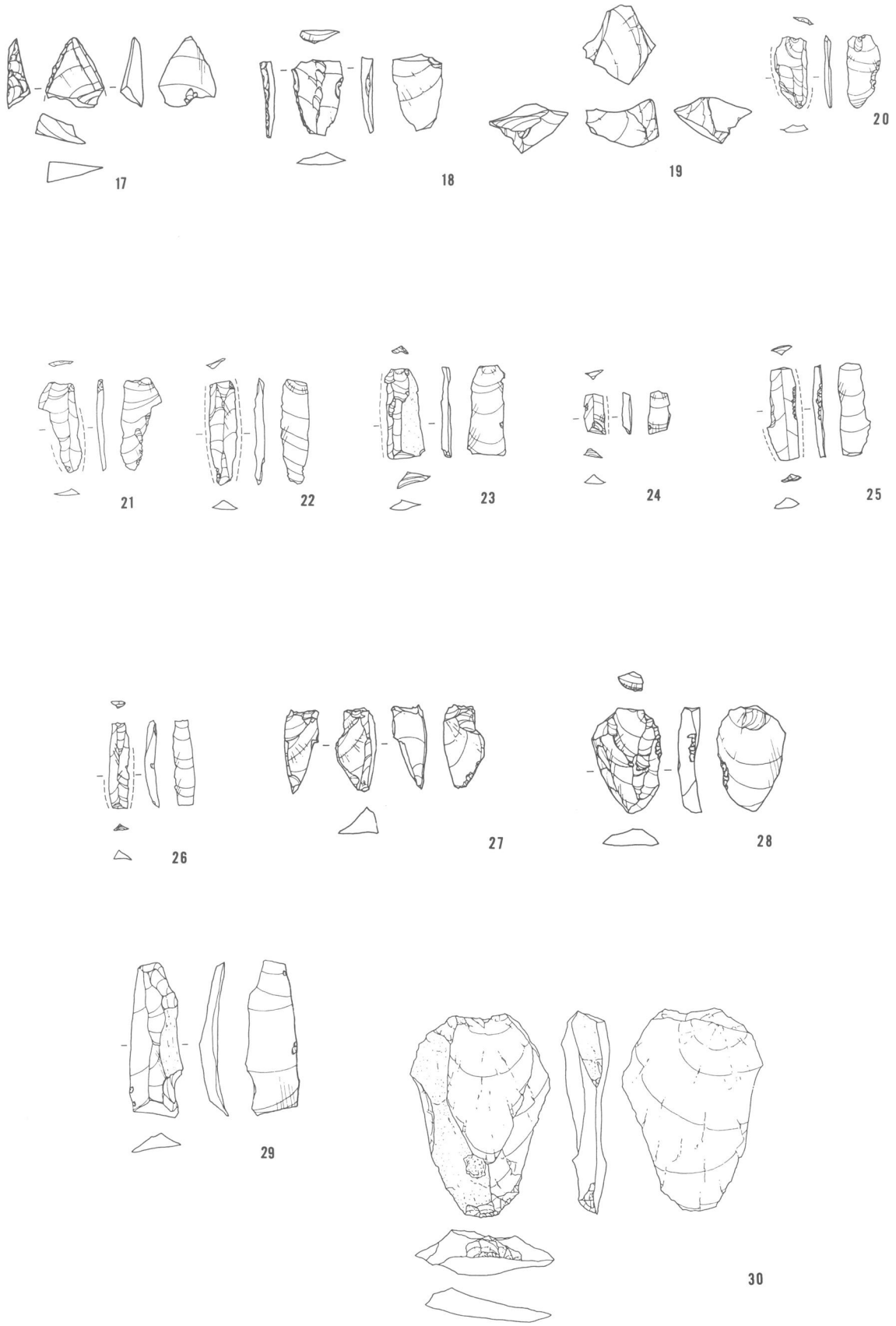


① HST 1　② HST 2　③ HST 3　▲ チャート　● 頁　岩
△2 MUG 2　▼ 鉄石英　▼7 WAD 7　▲ 褐鉄鋼　△ 流紋岩
◇1 KAS 1　◆ 黒色緻密安山岩　● 受熱礫　○ 非熱礫

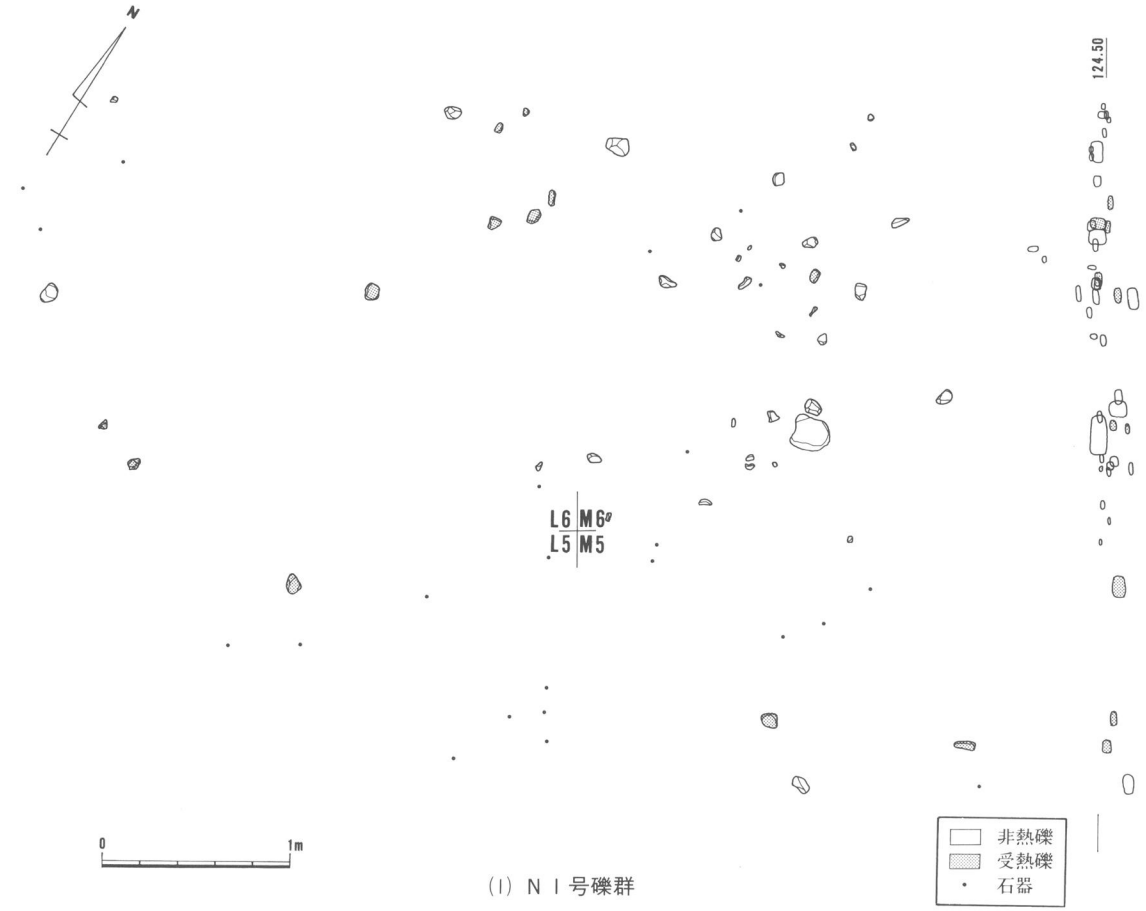
第98図　Nブロック個体別資料分布図（1／120）



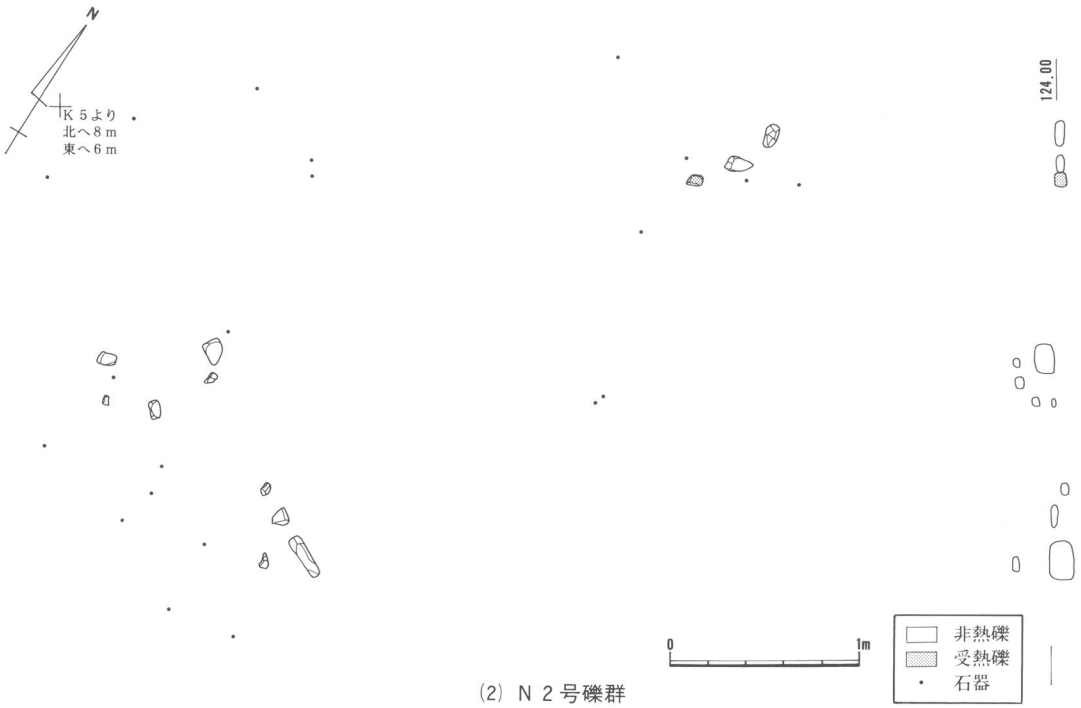
第99図　Nブロック石器器種別分布図1（1／120）



第100図　Nブロック石器器種別分布図２



(1) N 1 号礫群



(2) N 2 号礫群

第101図　Nブロック礫群平面・垂直分布図（1／40）

(15)　**Oブロック**（第102・103・104・105図）

Ｊ５グリットに分布の中心があり、石器総数74点で、石材は星ヶ塔産の黒耀石が、全体の約77％を占める。これはHST１という個体で、唯一接合関係が得られたものである。礫群は存在しない。このブロックの特徴として、Ｎブロックに見られた小型石刃状剥片が、同じ星ヶ塔産で個体を違えて見られること、そしてブロック内の和田峠産の黒耀石が全てナイフ形石器であることである。全体の約48％が利器である。

表32　Ｏブロック石器組成表

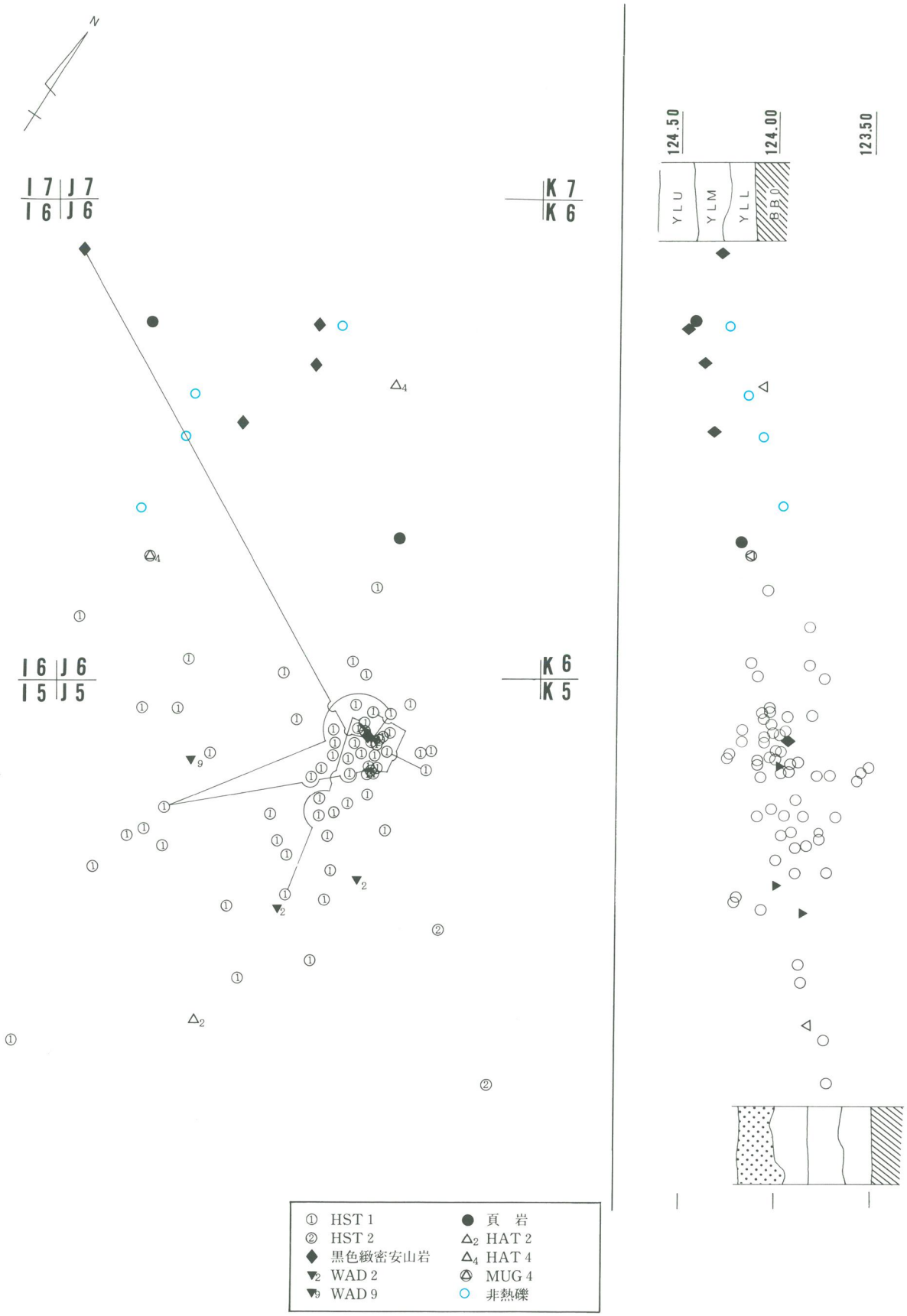
	黒耀石									黒緻安山岩	頁岩	合計
	ＨＳＴ１	ＨＳＴ２	ＨＡＴ２	ＨＡＴ４	ＷＡＤ２	ＷＡＤ４	ＷＡＤ９	ＭＵＧ４	測定不可能品			
ナイフ	3	1			2	1	1			3		11
掻器			1	1								2
Ｕ剥片.砕片	16							1				17
剥片.砕片	37								2	2	3	44
合計	56	1	1	1	2	1	1	1	2	5	3	74

(16)　**Pブロック**（第106・107・108図）

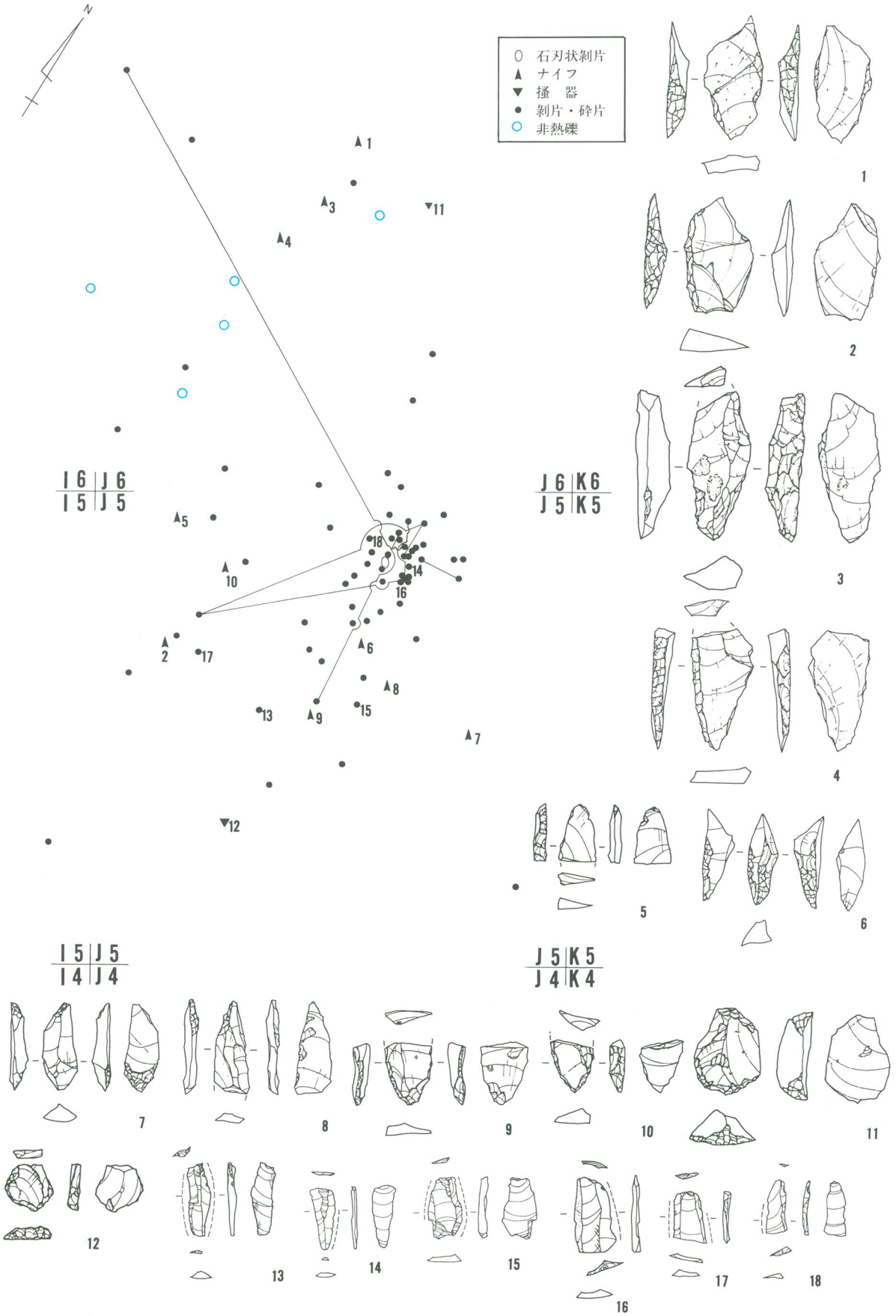
Ｇ５グリットに分布する。石器総点数は23点で、石材は黒耀石の比率が高く、産地は神津島のものを除いて全てがそろう。さらに、頁岩や黒色緻密安山岩などの在地系の石材は、石核や原石として存在する一方、黒耀石は、ナイフ形石器や加工具として存在する。全体に対する利器の割合は約48％、石核類の割合は約21％である。剥片や砕片はブロックのはずれに点在するが、剥片剥離した痕跡はなく、このブロックは他とは異なる性格を持つものと考えられる。

表33　Ｐブロック石器組成表

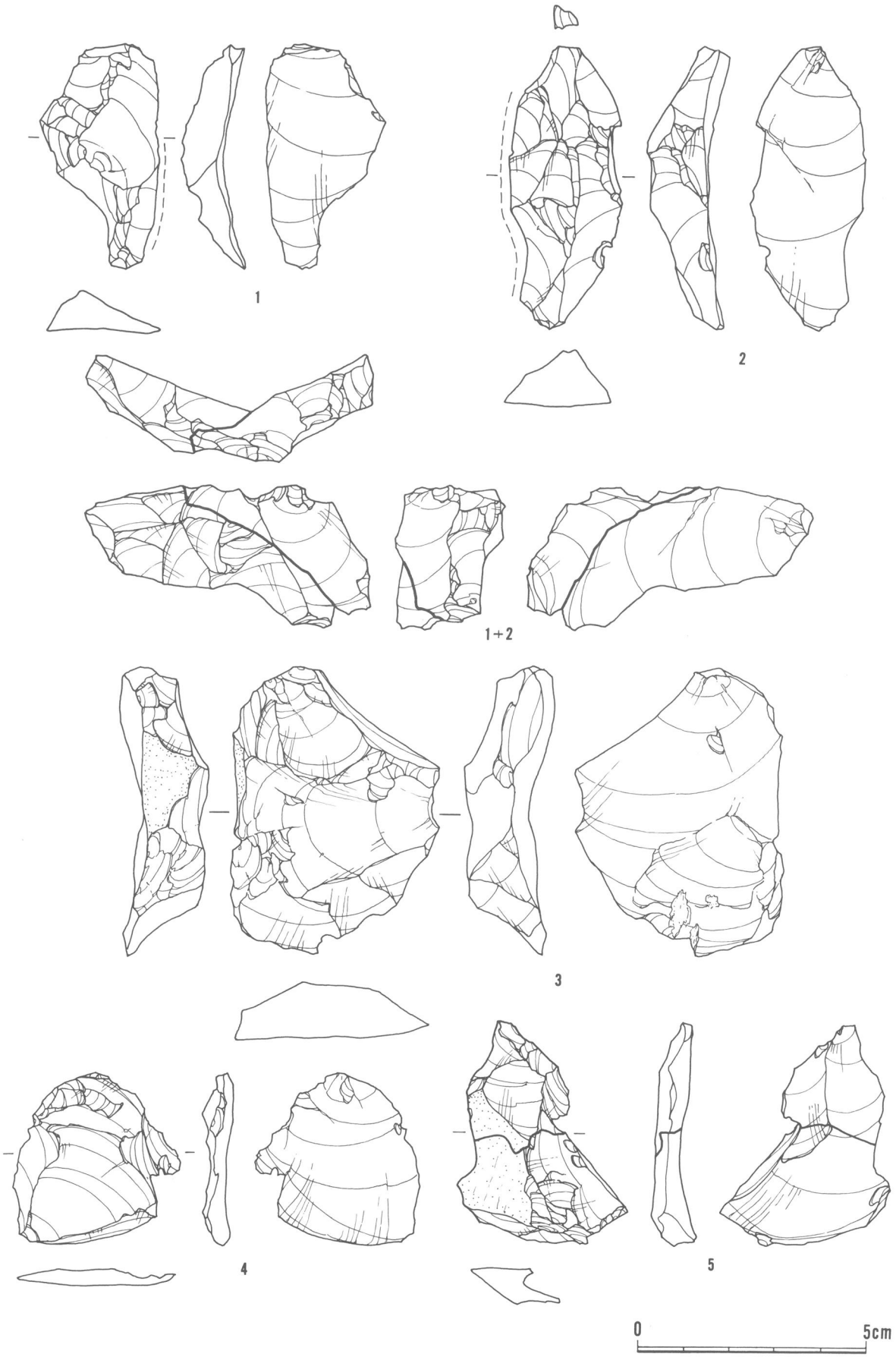
	黒耀石							黒緻安山岩	頁岩	安山岩	チャート	合計
	ＨＳＴ１	ＨＳＴ２	ＭＵＧ１	ＭＵＧ２	ＨＡＴ２	ＷＡＤ３	ＫＡＳ４					
石槍						1						1
ナイフ			3	1								4
削器					1							1
楔形石器		1					1					2
石刃状剥片		1										1
石核								3	1			4
原石								1				1
Ｕ剥片.砕片	1		1									2
剥片.砕片		1	2		1				1	1	1	7
合計	1	3	6	1	2	1	1	4	2	1	1	23



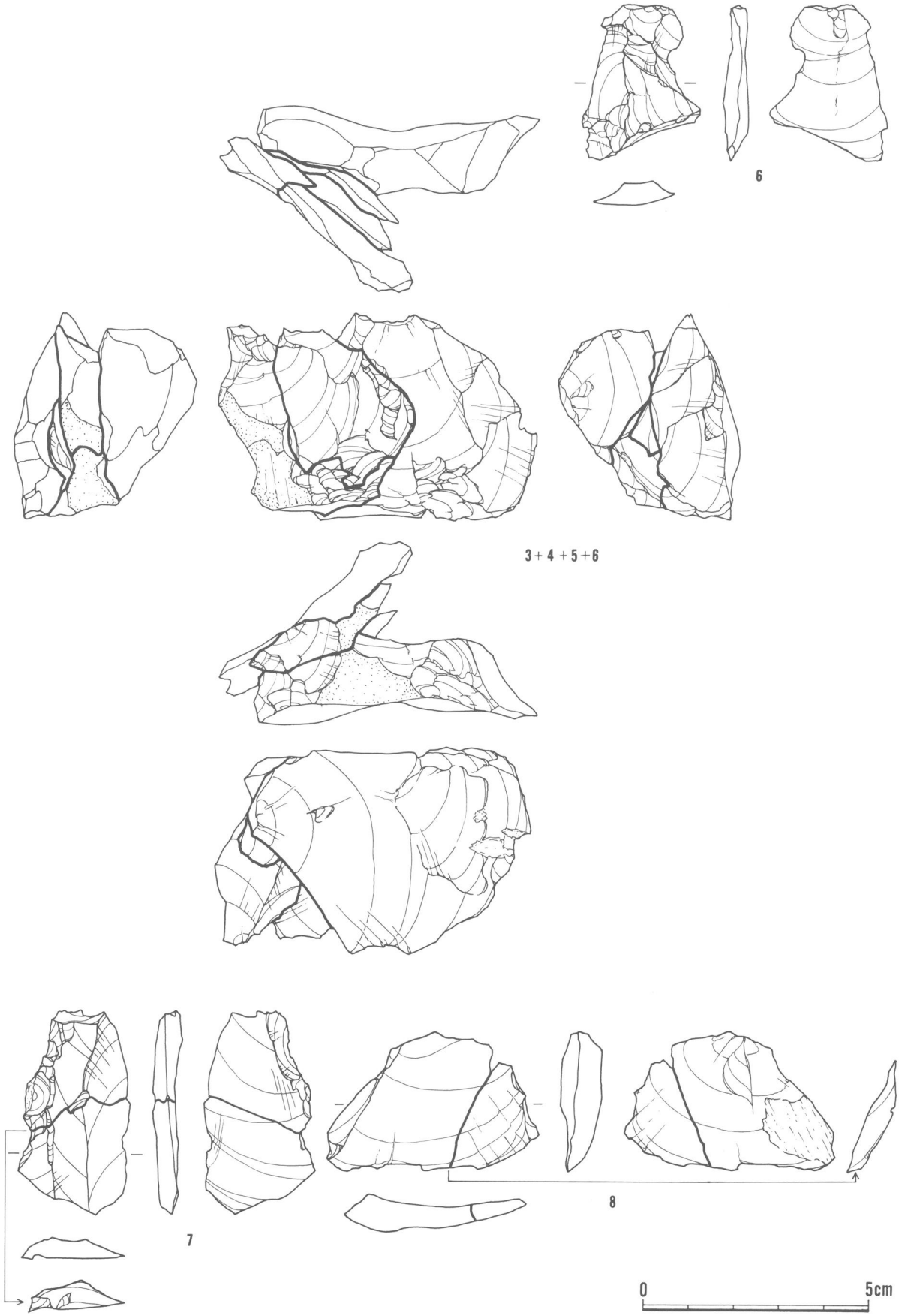
第102図　Oブロック個体別資料分布図（1／120）



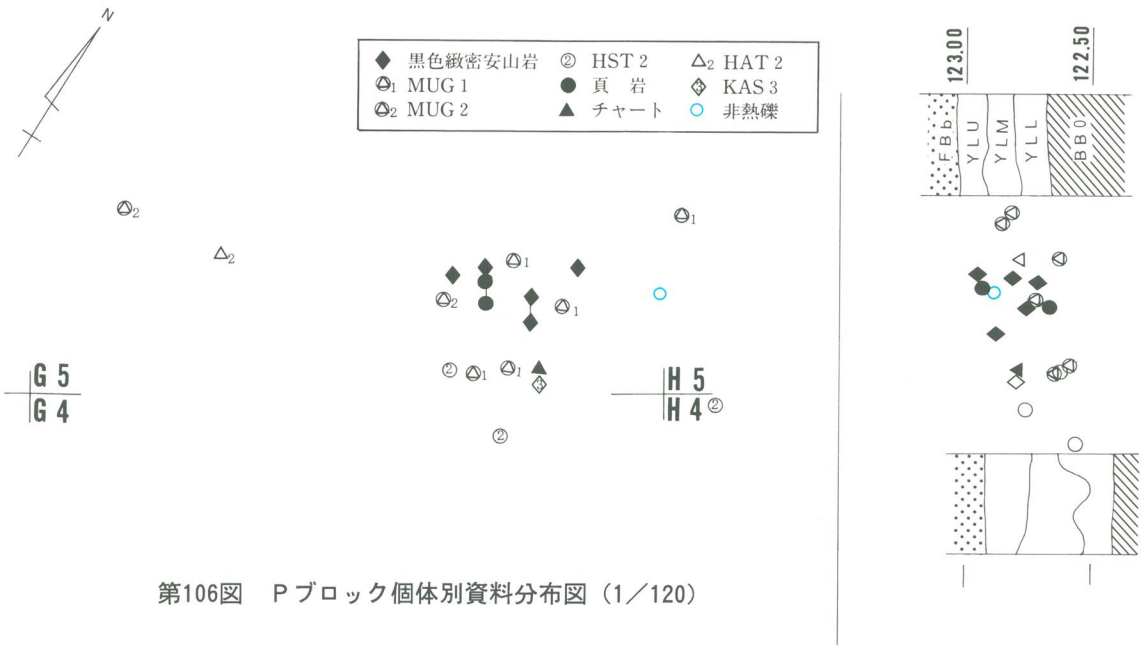
第103図　Oブロック石器器種別分布図（1／120）



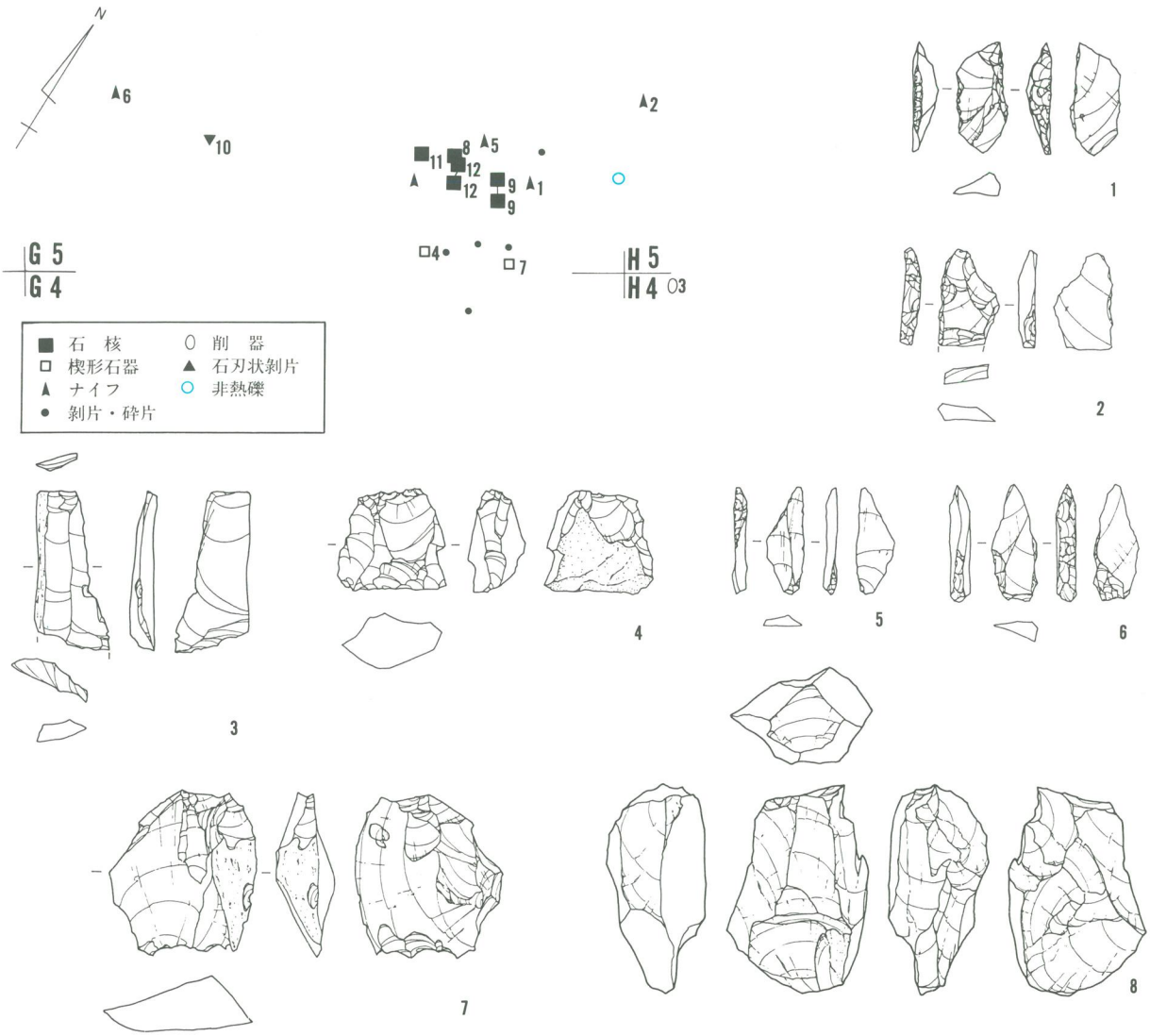
第104図　Oブロック石器接合資料1（4／5）



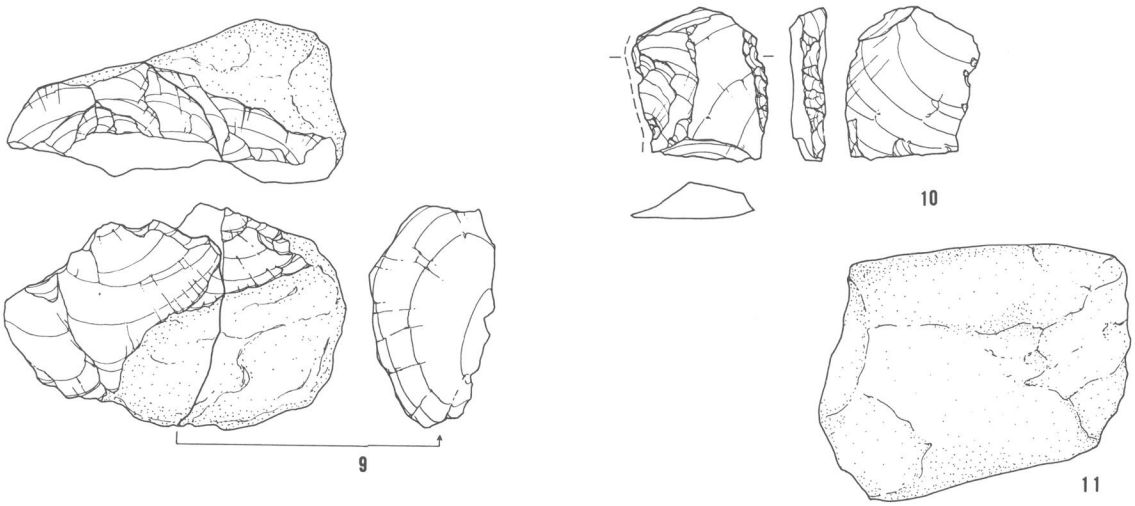
第105図　Oブロック石器接合資料２（4／5）



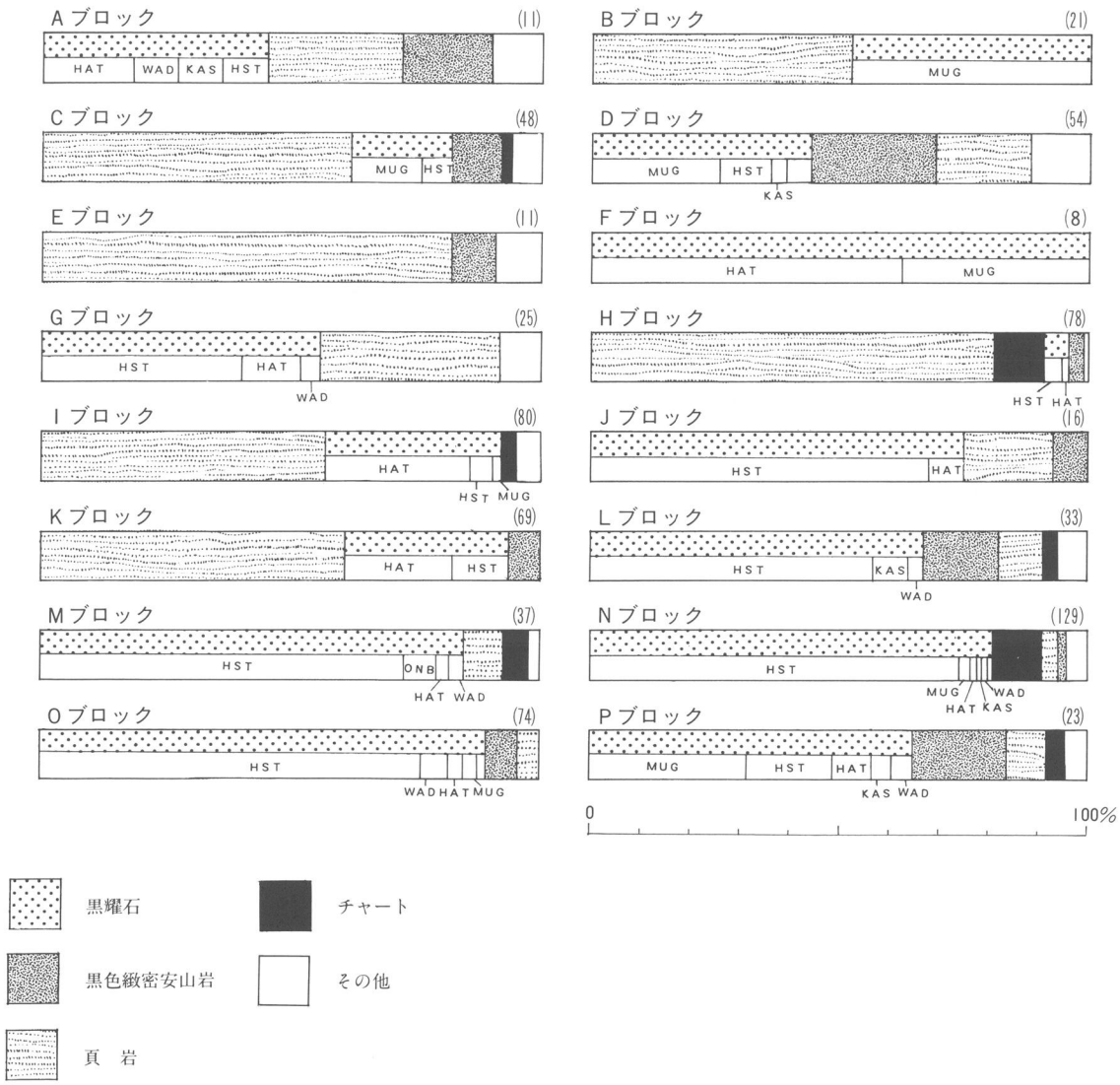
第106図　Pブロック個体別資料分布図（1／120）



第107図　Pブロック石器器種別分布図1（1／120）



第108図　Pブロック石器器種別分布図2



第109図　ブロック別石材組成図

各石器ブロックの概要は以上のとおりである。これらは保有する石器石材や、その器種組成によって、全体を4群に大別することができる。

Ⅰ群（A～Fブロック）

調査区の北西に位置する。黒色緻密安山岩と頁岩を主要な石材とし、麦草峠産の黒耀石が剥片、石器として持ち込まれている。

頁岩はブロック内で剥片剥離がおこなわれており、特に礫群の周辺で、石刃状剥片・剥片・砕片・石核、敲石の出土が目立つ。黒色緻密安山岩はDブロックに集中するが、楔形石器1点の他は全て剥片であり、剥片剥離もおこなわれていたと考えられるが、石核の出土はなかった。

黒耀石は、麦草峠産のものが集中するが剥片剥離をおこなった形跡はなく、剥片、あるいは石器として遺跡に持ち込まれたものと考えられる。またMUG1とMUG2のナイフ形石器は、Pブロックでも出土している。星ヶ塔産の黒耀石は、HST1とHST2がⅢ群で剥片剥離をおこなった痕跡があることから、Ⅲ群からの搬入品と考えることができる。

Ⅱ群（F～Kブロック）

調査区の北東に位置する。頁岩を主要な石材とし、畑宿産の黒耀石を有し、星ヶ塔産の黒耀石が剥片、石器として搬入されている。FブロックはHAT1の石核が出土しており、調査区のはずれにあたるがⅡ群とした。

表34　ブロック別個体別資料一覧表

	HAT1	HAT2	HAT3	HAT4	MUG1	MUG2	MUG3	MUG4	MUG5	MUG6	MUG7	ONB1	KAS1	KAS2	KAS4	HST1	HST2	HST3
A		2												1				
B					2	4	1	3										
C						3		4									1	2
D					1	4		7		1	1			1		3	3	
E																		
F	5					1		1	1									
G	3															2	3	5
H	1																2	1
I	21	2	1			1										1	3	
J	1															6	4	
K	15															1	6	1
L													1	1			11	8
M		1										1				1	26	
N		2				3								1		13	76	7
O		1		1												56	1	
P	2				6	1									1	1	3	

頁岩はH、I、Kブロック内で剥片剥離がおこなわれており、頁岩製のナイフ形石器4点、石刃状剥片11点、石核9点が出土している。

黒耀石は、HAT1がI、Kブロックにおいて剥片剥離作業がおこなわれた形跡があり、剥片・砕片の他は、ナイフ形石器が1点、使用痕のある剥片が9点出土しており、石核はFブロックにおいて出土している。星ヶ塔産の黒耀石はHST1、HST2、HST3が出土しており、石器（tool）の割合は約80%である。搬入品と考えられる。Ⅱ群はこの搬入品と考えられる星ヶ塔産の黒耀石以外は在地系の石材を使用している。

Ⅲ群（L～Oブロック）

調査区の南側に位置する。星ヶ塔産の黒耀石を主要な石材としており、特にHST1はOブロックで、HST2はM、Nブロックで剥片剥離作業がおこなわれたと考えられる。石器（tool）の割合はHST1が約36%、HST2が約50%である。

Ⅳ群（Pブロック）

調査区の西南に位置する。Pブロックは23点よりなる。内容は頁岩の石核2点、黒色緻密安産岩の石核1点・原石1点、麦草峠産の黒耀石製のナイフ形石器が4点である。種々の石材が集められていること、ブロックの中心部に石核とナイフ形石器が集中し、全体の70%が石器（tool）であることから、Ⅳ群として独立させた。

HST4	WAD1	WAD2	WAD3	WAD4	WAD5	WAD6	WAD8	WAD9	Ch3	Ch5	Ch6	Ch7	Ch9	Ch10	Ch13	Ch14	Ch15	Ch16
1								1										
													1					
							1											
											1	5			2			
												1						
1																		
						1												1
	1													1				1
					1					1						1	2	10
		2		1				1										
			1						1									

第２節　休場層直下黒色帯の遺構と遺物

概　要

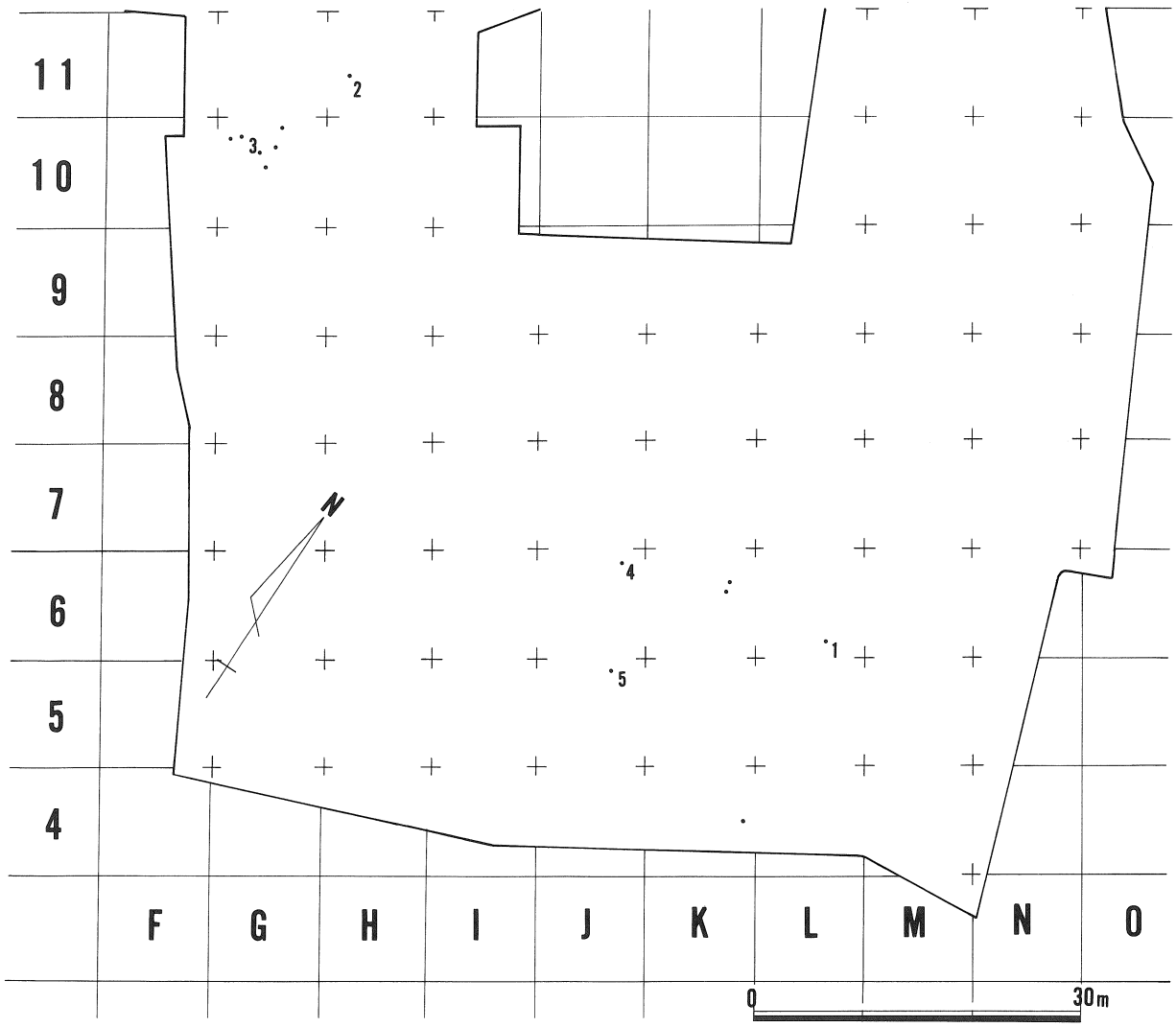
抉入削器１点、尖頭器状石器１点、石核１点、敲石の他に剥片９点が出土している。このうち敲石を含む６点がブロックを形成している。

石　器

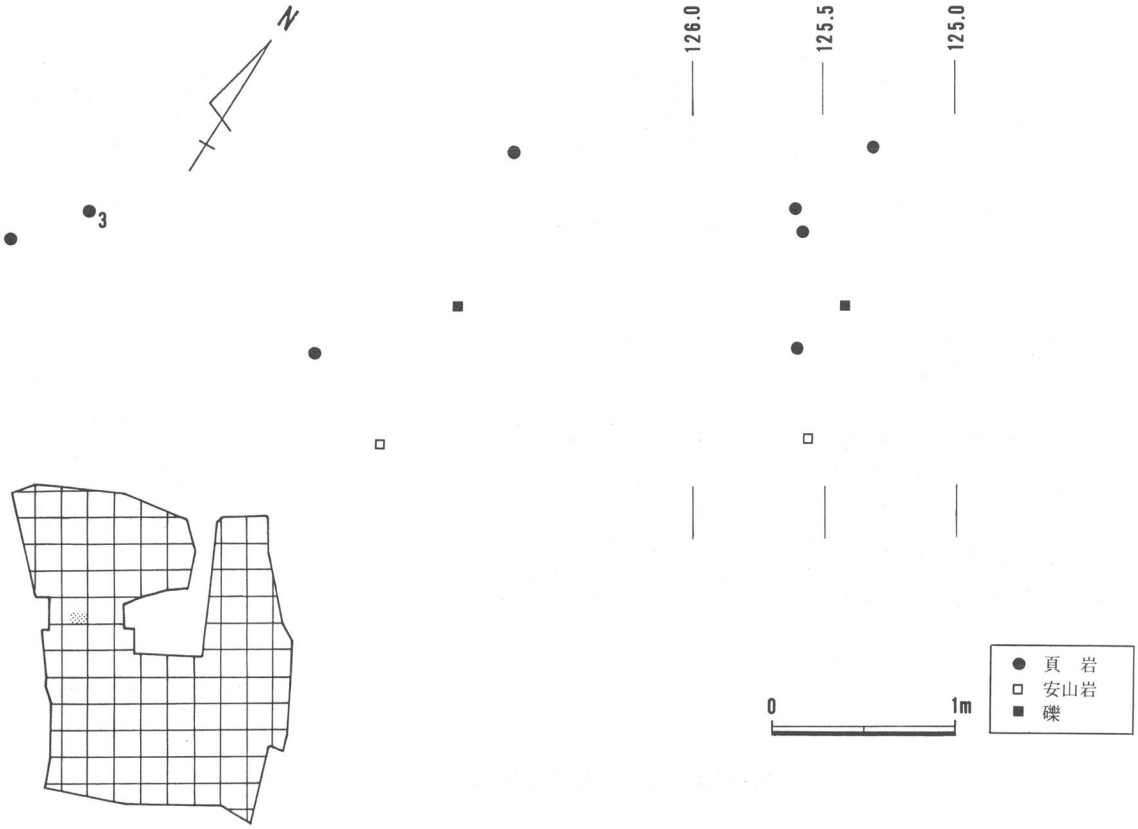
１は玉髄製の抉入削器で、剥片の一側縁に主要剥離面側から加工を施してノッチ部分を削出する。２はホルンフェルス製の尖頭器状の石器である。厚手の横長剥片を素材として、打面を取り去るように調整を加えることで全体を尖頭状に仕上げたものである。３は黒耀石製の残核である。打面を90度転換させることで剥片剥離をおこなう。４は黒耀石製の使用痕が観察される剥片である。

ブロック

G11グリットに広がりを持つ。安山岩製の敲石１点、頁岩製の剥片４点、鉄石英の剥片１点から構成される。接合関係はない。

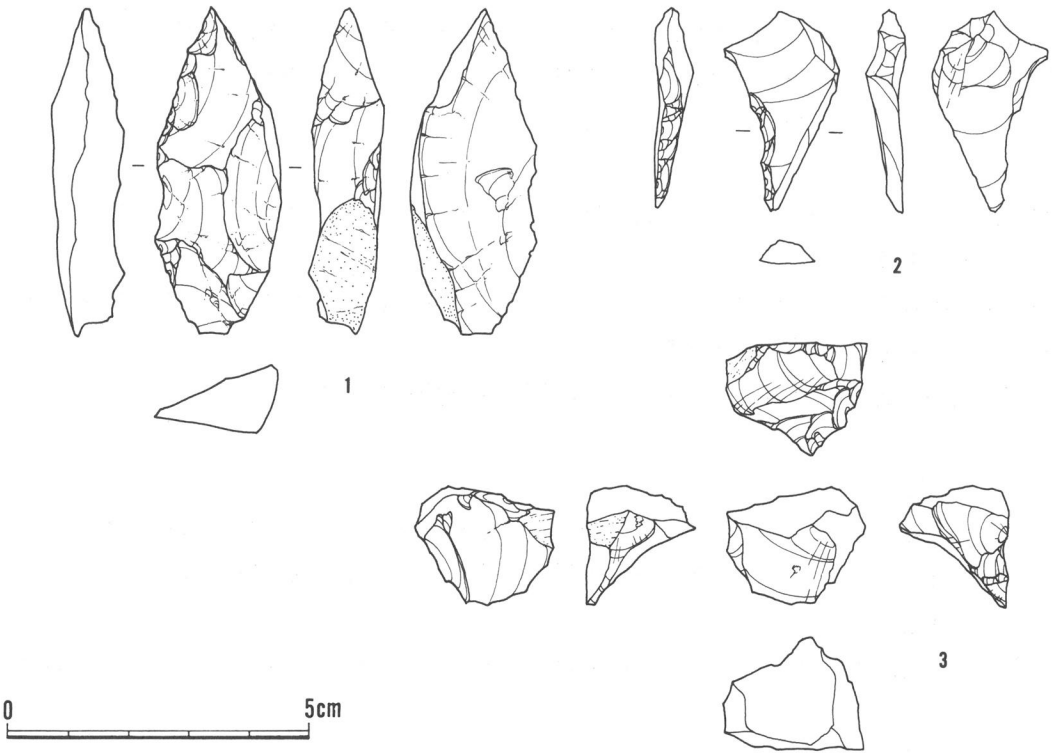


第110図　ＢＢ０層全体図

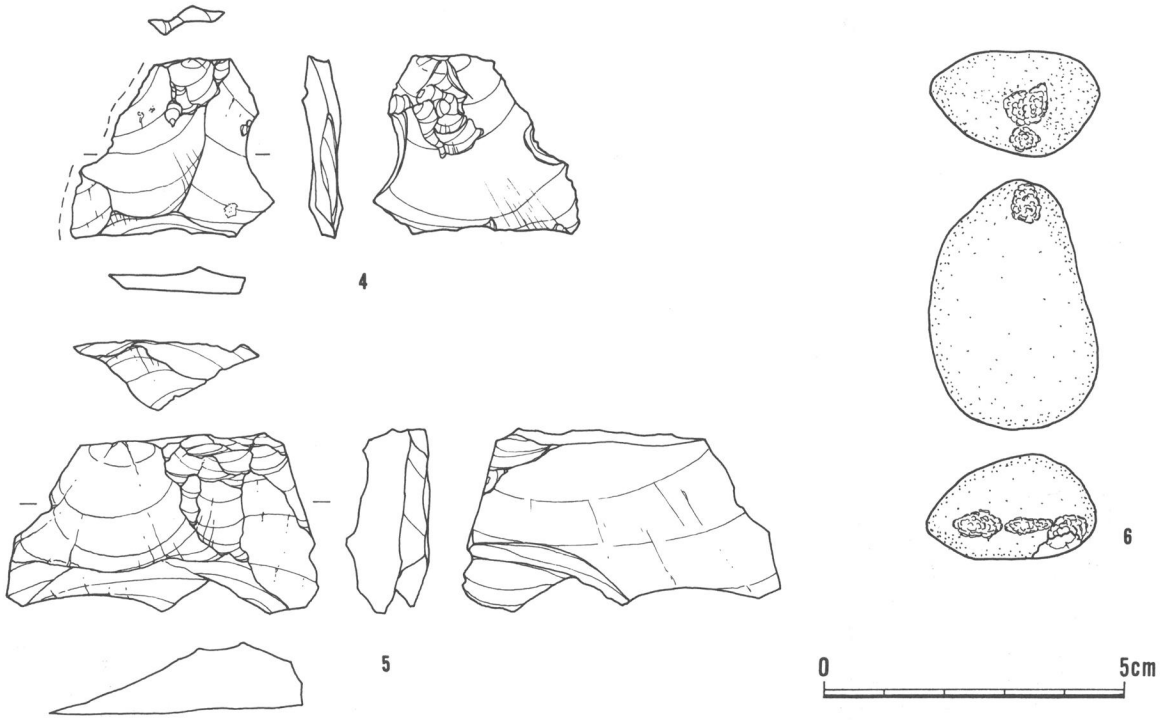


第111図　ＢＢ０層石器ブロック平面・垂直分布図（1／40）

G10
G11



第112図　ＢＢ０層石器実測図１（4／5）



第113図　ＢＢ０層石器実測図２（4／5）

第３節　第Ｉ黒色帯の遺構と遺物

概　要

ナイフ形石器２点、彫器１点、石核１点、磨石１点の他に25点の剥片と19点の砕片、計49点が出土している。これらは３箇所のブロックを形成する。遺物の出土は30㎝ほどの垂直幅をもって認められたが、出土点数のピークはBBＩ層中位にある。

石　器

１は黒耀石製のナイフ形石器である。縦長の分厚い剥片の一側縁に鋸歯状の急斜な角度のブランティングを加えたものである。

３は黒耀石製の縦長の剥片を素材とした彫器で、バルブを取り除くようにブランティングを施し、そこを打面として３条の彫刻刀面を削出する。

４は頁岩製の石核である。上面の打面より縦長の剥片を剥離している。

ブロック

Aブロック（第115図）

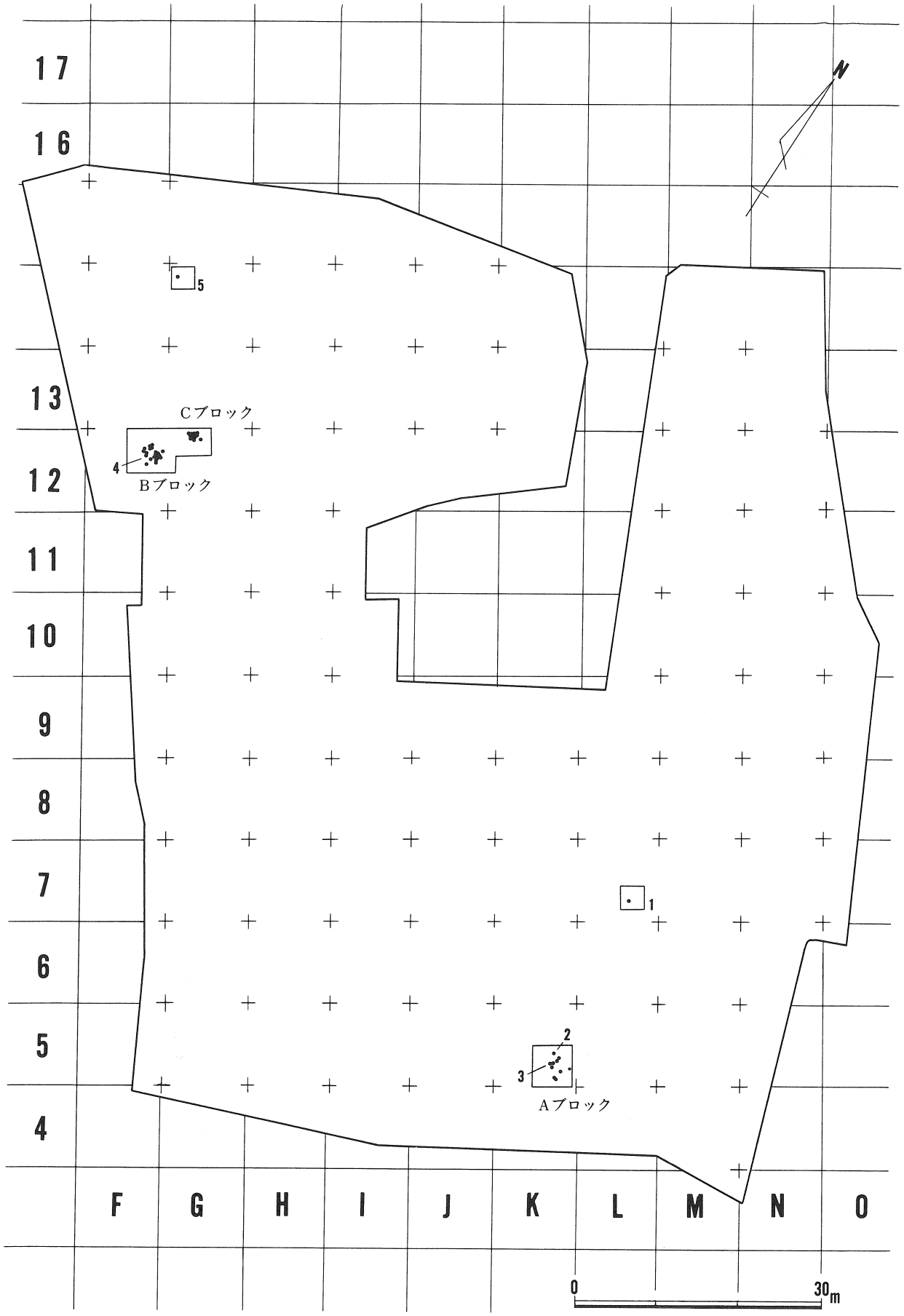
Ｋ５グリット付近に広がりをみせる。全体的に散漫な分布を示し、ナイフ形石器、彫器、磨石、剥片、砕片から成る。ナイフ形石器と彫器は星ヶ塔産の黒耀石である。接合関係はない。

Bブロック（第116図）

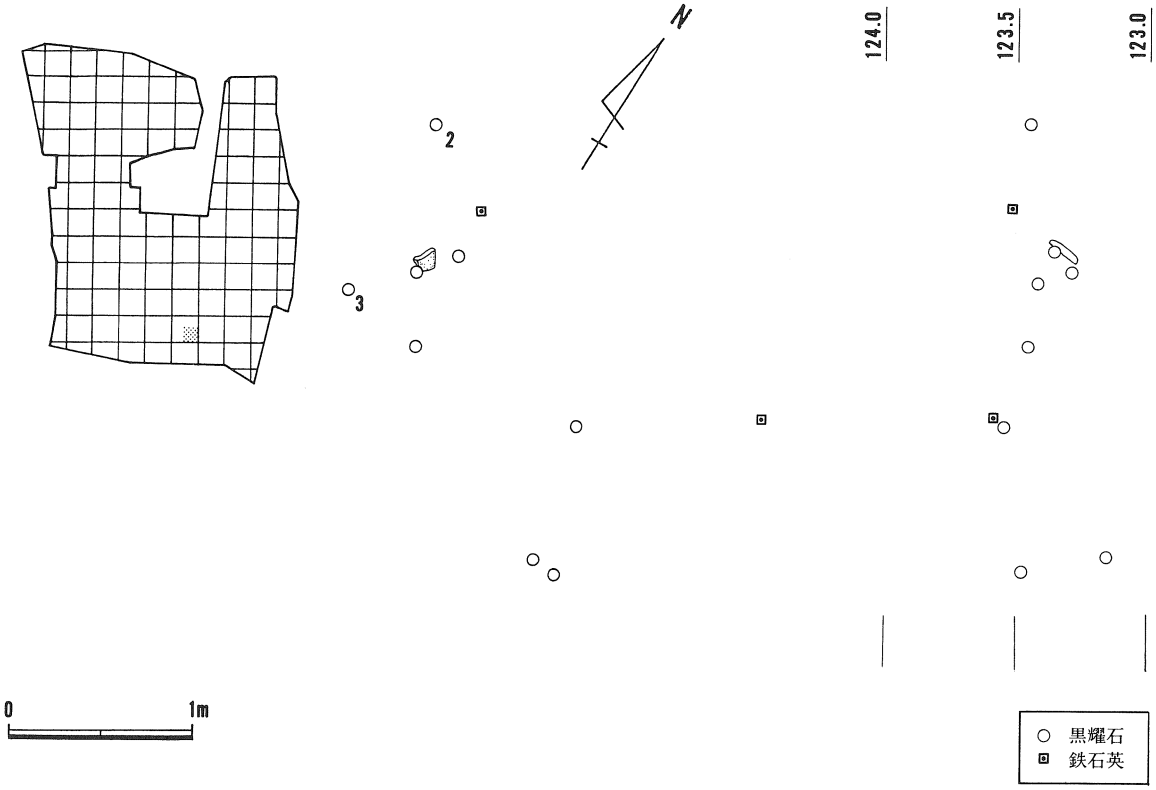
F12グリット付近に広がりをみせる。頁岩製の剥片・砕片と石核１点からなる。接合関係は見られなかった。

Cブロック（第117図）

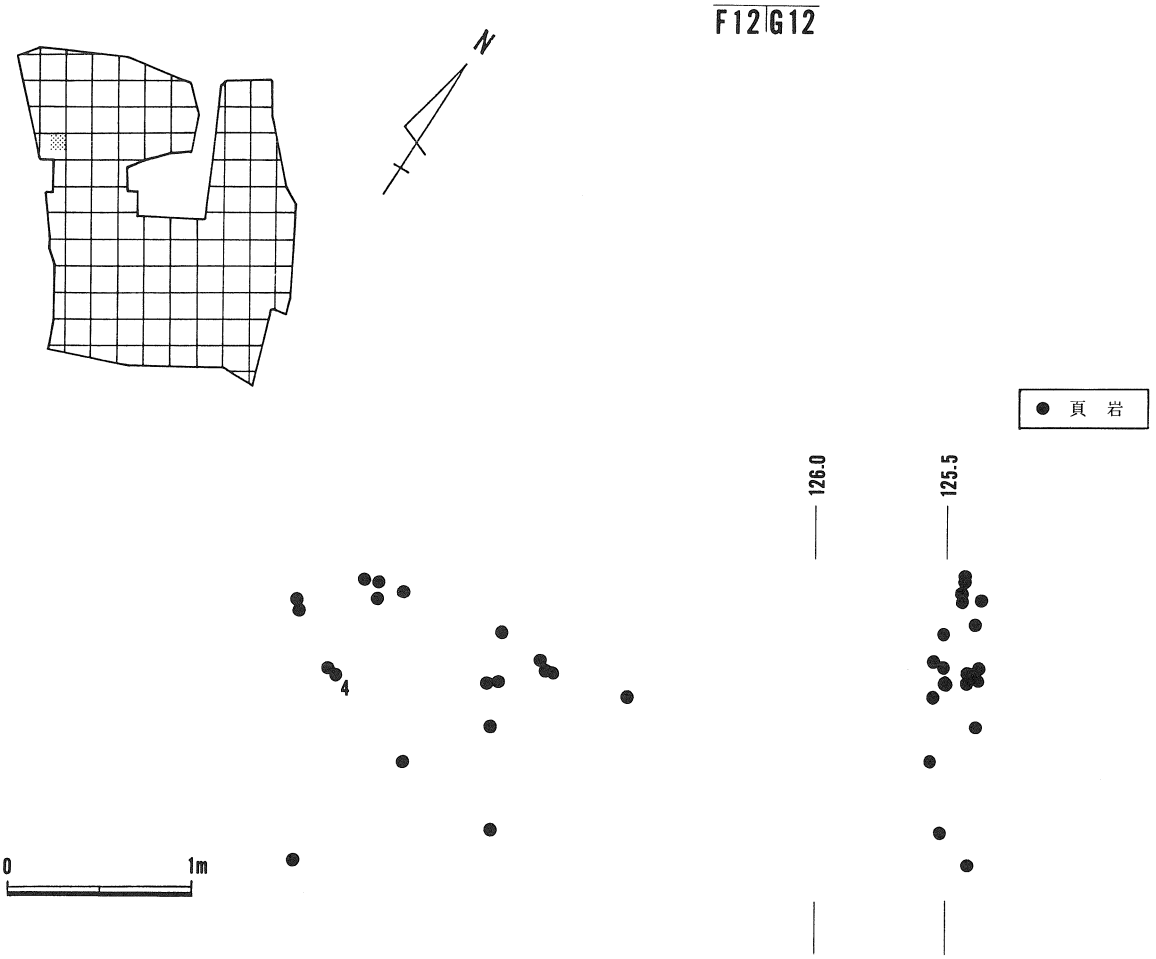
G12グリット付近に広がりをみせる。頁岩製の小型の剥片15点からなる。接合関係は見られなかった。



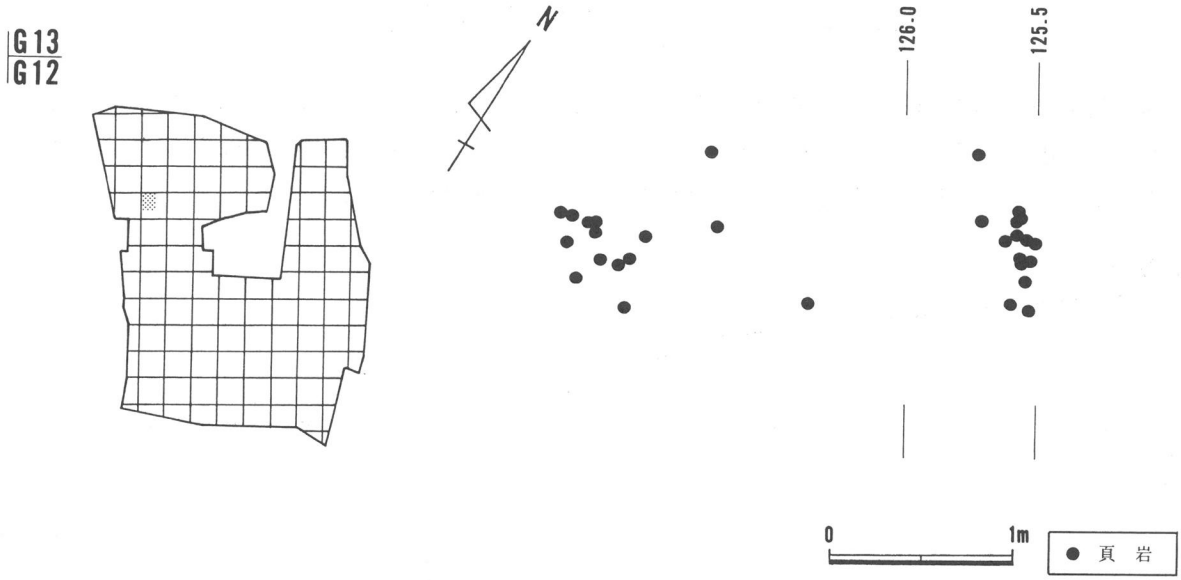
第114図　ＢＢＩ層全体図



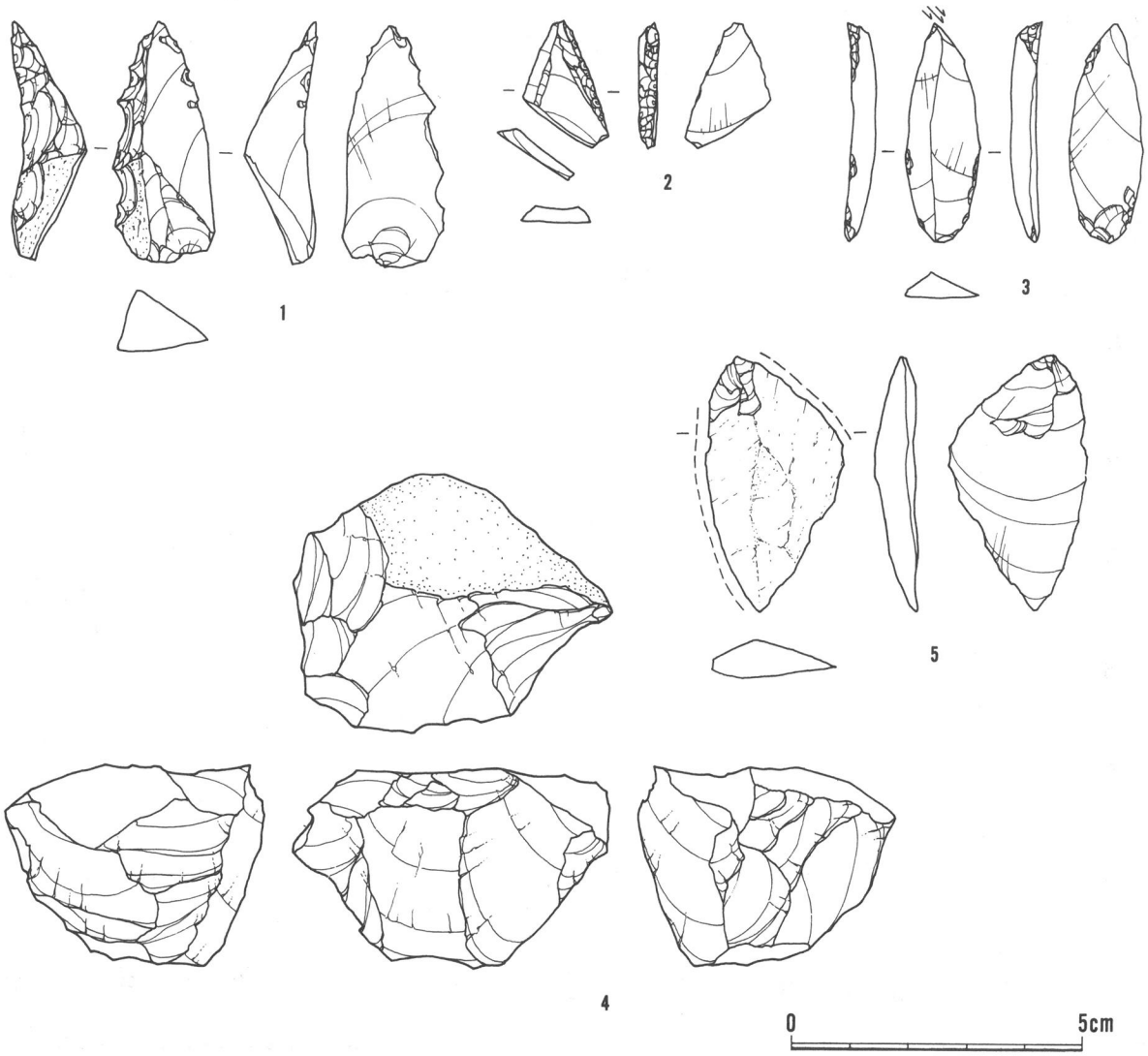
第115図　ＢＢＩ層Ａブロック平面・垂直分布図（1／40）



第116図　ＢＢＩ層Ｂブロック平面・垂直分布図（1／40）



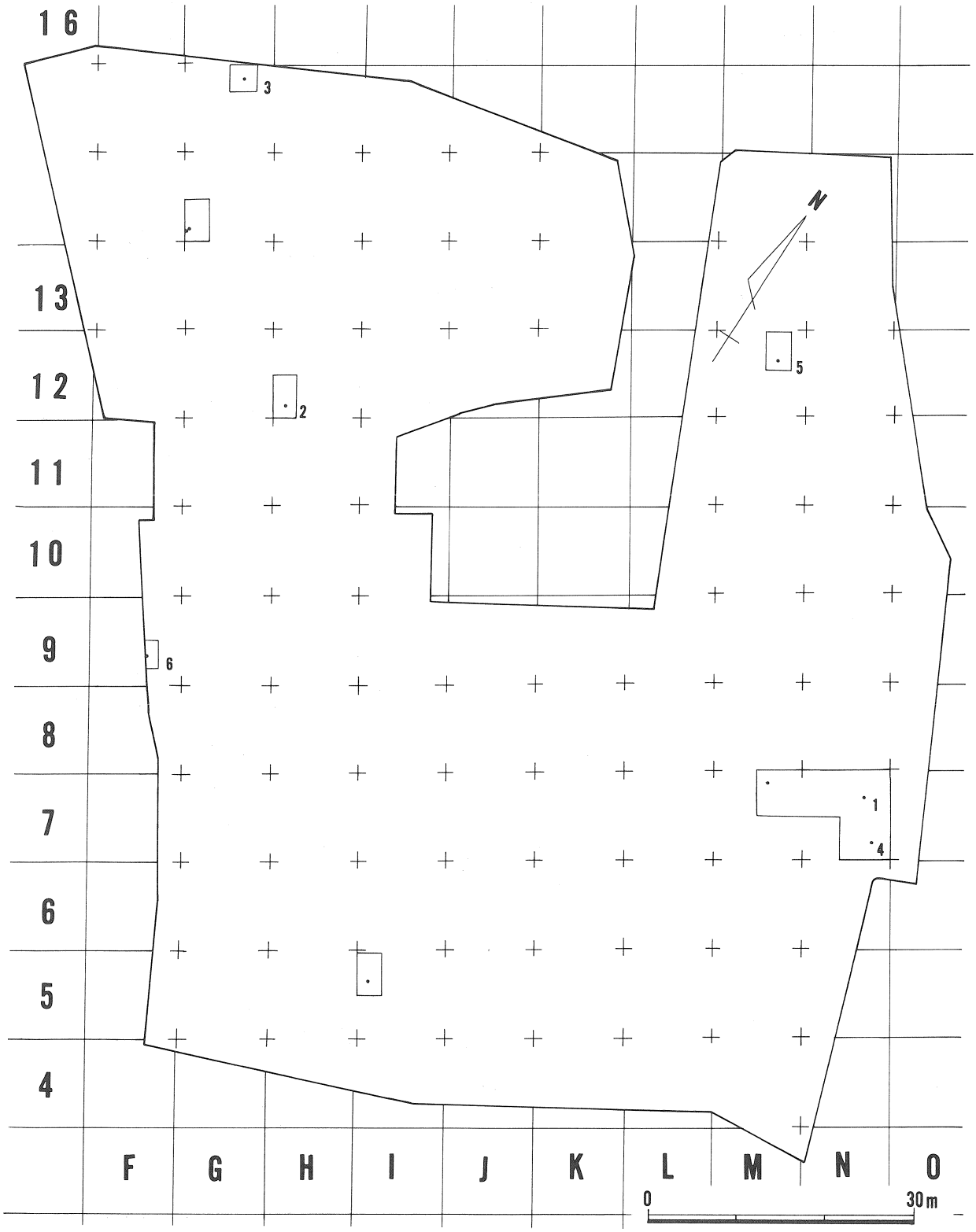
第117図　ＢＢＩ層Ｃブロック平面・垂直分布図（1／40）



第118図　ＢＢＩ層石器実測図（4／5）

第４節　ニセローム層の遺構と遺物

黒耀石製の小型の掻器が１点、珪質頁岩製の石刃状剥片１点の他に剥片が８点出土している。これらはブロックを形成することなく、単独で出土している（第119図）。調査は10m四方の各グリットに３×３ｍの４箇所のテストピットを設定し、遺物を検出したところで拡張する方式をとった。

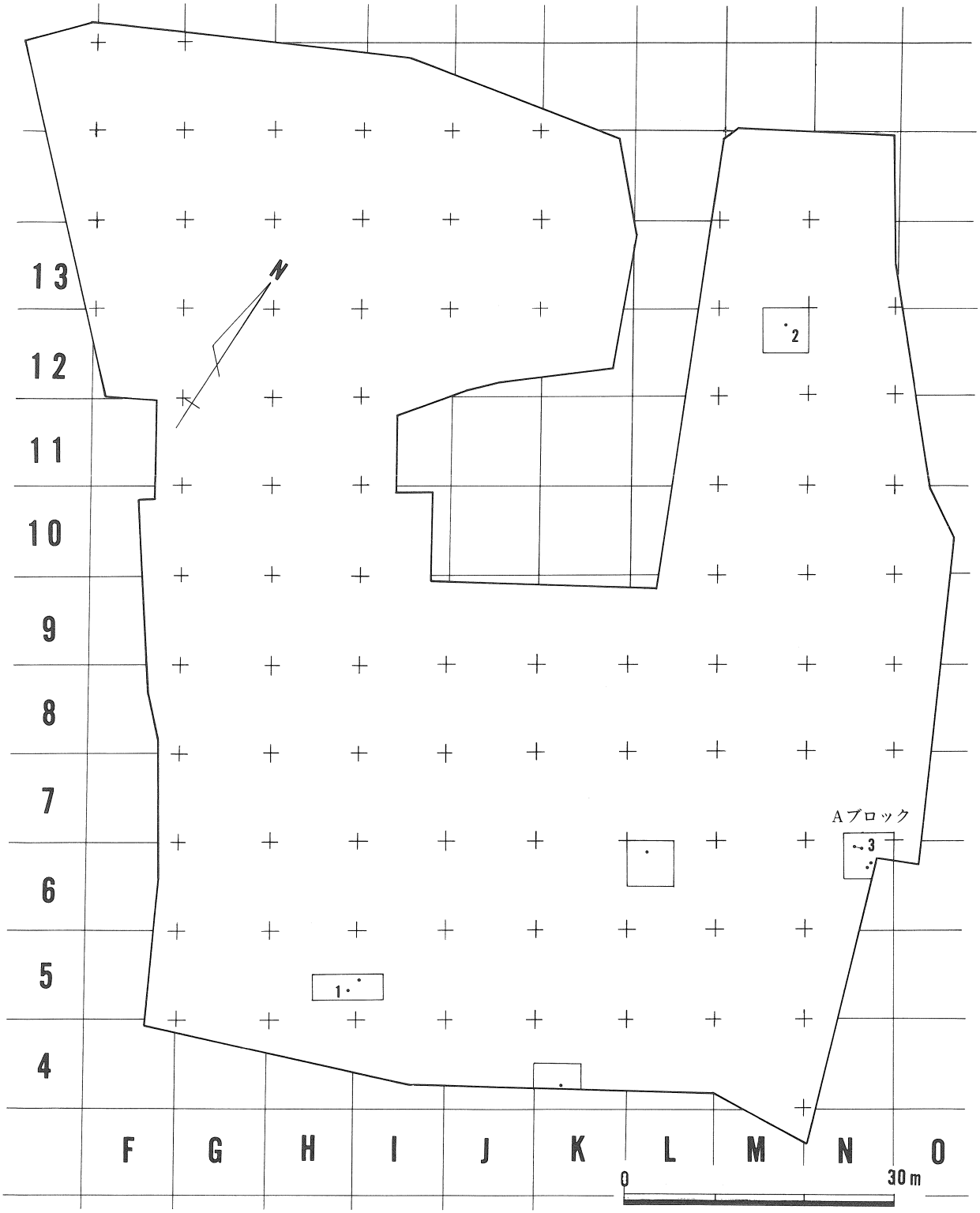


第119図　ＮＬ層全体図

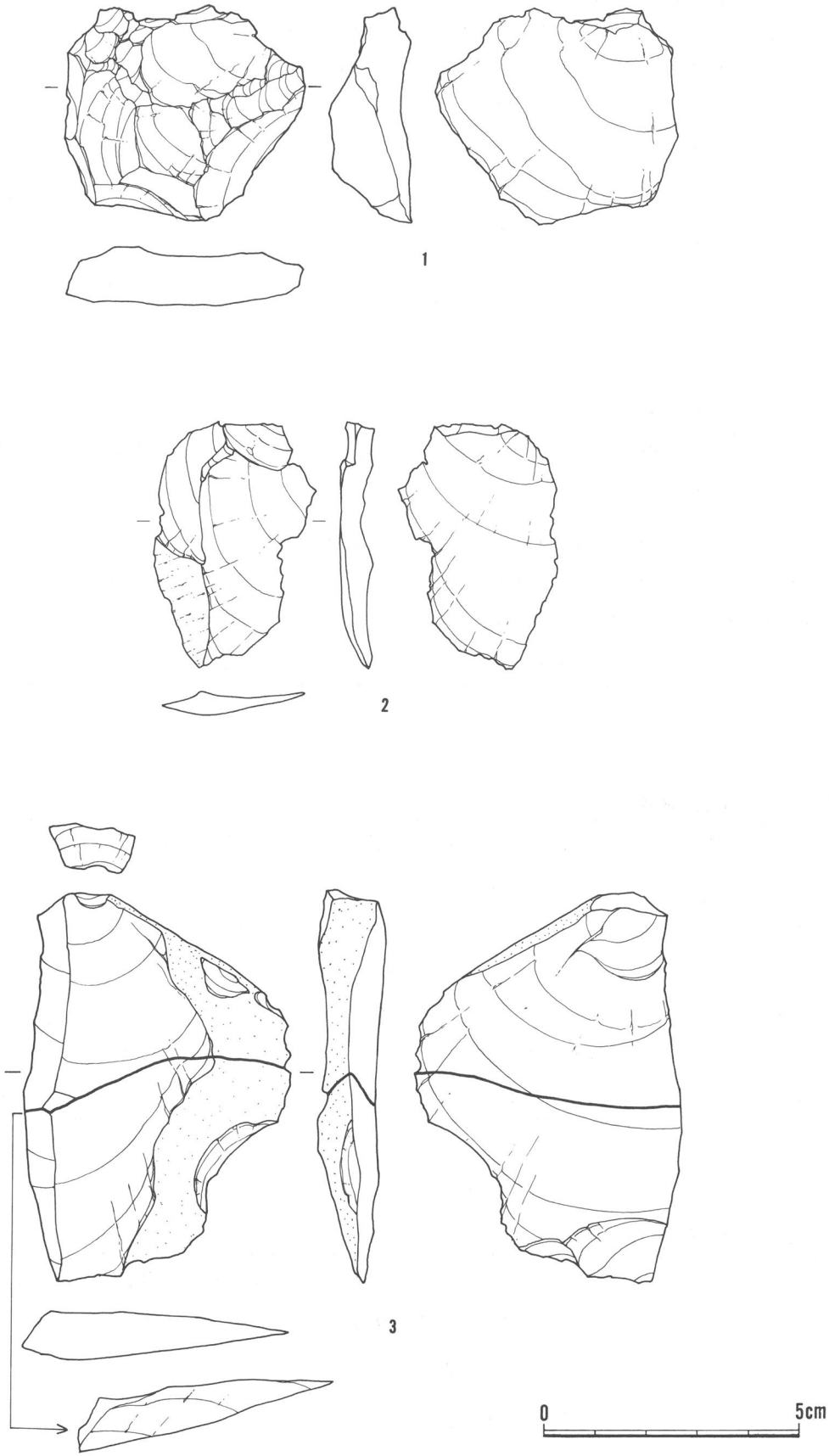
第120図　ＮＬ層石器実測図（4／5）

第５節　第Ⅱ黒色帯の遺構と遺物

黒色緻密安山岩製の石核調整剥片が１点と剥片が11点出土している。Ｎ６グリットに黒色緻密安山岩の剥片３点と頁岩の剥片１点からなるブロックが検出されたが、散漫な分布を示す。調査は10m四方の各グリットに３×３ｍの４箇所のテストピットを設定し、遺物を検出したところで拡張する方式をとった。



第121図　ＢＢⅡ層全体図



第122図　ＢＢⅡ層石器実測図（4／5）

表35　ＢＢ０層石器計測表

ＰＬ－Ｎｏ．	グリット	遺物番号	石材（産地）	器種	最大縦長(㎜)	最大横長(㎜)	最大厚(㎜)	重量(ｇ)
１１２－１	Ｌ６	３９	ホルンフェルス	尖頭器状石器	５４	２１	１１	１１.２
１１２－２	Ｈ１１	４	玉髄	抉入削器	３３	１９	６	２
１１２－３	Ｇ１０	４	黒耀石	石核	２３.４	２２.７	１７.５	５
１１３－４	Ｊ６	１８	黒耀石	剥片	３５	３０	５.８	５.１
１１３－５	Ｊ５	７５	黒緻安山岩	剥片	５２.５	３０.５	１２.２	１６.１
１１３－６	Ｇ１１	６	輝石安山岩	敲石	１０１	６８	４２.５	３９９

表36　ＢＢⅠ層石器計測表

ＰＬ－Ｎｏ．	グリット	遺物番号	石材（産地）	器種	最大縦長(㎜)	最大横長(㎜)	最大厚(㎜)	重量(ｇ)
１１８－１	Ｌ７	１	黒耀石(ＨＳＴ)	ナイフ形石器	４１.０	１７.５	１０.０	１.３
１１８－２	Ｋ５	１１４	黒耀石(ＨＳＴ)	ナイフ形石器	（２１.５）	（１４.０）	（３.５）	（０.７）
１１８－３	Ｋ５	１１１	黒耀石(ＨＳＴ)	彫器	３８.０	１３.０	５.５	１.７
１１８－４	Ｆ１２	２７	頁岩	石核	３５.０	５５.０	４４.０	８１.６
１１８－５	Ｇ１４	４	黒耀石(ＨＳＴ)	剥片	４３.０	２３.０	７.３	５.６

表37　ＮＬ層石器計測表

ＰＬ－No.	グリット	遺物番号	石材(産地)	器種	最大縦長(㎜)	最大横長(㎜)	最大厚(㎜)	重量（ｇ）
１２０－１	Ｎ７	７	珪質頁岩	石刃状剥片	67.0	34.5	9.7	19.3
１２０－２	H12	３７	黒耀石	掻器	25.0	20.0	8.7	3.3
１２０－３	G15	１	黒耀石	剥片	17.0	8.0	1.5	0.1
１２０－４	Ｎ７	１２	黒緻密安山	剥片	49.0	32.0	9.3	14.6
１２０－５	Ｍ１２	９	黒緻密安山	剥片	27.0	15.0	7.4	2.6
１２０－６	Ｆ９	７	黒緻密安山	剥片	40.5	41.0	10.9	19.9

表38　ＢＢⅡ層石器計測表

ＰＬ－No.	グリット	遺物番号	石材(産地)	器種	最大縦長(㎜)	最大横長(㎜)	最大厚(㎜)	重量（ｇ）
１２２－１	Ｈ５	７	黒緻安山岩	剥片	43.0	46.0	14.4	33.5
１２２－２	Ｍ１２	１０	黒緻安山岩	剥片	46.5	31.0	4.5	7.3
１２２－３	Ｎ６	１３	黒緻安山岩	剥片	54.0	40.0	11.5	22.2
	Ｎ６	１５	黒緻安山岩	剥片	52.0	43.0	11.1	26.7

第６節　第Ⅲ黒色帯の遺構と遺物

概　要

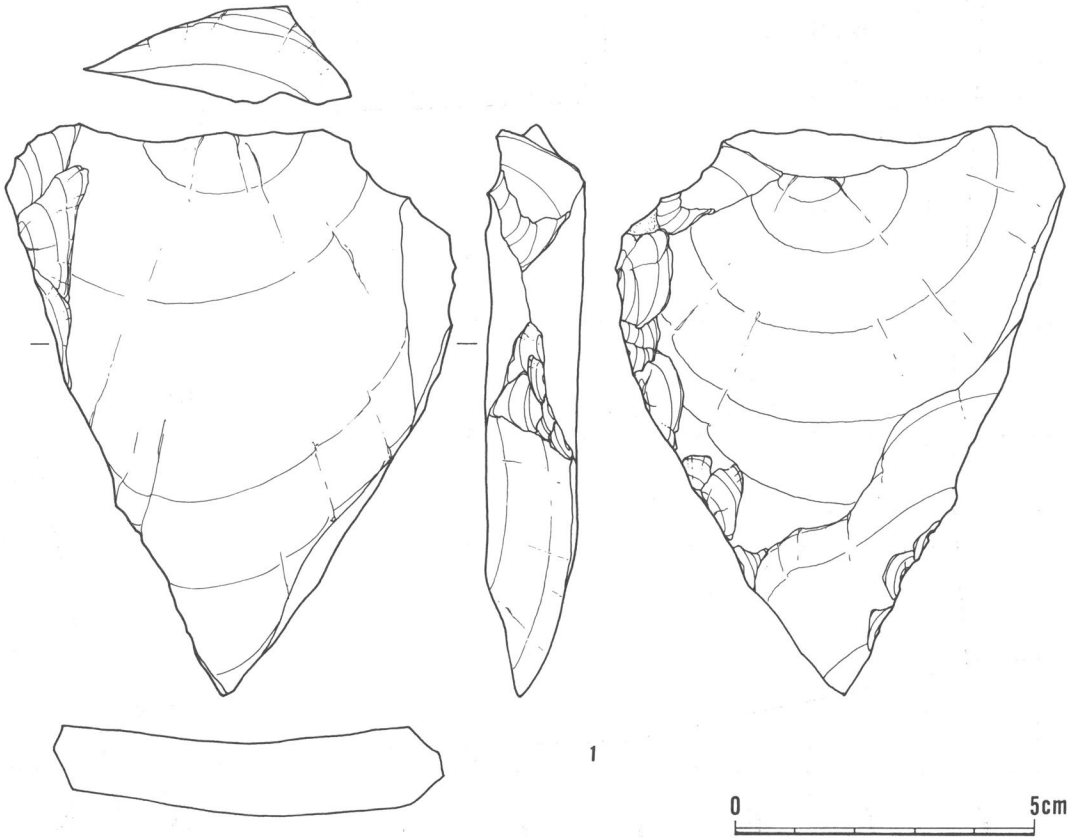
黒色緻密安山岩製の削器が１点単独で出土したほか、石器ブロックが１基検出された。また土坑が尾根を横断するようなかたちで７基検出されている。

石　器（第123図）

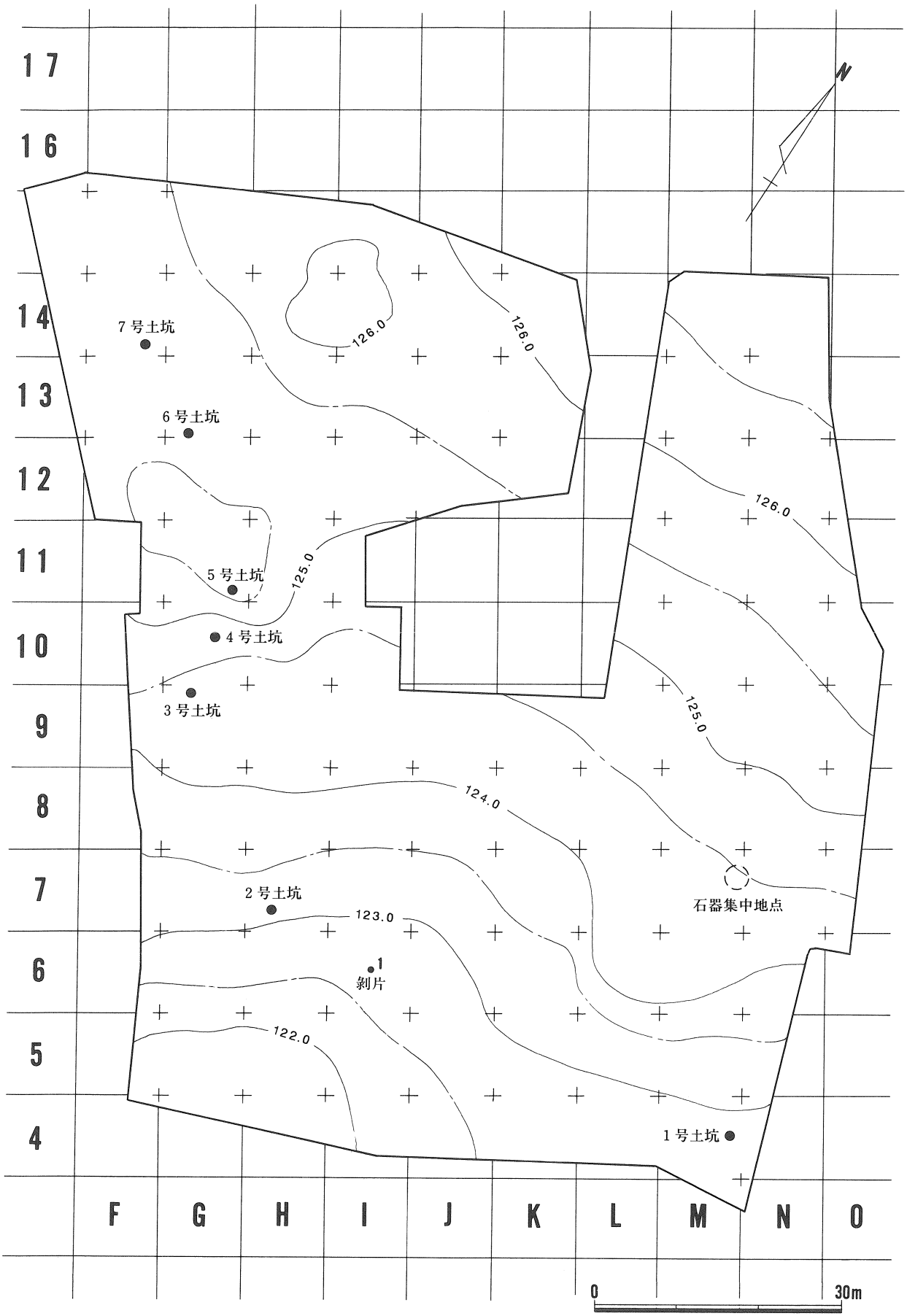
１は黒色緻密安山岩の大型の剥片を素材とした尖頭状の削器である。

ブロック（第125図）

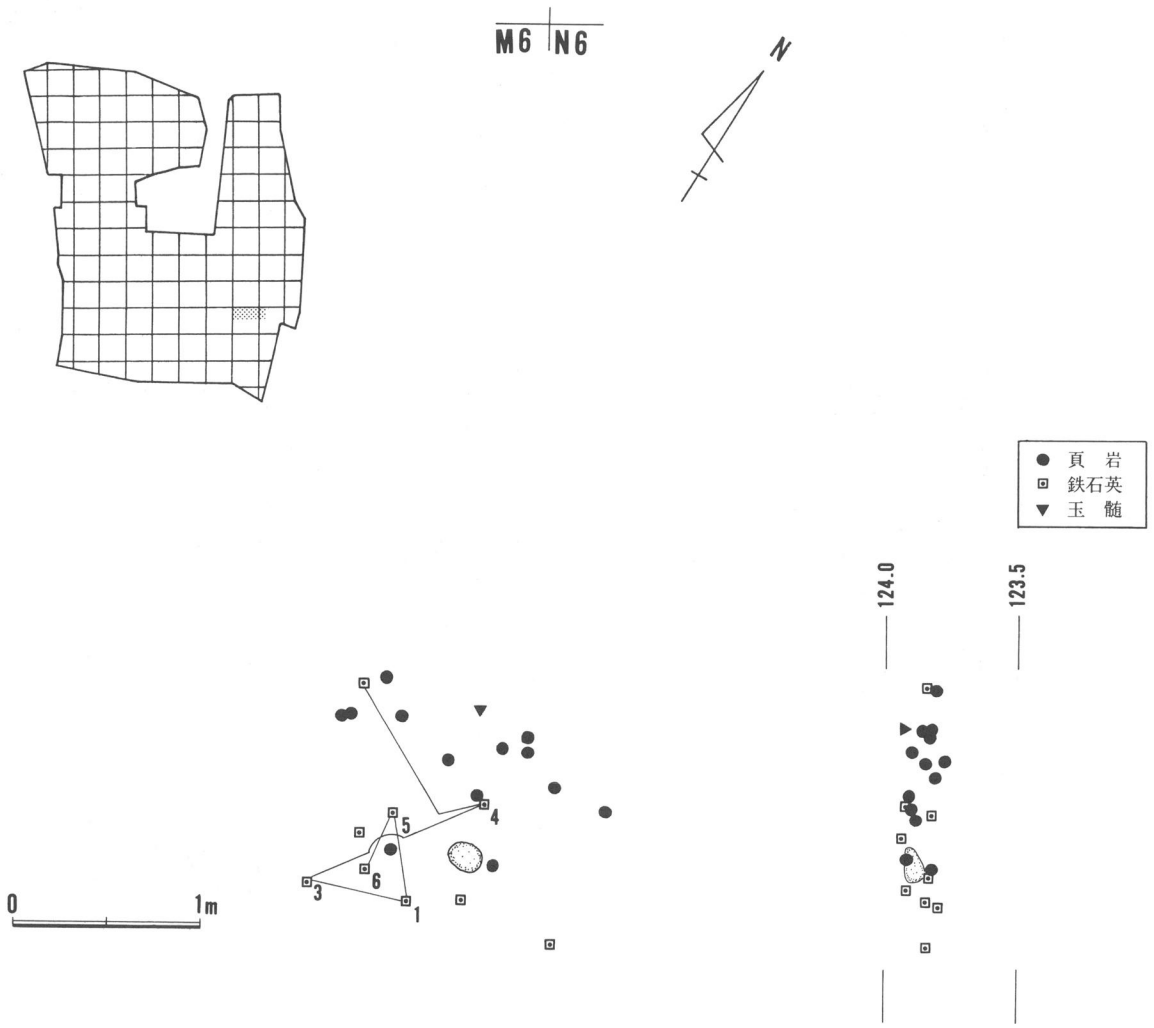
Ｍ７グリットに広がりをもち、台石を分布の中心として頁岩製の剥片14点、鉄石英製の剥片９点から構成される。頁岩に関しては接合関係は見られないが、同一母岩と考えられる鉄石英製の剥片９点の内６点が接合した（第126図）。これらは礫面が残されたままであるが、丁寧な打面調整が施された後に石刃状剥片（４）が剥ぎ取られている。この後、打面の再生と数回の剥片剥離作業の後に、打面が約90度転移され２が剥離される。石核は出土していないが原石の大きさは拳大であったと考えられる。４の先端部は折損しており、使用痕は観察されない。



第123図　ＢＢⅢ層石器実測図（4／5）



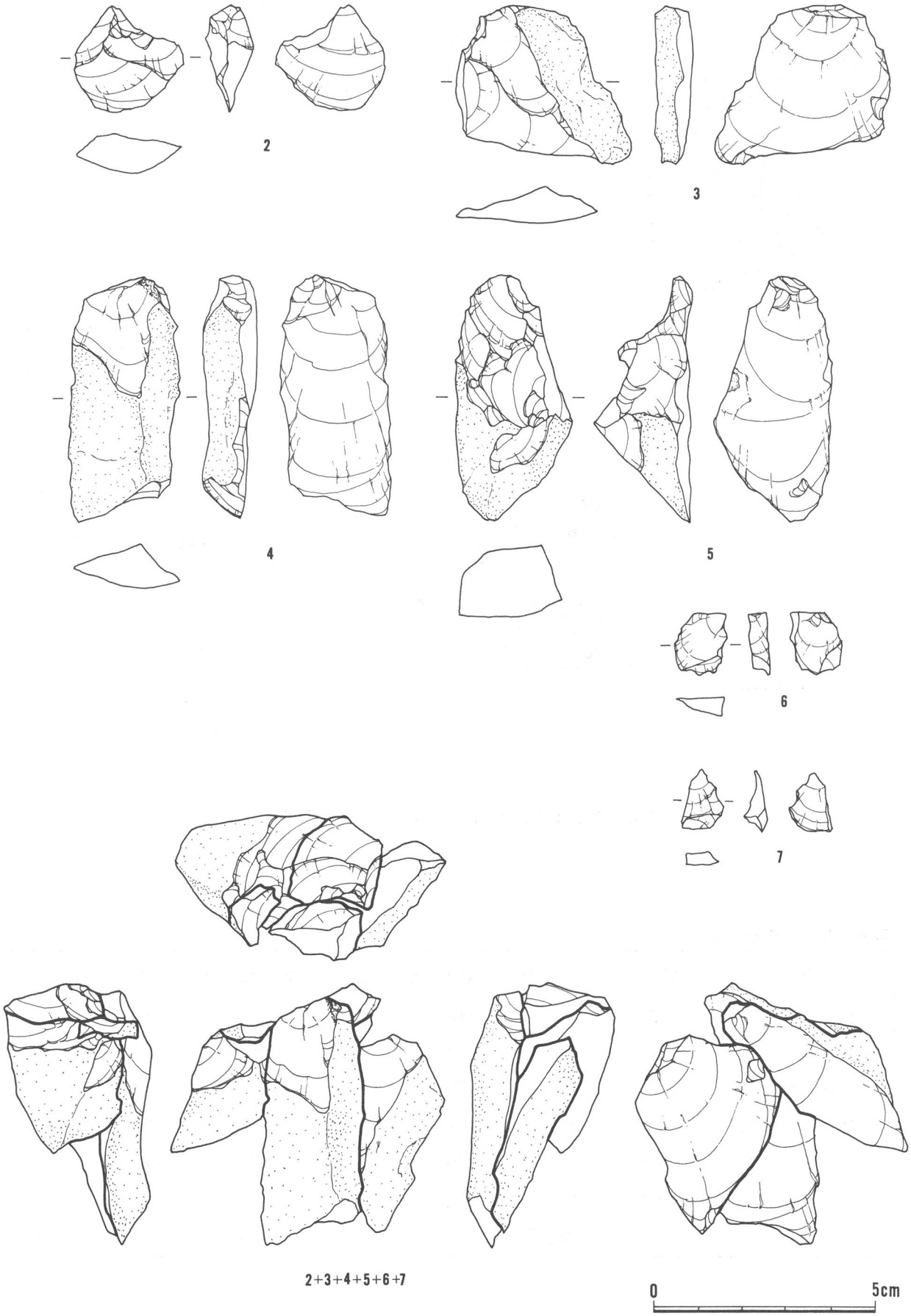
第124図　ＢＢⅢ層全体図



第125図　ＢＢⅢ層石器ブロック平面・垂直分布図（1／40）

表39　ＢＢⅢ層石器計測表

ＰＬ－No.	グリット	遺物番号	石材（産地）	器種	最大縦長（mm）	最大横長(mm)	最大厚(mm)	重量（g）
１２３－１	Ｉ６	２	黒緻安山岩	削器	96.0	69.0	14.4	114.8
１２６－２	Ｍ６	２６	鉄石英	剥片	23.5	25.0	11.0	3.7
１２６－３	Ｍ６	１９	鉄石英	剥片	32.0	41.0	9.0	9.8
１２６－４	Ｍ６	３１	鉄石英	石刃	56.0	24.5	11.0	14.1
１２６－５	Ｍ６	２１	鉄石英	剥片	55.0	27.0	21.5	20.4
１２６－６	Ｍ６	３０	鉄石英	剥片	14.0	11.5	4.5	0.7
１２６－７	Ｍ６	２７	鉄石英	剥片	12.5	9.5	5.0	0.3



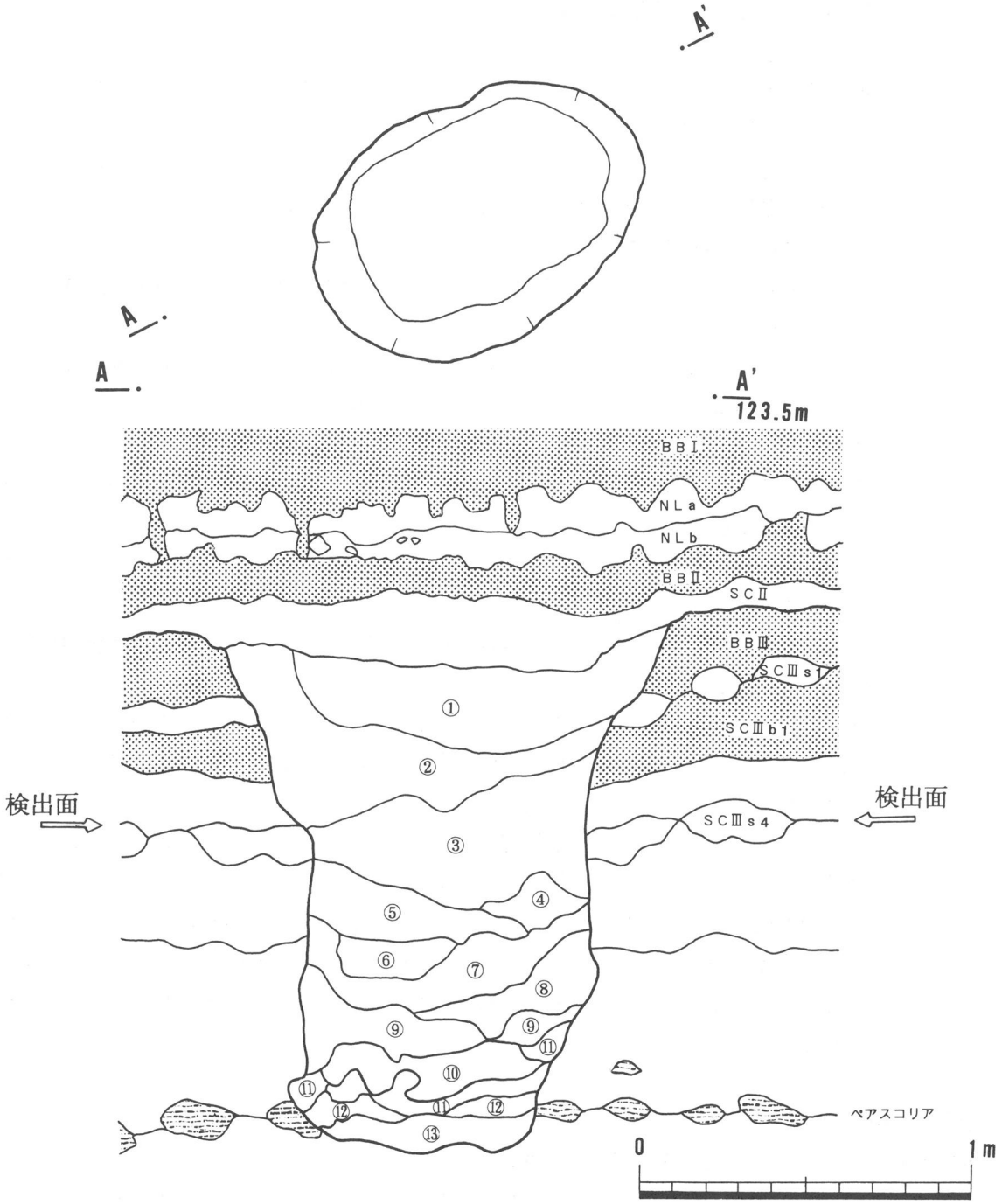
第126図　ＢＢⅢ層石器接合資料（4／5）

遺　構

土坑が７基検出されている。これらは、２～７号が遺跡の立地する尾根を横断するように配列しており今回の発掘調査区外へも延びる可能性がある。

２～７号土坑の平面プランの検出面は、SCⅢｓ４層上面であるが、１号土坑がテストピットの土層壁にかかったために、土坑の縦断面をBBⅠ層下より観察することが可能となった。この結果、SCⅡ層がこの土坑の覆土を被覆していることを確認した。他６基の土坑は平面形、覆土の状況が１号土坑と大変類似しているために、これらの土坑の掘り込み面は、BBⅢ層中にあるととらえている。

これらの土坑検出のために、遺物が期待できる尾根の縁辺部についてはニセローム下よりSCⅢｓ４層までを人手によって精査し、尾根中央部については同じくSCⅢｓ４層までを重機によって掘削した。こ



第127図　ＢＢⅢ層１号土坑図（1／20）

の結果、BBⅢ層からは前述の削器と石器ブロックが検出されたが、土坑との共伴関係は定かではない。なお、土坑の覆土は全てを振るいにかけた後、水洗をおこなったが遺物の検出は皆無であった。

以下に各土坑について記載する。

1号土坑（第127図）

今回検出した土坑の中で、唯一掘り込み面が確認できたものである。

〈規模・形状〉　長径104㎝、短径73㎝、深さ162㎝。

平面形は楕円形を呈し、開口部付近はラッパ状に開く。

〈覆　土〉　①　暗黒褐色スコリア質土　BBⅢ層に類似。黒色の発色が弱い。脆弱でクラックが入る。

②　暗茶褐色スコリア質土　①に類似。青灰色スコリアを若干含む。脆弱でクラックが入る。

③　暗黄褐色スコリア質土　①・②に類似するが、締まりがあり、SCⅢs１相当と考えられるスコリアを含む。

④　暗黄褐色ローム質土　φ0.3〜0.5㎝の黒色スコリア、φ0.1〜0.2㎝の赤色スコリアを含む。黒色スコリアはSCⅢ層中に特徴的に見られるものに類似。

⑤　④に類似するが、スコリアの含有量が多い。

⑥⑦　黄茶褐色スコリア質土　φ0.3〜0.5㎝の黒色スコリア、φ0.1〜0.2㎝の赤色スコリアを含む。

⑧　黄褐色ローム質土　φ0.3〜0.5㎝の黒色スコリア、φ0.1〜0.2㎝の赤色スコリアを含む。全体的にスコリアの含有量が減り、ローム質となる。

⑨　茶褐色ローム質土　⑧と類似するが、色調が暗くなる。

⑩　黒色粘性土　粘性が強く、赤色スコリアを少量含む。鉄分によるものか、層の輪郭が赤褐色に変色する。

⑪　茶褐色粘性土　色調は⑨と類似するが、粘性が強い。層全体に黒色〜黄褐色への変色（酸化鉄の堆積か）が見られる。

⑫　黄白色土　⑩⑪の連続と考えられる層で、粘性は少なく、φ0.1〜0.2㎝の黒色スコリアを少量含む。

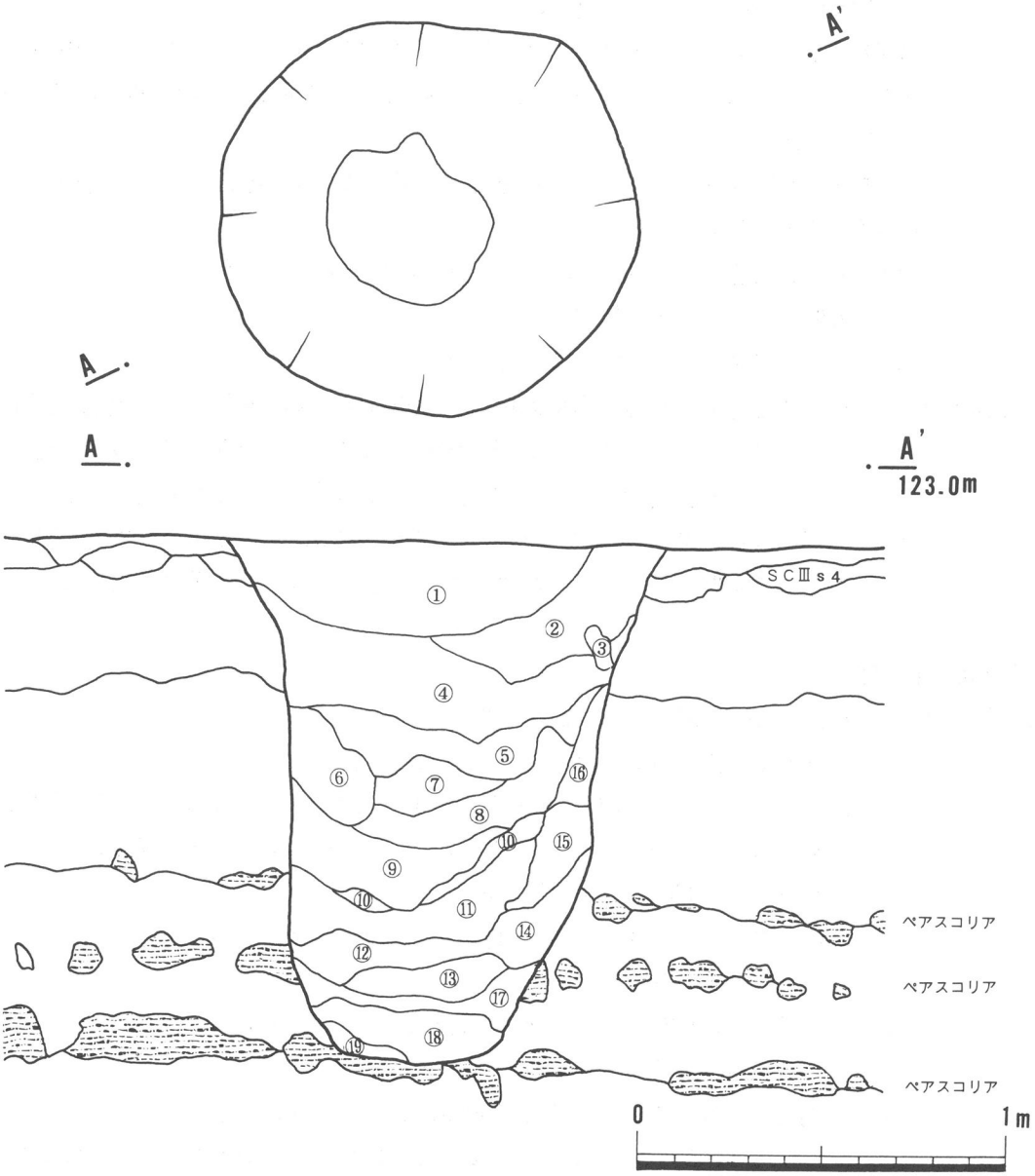
⑬　黄褐色ローム質土　ペアスコリアに類似した、φ0.1〜0.2㎝の赤色スコリアを含む。地山（ペアスコリア付近のローム層）と類似しているが、底部に黒色のごく薄い層が観察できたことから、地山と区別した。

〈堆積状況〉　自然堆積と考えられる。堆積過程は、1.底部付近の地山の崩落⑬、2.底部に水の作用によるものとも考えられる、粘性土の形成⑨⑩⑪、3.土坑壁のローム層と開口部壁のスコリア層の崩落土と考えられるローム層とスコリア質土の混土の堆積④⑤⑥⑦⑧、4.掘り込み面と考えているBBⅢ層の堆積①②③、の４段階に整理できる。またSCⅡ層が土坑上で厚く堆積していることから、同層の堆積時には土坑は完全に埋積していなかったものと考えられる。

2号土坑（第128図）

〈規模・形状〉　長径110㎝、短径109㎝、深さ145㎝。

平面形は正円に近い。検出面がSCⅢs４上面であるため、BBⅢ層を掘り込み面と考えるなら、実際は約50㎝ほど深かったものと考えられる。



第128図　ＢＢⅢ層２号土坑図（1／20）

〈覆　土〉　①　褐色スコリア質土　φ0.1～0.3cmの赤色スコリアを多量に含む。SCⅡ層相当か。

②　黒褐色スコリア質土　φ0.1～0.2cmの赤色スコリア、φ0.3～0.5cmの黒色スコリアを含む。BBⅢ層に類似する。

③　ローム層ブロック

④　オリーブ褐色スコリア質土　②と類似。

⑤⑥⑦⑧　黄褐色スコリア質土　φ0.1～0.2cmの赤色スコリア、φ0.3～0.5cmの黒色スコリアを多く含む。SCⅢb１層以下の崩落土と考えられる。細分はスコリアの含有量の差による。

⑨　褐色スコリア質土　φ0.1～0.2cmの赤色スコリア、φ0.3～0.5cmの黒色スコリアを多量に含む。前層の連続と考えられる。

⑩　黒褐色粘性土　φ0.1cmの赤色スコリア、φ0.3～0.5cmの黒色スコリアを若干含むが、

全体的には粘性の強い黒色土。

⑪⑫　混土　⑩と褐色スコリア質土がマーブル状に混在する。⑩への漸移層か。

⑬　褐色ローム質土　φ0.1〜0.2㎝の赤色スコリアを少量含む。SCⅢ層以下のローム層の流れ込みか。

⑭⑮⑯　褐色ローム質土　φ0.3〜0.5㎝の黒色スコリアを含む。⑬と同様、一連の土坑壁の崩落土と考えられる。

⑰　鈍い黄褐色ローム質土　黒色スコリアのブロックを含む。

⑱　黒褐色粘性土　⑩と類似。

⑲　スコリアブロック　SCⅢs4層相当。

〈堆積状況〉　自然堆積と考えられる。堆積過程は、1.SCⅢs4層の崩落⑲、2.黒色粘性土の生成⑱、3.SCⅢs4層以下の土坑壁ローム層の堆積⑬⑭⑮⑯、3.BBⅢ相当の流れ込みとその黒色粘土化⑩⑪⑫、4.黄褐色スコリア質土の堆積⑤⑥⑦⑧、5.BBⅢ相当の堆積②④、の5段階に整理できる。また⑩形成時と以後の堆積の間には若干の時間的断絶があったと考えられる。これは発掘時に「土がはがれやすい」という現象でも確認している。

3号土坑（第129図）

〈規模・形状〉　長径138㎝、短径133㎝、深さ173㎝。
平面形は正円に近い。検出面はBBⅢb1層直下。

〈覆　土〉　①　褐色スコリア質土　SCⅡ層相当と考えられるオレンヂ色スコリアを多量に含む。

②　黒褐色スコリア質土　φ0.2〜0.3㎝のオレンヂ色スコリア、φ0.3〜0.5㎝の黒色スコリアを含む。SCⅡ層とBBⅢ層の混土か。

③④　褐色スコリア質土　φ0.1〜0.2㎝の赤色スコリア、φ0.3〜0.5㎝の黒色スコリアを含む。BBⅢ層に類似する。

⑤　黄褐色スコリア質土　SCⅢ層に特徴的なφ0.5〜1.0㎝の黒色スコリアを含む。クラックが入り、締まりが悪い。

⑥　黄褐色スコリア質土　⑤と類似するが、締まりがある。

⑦　褐色ローム質土　φ0.1〜0.2㎝の赤色スコリア、黒色スコリアを少量含む。SCⅢ層以下ペアスコリア間のローム質土と類似。

⑧　⑥⑦の混土

⑨　黒色粘性土　φ0.1㎝の赤色スコリア、φ0.3〜0.5㎝の黒色スコリアを若干含むが、全体的には粘性の強い黒色土。

⑩⑪　黄褐色ローム質土　ペアスコリアと類似する赤褐色スコリアを少量含む。

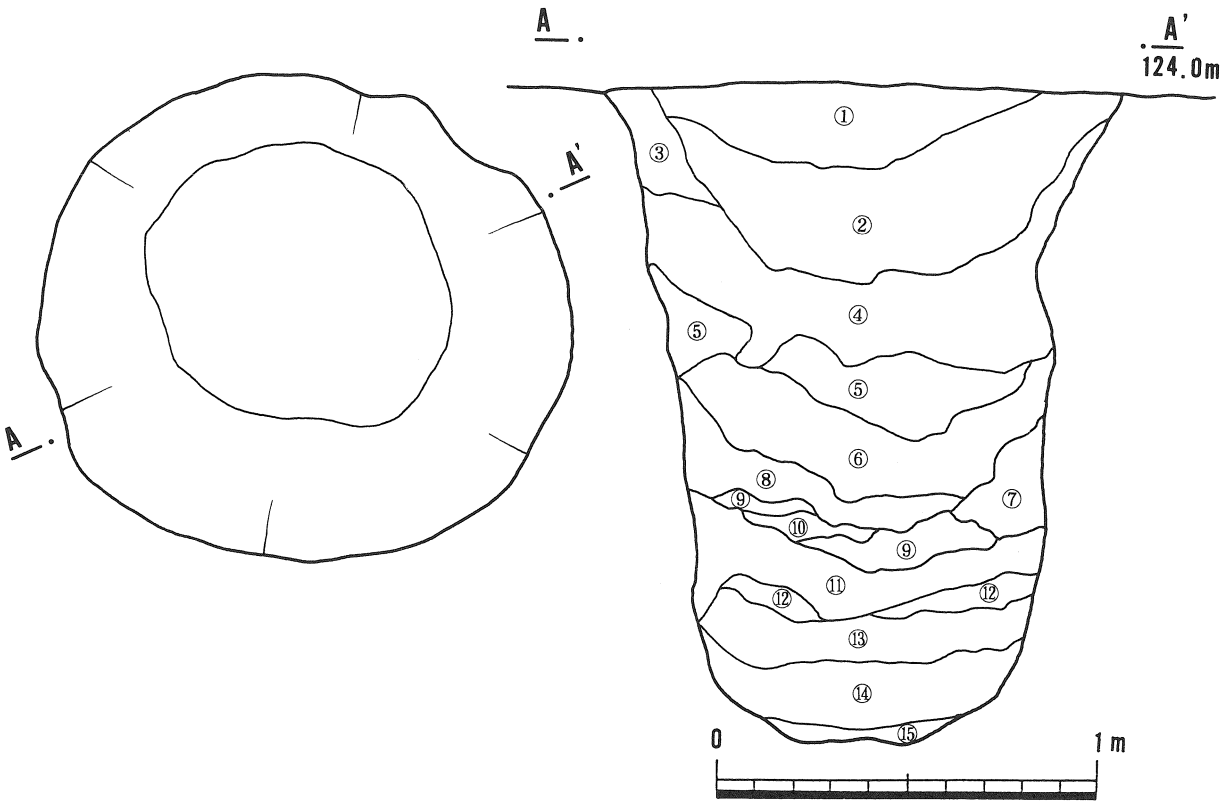
⑫　暗褐色ローム質土　φ0.3〜0.5㎝の赤色スコリアを少量含む、硬質土。

⑬　黒褐色粘性土　スコリアをほとんど含まない。⑫との層界が赤色に変色する。酸化鉄の影響か。

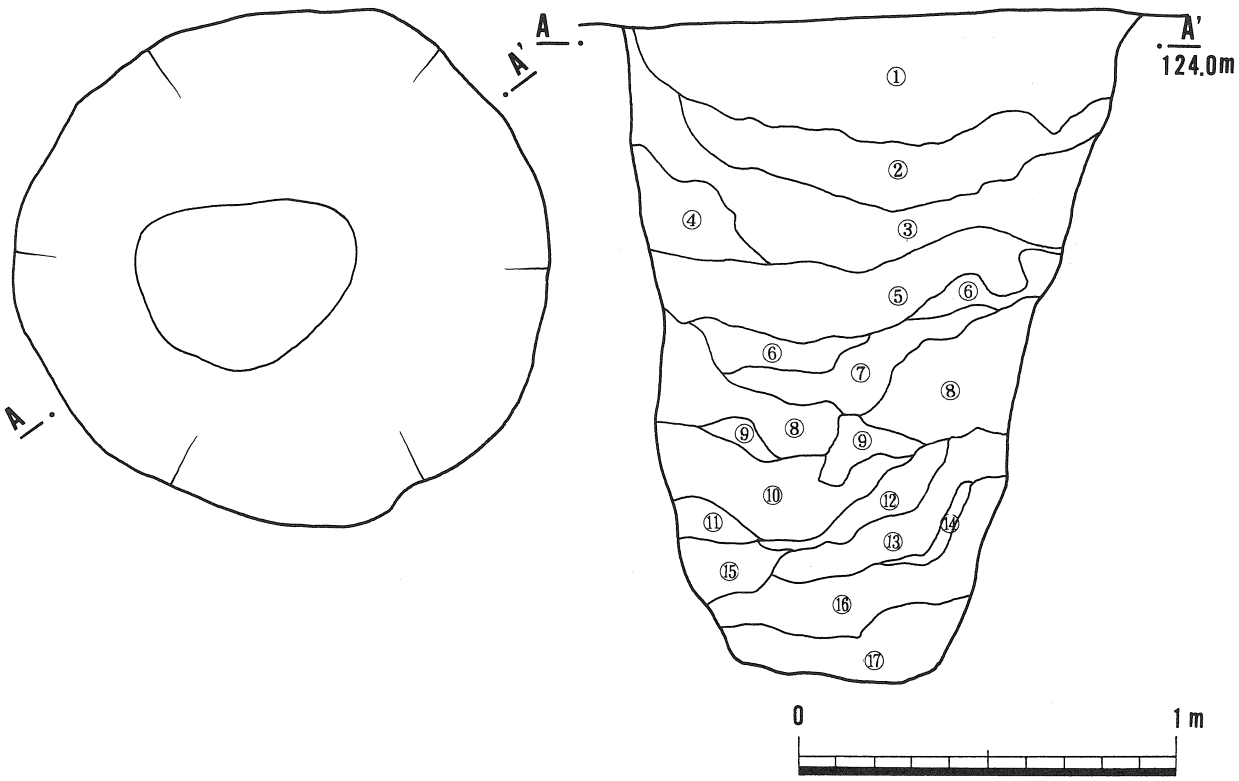
⑭　暗黄褐色土　硬質で、層界付近は赤色に変色する。

⑮　暗黄緑色粘性土

〈堆積状況〉　自然堆積と考えられる。堆積過程は、1.土坑壁の崩落と考えられるローム層の堆積と、粘性土の互層⑨〜⑮、2.土坑壁の崩落土の堆積⑤⑥⑦⑧、3.土坑の掘り込み面のBBⅢ層の堆積②③④、4.SCⅡ層の被覆、の4段階に整理できる。



第129図　ＢＢⅢ層３号土坑図（1／20）



第130図　ＢＢⅢ層４号土坑図（1／20）

4号土坑（第130図）

〈規模・形状〉　長径132㎝、短径126㎝、深さ176㎝。

平面形は正円に近い。検出面はSCⅢs４層上面であるが、BBⅢ層までの深さを考慮すると実際は220㎝を超える深さであったものと考えられる。

〈覆　土〉　①　褐色スコリア質土　SCⅡ層相当と考えられるオレンヂ色スコリアを多量に含む。

②③　黒褐色スコリア質土　φ0.1〜0.2㎝の赤色スコリア、φ0.3〜0.5㎝の黒色スコリアを含み締まりがない。BBⅢ層に類似する。

④⑤　黄褐色スコリア質土　SCⅢ層に特徴的なφ0.5〜1.0㎝の黒色スコリアを含む。

⑥　黄褐色スコリア質土　φ0.1〜0.2㎝の赤色スコリア、黒色スコリアを若干含む。

⑦　⑧と⑤の混土。

⑧　にぶい黄褐色ローム質土　ペアスコリアに類似する、赤褐色スコリアを少量含む。

⑨　⑦に類似する。締まりが非常に悪い。

⑩　褐色ローム質土　ペアスコリアに類似する、赤褐色スコリアを少量含む。

⑪　黒色粘性土　φ0.2〜0.3㎝の赤色スコリアを少量含む。

⑫　黒褐色スコリア質土　BBⅢ層類似。

⑬　⑪に類似。

⑭　褐色ローム質土　SCⅢs４層下のローム層と類似。スコリアをほとんど含まない。

⑮　⑪と⑯の混土。

⑯　暗褐色スコリア質土　BBⅢ層類似。

⑰　褐色ローム質土　φ0.1〜0.2㎝の赤色スコリア、φ0.2〜0.4㎝の黒色スコリアを少量含む。

〈堆積状況〉　自然堆積と考えられる。堆積過程は、1.土坑壁のスコリア層とローム層の堆積⑮⑯⑰、2.黒色粘性土の堆積⑪⑬、3.ローム層を中心とした土坑壁の崩落土の堆積⑥〜⑩、4.BBⅢ層を中心としたスコリア質土の堆積②③④⑤、5.SCⅡ層の被覆①、の５段階に整理できる。

5号土坑（第131図）

〈規模・形状〉　長径113㎝、短径101㎝、深さ142㎝。

平面形は正円に近い。検出面はSCⅢb１直下。

〈覆　土〉　①②　暗赤褐色スコリア質土　SCⅡ層相当と考えられるオレンヂ色スコリアを多量に含む。

③　にぶい赤褐色スコリア質土　φ0.1〜0.2㎝の赤色スコリア、φ0.3〜0.5㎝の黒色スコリアを含み締まりがない。BBⅢ層に類似する。

④　黒褐色スコリア質土　SCⅢ層に特徴的なφ0.5〜1.0㎝の黒色スコリアを少量含む。

⑤　暗黒褐色スコリア質土　SCⅢ層に特徴的なφ0.5〜1.0㎝の黒色スコリアを多量に含む。

⑥　褐色スコリア質土　φ0.5〜1.0㎝の黒色スコリア、φ0.1〜0.2㎝の赤色スコリアを含む。

⑦　黄褐色スコリア質土　φ0.5〜1.0㎝の黒色スコリアを少量含む。

⑧　黄褐色ローム質土　土層壁の剥離。質的には壁と変わりないが、クラックによって土坑壁から離脱していたために１層とした。

⑨⑩　暗褐色ローム質土　φ0.1〜0.5㎝の赤色スコリアを少量含む。SCⅢ層下のローム

層と類似する。

⑪⑫　混土　BBⅢ層相当とローム層の混土。ペアスコリア類似の赤褐色スコリアを含む。

⑬　⑪に類似。赤褐色スコリアの含有量が増える。

⑭　にぶい黄褐色ローム質土

⑮　黒色粘性土

⑯　⑭に類似。

⑰　オリーブ黄褐色粘性土　φ0.1㎝の赤色スコリアを少量含む。グライ化した粘土のような色調で、⑱⑲との層界は赤色に変色する。

⑱　明黄褐色ローム質土　ペアスコリア周辺のローム層の剝離。

⑲　にぶい褐色スコリア質土　SCⅢs4相当の崩落土。

⑳　黒褐色スコリア質土　土坑壁の崩落土と考えられるスコリアの堆積層。

〈堆積状況〉　自然堆積と考えられる。堆積過程は、1.主にスコリア質の強い土坑壁の崩落⑱⑲⑳、2.粘性土の形成⑮⑰、3.ローム層を中心とした土坑壁の崩落⑦～⑯、4.BBⅢ層相当の堆積②④⑤⑥、5.SCⅡ層の被覆①、の5段階に整理することができる。

6号土坑（第132図）

〈規模・形状〉　長径145㎝、短径138㎝、深さ152㎝。
平面形は正円に近い。検出面はSCⅢs4層直下。

〈覆　土〉　①　暗赤褐色スコリア質土　SCⅡ層相当と考えられるオレンヂ色スコリアを多量に含む。

②③　黒褐色スコリア質土　φ0.1～0.5㎝のオレンヂ色スコリアを少量含む。BBⅢ層相当と考えられる。

④　暗黒褐色スコリア質土　φ0.1～0.5㎝の赤色スコリア、黒色スコリアを含む。SCⅢ層とBBⅢ層との混土の様相。

⑤　黄褐色スコリア質土　SCⅢ層起源と考えられるφ0.5～1.0㎝の黒色スコリア及びφ0.1～0.3㎝の赤色スコリアを少量含む。

⑥　にぶい黄褐色スコリア質土　SCⅢ層起源と考えられるφ0.5～1.0㎝の黒色スコリアを含む。下位になるにしたがって、スコリアの含有量は減少する。

⑦　褐色ローム質土　SCⅢ層起源と考えられるφ0.5～1.0㎝の黒色スコリアを少量含む。

⑧　暗褐色ローム質土　SCⅢ層下のローム層の崩落土。

⑨　黒色粘性土

⑩　⑥⑦の混土。

⑪⑫　褐色ローム質土　土坑壁の崩落と考えられるローム質土。ペアスコリア相当と考えられるφ0.1～0.2㎝の赤色スコリアを含む。

⑬⑭　SCⅢ層のブロック。

〈堆積状況〉　自然堆積と考えられる。堆積過程は、1.SCⅢ層下のローム層を中心とした土坑壁崩落土の堆積⑦⑪⑫、2.SCⅢ層相当の土坑壁崩落土の堆積⑤⑥、3.BBⅢ層の堆積②③④、4.SCⅡ層の被覆①、の4段階に整理することができる。

7号土坑（第133図）

〈規模・形状〉　長径134㎝、短径127㎝、深さ167㎝。
平面形は正円に近い。検出面はSCⅢs4層直下。

〈覆　土〉　①②　暗赤褐色スコリア質土　SCⅡ層相当と考えられるオレンヂ色スコリアを多量に含む。

③④　黒褐色スコリア質土　φ0.1〜0.5cmのオレンヂ色スコリアを少量含む。BBⅢ層相当と考えられる。

⑤　根による撹乱土。

⑥⑦　土坑壁の剝離。

⑧⑨　暗赤褐色スコリア質土　φ0.1〜0.5cmの赤色スコリア、黒色スコリアを含む。BBⅢ層相当と考えられる。

⑩⑪　暗褐色ローム質土　φ0.5〜1.0cmの黒色スコリアを少量含む。土坑壁のローム層とSCⅢ層起源のスコリアの混土と考えられる。

⑫　暗赤褐色ローム質土　ペアスコリア相当と考えられるφ0.1〜0.2cmの赤色スコリアを少量含む。

⑬　黒色粘性土

⑭⑰　ローム層ブロック

⑮　⑫と類似。

⑯　黒褐色粘性土　ペアスコリア相当と考えられるφ0.1〜0.2cmの赤色スコリアを少量含む。

⑱⑲　黒褐色粘性土　ラミナ状に黒色から灰色に変色する。

〈堆積状況〉　自然堆積と考えられる。堆積過程は、1.水の作用と考えられる黒色から灰色の粘性土の形成⑯⑱⑲、2.ローム質の土坑壁の崩落土の堆積⑭⑮、3.黒色粘性土の形成⑬、4.ローム質の土坑壁の崩落土の堆積⑩⑪⑫、5.BBⅢ層の堆積③④⑧⑨、6.SCⅡ層の被覆①②、の6段階に整理できる。

これらの土坑はいずれも平面形が正円あるいは楕円を呈し、断面形は開口部付近がラッパ状に開く。7基の土坑の埋積は、土層断面を見る限りではほぼ同様の過程をたどるようであり、次の4段階にまとめることができる。

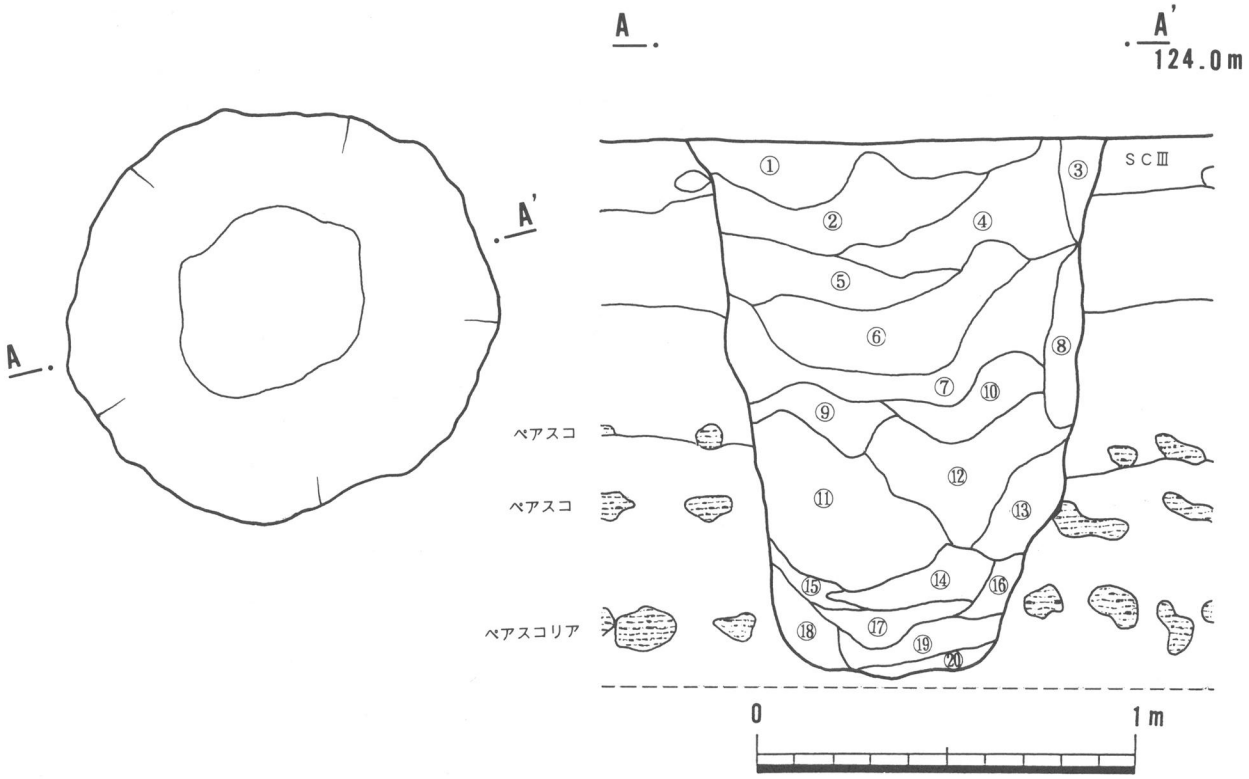
1段階　SCⅢ層下のローム層を中心とした土坑壁の崩落。

2段階　SCⅢ層を中心とした土坑壁の崩落、あるいはローム層との混土の堆積。

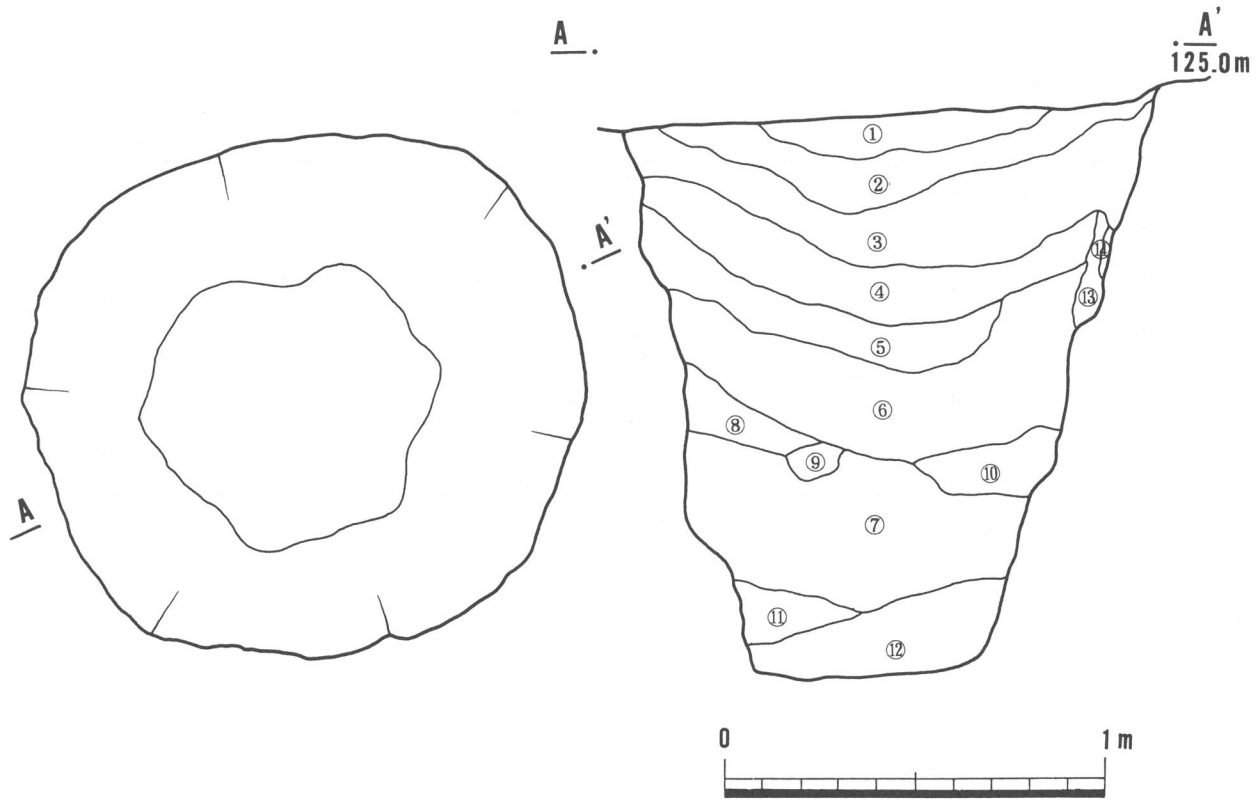
3段階　BBⅢ層相当の堆積。

4段階　SCⅡ層の被覆。

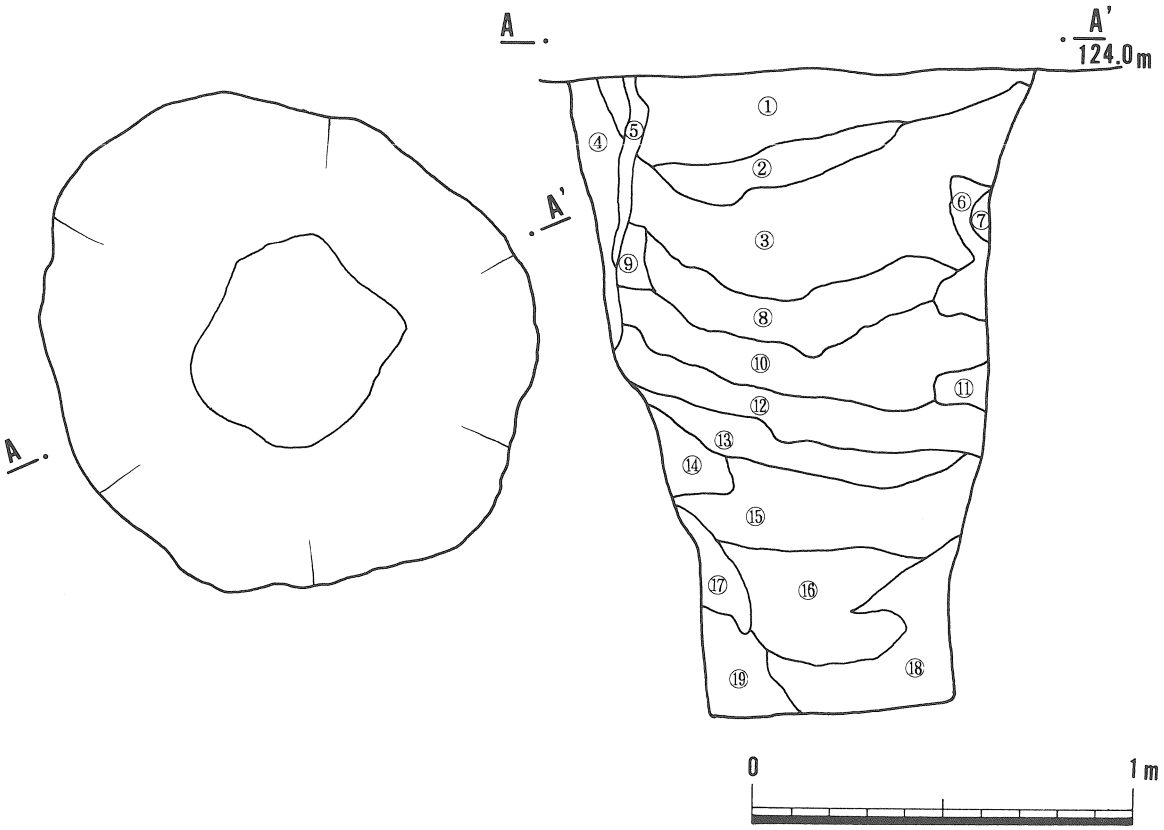
1段階と2段階の間、あるいは土坑底部には、黒色の粘性土が堆積している場合が多い。これには、酸化鉄と考えられる赤色の層も、同時に観察されることから、土坑の埋没が一時的に停止した際、溜水状態にあったことが予想される。土坑内の覆土は、壁の崩落土と考えられるものが底部より約1／2を占める。その土量は膨大であり、構築時の土坑の形状は発掘時よりも壁が垂直におちていたことが推測できる。



第131図　ＢＢⅢ層５号土坑図（1／20）



第132図　ＢＢⅢ層６号土坑図（1／20）



第133図　ＢＢⅢ層７号土坑図（1／20）

表40　ＢＢⅢ層土坑計測表

土坑番号	長径　(cm)	短径　(cm)	深さ	＜推定深度＞　(cm)
1号	104	73	162	
2号	110	109	145	〈195〉
3号	138	133	173	〈213〉
4号	132	126	176	〈226〉
5号	113	101	142	〈187〉
6号	145	138	152	〈202〉
7号	134	127	167	〈217〉

推定深度は、検出面からＢＢⅢ層までの層厚を土坑の深さにプラスしたものである。

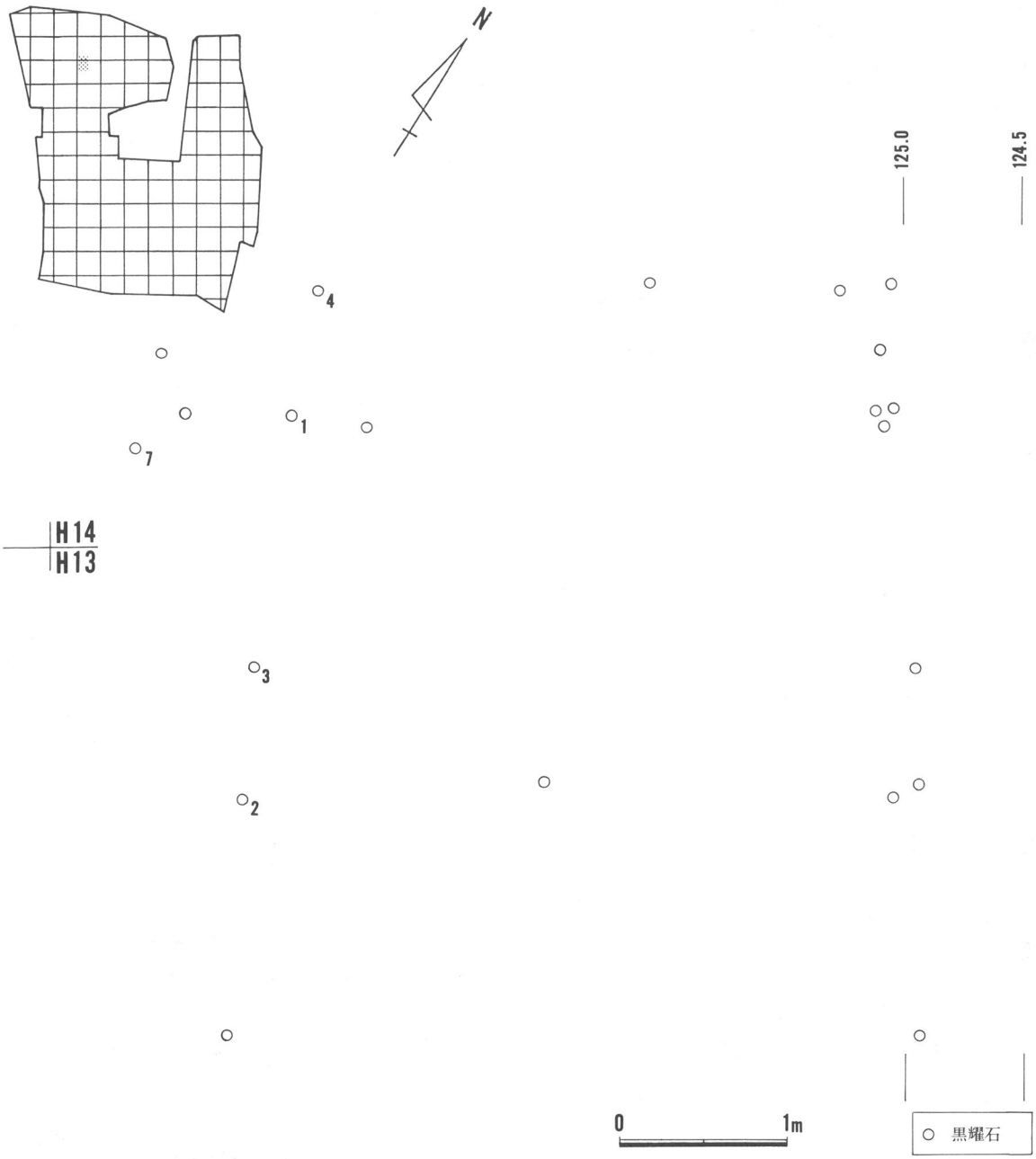
第７節　第Ⅲスコリア層の遺構と遺物

概　要

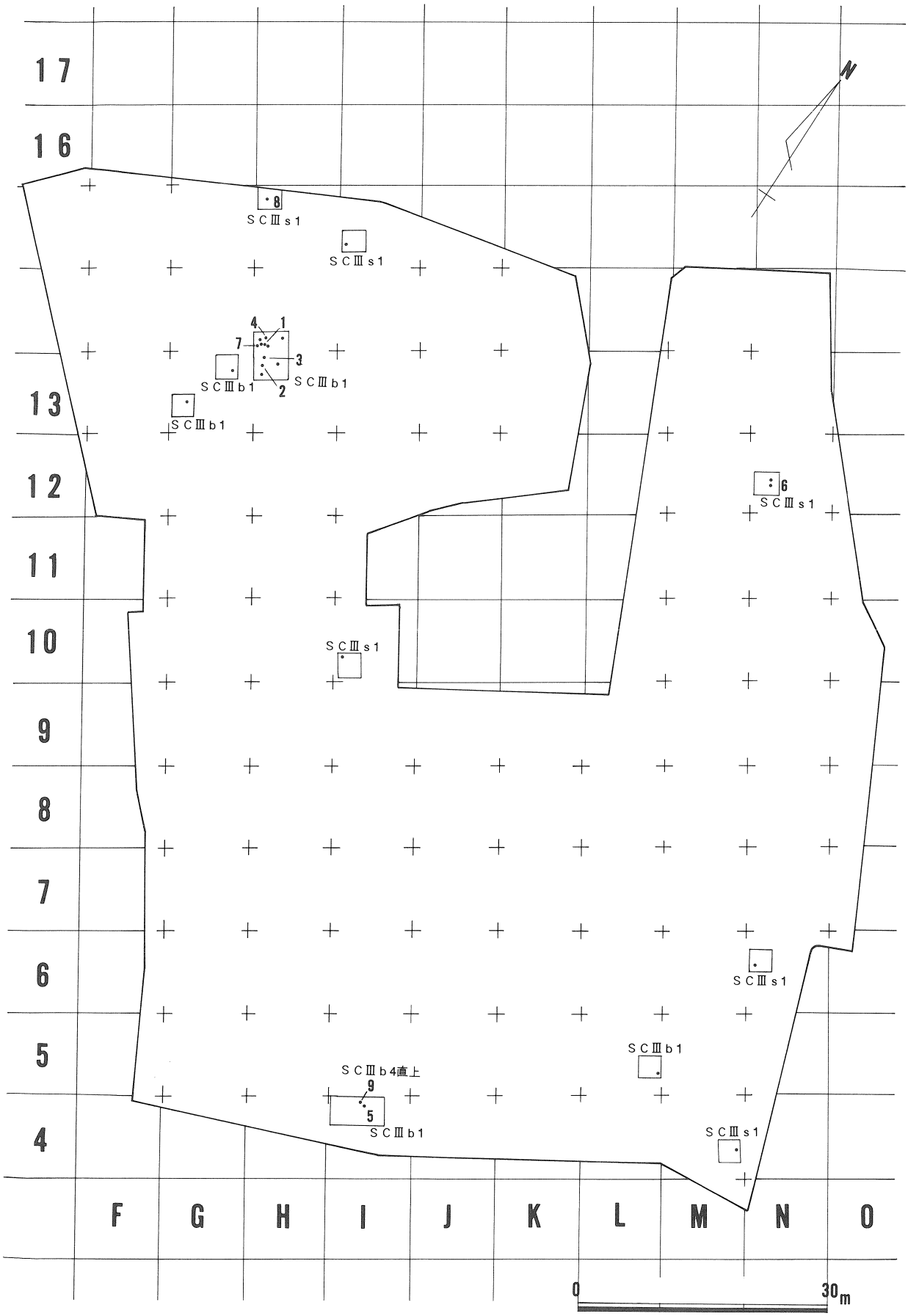
SCⅢｂ１層において台形様石器１点、削器１点と剥片14点が出土し、台形様石器と削器を含む黒耀石製の剥片11点がブロックを形成している。また、SCⅢｓ１層において剥片が７点、SCⅢｓ４層直上において剥片が１点出土しているが、散漫な分布を示す。

石　器（第136図）

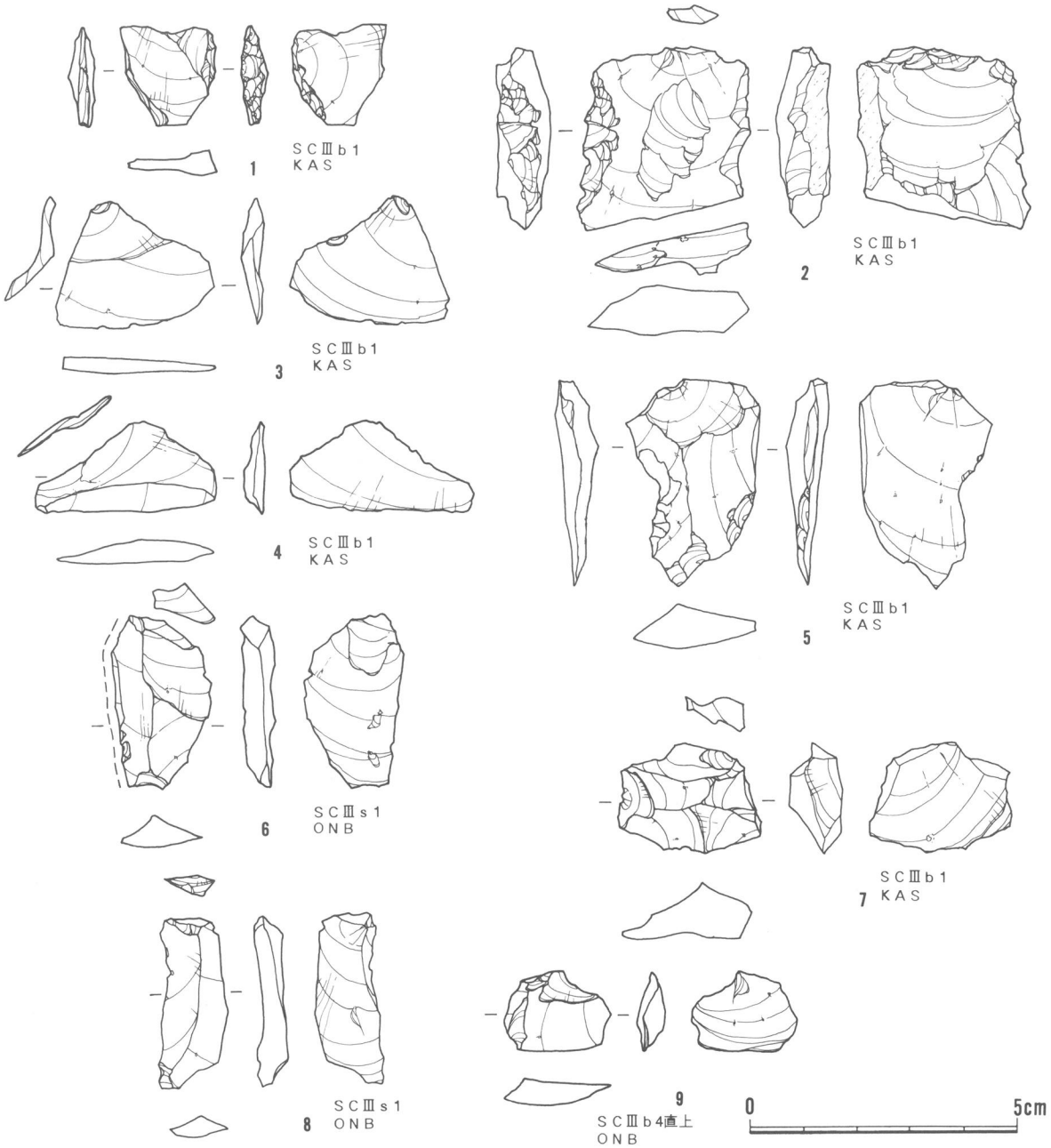
１は黒耀石製の台形様石器で、剥片の打面側に急斜な調整を施し、末端部を折り取って、素材の縁辺部を刃部としている。２は黒耀石製の削器である。



第134図　ＳＣⅢ層石器ブロック平面・垂直分布図（1／40）



第135図　ＳＣⅢ層全体図



第136図　ＳＣⅢ層石器実測図（4／5）

表41　ＳＣⅢ層石器計測表

ＰＬ－No.	グリット	遺物番号	石材（産地）	器種	最大縦長(mm)	最大横長（mm）	最大厚(mm)	重量(g)
１３６－１	Ｈ１４	8	黒耀石	台形様石器	18.0	17.5	3.7	1.1
１３６－２	Ｈ１３	6	黒耀石	削器	31.0	35.0	9.3	10.1
１３６－３	Ｈ１３	5	黒耀石	剥片	27.0	24.0	3.3	1.8
１３６－４	Ｈ１４	4	黒耀石	剥片	14.0	7.0	2.2	0.2
１３６－５	Ｉ４	2	黒耀石	剥片	38.5	20.0	8.0	6.5
１３６－６	Ｎ１２	7	黒耀石	剥片	32.0	17.5	5.1	2.8
１３６－７	Ｈ１４	2	黒耀石	剥片	27.0	20.0	9.5	3.8
１３６－８	Ｈ１５	2	黒耀石	剥片	31.0	12.0	3.2	1.4
１３６－９	Ｉ４	3	黒耀石	剥片	20.0	14.5	3.5	1.0

第Ⅴ章　調査の成果と課題

今回の発掘調査では、縄文時代と旧石器時代の遺構・遺物が検出された。以下にその成果をまとめ、今後の課題としたい。

1　縄文時代

縄文時代の遺構としては、草創期の落とし穴と考えられる土坑が注目される。この土坑の底部には逆茂木の痕跡と考えられる小穴が観察されており、平面形が楕円を呈することからも、縄文時代早期からみられる土坑と類似する。落とし穴の底部に逆茂木の痕跡を有するものは、縄文時代早期以降、関東地方を中心として検出例がある。しかし草創期以前のものは、鹿児島県の仁田尾遺跡において細石刃が伴って検出されている他は、千葉県の木の根遺跡等、報告例は少ない。旧石器時代から縄文時代への過渡期においての狩猟方法や動物相を考える上で、重要な資料となるであろう。

2　旧石器時代

旧石器時代については、YL層、BB０層、BBⅠ層、NL層、BBⅡ層、BBⅢ層、SCⅢ層で遺物が出土している。なかでもYL層出土の遺物は、礫群の出土レベルよりYLM層中位から上位に包含されるものと考えられ、数において本遺跡の中心となるものである。この石器群は尖頭器を石器組成に含み、ナイフ形石器の素材は縦長の剥片を用いる。すなわち石刃技法によるナイフ形石器が、後退していく時期であり、ナイフ形石器の石材としては信州産の黒耀石が多用される。しかし、遺跡内の信州産の黒耀石は、星ヶ塔産の２つの個体別資料を除いて、剥片剥離をおこなった痕跡は観察されず、黒耀石製石核の検出も畑宿産３、柏峠産１の合計４点であった。一方、在地系の石材である頁岩は、遺跡内で石刃状の大型剥片を多数削出しており、石核は拳大のものが20点出土している。これら石刃状剥片は、石器の素材として用いられていないことから、刃器として生産・消費されたものと考えている。石材の内訳は、黒耀石55％、頁岩30％、黒色緻密安山岩5.4％であり、黒耀石と頁岩では、上記のとおり石器組成に違いがある。また、石器ブロックは所有している石材によって、在地系と信州系にわけられ、在地系の石材を所有しているブロックには、信州産の黒耀石製の石器が剥片、toolで搬入されていたようである。これらの石器ブロックは、石器の接合関係こそないが、あきらかに同一の個体別資料を共有しており、同時期に存在した石器ブロックと考えている。下原遺跡では、上記のように遺跡の構造を理解するための良好な資料を提示することができる。これらの結果をどのように解釈していくかが今後の課題となる。

BBⅢ層からは、７基の土坑が検出されている。全国的にも、後期旧石器時代の遺構は稀少であるのに対して、ここ箱根西麓では初音ヶ原遺跡、焼場遺跡、加茂ノ洞B遺跡と次々に検出されており、その用途や性格、そして構築した集団の営力に対しても注意が払われるところである。つづいて発刊される「下原遺跡Ⅱ」では、特にこの土坑に焦点をあて、土壌の自然科学分析による当時の環境の復元、土坑と同時期の石器の集成などをとおして、土坑の用途についても掲載する予定である。

出土石器一覧表

ｸﾞﾘｯﾄ	遺物番号	層位	石材	器種
F12	4	YLU	頁岩	有舌尖頭器
F13	1	FB	チャート	異形局部磨製石器
G12	6	FB	黒耀石	剥片
H6	3	FB	黒色緻密安山岩	剥片
H6	5	FB	輝石安山岩	磨石
H12	10	FB	頁岩	剥片
J6	10	FB	黒色緻密安山岩	剥片
J12	4	FB	頁岩	剥片
J12	5	FB	黒耀石	剥片
J14	1	FB	黒耀石	尖頭器
J14	3	FB	頁岩	尖頭器
K5	24	FB	黒耀石	剥片
K5	65	撹乱	黒耀石	石鏃
K5	85	FB（土坑内）	頁岩	剥片
K5	94	FB（土坑内）	頁岩	剥片
L4	3	FB	瑪瑙	剥片
L4	4	撹乱	黒耀石	剥片
L4	5	撹乱	石英	剥片
L4	7	FB	黒耀石	剥片
L5	6	FB	黒耀石	石鏃
L10	2	FB	黒耀石	剥片
L10	3	撹乱	頁岩	剥片
L10	4	撹乱	黒色緻密安山岩	剥片
L10	5	FB	頁岩	剥片
L11	7	FB	黒耀石	チップ
L11	10	FB	黒色緻密安山岩	剥片
L11	11	FB	黒耀石	石核
L11	12	FB	黒耀石	剥片
M3	1	FB	黒耀石	チップ
M3	2	FB	黒耀石	チップ
M3	3	FB	黒耀石	チップ
M3	4	FB	黒耀石	剥片
M3	5	FB	黒耀石	チップ
M3	6	FB	黒耀石	チップ
M3	7	FB	黒耀石	チップ
M3	8	FB	黒耀石	チップ
M3	9	FB	黒耀石	チップ
M3	10	FB	黒色緻密安山岩	剥片
M3	11	FB	黒耀石	剥片
M4	1	FB	黒耀石	チップ
M4	2	FB	黒耀石	チップ
M4	3	FB	黒耀石	チップ
M4	4	FB	黒耀石	チップ
M4	5	FB	黒耀石	チップ
M4	6	FB	黒耀石	チップ
M4	7	FB	黒耀石	チップ
M4	8	FB	黒耀石	チップ
M4	9	FB	黒耀石	剥片
M4	10	FB	黒耀石	チップ
M4	11	FB	黒耀石	チップ
M4	12	FB	黒耀石	チップ
M4	13	FB	黒耀石	チップ
M4	14	FB	黒耀石	チップ
M4	15	FB	黒耀石	剥片
M4	16	FB	黒耀石	チップ
M4	17	FB	黒耀石	チップ
M4	18	FB	黒耀石	チップ
M4	19	FB	黒耀石	チップ
M4	20	FB	黒耀石	チップ
M4	21	FB	黒耀石	チップ
M4	22	FB	黒耀石	チップ
M4	23	FB	黒耀石	チップ
M4	24	FB	黒耀石	チップ
M4	25	FB	黒耀石	チップ
M4	26	FB	黒耀石	チップ
M4	27	FB	黒耀石	チップ
M4	28	FB	黒耀石	チップ
M4	29	FB	黒耀石	チップ
M4	30	FB	黒耀石	チップ
M4	31	FB	黒耀石	チップ
M4	32	FB	黒耀石	チップ
M4	33	FB	黒耀石	チップ
M4	34	FB	黒耀石	チップ
M4	35	FB	黒耀石	チップ
M4	36	FB	黒耀石	チップ
M4	37	FB	黒耀石	チップ
M4	38	FB	黒耀石	チップ
M4	39	FB	黒耀石	チップ
M4	40	FB	黒耀石	チップ
M4	41	FB	黒耀石	剥片
M4	42	FB	黒耀石	チップ
M4	43	FB	黒耀石	チップ
M4	44	FB	黒耀石	チップ
M4	45	FB	黒耀石	チップ
M4	46	FB	黒耀石	チップ

ｸﾞﾘｯﾄ	遺物番号	層位	石材	器種
M4	47	FB	黒耀石	チップ
M4	48	FB	黒耀石	チップ
M4	49	FB	黒耀石	チップ
M4	50	FB	黒耀石	チップ
M4	51	FB	黒耀石	チップ
M4	52	FB	黒耀石	チップ
M4	53	FB	黒耀石	チップ
M4	54	FB	黒耀石	チップ
M4	55	FB	黒耀石	チップ
M4	56	FB	黒耀石	剥片
M4	57	FB	黒耀石	剥片
M4	58	FB	黒耀石	チップ
M4	59	FB	黒耀石	チップ
M4	60	FB	黒耀石	剥片
M4	61	FB	黒耀石	剥片
M4	62	FB	黒耀石	チップ
M4	63	FB	黒耀石	チップ
M4	64	FB	黒耀石	チップ
M4	65	FB	黒耀石	チップ
M4	66	FB	黒耀石	チップ
M4	67	FB	黒耀石	チップ
M4	68	FB	黒耀石	チップ
M4	69	FB	黒耀石	チップ
M4	70	FB	黒耀石	チップ
M4	71	FB	黒耀石	チップ
M4	72	FB	黒耀石	チップ
M4	73	FB	黒耀石	チップ
M4	74	FB	黒耀石	チップ
M4	75	FB	黒耀石	チップ
M4	76	FB	黒耀石	チップ
M4	77	FB	黒耀石	チップ
M4	78	FB	黒耀石	チップ
M4	79	FB	黒耀石	チップ
M4	80	FB	黒耀石	チップ
M4	81	FB	黒耀石	チップ
M4	82	FB	黒耀石	チップ
M4	83	FB	黒耀石	チップ
M4	84	FB	黒耀石	チップ
M4	85	FB	黒耀石	チップ
M4	86	FB	黒耀石	チップ
M4	87	FB	黒耀石	チップ
M4	88	FB	黒耀石	チップ
M4	89	FB	黒耀石	チップ
M4	90	FB	黒耀石	チップ
M4	91	FB	黒耀石	チップ
M4	92	FB	黒耀石	チップ
M4	93	FB	黒耀石	チップ
M4	94	FB	黒耀石	チップ
M4	95	FB	黒耀石	チップ
M4	96	FB	黒耀石	剥片
M4	97	FB	黒耀石	チップ
M4	98	FB	黒耀石	チップ
M4	99	FB	黒耀石	チップ
M4	100	FB	黒耀石	チップ
M4	101	FB	黒耀石	チップ
M4	102	FB	黒耀石	チップ
M4	103	FB	黒耀石	チップ
M4	104	FB	黒耀石	チップ
M4	105	FB	黒耀石	チップ
M4	106	FB	黒耀石	チップ
M4	107	FB	黒耀石	チップ
M4	108	FB	黒耀石	チップ
M4	109	FB	黒耀石	チップ
M4	110	FB	黒耀石	チップ
M4	111	FB	黒耀石	チップ
M4	112	FB	黒耀石	チップ
M4	113	FB	黒耀石	チップ
M4	114	FB	黒耀石	チップ
M4	115	FB	黒耀石	チップ
M4	116	FB	黒耀石	チップ
M4	117	FB	黒耀石	チップ
M4	118	FB	黒耀石	チップ
M4	119	FB	黒耀石	チップ
M4	120	FB	黒耀石	チップ
M4	121	FB	黒耀石	チップ
M4	122	FB	黒耀石	チップ
M4	123	FB	黒耀石	チップ
M4	124	FB	黒耀石	チップ
M4	125	FB	黒耀石	チップ
M4	126	FB	黒耀石	チップ
M4	127	FB	黒耀石	チップ
M4	128	FB	黒耀石	チップ
M4	129	FB	黒耀石	チップ
M4	130	FB	黒耀石	チップ
M4	131	FB	黒耀石	チップ

ｸﾞﾘｯﾄ	遺物番号	層位	石材	器種
M4	132	FB	黒耀石	チップ
M4	133	FB	黒耀石	チップ
M4	134	FB	黒耀石	チップ
M4	135	FB	黒耀石	チップ
M4	136	FB	黒耀石	チップ
M4	137	FB	黒耀石	チップ
M4	138	FB	黒耀石	チップ
M4	139	FB	黒耀石	チップ
M4	140	FB	黒耀石	チップ
M4	141	FB	黒耀石	チップ
M4	142	FB	輝石安山岩	凹石・敲石
M4	143	FB	黒耀石	チップ
M4	144	FB	黒耀石	チップ
M4	145	FB	黒耀石	チップ
M4	146	FB	黒耀石	チップ
M4	147	FB	黒耀石	チップ
M4	148	FB	黒耀石	チップ
M4	149	FB	黒耀石	チップ
M4	150	FB	黒耀石	チップ
M4	151	FB	黒耀石	チップ
M4	152	FB	黒耀石	チップ
M4	153	FB	黒耀石	チップ
M4	154	FB	黒耀石	剥片
M4	155	FB	黒耀石	剥片
M4	156	FB	黒耀石	チップ
M4	157	FB	黒耀石	チップ
M4	158	FB	黒耀石	チップ
M4	159	FB	黒耀石	チップ
M4	160	FB	黒耀石	チップ
M4	161	FB	黒耀石	チップ
M4	162	FB	黒耀石	チップ
M4	163	FB	黒耀石	チップ
M4	164	FB	黒耀石	チップ
M4	165	FB	黒耀石	チップ
M4	166	FB	黒耀石	チップ
M4	167	FB	黒耀石	チップ
M4	168	FB	黒耀石	チップ
M4	169	FB	黒耀石	チップ
M4	170	FB	黒耀石	チップ
M4	171	FB	黒耀石	チップ
M4	172	FB	黒耀石	チップ
M4	173	FB	黒耀石	チップ
M4	174	FB	黒耀石	チップ
M4	175	FB	黒耀石	チップ
M4	176	FB	黒耀石	チップ
M4	177	FB	黒耀石	チップ
M4	178	FB	黒耀石	チップ
M4	179	FB	黒耀石	チップ
M4	180	FB	黒耀石	チップ
M4	181	FB	黒耀石	剥片
M4	182	FB	黒耀石	チップ
M4	183	FB	黒耀石	チップ
M4	184	FB	黒耀石	チップ
M4	185	FB	黒耀石	チップ
M4	186	FB	黒耀石	チップ
M4	187	FB	黒耀石	チップ
M4	188	FB	黒耀石	チップ
M4	189	FB	黒耀石	チップ
M4	190	FB	黒耀石	チップ
M4	191	FB	黒耀石	チップ
M4	192	FB	黒耀石	チップ
M4	193	FB	黒耀石	チップ
M4	194	FB	黒耀石	チップ
M4	195	FB	黒耀石	剥片
M4	196	FB	黒耀石	チップ
M4	197	FB	黒耀石	チップ
M4	198	FB	黒耀石	チップ
M4	199	FB	黒耀石	チップ
M4	200	FB	黒耀石	チップ
M4	201	FB	黒耀石	チップ
M4	202	FB	黒耀石	チップ
M4	203	FB	黒耀石	チップ
M4	204	FB	黒耀石	チップ
M4	205	FB	黒耀石	チップ
M4	206	FB	黒耀石	チップ
M4	207	FB	黒耀石	チップ
M4	208	FB	黒耀石	チップ
M4	209	FB	黒耀石	チップ
M4	210	FB	黒耀石	チップ
M4	211	FB	黒耀石	チップ
M4	212	FB	黒耀石	チップ
M4	213	FB	黒耀石	チップ
M4	214	FB	黒耀石	チップ
M4	215	FB	黒耀石	チップ
M4	216	FB	黒耀石	チップ
M4	217	FB	黒耀石	チップ

ｸﾞﾘｯﾄ	遺物番号	層位	石材	器種
M4	218	FB	黒耀石	チップ
M4	219	FB	黒耀石	チップ
M4	220	FB	黒耀石	チップ
M4	221	FB	黒耀石	チップ
M4	222	FB	黒耀石	チップ
M4	223	FB	黒耀石	チップ
M4	224	FB	黒耀石	チップ
M4	225	FB	黒耀石	チップ
M4	226	FB	黒耀石	チップ
M4	227	FB	黒耀石	チップ
M4	228	FB	黒耀石	チップ
M4	229	FB	黒耀石	チップ
M4	230	FB	黒耀石	チップ
M4	231	FB	黒耀石	チップ
M4	232	FB	黒耀石	チップ
M4	233	FB	黒耀石	チップ
M4	234	FB	黒耀石	チップ
M4	235	FB	黒耀石	チップ
M4	236	FB	黒耀石	チップ
M4	237	FB	黒耀石	チップ
M4	238	FB	黒耀石	チップ
M4	239	FB	黒耀石	チップ
M4	240	FB	黒耀石	チップ
M4	241	FB	黒耀石	チップ
M4	242	FB	黒耀石	チップ
M4	243	FB	黒耀石	チップ
M4	244	FB	黒耀石	剥片
M4	245	FB	黒耀石	チップ
M4	246	FB	黒耀石	チップ
M4	247	FB	黒耀石	チップ
M4	248	FB	黒耀石	チップ
M4	249	FB	黒耀石	チップ
M4	250	FB	黒耀石	チップ
M4	251	FB	黒耀石	チップ
M4	252	FB	黒耀石	チップ
M4	253	FB	黒耀石	チップ
M4	254	FB	黒耀石	チップ
M4	255	FB	黒耀石	チップ
M4	256	FB	黒耀石	チップ
M4	257	FB	黒耀石	チップ
M4	258	FB	黒耀石	チップ
M4	259	FB	黒耀石	チップ
M4	260	FB	黒耀石	チップ
M4	261	FB	黒耀石	チップ
M4	262	FB	黒耀石	チップ
M4	263	FB	黒耀石	チップ
M4	264	FB	黒耀石	チップ
M4	265	FB	黒耀石	チップ
M4	266	FB	黒耀石	剥片
M4	267	FB	黒耀石	チップ
M4	268	FB	黒耀石	チップ
M4	269	FB	黒耀石	チップ
M4	270	FB	黒耀石	チップ
M4	271	FB	黒耀石	チップ
M4	272	FB	黒耀石	チップ
M4	273	FB	黒耀石	チップ
M4	274	FB	黒耀石	チップ
M4	275	FB	黒耀石	剥片
M4	276	FB	黒耀石	チップ
M4	277	FB	黒耀石	チップ
M4	278	FB	黒耀石	チップ
M4	279	FB	黒耀石	チップ
M4	280	FB	黒耀石	チップ
M4	281	FB	黒耀石	チップ
M4	282	FB	黒耀石	剥片
M4	283	FB	黒耀石	チップ
M4	284	FB	黒耀石	チップ
M4	285	FB	黒耀石	チップ
M4	286	FB	黒耀石	剥片
M4	287	FB	黒耀石	チップ
M4	288	FB	黒耀石	剥片
M4	289	FB	黒耀石	チップ
M4	290	FB	黒耀石	チップ
M4	291	FB	黒耀石	チップ
M4	292	FB	黒耀石	剥片
M4	293	FB	黒耀石	チップ
M4	294	FB	黒耀石	チップ
M4	295	FB	黒耀石	チップ
M4	296	FB	黒耀石	チップ
M4	297	FB	黒耀石	剥片
M4	298	FB	黒耀石	チップ
M4	299	FB	黒耀石	チップ
M4	300	FB	黒耀石	チップ
M4	301	FB	黒耀石	チップ
M4	302	FB	黒耀石	チップ
M4	303	FB	黒耀石	チップ

ｸﾞﾘｯﾄ	遺物番号	層位	石材	器種
M4	304	FB	黒耀石	剥片
M4	305	FB	黒耀石	チップ
M4	306	FB	黒耀石	チップ
M4	307	FB	黒耀石	チップ
M4	308	FB	黒耀石	チップ
M4	309	FB	黒耀石	チップ
M4	310	FB	黒耀石	チップ
M4	311	FB	黒耀石	チップ
M4	312	FB	黒耀石	チップ
M4	313	FB	黒耀石	チップ
M4	314	FB	黒耀石	チップ
M4	315	FB	黒耀石	チップ
M4	316	FB	黒耀石	チップ
M4	317	FB	黒耀石	チップ
M4	318	FB	黒耀石	チップ
M4	319	FB	黒耀石	チップ
M4	320	FB	黒耀石	チップ
M4	321	FB	黒耀石	チップ
M4	322	FB	黒耀石	チップ
M4	323	FB	黒耀石	チップ
M4	324	FB	黒耀石	チップ
M4	325	FB	黒耀石	チップ
M4	326	FB	黒耀石	チップ
M4	327	FB	黒耀石	チップ
M4	328	FB	黒耀石	チップ
M4	329	FB	黒耀石	チップ
M4	330	FB	黒耀石	チップ
M4	331	FB	黒耀石	チップ
M4	332	FB	黒耀石	チップ
M4	333	FB	黒耀石	チップ
M4	334	FB	黒耀石	チップ
M4	335	FB	黒耀石	チップ
M4	336	FB	黒耀石	チップ
M4	337	FB	黒耀石	チップ
M4	338	FB	黒耀石	チップ
M4	339	FB	黒耀石	チップ
M4	340	FB	黒耀石	チップ
M4	341	FB	黒耀石	チップ
M4	342	FB	黒耀石	チップ
M4	343	FB	黒耀石	チップ
M4	344	FB	黒耀石	チップ
M4	345	FB	黒耀石	チップ
M4	346	FB	黒耀石	チップ
M4	347	FB	黒耀石	チップ
M4	348	FB	黒耀石	チップ
M4	349	FB	黒耀石	チップ
M4	350	FB	黒耀石	チップ
M4	351	FB	黒耀石	チップ
M4	352	FB	黒耀石	チップ
M4	353	FB	砂岩	磨石
M4	354	FB	黒耀石	チップ
M4	355	FB	黒耀石	チップ
M4	356	FB	黒耀石	チップ
M4	357	FB	黒耀石	チップ
M4	358	FB	黒耀石	チップ
M4	359	FB	黒耀石	チップ
M4	360	FB	黒耀石	チップ
M4	361	FB	黒耀石	チップ
M4	362	FB	黒耀石	チップ
M4	363	FB	黒耀石	チップ
M4	364	FB	黒耀石	チップ
M4	365	FB	黒耀石	チップ
M4	366	FB	黒耀石	チップ
M4	367	FB	黒耀石	チップ
M4	368	FB	黒耀石	チップ
M4	369	FB	黒耀石	チップ
M4	370	FB	黒耀石	チップ
M4	371	FB	黒耀石	チップ
M4	372	FB	黒耀石	チップ
M4	373	FB	黒耀石	チップ
M4	374	FB	黒耀石	チップ
M4	375	FB	黒耀石	チップ
M4	376	FB	黒耀石	チップ
M4	377	FB	黒耀石	チップ
M4	378	FB	黒耀石	チップ
M4	379	FB	黒耀石	チップ
M4	380	FB	黒耀石	チップ
M4	381	FB	黒耀石	チップ
M4	382	FB	黒耀石	チップ
M4	383	FB	黒耀石	チップ
M4	384	FB	黒耀石	チップ
M4	385	FB	黒耀石	チップ
M4	386	FB	黒耀石	チップ
M4	387	FB	黒耀石	チップ
M4	388	FB	黒耀石	チップ
M4	389	FB	黒耀石	チップ

ｸﾞﾘｯﾄ	遺物番号	層位	石材	器種
M4	390	FB	黒耀石	チップ
M4	391	FB	黒耀石	チップ
M4	392	FB	黒耀石	チップ
M4	393	FB	黒耀石	チップ
M4	394	FB	黒耀石	チップ
M4	395	FB	黒耀石	チップ
M4	396	FB	黒耀石	チップ
M4	397	FB	黒耀石	チップ
M4	398	FB	黒耀石	チップ
M4	399	FB	黒耀石	チップ
M4	400	FB	黒耀石	チップ
M4	401	FB	黒耀石	チップ
M4	402	FB	黒耀石	チップ
M4	403	FB	黒耀石	チップ
M4	404	FB	黒耀石	チップ
M4	405	FB	黒耀石	剥片
M4	406	FB	黒耀石	チップ
M4	407	FB	黒耀石	チップ
M4	408	FB	黒耀石	チップ
M4	409	FB	黒耀石	チップ
M4	410	FB	黒耀石	チップ
M4	411	FB	黒耀石	チップ
M4	412	FB	黒耀石	チップ
M4	413	FB	黒耀石	チップ
M4	414	FB	黒耀石	チップ
M4	415	FB	黒耀石	チップ
M4	416	FB	黒耀石	チップ
M4	417	FB	黒耀石	チップ
M4	418	FB	黒耀石	チップ
M4	419	FB	黒耀石	チップ
M4	420	FB	黒耀石	チップ
M4	421	FB	黒耀石	チップ
M4	422	FB	黒耀石	チップ
M4	423	FB	黒耀石	チップ
M4	424	FB	黒耀石	チップ
M4	425	FB	黒耀石	チップ
M4	426	FB	黒耀石	チップ
M4	427	FB	黒耀石	チップ
M4	428	FB	黒耀石	チップ
M4	429	FB	黒耀石	チップ
M4	430	FB	黒耀石	チップ
M4	431	FB	黒耀石	チップ
M4	432	FB	黒耀石	チップ
M4	433	FB	黒耀石	チップ
M4	434	FB	黒耀石	チップ
M4	435	FB	黒耀石	チップ
M4	436	FB	黒耀石	チップ
M4	437	FB	黒耀石	チップ
M4	438	FB	黒耀石	チップ
M4	439	FB	黒耀石	チップ
M4	440	FB	黒耀石	チップ
M4	441	FB	黒耀石	チップ
M4	442	FB	黒耀石	チップ
M4	443	FB	黒耀石	チップ
M4	444	FB	黒耀石	剥片
M4	445	FB	黒耀石	チップ
M4	446	FB	黒耀石	チップ
M4	447	FB	黒耀石	チップ
M4	448	FB	黒耀石	チップ
M4	449	FB	黒耀石	チップ
M4	450	FB	黒耀石	チップ
M4	451	FB	黒耀石	チップ
M4	452	FB	黒耀石	チップ
M4	453	FB	黒耀石	チップ
M4	454	FB	黒耀石	チップ
M4	455	FB	黒耀石	チップ
M4	456	FB	黒耀石	チップ
M4	457	FB	黒耀石	チップ
M4	458	FB	黒耀石	チップ
M4	459	FB	黒耀石	チップ
M4	460	FB	黒耀石	チップ
M4	461	FB	黒耀石	チップ
M4	462	FB	黒耀石	チップ
M4	463	FB	黒耀石	チップ
M4	464	FB	黒耀石	チップ
M4	465	FB	黒耀石	チップ
M4	466	FB	黒耀石	チップ
M4	467	FB	黒耀石	チップ
M4	468	FB	黒耀石	チップ
M4	469	FB	黒耀石	チップ
M4	470	FB	黒耀石	チップ
M4	471	FB	黒耀石	チップ
M4	472	FB	黒耀石	チップ
M4	473	FB	黒耀石	チップ
M4	474	FB	黒耀石	チップ
M4	475	FB	黒耀石	チップ

ｸﾞﾘｯﾄ	遺物番号	層位	石材	器種
M4	476	FB	黒耀石	チップ
M4	477	FB	黒耀石	チップ
M4	478	FB	黒耀石	チップ
M4	479	FB	黒耀石	チップ
M4	480	FB	黒耀石	チップ
M4	481	FB	黒耀石	チップ
M4	482	FB	黒耀石	チップ
M4	483	FB	黒耀石	チップ
M4	484	FB	黒耀石	チップ
M4	485	FB	黒耀石	チップ
M4	486	FB	黒耀石	チップ
M4	487	FB	黒耀石	チップ
M4	488	FB	黒耀石	チップ
M4	489	FB	黒耀石	チップ
M4	490	FB	黒耀石	チップ
M4	491	FB	黒耀石	チップ
M4	492	FB	黒耀石	チップ
M4	493	FB	黒耀石	チップ
M4	494	FB	黒耀石	チップ
M4	495	FB	黒耀石	チップ
M4	496	FB	黒耀石	チップ
M4	497	FB	黒耀石	チップ
M4	498	FB	黒耀石	チップ
M4	499	FB	黒耀石	チップ
M4	500	FB	黒耀石	チップ
M4	501	FB	黒耀石	チップ
M4	502	FB	黒耀石	チップ
M4	503	FB	黒耀石	チップ
M4	504	FB	黒耀石	チップ
M4	505	FB	黒耀石	チップ
M4	506	FB	黒耀石	チップ
M4	507	FB	黒耀石	チップ
M4	508	FB	黒耀石	チップ
M4	509	FB	黒耀石	チップ
M4	510	FB	黒耀石	チップ
M4	511	FB	黒耀石	チップ
M4	512	FB	黒耀石	チップ
M4	513	FB	黒耀石	チップ
M4	514	FB	黒耀石	チップ
M4	515	FB	黒耀石	チップ
M4	516	FB	黒耀石	チップ
M4	517	FB	黒耀石	チップ
M4	518	FB	黒耀石	チップ
M4	519	FB	黒耀石	チップ
M4	520	FB	黒耀石	チップ
M4	521	FB	黒耀石	チップ
M4	522	FB	黒耀石	チップ
M4	523	FB	黒耀石	チップ
M4	524	FB	黒耀石	チップ
M4	525	FB	黒耀石	チップ
M4	523	FB	黒耀石	チップ
M4	524	FB	黒耀石	チップ
M4	525	FB	黒耀石	チップ
M4	526	FB	黒耀石	チップ
M4	527	FB	黒耀石	チップ
M4	528	FB	黒耀石	チップ
M4	529	FB	黒耀石	チップ
M4	530	FB	黒耀石	チップ
M4	531	FB	黒耀石	チップ
M4	532	FB	黒耀石	チップ
M4	533	FB	黒耀石	チップ
M4	534	FB	黒耀石	剥片

ｸﾞﾘｯﾄ	遺物番号	層位	石材	器種
M4	535	FB	玄武岩質溶岩	磨石・敲石
M4	536	FB	玄武岩質溶岩	磨石・敲石
M4	537	FB	黒耀石	チップ
M4	538	FB	黒耀石	チップ
M4	539	FB	黒耀石	チップ
M4	540	FB	黒耀石	チップ
M4	541	FB	黒耀石	剥片
M4	542	FB	黒耀石	石核
M4	543	FB	黒耀石	チップ
M4	544	FB	黒耀石	チップ
M4	547	FB	玄武岩質溶岩	石皿
M4	548	FB	黒耀石	チップ
M4	549	FB	角閃石安山岩	敲石
M4	550	FB	石英輝石安山岩	石匙
M4	553	FB	玄武岩質溶岩	磨石
M5	1	FB	黒耀石	石鏃
M5	2	撹乱	黒耀石	石鏃
M5	5	FB	黒色緻密安山岩	剥片
M11	1	FB	黒耀石	チップ
M11	2	FB	黒耀石	剥片
M11	37	FB	黒耀石	剥片
M11	38	FB	頁岩	剥片
N3	1	FB	頁岩	剥片
N4	1	撹乱	黒耀石	チップ
N4	2	FB	黒耀石	剥片
N5	1	FB	黒耀石	石鏃
N5	2	FB	黒耀石	剥片
N5	3	FB	黒耀石	石鏃
N5	5	YLU	黒色緻密安山岩	有舌尖頭器
N9	15	FB	黒耀石	剥片
N10	12	FB	黒耀石	剥片
N10	13	FB	頁岩	剥片
N10	14	FB	黒耀石	チップ
N10	23	FB	黒耀石	石鏃
N10	24	FB	頁岩	剥片
N10	25	FB	頁岩	剥片
N10	27	FB	頁岩	剥片
N10	28	FB	チャ･ト	石槍
N10	32	FB	黒耀石	剥片
N10	36	FB	頁岩	剥片
N10	44	FB	輝石安山岩	敲石
N11	1	FB	水晶	剥片
N11	10	FB	頁岩	剥片
N11	11	FB	頁岩	剥片
N11	12	FB	頁岩	剥片
N11	13	FB	頁岩	剥片
N11	30	FB	黒耀石	チップ
N11	31	FB	黒耀石	剥片
N11	32	FB	黒耀石	チップ
N11	33	FB	黒耀石	剥片
N11	37	FB	黒耀石	剥片
O5	1	FB	黒耀石	剥片
O9	2	FB	瑪瑙	剥片
O9	3	FB	頁岩	剥片
O9	4	FB	頁岩	石刃状剥片
O10	4	FB	黒耀石	剥片
O10	5	FB	頁岩	剥片
O10	10	FB	黒耀石	剥片
O10	11	FB	頁岩	剥片

（単位mm.g）

ｸﾞﾘｯﾄ	遺物番号	層位	石材	器種	剥片の種類	使用痕	母岩別	ブロック	最大縦長	最大横長	最大厚	重量	Y（地理座標）	X（地理座標）	H（標高）
E13	1	YLM	黒耀石	ナイフ			HST-1		33	12.5	5	1.2	49	126.435	126.167
E14	1	YLM	黒色緻密安山岩	尖頭器				A	(52)	(40)	(11)	(18.1)	48.47	131.01	126.404
E14	2	YLM	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長	○	HST-1		47	20	7.5	5.6	47.898	131.988	126.313
F5	1	YLM	黒耀石	剥片	2次	○	MUG-3		32	16	3.5	1.7	55.18	42.22	122.391
F6	1	YLM	黒耀石	ナイフ			MUG-1		(15.5)	(13)	(14)	(0.6)	56.98	55.11	123.765
F8	1	YLM	安山岩	剥片	貝殻				26	22	5.3	3.2	59.9	75.93	125.045
F9	1	YLM	黒耀石	ナイフ			HST-2		(30)	(12.5)	(6)	(2.1)	53.74	85.58	125.309
F9	2	YLM	黒耀石	ナイフ			HST-3		(32)	(15)	(4)	(1.1)	53.78	82.78	125.238
F9	3	YLU	頁岩	ナイフ					(35)	(15)	(5)	(2.1)	55.89	87.86	125.115
F9	4	YLU	頁岩	剥片	貝殻				33.5	17	6.1	3.8	56.01	87.93	125.118
F9	5	YLU	黒耀石	尖頭器			HST-2		(21)	(14)	(4.5)	(0.9)	57.18	86.74	125.305
F9	6	YLM	頁岩	石刃状剥片					53.5	27	1.3	11.3	55.64	82.51	124.79
F10	1	YLM	頁岩	剥片	貝殻			E	22	15	6.1	2.4	59.55	97.54	125.619
F10	2	YLM	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			E	62	41	12.2	31.8	58.74	97.6	125.476
F12	1	YLM	頁岩	石刃状剥片				B	16	7.5	4.3	0.6	55.41	114.75	126.116
F12	2	YLM	黒耀石	ナイフ			MUG-3	B	33	20	7	2.7	53.432	110.845	125.898
F12	3	YLM	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長		MUG-1	B	38	17	6.2	2.7	57.824	113.72	126.13
F12	5	YLM	頁岩	石刃状剥片				B	65	35	15	36.8	57.99	111.25	126.03
F12	6	YLM	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			B	38	15	6.5	3	58.87	113.07	126.245
F12	7	YLM	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長	○	MUG-2	B	14	22	4.8	1.3	57.832	111.096	126.028
F12	8	YLM	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長		MUG-2	B	31	14	8	4	56.834	116.957	126.144
F12	9	YLL	黒耀石	ナイフ			MUG-1	B	19	8	7.2	0.7	58.96	115.416	126.182
F12	10	YLL	黒耀石	剥片	石核調	○	MUG-4	B	30	29	9.2	5.3	54.792	117.83	126.018
F12	11	YLL	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長	○	MUG-4	B	23	16	4	1.8	55.349	110.307	125.821
F12	12	YLL	黒耀石	剥片			MUG-4	B	18.5	14	4.2	0.8	53.418	113.609	125.986
F12	13	YLL	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			B	31	19.5	6.6	4.2	51.43	114.05	126.167
F12	14	YLL	頁岩	石刃状剥片				B	66	25	8	12.9	59.3	115.15	125.93
F12	15	YLL	頁岩	剥片	貝殻			B	19	11	3.7	0.8	58.07	115.45	125.896
F12	16	YLL	頁岩	剥片				B	25	16.5	5.2	2.7	54.68	114.5	125.942
F12	17	YLL	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			B	31	9.5	3.2	0.7	55.95	113.1	125.929
F12	18	YLL	頁岩	石刃状剥片				B	70.5	19.8	10.8	16.1	54.31	112.88	126.047
F12	19	YLL	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			B	33	16	7.8	5.1	58.89	114.11	126.039
F12	20	YLL	頁岩	石刃状剥片				B	87.5	32	15	41.1	58.09	110.95	125.84
F13	2	YLM	黒色緻密安山岩	剥片	貝殻			A	32.5	23	5.1	3.9	58.53	119.89	126.429
F13	3	YLM	黒耀石	剥片	2次	○	HST-4	A	32	17	6.2	2.5	58.599	129.496	126.478
F13	4	YLL	黒耀石	ナイフ			MUG-2	B	23.5	11	5.5	0.9	56.128	122.437	126.135
F13	5	YLM	角閃石安山岩	磨石・敲石				A	112.5	90.5	75	1004	56	129	126.251
F13	6	YLL	黒耀石	ナイフ			HAT-2	A	18	21	6.7	2.3	54.749	124.169	126.182
F13	7	YLL	頁岩	剥片	貝殻			A	35	32	8.7	9.7	54.41	127.45	126.263
F13	8	YLU	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			A	36	17	5.9	4	50.02	126.16	126.151
F14	1	YLM	黒耀石	剥片			HAT-2	A	26	21	12.5	5.4	51.668	130.889	126.306
F14	2	YLL	黒耀石	剥片	2次	○	KAS-2	A	24	20.5	7.3	2.5	58.339	137.923	126.234
F14	3	YLU	黒耀石	抉入削器			HST-2		47.5	26.5	11.5	7.5	50.057	133.64	126.488
G4	1	YLM	黒耀石	剥片			HST-2	P	14	9	2.5	0.3	67.37	39.38	122.54
G5	1	YLM	頁岩	石核				P	55	45	36.7	105.1	67.22	41.78	122.93
G5	2	YLM	安山岩	剥片	ﾀﾃ長			P	43	27	5.3	4.8	68.64	42.01	122.956
G5	3	YLM	黒耀石	ナイフ			MUG-1	P	28.5	13.5	6.5	1.7	68.34	41.4	122.95
G5	4	YLM	チャート	剥片			CH-3	P	22	13	5.5	1.2	68.01	40.47	122.783
G5	5	YLM	黒耀石	削器			HAT-2	P	31	38.5	8.5	11.6	62.92	42.23	122.778
G5	6	YLM	黒耀石	楔形石器			KAS-4	P	43	38	15	21.7	67.86	40.1	122.775
G5	7	YLM	黒色緻密安山岩	石核				P	51	55.5	23	60.3	67.9	41.24	122.873
G5	8	YLM	黒耀石	ナイフ			MUG-2	P	31	12	5	1.7	61.38	43.2	122.826
G5	9	YLM	黒耀石	チップ			MUG-1	P	8	11	2.4	0.1	67.45	42.22	122.585
G5	10	YLM	黒耀石	剥片	貝殻	○	MUG-1	P	25	17	3.3	1.1	66.74	40.36	122.613
G5	11	YLM	黒耀石	楔形石器			HST-2	P	27	28.5	15	8.8	66.67	40.4	122.615
G5	12	YLM	黒耀石	チップ			MUG-1	P	20	11	4.5	0.6	66.41	41.49	122.727
G5	13	YLM	黒色緻密安山岩	原石				P	90.5	88.3	59.3	476.4	66.65	41.9	122.714
G5	14	YLM	黒耀石	チップ					7.9	4.5	1.7	0.2	67.14	41.93	122.721
G5	15	YLM	黒色緻密安山岩	石核				P	54	36	26	46.5	67.21	41.8	122.826
G5	16	YLM	頁岩	石核				P	64	47	31	74.4	67.2	41.53	122.664
G5	17	YLM	黒色緻密安山岩	石核				P	52.1	49.9	38.7	101.9	67.89	41.51	122.756
G5	18	YLL	黒耀石	ナイフ			MUG-1	P	28	9.5	3.5	0.7	67.23	41.79	122.621
G6	1	YLM	チャート	剥片	ﾀﾃ長	○	CH-12		27	9	4.4	1.3	65.59	53.8	123.565
G6	2	YLM	チャート	剥片	貝殻		CH-2		21	12	3	0.8	65.69	52.74	123.691
G6	3	YLM	チャート	剥片	ﾀﾃ長	○	CH-8		20	13	2	0.8	67.13	55.67	123.74
G7	1	YLM	黒耀石	チップ					10	3	0.5		61.9	66.73	124.27
G8	1	YLM	頁岩	剥片					29	21.5	8.1	4.9	61.07	79.9	125.255
G8	2	攪乱	頁岩	剥片									61.41	79.29	125.246
G9	1	攪乱	頁岩	剥片									60.25	80.63	125.161
G10	1	YLM	頁岩	剥片				E	20	11	5.5	1.4	60.22	97.44	125.535
G10	2	YLU	頁岩	ナイフ				E	43.5	15	45	3	60.55	97.85	125.547
G10	3	YLU	頁岩	石刃状剥片					70	35	8.8	27.2	60.96	90.65	125.478
G11	1	YLU	頁岩	石刃状剥片				E	61	24	13	15.7	61.44	101.33	125.81
G11	7	YLM	黒色緻密安山岩	剥片	ﾀﾃ長			E	45.3	19.7	8.2	8.7	67.5	104.15	125.902
G11	8	YLM	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			E	64	41	8.2	56.8	66.94	103.52	125.877
G11	9	YLM	黒耀石	剥片	貝殻			E	20	18	6.1	2.1	66.62	103.69	125.815
G11	11	YLM	頁岩	石核				E	55	58	45	166.8	66.3	104.18	125.795
G11	12	攪乱	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			E	52	16	10	6.5	66.2	103.11	125.922
G11	13	攪乱	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			E	54	36	18.6	42.8	65.7	102.98	125.905
G12	1	YLM	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長		MUG-4	C	16	11	1.4	0.4	67.466	115.541	126.426
G12	2	YLM	頁岩		ﾀﾃ長				49	24	4.5	5.7	60.037	110.924	125.988
G12	3	YLL	黒色緻密安山岩		ﾀﾃ長				40	28	10.6	7.9	61.189	115.629	126.204
G12	4	YLL	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長	○	HST-3	C	22	13	3.5	0.9	65.465	115.142	126.318
G12	5	YLL	頁岩						60.5	30	9.6	12.5	69.876	111.38	125.947
G12	7	YLL	黒色緻密安山岩		貝殻				44.5	33	8.9	7.4	61.467	113.003	126.015

（単位mm.g）

ｸﾞﾘｯﾄ	遺物番号	層位	石材	器種	剥片の種類	使用痕	母岩別	ブロック	最大縦長	最大横長	最大厚	重量	Y（地理座標）	X（地理座標）	H（標高）
G12	8	YL	黒耀石	剥片	2次	○	MUG-2	B	22	10	3	0.8	60.794	113.937	126.086
G13	2	YLM	黒耀石	ナイフ			WAD-9	A	(17)	(12)	(5)	(0)	74.389	117.801	126.503
G14	1	YLL	頁岩	石核				A	55	46	40	96.7	62.48	130.22	126.356
H4	1	YLM	黒耀石	石刃状剥片			HST-2	P	41	19.5	7	3.6	30.78	79.85	122.755
H5	1	YLM	黒耀石	剥片			HAT-2	P	20	27	8.7	3.8	45.11	73.43	123.234
H5	2	YLU	黒耀石	石槍			WAD-3	P	51	17	8.5	5.2	46.55	76.93	123.344
H5	3	YLM	黒耀石	剥片	2次	○	HST-1	P	21	15	5.9	1.2	49.04	77.78	123.504
H5	4	YLM	黒色緻密安山岩	剥片	貝殻				25	19	5	2.8	46.94	71.75	122.875
H5	5	YLU	黒耀石	ナイフ			MUG-1	P	(25.5)	(15.5)	(5)	(2)	40.18	72.85	122.835
H6	1	YLM	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長	○	HAT-1		25	20.5	6.9	3	56.13	73.59	123.567
H6	2	YLU	黒耀石	ナイフ			HST-4		41.5	23	7	6.1	52.88	77.49	123.868
H6	4	YLM	黒曜石	ナイフ			WAD-6		(17)	(15.5)	(5)	(1.3)	72.49	105.93	123.83
H7	1	YLM	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長	○	WAD-2		16	12	2.5	0.4	68.53	71.28	123.505
H8	1	YLM	安山岩	剥片					48	25	11	11.5	75.29	76.68	125.002
H8	2	YLM	頁岩	剥片	ﾀﾃ長				18	16.5	3.4	1.3	71.29	75.44	124.912
H10	1	YLU	頁岩	剥片	ﾀﾃ長				50	32	8.6	13.4	98.44	73.89	125.506
H11	1	YLL	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長	○			30	23	5.3	3.6	73.278	105.903	125.955
H11	2	YLL	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			C	45	22	6.2	6.7	78.633	105.069	126.002
H11	3	YLU	頁岩	ナイフ				C	29	14	5.5	1.8	79.005	106.71	126.277
H12	1	YLM	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長		HST-3	C	46	23	6.8	5.3	76.144	124.477	126.519
H12	2	YLM	チャート	剥片			CH-9	C	35	14	9.4	3.4	76.015	121.368	126.341
H12	3	YLM	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			C	43	24	12.5	13.3	74.563	124.588	126.37
H12	4	YLM	黒耀石	チップ	貝殻	○	MUG-4	C	17	10	1.4	0.2	75.156	124.256	126.448
H12	5	YLM	黒耀石	剥片	石核調	○	MUG-4	C	15	17	3.4	0.7	75.986	123.795	126.363
H12	6	YLM	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			C	53	29	21.3	35.3	76.881	124.279	126.443
H12	7	YLM	頁岩	剥片	貝殻			C	23	15	4.4	1.9	74.236	123.551	126.23
H12	8	YLM	珪質頁岩	剥片	ﾀﾃ長			C	45	45	18.2	39.3	75.554	120.571	126.245
H12	9	YLL	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			C	24	12	4.1	1.2	77.003	121.121	126.311
H12	11	YLL	頁岩	石刃状剥片	2次	○			79	37	8.1	23.7	73.874	115.194	126.482
H12	12	YLM	黒耀石	剥片			MUG-2	C	17	21	6.3	1.9	70.889	126.759	126.32
H12	13	YLM	黒耀石	掻器			HST-2	C	19	29.5	7.5	4.9	77.972	126.783	126.573
H12	14	YLM	頁岩	剥片				C	28.5	14	3.4	1.5	74.843	129.227	126.46
H12	15	風倒木痕	頁岩	剥片	ﾀﾃ長				59	26	14.3	15	71.416	124.365	126.337
H12	16	YLM	黒耀石	剥片	貝殻	○	MUG-4	C	22	12	2.6	0.5	71.13	126.519	126.307
H12	17	YLM	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			C	34	17	7.9	3.7	74.24	125.08	126.278
H12	18	YLM	黒色緻密安山岩	剥片	ﾀﾃ長			C	55	22	3.9	5.8	73.785	125.15	126.281
H12	19	YLM	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			C	63	35	10.4	23	73.535	124.96	126.311
H12	20	YLM	黒色緻密安山岩	剥片	貝殻			C	50	34	16.3	24.1	73.54	124.45	126.326
H12	21	YLM	頁岩	チップ				C	16	10	3.9	0.5	73.395	125.365	126.304
H12	22	YLM	頁岩	剥片	貝殻			C	42	36	10.7	14.4	73.015	125.22	126.294
H12	23	YLM	黒耀石	剥片			MUG-2	C	20	12	3.4	0.6	71.035	125.84	126.287
H12	24	YLM	頁岩	石核				C	54.5	51	30	104.4	78.47	123.6	126.328
H12	25	YLM	頁岩	石核				C	54.5	42	27	79.4	78.06	123.47	126.329
H12	26	YLM	頁岩	石刃状剥片				C	66	27	12.8	16.3	77.98	124.39	126.269
H12	27	YLM	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			C	54	17	11.8	7.9	77.71	123.72	126.37
H12	28	YLM	頁岩	剥片				C	60.5	26	14	18.1	77.47	123.6	126.276
H12	29	YLM	頁岩	石核				C	40	54	43	107.5	77.56	125.4	126.378
H12	30	YLM	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			C	27	15	2.9	1.1	75.86	124.555	126.213
H12	31	YLM	黒色緻密安山岩	石核				C	42	62	47	119.8	78.935	111.59	126.18
H12	32	YLM	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			C	39.5	13	5.2	2.7	77.83	113.68	126.122
H12	33	YLM	黒耀石	剥片	石核調	○	MUG-2	C	26	21	6.1	2.2	70.458	116.138	126.29
H12	34	YLM	黒色緻密安山岩	剥片	ﾀﾃ長			C	31	17	3.7	1.7	73.555	115.918	126.195
H12	35	YLM	頁岩	チップ				C	15	11	2.2	0.3	73.757	115.297	126.176
H13	1	YLM	頁岩	剥片					40.5	14.5	5	2.7	76.228	129.571	126.814
H14	1	YLM	黒色緻密安山岩	剥片	ﾀﾃ長				50	25	4.2	4.4	77.288	136.613	126.717
H15	1	YLM	頁岩	石刃状剥片					66	31	14.5	24.5	78.714	144.307	126.902
I4	1	YLM	黒耀石	チップ					1.2	8.9	1.5	0.1	88.87	37.53	123.277
I5	1	YLU	黒耀石	剥片			HST-1	O					89.1	42.55	123.747
I5	2	YLM	黒耀石	尖頭器			HAT-1		36	20.5	8	4.7	84.97	48.22	123.624
I5	3	YLM	黒耀石	剥片	石核調	○	WAD-1		43	19	8	3.3	84.77	42.91	123.335
I5	4	YLM	黒耀石	チップ					8.2	6.1	2.2	0.1	81.05	49.82	123.208
I5	5	YLM	黒耀石	剥片	2次	○	WAD-1		13.5	10	2.5	0.4	82.49	42.31	123.27
I6	6	YLM	黒耀石	チップ					12.5	6.7	3.8	0.3	84.99	41.95	123.259
I5	7	YLM	黒耀石	ナイフ			WAD-1		20.5	19	3.5	0.6	83.2	46.44	123.393
I5	8	YLM	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長		HAT-1		29	25	4.8	3.3	81.68	41.05	123.145
I5	11	YLL	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長	○	HAT-2		35.5	20	8.1	5.8	82.52	42.47	123.059
I5	12	YLL	黒耀石	チップ	2次	○			8.4	5	2	0.1	83.47	41.61	123.019
I6	1	YLM	黒耀石	ナイフ			HST-4		49	19	10	5.8	83.7	53.5	123.68
I7	1	YLM	黒耀石	ナイフ			WAD-1		32	11	6	1.2	85.1	69.62	124.781
I8	1	YLM	黒耀石	剥片			KAS-2		40	23	11.5	7.6	81.93	76.72	124.948
I11	1	YLM	安山岩	敲石				C	77	55	24.5	77.9	82.69	108.71	126.228
I11	2	YLM	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			C	38	27	8.1	8.5	80.99	105.74	126.053
I12	1	YLL	黒色緻密安山岩	剥片	ﾀﾃ長			D	35	28	14.6	11.8	87.758	116.445	126.51
I12	2	YLM	黒色緻密安山岩	剥片	ﾀﾃ長			D	44	18	8	5	87.687	119.332	126.602
I12	3	YLL	黒色緻密安山岩	剥片	ﾀﾃ長			D	40	24	5.5	5.9	86.706	117.403	126.42
I12	4	YLL	黒色緻密安山岩	剥片	貝殻			D	21.5	12.5	5.6	1.2	88.122	116.882	126.471
I12	5	YLM	黒耀石	掻器			HST-2	D	53	35	7.2	14.2	85.521	115.874	126.483
I12	6	YLM	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			D	47	24	6.5	7.6	84.874	115.894	126.477
I12	7	YLL	頁岩	剥片	貝殻			D	50	39	15.4	32.2	87.554	110.804	126.239
I12	9	YLM	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			C	50	42.5	17.3	33.1	80.975	112.11	126.336
I12	10	YLM	頁岩	石核				C	46	52.5	42.5	113.3	83.17	110.24	126.277
I12	11	YLM	頁岩	剥片	貝殻			C	20	14	3.6	1.1	82.73	111.645	126.304
I12	12	YLM	頁岩	剥片	貝殻			C					83.205	111.43	126.273
I12	13	YLM	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			C	27	11.5	2.3	0.8	83.36	111.48	126.202
I12	14	YLM	頁岩	剥片	貝殻			C	23	14	7.3	2.3	83.52	111.07	126.336

（単位mm.g）

ｸﾞﾘｯﾄ	遺物番号	層位	石材	器種	剥片の種類	使用痕	母岩別	ブロック	最大縦長	最大横長	最大厚	重量	Y（地理座標）	X（地理座標）	H（標高）
I12	15	YLM	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			C	59	54	14.7	49.2	83.145	112.075	126.4
I12	16	YLM	輝石安山岩	敲石				C	98	74	54	443.3	82.9	111.9	126.31
I12	17	YLM	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			C	31	15	8.2	3.4	82.8	110.175	126.183
I12	18	YLL	頁岩	石刃状剥片				C	45	17	4.3	3.2	83.619	111.063	126.405
I12	19	YLM	黒耀石	剥片	貝殻	○	MUG-2	D	19	23.5	7.1	2.7	89.774	112.9	126.441
I13	1	YLM	頁岩	石刃状剥片					67	27.5	17	12.5	96.875	126.767	126.844
J4	1	YLU	黒耀石	小型石刃状剥片	ﾀﾃ長		HST-2		34.5	12	3.3	1.1	92.82	37.91	123.327
J4	2	YLU	黒耀石	剥片					1.6	5.7	1.9	0.1	96.49	35.61	123.389
J4	3	YLU	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長	○	HST-2		26	14	2	0.9	91.57	39.03	123.554
J4	4	YLU	黒耀石	剥片	貝殻		HAT-1		20	21	4.2	2.1	92.67	34.73	123.184
J5	1	YLU	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長	○	HST-1		14	17	4.8	2.7	96.85	48.57	124.165
J5	2	YLU	黒耀石	チップ					8.7	5.4	1	0.1	96.82	48.88	124.17
J5	3	攪乱		敲石									94.84	47.29	124.086
J5	4	YLU	黒耀石	チップ	貝殻	○	HST-2	N	16.5	9.5	1.8	0.3	98.96	41.63	123.74
J5	5	YLU	黒耀石	掻器			HAT-2	O	15	14.5	3.8	1	92.71	43.03	123.811
J5	6	YLU	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長	○	HST-1	O	22.5	11	4.8	1.1	95.62	47.33	124.092
J5	7	YLU	黒耀石	剥片	石核調	○	HST-1	O	48	24.5	7.6	7	94.63	45.6	124.193
J5	8	YLU	黒耀石	チップ					13.2	9.5	1.1	0.1	96.16	44.74	123.963
J5	9	YLU	黒耀石	剥片	石核調	○	HST-1	O	38.5	19	6.5	3.2	96.38	49.19	124.161
J5	10	YLU	黒耀石	小型石刃状剥片			HST-1	O	19.5	10	2.1	0.5	95.53	45.55	124.53
J5	11	YLU	黒耀石	ナイフ			HST-2	O	29	11.5	6.5	1.2	97.84	44.91	123.972
J5	12	YLM	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長		HST-1	O	21	17	5.4	1.6	94.81	46.44	124.005
J5	13	YLM	黒耀石	剥片			HST-1	O	32	15	7.3	2.2	95.23	48.11	124.079
J5	14	YLM	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長	○	HST-1	O	11	18	7.1	1.2	93.7	43.88	123.871
J5	15	YLM	黒耀石	チップ			HST-1	O	11	9	1.2	0.1	95.24	44.28	123.871
J5	16	YLM	黒耀石	チップ			HST-1	O			3.1	0.3	96.01	47.54	124.022
J5	17	YLM	黒耀石	チップ			HST-1	O	11	12	2.5	0.3	96.58	48.63	124.086
J5	18	YLM	黒耀石	チップ					8.9	4.6	3.3	0.1	95.58	47.89	124.054
J5	19	YLM	黒耀石	石刃状剥片			HST-1				12.4	13.9	96.15	48.6	124.097
J5	20	YLU	黒耀石	ナイフ			WAD-2	O	30.5	12	4	1.1	96.16	45.94	123.989
J5	21	YLM	黒耀石	チップ			HST-1	O	12	12	3.1	0.3	96.77	46.94	123.958
J5	22	YLM	黒耀石	チップ	貝殻	○	HST-1	O	19	8	6.7	0.6	96.88	48.88	124.056
J5	23	YLM	黒耀石	チップ					4.3	2	5		94.41	46.85	123.963
J5	24	YLM	黒耀石	チップ			HST-1	O	12	10.5			96.78	48.88	124.052
J5	25	YLM	黒耀石	チップ			HST-1	O	11	8	1.4	0.1	97.55	48.56	124.041
J5	26	YLM	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長		HST-1	O	9.5	19	1.7	0.2	97.73	48.58	124.031
J5	27	YLM	黒耀石	剥片	2次	○	HST-1	O	21	12	2.1	0.5	92.43	49.51	124.067
J5	28	YLM	黒耀石	小型石刃状剥片			HST-1	O	24	7	2.2	0.3	93.44	45.43	123.873
J5	29	YLM	黒耀石	ナイフ			WAD-9	O	(17.5)	(9.5)	(5)	(0.9)	92.75	48.41	123.972
J5	30	YLM	黒耀石	剥片	2次	○	HST-1	O	16	22.5	5	1.8	94.88	49.21	124.059
J5	31	YLM	黒耀石	剥片	貝殻		HST-1	O	15	11	2.5	0.5	96.77	48.85	124.048
J5	32	YLM	黒耀石	チップ					12.3	4.8	4.2	0.2	96.51	48.68	124.026
J5	33	YLM	黒耀石	剥片	貝殻		HST-1	O	18.5	14	2.3	0.4	94.39	47.29	123.954
J5	34	YLM	黒耀石	ナイフ			HST-1	O	30	10	9	1.5	95.63	46.84	123.927
J5	35	YLM	黒耀石	剥片	石核調	○	HST-1	O	41	22.5	13.7	12.4	95.68	46.13	123.897
J5	36	YLM	黒耀石	小型石刃状剥片			HST-1	O	17.5	10	1.8	0.3	92.16	46.65	123.891
J5	37	YLM	黒耀石	ナイフ			WAD-2	O	20.9	16.5	6	1.5	94.51	45.36	123.85
J5	38	YLM	黒耀石	チップ			HST-1		8.9	4.6	2.5	0.1	94.52	47.02	123.94
J5	39	YLM	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長	○	HST-1	O	23	21	3.8	1.8	93.12	48.54	123.962
J5	40	YLM	黒耀石	剥片			HST-1	O	63	46	20	45.1	96.5	48.64	123.993
J5	41	YLM	黒耀石	チップ				O	0.8	7.6	1.3	0.1	96.73	48.23	123.961
J5	42	YLM	黒耀石	剥片	貝殻		HST-1	O	19	13	3.4	0.6	97.31	49.58	124.023
J5	43	YLM	黒耀石	チップ					10	9.5	1.2	0.1	97.3	48.84	123.985
J5	44	YLM	黒耀石	剥片			HST-1	O	26.5	38	6.5	4.8	92.14	47.4	123.858
J5	45	YLM	黒耀石	チップ			HST						96.54	48.66	123.999
J5	46	YLM	黒耀石	剥片			HST-1	O	15	22.5	3.3	1	95.78	48.7	123.966
J5	47	YLM	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長	○	HST-1	O	26	14.5	4.5	1.2	96.14	49.52	124.025
J5	48	YLM	黒耀石	剥片			HST-1	O	17	12	3.2	0.5	96.15	48.67	123.981
J5	49	YLM	黒耀石	チップ			HST-1	O	10	9	1.8	0.2	96.41	49.05	123.986
J5	50	YLM	黒耀石	チップ			HST-1	O	12.5	9	2	0.3	96.25	49.06	124.01
J5	51	YLM	黒耀石	チップ					5.9	5.7	1.2	0.1	96.57	48.93	123.981
J5	52	YLM	黒耀石	チップ				O	12.7	5.9	1.5	0.1	96.66	48.17	123.976
J5	53	YLM	黒耀石	チップ			HST-1	O	11	15	2.3	0.3	95.46	48.21	123.935
J5	54	YLM	黒耀石	ナイフ			HST-1	O	19	13	3.5	0.7	91.67	49.47	123.932
J5	55	YLM	黒耀石	剥片	2次	○	HST-1	O	16	20	3.3	1	95.68	48.47	123.96
J5	56	YLM	黒耀石	ナイフ			HST-1	O	37	23	7	2.9	91.52	46.86	123.788
J5	57	YLM	黒耀石	剥片	石核調	○	HST-1	O	40	27	7.7	4.3	90.73	46.21	123.745
J5	58	YLM	黒耀石	チップ					10.1	2.7	1.4	0	96.13	48.37	123.958
J5	59	YLM	黒耀石	剥片			HST-1	O	30.9	22.6	6	2.9	96.62	48.2	123.945
J5	60	YLM	黒耀石	小型石刃状剥片			HST-1	O	17	6	1.6	2	95.74	49.02	123.931
J5	61	YLM	黒耀石	剥片			HST-1	O	38	36	6.5	5.4	96.56	49.34	122.924
J5	62	YLM	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長	○	HST-1	O	22	24	5.9	3.2	97.61	48.21	122.924
J5	63	YLM	黒耀石	小型石刃状剥片			HST-1	O	19	8	1.2	0.2	96.59	48.45	123.877
J5	64	YLM	黒耀石	剥片			HST-1	O					95.38	47.66	123.891
J5	65	YLM	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長	○	HST-1	O	29	8	3.8	1.2	91.79	47.01	123.779
J5	66	YLM	黒耀石	剥片	石核調	○	HST-1	O	30	13	4.9	1.1	94.53	46.74	123.839
J5	67	YLM	黒耀石	剥片			HST-1		18.5	12.5	3.2	0.5	96.1	48.41	123.902
J5	68	YLM	黒耀石	チップ			HST-1	O	17.6	4	1.7	0.2	96.59	48.11	123.915
J5	69	YLM	黒耀石	チップ					9.7	4.1	1.5	0.1	94.3	45.87	123.778
J5	70	YLL	黒耀石	小型石刃状剥片				O	25	14	2.1	0.7	96.43	48.09	123.787
J5	71	YLL	黒耀石	剥片			HST-1	O	34	26	6	3.2	96.87	49.38	123.802
J5	72	YLL	黒耀石	チップ			HST-1	O	6	11.5	1.9	0.2	95.39	47.23	123.697
J5	73	YLL	黒耀石	チップ			HST-1	O	9	11.5	2.6	0.2	96.05	48.15	123.721
J5	74	YLL	黒色緻密安山岩	剥片				O	31	35.5	7.4	8.3	96.56	48.93	123.73
J5	76	風倒木痕	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長	○	HST-1	O	63	38	12.2	18.6	96.37	47.68	123.279

（単位mm．g）

ｸﾞﾘｯﾄ	遺物番号	層位	石材	器種	剥片の種類	使用痕	母岩別	ブロック	最大縦長	最大横長	最大厚	重量	Y（地理座標）	X（地理座標）	H（標高）
J6	1	YLU	黒耀石	チップ			HST-1	O	9	11.5	3.3	0.3	92.64	50.45	124.127
J6	2	YLU	黒色緻密安山岩	ナイフ				O	38.5	19	7	4.5	95.42	57.47	124.455
J6	3	YLU	黒色緻密安山岩	ナイフ				O	40	21	6	4.6	93.73	55.36	124.368
J6	4	YLU	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			O	59.5	30	8.8	16.6	91.93	57.52	124.421
J6	5	YLM	黒耀石	剥片			HST-1	O	17.5	8.5	1.8	0.2	94.66	50.15	124.099
J6	6	YLM	黒耀石	剥片	2次	○	MUG-4	O	24	13	6	1.1	91.85	52.56	124.137
J6	7	YLU	黒色緻密安山岩	ナイフ				O	(49)	(20.5)	(12)	(10)	94.79	56.26	124.334
J6	8	YLU	黒色緻密安山岩	チップ				O	14	9	5.9	0.5	95.31	56.63	124.838
J6	11	YLM	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			O	45.5	42	9.1	14.9	97.12	53.13	124.178
J6	12	YLM	黒耀石	剥片	石核調		HST-1	O	23	22	6.2	2.5	96.64	51.93	124.037
J6	13	YLM	黒耀石	掻器			HAT-4	O	29	21.5	11	5.2	96.95	56.13	124.061
J6	14	YLM	黒耀石	剥片			HST-1	O	25	21.5	4	2	90.41	51.34	123.827
J6	15	YLL	黒耀石	剥片	貝殻		HST-1	O	15	15	1.8	0.4	96.05	50.4	123.821
J6	16	YLL	黒耀石	剥片	貝殻		HST-1	O	17.5	13	2.5	0.6	96.35	50.05	123.735
J6	17	YLM	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			O	55	29	9.6	12.6	98.57	59.71	124.475
J7	1	YLU	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長		HST-2		22	21	9.8	3.9	96.26	69.95	125.03
J7	2	YLU	瑪瑙	剥片					23	18	9.5	3.1	95.45	65.03	124.764
J7	3	YLU	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長		KAS-3		30	27	10	6.7	92.73	61.05	124.5
J8	1	YLU	黒耀石	掻器			WAD-5		20	15	5	1.2	93.33	73.94	125.23
J8	2	YLM	頁岩	ナイフ					29	13	6	2.1	94.62	75.86	125.074
J8	3	YLM	黒耀石	剥片	貝殻	○	HST-1		20	18	5.3	1.2	93.73	72.01	124.993
J9	1	YLU	頁岩	剥片					22	12	7.6	1.8	98.17	80.82	125.525
J9	2	YLU	頁岩	剥片	ﾀﾃ長				48.5	32	14.8	28.2	98.15	80.76	125.55
J12	1	YLM	黒耀石	チップ			KAS	D	18	9	4.5	0.7	93.703	116.809	126.952
J12	2	YLL	黒色緻密安山岩	剥片	ﾀﾃ長			D	26	10	3.5	0.8	96.463	113.507	126.446
J12	3	YLM	黒耀石	剥片	2次	○	HST	D	23	16	2.2	0.9	90.96	111.934	126.489
J12	6	YLM	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長		MUG-4	D	24	16	5	1.8	97.44	119.61	126.801
J12	7	YLM	黒耀石	剥片			HST	D	26	19	5.3	3	97.345	119.855	126.754
J12	8	YLM	黒色緻密安山岩	剥片				D	56	27	15	16.9	96.275	119.375	126.909
J12	9	YLM	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長	○	MUG-1	D	20	23	4.6	1.8	95.755	119.56	126.801
J12	10	YLM	輝石安山岩	敲石					80	52.5	44	221.4	95.12	119.4	126.75
J12	11	YLU	頁岩	石刃状剥片				D	75	27	12.8	25.3	95.55	119.84	126.941
J12	12	YLU	黒耀石	剥片			MUG-2	D	23	17	2.6	3.6	94.71	119.74	126.889
J12	13	YLM	頁岩	剥片	貝殻			D	42	36	11.8	15.8	94.14	119.815	126.917
J12	14	YLM	黒色緻密安山岩	剥片	貝殻			D	17	12.5	2.6	0.6	94.12	119.37	126.749
J12	15	YLM	黒色緻密安山岩	剥片	貝殻			D	18.5	17	2.5	0.7	92.825	119.81	126.796
J12	16	YLM	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長		HST-2	D	19.5	12.5	3.3	0.7	91.051	117.048	126.67
J12	17	YLM	黒耀石	ナイフ			HST-1	D	28.5	13.5	4.5	1.1	92.236	116.635	126.857
J12	18	YLM	黒耀石	ナイフ			MUG-7	D	28	11	3.5	1.4	94.751	116.568	126.701
J12	19	YLM	黒色緻密安山岩	剥片	ﾀﾃ長			D	36	34	13.5	12.3	92.689	115.854	126.706
J12	20	YLM	黒色緻密安山岩	剥片	ﾀﾃ長			D	49	40	8.1	9	92.298	116.611	126.834
J12	21	YLM	輝石安山岩	磨石・敲石				D	68.5	77.5	53.5	419.3	95.74	119.99	126.767
J13	1	YLU	黒耀石	ナイフ			HST-1	D	31.5	11	6	1.1	92.702	121.773	127.022
J13	2	YLM	角閃石安山岩	剥片	ﾀﾃ長			D	29	16	7	3	95058	121.668	127.025
J13	3	YLU	黒耀石	剥片			MUG-2	D	30	19	16.4	6.5	92.629	122.855	127.035
J13	4	YLU	黒耀石	ナイフ			MUG-4	D	(18)	(12)	(6)	(0.8)	91.278	121.151	126.988
J13	5	YLM	玄武岩質溶岩	敲石				D	90.5	76.5	38.5	326.4	96.86	120.03	126.789
J13	6	YLM	黒耀石	チップ			MUG-4	D	14	11	3.1	0.3	95.82	120.1	126.87
J13	7	YLM	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			D	42	17	9.3	7.1	95.84	120.175	126.775
J13	8	YLM	黒色緻密安山岩	剥片	貝殻			D	17	15	2.6	0.6	95.46	120.41	126.78
J13	9	YLU	黒色緻密安山岩	剥片	ﾀﾃ長			D	35	25	11.5	6.9	95.295	120.32	126.924
J13	10	YLM	輝石安山岩	敲石				D	51	79	52.5	192.6	96.44	121.82	126.831
J13	11	YLM	黒色緻密安山岩	楔形石器				D	36.5	23	10	7.8	95.875	121.735	126.949
J13	12	YLM	黒耀石	チップ			MUG-6	D	15	7	2.4	0.1	95.26	121.29	126.912
J13	13	YLM	頁岩	石核				D	50	38.5	37	73.2	96.69	121.56	126.849
J13	14	YLM	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			D	45	16	8.7	5.8	94.91	120.165	126.769
J13	15	YLM	黒耀石	チップ			MUG-2	D	17	8.5	3.9	0.5	94.62	120.38	126.726
J13	16	YLM	黒耀石	チップ			MUG-4	D	9	14	2.7	0.1	94.59	120.255	126.736
J13	17	YLM	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長		KAS-2	D	20	9	6.8	1.6	94.55	120.135	126.76
J13	18	YLM	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長	○	HST-2		30.5	12	3	0.8	94.235	120.75	126.671
J13	19	YLM	黒耀石	剥片	石核調		KAS-4		31	27	13.5	9.7	92.28	120.21	126.711
J13	20	YLU	黒耀石	剥片	貝殻		MUG-4	D	43	14	5.3	3.5	92.525	121.06	126.887
J13	21	YLM	黒耀石	チップ			HST-1	D	10.5	13	1.4	0.1	92.895	121.665	126.891
J13	23	YLL	黒耀石	剥片	貝殻	○	MUG-4	D	20	27	9.4	3.7	96.601	122.882	126.844
J13	24	YLM	黒耀石	剥片	2次	○	HST-2	D	14	10	4	0.6	99.026	122.052	126.91
J13	25	YLM	頁岩	剥片				D	32	23	15.2	10.6	91.738	122.39	126.726
J13	26	YLL	黒色緻密安山岩	剥片	ﾀﾃ長			D	36	20	8.2	5.9	98.737	122.173	126.821
J13	27	YLM	凝灰質砂岩	礫器				D	96	96.5	51	542.9	98.71	123.96	126.847
J13	28	YLL	角閃石安山岩	磨石・敲石				D	46	64.5	28	82	96.58	128.48	126.88
J14	1	YLM	黒耀石	尖頭器			WAD-5		36	14	510	2.4	91.172	135.286	126.114
J14	2	YLU	黒耀石	削器	ﾀﾃ長		HST-2		41	24	7.8	9.1	94.396	132.276	127.242
J15	1	YLM	頁岩	剥片	ﾀﾃ長				51	20	9.6	9.1	91.005	143.39	126.322
J15	2	YLM	頁岩	剥片	貝殻				25	21	4.9	3	93.823	143.083	126.395
J15	3	YLM	頁岩	チップ	ﾀﾃ長				15	11.5	3.6	0.7	92.591	141.389	126.322
K4	1	YLM	チャート	石核			CH-16	N	15	23	25	5.7	103.05	35.6	123.333
K4	2	YLM	黒耀石	剥片	貝殻	○	MUG-2	N	15.5	15	4.4	0.9	104.45	38.34	123.666
K4	3	YLM	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長	○	HST-1	N	21	16	2.8	1.1	104.78	34.95	123.586
K4	4	YLM	黒耀石	チップ					14.1	6.4	2.6	0.2	105	39.4	123.72
K4	5	撹乱	黒耀石	チップ					10	9.3	1.1	0.1	108.12	38.96	123.791
K4	6	YLM	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長		HST-1	N	23	17	5.4	2	106.53	39.18	123.715
K4	7	YLM	黒耀石	剥片	貝殻	○	KAS-2	N	30.5	16	5.7	2.3	104.81	38.43	123.523
K4	8	YLM	黒耀石	小型石刃状剥片			HST-2	N	28	11	3.5	0.9	105.3	37.8	123.507
K5	1	YLM	黒耀石	チップ					11	7	3	0.3	108.31	40.41	123.945
K5	2	YLM	黒耀石	剥片	2次	○	HST-2	N	21	23	2.4	1.2	105.52	40.58	123.875
K5	3	YLM	黒耀石	チップ					9	5.7	0.8	0	104.03	41.43	123.831

（単位mm.g）

ｸﾞﾘｯﾄ	遺物番号	層位	石材	器種	剥片の種類	使用痕	母岩別	ブロック	最大縦長	最大横長	最大厚	重量	Y（地理座標）	X（地理座標）	H（標高）
K5	4	YLM	黒耀石	剥片			HST-1	N	11	12	1.5	0.2	105.31	41.19	123.912
K5	5	YLM	黒耀石	剥片	貝殻		HST-2	N	18	11	2	0.1	105.41	41.84	123.934
K5	6	YLM	鉄石英	チップ				N	16	12	4.9	0.8	107.51	40.98	123.969
K5	7	YLM	黒耀石	チップ	貝殻		HST-2		14	8	2.4	0.1	107.61	41.51	124.013
K5	8	YLM	黒耀石	チップ					4.7	4.3	0.5	0.1	107.08	42.78	124.074
K5	9	YLM	黒耀石	チップ			HST-2	N	13	11.5	1.6	0.1	106.36	42.78	124.044
K5	10	YLM	黒耀石	チップ	ﾀﾃ長				4.4	4.6	0.3	0.1	105.45	42.68	123.957
K5	11	YLM	黒耀石	ナイフ			HST-2	N	28	13	4	0.9	102.87	42.43	123.847
K5	12	YLM	黒耀石	チップ			HST-1	N	13	7.5	2.2	0.2	106.29	43.51	124.084
K5	13	YLM	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長	○	HST-2	N	19	9.5	3	0.7	106.47	43.9	124.115
K5	14	YLM	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長		HST-2	N	24	11	3.9	0.9	108.33	43.28	124.118
K5	15	YLM	黒耀石	剥片	貝殻	○	HST-2	N	14	12	2.1	0.4	108.43	43.12	124.124
K5	16	YLM	黒耀石	剥片			HST-2	N	15	9	1.9	0.1	107.17	44.1	124.164
K5	17	YLM	チャ･ト	剥片	ﾀﾃ長	○	CH-16		25	18	4	14	107.1	44.5	124.164
K5	18	YLM	黒耀石	チップ					1.1	0.3	0.3		106.59	44.5	124.174
K5	19	YLM	黒耀石	チップ					4.7	4.5	0.8	0.1	105.23	44.17	124.104
K5	20	YLM	黒耀石	剥片			HST-2	N	14	10	6.9	0.7	103.47	44.21	124.045
K5	21	撹乱	黒耀石	楔形石器			HST-2		21	12.5	8	1.8	106.92	45.18	124.202
K5	22	撹乱	黒耀石	チップ					4.6	2.2	1	0	106.57	45.33	124.224
K5	23	撹乱	黒耀石	ナイフ			HST-1	N	29.5	13	5	1.3	105.71	45.36	124.205
K5	25	撹乱	黒耀石	剥片					10.5	5	1.9	0.1	105.15	45.47	124.134
K5	26	撹乱	黒耀石	剥片	石核調	○	HST-3	N	24	12	4.5	2	104.05	45.79	124.139
K5	27	撹乱	黒耀石	掻器			MUG-2	N	45	38	12.4	20.1	103.27	46.43	124.134
K5	28	撹乱	黒耀石	チップ					7.8	3.4	1.6	0.1	104.63	46.11	124.208
K5	29	撹乱	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長	○	HST-2	N	28	13	22	1	105.92	46.21	124.244
K5	30	撹乱	黒耀石	チップ					4.3	3.8	0.8	0	106.49	45.95	124.285
K5	31	撹乱	黒耀石	チップ					6.1	4.4	1.6	0.1	106.54	46.09	124.297
K5	32	YLM	黒耀石	剥片			HST-2		36	11	9.6	2.6	106.28	46.57	124.187
K5	33	撹乱	黒耀石	剥片			HST		18	14	3.6	0.6	106.89	46.81	124.355
K5	34	YLM	黒耀石	楔形石器			HST-2	N	26.5	12.5	11	2.6	108.71	46.33	124.303
K5	35	YLM	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長	○	HST-2	N	24	28	7.1	3.6	107.35	47.62	124.386
K5	36	YLM	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長		HST-3	N	21	12	2.2	0.8	106.4	47.94	124.375
K5	38	YLM	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			N	47	24	11.7	16.5	103.05	48.39	124.133
K5	39	YLM	黒耀石	剥片	貝殻	○	HST-2	N	17	8.5	3.1	0.3	106.63	48.67	124.381
K5	40	YLM	黒耀石	剥片			HST-2	N	21	12	3.8	0.6	108.17	49.39	124.475
K5	41	YLM	黒耀石	剥片			HST-1	N	11.5	7	0.2	0.2	106.35	43.56	124.046
K5	42	YLM	黒耀石	石核			HAT-2	N	36	37	31	44.9	106.22	43.62	124.022
K5	43	YLM	黒耀石	剥片	貝殻		HST-1	N	9.5	20	0.62	1	108.83	42.34	124.022
K5	45	YLM	黒耀石	剥片			HST						101.6	42.22	123.873
K5	46	撹乱	黒耀石	剥片			HST		11	10.5	2.1	0.1	105.62	47.03	124.701
K5	47	YLM	頁岩	剥片	貝殻			N	21	17	7.6	2.1	103.38	46.53	124.105
K5	48	撹乱	黒耀石	ナイフ			HST-2		(27)	(14.5)	(4.5)	(1.4)	109.73	47.23	124.42
K5	49	YLM	黒耀石	剥片			HST-3	N	21.5	9	4.8	0.8	103.56	43.4	123.86
K5	50	YLM	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長		HST-1	N	17	2	0.68	1.5	106.26	43.48	124.401
K5	51	YLM	黒耀石	チップ			HST-2	N					109.83	49.04	124.228
K5	52	YLM（土抗内）	黒耀石	チップ			HST-2	N					109.85	48.89	124.193
K5	53	YLM	黒耀石	チップ			HST-2	N	15	13.5	5	0.9	109.84	49.17	124.251
K5	54	風倒木痕	黒耀石	ナイフ			HST-2	N	26	10.5	5	1	109.73	48	124.292
K5	55	YLM	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長		HST-2	N	24	9	5.2	1	109.65	49.01	124.258
K5	56	風倒木痕	黒耀石	台形様石器			HST-2	N	24.5	20	8.5	3	109.22	47.52	124.261
K5	57	YLM	黒耀石	剥片			HST-2	N	14	11.5	1.9	0.1	109.36	48.78	124.367
K5	58	YLM	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長	○	HST-2	N	18	12	1.7	0.4	109.58	47.07	124.209
K5	59	YLM	黒耀石	剥片	貝殻	○	HST-3	N	14	10	3.7	0.5	102.63	43.4	123.228
K5	60	YLM	黒耀石	剥片	石核調	○	HST-2	N	55	30	10	13.1	107.55	47.7	124.224
K5	61	YLM	黒耀石	剥片			HST-2	N	15	12.5	2.8	0.5	109.43	43.23	124.044
K5	62	YLM	黒耀石	チップ			HST-2	N					109.19	48.28	124.304
K5	63	YLM	黒耀石	石刃状剥片			HST	N	48.5	17	8.5	5	109.47	43.25	124.039
K5	64	YLM	黒耀石	剥片			HST-2	N					105.25	49.26	124.245
K5	66	YLM	黒耀石	剥片	貝殻		HST-2	N	12	7	1	0.1	106.69	41.77	123.899
K5	67	YLM	黒耀石	剥片			WAD		15.5	11	4.9	0.7	108.27	43.1	123.972
K5	68	YLM	黒耀石	剥片			HST-2	N	10	10.5	1.5	0.3	106.33	45.81	124.058
K5	69	YLM	黒耀石	剥片	貝殻		HST-3		20	9	2.1	0.4	105.75	44.87	124.004
K5	70	YLM	チャ･ト	抉入削器			CH-16	N	49	23.5	10	5.7	107.06	48.08	124.2
K5	71	YLM	黒耀石	チップ			HST-2	N					108.55	49.39	124.304
K5	72	YLM	黒耀石	剥片			HST-2	N	19	14	5.3	1.2	109.21	49.64	124.318
K5	73	YLM	黒耀石	剥片			HST-2	N					108.98	48.24	124.274
K5	74	撹乱	黒耀石	剥片			HST		24.5	14.5	1.9	0.6	106.13	43.58	123.955
K5	75	YLM	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長		HST-1	N	18	10.5	0.37	0.6	106.13	43.58	123.99
K5	76	撹乱	黒耀石	チップ					3.7	3.4	0.3	0	106.24	42.65	123.915
K5	77	撹乱	黒耀石	剥片			HST		14	6.5	1.6	0.1	106.46	42.75	123.98
K5	78	撹乱	黒耀石	剥片			HST		13	12	1.2	0.2	106.45	46.06	123.957
K5	79	攪乱	チャ･ト	抉入削器	ﾀﾃ長	○	CH-16	N	32	38	6.5	3.3	106.43	42.57	123.915
K5	80	攪乱	黒耀石	チップ					3.6	2.3	0.3	0.1	106.53	42.65	123.955
K5	81	攪乱	黒耀石	チップ			HST		10.5	8	2.9	0.1	106.09	41.64	123.9
K5	82	攪乱	黒耀石	剥片			HAT-1		11	11	2.3	0.4	107.1	40.87	123.853
K5	83	攪乱	黒耀石	剥片			HAT-1		17.5	12	3.6	1.1			124.26
K5	84	YLM	チャ･ト	ナイフ			CH-2		(18)	(6)	(4.1)	(0.3)			124.221
K5	85	YLM	頁岩	剥片	貝殻				29	15.5	6.1	2.9	104.35	48.5	123.83
K5	86	YLM	チャ･ト	楔形石器			CH-5	N	21	13	7	1.5	104.91	41.01	123.674
K5	87	YLM	黒耀石	剥片			HST-1	N	8	12	0.3	0.3	108.53	41.68	123.758
K5	88	YLM	黒耀石	剥片	2次	○	HST-1	N	23	14	0.6	1.3	105	40.87	123.674
K5	89	YLM	黒耀石	剥片			HST-2	N					105.23	40.87	123.731
K5	90	YLM	黒耀石	チップ					10.5	4.5	1.1	0.1	109.09	40.6	124.084
K5	91	YLM	黒耀石	チップ					9.2	6.5	1	0.2	108.34	44.32	124.28
K5	92	YLM	黒耀石	剥片			HST-2	N	20	14	1.7	0.4	109.86	49.86	124.386

（単位mm.g）

ｸﾞﾘｯﾄ	遺物番号	層位	石材	器種	剥片の種類	使用痕	母岩別	ブロック	最大縦長	最大横長	最大厚	重量	Y（地理座標）	X（地理座標）	H（標高）
K5	93	YLL	黒耀石	剥片	石核調	○	HST-2	N	35	15	6.1	2.2	106.77	45.68	123.967
K5	94	YLM（土坑内）	頁岩	剥片					24	20	6.7	2.6	104.65	46.91	123.828
K5	95	YLL	黒耀石	ナイフ			HAT-3		33.5	20	9	5.7	104.86	41.41	123.627
K5	96	YLL	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長	○	HST-2	N	30	24	3.4	1.6	104.03	41.85	123.623
K5	97	YLM	黒耀石	ナイフ			HST-2	N	35	10	8	0.8	108.82	46.42	124.044
K5	98	YLM	黒耀石	剥片	2次	○	HST-2	N	23	14	3.7	1	108.89	47.38	124.071
K5	99	風倒木痕中	黒耀石	剥片			HAT-1		23	18	7.1	2.8	109.09	47.31	123.826
K5	100	風倒木痕中	黒耀石	剥片			WAD-7		20	12	5.6	1	108.85	47.41	123.845
K5	101	YLL	黒耀石	剥片			HST-2	N	15	12	3.2	0.7	106.29	43.76	123.814
K5	102	風倒木痕中	黒耀石	ナイフ			HST-2		32	12	4	1.1	109.72	47.75	123.92
K5	103	攪乱	黒耀石	剥片	貝殻	○	HST-2		26	16	6.9	2.4	109.34	47.7	123.826
K5	104	攪乱	黒耀石	チップ					7.5	5.5	3.2	0.2	108.85	46.41	123.843
K5	105	攪乱	角閃石安山岩	磨石・敲石				N	99	75.2	41	336.9	109.93	47.55	123.918
K5	107	YLL	黒耀石	剥片	2次	○	HST-2	N	31	22	6.9	2.9	108.67	42.6	123.711
K5	119	YLM	角閃石輝石安山岩	磨石・敲石				N	100.5	81	44	418.6	109.66	47.58	124.029
K5	121	YLM	角閃石輝石安山岩	磨石・敲石					51.5	26	40.5	87			
K6	1	攪乱	チャ-ト	掻器			CH-14	N	90	62	22	90	107.16	51.6	124.554
K6	2	YLU	黒耀石	ナイフ			HAT-2	M	22.5	14	7	1.1	105.87	57.91	124.744
K6	3	YLU	黒色緻密安山岩	剥片				N	11	7	4.2	0.5	107.06	51.82	124.528
K6	4	YLU	黒耀石	剥片			WAD						104.23	52.11	124.3
K6	5	YLU	黒耀石	掻器			ONB-1	M	32	16.5	16	7.5	109.3	57.32	124.964
K6	6	YLU	黒耀石	削器・抉入削器			HST-2	N	32	20.5	7	5.4	107.6	51.96	124.469
K6	7	YLU	黒耀石	台形様石器			HST-2	N	29.5	19	4.5	2.8	104.35	50.22	124.248
K6	8	YLM	黒耀石	剥片	貝殻		HAT-2	N	24.5	12.5	4.5	1.6	100.01	50.4	124.109
K6	9	YLM	チャ-ト	剥片	石核調		CH-16	N	14.5	15.5	23	4.8	105.39	50.2	124.189
K6	10	YLM	黒色緻密安山岩	石核				N	26	21	22	15.6	106.53	50.77	124.267
K6	11	YLU	黒耀石	チップ	ﾀﾃ長		HST-2	N	12	8	2.5	0.2	109.53	54.91	124.559
K6	12	YLM	チャ-ト	石刃器状剥片	ﾀﾃ長	○	CH-16	N	44	18	6	3.9	109.79	50.23	124.415
K7	1	YLU	水晶	剥片	ﾀﾃ長	○			27	23	3.5	2.8	107.77	63.5	124.769
K7	2	YLU	頁岩	剥片	ﾀﾃ長	○		M	47.5	30	19.3	32.9	105.81	61.43	124.219
K7	3	YLU	黒耀石	剥片			ONB	M	12	12	1.8	0.4	108.07	60.92	124.729
K7	7	YLU	黒耀石	剥片			WAD-1		13	7.5	1.2	0.1	100.2	68.92	124.973
K7	8	YLM	黒耀石	剥片	貝殻		WAD-5		13	13	4.2	0.7	100.7	69.13	124.83
K7	9	YLL	黒耀石	ナイフ			MUG-2		26	16	4.5	1.3	105.63	66.73	124.471
K9	1	YLL	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			H	25.5	27.5	11.2	7.9	108.37	86.35	125.71
K9	2	YLL	頁岩	剥片					22.5	24	7.8	4.2	102.02	81.71	125.365
K12	2	YLL	黒耀石	剥片			MUG-4		27	20	4.7	1.9	100.73	116.378	126.755
K12	3	YLU	頁岩	剥片				D	37	30	18.2	23	101.34	119.732	127.068
K12	4	YLM	輝石安山岩	磨石・敲石					63	77.5	56	348	100.58	113.48	126.485
K13	1	YLM	頁岩	石核				D	63	29.5	26	55.5	100.433	121.186	126.933
K13	2	YLM	黒耀石	削器			MUG-4	D	37	27.5	10	10.7	100.672	121.164	126.795
K14	1	YLM	黒耀石	石核			HAT-1	F	47	39	24.1	37.1	109.299	133.715	127.308
K14	2	YLM	黒耀石	チップ			HAT-1	F	25	9	7	1.7	109.023	134.384	127.319
K14	3	YLM	黒耀石	剥片			HAT-1	F	18	12	6.8	1.3	109.483	134.505	127.318
K14	4	YLM	黒耀石	剥片	貝殻	○	HAT-1	F	15	9.5	3	0.3	109.953	134.447	127.423
K14	5	YLM	黒耀石	剥片	貝殻		HAT-1	F	22.5	13.5	3.2	1.8	108.937	132.974	127.314
K14	7	YLL	黒耀石	剥片	貝殻	○	MUG-5	F	19	16	2.9	0.6	108.792	132.227	127.256
K14	8	YLL	黒耀石	チップ			MUG-4	F					109.86	134.628	127.25
K14	9	YLL	黒耀石	チップ			MUG-2	F	15	9.5	3.1	0.4	109.76	133.289	127.256
K14	10	YLM	角閃石安山岩	磨石・敲石					71.5	6.9	28.5	180.8	103.567	133.123	127.197
L4	1	YLL	チャ-ト	剥片	ﾀﾃ長	○	CH-16		26	13.5	4	1.2	113.68	32.76	123.483
L4	2	YLU	黒耀石	ナイフ			HST-2	N	29.5	8.5	5	1.6	111.2	33.76	123.616
L5	1	YLM	黒耀石	小型石刃状剥片			HST-2	N	23	10	1.5	0.4	112.32	46.17	124.546
L5	2	YLM	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長	○	HST-3	N	18	21	5.5	2	115.11	47.86	124.583
L5	3	YLM	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長	○	HST-2	N	30	41	18	16.9	113.13	49.07	124.598
L5	4	YLM	黒耀石	剥片	石核調		HST-2	N	14	10	1.2	0.1	112.53	48.67	124.614
L5	5	YLM	チャ-ト	チップ			CH-4		18	12.5	4.9	0.7	111.76	48.83	124.603
L5	7	YLM	黒耀石	チップ			HST-2	N	17	6	2.2	0.1	112.98	43.38	124.342
L5	8	YLM	黒耀石	ナイフ			HST-2	N	(24)	(16)	(4)	1	116.89	44.53	124.522
L5	9	YLM	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長	○	HST-2	N	19	11	3.5	0.7	110.48	46.98	124.428
L5	10	YLM	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長	○	HST-2	N	18	14	5.2	1.1	110.63	47.12	124.456
L5	11	YLM	黒耀石	チップ					7.7	6.3	2.2	0.1	110.32	48.63	124.484
L5	12	YLM	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長		HST-2	N					111.95	45.33	124.407
L5	13	YLM	黒耀石	小型石刃状剥片			HST-2	N	12	6	2.7	0.1	112.36	48.96	124.507
L5	14	YLM	黒耀石	剥片	貝殻	○	HST-2	N	39	38	11.1	11.6	111.5	49.38	124.473
L5	15	YLM	頁岩	剥片	ﾀﾃ長				20	22	5.7	3.3	112.12	48.57	124.508
L5	16	YLM	黒耀石	小型石刃状剥片			HST-2	N	28	13.5	2	0.5	111.16	49.98	124.532
L5	17	YLM	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長	○	HST-1	N	32	18.5	0.43	2.2	116.94	48.17	124.038
L5	18	YLM	黒耀石	剥片	貝殻	○	HST-2	N	20	15	5.2	1.2	111.55	48.33	124.451
L5	19	YLM	チャ-ト	剥片	ﾀﾃ長	○	CH-16	N	43	19	7	3.4	111.66	45.96	124.359
L5	20	YLU	黒耀石	剥片			HST-2	N	21	12	2.7	0.4	110.42	49.93	124.542
L5	21	YLU	黒耀石	チップ					1.1	5.4	1.1	0.1	110.4	49.83	124.475
L5	22	YLU	黒耀石	剥片			HST-2	N	19	11	2.2	0.4	111.11	49.44	124.443
L5	23	YLU	黒耀石	剥片			MUG-2	N	24.5	17	6.7	1.7	112.77	47.33	124.451
L5	24	YLU	黒耀石	剥片			HST-2	N					111.07	47.47	124.36
L5	25	YLM	黒耀石	剥片			HST-2	N	12	14	3.8	0.5	111.18	43.59	124.058
L5	26	YLM	チャ-ト	台形様石器			CH-16	N	22	26	5	2.6	111.24	46.14	124.27
L5	27	YLM	黒耀石	小型石刃状剥片	ﾀﾃ長		HST-2	N	27	6	3.6	0.4	112.82	47.11	124.365
L5	28	YLM	黒耀石	ナイフ			WAD-5	N	39	14	6	2.2	111.17	41.91	123.951
L5	29	攪乱	チャ-ト	石核			CH-15	N	25	42	41	19.7	111.24	46.14	124.27
L5	30	YLU	チャ-ト	剥片			CH-15	N	25	15.5	6.6	2.1	110.43	49.93	124.131
L5	31	YLM	チャ-ト	削器			CH-16	N	39	20	6.5	3.2	110.11	49.63	124.398
L5	32	YLM	チャ-ト	剥片			CH-16	N	21.5	8	2.1	0.4	110.74	49.67	124.328
L5	33	YLM	黒耀石	剥片	貝殻	○	HST-2	N	18.5	17	2	0.6	111.25	49.83	124.424
L5	34	YLL	黒耀石	剥片			HST-3	N	26	19	3.4	1.7	112.4	48.43	124.329

（単位mm.g）

ｸﾞﾘｯﾄ	遺物番号	層位	石材	器種	剥片の種類	使用痕	母岩別	ブロック	最大縦長	最大横長	最大厚	重量	Y（地理座標）	X（地理座標）	H（標高）
L5	35	YLM	頁岩	剥片	ﾀﾃ長				42	33	11.2	14.4			124.282
L5	36	YLM	ﾁｬｰﾄ	剥片	ﾀﾃ長	○	CH-16		21.5	21	3	1.5			124.171
L5	37	YLM	褐鉄鋼	剥片				N	20	13	6.4	1.2	112.15	48.15	124.259
L5	38	YLM	黒耀石	剥片	石核調	○	HST-3		32	20	4.3	2	111.39	47.56	124.325
L5	39	YLM	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長	○	HST-2	N	15	11	4.5	0.5	114.34	45.1	123.946
L5	40	YLM	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長	○	HST-2	N	9.5	10	1.5	0.1	111.76	49.56	123.874
L5	41	YLM	黒耀石	剥片			HST-2	N	31.5	16	8.3	2.6	112.28	45.89	123.948
L5	42	YLM	黒耀石	剥片	2次	○	HST-2	N	24	21	5.6	2.6	112.7	44.62	123.816
L5	43	YLM	黒耀石	剥片	石核調	○	HST-2	N	31	22	12.7	4.9	113.25	43.85	123.768
L5	45	攪乱	黒耀石	剥片	2次	○	HST-2		36	29	8.8	7.1	110.12	45.9	124.419
L5	46	攪乱	黒耀石	剥片			HST		23	19	7.8	2.3	110.37	44.06	124.203
L5	47	YLM	褐鉄鋼	剥片				N	19	13	2.6	0.4	110.97	48.29	124.146
L5	48	YLL	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長	○	HST-2	N	36	21	5.3	3.8	111.94	48.25	124.174
L5	49	風倒木痕	黒耀石	チップ					6.7	6	2.4	0.1	113.83	43.174	123.953
L5	50	YLU(土坑内)	頁岩	有舌尖頭器					37.5	20.5	7.5	6.1	113.54	44.66	123.602
L5	51	風倒木痕	黒耀石	チップ			HST-2		11	10	1.5	0.1	110.17	47.35	123.894
L5	53	YLU	頁岩	石核				N					111.55	49.7	124.488
L5	54	YLU	頁岩	石核				N					111.32	49.5	124.427
L6	1	YLM	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長	○	HST-2	M	42.5	17	19.5	5.8	116.55	58.43	125.007
L6	2	YLM	黒耀石	チップ			HST-2	M	10	7	1.3	0.1	114.66	57.78	124.974
L6	3	YLM	黒耀石	剥片	貝殻	○	HST-2	M	20	15	2.2	0.5	112.07	58.87	124.977
L6	4	YLM	黒耀石	剥片	貝殻		HST-2	M	22	14	4.1	0.8	115.28	52.7	124.721
L6	5	YLM	黒耀石	削器			HST-2	M	67.5	15	15.5	7.1	110.9	56.37	124.75
L6	6	YLM	黒耀石	ナイフ			HST-2	M	32	14.5	7	1.9	113.8	54.43	124.768
L6	7	YLM	黒耀石	チップ			HST-2	M	11	12	2.7	0.3	111.99	55.21	124.713
L6	8	YLM	黒耀石	ナイフ			HST-2	M	26.5	12	4.5	0.9	112.56	55.84	124.751
L6	9	YLM	黒耀石	チップ			HST-2	M	14	10	1.7	0.1	112.66	57.29	124.815
L6	10	YLM	黒耀石	ナイフ			HST-2	M	25	13	2.6	0.7	115.85	58.35	124.843
L6	11	YLM	黒耀石	ナイフ			HST-2	N	23	13	5	1	111.8	50.46	124.485
L6	12	YLM	黒耀石	小型石刃状剥片			HST-2	N	31	21	7.6	2.8	112.05	50.46	124.538
L6	13	YLU	黒耀石	ナイフ			HST-2	M	26	13	7	1.7	112.36	54.96	124.685
L6	14	YLU	ﾁｬｰﾄ	剥片	ﾀﾃ長	○	CH-10	M	60.5	19	5.5	5.4	116.62	52.25	124.681
L6	15	YLU	黒耀石	剥片	貝殻	○	HST-3	N	21.5	16	3.2	0.9	110.85	51.71	124.557
L6	16	YLU	黒耀石	チップ					5	3	0.7		110.36	51.47	124.506
L6	17	YLU	黒耀石	ナイフ			HST-1	N	22	18	7	1.6	110.95	51.3	124.565
L6	18	YLU	黒耀石	小型石刃状剥片			HST-2	N	28	10	2.5	0.6	110.59	50.41	124.481
L6	19	YLM	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長	○	HST-2	N	28	21	5.6	3.4	110.78	51.01	124.439
L6	20	YLM	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長		HST-2	N	20	9	2.1	0.4	110.79	50.06	124.407
L6	21	YLM	ﾁｬｰﾄ	剥片	ﾀﾃ長		CH-16	N	16	16	3	0.8	110.97	50.86	124.479
L6	22	YLM	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長		HST-2	N	24	11	5.3	1.2	111.3	50.65	124.48
L6	23	YLM	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長	○	HST-2	N	34	18	4.7	1.5	113.53	51.32	124.498
L6	24	YLM	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長		HST-2	M	30	18	6.8	3.1	114.57	52.88	124.641
L6	25	YLM	黒耀石	剥片			HST-2	M	13.5	7	1.9	0.1	115.98	52.85	124.576
L6	26	YLM	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長	○	HST-2	M	42	19	15	6.6	115.93	53.58	124.601
L6	27	YLL	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			M	51	40.5	12.7	23.9	116.59	53.49	124.544
L6	28	YLL	ﾁｬｰﾄ	剥片	ﾀﾃ長	○	CH-16	M	30	22	6	3	116.77	51.93	124.484
L6	29	YLM	黒耀石	剥片	石核調	○	HST-2		19.5	26.5	10.7	3.9	119.11	50.06	124.601
L6	30	YLM	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長		HST-2	M	21	12	3.6	0.8	111.83	53.75	124.586
L6	31	YLM	黒耀石	剥片			HST-2	M	22	10	6.5	0.7	112.06	54.43	124.589
L6	32	YLM	黒耀石	剥片	貝殻	○	HST-2	M	28.5	22	31	1.8	112.34	54.36	124.536
L6	33	YLM	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長	○	HST-2	M	28	19	7.5	3.5	112.25	54.89	124.627
L6	34	YLM	黒耀石	ナイフ			HST-2	M	22	9	4	0.6	112.41	55.45	124.671
L6	35	YLM	黒耀石	剥片	貝殻	○	HST-2	M	12	10	2.4	0.3	112.67	56.73	124.699
L6	37	YLM	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長	○	HST-2	M	39	18	10.9	5.9	113.8	59.67	124.844
L6	40	YLU	黒耀石	剥片			HST-2	M	25	10	3.4	0.4	110.48	56.3	124.685
L6	42	YLU	頁岩	石核				M	95.2	68.2	40.1	329.2	117.73	53.36	124.725
L8	1	YLM	頁岩	ナイフ					35	11.5	6	2.2	111.36	76.69	125.57
L9	1	YLU	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			H	31.5	13.5	6.3	2.7	118.75	87.03	126.261
L9	2	YLU	頁岩	チップ				H	14.5	9	4	0.6	118.43	85.81	126.221
L9	3	YLU	頁岩	剥片	貝殻			H	20.5	15	4.2	1.5	116.16	89.88	126.216
L9	4	YLU	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			H	63	32	9.4	16.7	111.48	87.09	125.936
L9	5	YLU	頁岩	剥片	貝殻			H	31	22	2.7	1.7	113.86	84.54	125.956
L9	6	YLU	頁岩	剥片	貝殻			H	22.5	15	4.2	1.7	110.98	84.85	126.006
L9	7	YLU	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			H	28.5	15	6.8	2.8	117.38	88.39	126.259
L9	8	YLM	頁岩	石刃状剥片	ﾀﾃ長			H	53.5	14	6.3	4.5	116.39	87.22	126.019
L9	9	YLL	ﾁｬｰﾄ	剥片	ﾀﾃ長	○	CH-7	H	35	22	10.7	7.2	117.65	89.18	125.934
L9	10	YLM	輝石安山岩	敲石				H	91.5	66.5	25.5	218.1	115.52	89.6	126.036
L10	1	YLU	頁岩	剥片				H	25.5	10.5	5.5	1.3	119.58	91.93	126.532
L10	6	YLU	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			H	24	10	4.4	1.1	118.47	90.27	126.28
L10	7	YLU	頁岩	剥片	貝殻			H	19.5	15.5	9.1	2.9	118.03	93.42	126.393
L10	8	YLU	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			H	27	12	3.6	1.2	117.53	91.74	126.4
L10	9	YLU	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			H	49.5	29	8.2	13	118.04	93.48	126.392
L10	10	YLU	黒耀石	ナイフ			HST-3	G	(21)	(20)	(4.5)	(1.3)	118.3	98.85	126.582
L10	11	YLM	黒耀石	ナイフ			HST-2	G	(10.5)	(9)	(3)	(0.3)	118.49	99.45	126.445
L10	12	YLM	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			H	24	17	5	2.4	117.4	90.4	126.201
L10	13	YLM	ﾁｬｰﾄ	剥片	貝殻		CH-7	H	15	10.5	2.6	0.5	119.95	93.3	126.361
L10	14	YLM	頁岩	石刃状剥片				H	60.5	26	12	11.2	117.6	90.15	126.24
L10	15	YLM	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			H	32.5	23	7.7	4.4	117.36	90.41	126.215
L10	16	YLU	頁岩	剥片	貝殻			H	28	23.5	7	5	118.53	95.15	126.396
L10	17	YLM	頁岩	剥片				H	20.5	16	10.9	3.3	117.02	94.07	126.255
L10	18	YLM	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			H	24.5	14	6.3	2.6	119.57	92.82	126.323
L10	19	YLM	頁岩	石刃状剥片				H	86	40	18	33.4	118.87	96.54	126.359
L10	20	YLM	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			H	36	25	8.3	8.3	118.41	93.68	126.291
L10	21	YLM	頁岩	剥片				H	22	14	4.4	1.4	118.36	93.43	126.325
L10	22	YLM	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			H	38	19	6.6	4.7	119.19	95.5	126.407

（単位mm.g）

ｸﾞﾘｯﾄ	遺物番号	層位	石材	器種	剥片の種類	使用痕	母岩別	ブロック	最大縦長	最大横長	最大厚	重量	Y（地理座標）	X（地理座標）	H（標高）
L10	23	YLM	頁岩	剥片	貝殻			H	27	20	7.3	4.1	119.38	95.47	126.417
L10	24	YLM	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			H	41	16	7.3	5.5	119.82	96.6	126.436
L10	25	YLM	黒色緻密安山岩	石核				H	38.5	35	22	30.7	118.62	96.4	126.399
L10	26	YLM	頁岩	剥片				H	20	14.6	3.4	1.1	118.93	96.27	126.433
L10	27	YLM	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			H	49	20	5	4.5	116.28	96.13	123.399
L10	28	YLM	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			H	16.5	1.3	5.7	1.3	116.57	96.92	126.429
L10	29	YLM	頁岩	剥片	貝殻			H	15	18	7.4	3.2	117.83	93.89	126.443
L10	30	YLM	頁岩	剥片				H	13.7	8.7	5.5	0.6	118.42	97.08	126.42
L10	31	YLM	頁岩	ナイフ				H	29	13	6	1.7	119.7	96.8	126.343
L10	32	YLM	頁岩	剥片	貝殻			H	12.5	15	4.5	1.4	119.08	93.95	126.199
L10	33	YLM	頁岩	石核				H	38.5	37	21.7	36	118.89	96.27	126.353
L10	34	YLM	頁岩	剥片				H	26	19	8.5	5.4	119.89	94.38	126.316
L10	35	YLM	黒耀石	剥片	2次	○	HST-3	H	16	11.5	2.2	0.4	116.17	96.28	126.276
L10	36	YLM	黒色緻密安山岩	剥片	ﾀﾃ長			H	27	20	5.5	2.7	119.08	94.36	126.136
L10	37	YLM	頁岩	掻器				H	51	35	20	39	119.68	94.71	126.233
L10	38	YLM	頁岩	剥片	貝殻			H	27	22	10	7.6	119.55	94.91	126.25
L10	39	YLL	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			H	30	14	5	2.1	118.38	96.33	126.236
L10	40	YLL	頁岩	ナイフ				H	42	13	6	3.5	119.57	90.95	126.037
L10	41	YLM	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			H	23	18	3.5	2.1	116.25	97.2	126.003
L10	42	YLM	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			H	25	23	6.8	5.4	117.08	92.95	126.136
L11	1	YLU	黒耀石	剥片			HST-2	G	17.5	9.5	1.3	0.2	118.62	100.06	126.611
L11	2	YLU	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長		WAD-8	G	19	10.5	4.1	0.8	117.27	101.58	126.64
L11	3	YLU	黒耀石	剥片	貝殻		HST-3	G	16	12	2.2	0.5	119.07	101.58	126.66
L11	4	攪乱	黒耀石	剥片			HST		19	15.5	1.7	0.6	119.15	103.07	126.66
L11	5	YLM	黒耀石	剥片			HAT-1	G	26	20	9	4	119.122	102.26	126.649
L11	6	YLM	黒耀石	ナイフ			HST-3	G	22	11	4	0.6	117.63	104.13	126.53
L11	8	YLU	黒耀石	ナイフ			HST-3		(25.5)	(21.5)	(4)	(1.5)	118.75	106.49	126.839
L11	9	YLM	黒耀石	ナイフ			HST-1		12	12	4	0.4	118.57	106.57	126.821
L11	13	YLM	黒耀石	抉入削器			HST-3	G	23	15	2.9	0.9	118.19	104.57	126.728
L11	14	YLM	頁岩	石核				G	61	33	23	48.8	118.75	104.96	126.658
L11	15	YLM	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			G	38	25	13.5	18.5	117.74	105.99	126.679
L11	16	YLM	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長		HST-3	G	17	10.5	3.6	0.5	118.38	105.68	126.668
L11	17	YLM	頁岩	剥片	貝殻			G	30.5	18.5	5.6	3.4	118.05	107.48	126.65
L11	18	YLL	頁岩	剥片	貝殻			G	30.5	20.5	7.1	5.4	118.43	108.55	126.664
L12	1	YLM	黒耀石	剥片	貝殻		HAT-1		16	12	3	0.5	119.042	110.795	126.881
M4	551	YLU2号土坑内	ﾁｬｰﾄ	抉入削器			CH-7		22	9	3	2.8	123.55	34.68	123.939
M4	554	YLU	ﾁｬｰﾄ	石刃状剥片			CH-16		48	34	8	9.8	127.46	30.67	123.258
M5	3	YLU	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長		HST-2	L	35	15	4	1.9	127.64	47.68	124.816
M5	4	YLU	黒耀石	小型石刃状剥片			ONB-1		10	8.5	1.2	0.1	123.72	40.4	124.159
M5	6	YLM	黒耀石	ナイフ			WAD-6	L	40	18	5	2.7	124.42	49.18	124.707
M5	7	YLL	黒色緻密安山岩	剥片	貝殻				26	18	6.5	3.5	124.49	41.61	124.046
M5	8	YLM	黒耀石	剥片	貝殻		HST-3	L	23	13	6.7	2.6	128.72	47.52	124.555
M6	1	YLU	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長		HST-2	M	24	15	5.7	1.9	123.33	57.37	125.157
M6	2	YLU	黒耀石	ナイフ			WAD-1	M	18.5	11	5	0.8	123.06	56.72	125.161
M6	3	YLU	黒耀石	剥片			HST-2	M	17	10	4.3	0.6	120.86	55.59	125.027
M6	4	YLU	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長		HST-2	M	20.5	13.5	2.4	0.7	120.58	52.91	124.945
M6	5	YLU	黒耀石	剥片	石核調	○	HST-2	L	34	11	4.2	1.3	128.2	53.08	125.18
M6	6	YLU	黒耀石	剥片	貝殻		HST-2	L	39	16	5	2.7	128.32	52.08	125.086
M6	7	YLU	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長	○	HST-2	L	22	12	2.3	0.5	127.64	57.59	125.256
M6	8	YLU	黒耀石	チップ			HST-2	L					128.9	57.53	125.076
M6	9	YLM	黒耀石	石刃状剥片			HST-2	M	18	9	1.8	0.3	122.75	57.48	125.014
M6	11	YLU	砂岩	剥片	ﾀﾃ長	○		L	51.5	31.5	11.5	14.9	129.96	58.72	125.287
M7	1	YLM	黒耀石	剥片	2次	○	HST-1	M	29	24.5	10.1	5.4	122.99	60.76	125.134
M7	2	YLL	砂岩	剥片	貝殻			M	56	18	10.7	12.7	125.32	60.03	125.008
M9	1	YLU	頁岩	剥片	貝殻			H	25.5	15	4	1.9	123.07	83.54	126.245
M9	2	YLU	頁岩	剥片	貝殻			H	24	16	4.4	1.8	120.43	88.11	126.151
M9	3	YLU	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長	○	HST-2	K	43	16	7.1	4.7	125.59	88.94	126.442
M9	5	攪乱	黒耀石	剥片			HAT		20	15	5.2	1.3	129.28	87.05	126.558
M9	6	YLU	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			H	20	6	3.2	0.5	122.26	88.75	126.345
M9	7	YLU	頁岩	剥片	ﾀﾃ長				21	21	7.9	4.3	129.45	85.45	126.399
M9	8	YLU	頁岩	ナイフ				H	44	10.5	4	1.7	121.49	85.13	126.002
M9	9	YLM	ﾁｬｰﾄ	剥片	貝殻		CH-7	H	15	13	2.3	0.4	122.66	88.76	125.857
M9	10	YLM	黒耀石	楔形石器			HST-2	H	18.5	9	7.5	1.6	121.79	89.28	126.094
M9	11	YLM	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			H	37	12	4.6	2.5	122.64	88.76	126.057
M9	12	YLM	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			H	39	15	10.2	5	122.65	88.77	126.057
M9	13	YLL	頁岩	剥片	貝殻			H	14.5	15	4.9	1.2	123.26	89.55	126.064
M9	14	YLM	頁岩	剥片	貝殻			H	24	19	3.5	2.1	120.3	88.16	126.091
M10	1	YLU	黒耀石	剥片	2次	○	HAT-1	I	13.5	13	2.8	0.4	126.03	92.91	126.585
M10	2	YLU	黒耀石	彫器			HST-2	I	32.5	18.5	6	2	124.05	95.11	126.691
M10	3	YLU	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			H	36.5	15	5.5	3.9	122.93	90.91	126.539
M10	4	YLU	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			I	39	20	7.5	5.5	128.25	98.55	126.869
M10	5	YLU	黒耀石	剥片	貝殻		HAT-1	I	21	15.5	3.5	0.9	125.38	91.64	126.479
M10	6	YLU	頁岩	剥片				H	15.5	10.5	4.5	0.7	121.18	90.28	126.409
M10	7	YLU	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			H	23.5	18	5.3	2.3	121.98	90.65	126.451
M10	8	YLU	頁岩	剥片				H	15.5	10.5	4.3	0.7	121.2	90.5	126.731
M10	9	YLU	頁岩	剥片				H	19	8	2.4	0.4	120.17	96.45	126.585
M10	10	YLU	黒耀石	楔形石器			HST-1	I	20	13	11.5	2	129.05	97.37	126.672
M10	11	YLU	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長	○	HST-2	H	22	12	6.9	1.4	122.3	93.08	126.554
M10	12	YLU	頁岩	石核				I	39	52.5	22	53.5	125.39	94.83	126.352
M10	13	YLU	黒耀石	チップ			HAT-2	I	15	9	4.5	0.4	125.06	97.28	126.656
M10	14	YLU	ﾁｬｰﾄ	剥片	貝殻		CH-7	H	15	14	3.8	0.8	120.67	90.25	126.313
M10	15	YLU	黒耀石	剥片			HAT-1	I	16	11.5	5.3	0.7	124.04	96.49	126.557
M10	16	YLM	頁岩	石刃状剥片				I	45	14	8	4.2	127.31	99.66	126.76
M10	17	YLM	黒耀石	チップ			HAT-1	H	12.5	10.5	4	0.3	122.03	92.06	126.373
M10	18	YLM	頁岩	剥片	貝殻			I	39	27	18	17.2	128.76	99.58	126.696

（単位mm.g）

ｸﾞﾘｯﾄ	遺物番号	層位	石材	器種	剥片の種類	使用痕	母岩別	ブロック	最大縦長	最大横長	最大厚	重量	Y（地理座標）	X（地理座標）	H（標高）
M10	19	YLM	頁岩	剥片				I	20	14	8.1	2	129.14	99.38	126.686
M10	20	YLM	頁岩	剥片				I	15	11.5	3.5	1	127.24	97.37	126.558
M10	21	YLM	頁岩	剥片				H	28	15	14.1	5.8	122.01	90.74	126.204
M10	22	YLM	黒耀石	剥片					20.5	6.5	3.9	0.3	127.5	99.86	126.695
M10	23	YLM	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			H	25.5	13.5	5.5	2	120	94.9	126.3
M10	24	YLL	チャ-ト	剥片	貝殻		CH-7	H	24	14.5	5.3	1.5	120.96	99.91	126.247
M10	25	YLL	頁岩	剥片	貝殻			H	22	18	5.2	2.1	120.69	93.77	126.246
M10	26	YLM	頁岩	剥片	貝殻			H	29	15	7.2	3.5	120.49	90.79	126.153
M10	27	YLL	チャ-ト	剥片			CH-6	H	10	9	7.4	1.3	120.18	92.65	126.179
M10	28	YLM	頁岩	剥片				H	30.5	7.5	12.6	5.9	120.69	95.71	126.36
M10	29	YLM	頁岩	剥片	貝殻			H	17.5	11	2.5	0.5	120.66	97.23	126.34
M10	30	YLM	頁岩	石刃状剥片				H	42.5	21	8.2	8.1	120.75	95.97	126.37
M10	31	YLM	チャ-ト	剥片	ﾀﾃ長		CH-13	H	19.5	13	4	0.9	120.66	96.87	126.343
M10	32	YLM	チャ-ト	剥片			CH-13	H	17.5	10.5	4.5	0.8	121.18	97.05	126.354
M10	33	YLM	頁岩	剥片	貝殻			I	31	16	5.4	3	126.76	96.51	121.543
M10	34	YLL	頁岩	剥片	貝殻			H	23.5	20.5	5.9	2.5	120.06	95.33	126.233
M10	35	YLL	チャ-ト		貝殻		CH-7		23.5	17	3.6	1.1	120.75	95.79	126.285
M10	36	YLL	頁岩	剥片	貝殻			H	22	19	3.5	1.8	121.25	90.76	126.022
M11	3	YLU	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			I	42	20	7.8	6.6	127.95	100.96	126.899
M11	4	YLU	黒耀石	剥片	貝殻	○	HAT-1	I	36	25	4.5	3.3	124.66	102.9	126.823
M11	6	YLM	黒耀石	剥片			HAT-1	I	20	14	6.5	1.4	128.13	100.63	126.768
M11	7	YLU	黒耀石	楔形石器			HST-2	G	34	31	0.9	12	123.29	102.18	126.701
M11	8	YLM	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			I	60.5	40	15.4	36.7	128.51	100.33	126.73
M11	9	YLM	頁岩	剥片				I	27.5	17.5	11	5.8	129.44	101.12	126.754
M11	11	YLM	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			I	52	21	7.3	7.6	127.76	102.93	126.911
M11	12	YLM	黒耀石	剥片	貝殻		HAT-1	I	20	21	5	1.7	125.32	102.68	126.78
M11	13	YLM	黒耀石	剥片	貝殻	○	HAT-1	I	15	13	4	0.7	125.16	101.95	126.767
M11	14	YLM	頁岩	石核					39	35	22	33.8	129.42	101.19	126.661
M11	15	YLU	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長	○	HAT-1	I	30	27	7.4	4.5	127.46	103.23	126.691
M11	16	YLU	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長	○	HAT-1	I	26	18	6.1	2.4	128.21	103.24	126.68
M11	17	YLU	黒耀石	剥片			HAT-1	I	17	11	3.7	0.6	127.13	103.44	126.773
M11	18	YLM	黒耀石	チップ			HAT-1	I	14	7.5	2.6	0.3	127.76	102.23	126.583
M11	19	YLM	黒耀石	剥片	貝殻		HAT-1	I	21	14	5	1.5	127.39	102.76	126.784
M11	20	YLM	頁岩	剥片	貝殻			I	44	34	9.6	10.5	127.92	103.47	126.797
M11	21	YLM	頁岩	剥片				I	17	7	3.2	0.5	127.52	102.54	126.724
M11	22	YLM	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			I	34	24	5.6	4.3	127.49	102.09	126.704
M11	23	YLM	頁岩	剥片	貝殻			I	16.5	13	2.9	0.8	127.18	102.61	126.642
M11	24	YLM	頁岩	剥片	貝殻			I	49.5	38	10.2	16	127.58	101.9	126.715
M11	25	YLM	頁岩	剥片	貝殻			I	22	22.5	7.4	2.7	129.17	101.22	126.539
M11	26	YLM	頁岩	剥片	貝殻			I	17	18	4.7	1.5	128.68	101.25	126.556
M11	27	YLM	頁岩	剥片				I	19	16	10.3	3.3	128.37	100.31	126.62
M11	28	YLM	頁岩	剥片				I	30	24	13.7	9.9	129.14	101.86	126.702
M11	29	YLM	頁岩	石刃状剥片				I	61.5	31	16.5	31.5	129.02	100.9	126.534
M11	30	YLM	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			I	25.9	13.9	3.3	1.3	127.25	102.89	126.661
M11	31	YLM	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長	○	HAT-1	I	33	25	6.8	4.2	127.03	103.04	126.824
M11	32	YLM	黒耀石	剥片	貝殻	○	HAT-1	I	20	12	2.5	0.5	126.47	103.09	126.777
M11	33	YLM	頁岩	剥片	貝殻			I	29	20	4.2	1.7	126.31	103.09	126.771
M11	34	YLM	頁岩	剥片					18	10	7.2	1.2	129.5	101.12	126.44
M11	35	YLL	頁岩	剥片					19.5	12	4.5	0.9	129.46	101.14	126.48
M11	36	YLM	頁岩	石核				I	60	68.5	39.5	125.8	127.92	103.42	126.766
M11	38	YLM	頁岩	剥片					48	37	13.5	16.6	126.93	104.37	126.973
M11	39	YLU	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			I	41	19	13	6.3	127.96	103.59	126.812
M11	40	YLM	頁岩	剥片				I	32.5	20	10.8	5.1	128.16	104.14	126.734
M11	41	YLM	頁岩	剥片	貝殻			I	40	34	7.5	9.3	127.29	103.88	126.746
M11	42	YLM	頁岩	石核				I	44	52	25	69.7	127.38	103.99	126.773
M11	43	YLM	黒耀石	剥片	貝殻		HAT-1	I	22	15	7.2	1.9	127.86	105.54	126.796
M11	44	YLU直上	砂岩	敲石				I	88	93	35	370	127.71	103.95	126.749
M11	45	YLU	頁岩	凹石				I	75.1	58.7	42.5	250.1	127.5	103.94	126.755
M11	46	YLM	頁岩	剥片				I	18.5	11	4.8	1.3	129.62	100.64	126.586
M11	47	YLM	頁岩	剥片	貝殻			I	33.5	25	9.2	7.5	129.86	100.56	126.865
M11	48	YLM	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			I	33	15.5	7.1	3.5	129.49	100.5	126.913
M11	49	YLM	黒耀石	剥片			HAT-1	G	15	8.5	4	0.5	121	109.63	126.96
M11	50	YLM	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長	○	HAT-1	G	28	21.5	8.2	3.1	122.05	109.54	126.957
M11	51	YLL	頁岩	剥片	貝殻			G	26.5	13	4.5	1.6	121.51	109.58	126.785
M11	52	YLM	輝石安山岩	敲石					118	73	48	421.6	128.34	100.77	126.71
M11	53	YLM	輝石安山岩	凹石				I	44.8	68	32.5	124.9	127.36	103.52	126.755
M12	1	YLM	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			G	67.5	38	9.5	29	123.94	112.17	127.047
M12	2	YM	黒耀石	抉入削器			HST-1	G	54	2.2	8	7.4	124.96	123.02	126.997
M12	3	YLU	頁岩	石刃状剥片				G	74	28	11.2	24	124.21	110.59	126.987
M12	4	YLM	黒耀石	剥片	石核調	○	HAT-1	G	23	29	6.6	3	122.38	120.97	126.961
M12	5	YLM	頁岩	剥片	貝殻			G	25	18	6.3	3.2	123.97	111.41	127.017
M12	6	YLM	輝石安山岩	磨石				G	59.6	44.3	28.5	102.3	120.877	113.509	126.974
M12	7	YLM	輝石安山岩	磨石				G	33.2	30.7	24	32.8	120.003	114.18	126.977
M12	8	YLL	頁岩	剥片	貝殻			G	33	25	10	6.8	123.09	111.52	126.935
M13	1	YLM	頁岩	剥片					24.5	12	14.3	2.6	127.23	127.42	127.381
N3	2	YLU	黒耀石	ナイフ			WAD-4		28	13	6	1.4	131.57	28.51	123.408
N3	3	YLU	黒色緻密安山岩	尖頭器					(34)	(19)	(4)	(1.4)	131.58	27.78	123.162
N3	4	YLU	黒耀石	小型石刃状剥片			HST-2		20.5	10	2.4	0.6	131.08	24.69	122.667
N3	5	YLU	黒耀石	ナイフ			WAD-4		25	13	5	0.9	131.04	28.15	123.006
N3	6	YLU	黒耀石	ナイフ			HST-2		27	18	5	1.6	132.62	29.98	123.311
N3	7	YLU	頁岩	剥片					39.5	32	9.6	9.3	130.81	28.21	123.011
N4	3	YLM	黒曜石	ナイフ			HAT		13	12.5	5	0.7	130.89	32.44	123.711
N4	4	YLU	凝灰質頁岩	有舌尖頭器					(47.5)	(18)	(6.5)	(4.1)	138.51	35.08	123.945
N4	5	YLM	頁岩	剥片					21.5	14	4.7	1.4	133.9	31.99	122.912
N5	4	YLM	黒色緻密安山岩	剥片	ﾀﾃ長			L	25	15	4.1	1.6	130.83	47.83	124.673

（単位mm.g）

ｸﾞﾘｯﾄ	遺物番号	層位	石材	器種	剥片の種類	使用痕	母岩別	ブロック	最大縦長	最大横長	最大厚	重量	Y（地理座標）	X（地理座標）	H（標高）
N5	6	YLM	黒色緻密安山岩	剥片	貝殻			L	48	42	9.8	17.9	133.04	47.64	124.734
N5	7	YLU	黒色緻密安山岩	石核				L	48.5	60	37.5	89.3	135.08	46.91	124.787
N5	8	YLU	輝石安山岩	磨石				L	95.5	63.5	40	347.5	135.07	46.66	124.73
N5	9	YLM	黒耀石	剥片	貝殻	○	KAS-2	L	21	14	5.1	1.1	132.03	49.37	124.602
N6	1	YLU	黒耀石	剥片	2次	○	HST-2	L	26	19.5	2.2	1.2	132.33	50.39	125.14
N6	2	YLU	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長	○	HST-2	L	35	19	14	5	137.58	58.003	125.524
N6	3	YLU	チャ･ト	石刃状剥片			CH-16	L	60	27.5	10	15	132.02	59.19	125.381
N6	4	YLU	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長	○	HST-2	L	23	16	3.3	1.2	131.7	58.15	125.257
N6	5	YLU	黒耀石	剥片			HST-2	L	16.5	12	2	0.3	132.28	52.94	125.104
N6	6	YLU	黒耀石	石核			KAS-1	L	73	46	71	206.4	132.88	51.23	124.922
N6	8	YLL	黒色緻密安山岩	剥片	貝殻			L	15	12	2	0.4	138.32	55.79	124.926
N7	1	YLU	黒耀石	チップ	ﾀﾃ長		HST-2	L	13	10.5	3	0.4	137.63	63.41	125.656
N7	2	YLL	黒耀石	剥片			HST-2	L					130.8	60.76	125.359
N7	3	YLM	黒耀石	剥片			HST-2	L	33	19	12.3	5.9	137.23	65.95	125.579
N7	4	YLL	黒耀石	剥片	石核調	○	HST-3	L	38	23	9.2	4.4	133.73	60.96	125.125
N7	5	YLM	チャ･ト	剥片	ﾀﾃ長		CH-16		13.5	13	3.5	0.6	134.33	61.56	125.434
N7	6	YLL	黒耀石	剥片	貝殻	○	HST-3	L	14	9	2.6	0.1	134.73	63.22	125.281
N7	8	YLU	黒耀石	剥片			HST-3	L	15.5	9	2	0.3	138.87	63.54	125.557
N7	9	YLU	黒耀石	掻器			HST-2	L	66	21	15	13	139.89	63.48	125.593
N7	10	YLU	黒耀石	チップ			HST-2	L	7	6.5	2.3	0.1	138.79	63.03	125.557
N7	11	YLM	黒耀石	剥片			HST-3	L	19.5	14	3.3	0.8	139.22	62.89	125.488
N9	1	YLU	黒耀石	チップ			HAT-1	K	12	9	2.7	0.3	137.22	86.55	126.696
N9	3	YLU	黒耀石	剥片			HST		16	17	10	3.9	130.71	85.9	126.595
N9	5	YLU	頁岩	剥片	貝殻			K	28	16	6.5	2.2	130.88	88.7	126.691
N9	6	YLU	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			K	56.5	35	12.7	27.9	135.29	89.37	126.734
N9	7	YLU	頁岩	チップ				K					137.42	85.13	126.505
N9	8	YLU	黒耀石	剥片	石核調	○	HST-1	K	25	22	5.1	2.7	133.11	87.74	126.439
N9	9	YLU	黒耀石	剥片	貝殻	○	HST-2	K	17.5	12.5	2.2	0.4	133.64	89.43	126.526
N9	10	YLU	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長	○	HST-2	K	24	12.5	5	0.9	138.99	87.26	126.372
N9	11	YLU	頁岩	ナイフ				K	(20)	(19)	(5.5)	(1.6)	130.84	89.92	126.399
N9	12	YLU	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			K	21.5	16	3.5	1.4	131.58	89.13	126.462
N9	13	YLU	頁岩	剥片	貝殻			K	39	23	8	4.8	136.02	89.72	126.464
N9	14	YLU	頁岩	剥片				K	17.5	10	5.6	1	133	89.48	126.374
N9	16	YLU	黒耀石	剥片			HAT-1	K	10	10	9	0.8	139.82	87.67	126.626
N10	1	YLU直上	黒耀石	剥片			HAT-1	K					131.65	91.82	126.798
N10	2	YLU直上	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長		HAT-1	I	22	17	5.7	2.3	130.93	98.92	126.938
N10	3	YLU直上	黒耀石	剥片			HAT-1	I	18	13	6.7	1.5	132.77	99.88	126.977
N10	4	YLU直上	黒耀石	ナイフ			HAT-2	I	22	18.5	6	2.1	132.75	97.55	125.073
N10	5	YLU直上	頁岩	剥片	貝殻			K	16	14.5	5	1.6	135.9	91.81	126.873
N10	6	YLU直上	頁岩	剥片	貝殻			K	20	14	6.2	1.6	136.53	94.17	126.958
N10	7	YLU直上	頁岩	剥片				K	41.5	29.5	10.9	12.1	131.61	92.45	126.764
N10	8	YLU直上	黒耀石	ナイフ			HST-2	I	34	16.5	5.5	2.1	133.73	99.78	126.944
N10	9	YLU	黒耀石	剥片			HAT-1	I	12.5	9.5	1.3	0.2	131.86	98.95	126.797
N10	10	YLU直上	黒耀石	剥片	貝殻		HAT-1	K	21	13	3.8	0.9	137.59	90.8	126.715
N10	11	YLU	黒耀石	チップ			HAT-1	K	16	8.5	2.9	0.3	135.09	93.97	126.757
N10	15	YLM	頁岩	剥片				K	48	32	19.5	22.9	137.03	92.82	126.424
N10	16	YLM	黒耀石	剥片	2次	○	HST-2	K	23	23	4.8	2.5	135.7	98.18	126.634
N10	17	YLU	黒色緻密安山岩	剥片	ﾀﾃ長			K	35	13	5.5	2.7	130.09	96.72	126.952
N10	18	YLU	頁岩	剥片				K	25	22	8.5	4	130.16	92.48	126.826
N10	19	YLU	頁岩	石核				I	47.5	46	34	75.5	130.41	99.12	126.97
N10	20	YLU	黒耀石	剥片			HAT-1	K	21.5	8.5	4.4	1	138.05	94.05	127.067
N10	21	YLU	黒色緻密安山岩	剥片				K	22	40.5	5.7	6.1	138.35	94.66	127.054
N10	22	YLU	黒耀石	ナイフ			HAT-1	K	(17.5)	(12)	(6)	(0.8)	139.37	91.95	126.818
N10	26	YLU	頁岩	剥片	貝殻			K	40	28	11.5	12.3	139.15	93.3	126.835
N10	29	YLU	黒耀石	チップ			HAT-1	K					139.79	92.81	126.747
N10	30	YLU	黒耀石	チップ	ﾀﾃ長	○	HAT-1	K	17	12	3.9	0.6	138.62	93.16	126.801
N10	31	YLU	黒耀石	チップ			HAT-1	K	14	5	2.5	0.2	138.36	93.17	126.785
N10	33	YLU	黒耀石	剥片	貝殻		HAT-1	K	17	16.5	5.6	1.3	138.25	94.38	126.805
N10	34	YLM	頁岩	剥片				K	58	36.5	22.5	50.2	138.41	92.02	126.633
N10	35	YLM	頁岩	石核				K	50	53.5	51	146.7	138.38	93.48	126.69
N10	37	YLU	頁岩	剥片				K	47.5	31	23	22.9	138.09	92.64	126.768
N10	38	YLU	黒色緻密安山岩	チップ					9.8	5	2.3	0.2	137.65	98.73	126.684
N10	39	YLU	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			K	54.5	32	15.8	30.6	139.9	93.98	126.66
N10	40	YLU	黒色緻密安山岩	チップ				K	12	5	2.4	0.1	137.97	98.17	126.745
N10	41	YLM	黒耀石	チップ			HAT-1	K	13	5	7	0.3	139.51	95.85	126.573
N10	42	YLM	黒耀石	チップ			HAT-1	K	12	8.5	4.2	0.3	138.94	93.25	126.668
N10	43	YLM	黒耀石	チップ			HAT-1	K	8	7	2.5	0.2	138.86	94.04	126.635
N11	2	YLU	黒耀石	石核			HAT-3	I	30	38	13.4	15.6	130.89	100.7	126.961
N11	3	YLU	黒耀石	チップ			HAT-1	I	12.5	9	4.1	0.3	133.69	100.43	126.966
N11	4	攪乱	黒耀石	剥片			HAT-1		31	21	6.8	2.6	132.79	100.39	127.154
N11	5	YLU	チャ･ト	剥片	ﾀﾃ長	○		I	39	17	5.4	1.8	131.27	101.66	126.93
N11	6	YLU	頁岩	剥片	貝殻			I	31	34	7.2	8.9	132.5	101.25	126.959
N11	7	YLU	頁岩	剥片	貝殻			I	20	15	7.5	2.1	132.29	100.55	126.915
N11	8	YLU	頁岩	剥片				I	22	15	6.2	2.2	132.3	103.41	126.947
N11	9	YLU	頁岩	剥片				I	54.5	30	17.1	28.9	133.4	103.27	126.895
N11	14	YLU	黒耀石	チップ	貝殻		MUG-2	I	19.5	10	2.7	0.4	133.53	101.83	126.804
N11	15	YLU	頁岩	剥片	貝殻			I					133.05	103.21	126.805
N11	16	YLU	頁岩	剥片	貝殻			I	21	14	4.3	1.6	133.83	102.24	126.742
N11	17	YLU	黒耀石	チップ			HAT-1	I					131.42	102.5	126.715
N11	18	YLU	頁岩	剥片	貝殻			I	35	21	7	6	134.23	101.72	126.833
N11	19	YLU	頁岩	剥片	貝殻			I	20.5	14	6.7	1.8	134.53	102.41	126.7
N11	20	YLU	黒耀石	剥片			HAT-1	I					132.44	100.79	126.772
N11	21	YLU	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長	○	HST-2	I	44	18	6.7	5.3	133.38	103.06	126.746
N11	22	YLM	頁岩	剥片				I	19	13		1.2	133.85	102.25	126.736
N11	23	YLM	頁岩	チップ				I					135.68	101.57	126.784

（単位mm.g）

ｸﾞﾘｯﾄ	遺物番号	層位	石材	器種	剥片の種類	使用痕	母岩別	ブロック	最大縦長	最大横長	最大厚	重量	Y（地理座標）	X（地理座標）	H（標高）
N11	24	YLM	チャ･ト	剥片	ﾀﾃ長		CH-7	I	31	11	4.6	1.8	131.5	101.68	126.663
N11	25	YLM	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			I	34	19.5	4.9	3.2	135.6	103.03	126.704
N11	26	YLM	頁岩	剥片	貝殻			I	31	26	4.8	4.1	135.6	101.63	126.733
N11	27	YLL	頁岩	剥片				I					134.81	100.55	126.578
N11	28	YLM	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			I	38	21	7.4	6.3	130.24	101.23	126.629
N11	29	YLM	安山岩	剥片	貝殻	○		I	51	49	7.5	16	130.13	101.12	126.706
N11	34	YLU	チャ･ト	剥片	ﾀﾃ長		CH-7		21.5	6.5	3.5	0.6	137.65	108.91	127.161
N11	35	YLU	黒耀石	削器			HST-2	J	40	28	11.8	8.9	135.98	107.5	127.303
N11	36	YLU	黒耀石	剥片	2次	○	HST-1	J	22.5	16	1.8	0.9	135.8	108.66	127.125
N11	38	YLU	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			J	31	11	4.1	1.3	134.15	107.94	127.263
N11	39	YLL	黒耀石	小型石刃状剥片			HST-1	J	26	9	1.6	0.4	139.74	104.99	126.706
N11	40	YLU	黒耀石	剥片	2次	○	HST-2	J	20	10	3.5	0.6	139.83	10.382	126.919
N11	41	YLU	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長		HST-1	J	23	12.5	6.1	1.3	139.6	103.99	126.955
N11	42	YLU	黒耀石	剥片	貝殻	○	HST-1	J	15	12.5	3.1	0.8	139.78	104.82	126.977
N12	1	YLU	チャ･ト	チップ	貝殻		CH-11		14.5	9	3	0.4	135.85	110.95	127.171
N12	2	YLU	黒耀石	削器			HST-1		41.5	18.5	8	4.2	132.68	111.49	127.131
N12	3	YLU	黒色緻密安山岩	剥片	石核調			J	46	69	33.5	135.6	130.823	114.517	127.132
N12	4	YLU	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			J	63.5	39	18.5	49.2	136.46	110.51	127.113
N12	5	YLU直上	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			J	25.5	13	3.9	1.4	134.45	110.32	127.221
N14	1	YLU	輝石安山岩	磨石・敲石					89	70	36	293.8	131.5	132.49	127.853
O6	1	YLM	黒耀石	剥片			HST						140.15	54.85	125.146
O6	2	YLM	黒耀石	剥片	貝殻	○	HST-2		25	13	6.2	1.3	141.09	50.81	125.108
O6	3	YLU	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			L	55	18.5	10.8	7.1	142.07	54.85	125.271
O6	4	YLU	頁岩	削器				L	47	21.5	6.6	5.8	143.42	54.65	125.232
O6	5	YLU	黒耀石	尖頭器			HAT-1	L	50.5	38	13	19.7	142.57	53.1	125.264
O6	6	YLU	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			L	48	22.5	10.2	7.2	142.46	56.24	125.382
O6	7	YLU	黒耀石	削器			HAT-1		46	42	11.3	19.4	142.3	55.28	125.371
O6	9	YLL	黒色緻密安山岩	剥片	ﾀﾃ長			L	39	28	6.8	7.2	140.3	55.42	124.936
O7	1	YLU	チャ･ト	剥片	ﾀﾃ長	○	CH-1		44	20.5	8.6	8.3	140.12	54.16	125.59
O7	2	YLU	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長	○	HST-2		30	7.5	2.8	0.7	144.31	63.84	125.611
O8	1	YLL	黒耀石	ナイフ			KAS-3		（１８）	（８．５）	（５）	（０．５）	144.331	71.708	125.827
O9	1	YLU	黒耀石	剥片	石核調		HST-2	K	26	27	4.8	2.5	145.83	89.52	126.956
O9	5	YLU直上	頁岩	剥片	貝殻			K	29.5	19	9.1	3.7	144.93	87.73	126.828
O9	6	YLU	頁岩	剥片				K	23	15	5.3	1.9	143.28	84.62	126.599
O9	7	YLU	頁岩	剥片				K	34	19	11.7	8.4	145.73	89.21	126.718
O9	8	YLM	頁岩	剥片				K	31.5	14	8.6	4.3	145.72	89.24	126.742
O9	9	YLU	頁岩	剥片				K	13	11	3.7	0.6	144.07	85.43	126.613
O9	10	YLM	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			K	24	9	4.2	1	146.82	89.96	126.804
O9	11	YLM	頁岩	剥片	貝殻			K	30.5	19	7.2	3.4	143.68	84.41	126.434
O9	12	YLU	頁岩	剥片				K	25.5	14	4.4	1.6	146.34	88.89	126.734
O9	13	YLL	頁岩	剥片				K	19.5	10.5	4.4	0.7	143.96	82.16	126.714
O10	1	YLU直上	黒耀石	ナイフ			HST-2	K	28.5	12.5	5	1.3	144.79	92.08	127.114
O10	2	YLM	頁岩	剥片	貝殻			K	16.5	9.5	5	0.8	140.52	95.65	126.778
O10	3	YLM	頁岩	石刃状剥片				K	67	36	11.5	21.7	140.74	95.12	126.736
O10	6	YLM	黒耀石	チップ			HAT-1	K	14	8.5	3	0.2	140.16	93.49	126.763
O10	7	YLM	頁岩	剥片				K	17.5	8	2.5	0.5	145.71	90.24	126.837
O10	8	YLU	黒耀石	ナイフ			HST-3	K	26.5	13	3	0.9	142.01	90.52	126.695
O10	9	YLU	頁岩	剥片				K	32	22.5	6.5	4.2	141.01	94.99	126.762
O10	12	YLU	頁岩	石核				K	60	52.5	52	193.1	140.34	92.61	126.737
O10	13	YLM	頁岩	剥片	貝殻			K	28	21.5	5.8	3.5	146.54	90.29	126.759
O10	14	YLM	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			K	33	18	5.3	3.9	146.01	91.71	126.646
O10	15	YLM	頁岩	掻器				K	51	27	12	18.8	146.15	90.15	126.602
O10	16	YLM	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			K	40	29	12.5	10.3	146.47	90.76	126.711
O10	17	YLM	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			K	51.5	49	5.5	17	146.49	91.51	126.733
O10	18	YLM	頁岩	剥片	貝殻			K	31.5	27.5	10	5.8	146.92	91.09	126.697
O10	19	YLM	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			K	58	37	23.1	47.7	146.48	90.12	126.691
O10	20	YLM	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			K	73.5	53.5	24.8	95.4	141.31	95.68	126.731
O10	21	YLL	頁岩	楔形石器				K	38	27	9	9.2	146.03	90.2	126.503
O10	22	YLM	黒色緻密安山岩	剥片				K	37	40	4	7.9	141.73	96.69	126.663
O10	23	YLM	頁岩	剥片				K	40	28.5	7.6	6.8	141.19	95.72	126.71
O10	24	YLU	頁岩	剥片	ﾀﾃ長			K	21	24	6	3.3	146.54	90.28	126.719
O11	1	YLU直上	黒耀石	剥片			HAT-1	J	19	13.5	5	1	140.07	106.15	127.206
O11	2	YLU	黒耀石	剥片	2次	○	HST-4	J	28	13	3.5	1.1	140.68	105.79	127.206
O11	3	YLU直上	黒耀石	剥片			HST-1	J	15	10	1.8	0.3	141.18	103	127.022
O11	4	YLU	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長		HST-2		24	16	5.9	5.2	140.42	101.77	126.874
O11	5	YLU	黒耀石	剥片	貝殻	○	HST-1	J	23.5	25	4.1	1.6	141.06	104.26	126.939
O11	6	YLM	黒耀石	剥片	2次	○	HST-2	J	24	12	6.9	1.7	141.12	106.66	127.018
O11	7	YLM	黒耀石	剥片	ﾀﾃ長	○	HST-2	J	35	11	4.1	1.4	141.42	106.96	127.002

（単位mm.g）

ｸﾞﾘｯﾄ	遺物番号	層位	石材	器種	原産地	ブロック	最大縦長	最大横長	最大厚	重量	Y（地理座標）	X（地理座標）	H（標高）
J5	75	BBO	黒色緻密安山岩	剥片			52.5	30.5	12.2	16.1	96.45	48.74	123.613
G10	4	BBO	黒耀石	石核	HST		23.4	22.7	17.5	5	63.62	90.64	125.444
G11	2	BBO	頁岩	剥片			32	20	8.1	4.8	62.855	105.653	125.6
G11	3	BBO	頁岩	剥片		A	28	11	5.5	2.4	64.041	103.497	125.571
G11	4	BBO		剥片		A	39	17	6.8	4	63.638	104.45	125.615
G11	5	BBO	頁岩	剥片		A	30.5	26	7	5.2	63.954	106.76	125.317
G11	6	BBO	輝石安山岩	敲石		A	101	68	42.5	399.6	62.395	106.008	125.5
H11	4	BBO	玉髄	扶入削器			33	19	6	2	73.796	103.356	125.709
J5	75	BBO	黒色緻密安山岩	剥片			52.5	30.5	12.2	16.1	96.45	48.74	123.613
J6	18	BBO	黒耀石	剥片	MUG		35	30	5.8	5.1	97.88	98.95	123.66
K4	9	BBO	石英	剥片			21	17	11	4.7	108.77	35.02	123.331
K5	106	BBO	流紋岩	剥片			30	34	12.2	11.2	107.39	43.32	123.743
K5	120	BBO	角閃石安山岩	台石			180	164	58	2.15			123.715
L6	39	BBO	ホルンフェルス	尖頭器状石器			54	21	11	11.2	113.64	51.16	124.312

ｸﾞﾘｯﾄ	遺物番号	層位	石材	器種	原産地	ブロック	最大縦長	最大横長	最大厚	重量	Y（地理座標）	X（地理座標）	H（標高）
F12	21	BB I	頁岩	剥片		B	53	44	28.7	61.9	57.547	117.158	125.378
F12	22	BB I	頁岩	剥片		B	25.5	15.5	4.6	2.2	57.958	117.166	125.445
F12	23	BB I	頁岩	剥片		B	49	36	9.5	16.2	58.107	117.189	125.448
F12	24	BB I	頁岩	チップ		B	34	29.5	7.9	8.1	57.925	117.26	125.432
F12	25	BB I	頁岩	チップ		B	18	13	2.4	0.6	57.712	116.802	125.389
F12	26	BB I	頁岩	剥片		B	29	26	11.3	9	57.545	117.091	125.393
F12	27	BB I	頁岩	石核		B	35	55	44	81.6	57.76	116.759	125.395
F12	28	BB I	頁岩	チップ		B	21.5	18	3.7	1.8	59.426	117.261	125.677
F12	29	BB I	頁岩	チップ		B	16.5	8.5	3.3	0.5	58.823	116.839	125.559
F12	30	BB I	頁岩	チップ		B	10	9	2.8	0.3	58.855	116.776	125.509
F12	31	BB I	頁岩	剥片		B	23	19	6.4	1.9	58.886	116.754	125.423
F12	32	BB I	頁岩	チップ		B	7	6	1.9	0.1	58.601	116.719	125.506
F12	33	BB I	頁岩	チップ		B	14	7	2.3	0.3	59.289	116.639	125.55
F12	34	BB I	頁岩	チップ		B	15.5	9	2.6	0.4	58.626	116.974	125.512
F12	35	BB I	頁岩	チップ		B	12.5	8	2.3	0.2	58.571	116.473	125.368
F12	36	BB I	頁岩	チップ		B	15	7	1.8	0.1	58.565	115.926	125.514
F12	37	BB I	頁岩	チップ		B	20	8	4.2	0.5	57.537	115.777	125.394
F12	38	BB I	頁岩	剥片		B	38	22	4.1	3.6	58.542	116.709	125.416
F12	39	BB I	頁岩	チップ		B	12	7	2.4	0.1	57.52	116.398	125.706
F12	40	BB I	頁岩	剥片		B	48	22	12.2	15	58.263	116.75	125.685
F12	41	BB I	頁岩	チップ		B	12	10.5	3	0.4	58.1	116.292	125.592
F12	42	BB I	頁岩	剥片		B					57.906	117.269	125.437
G12	9	BB I	頁岩	剥片		C	14	9	3	0.4	63.35	119.07	125.555
G12	10	BB I	頁岩	剥片		C	14	8	1.7	0.2	63.11	118.96	125.535
G12	11	BB I	頁岩	剥片		C	25.5	17	9	3.3	63.21	118.92	125.57
G12	12	BB I	頁岩	剥片		C	9	7	2.3	0.1	62.93	119.04	125.512
G12	13	BB I	頁岩	剥片		C	9	4	1.2	0.1	63.15	118.95	125.573
G12	14	BB I	頁岩	剥片		C	30	29	7.1	7.6	64.21	118.73	125.68
G12	15	BB I	頁岩	剥片		C	29	24	7.6	5.1	63.05	119.15	125.583
G12	16	BB I	頁岩	剥片		C	25.5	22.5	6.3	4.2	62.96	119.18	125.57
G12	17	BB I	頁岩	剥片		C	14	14.5	4.2	0.8	63.72	119.12	125.722
G12	18	BB I	頁岩	剥片		C	32	21	8.1	4.7	63.09	119.1	125.586
G12	19	BB I	頁岩	剥片		C	16.5	12.5	3.6	0.8	62.9	119.19	125.576
G12	20	BB I	頁岩	剥片		C	11.5	9.5	2.3	0.3	63.05	119.15	125.581
G12	21	BB I	頁岩	剥片		C	20	15.5	4.4	1.7	63.24	118.7	125.545
G12	22	BB I	頁岩	剥片		C	9	9	1.7	0.1	62.98	118.85	125.553
G12	23	BB I	頁岩	剥片		C	17	14	3.1	0.8	63.71	119.52	125.728
G14	4	BB I	黒耀石	剥片	HST	C	43	23	7.3	5.6	62.01	138.33	126.032
K5	108	BB I	鉄石英	チップ		A	10.5	5	1	0.1	108.93	42.15	123.589
K5	109	BB I	鉄石英	剥片		A	26	23	8.4	6.2	107.26	43.25	123.514
K5	110	BB I	黒耀石	チップ	HAT	A	18	13.5	5.7	1.1	107.96	42.1	123.549
K5	111	BB I	黒耀石	彫器	HST	A	38	13	5.5	1.7	106.76	42.82	123.412
K5	112	BB I	黒耀石	チップ		A	9.7	7.1	0.8	0.1	107.75	41.41	123.329
K5	113	BB I	黒耀石	チップ		A	3.5	3.1	0.8	0.1	107.11	42.53	123.457
K5	114	BB I	黒耀石	ナイフ	HST	A	21.5	14	3.5	0.7	107.21	43.68	123.458
K5	115	BB I	黒耀石	チップ		A	10.4	5.9	2.3	0.2	107.35	43.02	123.356
K5	116	BB I	黒耀石	チップ	HST	A	14	8	5.7	0.6	107.11	42.92	123.294
K5	117	BB I	黒耀石	剥片	HAT	A	17.5	12	6.4	1.1	107.88	41.32	123.496
K5	118	BB I	角閃石安山岩	磨石		A	127	104	48	1030	107.16	42.96	123.277
L7	1	BB I	黒耀石	ナイフ	HST		41	17.5	10	1.3	116.06	62.06	124.594

ｸﾞﾘｯﾄ	遺物番号	層位	石材	器種	原産地	ブロック	最大縦長	最大横長	最大厚	重量	Y（地理座標）	X（地理座標）	H（標高）
F9	7	NL直上	安山岩	剥片			40.5	41	10.9	19.9	56.62	83.17	124.51
G14	2	NL	頁岩	剥片			26.6	29	14.2	8.9	61.87	132.35	125.58
G14	3	NL	頁岩	剥片			39.2	31.7	18.5	17.8	61.91	132.43	125.59
G15	1	NL	黒耀石	剥片	HST		17	8	1.5	0.1	67.286	148.057	126.022
H12	37	NLb	黒耀石	掻器	HST		22	19	7	2.5	72.03	111.14	125.386
I5	14	NL直上	黒色緻密安山岩	剥片			25	20	8.7	3.3	81.85	46.28	122.467
M12	9	NL	黒色緻密安山岩	剥片			42.5	35	12.4	15.9	127.03	116.28	126.418
N6	16	NL	黒色緻密安山岩	剥片			27	15	7.4	2.6	136.78	58.49	124.524
N7	7	NL直上	硬質頁岩	石刃状剥片			67	34.5	9.7	19.3	136.91	67.02	125.002
N7	12	NL	黒色緻密安山岩	剥片			49	32	9.3	14.6	137.95	62.16	124.66

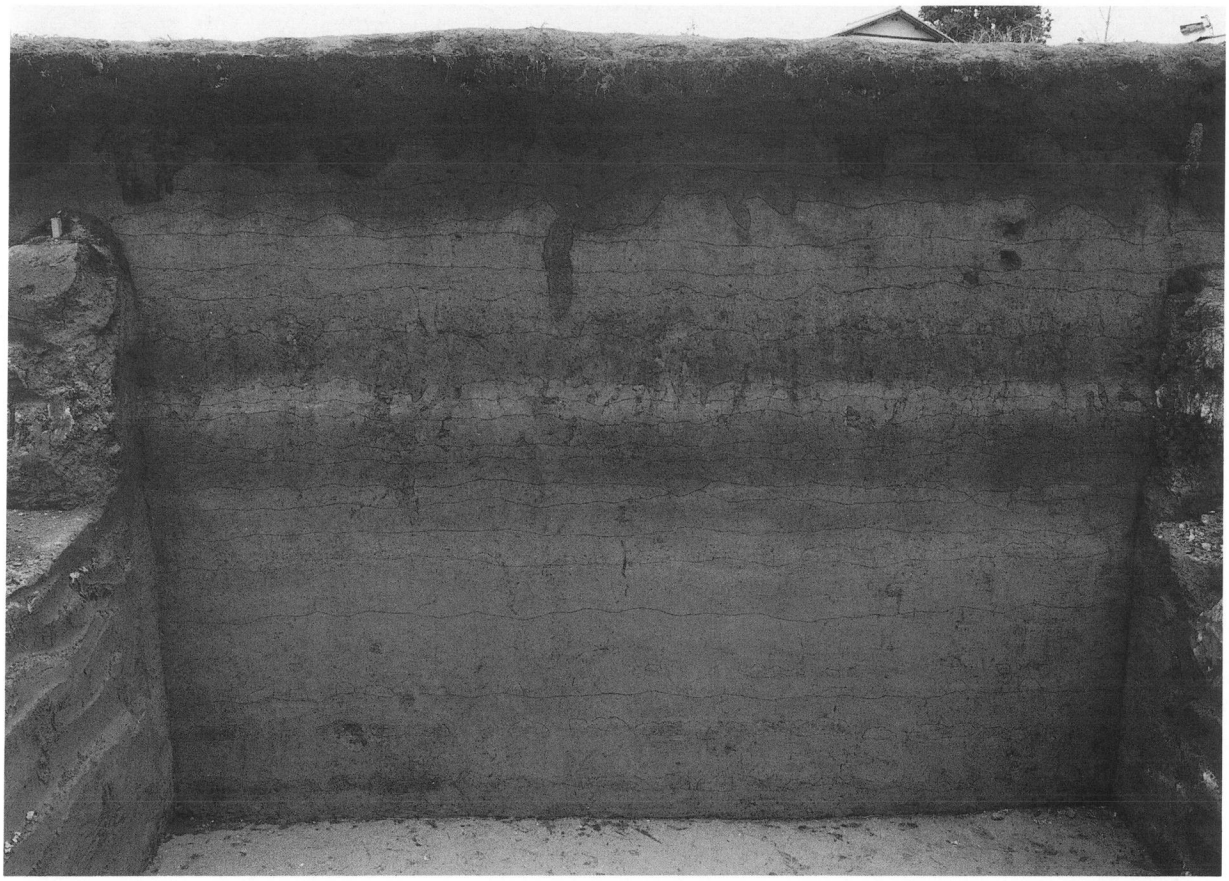
（単位mm.g）

ｸﾞﾘｯﾄ	遺物番号	層位	石材	器種	原産地	ブロック	最大縦長	最大横長	最大厚	重量	Y（地理座標）	X（地理座標）	H（標高）
H5	7	BBⅡ	安山岩	剥片			43	46	14.4	33.5	79.46	43.27	122.24
I5	15	BBⅡ	黒色緻密安山岩	剥片			38	15	5	2.8	80.29	44.43	122.156
I6	2	BBⅡ	黒色緻密安山岩	剥片							84.36	54.95	122.51
K4	10	BBⅡ	頁岩				35.5	26.5	17.7	21.6	102.29	31.79	122.392
L6	41	BBⅡ	黒耀石	剥片	HST		15.5	9	3.4	0.4	112.37	57.5	123.66
M12	10	BBⅡ	黒色緻密安山岩	剥片			46.5	31	4.5	7.3	127.5	117.87	126.18
N6	13	BBⅡ	黒色緻密安山岩	剥片		A	54	40	11.5	22.2	135.18	59.34	124.427
N6	14	BBⅡ	輝石安山岩	磨石		A	131	154	67	1.41	135.16	58.68	124.378
N6	15	BBⅡ	黒色緻密安山岩	剥片		A	52	43	11.1	26.7	136.16	59	124.448
N6	17	BBⅡ	頁岩	剥片		A	25	14	6.1	2.1	136.96	57.37	124.383
N6	18	BBⅡ	黒色緻密安山岩	剥片		A	26	21	3.1	1.7	137.3	57.67	124.463

ｸﾞﾘｯﾄ	遺物番号	層位	石材	器種	原産地	ブロック	最大縦長	最大横長	最大厚	重量	Y（地理座標）	X（地理座標）	H（標高）
I6	2	BBⅢ	黒色緻密安山岩	剥片			96	69	14.4	114.8	84.36	54.95	122.51
M6	12	BBⅢ	頁岩	剥片		A	42.5	30.5	5.4	8.6	129.92	56.21	123.904
M6	13	BBⅢ	頁岩	剥片		A					129.93	56.16	123.882
M6	14	BBⅢ	頁岩	剥片		A	36	36	9.4	9.8	129.79	56.15	123.878
M6	15	BBⅢ	玉髄	剥片		A	22	18	5.2	1.6	129.65	56.34	123.931
M6	16	BBⅢ	頁岩	剥片		A	23	18	5	1.5	129.49	56.09	123.881
M6	17	BBⅢ	頁岩	剥片		A	43	35	7.4	11.5	129.24	96.3	123.822
M6	18	BBⅢ	頁岩	剥片		A	33	23	9.3	5.1	129.17	56.52	123.824
M6	19	BBⅢ	鉄石英	剥片		A	32	41	9	9.8	129.04	56.49	123.859
M6	20	BBⅢ	頁岩	剥片		A	34.5	22	9	6.1	128.96	56.32	123.86
M6	21	BBⅢ	鉄石英	剥片		A	55	27	21.5	20.4	129.7	55.87	123.921
M6	22	BBⅢ	頁岩	剥片		A	58	30	11	18.1	129.67	55.9	123.912
M6	23	BBⅢ	輝石安山岩	配石		A					129.58	55.58	123.833
M6	24	BBⅢ	頁岩	剥片		A	12	10	3	0.3	129.74	55.54	123.821
M6	25	BBⅢ	鉄石英	剥片		A	14.5	13	7.4	1.6	129.56	55.35	123.843
M6	26	BBⅢ	鉄石英	剥片		A	23.5	25	11	3.7	129.28	55.34	123.791
M6	27	BBⅢ	鉄石英	剥片		A	12.5	9.5	5	0.3	129.05	55.5	123.832
M6	28	BBⅢ	頁岩	剥片		A	13	9.5	2.5	0.4	129.17	55.6	123.914
M6	29	BBⅢ	鉄石英	剥片		A	13	20	4.2	1	129.02	55.7	123.914
M6	30	BBⅢ	鉄石英	剥片		A	14	11.5	4.5	0.7	129.19	55.82	123.821
M6	31	BBⅢ	鉄石英	石刃状剥片		A	56	24.5	11	14.1	128.75	55.44	123.917
M6	32	BBⅢ	頁岩	剥片		A	34	30	15.5	104	128.94	56.32	123.86
N6	9	BBⅢ	黒色緻密安山岩	剥片		A	38	22.5	10.9	8	130.06	55.98	123.912
N6	10	BBⅢ	黒色緻密安山岩	剥片		A	30	25	6.1	4.3	130.34	55.82	123.896
N6	11	BBⅢ	鉄石英	剥片		A	15.5	11.5	3	0.5	130.04	55.12	123.846

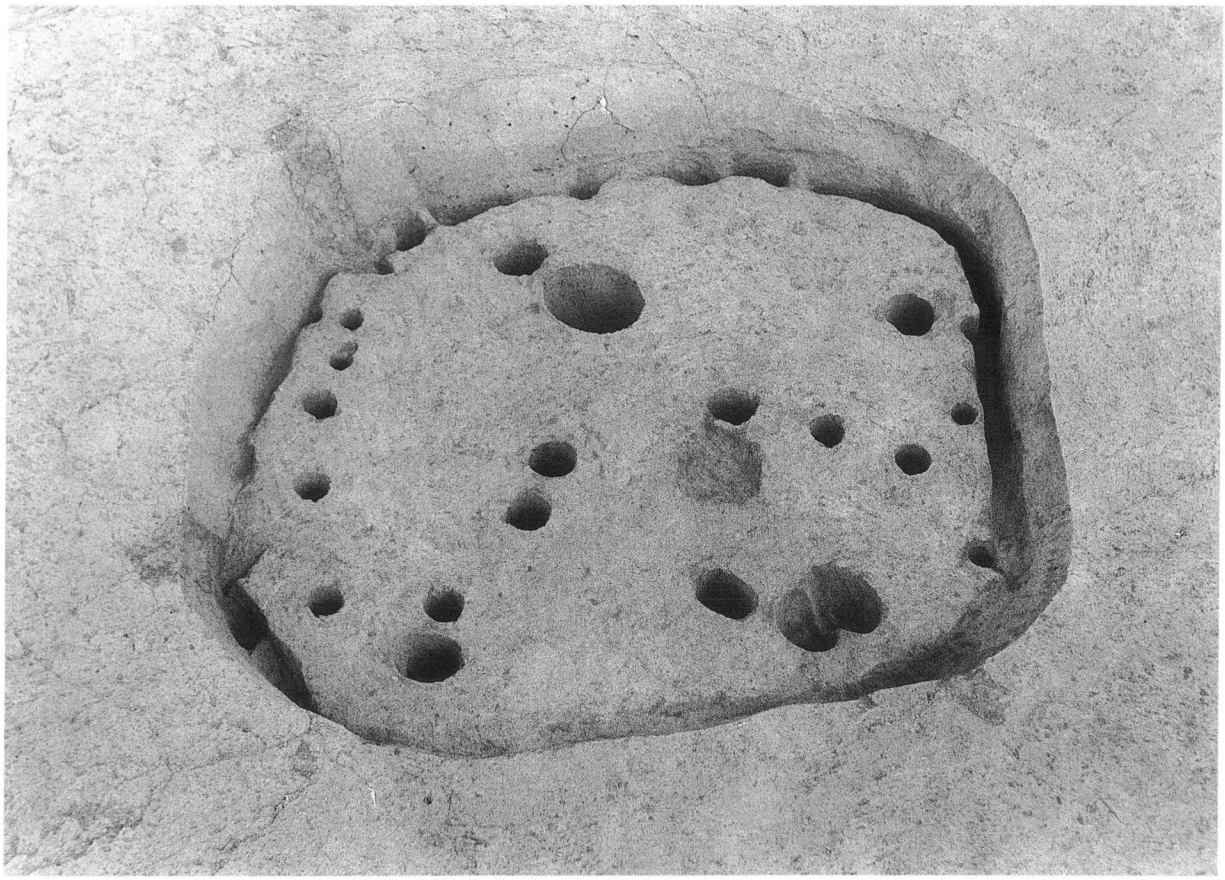
ｸﾞﾘｯﾄ	遺物番号	層位	石材	器種	原産地	ブロック	最大縦長	最大横長	最大厚	重量	Y（地理座標）	X（地理座標）	H（標高）
G13	2	SCⅢｂ1	黒耀石		KAS		22	13	6	1.3	62.25	123.74	124.767
G13	3	SCⅢｂ1	黒耀石		KAS		16	15	5	0.8	68.13	127.73	125.245
H13	3	SCⅢｂ1	黒耀石				45	34	6.6	10	72.91	128.61	124.947
H13	4	SCⅢｂ1	黒耀石		KAS		13	10	5.9	0.6	71.02	127.13	124.924
H13	5	SCⅢｂ1	黒耀石		KAS		27	24	3.3	1.8	71.19	129.29	124.903
H13	6	SCⅢｂ1	黒耀石	削器	KAS		31	35	9.3	10.1	71.13	128.5	125.078
H14	2	SCⅢｂ1	黒耀石		KAS		27	20	9.5	3.8	70.49	130.56	125.037
H14	3	SCⅢｂ1	黒耀石		KAS		14	7	3.3	0.3	71.85	130.69	125.249
H14	4	SCⅢｂ1	黒耀石		KAS		34	15.5	4.2	1.7	71.57	131.47	125.273
H14	5	SCⅢｂ1	黒耀石		KAS		14	7	2.2	0.2	70.65	131.11	125.101
H14	6	SCⅢｂ1	黒耀石		KAS		20	14	2.7	0.8	70.79	130.76	125.04
H14	7	SCⅢｂ1	黒耀石		KAS		16.5	10	5.4	0.7	73.52	131.52	125.065
H14	8	SCⅢｂ1	黒耀石	ナイフ	KAS		18	17.5	3.7	1.1	71.42	130.73	125.295
H15	2	SCⅢｓ1	黒耀石	剥片	KAS		31	12	3.2	1.4	71.484	148.498	125.612
I4	2	SCⅢｂ1	黒耀石	剥片	ONB		38.5	20	8	6.5	85.05	38.4	121.753
I4	3	SCⅢｓ4	黒耀石	剥片	ONB		20	14.5	3.5	1	84.35	39.24	121.586
I10	1	SCⅢｓ	安山岩	剥片			76	30	16.5	29.6	80.9	93	129.031
I15	1	SCⅢｓ1	頁岩	剥片			48	30	9.3	12.8	80.77	142.88	125.657
L5	52	SCⅢｂ1	頁岩	剥片			22	17	6.1	2.2	119.96	43.02	122.739
M4	552	SCⅢｓ1	黒耀石	剥片	ONB		28	11.5	7.6	1.6	128.86	33.23	122.333
N6	12	SCⅢｓ1	頁岩	剥片			40	34	13.9	17.9	130.8	56.06	123.763
N12	6	SCⅢｓ1	黒耀石	剥片	ONB		22	13	5.8	1.1	131.81	112.89	125.542
N12	7	SCⅢｓ1	黒耀石	剥片	ONB		32	17.5	5.1	2.8	131.79	112.37	125.537

写真図版



(1)　基本土層

(2) 1 区東側完掘状況

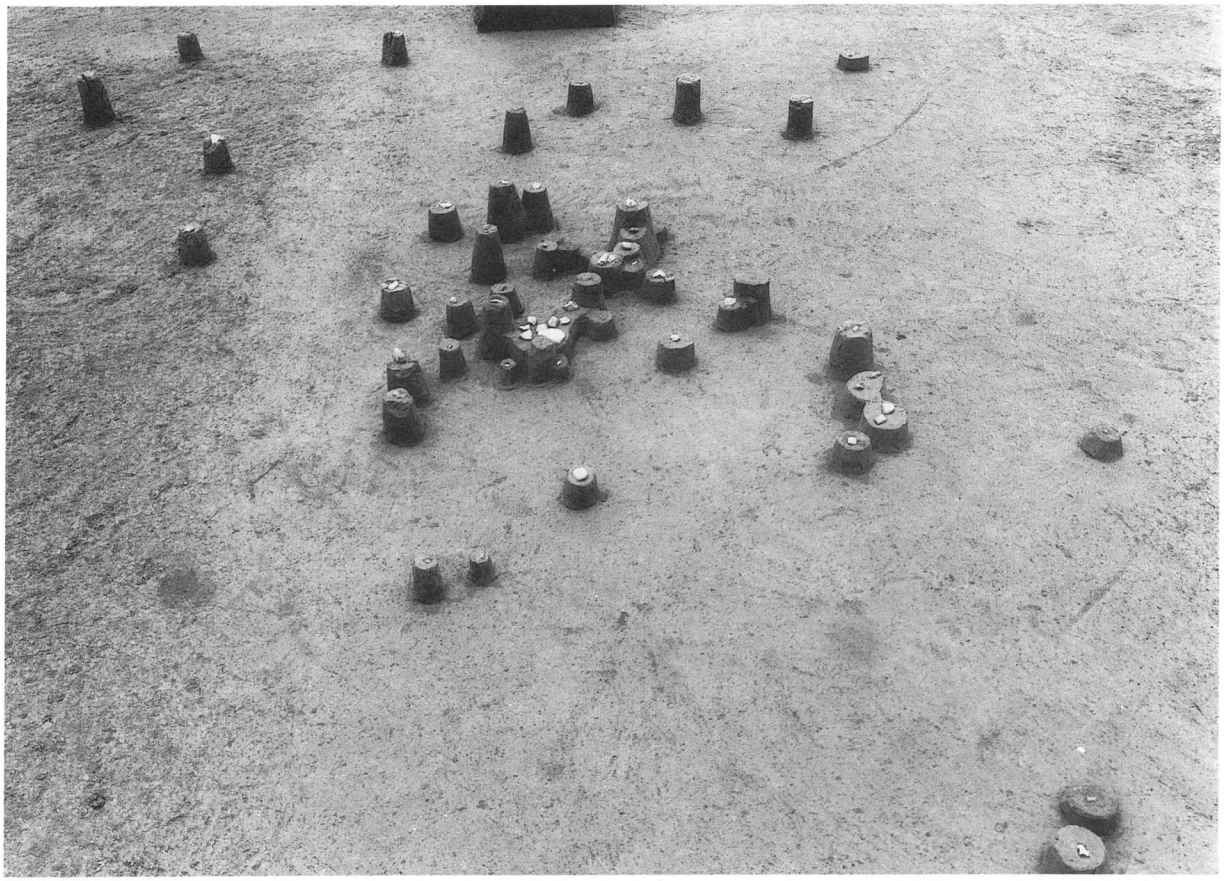


(1) 1 号住居跡

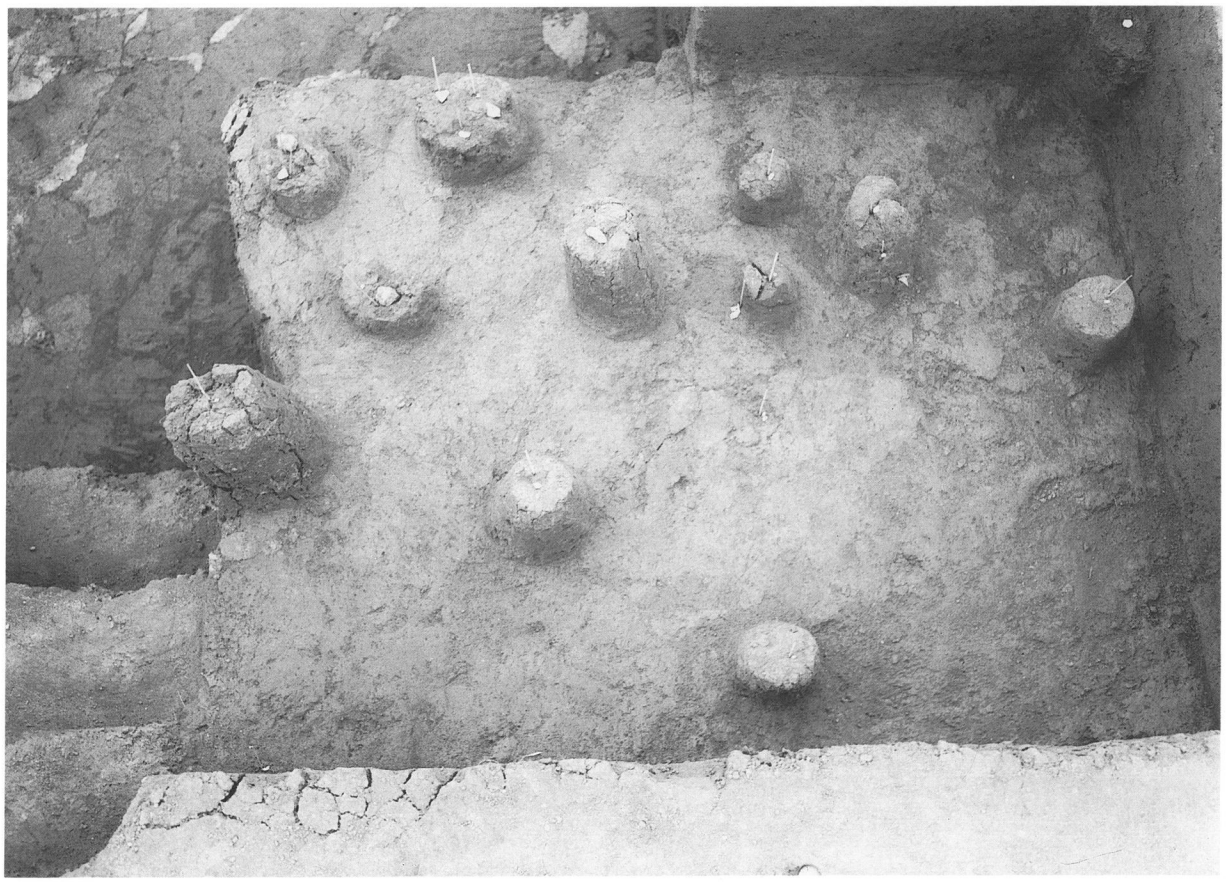
(2) 1 号住居跡セクション

(1)ＹＬ層Ｐブロック

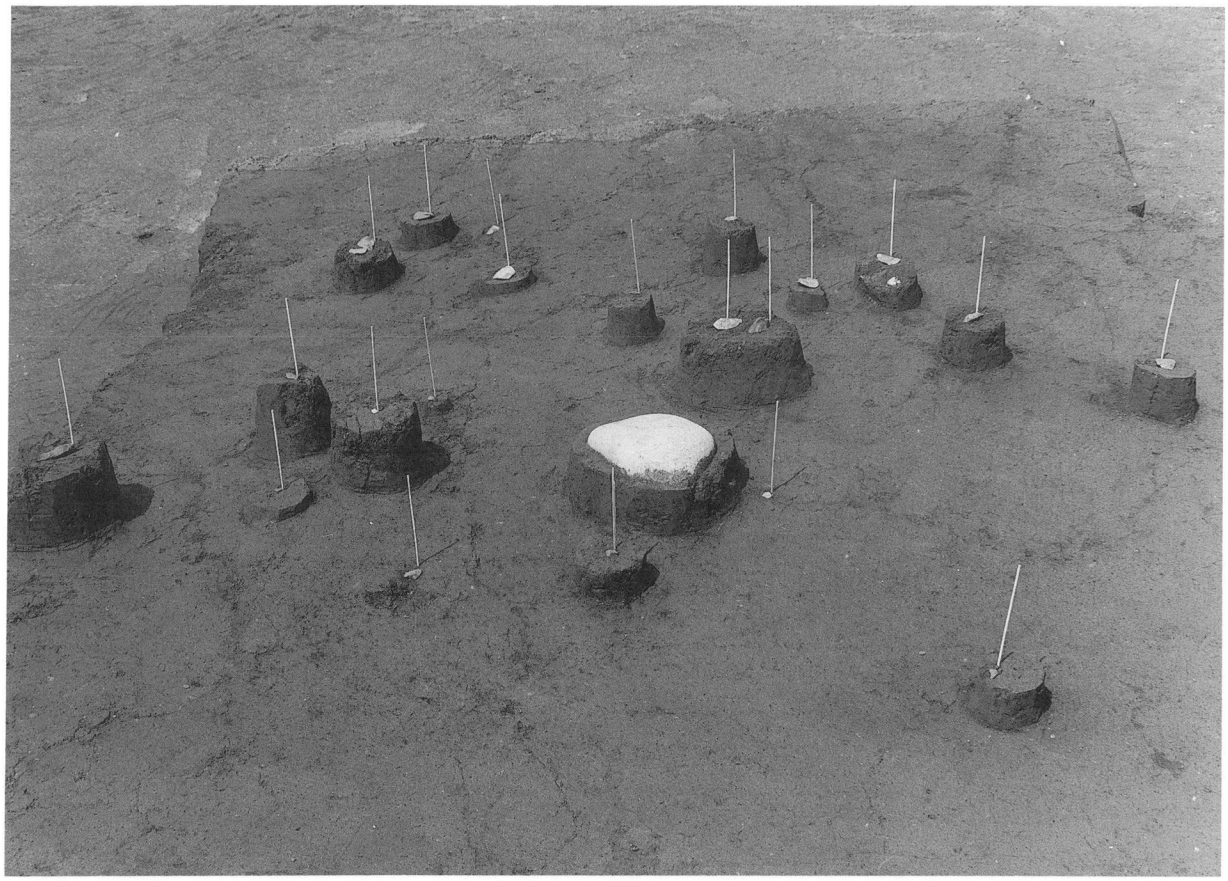
(2)ＹＬ層Ｅブロック



(1)ＹＬ層Ｄブロック



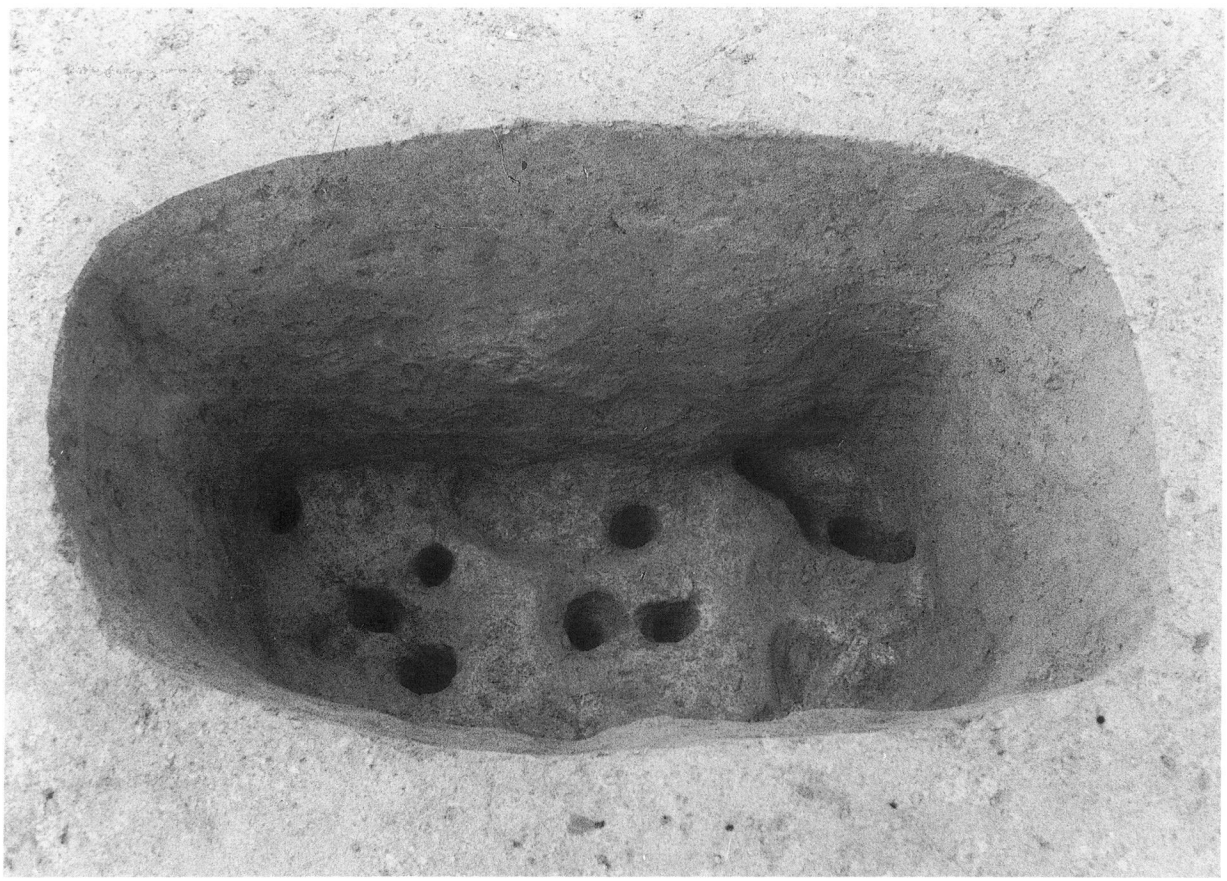
(2)ＢＢＩ層Ｂブロック



(1)ＢＢⅢ層石器ブロック

(2)ＹＬ層１号土坑土層断面

(1)ＹＬ層２号土坑



(2)ＹＬ層４号土坑

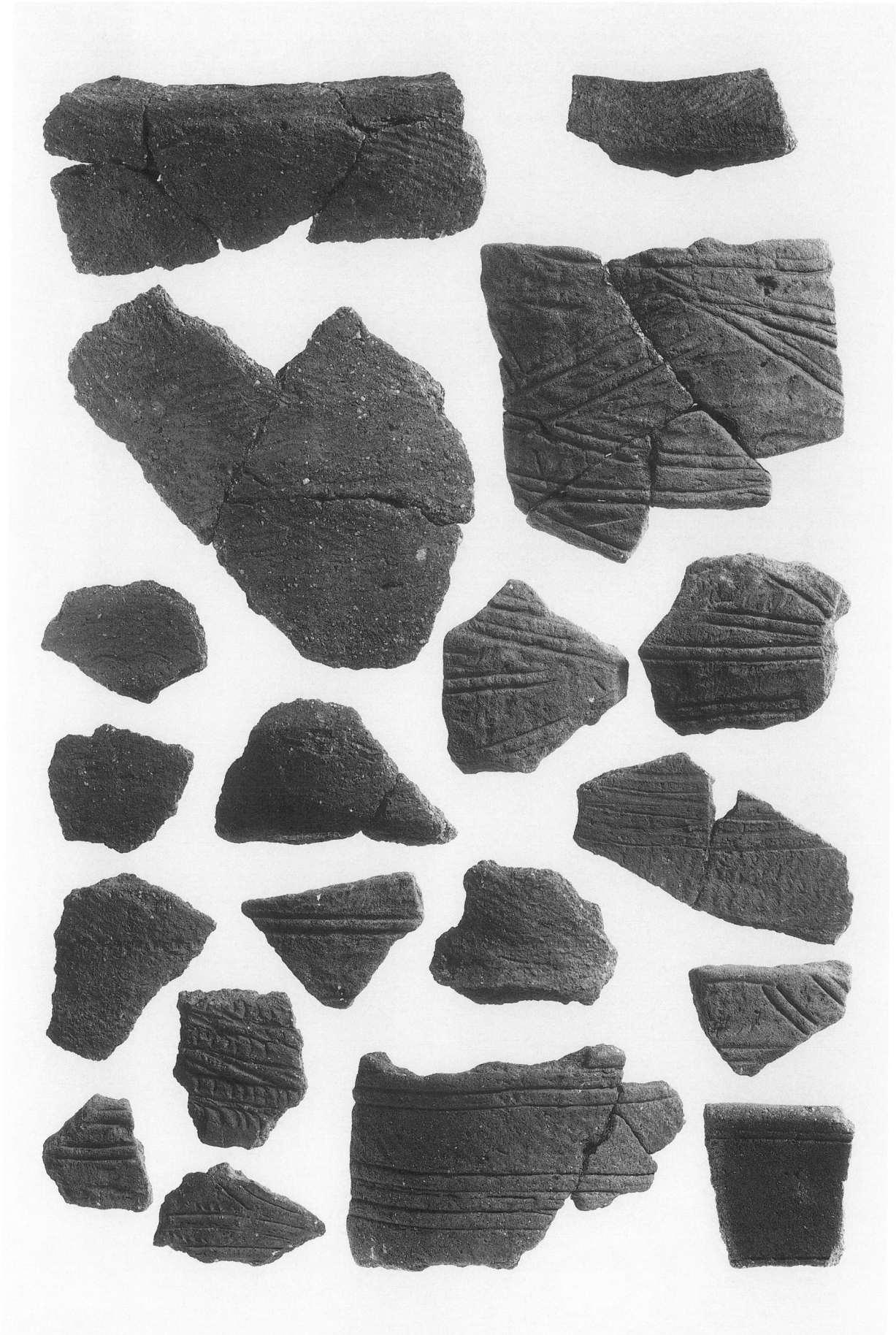
(1)ＢＢⅢ層２号土坑
検出状況

(2)ＢＢⅢ層２号土坑
土層断面

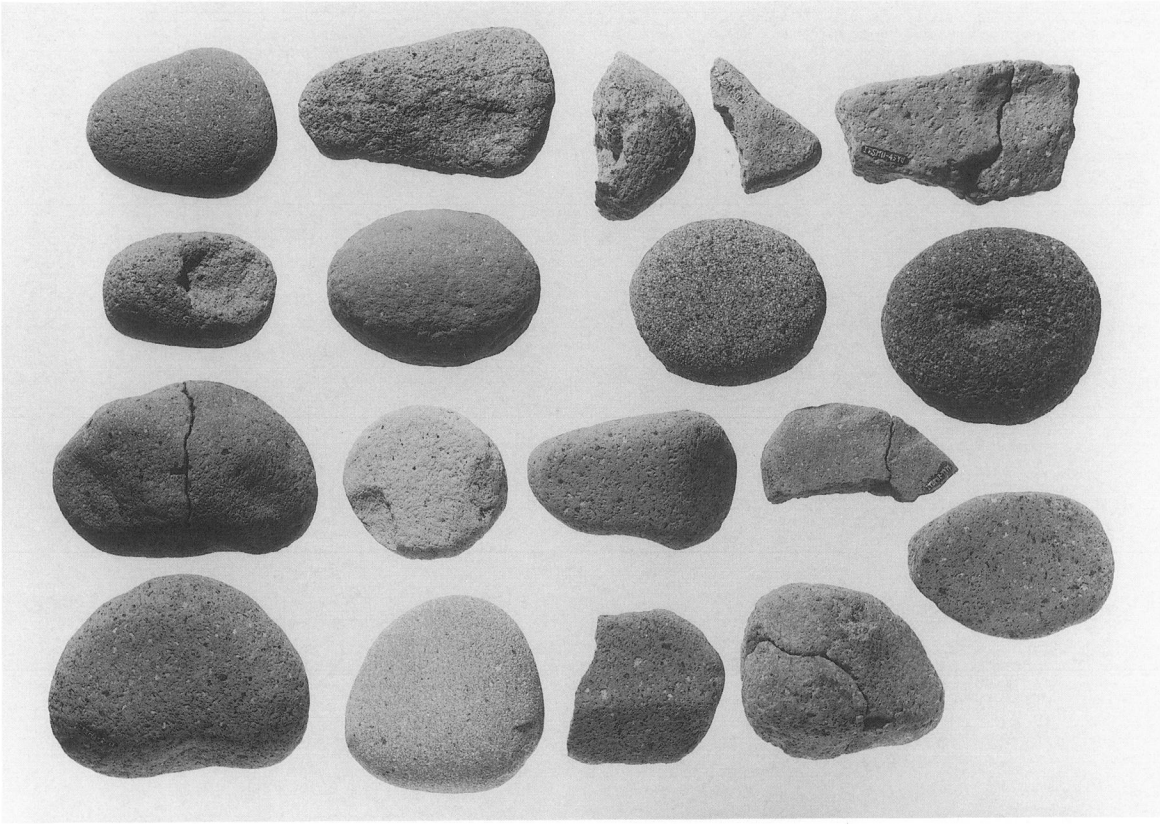
(3)ＢＢⅢ層４号土坑
完掘状況

(1)ＢＢⅢ層１号土坑土層断面

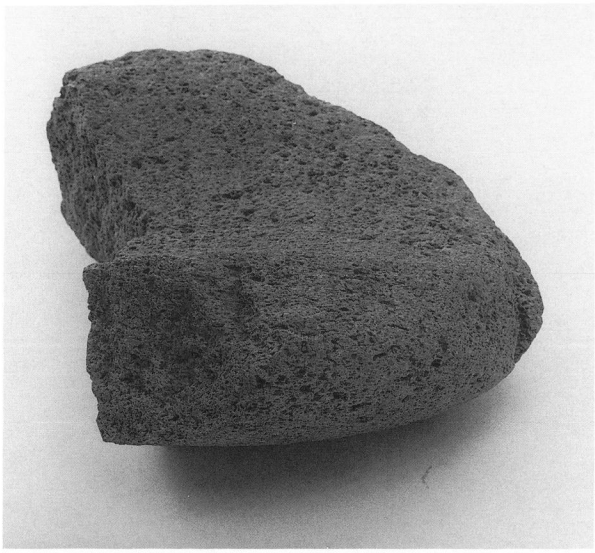
(2)ＢＢⅢ層土坑遠景

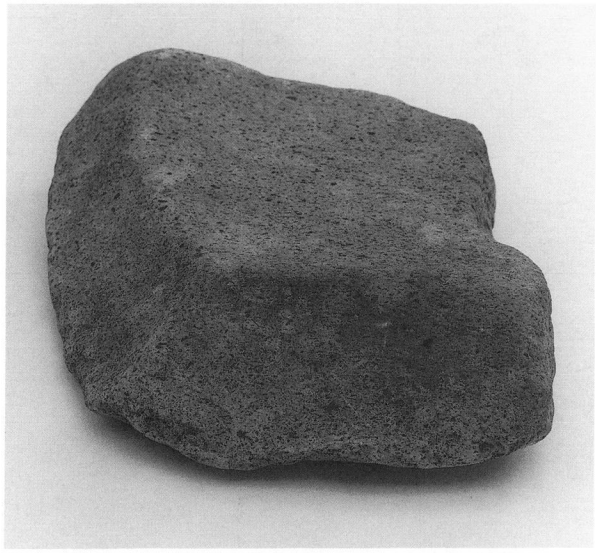


(1)縄文式土器

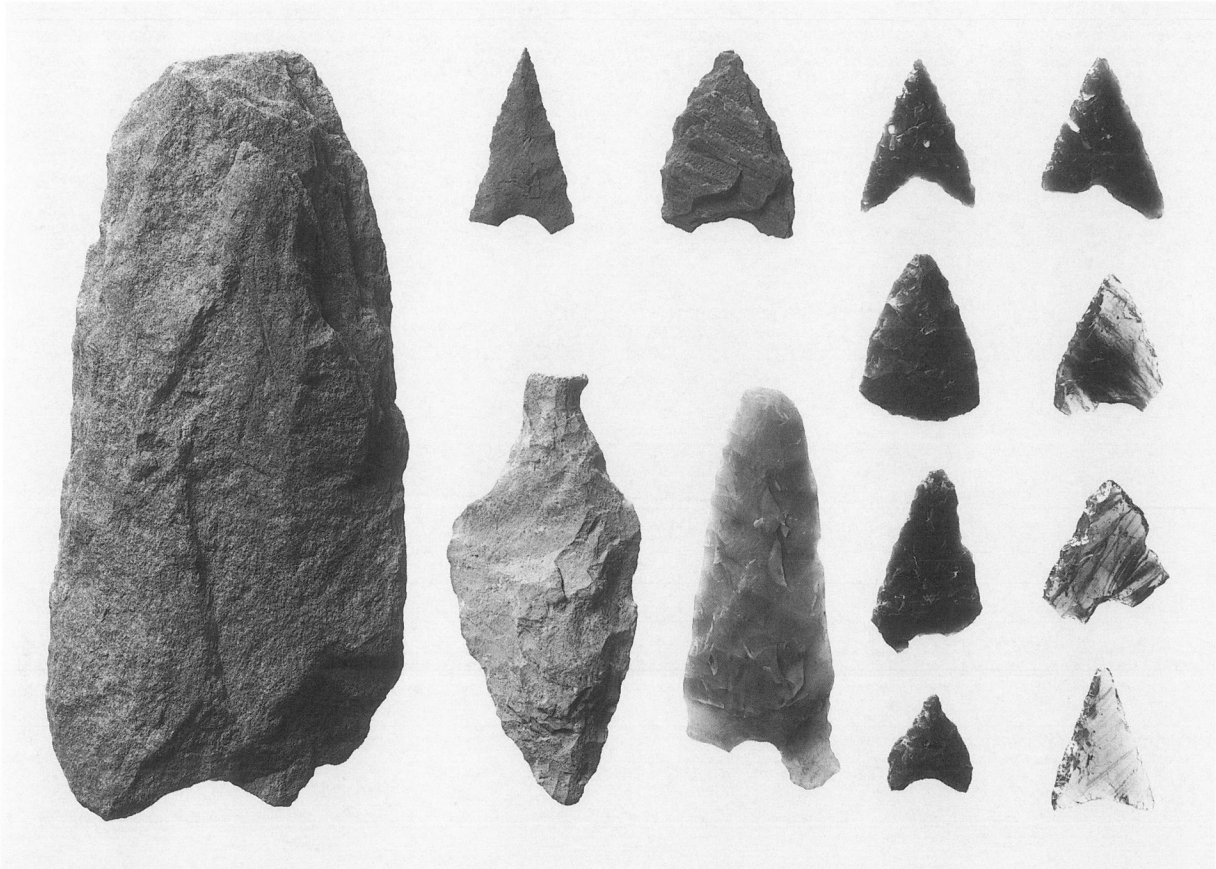


(1)敲石・磨石・凹石

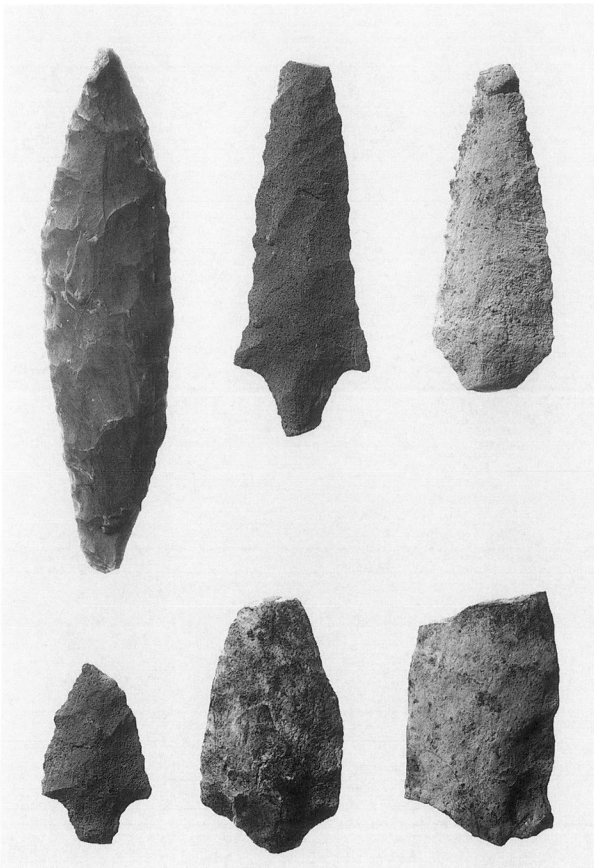


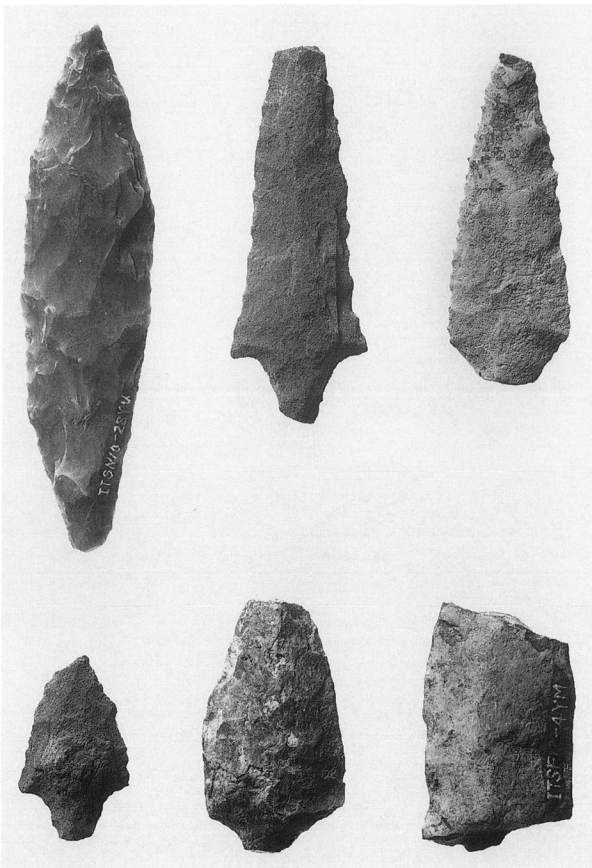


(2) 石 皿

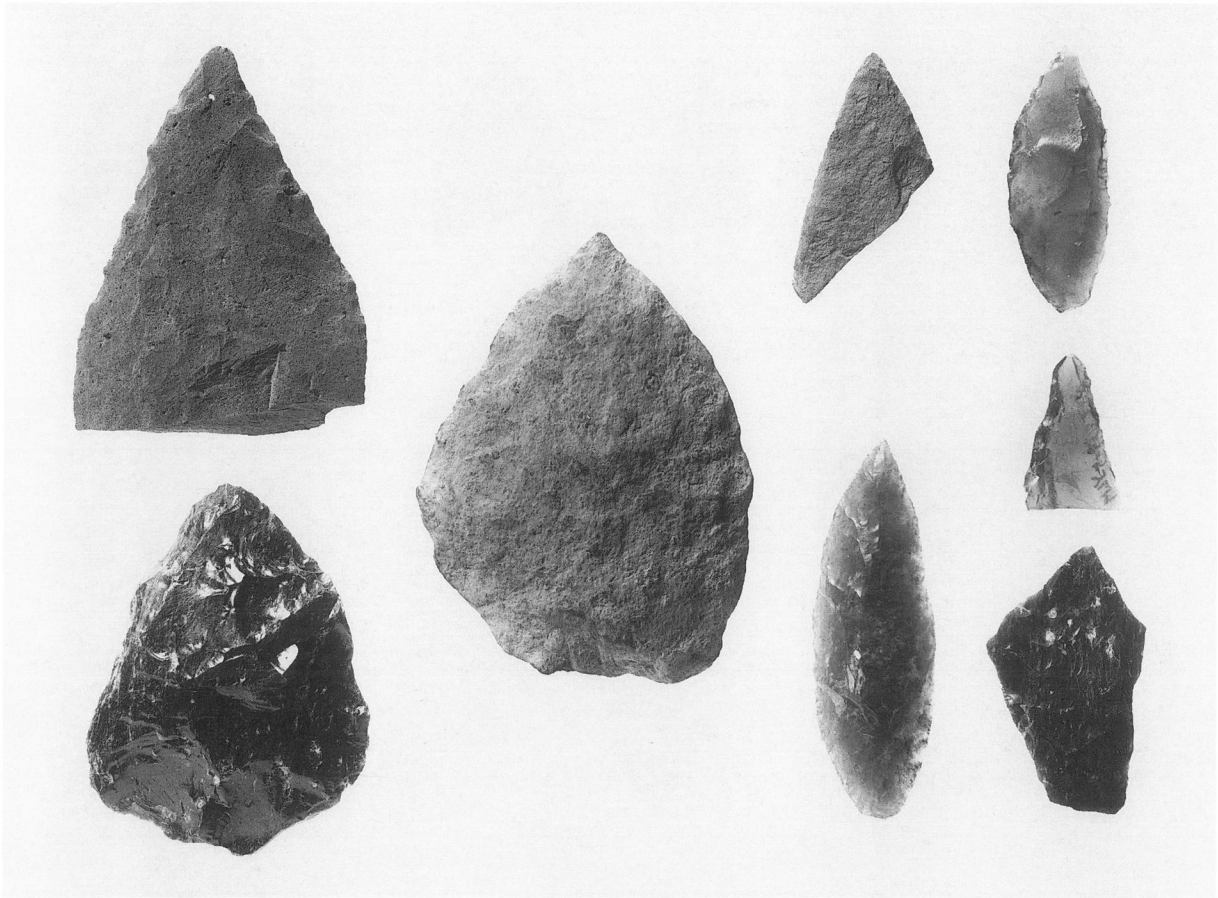


(1)縄文時代の石器

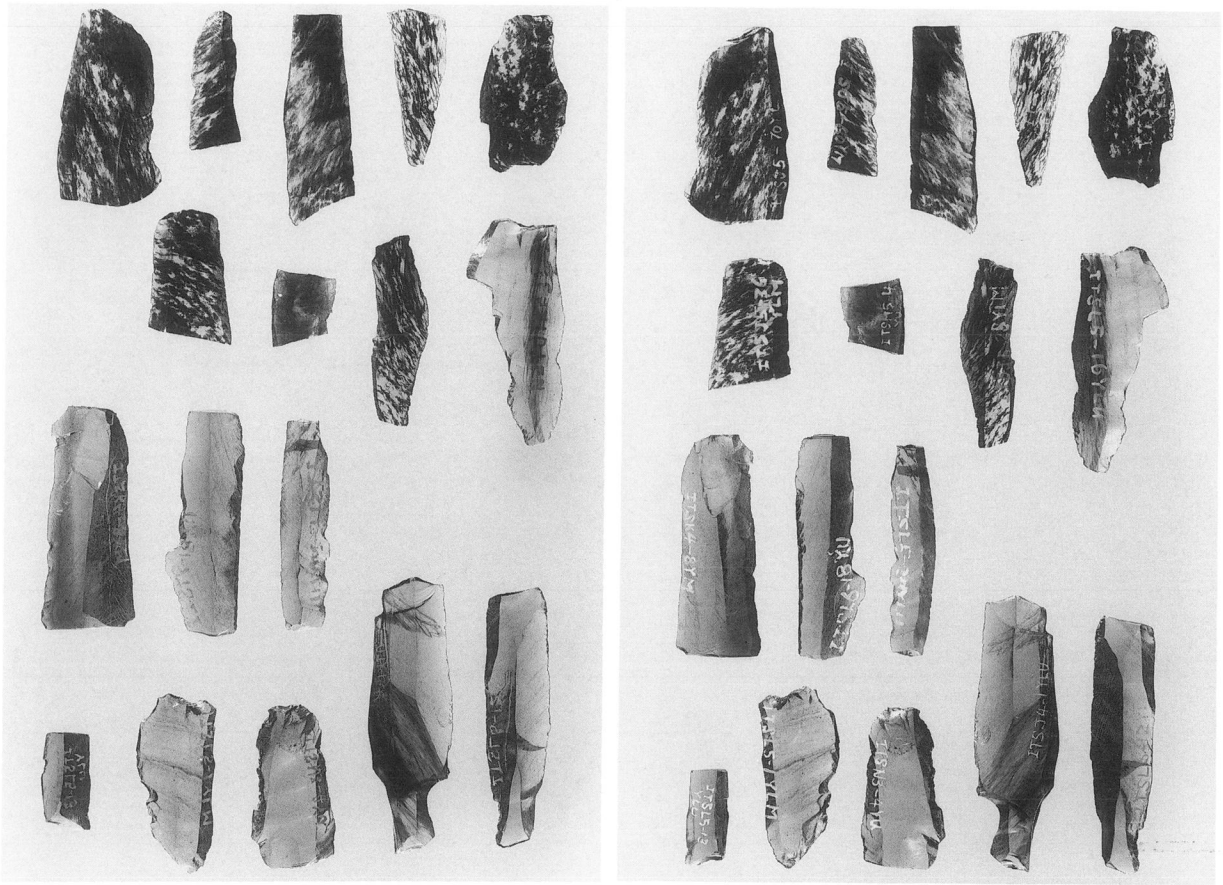




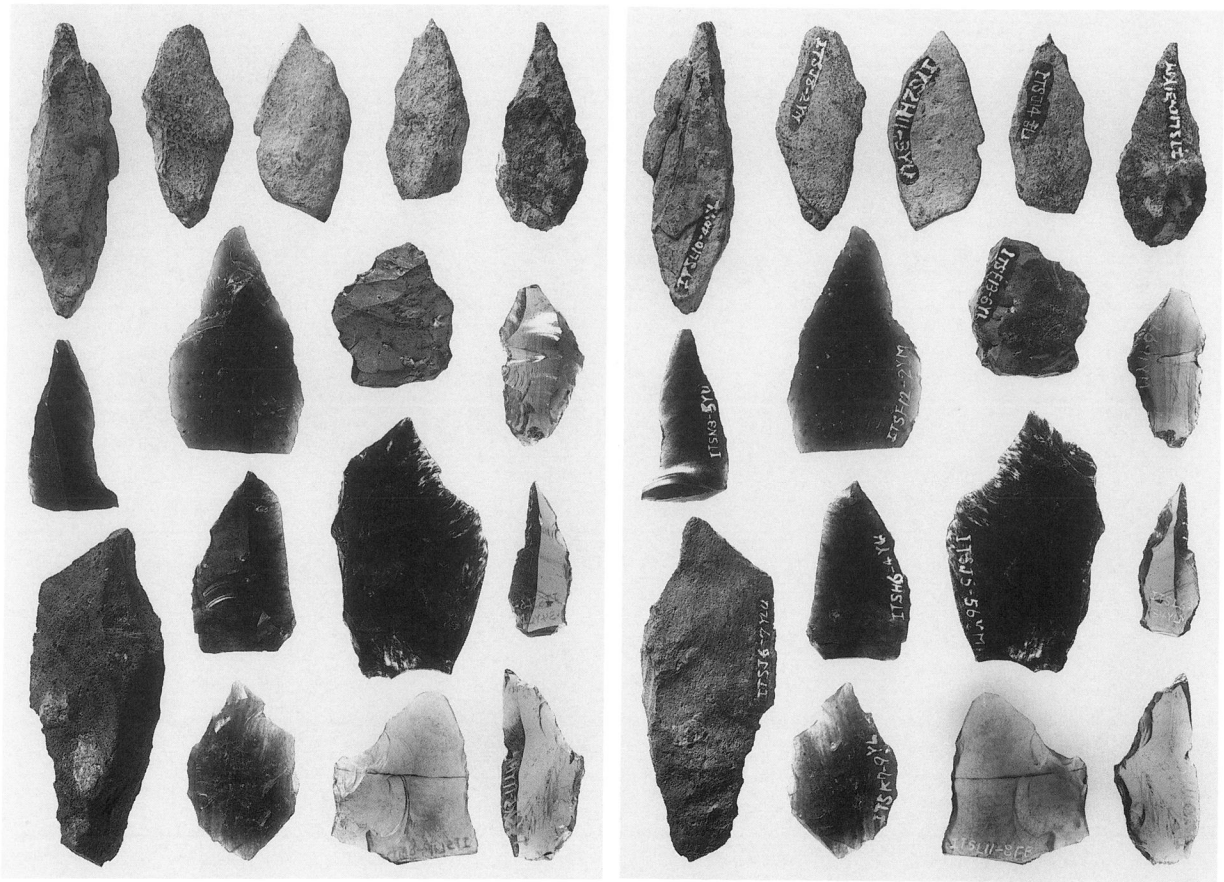
(2)槍・有舌尖頭器



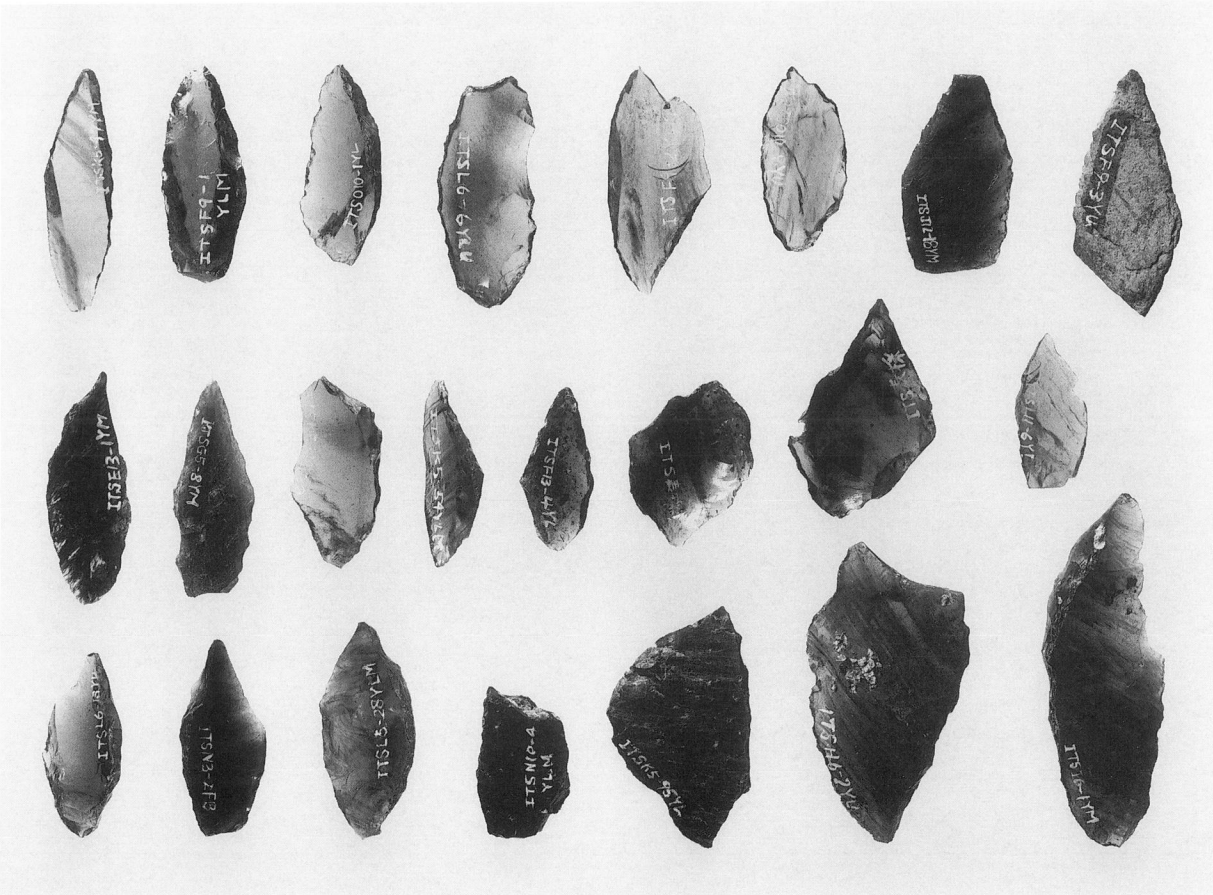
(1)ＹＬ層石槍



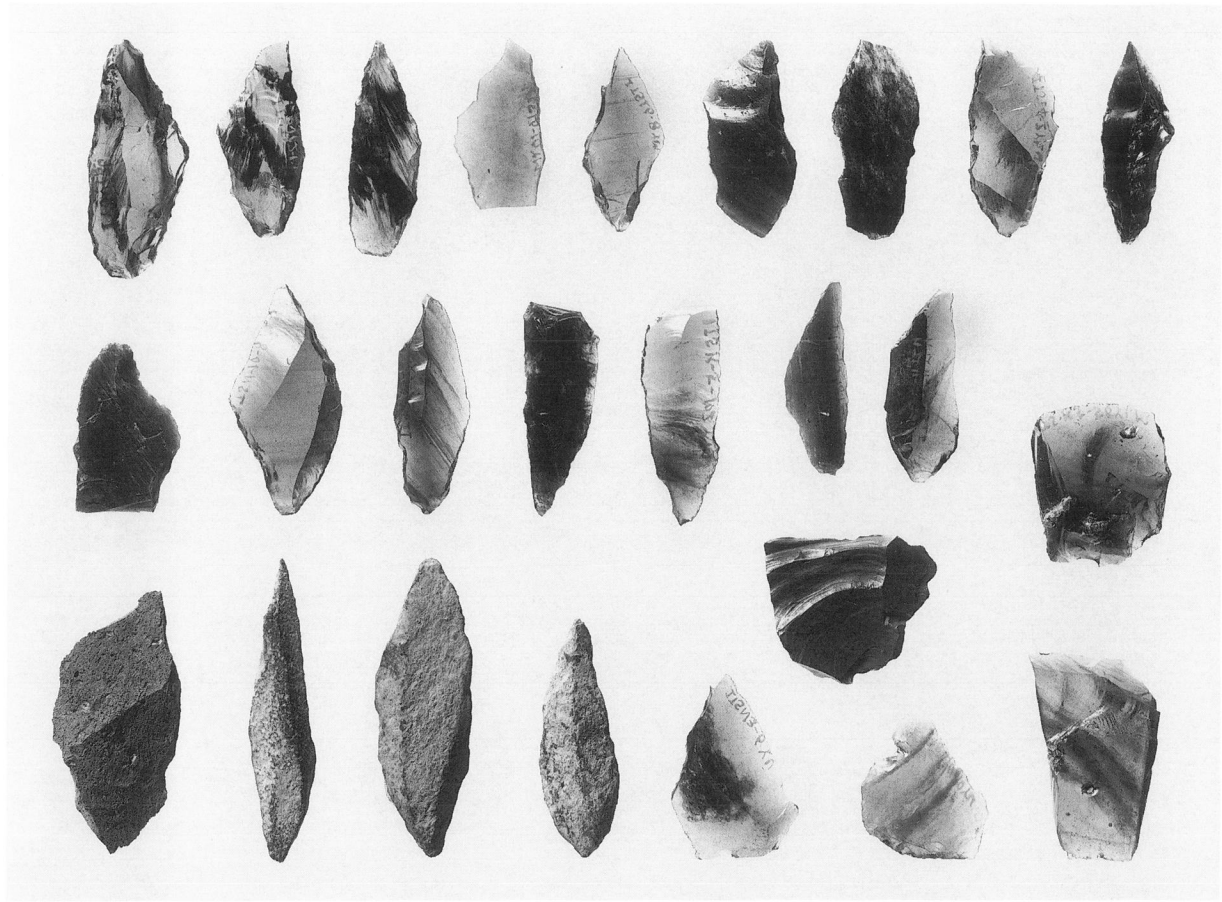
(1)ＹＬ層小型石刃状剝片

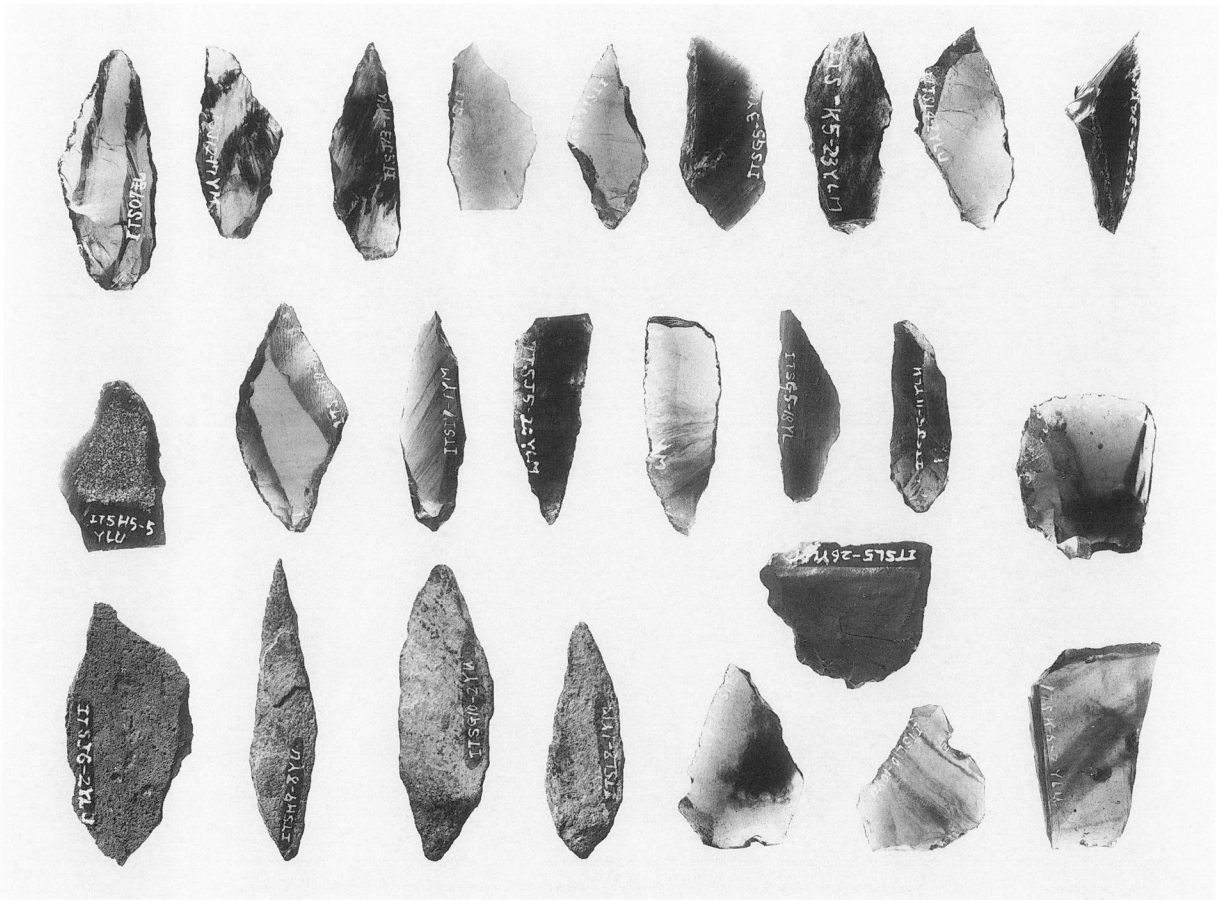


(2)ＹＬ層ナイフ形石器１



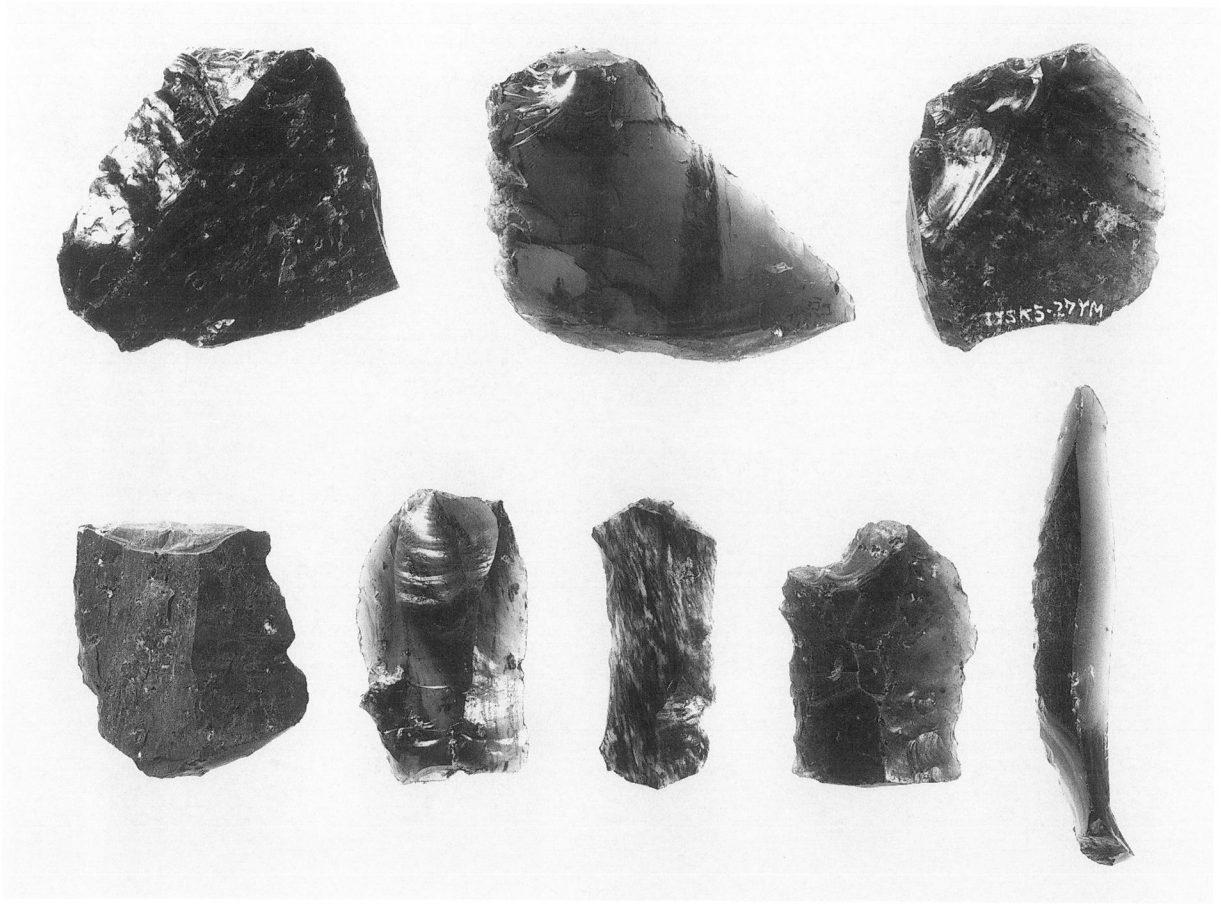
(1)Ｙ Ｌ層ナイフ形石器 2

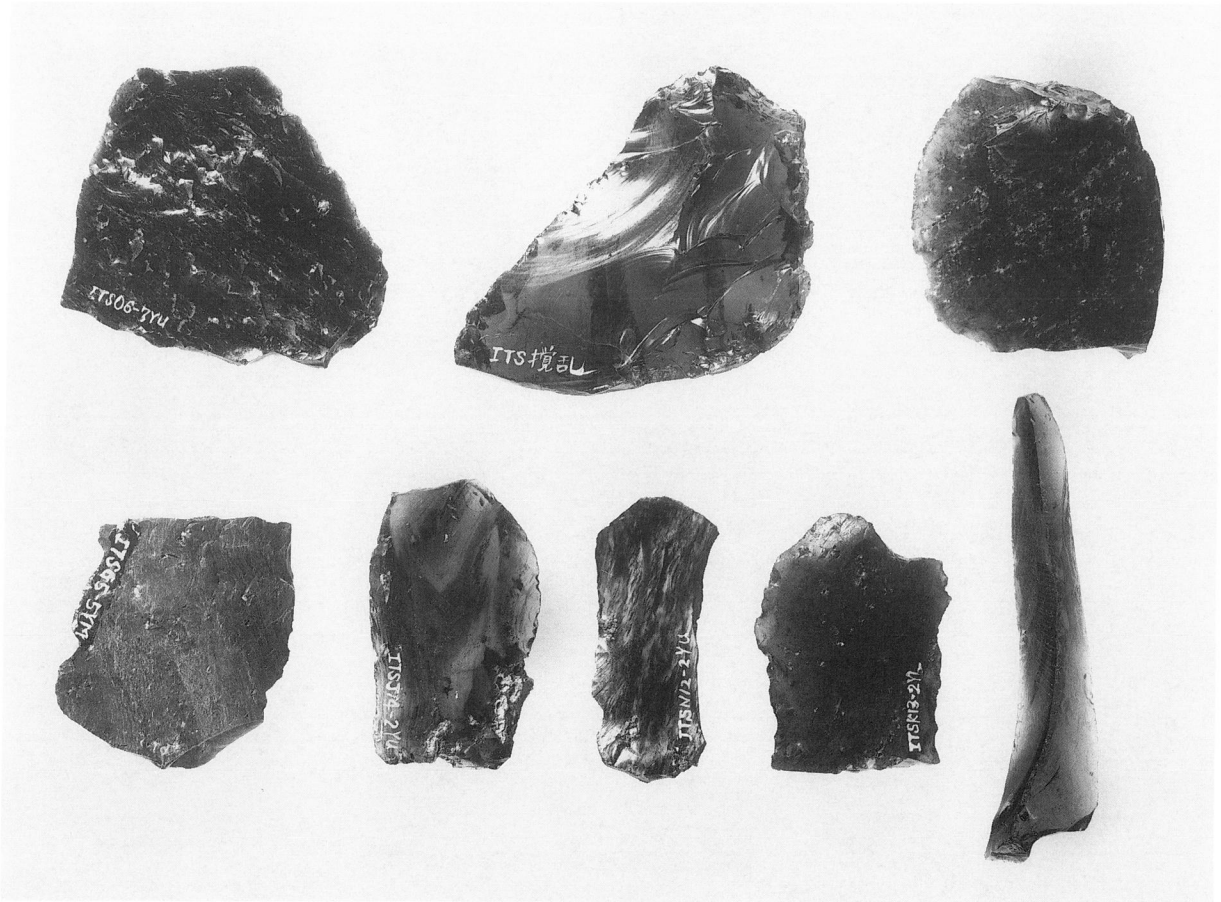




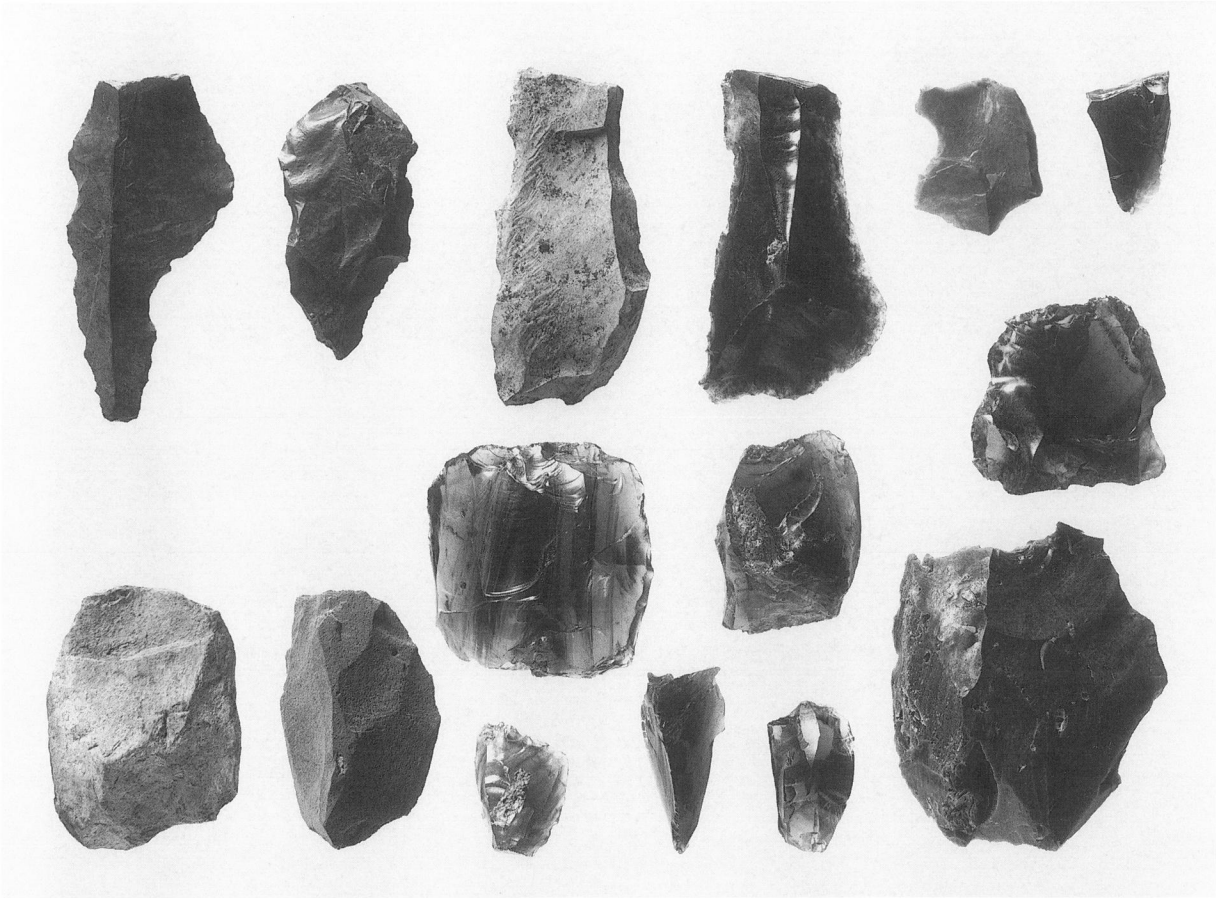
(1)ＹＬ層ナイフ形石器３

(1)ＹＬ層掻器・彫器

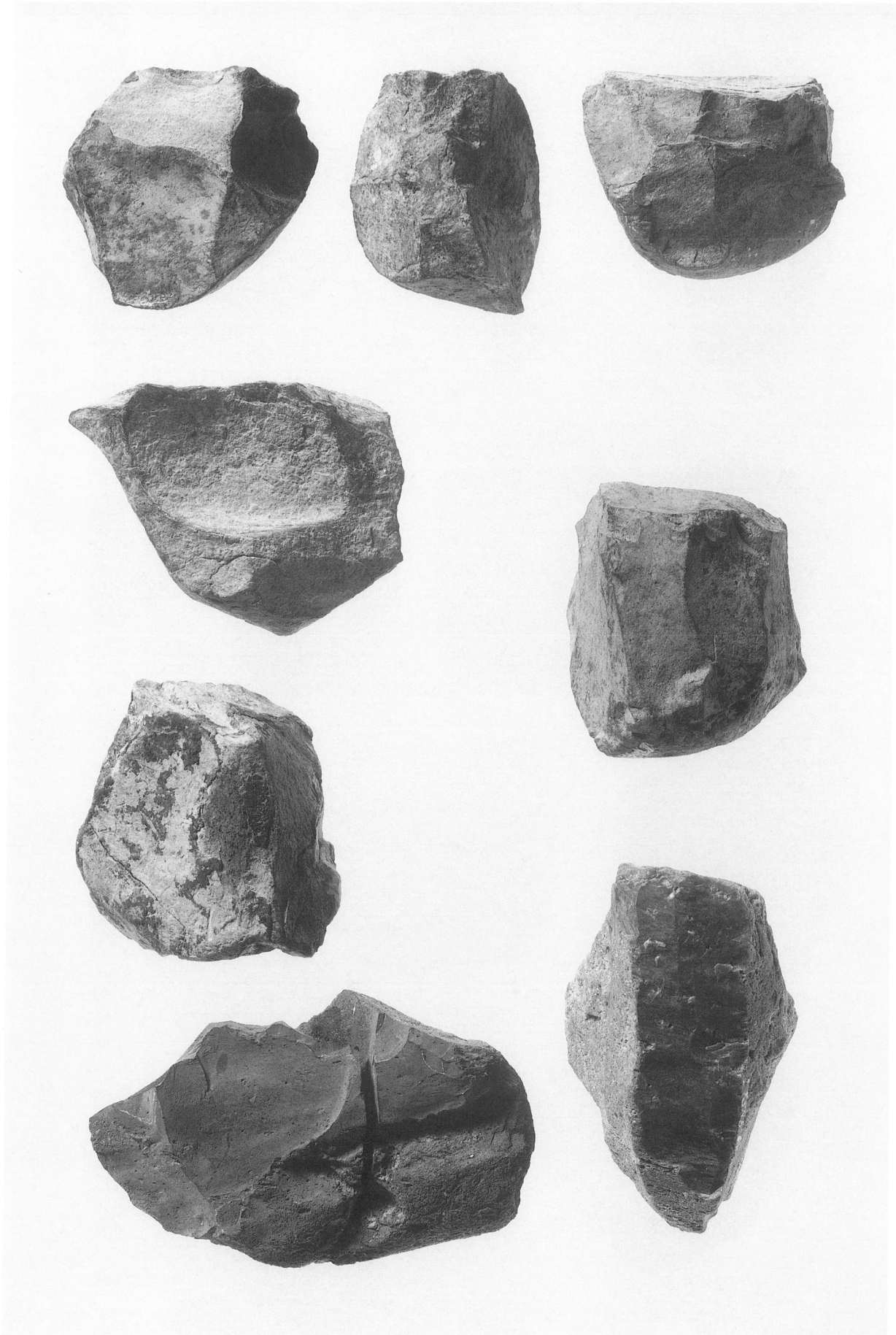

ITSK5-27YM


ITS06-7YU
ITS撹乱
ITSK5-5YM
ITSK12-2YU
ITSN12-2YU
ITSK13-2YL

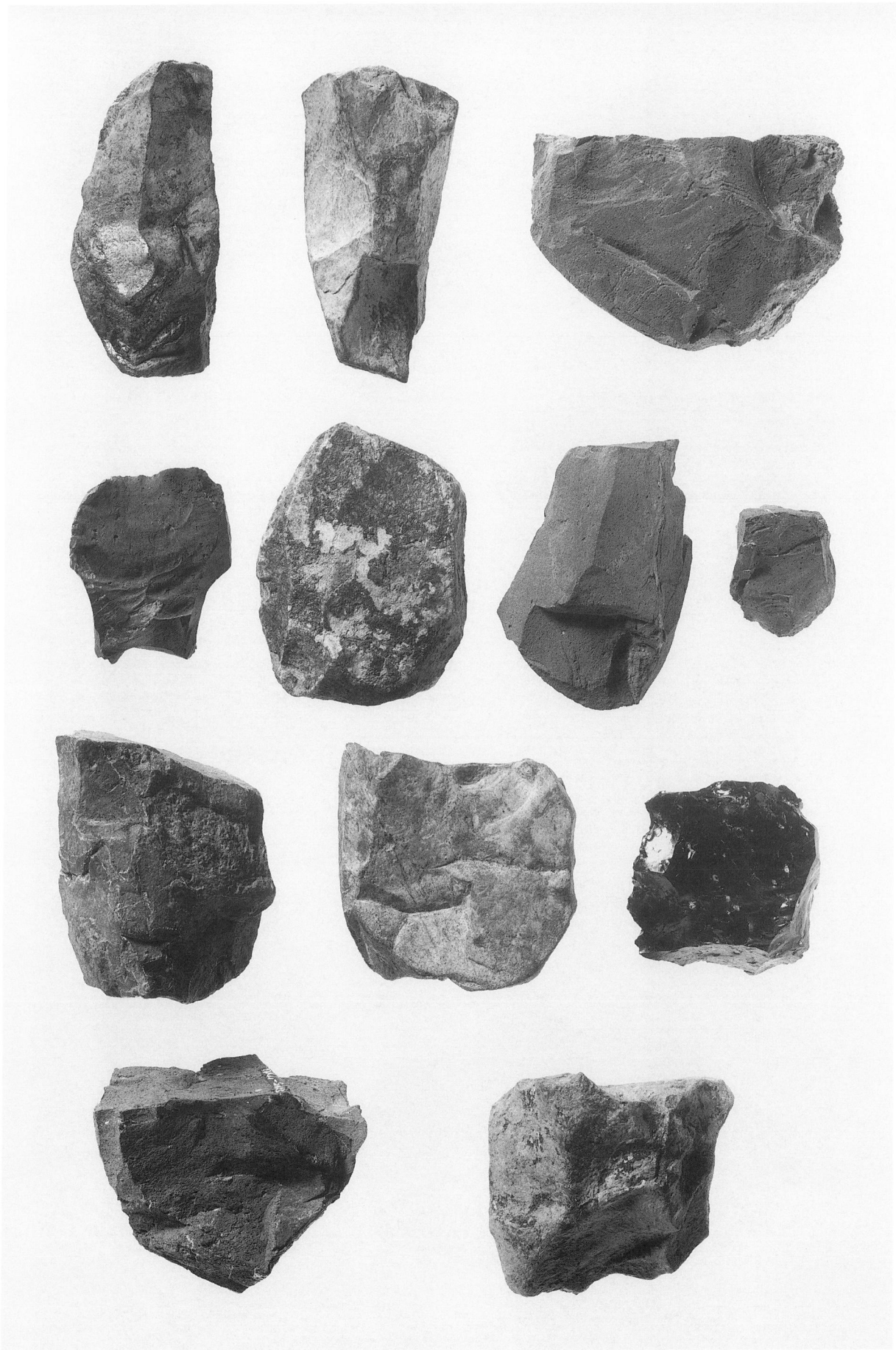
(1)Ｙ Ｌ層削器



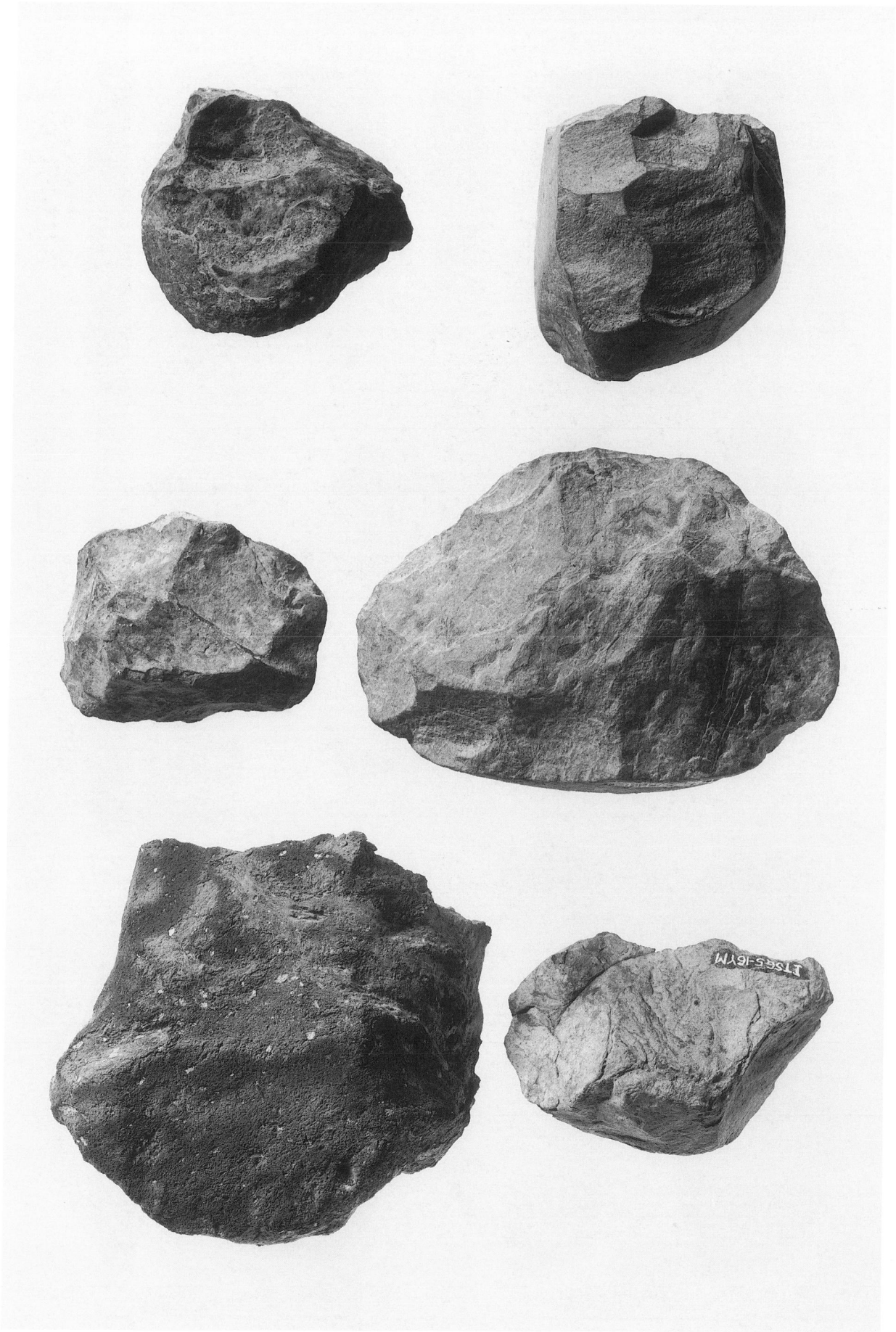
(1)ＹＬ層抉入削器・楔形石器



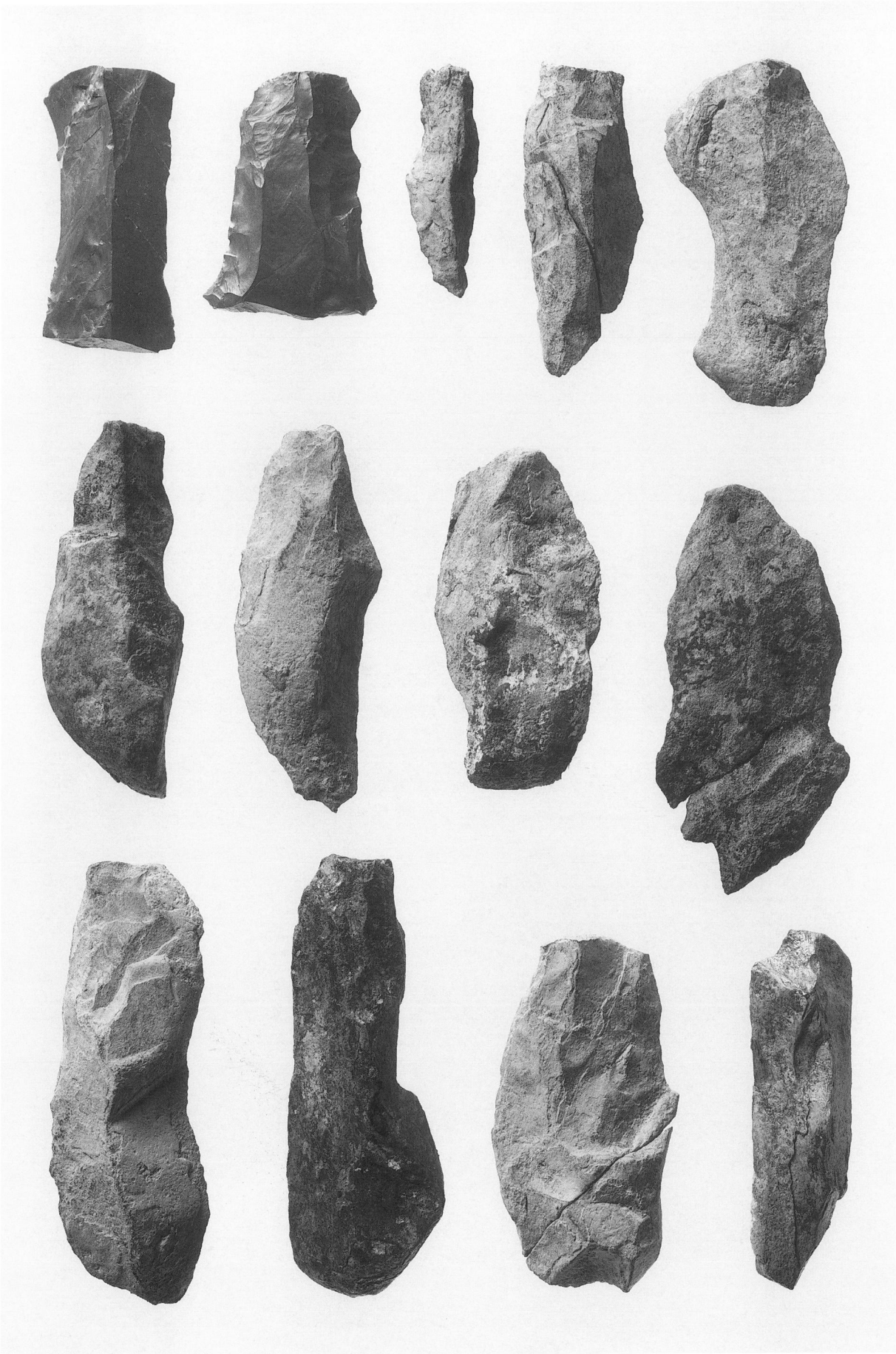
(1)ＹＬ層石核１



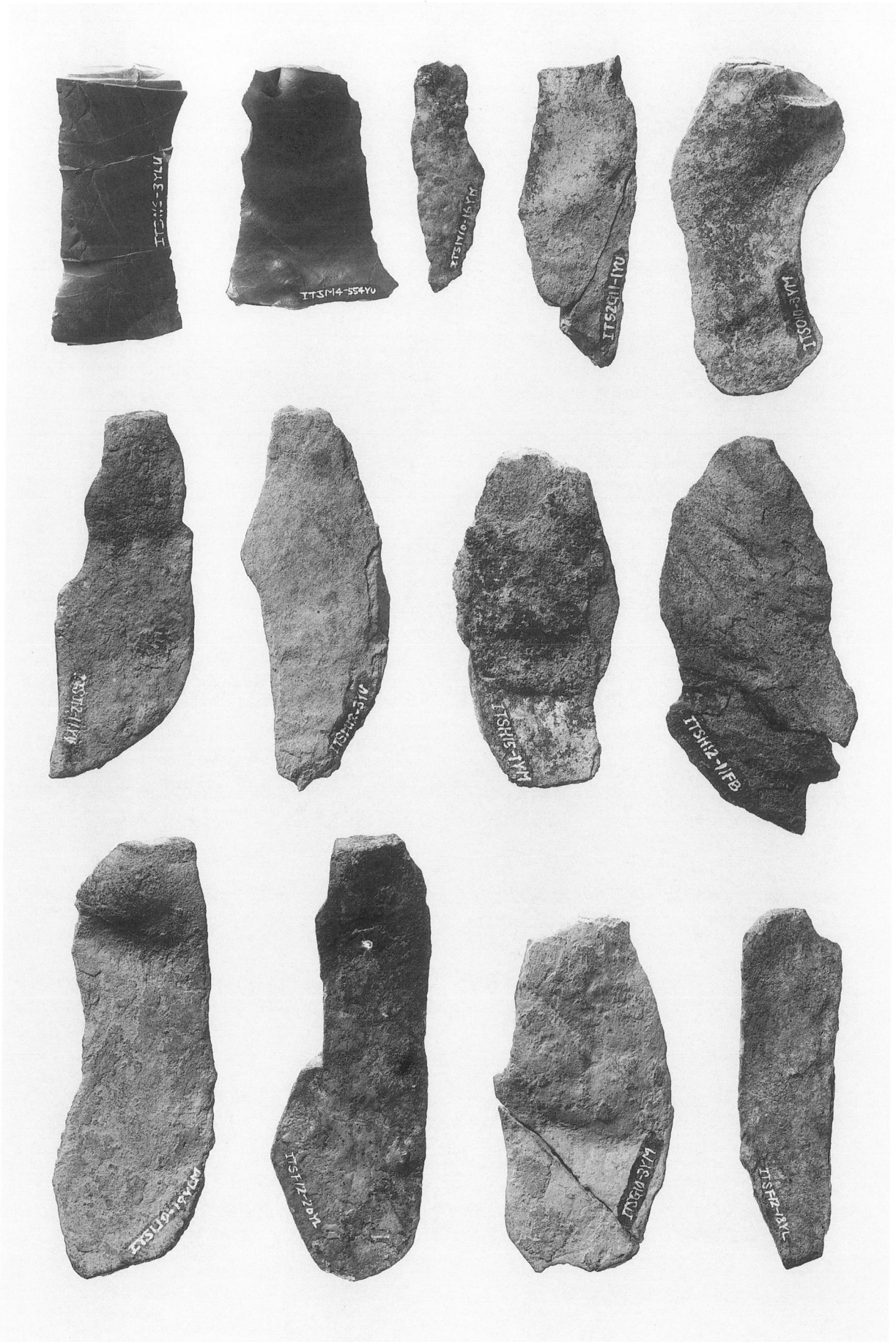
(1)ＹＬ層石核 2



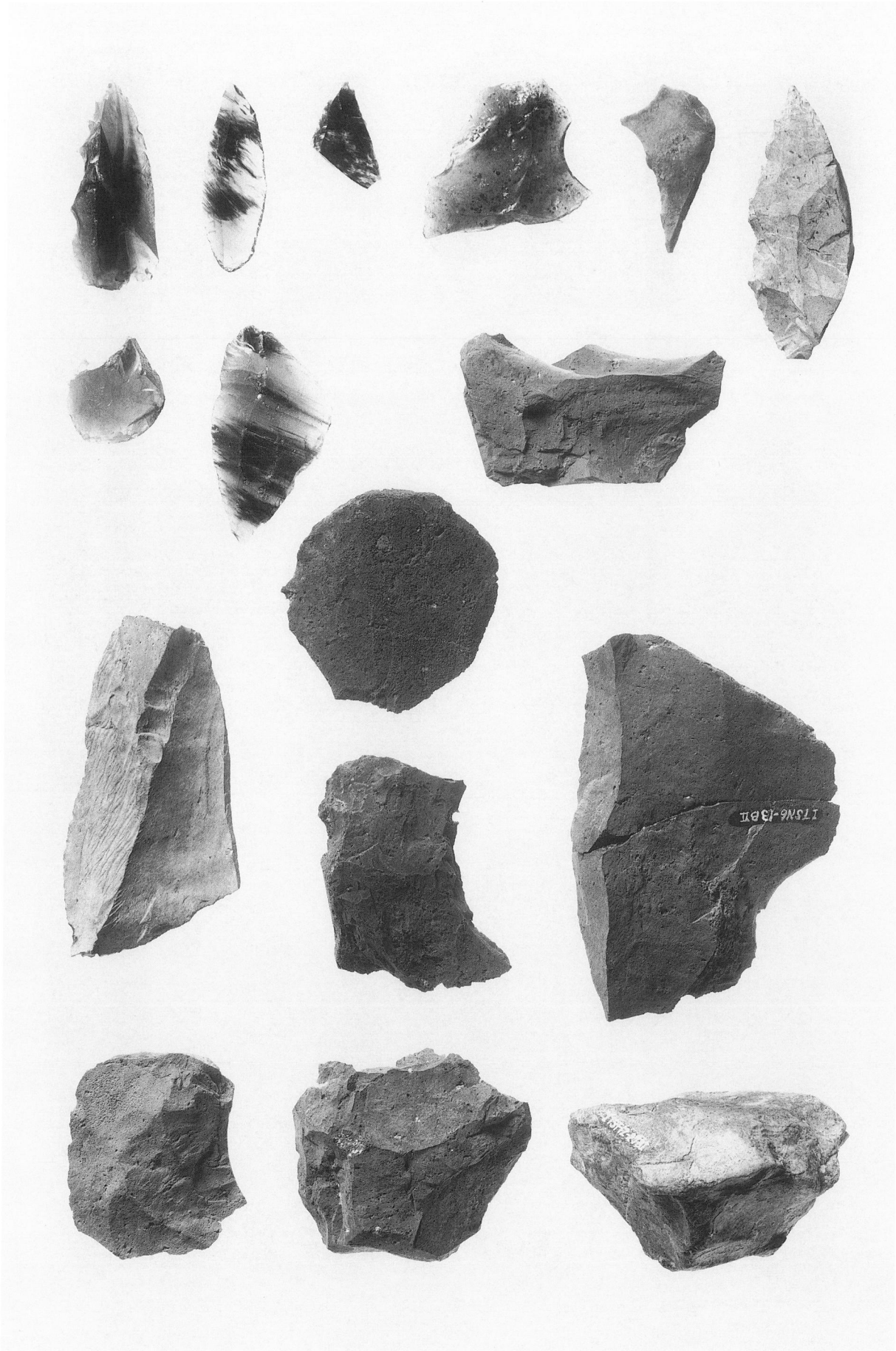
(1)ＹＬ層石核３



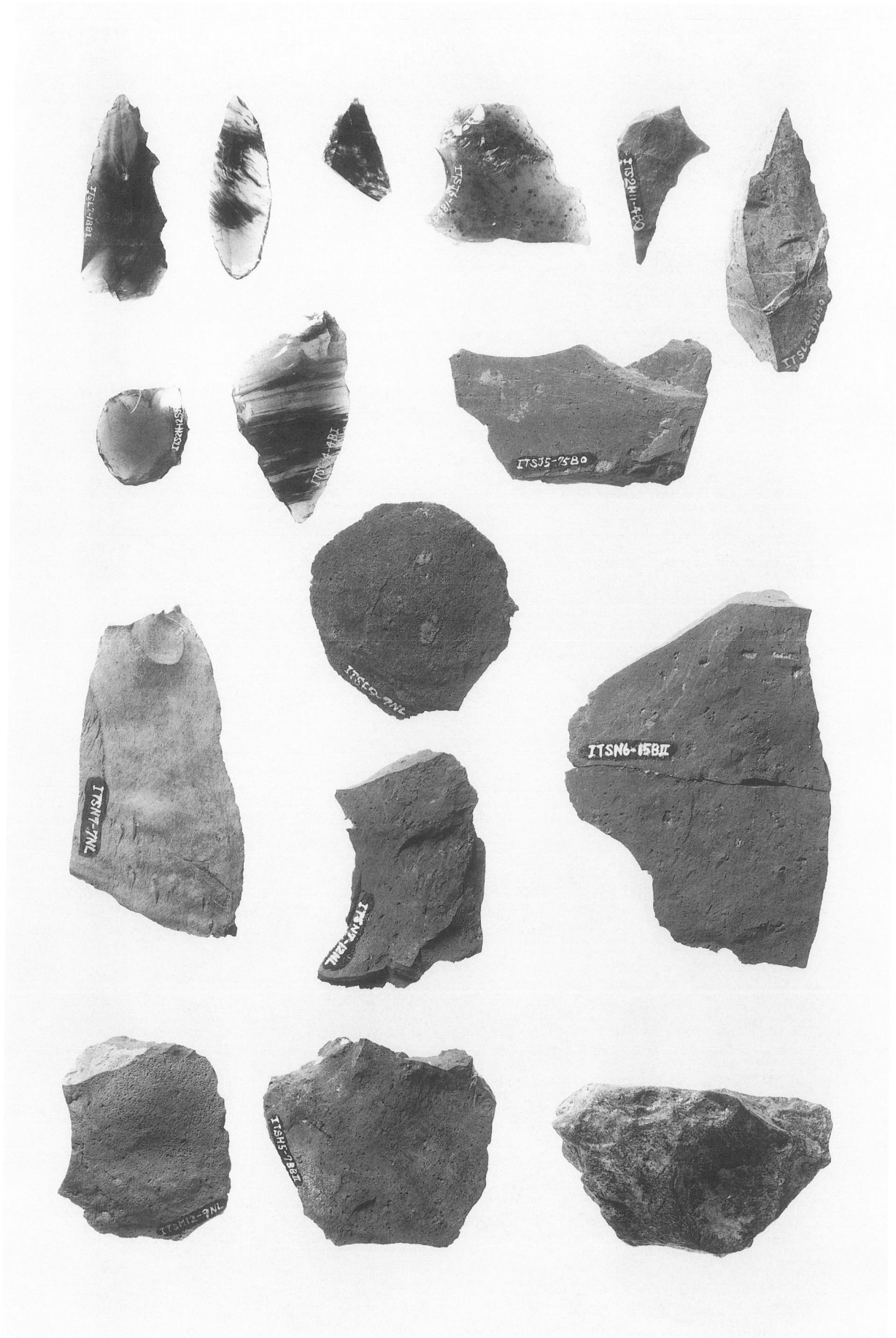
(1)ＹＬ層石刃状剝片（オモテ）



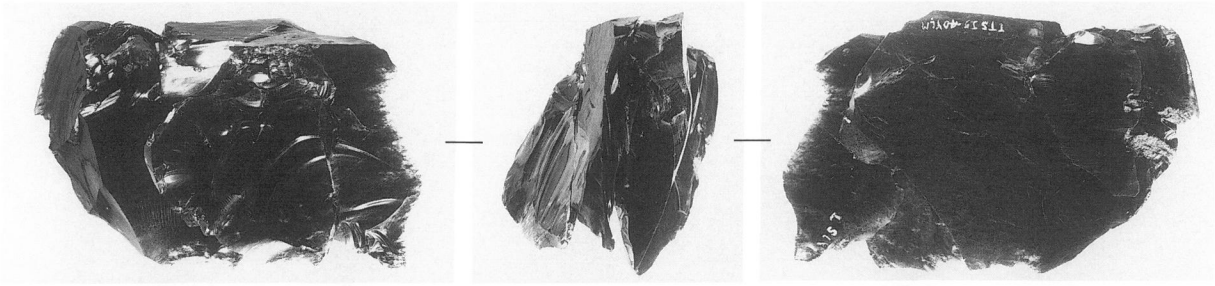
(1)Ｙ Ｌ層石刃状剝片（ウラ）



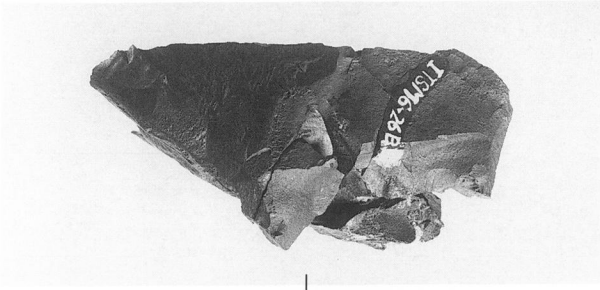
(1)ＢＢ０・ＢＢⅠ・ＮＬ・ＢＢⅡの石器（オモテ）



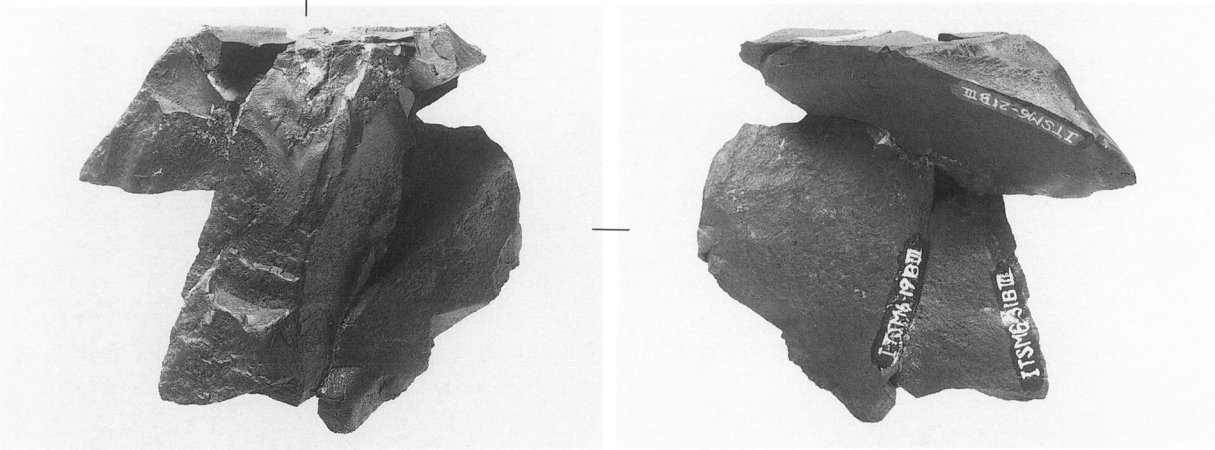
(1)ＢＢ０・ＢＢⅠ・ＮＬ・ＢＢⅡの石器（ウラ）

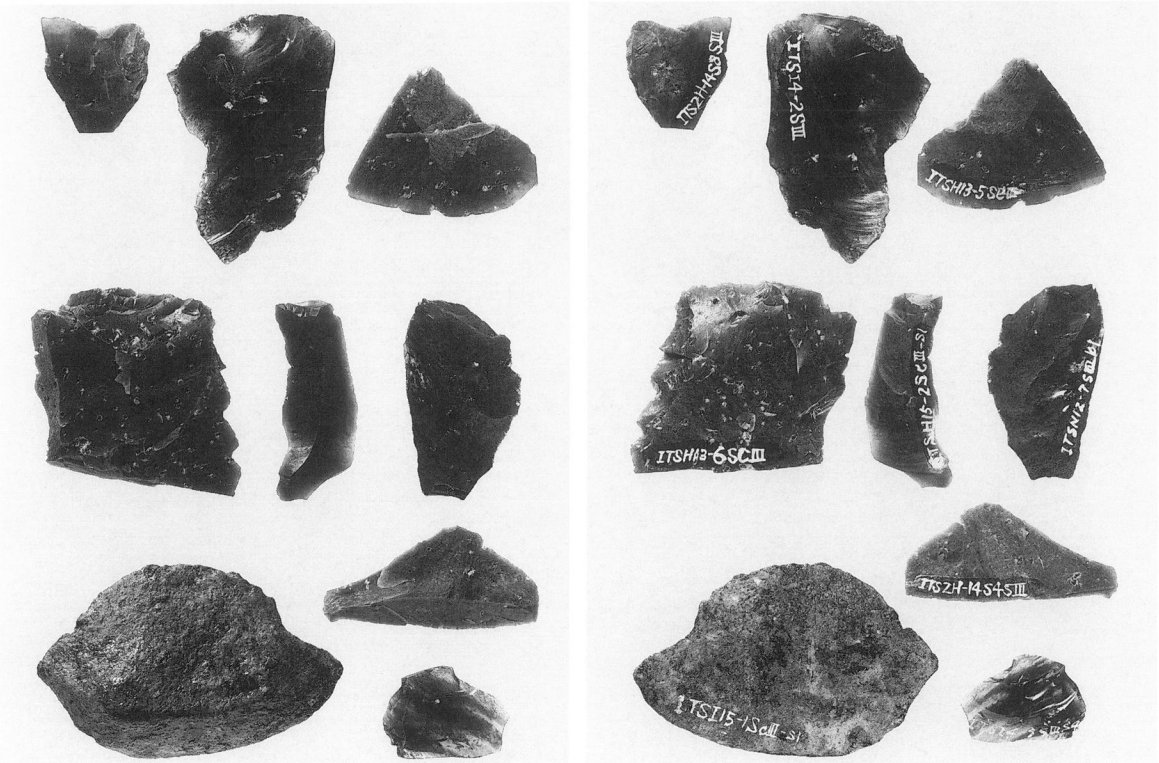


▲ (1)ＹＬ層接合資料

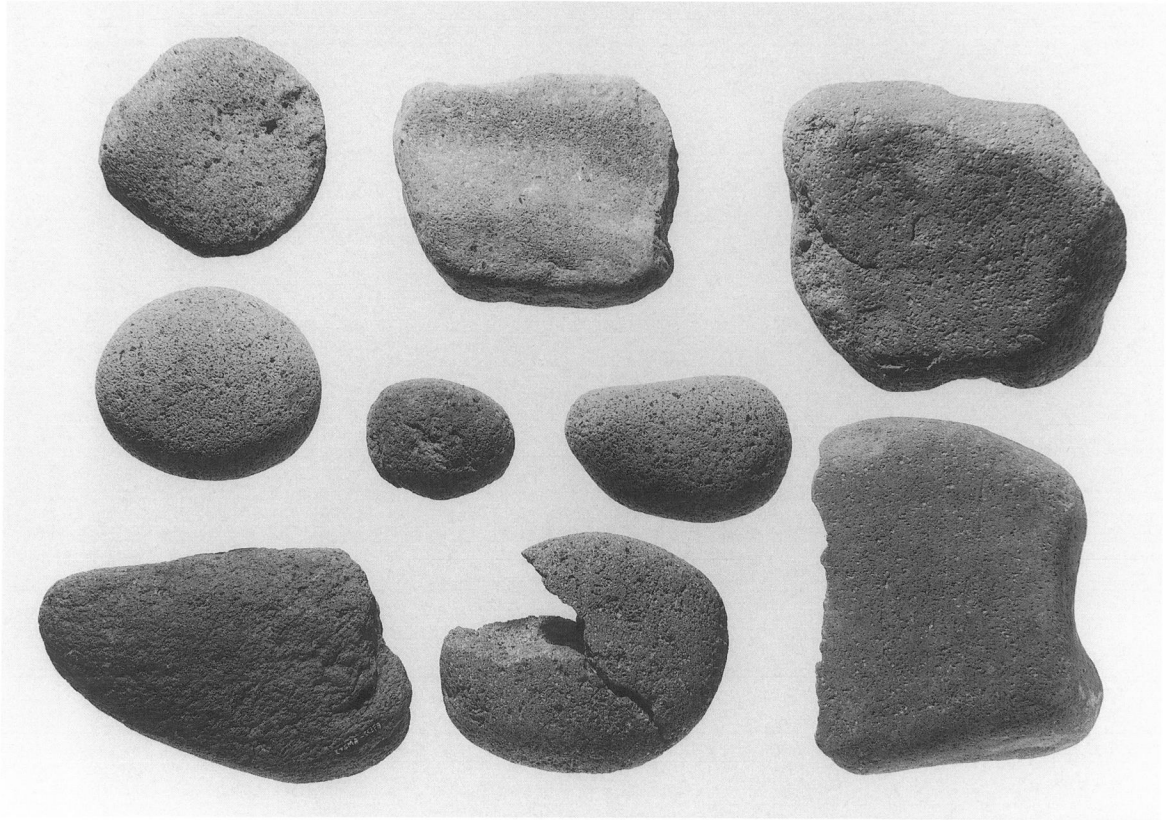


▼ (2)ＢＢⅢ層接合資料





(3)ＳＣⅢ層の石器



(1)ＢＢⅠ・ＮＬ・ＢＢⅡ敲石・磨石

(1) 作業風景

発掘調査参加者

遠藤　諄治	上杉　俊夫	江田　　潤	大川　静男	大嶽　憲一	落合善太郎
笠間　　林	加藤　一郎	久保田親則	栗原萬次郎	桜井　富夫	笹原　芳郎
島村　栄一	下山　　貢	鈴木　秋夫	鈴木　祥司	鈴木　孝雄	鈴木　　武
鈴木　八郎	鈴木富士夫	高原　恒男	高梨　　孝	武士　晴信	土屋　俊一
土屋　　正	土屋　義春	富田　昌之	西島　　茂	広瀬　　孝	福島　　孝
前田　義和	町田彦三郎	松岡　武男	湊　　嘉秀	宮沢　範雄	村上　政治
森嶋富士夫	山口　　尚	山本　邦夫	渡辺　秋夫	渡辺　勝藤	渡辺　美行
青木いと子	秋本　慧子	阿部　晴美	石井　明良	石井　美香	バルベルデ・ホセ
石渡　陽子	榎本喜代美	遠藤　清子	小川　たき	小川とし江	落合　徳江
落合まつ子	落合　ミツ	小野　ナツ	鬼沢　幸江	木村美恵子	後藤　俊江
佐々木美枝子	佐野美佐子	佐野ヤヲエ	柴田美佐子	鈴木富士江	千賀いく子
高橋　敏子	田口あや子	椿　　孝江	中村　秋江	二村　初子	埜瀬うた子
姥妙　洋子	東　しず子	深沢　光子	福島とき子	福地　幸子	渕上　恵子
舟山八代江	本間まり子	牧野　富子	松下千鶴子	皆口日出子	山田あい子
山本　伴子	吉川　和枝	米山　芳枝	渡辺　カン	渡辺　智子	

整理作業参加者

池田千賀子	菅野みと子	白井なみ子	鈴木　里江	鈴木　輝美	鈴木　洋子
高田みゆき	高橋　元子	高橋　裕子	田村みどり	水上　綾子	村川　裕子
山下　洋子					

報　告　書　抄　録

ふりがな	しも　はら　い　せき　　I
書　　名	下　　原　　遺　　跡　　I
副　書　名	平成5・6年度東駿河湾環状道路工事に伴う埋蔵文化財調査報告書
シリーズ名	静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告
シリーズ番号	第６４集
編　著　者　名	小野千賀子
編　集　機　関	静岡県埋蔵文化財調査研究所
所　在　地	〒424　静岡県清水市江尻台町18-5　TEL.0543-67-1171
発行年月日	西暦1995年　3月31日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所　在　地	コード		北緯/東経	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号				
しもはら 下　原	みしましつかはらしんでん 三島市塚原新田 あざしもはら 字下原	22206	237	35°　07′　12″ / 138°　56′　44″	1993年7月 ～ 1994年11月	28500㎡	道路建設に伴う事前調査

所収遺跡名	種別	主な年代	主　な　遺　構	主　な　遺　物	特記事項
下　　原	集落跡	旧石器時代 ～ 縄文時代	石器集中地点 礫群 土坑 住居跡 土坑	石槍、ナイフ形石器、掻器、削器、楔形石器、石刃、石核、剥片 有舌尖頭器、土器、打製石斧、石鏃、局部磨製石器	後期旧石器時代初めの土坑7基 縄文時代草創期の逆茂木付きの陥し穴

下 原 遺 跡 Ⅰ

平成５・６年度東駿河湾環状道路に伴う
埋蔵文化財調査報告書

平成７年３月31日

編集発行　財団法人
静岡県埋蔵文化財調査研究所

印 刷 所　みどり美術印刷株式会社
沼津市沼北町２丁目16番19号
ＴＥＬ（0559）21－1839㈹